設　　計　　書

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

場　所　　鹿沼市南上野町

工　期　　令和9年8月27日　まで

設　計　概　要

屋内運動場　鉄骨造　平屋建て　延べ面積 689.18m2　長寿命化改良工事一式

渡り廊下　鉄骨造平屋建て　改修工事一式

検算者
担当者

鹿　沼　市　役　所

(甲－1)

設　　計　　書

設計金額

内訳

工事価格

消費税相当額

変更前回実施			変更今回		
設計額	工事価格		設計額	工事価格	
	消費税			消費税	
	請負工事費			請負工事費	
請負額	請負価格		請負額	請負価格	
	消費税			消費税	
	請負代金			請負代金	
請負率			増減額		

変更理由

鹿　　沼　　市　　役　　所

（甲－2）

工事費内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		

共通仮設費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有検査費	定性分析(16検体)	1	式			
土壌調査		1	式			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	35t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き　賃料　標準	1	式			
キャスターゲート	存置期間10ヶ月	1	式			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	1	式			
揮発性有機化合物 の測定費	パッシブ型	1	式			
仮設鉄板敷 （現場事務所）		1	式			
仮設鉄板敷 （揚重機用）		1	式			
計						

工事種別内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

鹿　　沼　　市　　役　　所　　（乙）

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
屋内運動場	1	式		
渡り廊下	1	式		
外構	1	式		
計				

屋内運動場

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
防水改修	1	式		
外壁改修	1	式		
建具改修	1	式		
内装改修	1	式		
塗装改修	1	式		
躯体改修	1	式		
環境配慮改修	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

渡り廊下

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
防水改修	1	式		
外壁改修	1	式		
塗装改修	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

外構

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
外構工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

屋内運動場

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		

屋内運動場

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
躯体改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修	撤去	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

渡り廊下

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

外構

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外構工事	撤去	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

屋内運動場　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方	小規模　スロープ部 17.2m2程度	1	式			
墨出し(内部改修)	複合改修　780m2程度	1	式			
養生(内部改修)	複合改修　780m2程度	1	式			
養生(外壁改修)	501m2程度	1	式			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修　780m2程度	1	式			
整理清掃後片付け (外壁改修)	501m2程度	1	式			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	建枠 900 高さ20m未満　基本料 掛払い手間　供用326日賃料 修理費　運搬費含む　1,102m2程度	1	式			
安全手すり	くさび式 手すり先行足場用 基本料 掛払い手間　供用326日賃料 修理費　運搬費含む　130m程度	1	式			
小幅ﾈｯﾄ	防炎ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ　基本料 掛払い手間　供用316日賃料 修理費　運搬費含む　130m程度	1	式			
内部仕上足場	枠組棚足場 階高9.1m以上10.8m未満 基本料 掛払い手間 供用104日賃料 修理費　運搬費含む　109m2程度	1	式			
内部脚立足場	脚立足場　基本料 掛払い手間　供用104日賃料 修理費　運搬費含む　123m2程度	1	式			
ﾒｯｼｭｼｰﾄ張り	防炎性能 JIS A 8952 Ⅰ類 基本料 掛払い手間 供用316日賃料 修理費　運搬費含む　1,102m2程度	1	式			
計						

屋内運動場　防水改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
笠木撤去	集積共	15	m			
のきどい撤去	集積共	85.2	m			
たてどい撤去	集積共	118	m			
破風撤去	ﾗﾜﾝ材　集積共	32.2	㎡			
雨押え撤去	集積共	21.4	m			
計						

屋内運動場　防水改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	【ｱﾘｰﾅ屋根】					
屋根仕上	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)嵌合式縦ハゼ葺き	619	㎡			
屋根下地	改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ厚1.0㎜	619	㎡			
屋根下地	VIボード厚75㎜ 同等品 (発泡性ﾎﾟﾘｴｽﾁﾚﾝ系ﾋﾞｰｽﾞ40倍発泡)	619	㎡			
屋根下地	VIﾀﾙｷ(ﾖｺ)@606 同等品	619	㎡			
軒先唐草	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	64.2	m			
通気水切	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	64.2	m			
ｹﾗﾊﾞ唐草	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	38.6	m			
ｹﾗﾊﾞ水切	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	38.6	m			
軒樋	塩ビ製(カラー)SUS支持金物共 (超芯V300同等品)	64.2	m			
落ち葉除け	ｱﾙﾐ製　既製品	64.2	m			
落し口	塩ビ製(カラー)VPφ100	14	か所			
竪樋	塩ビ製(カラー)VPφ100 SUS支持金物共	90.6	m			
竪樋排水ｶﾊﾞｰ	塩ビ製(カラー)VPφ100	9	か所			
現場成型費	2日	1	式			

屋内運動場　防水改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	【玄関屋根】					
水上雨押え	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工	5.3	m			
竪樋	塩ビ製(カラー)VPφ100 SUS支持金物共	6.9	m			
竪樋排水ｶﾊﾞｰ	塩ビ製(カラー)VPφ100	2	か所			
エルボ	塩ビ製(カラー)VPφ100	2	か所			
	【西側下屋屋根】					
屋根仕上	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)嵌合式縦ハゼ葺き	117	㎡			
屋根下地	改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ厚1.0㎜	117	㎡			
屋根下地	VIボード厚75㎜ 同等品 (発泡性ﾎﾟﾘｴｽﾁﾚﾝ系ﾋﾞｰｽﾞ40倍発泡)	117	㎡			
屋根下地	VIﾀﾙｷ(ﾖｺ)@606 同等品	117	㎡			
軒先唐草	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	21.4	㎡			
通気水切	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	21.4	m			
軒先破風納め	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	21.4	m			
壁取合い水上雨押え	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	21.4	m			
ｹﾗﾊﾞ唐草	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	10.9	m			

屋内運動場	防水改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ｹﾗﾊﾞ破風納め	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)	10.9	m			
軒樋	塩ビ製(カラー)SUS支持金物共 (超芯V300同等品)	21.4	m			
落ち葉除け	ｱﾙﾐ製　既製品	21.4	m			
竪樋	塩ビ製(カラー)VPφ75 SUS支持金物共	24	m			
落し口	塩ビ製(カラー)VPφ100	6	か所			
竪樋排水ｶﾊﾞｰ	塩ビ製(カラー)VPφ100	6	か所			
	【床置ACｽﾍﾟｰｽ屋根】					
屋根仕上	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4立てハゼ葺き	7.6	㎡			
屋根下地	改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ厚1.0㎜	7.6	㎡			
屋根下地	木毛セメント板 厚12㎜	7.6	㎡			
軒先唐草	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工	8.8	m			
軒先破風納め	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工	8.8	m			
ｹﾗﾊﾞ唐草	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工	6.9	m			
ｹﾗﾊﾞ破風納め	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工	6.9	m			
水上雨押え	ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工 H120以上	8.8	m			

屋内運動場　防水改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱﾙﾐ製庇	D250×L1000 既製品　ｱﾙﾌｨﾝAF90同等品　材工共	2	か所			
ｱﾙﾐ製庇	D250×L2200 既製品　ｱﾙﾌｨﾝAF90同等品　材工共	2	か所			
	【内部仕上】					
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1)防かびﾀｲﾌﾟ	14.2	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系　MS-2	278	m			
防水ﾃｰﾌﾟ	幅50ﾐﾘ　外部建具廻り	234	m			
計						

屋内運動場　外壁改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
胴縁撤去	外壁下地材　集積共	687	㎡			
天井珪酸ｶﾙｼｳﾑ板撤去	一重張り　石綿含有(みなし)　集積共	58.4	㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ製階段撤去	鉄筋切断共ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ集積共	1.4	m3			
縁石ﾌﾞﾛｯｸ撤去	人力集積共	0.7	m3			
計						

屋内運動場		外壁改修			改修	
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜タイル工事＞						
床ﾀｲﾙ張り	Ⅰ類　耐凍害性磁器質ﾀｲﾙ張り 100角　(LIXIL:ｱﾚｽ同等)	21.1	㎡			
床ﾀｲﾙ (階段用段鼻ﾀｲﾙ張り)	Ⅰ類　耐凍害性磁器質ﾀｲﾙ張り 100角　(LIXIL:ｱﾚｽ同等)	20.9	m			
＜金属工事＞						
玄関パラペット 笠木（直線部）	ｱﾙﾐ製　W=200　外部	10.4	m			
玄関パラペット 笠木（ｺｰﾅｰ）	ｱﾙﾐ製　W=200　外部	2	か所			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし　外部	37.8	㎡			
＜左官工事＞						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ､ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装､階段	14.7	㎡			
床刷毛引仕上	スロープ	10	㎡			
＜外壁工事＞						
窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ	厚16　金具止め　超高耐候塗装品 ｺｰﾅｰ役物共	740	㎡			
同質品出隅	16×75×75	76.7	m			
同質品出隅	16×120×120	66.5	m			
土台水切	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　厚0.35ﾐﾘ	145	m			

屋内運動場　外壁改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｵｰﾊﾞｰﾊﾝｸﾞ水切	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　厚0.35ﾐﾘ	70.9	m			
外壁見切縁	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　厚0.35ﾐﾘ	220	m			
取合いｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 窓廻りｼｰﾘﾝｸﾞ含	894	m			
透湿防水ｼｰﾄ	ｔ=0.2	740	㎡			
軒天	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板　厚6.0㎜ ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK	37.8	㎡			
＜ユニット及びその他工事＞						
スロープ手すり	ｽﾃﾝﾚｽ製　材工共	15.4	m			
注意喚起用床材	塩化ﾋﾞﾆﾙ製　300×300	0.4	㎡			
屋外階段ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽ製35埋め込み CON階段　材工共	29.2	m			
＜外構工事＞						
砂利敷き	建物周り	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	建物周り　150/170×200×600	5.5	m			
計						

屋内運動場　建具改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW1 引違い窓撤去	W1270×H1170　枠共　集積共	3	か所			
AW2 引違い窓撤去	W1280×H1170　枠共　集積共	1	か所			
AW3 引違い窓撤去	W3800×H1170　枠共　集積共	1	か所			
AW4-1 引違い窓撤去	W5125×H1000　枠共　集積共	4	か所			
AW4-2 引違い窓撤去	W5162×H1000　枠共　集積共	1	か所			
AW5 引違い窓撤去	W1200×H1050　枠共　集積共	8	か所			
AW6 引違い窓撤去 (連窓・段窓)	W5125×H2200　枠共　集積共	8	か所			
AW7 引違い窓撤去 (連窓・段窓)	W4750×H2200　枠共　集積共	2	か所			
AD1 両開き窓撤去 (連窓・段窓)	W5160×H2460　枠共　集積共	1	か所			
SD1 鋼製ﾊﾝｶﾞｰ戸撤去	W2000×H2000　枠共　集積共	4	か所			
SD2 鋼製片開き戸撤去	W850×H2000　枠共　集積共	2	か所			
S1-1 床下換気口撤去	W800×H210　集積共	8	か所			
S2 防球格子撤去	W1550×H1030　集積共	15	か所			
WD1,WD1',WD5開き ドア撤去	W850×H2000　枠共　集積共	6	か所			
WD2,WD3開きドア 撤去	W850×H1800　枠共　集積共	3	か所			

屋内運動場　建具改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WD4引き分けドア撤去	W2000×H2000　枠共　集積共	1	か所			
WD4'引き分けドア撤去	W1800×H2000　枠共　集積共	2	か所			
WD6開きドア撤去	W1220×H780　枠共　集積共	1	か所			
TB1トイレブース撤去	枠共　集積共	1	か所			
TB2トイレブース撤去	枠共　集積共	1	か所			
計						

屋内運動場　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具＞						
AD-1	引分けハンガードア W4100×H2200×見込100 材工共	1	か所			
AW-1	引違い窓 W1600×H1100×見込70 材工共	2	か所			
AW-2	縦滑り+ＦＩＸ窓 W500×H1900×見込70 材工共	2	か所			
AW-3	ＦＩＸ窓 W500×H500×見込70 材工共	1	か所			
AW-4	引違い窓 W1200×H1100×見込70 材工共	1	か所			
AW-5	連窓　引違い窓 W5000×H1300×見込70 材工共	10	か所			
AW-6	引違い窓 W1200×H1300×見込70 材工共	4	か所			
＜鋼製建具＞						
SD-1	両引分け戸 W4400×H2150×見込90　材工共	2	か所			
SD-2	両開き戸 W2000×H2000×見込100　材工共	2	か所			
SD-3	片開き戸 W850×H2000×見込100　材工共	2	か所			
SD-4	親子開き戸（AC置き場） W1200×H2000×見込100　材工共	6	か所			
＜鋼製軽量建具＞						
LSD-1	片引きハンガードア W2200×H2150　材工共	1	か所			

屋内運動場　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
LSD-2	片引きハンガードア W1800×H2150　材工共	1	か所			
＜木製建具＞						
WD-1	片開きﾌﾗｯｼｭ戸 W850×H2000×見込36　材工共	3	か所			
WD-2	片開きﾌﾗｯｼｭ戸 W850×H2000×見込36　材工共	1	か所			
WD-3	両引分け戸 W4050×H2000×見込36　材工共	1	か所			
WD-4	両引分け戸 W3650×H2000×見込36　材工共	1	か所			
WD-5	片開きﾌﾗｯｼｭ戸 W850×H2000×見込36　材工共	2	か所			
＜ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ＞						
TB-1	トイレブース　女子トイレ メラミン化粧板　見込40　材工共	1	か所			
TB-2	トイレブース　男子トイレ① メラミン化粧板　見込40　材工共	1	か所			
TB-3	トイレブース　男子トイレ② メラミン化粧板　見込40　材工共	1	か所			
＜ｶﾞﾗｽ＞						
強化ｶﾞﾗｽ	特寸 厚さ5　2.0㎡以下	68.4	㎡			
強化型板ｶﾞﾗｽ	特寸 厚さ5　2.0㎡以下	7.5	㎡			
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4　特寸 2.18㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	0.02	㎡			

屋内運動場　建具改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
飛散防止ﾌｨﾙﾑ（透明）	耐摩耗性飛散防止ﾌｨﾙﾑ　遮熱性能	76	㎡			
計						

屋内運動場　内装改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ撤去	集積共	85.7	㎡			
床ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ撤去	ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・低鉄棒・ﾌﾛｱﾏｲｸ床金具撤去共 下地合板撤去　集積共	3.3	㎡			
胴縁撤去	木製　24×45	864	㎡			
木製幅木撤去	集積共	468	m			
床タイル撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ含む　集積共	31.8	㎡			
段鼻タイル撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ含む　集積共	1.4	㎡			
壁タイル撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ含む　集積共	45.6	㎡			
床下換気孔撤去	集積共	8	か所			
天井下地撤去	木下地　LGS共	188	㎡			
間仕切り壁下地撤去	木間柱　集積共	3.9	㎡			
木製下駄箱撤去	玄関　集積共	2	か所			
木製更衣棚撤去	更衣室　集積共	2	か所			
木製飾り棚撤去	器具庫　集積共	1	か所			
木製掃除用具入撤去	器具庫　集積共	1	か所			
舞台幕撤去	暗幕、緞帳、一文字幕、袖幕　集積共	1	式			

屋内運動場	内装改修	撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
壁ベニヤOP塗り 撤去	一重張り 集積共	846	㎡			
天井化粧石膏 ﾎﾞｰﾄﾞ撤去	一重張り 集積共	86	㎡			
天井ベニヤOP塗り 撤去	一重張り 集積共	43.1	㎡			
＜暗幕・ｶｰﾃﾝ撤去 ＞						
ｱﾘｰﾅ南面 ｽﾃｰｼﾞ側	W5650×H1520 集積共	1	か所			
ｱﾘｰﾅ南面 中央	W5650×H1520 集積共	1	か所			
ｱﾘｰﾅ北面 女子更衣室側	W5650×H1520 集積共	1	か所			
ｱﾘｰﾅ北面 中央	W5680×H1520 集積共	2	か所			
ｽﾃｰｼﾞ横南面	W1730×H1530 集積共	2	か所			
ｽﾃｰｼﾞ横北面	W1730×H1530 集積共	2	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ南面	W5650×H2470 集積共	4	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ南面　小窓	W1730×H1530 集積共	2	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ北面	W5650×H2470 集積共	4	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ北面　小窓	W1730×H1530 集積共	2	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ西面	W5090×H2650 集積共	2	か所			

屋内運動場	内装改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ撤去＞						
ｱﾘｰﾅ南面 ｽﾃｰｼﾞ側	L=5650 集積共	1	か所			
ｱﾘｰﾅ南面 中央	L=5600 集積共	1	か所			
ｱﾘｰﾅ北面 女子更衣室側	L=5650 集積共	1	か所			
ｱﾘｰﾅ北面 中央	L=5680 集積共	2	か所			
ｽﾃｰｼﾞ横南面	L=1730 集積共	2	か所			
ｽﾃｰｼﾞ横北面	L=1730 集積共	2	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ南面	L=5650 集積共	4	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ南面　小窓	L=1730 集積共	2	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ北面	L=5650 集積共	4	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ北面　小窓	L=1730 集積共	2	か所			
ｷﾞｬﾗﾘｰ西面	L=5090 集積共	2	か所			
大便器撤去	集積共	3	か所			
小便器撤去	集積共	3	か所			
洗面器撤去	集積共	3	か所			

屋内運動場	内装改修	撤去				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
掃除流し撤去	集積共	2	か所			
鏡撤去	集積共	2	か所			
ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ製甲板撤去	集積共	2.9	m			
木製階段撤去	ステージ横　集積共	2.1	㎡			
バレーボール基礎解体	集積共	0.4	m3			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面	28.2	m			
トイレ土間解体	集積共	2.6	m3			
トイレ地中梁解体	集積共	1.3	m3			
椅子収納台車撤去	集積共	15	㎡			
ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ撤去	集積共	2.9	㎡			
床点検口撤去	角450　集積共	2	か所			
計						

屋内運動場	内装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜タイル工事＞						
汚垂石貼	男子ﾄｲﾚ　W600×L2350	1	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	手洗い　ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ製 L1500×W150	2	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	SK　ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ製 L950×W150	1	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	洋式便器　ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ製 L750×W200	1	か所			
ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板	水飲み場人工大理石　L4950×W115	1	か所			
＜金属工事＞						
床点検口	屋内用 一般型貼物用 ｱﾙﾐ製枠 ｽﾃﾝﾚｽ目地 鍵有　600角	1	か所			
床点検口	屋内用 木質ﾌﾛｱ材用 ｱﾙﾐ製枠 ｽﾃﾝﾚｽ目地 鍵有　600角	2	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 450角	18	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 300角	3	か所			
ｽﾃﾝﾚｽ製壁見切枠	SUS製　25×125×t1.5HL H2300　材工共	2	か所			
軽量鉄骨天井下地 開口部補強	19形(屋内)　450×　450㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	21	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ含む	111	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	59	㎡			

屋内運動場　内装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000㎜程度	1	か所			
壁点検口	PS､ﾗｲﾆﾝｸﾞ部　内部	3	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 四方補強 300× 300㎜程度	3	か所			
ｺｰﾅｰ見切	ｱﾙﾐ製	13.4	m			
＜左官工事＞						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	32.3	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	木ごて タイル下地	21.1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　厚22	21.1	㎡			
屋外基礎立上り	モルタル刷毛引き　厚20	8.6	㎡			
基礎天端均し	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材　ｾﾒﾝﾄ系　厚10	2.7	㎡			
＜内装工事＞						
床　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ　厚2.0㎜　熱溶接工法 織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 一般床	55.4	㎡			
床　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ　厚2.0㎜　熱溶接工法 抗菌性積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部	32.3	㎡			
床　ｻﾝﾀﾞｰ掛け	素地調整含む	547	㎡			
床　ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｺﾞﾑ	厚15～20×幅15～20㎜	163	m			

屋内運動場　内装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床補修 ﾌﾞﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	厚15mm 合板捨貼り厚12mm特殊貼り共 ｱﾘｰﾅ床金具､ｽﾃｰｼﾞ床埋込ｺﾝｾﾝﾄ廻り	12.2	㎡			
巾木　ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	43.1	m			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り	厚12.5mm　不燃 (GB-R)	25.4	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り	厚12.5mm　不燃(GB-S)	98.2	㎡			
壁 化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	厚6.0　比重0.8以上 高耐久ｽｸﾗｯﾁ性 製品接着工法　ｼｰﾘﾝｸﾞ目地	95.6	㎡			
壁　出隅ｺｰﾅｰ	出隅アルミジョイナー	13.4	m			
壁　ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼り	量産品	18.5	㎡			
壁　断熱材	グラスウール24K　厚100mm 表面加工品	683	㎡			
天井　化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ (GB-D)	102	㎡			
天井　廻り縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	108	m			
天井　断熱材	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K　厚100mm	24.7	㎡			
＜ユニットおよびその他工事＞						
バレーボール用床金具	材工共	2	か所			
舞台下部台車	前面パネル付き　材工共	4	か所			
消火器ＢＯＸ	埋込型　材工共 ※本体消火器別途	2	か所			

屋内運動場　内装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
掃除用具掛け	SUS製　φ32､L=1000　材工共	1	か所			
カーテンレール	AW5　ｱﾙﾐ製　材工共	55	m			
カーテンレール	AW6　ｱﾙﾐ製　材工共	6.8	m			
カーテンレール	SD1 ｱﾙﾐ製　材工共	5	m			
カーテンレール	SD2　ｱﾙﾐ製　材工共	5	m			
一文字幕	W9700×H700 ﾋﾀﾞ無し 校章400φ付　3寸ﾌﾚﾝｼﾞ付 材工共	1	か所			
袖幕	W1600×H4020 1.5倍ﾋﾀﾞ　5寸ﾌﾚﾝｼﾞ付き 材工共	2	か所			
緞帳幕	W9700×H4020 交差500　2倍ﾋﾀﾞ 5寸ﾌﾚﾝｼﾞ付き　材工共	1	か所			
ｶｽﾐ幕	W10900×H600 1.5倍ﾋﾀﾞ 材工共	1	か所			
中幕	W10900×H4560 交差500　1.5倍ﾋﾀﾞ 材工共	1	か所			
ﾊﾞｯｸ幕	W10900×H4560 交差500　1.5倍ﾋﾀﾞ 材工共	1	か所			
舞台幕ﾚｰﾙ 袖幕	L=1600　手引き 材工共	2	か所			
舞台幕ﾚｰﾙ 緞帳幕	L=9700+ﾚｰﾙ交差500　紐引き 材工共	1	か所			
舞台幕ﾚｰﾙ 中幕	L=10900+ﾚｰﾙ交差500　紐引き 材工共	1	か所			
舞台幕ﾚｰﾙ ﾊﾞｯｸ幕	L=10900+ﾚｰﾙ交差500　手引き 材工共	1	か所			

屋内運動場	内装改修	改修				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
バスケットゴール	固定式パネルボード　材工共	2	組			
吊りバトン	ステージ用　材工共	1	か所			
コートライン引き	バスケットボール　材工共	2	組			
コートライン引き	バレーボール　材工共	1	組			
コートライン引き	バトミントン　材工共	2	組			
コートライン引き	シャトルラン　材工共	1	組			
コートライン引き	反復横飛び　材工共	1	組			
法定福利費	コートライン引き	1	式			
家具　下駄箱	玄関　材工共	2	か所			
家具　飾り棚	器具庫　材工共	1	か所			
家具　更衣棚	更衣室　材工共	1	か所			
家具　棚2段	ﾄｲﾚﾎｰﾙ　材工共	1	か所			
ピクトサイン	平付型　W150×H150	3	か所			
室名札	平付型　W250×H80	4	か所			
防球ネット	ステージ前	1	か所			

屋内運動場	内装改修	改修				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
防球ネット	アリーナSD扉前	4	か所			
計						

屋内運動場	塗装改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜外部＞						
ＤＰ塗り	鉄鋼 1級　下地調整RA種(塗替え面) 錆止め工程A種　　現場1回塗 塗料As種(鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種)	5.8	㎡			
遮熱塗料塗り	鉄鋼面　屋根用高日射反射率塗料 2種2級艶有 (JIS K 5675)	43	㎡			
ＥＰ－Ｇ塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面　工程B種(見上)　素地B種	37.8	㎡			
＜内部＞						
1-UC塗り	木部 A種 1-UC	547	㎡			
UC塗り	木部 B種 1-UC	1,110	㎡			
OSCL塗り	木部 工程B種 素地B種	204	㎡			
EP塗り	ﾎﾞｰﾄﾞ面　工程B種(一般)　素地B種	600	㎡			
ＳＯＰ塗り	鉄鋼面　　工程B種 塗料1種 錆止工程A塗料As種(鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 素地ごしらえ　工程C種	33.6	㎡			
ＳＯＰ塗り 改修仕様	木部　　工程B種 塗料1種 － 下地RB種(塗替え面)	66.5	㎡			
ＳＯＰ塗り 改修仕様	鉄鋼面　　工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料As種(鉛･ｸﾛﾑﾌﾘｰ1種) 下地RB種(塗替え面)	769	㎡			
防腐・防蟻塗装		23.9	㎡			
計						

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
＜土工事＞						
根切り	小規模土工 -	30.5	m3			
床付け	総掘り	16.6	㎡			
埋戻し		12	m3			
盛土	現場発生土 AC置き場ｺﾝｸﾘｰﾄ下部、 およびｽﾛｰﾌﾟｺﾝｸﾘｰﾄ下部	1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　土砂 DID区間無し 3.0km以下	17.5	m3			
残材処分	建設発生土	17.5	m3			
土工機械運搬		1	往復			
＜地業工事＞						
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	6.5	m3			
床下防湿層敷き	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15	33.3	㎡			
型枠用断熱材		1.3	㎡			
＜鉄筋工事＞						
異形鉄筋	SD295A　D10	0.4	t			
異形鉄筋	SD295A　D13	1	t			

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄筋加工組立	ﾄｲﾚﾋﾟｯﾄ部	0.8	t			
鉄筋加工組立	小型構造物	0.5	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車	1.3	t			
鉄筋ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		0.04	t			
差し筋ｱﾝｶｰ	D13 下向き	47	か所			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	M12×L450　ﾅｯﾄ座金含む材工共	28	本			
＜ｺﾝｸﾘｰﾄ工事＞						
捨てｺﾝｸﾘｰﾄ	Ｆｃ＝18Ｎ／ｍｍ2	1.6	m3			
ﾄｲﾚﾋﾟｯﾄｺﾝｸﾘｰﾄ(AC置き場含む)	Ｆｃ＝21Ｎ／ｍｍ2	30.2	m3			
ｽﾛｰﾌﾟ、および階段ｺﾝｸﾘｰﾄ	Ｆｃ＝21Ｎ／ｍｍ2	12.7	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ	1.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	ﾄｲﾚﾋﾟｯﾄｺﾝｸﾘｰﾄ(AC置き場含む)	30.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	ｽﾛｰﾌﾟ、および階段ｺﾝｸﾘｰﾄ	12.7	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送		3	回			
構造体強度補正	6N/㎟	42.8	㎡			

屋内運動場　躯体改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜型枠工事＞						
型枠	普通合板型枠　捨てｺﾝ	11.3	㎡			
型枠	普通合板型枠　基礎	65.6	㎡			
型枠	打放合板型枠B種　ｽﾛｰﾌﾟ	22.9	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車	99.8	㎡			
止水板	ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄｸﾆｼｰﾙC-31程度 ﾋﾟｯﾄ部分設置	17.6	m			
＜鉄骨工事＞						
ｶｯﾀｰ入れ	既存鉄骨部	10.4	m			
角形鋼管	STKR400　□-100×100×2.3 材料のみ	0.8	t			
H形鋼	SS400　H-100×100×6×8 材料のみ	0.2	t			
丸鋼	M16　JIS規格品　材料のみ	0.01	t			
平鋼	SS400　PL-6　材料のみ	0.2	t			
平鋼	SS400　PL-9　材料のみ	0.5	t			
SGP40A	φ48.6×3.5　材料のみ	0.03	t			
軽量形鋼不等辺山形鋼	SS400　L-125×75×7 ｱﾝｸﾞﾙﾋﾟｰｽ用	0.3	t			

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
軽量形鋼リップ溝形鋼	SSC400　C-100×50×20×2.3	2	t			
軽量形鋼リップ溝形鋼	SSC400　2C-100×50×20×2.3	1	t			
中ボルト	M12×L140　ﾅｯﾄ　座金含む　材工共	276	本			
中ボルト	M12×L40　ﾅｯﾄ　座金含む　材工共	588	本			
ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ	M16	2	か所			
鉄骨運搬費	6t車	4.7	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		0.2	t			
鉄骨工場溶接		111	m			
鉄骨工場錆止め塗料塗り		4.7	t			
バスケットゴール受け材	H型鋼､SGP40A加工	0.3	t			
軽量鉄骨加工・組立	母屋.胴縁の類 一 般 普通ﾎﾞﾙﾄ締共	4.4	t			
鉄骨現場溶接		116	m			
あと施工ｱﾝｶｰ	M12×L160　下向き　材工共	74	本			
ｱﾝｶｰ引張試験	１箇所（１本）	3	か所			
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	M12×L450　ﾅｯﾄ座金含む材工共	18	本			

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＜木工事＞						
構造材	下地補強 杉　特1等 100×100×4000 9丁 KD 杉　特1等 100×100×3000 50丁 KD 校歌額、ｽﾋﾟｰｶｰ	2.1	m3			
構造材	土台 桧注入　特1等 100×100×4000 5丁 KD	0.2	m3			
構造材	大引 杉　特1等 90×90×4000 9丁　KD AC置き場	0.3	m3			
構造材	間柱 杉　特1等 100×45×4000 28丁 KD 杉　特1等 100×45×3000 422丁 KD	6.5	m3			
構造材	野縁 杉　特1等 30×40×3000 112丁 KD 天井材下地	0.4	m3			
構造材	胴縁 杉　特1等 40×45×3000 408丁 KD 壁材下地	2.2	m3			
構造材	胴縁 杉　特1等 15×45×3000 368丁 KD 壁材下地	0.7	m3			
構造材	鼻隠し 杉　特1等 30×280×3000 12丁 KD	0.3	m3			
造作材	廻縁 杉上小　25×25×4000 2丁 杉上小　25×25×3000 29丁 ｱﾘｰﾅ、ｽﾃｰｼﾞ、放送室	0.1	m3			
造作材	巾木 杉上小　24×100×4000 12丁 杉上小　24×100×3000 75丁	0.7	m3			
造作材	羽目板 杉上小　本実加工 厚12mm×100×3000 766丁	2.8	m3			
造作材	木製建具枠 杉上小　185×25×4000 5丁 杉上小　185×25×3000 2丁	0.1	m3			

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
造作材	木製建具枠 杉上小　25×25×4000 6丁 杉上小　25×25×3000 2丁	0.02	m3			
造作材	木製建具枠 杉上小　280×40×4100 1丁 杉上小　280×40×4000 3丁	0.2	m3			
造作材	木製建具枠 杉上小　95×40×4000 2丁	0.03	m3			
造作材	カーテンBOX 杉上小　120×25×4000 2丁 杉上小　120×25×3000 1丁 杉上小　120×25×5200 10丁	0.2	m3			
造作材	カーテンBOX 杉上小　175×25×4000 2丁 杉上小　175×25×3000 1丁 杉上小　175×25×5200 10丁	0.1	m3			
造作材	カーテンBOX 杉上小　145×25×4000 4丁 杉上小　145×25×5200 10丁 杉上小　145×25×3000 1丁	0.3	m3			
造作材	サッシ額縁 杉上小　40×25×4100 1丁 杉上小　40×25×3000 2丁	0.01	m3			
造作材	サッシ額縁 杉上小　145×25×5000 20丁 杉上小　145×25×4000 15丁 杉上小　145×25×3000 1丁	0.8	m3			
造作材	３方枠 ﾅﾗ集成材　217×60×4000 ﾅﾗ集成材　217×60×3000	0.2	m3			
造作材	框 ﾅﾗ集成材　60×100×1000 2丁 ｽﾃｰｼﾞ階段	0.01	m3			
造作材	ｻｻﾗ桁 ﾅﾗ集成材　30×260×2000 4丁 ｽﾃｰｼﾞ階段	0.1	m3			

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
造作材	踏板 ﾅﾗ集成材　30×260×1000 10丁 ｽﾃｰｼﾞ階段	0.1	m3			
造作材	蹴込板 ﾅﾗ集成材　30×167×1000 12丁 ｽﾃｰｼﾞ階段	0.1	m3			
造作材	幕板 杉集成材　390×25×4000 4丁 杉集成材　390×25×3000 20丁 ｷｬｯﾄｳｫｰｸ側面	0.7	m3			
出入口枠	片開き　施工手間	6	か所			
出入口枠	２枚引分け　施工手間	2	か所			
額縁	窓出入口　施工手間	181	m			
壁仕上	シナ合板　厚5.5㎜目透かし貼り 材工共	783	㎡			
壁仕上	ラワン合板　厚5.5㎜目透かし貼り	61.8	㎡			
壁仕上	ラワン合板　厚5.5㎜貼り	66.6	㎡			
壁下地	耐水用合板　厚12㎜貼り	10.7	㎡			
壁下地	耐水用合板　厚24㎜貼り	4	㎡			
壁下地	構造用合板　厚12㎜貼り	837	㎡			
天井仕上	ラワン合板　厚5.5㎜貼り	8.6	㎡			
転ばし床用調整束		48	か所			

屋内運動場	躯体改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
基礎パッキン	t20mm	19	個			
大工手間	手元　造作工事費　接着剤､ビス類 目地処理含む	1	式			
計						

屋内運動場　環境配慮改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ撤去(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材)	ﾘｼﾝ吹付　集積共 手ばらし	687	㎡			
柱型ﾗｽﾓﾙﾀﾙ撤去(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材)	ﾘｼﾝ吹付　集積共	28.9	㎡			
養生費		1	式			
機械器具損料		1	式			
安全対策費		1	式			
外部ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	石綿含有(みなし) 集積共	424	m			
計						

屋内運動場　発生材処理　運搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	6.8	m3			
発生材積込	その他	50.9	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石綿含有建材(ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ) DID区間有り　60.0km以下	8.3	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石綿建材（ｼｰﾘﾝｸﾞ） DID区間有り　60.0km以下	0.04	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　2.5km以下	6.8	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　木材類 DID区間有り　6.5km以下	27.9	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 廃ﾌﾟﾗ類 DID区間無し　3.5km以下	0.1	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間無し　2.5km以下	0.8	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　ｶﾞﾗｽ陶磁器くず類 DID区間無し　2.5km以下	12	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 混合廃棄物類 DID区間無し　3.5km以下	0.6	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　鉄くず類 DID区間無し　4.5km以下	1	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 ｱﾙﾐ類 DID区間無し　4.5km以下	0.2	m3			
計						

屋内運動場	発生材処理			処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材ﾚﾍﾞﾙ3（サィディング）	8.3	m3			
発生材処分	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材ﾚﾍﾞﾙ3（シール）	0.04	m3			
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	6.8	m3			
発生材処分	木材類	27.9	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	0.1	m3			
発生材処分	石膏ボード類	0.8	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ・陶磁器くず類	12	m3			
発生材処分	混合廃棄物類	0.6	m3			
有価物処分	鉄くず類	7.9	t			
有価物処分	ｱﾙﾐ類	0.5	t			
計						

渡り廊下　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生		1	式			
整理清掃後片付け		1	式			
外部足場	階高4.0m以下 脚立足場　一般 80.7㎡	1	式			
計						

渡り廊下　防水改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
のきどい撤去	集積共	28.6	m			
たてどい撤去	集積共	13.2	m			
雨押え撤去	集積共	16.5	m			
計						

渡り廊下	防水改修			改修		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
渡り廊下屋根	※既存屋根(ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ)、および破風は塗装改修					
水上雨押え	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 曲げ加工	16.5	m			
軒樋	大型角どい（塩ビ製）　前高150型	16.5	m			
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管とい(ｶﾗｰ)	径75	13.2	m			
計						

渡り廊下　外壁改修　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
腰壁撤去	ｷｰｽﾄﾝﾌﾟﾚｰﾄ　ｔ0.8mm	11.7	㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ製水飲み場撤去	屋外　集積共	2.8	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ 集積共	0.2	m3			
計						

渡り廊下　外壁改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨						
角形鋼管	STKR400　□-100×100×2.3 材料のみ	0.02	t			
平鋼	SS400　PL-6　材料のみ　0.001t	1	式			
平鋼	SS400　PL-9　材料のみ　0.002t	1	式			
小角径鋼管	□-75×45×2.3　材料のみ 手すり用	0.04	t			
軽量形鋼等辺 山形鋼	SS400　L-40×40×3 手すり用	0.1	t			
中ボルト	M12×L140　ﾅｯﾄ　座金含む　材工共	2	本			
鉄骨運搬費		0.2	t			
鉄骨ｽｸﾗｯﾌﾟ控除		0.01	t			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り		0.2	t			
軽量鉄骨加工・組 立	母屋.胴縁の類　一　般 普通ﾎﾞﾙﾄ締共	0.2	t			
鉄骨現場溶接		51.4	m			
あと施工ｱﾝｶｰ	M12×L160　下向き　材工共	2	本			
ユニットおよび その他						
SUS製水飲み	L2400×H700×D450　材工共	2	か所			

渡り廊下　外壁改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ウッドデッキ 本体	人工木　H300　コイン落下防止仕様 材工共	9.3	㎡			
ウッドデッキ 階段１段	人工木　蹴込､側面塞ぎ D300×H150　材工共	2.4	m			
ウッドデッキ 幕板	人工木　H281　材工共	4.7	m			
腰壁	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ　t8.0mm　材工共	11.8	㎡			
外構						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	3.7	㎡			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ復旧 およびｺﾝｸﾘｰﾄ舗装		1	式			
計						

渡り廊下　塗装改修　改修

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ＤＰ塗り	鉄鋼 1級　下地調整RB種共	231	㎡			
計						

渡り廊下　発生材処理　運搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	3	m3			
発生材積込	その他	0.02	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　2.5km以下	3	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 鉄くず類 DID区間無し　4.5km以下	0.02	m3			
計						

渡り廊下　発生材処理　処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	3	m3			
有価物処分	鉄くず類 ヘビー　Ｈ２	0.2	t			
計						

外構	外構工事			撤去		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
樹木撤去①	高さ18m×幹周87cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去②	高さ1.1m程度　伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去③	高さ11m×幹回78cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去④	高さ20m×幹回234cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去⑤	高さ14m×幹回152cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去⑥	高さ12m×幹回り135cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去⑦	高さ11m×幹回100cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
樹木撤去⑧	高さ16m×幹回147cm程度 伐採伐根　集積共	1	か所			
ため桝撤去 都型	RCｺﾝｸﾘｰﾄ蓋　450□(　～ 400H)	4	組			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝 都型	RCｺﾝｸﾘｰﾄ蓋　450□(560～ 700H)	3	組			
計						

外構　発生材処理　運搬

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	1.2	m3			
発生材積込	その他	78.8	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　2.5km以下	1.2	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ1.4m3　木材類 DID区間無し　7.0km以下	78.8	m3			
発生材運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 鉄くず類 DID区間無し　4.5km以下	0.03	m3			
計						

外構　発生材処理　処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分	ｺﾝｸﾘｰﾄ類	5.6	m3			
発生材処分	木くず類	78.8	m3			
有価物処分	鉄くず類 ヘビー　Ｈ２	0.2	t			
計						

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有検査費	定性分析(16検体)	1	式			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有分析	定性分析	16	検体			
計						
土壌調査		1	式			
土壌調査	試料採取 土壌分析（30項目） 報告書作成含む	1	式			
計						
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	35t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き　賃料　標準	1	式			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	35t吊り　　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き　賃料 標準	4	日			
計						
キャスターゲート	存置期間10ヶ月	1	式			
キャスターゲート （組立解体共）	存置期間10ヶ月	1	式			
計						

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	1	式			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	105	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共 供用300日賃料 修理費含む	105	m			
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共 基本料 修理費含む	105	m			
計						
揮発性有機化合物の測定費	パッシブ型	1	式			
揮発性有機化合物の測定費	パッシブ型	4	個			
計						

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
仮設鉄板敷 （現場事務所）		1	式			
仮設鉄板敷	設置費　　敷鉄板 1524×6096×22㎜ －	108	㎡			
仮設鉄板敷	撤去費　　敷鉄板 1524×6096×22㎜ －	108	㎡			
仮設鉄板敷	整備費　　敷鉄板 1524×6096×22㎜ －	108	㎡			
仮設鉄板敷	供用300日賃料 敷鉄板 1524×6096×22㎜	108	㎡			
仮設敷鉄板運搬		108	㎡			
計						
仮設鉄板敷 （揚重機用）		1	式			
仮設鉄板敷	設置費　　敷鉄板 1524×6096×22㎜ －	130	㎡			
仮設鉄板敷	撤去費　　敷鉄板 1524×6096×22㎜ －	130	㎡			
仮設鉄板敷	整備費　　敷鉄板 1524×6096×22㎜ －	130	㎡			
仮設鉄板敷	供用6日賃料 敷鉄板 1524×6096×22㎜	130	㎡			
仮設敷鉄板運搬		130	㎡			
計						

建 築 工 事 仕 様 書

令和8年5月１日適用

Ⅰ　共通仕様

1. 工事積算について

本工事の積算は、栃木県県土整備部発行の建築工事積算基準　令和8年4月1日改定（改修建築工事）による。

共通費算出の為の工期は11．1カ月とする。

新設材の加工等により発生するスクラップの控除価格は、一般工事として共通費等を算出する。

撤去および解体により発生する有価物の控除価格は、共通仮設費、現場管理費および一般管理費の対象外として共通費等を算出する。

2. 工事仕様について

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書含む）に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」により施工するものとする。

最新情報及び改訂版等の管理は適宜行い、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

3. 下請業者の選定

受注者は、一次下請業者を選定する際、当該建設業者の社会保険等加入状況を確認のうえ、社会保険等に加入している建設業者を選定しなければならない。なお、二次下請以下の建設業者についても、原則、社会保険等に加入している建設業者を選定すること。

4. 成果品の電子納品について

受注者は、「鹿沼市電子納品運用ガイドライン」を遵守のうえ、成果品を電子納品すること。

5. 工事看板の設置基準について

工事看板の設置基準は、以下の URL を参照すること。

〇鹿沼市 HP：https://www.city.kanuma.tochigi.jp/manage/contents/upload/57d9000a825fd.pdf

6. 提出書類

受注者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

Ⅱ　特記仕様

1. 法定外の労災保険の付保

受注者は、本工事において法定外の労災保険に付さなければならない。法定外の労災保険とは、業務や通勤に起因した労働者の負傷、疾病、障害、死亡などに対して、労働者災害補償保険法(労災保険法)による労災補償給付とは別に、企業が独自の立場から補償給付の上積みを行うための保険をいう。

2. 週休2日制工事

本工事は、「通期の週休2日」に取り組むことを前提とした発注者指定型の営繕工事である。受注者は契約後、「週休2日制工事の実施計画書（様式第1号）」により発注者と協議したうえで週休2日制工事に取り組むこと。

3. 契約保証費について

本工事は、契約保証費を含む。

4. 安全対策と工期について

施工にあたっては近隣及び通行人等安全面に十分注意した工事計画を立て、作業ごとに作業期間や作業手順等を明確にした工程表を作成し承諾を受けることまた、監督職員との工程管理協議を密にし極力工期短縮に努めること。

5. 建設発生土の処分について

受注者は、本工事における建設発生土を工事仕様及び関連する法令に基づき適正に処分しなければならない。

6. 建設発生土処理場所

鹿沼市茂呂１８５３－３　　運搬距離　３．０㎞程度

処分先、費用に変更が生じる場合は、監督職員と協議する。

7. 現場作業期間及び施工条件について

（1）施工にあたっては市監督員、鹿沼市教育委員会事務局職員並びに学校関係者と連絡・調整を行い、学校運営に支障をきたさぬよう、安全面に十分注意した改修工事計画を立て、作業エリアごとに作業期間や作業手順等を明確にした工程表を作成し承諾を受けること。

また施工に先立ち、現場を十分に調査し施工に支障がないこと等をあらかじめ確認し、監督員に施工図等で承諾を得ること

（2）現場の事前調査及び施工は、学校の通常授業と並行しながらの作業になるため、安全面には十分注意すること。

（3）学校行事日（テスト、運動会、参観日等）の工事については、学校と十分に協議すること。

（4）学校関係者への周知のため速やかに現場調査の上、工程表を作成すること。

（5）土曜、日曜、祝日等の学校閉庁日の作業は、学校との事前協議調整により可能とする。

【学校の業務時間】

月曜から金曜　　：午前 8:00 から午後 16:45 まで（通常勤務時間）

土曜、日曜、祝日、8 月 13 日～8 月 16 日、12 月 27 日～1 月 5 日　：　休業

８．猛暑による作業不能日数について

本工事は、猛暑による作業不能日数を9日間見込んでいる。

９．使用木材について

本工事の木工事において使用する木材は鹿沼産材とし、栃木県産材出荷証明制度により産地証明された木材の使用に努めること。

１０．他工事との取り合いについて

分離発注工事である電気設備工事、機械設備工事は令和8年9月25日開札予定である。

これらの受注業者と綿密な打合せを行い工事全体に支障が出ないよう十分な調整を行う事。

別紙―1

鹿沼市工事資料一覧表(営繕工事)

R2.2.1

※1　**1. 提出書類**

No.	工　事　資　料　名	1000万円未満	検査資料	1000万円以上	検査資料	備　　考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24-7、建則14の6
3	工事部分下請通知書	○	●	○	●	契9
4	再生資源利用・利促進(実施)書(計画書は施工計画書)、データ※5	○	●	○	●	リサイクル法
5	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	○	●	○	●	特記仕様書
6	設計図書照査表	○	●	○	●	契19
7	実施工程管理図表(月毎及び完成時)	○	●	○	●	標準仕様書、契13
8	総合施工計画書	○※2	●	○	●	標準仕様書
9	工種別施工計画書(施工要領書)	○	●	○	●	標準仕様書
10	工種別施工報告書	○	●	○	●	標準仕様書
11	工事打合せ簿	○	●	○	●	契11の2、11の4
12	工事写真　※6	○	●	○	●	契16、鹿沼市電子納品ガイドライン
13	材料機器承諾図	○	●	○	●	契15
14	主要資材(及び機器)数量比較調書	○	●	○	●	標準仕様書
15	施工図・見本・カタログ等見本帳	○	●	○	●	標準仕様書
16	工事検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
17	工事材料試験検査記録	○	●	○	●	標準仕様書
18	製品の立会い検査願い	△	△	△	△	標準仕様書
19	官公署届出書一覧(写し共)	○	●	○	●	標準仕様書
20	竣工図・施工図(製本)	○		○		
21	電子納品成果品(事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む)	電子納品の範囲については監督員と協議による				鹿沼市電子納品ガイドライン
22	保全に関する書類(完成図、取扱い説明書、保証書等)	○	●	○	●	
23	その他	監督員が必要と認める資料				
		○:作成資料 ●:検査で確認する資料 △:該当する場合に作成する資料(検査で確認)				

※1　提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2　1000万未満の総合施工計画書に記載する事項
1　工事概要
2　現場組織表
3　緊急時の体制及び対応
4　再生資源利用・利用促進(計画)書
5　その他(請負者・発注者が工事施工上必要な事項)

※3　請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。(施工計画書等は不要)

※5　建設副産物情報交換システム(COBRIS)を利用して登録した場合は、電子データの提出不要。電子データで提出する場合、国土交通省のホームページより配布している様式(Excel版)で作成する。

※6　インデックスプリントは監督員が指示した場合作成する。省略する場合は、検査時に電子データ(写真等)を確認できる用意をする。

※4　**2. 請負者手持ち資料**

No.	工　事　資　料　名	検査資料	備　　考
1	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、特記仕様書
2	交通整理員集計表及び伝票		
3	安全教育実施記録簿(写真添付)		安59、安則35
4	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		中小企業退職金共済法
5	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安14、安則16
6	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安59、安則35
7	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則35
8	作業員名簿(自社・下請)		安30
9	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
10	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		標準仕様書、考査
11	工事カルテ(請負額500 万円以上)		特記仕様書
12	創意工夫提案資料(状況写真添付)	△	考査
13	地域ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
14	使用機器車両の点検記録		
15	休暇期間の巡視計画書		

※4　請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。(原本・原稿等提示)

建	建設業法
建則	建設業法施行規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
契	鹿沼市建設工事請負契約書
標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(建築工事編、電気設備編、機械設備編) 公共建築改修工事標準仕様書、建築物解体工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事
（建築工事）

2026年6月

有限会社モード設計事務所

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面リスト

A-00	図面リスト	A-34	屋内運動場_1階 平面詳細図(1)[改修前]	A-68	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(東)[改修前・改修後]	L-1	外構配置図[改修前・改修後]
A-01	改修工事特記仕様書(その1)	A-35	屋内運動場_1階 平面詳細図(1)[改修後]	A-69	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(南)[改修前・改修後]	S-1	構造設計標準仕様
A-02	改修工事特記仕様書(その2)	A-36	屋内運動場_1階 平面詳細図(2)[改修前]	A-70	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(西)[改修前・改修後]	S-2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-03	改修工事特記仕様書(その3)	A-37	屋内運動場_1階 平面詳細図(2)[改修後]	A-71	屋内運動場_コートライン配置図・バレーボール用基礎詳細図	S-3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-04	改修工事特記仕様書(その4)	A-38	屋内運動場_1階 トイレ 平面詳細図[改修前・改修後]	A-72	屋内運動場_バスケットゴール詳細図	S-4	鉄骨構造標準図(1)
A-05	改修工事特記仕様書(その5)	A-39	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(1)[改修前]	A-73	屋内運動場_バスケットゴール鉄骨詳細図	S-5	鉄骨構造標準図(2)
A-06	改修工事特記仕様書(その6)	A-40	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(1)[改修後]	A-74	屋内運動場_コンクリート階段　詳細図	S-6	基礎伏図[改修前]
A-07	案内図・配置図[改修前]	A-41	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(2)[改修前]	A-75	屋内運動場_玄関スロープ 詳細図[改修前・改修後]	S-7	基礎伏図[改修後]
A-08	案内図・配置図[改修後]	A-42	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(2)[改修後]	A-76	屋内運動場_ウッドデッキ 詳細図(参考図)	S-8	1階梁伏図[改修前]
A-09	敷地求積図	A-43	屋内運動場_1階 天井伏図[改修前]	A-77	屋内運動場_床置ACスペース(一般部) 詳細図[改修前･改修後]	S-9	1階梁伏図[改修後]
A-10	外部仕上表[改修前・改修後]	A-44	屋内運動場_1階 天井伏図[改修後]	A-78	屋内運動場_床置ACスペース(渡り廊下側) 詳細図[改修前]	S-10	小屋伏図[既存図]
A-11	内部仕上表[改修前・改修後]	A-45	屋内運動場_キャットウォークレベル 天井伏図[改修前]	A-79	屋内運動場_床置ACスペース(渡り廊下側) 詳細図[改修後]	S-11	軸組図(A通り)[改修前・改修後]
A-12	面積表[改修前]	A-46	屋内運動場_キャットウォークレベル 天井伏図[改修後]	A-80	屋内運動場_床置ACスペース(器具庫側) 詳細図[改修前･改修後]	S-12	軸組図(Ab通り)[改修前・改修後]
A-13	面積表[改修後]	A-47	屋内運動場_屋根伏図[改修前]	A-81	屋内運動場_部分詳細図(9)[改修前・改修後]	S-13	軸組図(E通り)[改修前・改修後]
A-14	法チェック図(1)	A-48	屋内運動場_屋根伏図[改修後]	A-82	屋内運動場_部分詳細図(10)[改修前・改修後]	S-14	軸組図(Eb通り)[改修前・改修後]
A-15	法チェック図(2)	A-49	鋼製建具表[改修前]	A-83	木間柱 割付参考図(1)[改修前・改修後]	S-15	軸組図(8・F通り)[改修前・改修後]
A-16	法チェック図(3)	A-50	鋼製建具表[改修後]	A-84	木間柱 割付参考図(2)[改修前・改修後]	S-16	軸組図(1・6通り)[改修前・改修後]
A-17	屋内運動場_1階 平面図・キープラン[改修前]	A-51	木製建具表[改修前]	A-85	木間柱 割付参考図(3)[改修前・改修後]	S-17	軸組図(2・3・7通り)[既存図]
A-18	屋内運動場_1階 平面図・キープラン[改修後]	A-52	木製建具表[改修後]	A-86	木間柱 割付参考図(4)[改修前・改修後]	S-18	基礎・地中梁・スラブリスト
A-19	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面図・キープラン[改修前]	A-53	屋内運動場_1階　AC置き場　建具図	A-87	木間柱 割付参考図(5)[改修前・改修後]	S-19	地下ピット詳細図
A-20	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面図・キープラン[改修後]	A-54	家具図[撤去]	A-88	木間柱 割付参考図(6)[改修前・改修後]	S-20	床置きACスペース(一般部)_鉄骨詳細図[改修前・改修後]
A-21	屋内運動場_南立面図[改修前・改修後]	A-55	家具図(1)[新設]	A-89	木間柱 割付参考図(7)[改修前・改修後]	S-21	床置きACスペース(渡り廊下側)_鉄骨詳細図[改修前]
A-22	屋内運動場_東立面図[改修前・改修後]	A-56	家具図(2)[新設]	A-90	渡り廊下_平面詳細図／立面図[改修前]	S-22	床置きACスペース(渡り廊下側)_鉄骨詳細図[改修後]
A-23	屋内運動場_北立面図[改修前・改修後]	A-57	屋内運動場_玄関_展開図[改修前・改修後]	A-91	渡り廊下_平面詳細図／立面図[改修後]		
A-24	屋内運動場_西立面図[改修前・改修後]	A-58	屋内運動場_器具庫_展開図[改修前・改修後]	A-92	渡り廊下_屋根伏図[改修前・改修後]		
A-25	屋内運動場_断面図(1)[改修前・改修後]	A-59	屋内運動場_女子更衣室_展開図[改修前・改修後]	A-93	渡り廊下_断面詳細図[改修前]		
A-26	屋内運動場_断面図(2)[改修前・改修後]	A-60	屋内運動場_男子便所・女子便所_展開図[改修前]	A-94	渡り廊下_断面詳細図[改修後]		
A-27	屋内運動場_断面詳細図(1)[改修前・改修後]	A-61	屋内運動場_アリーナ(トイレ前通路)・男子更衣室_展開図[改修前]	A-95	渡り廊下_詳細図[改修後]		
A-28	屋内運動場_断面詳細図(2)[改修前・改修後]	A-62	屋内運動場_ﾄｲﾚﾎｰﾙ･男子ﾄｲﾚ･女子ﾄｲﾚ･多機能ﾄｲﾚ_展開図[改修後]	A-96	渡り廊下_水呑場_詳細図[改修前・改修後]		
A-29	屋内運動場_断面詳細図(3)[改修前・改修後]	A-63	屋内運動場_アリーナ_展開図(東)[改修前・改修後]	A-97	校舎棟_天井伏図[改修前・改修後]		
A-30	屋内運動場_断面詳細図(4)[改修前・改修後]	A-64	屋内運動場_アリーナ_展開図(北)[改修前・改修後]	A-98	仮設計画図		
A-31	屋内運動場_断面詳細図(5)[改修前・改修後]	A-65	屋内運動場_アリーナ_展開図(南)[改修前・改修後]				
A-32	屋内運動場_断面詳細図(6)[改修前・改修後]	A-66	屋内運動場_アリーナ_展開図(西)[改修前・改修後]				
A-33	屋内運動場_断面詳細図(7)[改修前･改修後]	A-67	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(北)[改修前・改修後]				

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	図面リスト	承認	作成者	図面番号
縮尺	Non	作成日	2026年6月4日	A-00

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事（建築工事）　特記仕様書

Ⅰ　工事概要

１．工事場所　　鹿沼市南上野町 503 の一部
２．敷地面積　　32576.41 ㎡
３．用途地域その他の地域　　市街化調整区域
４．工事種目

建築物名称	工事種別	構造概要	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
屋内運動場	大規模な模様替え	S造　平屋建て	776.90m2	695.28m2

５．指定部分　　・有　●無
対象部分（　　）指定部分工期（　年　月　日）

Ⅱ　建築工事仕様

１．共通仕様

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書（質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和７年版）」（以下「改修標仕」という。）に準拠し、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（令和７年版）」（以下「標仕」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和７年版）」（以下「解体共仕」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。

（１）　質問回答書（（２）から（５）に対するもの）
（２）　現場説明書（建築工事仕様書含む）
（３）　特記仕様書
（４）　図面及び設計書
（５）　改修標仕、標仕及び解体共仕

また、公営住宅工事においては上記の一部に加え、公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建設工事共通仕様書（令和７年度版）」（以下、「公住仕」という。）及び「公共住宅改修工事共通仕様書（初版）」（以下、「改修公住仕」という。）に準拠するものとし、優先順位は次による。

（１）　質問回答書（（２）から（６）に対するもの）
（２）　現場説明書（建築工事仕様書含む）
（３）　特記仕様書
（４）　図面及び設計書
（５）　改修標仕及び解体共仕
（６）　公住仕及び改修公住仕
（７）　機材の品質・性能基準（令和７年度版）（以下、「品質・性能基準」という。）

２．特記仕様

（１）　項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（２）　特記事項で●印、◎印、・印のある場合の適用は下記による。
●印の付いた仕様は全て適用する。
●印の付かない場合は、◎印の付いた仕様を適用する。
・印のみの仕様は適用しない。
（３）　特記事項に記載の（．．．）内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図または表を示す。
（４）　特記事項に記載の（標仕．．）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または表を示す。
（５）　特記事項に記載の（公住仕．．）内表示番号は、公住仕の当該項目、当該図または表を示す。
（６）　製造所名は五十音順とし、「株式会社」等の記載は省略する。また、（　　）内は製品名を示す。
［Ｇ］印は、「栃木県グリーン調達推進方針」の特定調達品目を示す。

１章　一般共通事項

○1-1　適用基準等

◎建築工事標準詳細図　　国土交通省大臣官房官庁営繕部制定（令和４年版）
◎敷地調査共通仕様書　　国土交通省大臣官房官庁営繕部制定（令和４年版）
◎工事写真撮影ガイドブック（建築工事編及び解体工事編）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和５年版）
◎建築物におけるコンクリートの品質管理実施要領　栃木県土木部技術管理課（平成 14 年 12 月）
◎建設工事に伴う騒音振動対策技術指針　建設省大臣官房技術参事官通達（昭和 62 年３月改正）
◎手すり先行工法に関するガイドライン　（令和５年 12 月改正）

○1-2　工事実績情報システム（CORINS）への登録　（1.1.4）

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金が 500 万円以上の工事について、工事実績情報を作成し監督職員の確認を受けた上、登録機関へ登録申請を行う。

○1-3　発生材の処理等

［発生土］
・構内指示の場所に敷均し　・構外指示の場所にたい積
・構内指示の場所にたい積　たい積場所（　　）
◎構外搬出適切処理（処理場所は入札条件書（特記事項）による）
［発生土以外の発生材］
・引渡しを要するもの　・有　名称（　　）　・無
・特別管理型産業廃棄物　・有　名称（　　）　・無
処理方法（　　）
・再利用及び再資源化を図るもの　・有　名称（　　）　・無
◎上記に指定されていないものは、改修標仕 1.3.11（2）及び「建設廃棄物処理指針」（平成 22 年版）によるほか、下記により構外に搬出し適切に処理する。
（１）　建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、法令等に基づき、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成・提出し、これらの記録を工事完成後１年間保存しておくこと。なお、「建設混合廃棄物の現場分別」については、【現場分別マニュアル】も参考に分別の徹底に取り組むこと。
関東地方整備局 HP ＞ 技術情報 ＞ その他 ＞ 建設リサイクル
https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000094.html
（２）　建設副産物の処理に先立ち、あらかじめ監督職員に確認を受けた「建設副産物処理承認申請書」を提出すること。
（３）　建設副産物の処分にあたって、提出事業者（元請業者）は処理業者と建設副産物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に、収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出すること。
（４）　建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料（受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等）を提示し確認を受けること。
（５）　建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」の交付されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。なお、回収したマニフェストについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。

○1-4　品質計画（1.2.2）

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
◎風圧力
風速（Vo＝30m/s）
地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　◎Ⅲ　・Ⅳ）
◎積雪荷重　40cm
平成 12 年５月 31 日建設省告示第 1455 号別表（　　）

○1-5　電気保安技術者の配置（1.3.3）

・要　　◎不要

○1-6　施工条件明示（1.3.5）

◎工事用車両の駐車場所　◎敷地内　・敷地外（　　）
◎資機材の置場所　　◎敷地内　・敷地外（　　）

○1-7　材料の検査に伴う試験（1.4.5）

構造体コンクリートの強度試験及び鉄筋のガス圧接部の引張り試験は下記の機関による。
（１）（公財）とちぎ建設技術センター
（２）足利大学
（３）（株）中研コンサルタント関東技術センター
（４）栃木県中央生コンクリート協同組合栃木県生コンクリート技術センター

○1-8　建築材料の品質等（1.4.2）

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の項目を満たすものとし、証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行なわれていること。
（３）安定的な供給が可能であること。
（４）法令等で定める許可、認可、認定、または免許等を取得していること。
（５）製造または施工の実績があり、その信頼性があること。
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること。
また、本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された材料は、設計図書に規定するものまたは同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、同等品等使用願を監督職員に提出して承諾を受ける。
なお、同等品の中で、一般社団法人公共建築協会編集「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（以下、「評価名簿」という。）に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図書に規定するものと同等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。

○1-9　再生骨材の品質確保について

本工事に再生骨材を利用する場合は、「再生クラッシャーランの品質確保に関する当面の措置について」（平成 15 年９月 16 日栃木県県土整備部技術管理課）により、現場搬入時に目視確認を行い、「再生クラッシャーラン（RＣ材）品質確認状況報告書」を作成の上、速やかに監督職員に提出するものとする。

○1-10　アスベスト含有分析調査済箇所

調査済箇所（材料名）	含有の有無
屋内運動場 外壁（サイディングボード+リシン吹付）	・無　●有（含有物質名：クリソタイル・アモサイト）
屋内運動場 玄関 天井裏（折板裏断熱材）	●無　・有（含有物質名：　　）
	・無　・有（含有物質名：　　）

○1-11　アスベスト含有建材の調査（1.5.1）

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
平成 18（2006）年９月１日以降に着工した建築物等　・該当する（　）　●該当しない（　）

調査箇所（材料名）	調査方法（１材料あたりの採取箇所数）
床：100 角磁器タイル下地材，長尺塩ビシートモルタル下地，磁器モザイクタイル下地材	◎定性分析（◎３　・　）・定量分析（・３　・　）
壁：100 角磁器タイル，ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ，ﾗｽﾓﾙﾀﾙﾓﾙﾀﾙ+ﾘｼﾝ吹付	◎定性分析（◎３　・　）・定量分析（・３　・　）
外巾木：モルタル、框：ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ、水呑場：人研ぎ	◎定性分析（◎３　・　）・定量分析（・３　・　）

分析対象　◎アスベスト６種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
分析方法　◎定性分析にあっては JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2 により、定量分析にあっては JIS A 1481-3 、JIS A 1481-4 または JIS A 1481-5 による。
貸与資料　◎石綿含有建材の調査報告書　・
分析結果については、監督職員に提出すること。

○1-12　化学物質を発散する建築材料等（1.7.9）

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）から（５）を満たすものとする。
（１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
（２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
（３）接着剤は可塑剤（フタル酸ジｰｎｰブチル及びフタル酸ジｰ２ｰエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものを使用する。
（４）接着剤及び塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
（５）（１）（３）及び（４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①　建築基準法施行令第 20 条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②　建築基準法施行令第 20 条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③　建築基準法施行令第 20 条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④　建築基準法施行令第 20 条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○1-13　特殊な材料の工法

改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

・1-14　技能士（1.7.2）

適用工事種別	技能検定の種別
仮設工事	●とび作業
鉄筋工事	●鉄筋組立作業
コンクリート工事	●型枠工事作業　・コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	●構造物鉄工作業　・とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ	・コンクリートブロック工事作業
押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ●シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP 防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	●タイル張り作業
木工事	●大工工事作業
屋根及びとい工事	●内外装板金作業　・スレート工事作業
金属工事	●鋼製下地工事作業　・内外装板金作業
左官工事	●左官作業
建具工事	●ビル用サッシ施工作業　・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業　・ガラス工事作業
塗装工事	●建築塗装作業
内装工事	●プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業　・壁装作業 ●ボード仕上げ工事作業
排水工事	●建築配管作業
舗装工事	・溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	・造園工事作業

○1-15　化学物質の濃度測定　（1.7.9）

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定方法	◎パッシブ型	・アクティブ型
着工前の測定	◎行わない	・行う
測定対象室	・図示	●トイレ（女子、男子）、アリーナ、ステージ
測定箇所数	・図示	●4 箇所

（住宅工事の場合は１住戸当たり２室以上）
報告の様式等については監督職員の指示による

○1-16 完成図等（1.9.2.3）

◎作成する　・作成しない
◎完成図　◎製本　提出部数　◎２部　・　部
複写２つ折り製本見開き A2　１冊、見開き A3　１冊
◎ＣＤ－Ｒ　提出部数　２部
◎施工図　提出部数　・２部
◎保全に関する資料　提出部数　・２部

○1-17　施工図等の取り扱い　（1.9.2）

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

○1-18　完成写真

下記のものを監督職員に提出する。

分類・規格	提出部数	画素数、画質等
・カラーキャビネ版 ・アルバム綴じ（黒表紙金文字入り） ・べた焼き（他に外観正面１ｶｯﾄ５枚（ｶﾗｰｷｬﾋﾞﾈ版）提出	・２	・428 万画素以上
・カラーパネル 324×400mm	・３	
◎電子データ	◎２	◎428 万画素以上 ◎350dpi 以上

電子データは JPE［Ｇ］形式としＣＤ－Ｒにて提出する。
撮影箇所及び箇所数は監督職員との協議による。

○1-19　他工事との取り合い

別表－１による他工事との取り合いについては、設備機器の位置、取り合い等の検討のできる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

○1-20　設計GL

監督職員の指示による。

○1-21　調査試験に対する協力

（１）受注者は、発注者が自らまたは発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。
（２）受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。
ア　調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
イ　調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合には、その実施に協力しなければならない。
ウ　正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
エ　対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

○1-22　火災保険等

火災保険、建設工事保険、組立保険または土木工事保険等のうち１以上に加入する。
契約期間の始期は、材料（仮設、型枠材を除く）搬入時以前とし、終期は、工事目的物（分離発注においては、引き渡しが最後となる工事目的物）の引き渡しの翌日までとする。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

○1-23　法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

○1-24　下請負人の選定及び工事材料の選定

◎受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を市内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。
◎受注者は、市内で産出、生産または製造される資材等の規格品質等が本設計の仕様に適合すると認められる場合は、優先して使用するよう努めること。

○1-25　電子納品

◎適用基準は「鹿沼市電子納品ガイドライン（第５版）」とする
設計 CADﾃﾞｰﾀの貸与　・無　◎有（著作者名　鹿沼市）
◎貸与する CADﾃﾞｰﾀを該当工事における施工図または完成図の作成のため以外には使用してはならない。
◎書面における署名及び捺印の取り扱いは、監督職員との協議による。

○1-26　交通安全管理（1.3.9）

受注者は、栃木県公安委員会が定める路線（令和５年 11 月 30 日栃木県公安委員会告示第 61 号）の交通誘導を行う場合は、その現場ごとに交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員または二級検定合格警備員を１人以上配置しなければならない。

○1-27　環境対策（1.3.11）

（１）騒音・振動対策
受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成 13 年４月９日国交省告示第 487 号）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議するものとする。
（２）排出ガス対策
受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第３に掲げる建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年 10 月８日付け建設省経発第 249 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械または同等の建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議するものとする。
（３）グリーン購入法
受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業毎の特性を踏まえ、必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年法律第 100 号。「グリーン購入法」という。）」第 10 条及び「栃木県生活環境の保全等に関する条例」第 63 条で定めた「栃木県グリーン調達推進方針」に定められた特定調達品目の使用を推進するものとする。

○1-28　施工数量調査等（1.6.2.3）

調査範囲及び調査方法　・図示
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示
［埋設物等の調査等］
給排水管、ガス管、ケーブル等の埋設が予想される場合は、調査を行うこと。なお、給排水管等を掘り当てた場合は、損傷しないように注意し、必要に応じて、応急処置を行い、監督職員及び関係者と協議すること。また、工事に支障となる障害物を発見した場合は、監督職員と協議すること。ただし、容易に取り除ける障害物はこの限りではない。

○1-29　事故報告

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職員が指示する様式（工事事故報告書）で指示する期日までに提出しなければならない。
［工事事故等が発生した場合の早期報告の徹底について］
万が一事故等が発生した場合、被災者の救護・現場の安全確保を最優先のうえ、警察・消防・労働基準監督署等関係機関への通報と合わせ、直ちに発注機関へ通報すること。
工事事故等が発生した場合、事故の大小を問わず、直ちに監督職員へ通報すること。
なお、事故発生の連絡においては、休日、時間外を問わず行うこととし、資料の有無は問わない。
また、本指示内容については、下請けを含む作業員や資機材運搬業者、交通誘導員等の工事関係者全てに行き届くよう周知徹底すること。

○1-30　不正軽油使用の防止対策

（１）本工事は、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年５月 25 日法律第 51 号）を遵守すること。
（２）本工事で使用しまたは使用させる軽油使用の車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料には規格（ＪＩＳ）に合った軽油を使用すること。また、県または市が使用燃料の抜き取り調査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うこと。

○1-31　過積載対策

ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。
（１）積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。
（２）過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
（３）資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
（４）さし枠装着車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
（５）過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
（６）取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、またはさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
（７）「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
（８）下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者または業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
（９）（１）～（８）のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事（建築工事）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その１）	図面番号
設計年月日		Ａ－０１
設計者	一級建築士（351618 号）石川大悟	
発注者	鹿沼市	

（鹿沼市 R7.4）

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)　特記仕様書

○1-32　暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

（１）鹿沼市が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求または工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

（２）（１）により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

（３）発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

○1-33　工事の一時中止

（１）鹿沼市建設工事請負契約書第 20 条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。

（２）工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

○1-34　墜落制止用器具の着用

「労働安全衛生法施行令第 13 条第３項第 28 号」における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成 31 年１月 25 日厚生労働省告示第 11 号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具）とする。

２章　仮設工事

○2-1　監督職員事務所等（2.4.1）

・設ける　　◎設けない
監督職員事務所の規模　・10㎡程度　・20㎡程度　・35㎡程度　・65㎡程度　・100㎡程度
備品　種類・数量（　　）

○2-2　工事用水

構内既存の施設　　・利用できない　　◎利用できる（◎有償　・無償）

○2-3　工事用電力

構内既存の施設　　・利用できない　　◎利用できる（◎有償　・無償）

○2-4　足場その他（2.2.1）

内部足場　　●設ける（●脚立、足場板、棚足場（屋内運動場　）　・設けない
外部足場　　●設ける　・設けない
　足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て、解体または変更の作業時及び使用時には、常時同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式または（３）手すり先行専用足場方式により行う。
　なお、これにより難い場合は監督職員と協議すること。
・本工事で定置したものを別契約の関係請負者が無償で使用できる。
防護シートによる養生　　◎行う　・行わない
材料、搬去材等の運搬　　・Ａ種　◎Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種

○2-5　養生（2.3.1）

既存部分の養生　　◎ビニールシート等　・合板等
既存家具等の養生　　◎ビニールシート等　・合板等
固定家具等の移動　　・行わない　◎行う（図示 A-63 額縁等）

・2-6　仮設間仕切（2.3.2）

仮設間仕切り等の種別

種別	下地	仕上材（厚さmm）	充填材（厚さ）	塗装
・Ａ種	◎軽量鉄骨	・合板（◎9.0　・　　）	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ（　mm）	◎無
・Ｂ種	・木下地	◎せっこうボード（◎9.5　・　　）		・片面
◎Ｃ種	◎単管下地	◎防炎シート		―
仮設扉	◎木製扉	◎合板張り程度		◎無
	・鋼製扉	・片面フラッシュ程度		・有

３章　防水改修工事

・3-1　アスファルト防水（3.2.2,5）(3.3.2,3）(表 3.1.1）(表 3.3.3～10)

工法		施工箇所	種別			
屋根保護防水絶縁	・P1B		・B－1	◎B－2	・B－3	
	・P1BI　・T1BI		・BI－1	◎BI－2	・ＢＩ－3	
	・P2AI		・AI－1	◎AI－2	・ＡＩ－3	
	・P2A		・A－1	◎A－2	・A－3	
屋根露出防水	・M4C		・C－1	◎C－2	・C－3	・C－4
	・M3D・P0D		・D－1	◎D－2	・D－3	・D－4
屋根露出防水絶縁断熱	・P0DI ・M3DI ・M4DI		・DI－1	◎DI－2		
屋内防水	・P1E　・P2E		・E－1	◎E－2		

（保護層は図示による）

アスファルトの種類　◎３種
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.3.3 から表 3.3.9 による　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.3.3 から表 3.3.9 による　・
保護コンクリートのコンクリート種類　・
P0D 工法の改修用ドレン　・設ける　・設けない
M3D、P0D 工法の脱気装置　・設ける　・設けない
P1E、P2E 工法の保護層　・設ける　・設けない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装（Ｍ４Ｃ工法の場合）　・除去する
断熱工法の断熱材　材質（　　）厚さ（mm）（　　）
立上り部の保護
・れんがの種類　　◎普通れんが（JIS R 1250）
・乾式保護材の材料　　◎押出成形セメント板厚さ 15 mm
屋根防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
◎図示　・
屋根排水溝　◎図示　・
脱気装置の種類及び設置数量
◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（　　）　・設置数量（　　）個/㎡

・3-2　改質アスファルトシート防水（3.4.2,3）(表 3.1.1）(表 3.4.1～3)

工法	施工箇所	種別
・M4AS 工法		・AS-T1　・AS-T2　・AS-J2
・M3AS 工法		・AS-T3　・AS-T4
・P0AS 工法		
・M4ASI 工法		・AS-J1　・AS-J3
・M3ASI 工法		
・P0ASI 工法		

脱気装置の種類及び設置数量
◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（　　）　・設置数量（　　）個/㎡
防湿層　◎設けない　・設ける
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　◎改修標仕表 3.4.1 から表 3.4.3 による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
◎改修標仕表 3.4.1 から表 3.4.3 による　・

・3-3　合成高分子系ルーフィングシート防水（3.5.2～4）(表 3.5.1,2)

工法	施工場所	種別	仕上げ塗料等	使用分類
・P0S 工法		・S-F1　・S-F2　・S-M1	・カラー	◎非歩行
・S4S 工法		・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S 工法		・S-F1　・S-F2		
・M4S 工法		・S-M1　・S-M2　・S-M3		
・P0SI 工法		・SI-F1　・SI-F2		
・S3SI 工法		・SI-M1　・SI-M2		
・S4SI 工法				
・M4SI 工法				

脱気装置　・設ける　・設けない
目地処理　PC コンクリートの場合（　　）
ルーフィングシートの種類及び厚さ　◎改修標仕表 3.5.1 から表 3.5.2 による
脱気装置の種類及び設置数量
　◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（　　）　・設置数量（　　）個/㎡
断熱工法の断熱材　材質（　　）厚さ（mm）（　　）
SI-M1 及び SI-M2 の場合の防湿フィルムの設置　◎設置する（厚さ 0.15mm）　・設置しない
屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層		
		平場のﾓﾙﾀﾙ塗り		立上り部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ
		塗り厚さ	・床塗り工法	・下地ﾓﾙﾀﾙ塗り
・S-C1			◎標仕 15.3.5(2)（イ）及び(ウ）に準ずる	◎標仕 15.3.5(4)（ア）に準ずる

◎7mm 以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ　・
機械的固定工法の場合
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

・3-4　塗膜防水（3.6.3）(表 3.1.1）(表 3.6.1,2）(3.2.6)

工法	施工場所	種別	仕上げ塗料塗り	高日射反射率防水
・P0X 工法		◎X－1　・X－2 ・X－1H　・X－2H	・カラー ・シルバー	・ ・
・L4X 工法		・X－1　◎X－2 ・X－1H　・X－2H		
・P1Y 工法		◎Y－2　・		
・P2Y 工法		◎Y－2　・		

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X 工法の場合）　・除去する
ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水の保護層　・設けない　・設ける
脱気装置の種類及び設置数量
　◎アスファルトルーフィング類製造所の指定による
・脱気装置の種類（　　）　・設置数量（　　）個/㎡

○3-5　シーリング（3.1.4,3）(3.7.2,8）(表 3.1.2）(表 3.7.1)

シーリング改修工法の種類
　◎シーリング再充填工法　　・シーリング充填工法
　・拡幅シーリング再充填工法　　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
◎下表以外は、改修標仕表 3.7.1 を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）	幅	深さ
外部建具廻り、化粧ケイカル板、外壁廻り	MS-2		
ソフト巾木、汚垂石、ライニング	SR-1		

接着性試験　◎行う（◎簡易接着性試験　・引張接着性試験）　・行わない

○3-6　とい（3.8.2,3）(表 3.8.1)

といの材種
　・配管用鋼管　　●硬質塩化ビニル管
　・着色亜鉛メッキ鋼板　　・ステンレス鋼板
鋼管製といの防露［G］　・次の箇所は行わない（　　）
防露材のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種
掃除口　・有　●無

○3-7　アルミニウム製笠木（3.9.2）(表 3.9.1)

種類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備考
・250 形	1.6 以上	種別（　）種 着色 （・ｱﾝﾊﾞｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ ・ﾌﾞﾗｯｸ系　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300 形	1.8 以上			
・350 形	2.0 以上			
◎200 形				

板材折曲げ形の取付け工法　・図示
工法　　既存笠木等の撤去　　●行う（範囲　◎図示　・　　）
　　下地補修の方法　　◎図示
　　板材折り曲げ形の笠木の取付方法　　◎図示
固定金具
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

○3-8　長尺金属板葺き（標仕 13.2.2,3）(標仕表 13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	板厚（mm）
◎嵌め縦ハゼ葺き	◎JIS［G］3322（塗装溶融 55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） ・	AZ150	◎0.4

屋根葺工法　◎図示　・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・3-9　折板葺（標仕 13.2.2）(標仕 13.3.2,3）(標仕表 13.2.1)

形式　　◎重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）　　山高（　　）山ピッチ（　　）板厚　◎0.6　・0.8
材料（規格等）　　◎標仕表 13.2.1 による（　　）　・
耐力
軒先面戸板　　・有　・無
断熱材　　・有(種別　　：厚さ　　mm)　・無
耐火性能　　・有(30 分耐火)　　・無
塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号
タイトフレームに JIS［G］3302 以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理　（標仕表 14.2.2 による　・Ｅ種　・Ｆ種）
屋根葺工法
・建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・3-10　保証書

責任施工の保証書を完了後速やかに提出する。(受注者、専門施工業者及び材料製造者の連名による)
保証年限は下記による。

種別	保証年限	種別	保証年限
・アスファルト防水	年	・塗膜防水	年
・改質アスファルト防水	年	・リン酸質系塗布防水	年
・合成高分子系ルーフィングシート防水	年		

４章　外壁改修工事　共通事項

・4-1　施工数量調査（1.6.2）

調査範囲　　◎外壁改修範囲　・図示の範囲
調査内容　　ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
　モルタル壁仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
　コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
　塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数　　◎２部　・

・4-2　改修材料（4.2.4）(4.3.5）(4.4.5）(4.5.2）(4.6.2）(4.7.2)

既製調合モルタル、パテ状エポキシ樹脂、可とう性エポキシ樹脂、タイル部分張替え工法用材料、エポキシ樹脂モルタル、ポリマーセメントモルタル、吸水調整材等の材料は評価名簿による。
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度	長さ変化率（収縮）	引張接着性（材齢 28 日）	曲げ性能（材齢 28 日）	吸水性（72 時間）	耐久性（劣化曲げ強さ）
3cm/s 以上	3%以下	0.5N/mm²以上	5.0N/mm²以上	15%以下	5.0N/mm²以上

保水係数 0.35～0.55
粘調係数 0.50～1.00

４－１章　外壁改修工事　コンクリート打ち放し仕上げ外壁

・4-1-1　ひび割れ部改修工法（4.1.4）(4.2.4～7)

・樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
◎自動式低圧エポキシ注入工法	0.2 以上～1.0 以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎200～300 ・	・ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎50～100 ◎100～200 ◎150～250	◎40　・ ◎70　・ ◎130　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法				

注入材料
◎建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形または中粘度形）
検査（コア抜取り）　◎行わない　・行う（抜取り後の補修方法：　　）
・Ｕカットシール材充填工法

充填材料	品質・規格等	備考
◎シーリング用材料	１成分形または２成分形ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ◎行わない　・行う

・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修（◎シール工法の範囲　・　　）

・4-2-3　欠損部改修工法（4.1.4）(4.3.9,10)

既存モルタル面の撤去部

改修工法の種類	品質・規格等	備考
・充填工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕 4.3.5(5）による	塗り厚 25mm を超える場合の補強 ◎行う（・図示）　・行わない

既製目地材　・適用する（形状　◎図示　・　）

・4-2-4　浮き部改修工法（4.1.4）(4.3.9～16）(表 4.3.5,6)

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		充填量
	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎16 ・	◎25 ・	―	―	◎25ml/箇所
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎13 ・	◎20 ・	◎12 ・	◎20 ・	◎25ml/箇所
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎13 ・	◎20 ・	◎12 ・	◎20 ・	◎50ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎9 ・	◎16 ・	―	―	◎25ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎9 ・	◎16 ・	◎9 ・	◎16 ・	◎25ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎9 ・	◎16 ・	◎9 ・	◎16 ・	◎50ml/箇所

アンカーピン
材質　◎ステンレス SUS304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン
材質　◎ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm 改修工法の種類

改修工法の種類（モルタルを撤去する場合）	品質・規格等	備考
・充填工法	・ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕 4.3.5(5）による	塗り厚 25mm を超える場合の補強 ◎行う（・図示）　・行わない

既製目地材　・適用する（形状　◎図示　・　）

・4-1-2　欠損部改修工法（4.1.4）(4.2.4,8)

◎充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

４－２章　外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

・4-2-1　既存モルタル塗りの撤去

●行う　・全面　●図示の範囲）

・4-2-2　ひび割れ部改修工法（4.1.4）(4.2.6）(4.3.5,6,8)

・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は、4-2-3.欠損部改修工法による）
・樹脂注入工法（◎既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）
樹脂注入工法

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
◎自動式低圧エポキシ注入工法	0.2 以上～1.0 以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎200～300 ・	・ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎50～100 ◎100～200 ◎150～250	◎40　・ ◎70　・ ◎130　・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法				

注入材料
◎建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形または中粘度形）
検査（コア抜取り）　◎行わない　・行う（抜取り後の補修方法：　　）
・Ｕカットシール材充填工法

充填材料	品質・規格等	備考
◎シーリング用材料	１成分形または２成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ◎行わない　・行う

・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法（◎既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修（◎シール工法の範囲　・　　）

・4-2-3　欠損部改修工法（4.1.4）(4.3.9,10)

既存モルタル面の撤去部

改修工法の種類	品質・規格等	備考
・充填工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕 4.3.5(5）による	塗り厚 25mm を超える場合の補強 ◎行う（・図示）　・行わない

既製目地材　・適用する（形状　◎図示　・　）

・4-2-4　浮き部改修工法（4.1.4）(4.3.9～16）(表 4.3.5,6)

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		充填量
	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎16 ・	◎25 ・	―	―	◎25ml/箇所
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎13 ・	◎20 ・	◎12 ・	◎20 ・	◎25ml/箇所
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎13 ・	◎20 ・	◎12 ・	◎20 ・	◎50ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎9 ・	◎16 ・	―	―	◎25ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎9 ・	◎16 ・	◎9 ・	◎16 ・	◎25ml/箇所
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎9 ・	◎16 ・	◎9 ・	◎16 ・	◎50ml/箇所

アンカーピン
材質　◎ステンレス SUS304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン
材質　◎ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm 改修工法の種類

改修工法の種類（モルタルを撤去する場合）	品質・規格等	備考
・充填工法	・ポリマーセメントモルタル ・エポキシ樹脂モルタル	
・モルタル塗替え工法	改修標仕 4.3.5(5）による	塗り厚 25mm を超える場合の補強 ◎行う（・図示）　・行わない

既製目地材　・適用する（形状　◎図示　・　）

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その２）	図面番号
設計年月日		Ａ－０２
設計者	一級建築士(351618 号)石川大悟	
発注者	鹿沼市	

（鹿沼市 R7.4）

４－３章　外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

・4-3-1　既存タイル張りの撤去
　外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　◎下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

・4-3-2　ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.5) (4.4.6)
改修箇所　◎既存タイル張り面　・既存タイル撤去面（・コンクリート　・モルタル面）
◎樹脂注入工法（◎既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
◎自動式低圧エポキシ注入工法	0.2 以上～1.0 以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎200～300	・	
		・	・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2 以上～1.0 以下（挙動のあるひび割れを除く）	◎50～100	◎40・	
		◎100～200	◎70・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法		◎150～250	◎130・	
		・		

注入材料
◎建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024 低粘度形または中粘度形）
検査（コア抜取り）　◎行わない　・行う（抜取り後の補修方法：　　）
・Ｕカットシール材充填工法

充填材料	品質・規格等	備考
◎シーリング用材料	１成分形または２成分形ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 ・◎行わない　・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・4-3-3　欠損部改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7,8) (表 4.4.2)
・タイル部分張替え工法（既存タイル張り撤去面）

接着剤の種類	品質・規格等
◎ポリマーセメントモルタル	
・タイル部分張替え工法用接	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外壁タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修　平成９年２月)」における「外壁タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの、または特記による。

・タイル張替え工法
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
　位置　◎改修標仕表 4.4.2 による　・図示
タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
　タイル張りの工法
　　外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
　　外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
　シーリング材の種類
　　打継目地、ひび割れ誘発目地　◎ポリウレタン系　・
伸縮調整目地その他の目地　◎変成シリコーン系　・

・4-3-4　浮き部改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7～15) (表 4.3.5,6)

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾆﾝｸﾞの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		充填量
	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎16 ・	◎25 ・	—	—	◎25ml/箇所 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎13 ・	◎20 ・	◎12 ・	◎20 ・	◎25ml/箇所 ・
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎13 ・	◎20 ・	◎12 ・	◎20 ・	◎50ml/箇所 ・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	◎9 ・	◎16 ・	— ・	— ・	◎25ml/箇所 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	◎9 ・	◎16 ・	◎9 ・	◎16 ・	◎25ml/箇所 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	◎9 ・	◎16 ・	◎9 ・	◎16 ・	◎50ml/箇所 ・
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	◎25ml/箇所 ・
・タイル部分張り替え構法	—	—	—	—	—
・タイル張り替え構法	—	—	—	—	—

アンカーピン
　材質　◎ステンレス SUS304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
注入口付アンカーピン
　材質　◎ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm 改修工法の種類
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
　位置　◎改修標仕表 4.4.2 による　・図示
タイル張り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない
・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り
　タイル張りの工法
　　外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り
　　外装ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤による陶磁器質タイル張り
シーリング材の種類
　打継目地、ひび割れ誘発目地　◎ポリウレタン系　・
　伸縮調整目地その他の目地　◎変成シリコーン系　・

・4-3-5 目地改修工法 (3.7.2) (4.1.4) (4.4.16) (表 3.7.1)
・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮目地改修工法
シーリング用材料　種類　◎改修標仕表 3.7.1 による

・4-3-6　陶磁器質タイル (4.4.5) (4.4.7～8) (表 4.4.4)

施工箇所	種類	形状寸法（mm）	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわ薬 無釉	施釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用［G］	耐凍害性 有	無	備考

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　◎行わない　・行う
壁タイル張りの工法
　外壁タイル　・密着張り　・マスク張り
　タイルの試験張り　◎行わない　・行う

４－４章　外壁改修工事　仕上塗材仕上げ外壁

・4-4-1　既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.2) (4.5.4) (表 4.5.4～7)
既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	◎既存仕上面全体　・	・ひび割れ部改修工法
・高圧水洗工法	◎既存仕上面全体　・	・浮き部改修工法
加圧力・30Mpa　◎15MPa		・欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	◎既存仕上面全体　・	
・水洗い工法	◎上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

塗膜はく離剤　・

・4-4-2　下地調整塗材 (4.5.2) (4.5.4)
◎下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル

・4-4-3　仕上げ塗材仕上げ (4.1.4) (4.5.2) (表 4.4.1,4) (4.5.1) (標仕 15.6.2)
種類、仕上げの形状、工法

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 Si ・可とう形外装薄塗材 Si ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S	・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状 ・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状 ・砂壁状
・複層仕上げ塗材	・複層塗材 CE ・可とう形複層塗材 CE ・複層塗材 Si ・複層塗材 E ・複層塗材 RE ・防水形複層塗材 CE ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 RE ・防水形複層塗材 RS	・ゆず肌状　・凸処理　・凹凸模様 耐候性　◎耐候形３種 上塗材 溶媒　◎水系　・溶剤系 樹脂　◎アクリル系 外観　◎つやなし　・つやあり ・メタリック 防水形の増塗材　◎行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 RE ・可とう形改修塗材 CE	耐候性　◎耐候形３種 ・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合
◎建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

・4-4-4　マスチック塗材塗り
種別　・Ａ種　・Ｂ種

・4-4-5　外壁用塗膜防水材　(4.7.1～7)
各項目を参照する

５章　建具改修工事

○5-1　改修工法の適用 (5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	備考
●アルミニウム製建具		・	●	
・樹脂製建具		—	・	
●鋼製建具	・内部	・	・	
	●外部	・	●	
・鋼製軽量建具		・	・	
・ステンレス製建具		・	・	
●木製建具			●	

・5-2　見本の製作等 (5.1.5)
特殊な建具の仮組　・行う　◎行わない

・5-3　防犯建物部品 (5.1.6)
・適用する（・図示　・　　）

○5-4　アルミニウム製建具 (5.2.2,4,5) (表 5.2.1,2)
外部に面する建具　※複層ガラスの引違いの場合は 100 とする。

種別	枠見込（mm）	施工箇所
●Ａ種	◎70	◎図示　・
・Ｂ種	・	◎図示　・
・Ｃ種	100	◎図示　・

　・防音ドアセット　・防音サッシ　　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドアセット　・断熱サッシ［G］　　断熱性の等級（　　）
　・耐震ドアセット　　面内変形追随性の等級（　　）
　表面処理　　種別◎BB-1　・BB-2（◎ﾌﾞﾗｳﾝ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
屋内建具
　表面処理　　種別・BB-1　・BB-2（◎ﾌﾞﾗｳﾝ　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
結露水の処理方法　　◎図示　・
水切り板、ぜん板　　◎図示　・
公共住宅のアルミサッシの品質及び性能
　・「品質・性能基準」による　・

○5-5　網戸の網 (5.2.3)

種類	材質	線径	網目
●防虫網	◎合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316) 製	◎0.25mm 以上 ・	◎16～18 メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm

・5-6　樹脂製建具 (5.2.5) (5.3.2～5)
外部に面する建具

種別	枠見込(mm)	施工箇所
・Ａ種	◎70	◎図示　・
・Ｂ種	・	◎図示　・
・Ｃ種	100	◎図示　・

　・防音ドアセット　・防音サッシ　　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドアセット　・断熱サッシ［G］　　断熱性の等級（　　）
　・耐震ドアセット　　面内変形追随性の等級（　　）
表面色　◎標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　　◎図示　・
ガラス　　◎複層ガラス　・

○5-7　鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2～4) (表 5.4.2)
　簡易気密型ドアセット　　・適用する　●適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　　◎S-4　・S-5　・S-6
　・防音ドアセット・防音サッシ　　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドアセット・断熱サッシ［G］　　断熱性の等級（　　）
　・耐震ドアセット　　面内変形追随性の等級（　　）
鋼板類

材料	厚さ
●JIS ［G］ 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	●標仕表 5.4.2 による
・JIS ［G］ 3317（溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板）	・

公共住宅の玄関ドアの品質及び性能
　・「品質・性能基準」による　・
公共住宅のバイプシャフトドアの品質及び性能
　・「品質・性能基準」による　・

○5-8　鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2～4)
　簡易気密扉の簡易気密型ドアセット　　・適用する（◎A-3　・　　）◎適用しない
　・防音ドアセット・防音サッシ　　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドアセット・断熱サッシ［G］　　断熱性の等級（　　）
　・耐震ドアセット　　面内変形追随性の等級（　　）
材料　　鋼板類　　◎亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板類の厚さ（mm）　　◎改修標仕 5.5.4 による
召合せ、縦小包み板の材質　　◎鋼板　・
品質規格　　◎製造所標準仕様による
製造所　　評価名簿による
公共住宅のクローゼットドアの品質及び性能
　・「品質・性能基準」による　・

・5-9　ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2～5)
簡易気密扉の簡易気密型ドアセット性能値　　・適用する　・適用しない
　・防音ドアセット　・防音サッシ　　遮音性の等級（　　）
　・断熱ドアセット　・断熱サッシ［G］　　断熱性の等級（　　）
　・耐震ドアセット　　面内変形追随性の等級（　　）
ステンレス建具の鋼材の種類

施工箇所	鋼材の種類
屋外	◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1　・
屋内	◎SUS304, SUS430J1L, SUS443J1　・

表面の仕上げ　　◎ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ
鋼板の曲げ加工　◎普通曲げ　　・角出し曲げ

○5-10　木製建具 (5.7.2～4)
●フラッシュ戸

合板の種類	規格等	備考
◎普通合板［G］	表面の樹種 生地、透明塗料塗り（◎ラワン合板程度　・　　） 不透明塗料塗り（◎しな合板程度　・　　） 板面の品質（　　）	
・天然木化粧合板［G］	樹種名（　　）	
・特殊加工化粧合板［G］	化粧加工の方法（・オーバーレイ　・プリント　・塗装） 表面性能（　　）タイプ	

防虫処理（・行う　◎行わない）　接着の程度（・１類・２類）
表面板の厚さ　◎表 5.7.6 による　・
建具材の含水率　◎Ａ種　・
・かまち戸　かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
・ふすま
　張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
　上張り（押入等の裏側以外）　・鳥の子　・新鳥の子またはビニル紙程度
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　◎規制対象外　・
公共住宅の内装ドアの品質及び性能
　・「品質・性能基準」による
公共住宅の量産ふすまの品質及び性能
　・「品質・性能基準」による

○5-11　建具用金物 (5.8.2,3) (表 5.7.1～3)
建具金物の種類

種別	品質・規格
・本締まり付きモノロック	評価名簿による
◎シリンダ箱錠	
・シリンダ本締まり錠	
◎ドアクローザ	
・ヒンジクローザ	
・フロアヒンジ	
◎ハンドル	◎レバーハンドル　・

○5-12　鍵 (5.8.4)

マスターキー	◎製作する　・製作しない
その他の鍵	◎各室３本１組　・
引渡し	・鍵箱に収納する

・5-13　自動ドア開閉装置 (5.9.2,3) (表 5.9.1～5)
引き戸用駆動装置

自動ドア	性能	引き戸用検出装置の種類	凍結防止	防錆
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	◎耐電圧、温度上昇、耐久性（サイクル）は改修標仕表 5.9.1 による ・	・マットスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う （適用箇所は、建具表による） ・行わない	・適用する ・適用しない

多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
　開閉方法　　◎片開き　・
　耐電圧、温度上昇、耐久性（サイクル）、防錆、電源
　　◎改修標仕表 5.9.2 による
　　・耐電圧（　　）　・温度上昇（　　）
　　・耐久性（サイクル）（　　）　・防錆・電源（　　）
　　（　　）
引き戸用検出装置
放射無線周波数電磁界耐性、耐電圧、防錆、防滴、電源
　　◎改修標仕表 5.9.3 による
　　・放射無線周波数電磁界耐性（　　）　・耐電圧（　　）
　　・防錆（　　）　・防滴（　　）　・電源（　　）
戸の開閉方式　　・図示
引き戸検出装置の種類（改修標仕表 5.9.4）　　・図示
凍結防止装置　　・適用する（図示）　・適用しない

○5-14　自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3) (表 5.10.1)
品質規格　　◎改修標仕表 5.10.1　・製造所標準仕様による
製造所　　◎評価名簿による

・5-15　重量シャッター (5.11.2,3) (表 5.11.1)

シャッターの種類	耐風圧強度
・管理用シャッター	耐風圧強度（　　）N/㎡
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（　　）N/㎡
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉方式による種類　　◎上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　　◎障害物感知装置（自動閉鎖型）
管理用シャッターのシャッターケース　　◎設ける　・設けない
　鋼板の種類　　・JIS ［G］ 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
　　・JIS ［G］ 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
　めっきの付着量　　◎Z12 または F12　・

・5-16　軽量シャッター (5.12.2,3) (表 5.12.1)
開閉方式による種類　　◎手動式　・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度　　・（　　）N/㎡
スラットの材質
　・JIS ［G］ 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）めっき付着量（◎Z06 または F06　・　　）
　・JIS ［G］ 3322（塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
　めっき付着量（◎AZ90　・　　）
スラットの形状　◎インターロッキング形　・オーバーラッピング形

・5-17　オーバーヘッドドア (5.13.2,3)　(表 5.13.1,2)

セクション材料による区分	耐風圧区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
◎スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125（1250Pa） ・100（1000Pa） ・75（750Pa） ・50（500Pa）	◎バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	◎溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

○5-18　ガラス (5.14.2～4) (3.7.3)
◎建具表による
・ガラスブロック

寸法（mm）	色調	パターン	防火認定
	◎クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　　）		

ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類	材質	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	◎シーリング材 ・ガスケット(Fix 部はシーリング材)	◎標仕 16.14.3（製造所の仕様）による ・図示
鋼製・鋼製軽量	◎シーリング材	
ステンレス製	◎シーリング材	

ただし、防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。
ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
◎ガラス用飛散フィルム	第２種	◎内張り　・外張り	飛散防止率 D1

品質　JIS A 5759 による。

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その３）	図面番号
設計年月日		Ａ－０３
設計者	一級建築士(351618 号)石川大悟	
発注者	鹿沼市	

６章　内装改修工事

○6-1　改修範囲（6.1.3）
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲
・壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　●図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
・壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　●図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
・既存のまま　●図示の範囲

○6-2　既存床の撤去及び下地補修（6.2.2）
ビニル床シート等の除去
◎仕上げ材のみ（接着剤とも）　◎下地モルタルとも（◎図示の範囲　・除去範囲の全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒工法
改修後の床の清掃範囲　◎改修箇所の室内　・

○6-3　既存壁の撤去及び下地補修（6.3.2）(4.3.10)
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
◎図示　・モルタル塗り（塗り厚 25mm を超える場合の補強◎行う　・行わない）

○6-4　木下地（6.5.2）(表 6.5.1,2)
木材の品質　・市販品　◎改修標仕表 6.5.2 による
樹種　　◎改修標仕表 6.5.6～9 による　・代用樹種を適用する箇所（　　）
保存処理木材を適用する箇所（　　）

○6-5　造作用集成材［G］　(6.5.2)
ホルムアルデヒド放散量　　◎規制対象外　・第三種
●「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
ステージ三方袖、ステージ階段	ナラ	図示	◎１等　・２等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	間伐材等の適用
					◎１等・２等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				◎Ａ種 ・Ｂ種	

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						◎Ａ種 ・Ｂ種	

・6-6　造作用単板積層材［G］(6.5.2)
ホルムアルデヒド放散量　　◎規制対象外　・第三種
・JAS 0701（単板積層材）による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	間伐材等の適用
		・適用する ・適用しない	・有（加工） ・無（等級）	

・JAS 0701（単板積層材）以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	含水率	間伐材等の適用
		・適用する ・適用しない	・有（加工） ・無（等級）	◎14%以下	・

・JAS 3079（直交集成板）によるＣＬＴ（直交集成板）［G］

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用

○6-7　合板等（6.5.8）(表 6.5.8)
ホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種
・「合板の日本農林規格」による普通合板［G］

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	◎5.5		◎１類 ・２類	広葉樹 ◎２等以上 ・１等以上 針葉樹 ◎C-D 以上	・適用する ・適用しない	・

◎「合板の日本農林規格」による構造用合板［G］

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
ｱﾘｰﾅ、床置きACｽﾍﾟｰｽ、ﾗｲﾆﾝｸﾞ、ﾄｲﾚ壁	◎12 ◎24	◎2級以上		◎1 類	◎C-D 以上				

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板［G］

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・１類　・特類		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板［G］

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・１類・２類	・適用する	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板［G］

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用

・パーティクルボード［G］

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		◎13 タイプ ・	◎P または M ・		◎15 ・

・構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級
		・１級・２級・３級・４級

・ＭＤＦ［G］

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用

○6-8 防腐・防蟻処理（6.5.5）
・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材
適用部位：（　　）
◎薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
土台	・Ｋ２　◎Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

◎薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	保存処理性能区分
間柱、胴縁	GL より 1m以内の部分	ＪＩＳＫ1571

・薬剤の接着材への混入による防腐・防蟻処理
適用部位：（　　）

○6-9　接着剤（6.5.3）
接着剤のホルムアルデヒド放散量　◎規制対象外　・第三種

○6-10　軽量鉄骨天井下地　（6.6.2～4）(表 6.6.1)
野縁等の種類　　屋外形（◎25 形　・19 形）　屋内形（◎19 形　・25 形）
◎屋外の軒天井、ピロティ天井等の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　◎1.3）倍の風圧力に対応した工法
野縁、野縁受、つりボルト及びインサート及び周辺部の間隔　・図示　・
既存の埋込インサート　　・使用する　・使用しない
あと施工アンカー施工後の確認試験　　◎行う　・行わない
補強方法
つりボルトの間隔（900mm 超）　　◎図示　・
天井のふところ（1.5m 以上 3.0m 以下）　　◎改修標仕 6.6.4(8)（7）(ｲ) による　・図示
天井のふところ（3.0m 超）　　◎図示　・
特定天井
特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件（平成 25 年国土交通省告示第 771 号）に基づく工法　◎適用する　・適用しない

○6-11　軽量鉄骨壁下地（6.7.3）(表 6.7.1)

高さ 2.7m 以下	高さ 4.0m 以下	高さ 4.0m 超，4.5m 以下	高さ 4.5m 超，5.0m 以下	5.0m 超
◎50 形	◎65 形	◎90 形・	◎100 形・	・図示

○6-12　ビニル床シート［G］(6.8.2,3)

種別	種類の記号	色柄	厚さ(mm)
●発泡層のないもの	◎FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ） ・	・無地 ◎マーブル柄	◎2.0 ・
・発泡層のあるもの	・	◎柄物 ・無地	

目地処理する場合の工法　◎熱溶接工法　・突付け（施工箇所　　）

・6-13　ビニル床タイル［G］(6.8.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
◎ＫＴ（コンポジションビニル床タイル） ・ＦＴ（複層ビニル床タイル） ・ＦＯＡ（置敷きビニル床タイル）	◎無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	◎2.0	

・6-14　特殊機能床（6.8.2）

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	(mm)		
・帯電防止床タイル	×　(mm)		
・視覚障害者用床タイル	(mm)		
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	×　(mm)		

○6-15　ビニル幅木（6.8.2）
材質　　◎軟質　・硬質
高さ（mm）　　◎60　・75　・100
厚さ（mm）　　◎1.5 以上　・

・6-16　ゴム床タイル（6.8.2）
種類　　・単層　・複層
色柄　　（　　）
厚さ(mm)　　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)　　（　　）

・6-17　カーペット敷き［G］(6.9.3)（表 6.9.2）
・織じゅうたん

種別	パイル形状	色柄	帯電性	糸の種類	工法
・Ａ類 ・Ｂ類 ・Ｃ類	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	◎無地 ・柄物	◎適用する ・適用しない	・	◎ヒートボンド工法

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	◎５～７	・全面接着工法	・適用する（　　）	
・ループパイル	◎４～６	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・			
・タイルカーペット				

パイル形状	種別	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
◎ループパイル ・カットパイル ・カット、ループ併用	◎第一種 ・第二種	◎500×500 ・	◎6.5 ・	平場　◎市松敷き　・模様流し 階段　◎模様流し　・市松敷き

・6-18　合成樹脂塗床（6.10.2,3）

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床）			◎平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床）		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムルデヒド放散量　◎規制対象外　・

○6-19　フローリング張り［G］(6.11.2～7)（表 6.11.1～4）
単層フローリング張り

種別	樹種	厚さ(mm)	工法	備考
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等	◎ぶな ◎なら ・さくら ・いたや	◎15	・釘止め工法（根太張り）	
		・12 以上 ・	・釘止め工法（直張り）	
			・接着工法	
◎ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等（体育館用）		・	・	
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等		・15	・接着工法	303×303

複合フローリング張り

種別		樹種	厚さ(mm)	工法	種別	種別（注宅）
・天然木化粧複合フローリング張り	・一般用 ・住宅用	◎なら ・		・釘留め工法（根太張り） ・釘留め工法（直張り） ・発砲ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床下地張り工法 ・乾式遮音二重床下地材張り工法	・Ａ種 ・Ｂ種	・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ◎Ｄ種
			・8 以上 ・12 以上	・接着工法（合成樹脂発泡ｼｰﾄ裏打ち）		
	・体育館用	・	・18 ・27	・普通張り　◎特殊張り		

ホルムアルデヒドの発散量　◎規制対象外　・第三種
現場塗装仕上げ　・行う（施工箇所　　）　・行わない
◎ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・6-20　畳敷き（6.12.2,3）(表 6.12.1)

下地の種類	畳の種別
標仕表 12.6.1 による床組	・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種（　　）
ポリスチレンフォーム床下地	・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種（　　）

畳表及び畳床はＶＯＣ含有量が少ないものとする

・6-21　ポリスチレンフォーム床下地材（6.12.2,3）(表 6.12.1)
ノンフロンのもの［G］

床	厚さ(mm)	備考
フローリング類	・80　・95	(不燃)
畳	◎40　・65　・80	(不燃)

○6-22　せっこうボードその他ボード及び合板張り　(6.13.2,3)（表 6.13.1,3,5）

種類	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	・15　・20　・25　・
・普通木片セメント板	・30　・
●けい酸カルシウム板	◎タイプ２（無石綿）
・ロックウール化粧吸音板	◎フラットタイプ（◎9　・12）（不燃） ・凸凹タイプ（◎12　・15　・19）（不燃）
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	◎フラットタイプ　9（不燃） ・凸凹タイプ（・12　・15）（不燃）
●せっこうボード	・9.5(不燃)　◎12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	◎9.5(不燃)　・化粧無（下地張り用）　・化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
●シージングせっこうボード	◎12.5(不燃)
・強化せっこうボード	・12.5(不燃)　・15.0(不燃)
・せっこうラスボード	◎9.5
●化粧せっこうボード	◎9.5(・準不燃　・不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	◎12.5(不燃) 幅 440 程度 模様（◎柾目・板目）専用下地材付
●普通合板	表面の材種 生地、透明塗料塗り （◎ラワン程度　・　　）不透明塗料塗り （◎しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 厚さ（mm）（ 5.5 ） 接着の程度（・１類・２類） ・防虫処理・
・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による厚さ 1.2
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ	・3・7・9・12
・パーティクルボード	

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
◎アクリル系シーリング材　・ジョイントコンパウンド
工法合板の張り付け　・Ａ種　◎Ｂ種
せっこうボードの目地工法　・目透し　●突付け　・継目処理
合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種

・6-23　吸音材（6.13.2）(表 6.13.1)

種類	JIS の記号	厚さ(mm)
・ロックウール吸音ボード１号	RW-B	◎25　・
◎グラスウール吸音ボード 32K	［G］W-B	◎25　・

○6-24　壁紙張り（6.14.2,3）(表 7.3.4,7)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考
	紙	繊維（織物）	プラ（ﾋﾞﾆﾙ）	その他（化学繊維）	無機質		
玄関	・	・	◎	・	・	・不燃　◎準不燃　・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃　・難燃	

モルタル、せっこうプラスター面の下地調整　　・ＲＡ種　◎ＲＢ種
せっこうボード面の下地調整　　・ＲＡ種　◎ＲＢ種
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種

・6-25　モルタル塗り（6.15.3）
防水モルタルの防水剤　　製造所　　◎評価名簿による
既製目地材　・設ける　　施工箇所（　　）形状（　　）
・設けない
モルタル　・現場調合材料　・既調合材料（　　）
床の目地　・設ける
（目地割り　◎２㎡程度（最大目地間隔３ｍ程度）　・　　）
（種類　◎押し目地　・　　）
・設けない

○6-26　陶磁器質タイル（6.16.3,4）

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分			うわ薬		役物		色		再生材の適用［G］	耐凍害性		備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	無釉	施釉	有	無	標準	特注		有	無	
玄関	100	●			●		●		●			●		

○6-27　断熱材［G］(標仕 19.9.2～4)
断熱材打込み工法

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	・	・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	・	

断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・Ａ種１　◎Ａ種 1H
厚さ（mm）　・25　・30　◎20
施工箇所　◎図示　・
断熱材あと張り工法(S1 工法等)

種類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材				
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材（ｽｷﾝなし）	・保温板（２種b）			
	◎保温板（３種b）			
	・			
・Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材				
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材（３種２号を除く）				

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂またはメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量
◎規制対象外　・第三種

・6-28　フリーアクセスフロア（標仕 20.2.2）

施工箇所	構法	設定高さ(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能(N/㎡)	表面仕上げ材
	・パネル構法	・	・　1.0［G］ ・　0.6［G］	・3,000 ・5,000	・帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ・タイルカーペット
	・溝工法	・			
	・パネル構法	・	・　1.0［G］ ・　0.6［G］	・3,000 ・5,000	・帯電防止ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ・タイルカーペット
	・溝工法	・			

表面仕上げ材の品質・規格等は、標仕 19 章内装工事による
配線用取出しパネル　　配線取出し開口：パネル１枚につき 40mm×80mm 程度の開口１カ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　◎20～30%
空調用吹し出しパネル　◎無・有（◎固定式　・可変式：施工箇所は図示）
製造所：評価名簿による

・6-29　可動間仕切（標仕 20.2.3）

構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ◎パネル式		◎鋼板（◎0.6　・0.8） ・	◎メラミン樹脂またはアクリル樹脂焼付け ・	・有 （　　） ・無	・有 ・無

品質 JIS A 6512 によるものまたは評価名簿による
パネル材のホルムアルデヒド放射量　◎規制対象外

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その４）	図面番号
設計年月日		Ａ－０４
設計者	一級建築士(351618 号)石川大悟	
発注者	鹿沼市	

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)　特記仕様書

・6-30　移動間仕切（標仕 20.2.4）

遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ （36db 以上）		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り	・手動式・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は標仕 19 章内装工事による
製造所評価名簿による

○6-31　トイレブース（標仕 20.2.5）

表面仕上げ材　◎メラミン樹脂系化粧板（標準色アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板　・
足形状　◎幅木型　・足金物型
製造所監督職員の承諾する製造所による
パネル材のホルムアルデヒド放射量　◎規制対象外

・6-32　階段滑り止め（標仕 20.2.7）

材種　◎ステンレス（SUS304）
形状　◎ビニールタイヤ入り両端フラットエンド　◎有（◎ビニル製　・ステンレス製）　・無
幅(mm)　◎約 35　・
取付工法　◎接着工法　・埋込み工法

・6-33　階段手すり

種別	施工箇所
◎集成材クリアラッカー仕上げ（市販品径：約 40mm）	
・ビニル製ハンドレール（幅：約 40mm）	

・6-34　黒板及びホワイトボード［G］（標仕 20.2.9）

種類		寸法	色彩	備考
・黒板	◎焼付け		◎緑　・黒	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分
			◎緑　・黒	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分
・ホワイトボード	◎ほうろう		◎白	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分
			◎白	◎平面　・曲面　・スクリーン付引分

・6-35　錠（標仕 20.2.10）

厚さ　◎５㎜　・

○6-36　表示（標仕 20.2.11）

区分	材質	取付位置
・衝突防止表示	・ステンレス製　・図示	・図示　・
●室名札	・アクリル板　●図示（展開図　）	●図示（キープラン　）
●ピクトサイン	・アクリル板　●図示（展開図　）	●図示（キープラン　）

誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。
表示標識は図示による。ただし、案内用図記号は JIS Z 8210 による。
製造所：監督職員の承諾する製造所

・6-37　ブラインド（2.3.1）（5.1.6）（標仕 20.2.14）

・既存再利用する（養生方法：　）　・新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックス、レールの材種
◎横型	・手動	◎ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	◎アルミニウム合金製［G］ ・	◎25 ・35	・鋼製 ・
	・電動	―			
・縦型	・手動	・２本操作コード式 ・１本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	アルミニウム合金製
	・電動	―			

・6-38　ロールスクリーン［G］（標仕 20.2.15）

防火性能　◎有　・無
操作方式　・スプリング式　・コード式　・電動式
スクリーンの材質　・ポリエステル　・綿

・6-39　カーテン（標仕 20.2.16）

・既存再利用する（養生方法：　）　・新設する

施工箇所	形式				開閉装置			ひだの種類	品質等
	ｼﾝｸﾞﾙ	ﾀﾞﾌﾞﾙ	片引	引分	電動	ひも	手引		

○6-40　カーテンレール（標仕 20.2.16）

・既存再利用する（養生方法：　）　●新設する
材種　●ステンレス製　・アルミニウム製
形式　・片開き　●引き分け（暗幕用は 300mm 以上の召合わせの重掛けとする）
　　●シングル　・ダブル
断面形状　◎Ｃ型　・Ｄ型　・角型

○6-41 ブラインドボックス及びカーテンボックス　（標仕 20.2.16）

・既存再利用する（養生方法：　）　●新設する
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
　溝幅×深さ（mm）　・90×150　◎120×80　・120×150　・150×80
　色彩　◎B-1　・B-2（◎ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
●図示

○6-42　天井点検口

材質　アルミニウム製（◎額縁タイプ　・目地タイプ）
製造所：評価名簿による

○6-43　床点検口

材質　　アルミニウム製（受け枠　◎アルミ製　・ステンレス製）
製造所：評価名簿による

・6-44　くつふきマット

市販品　　材質・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）
　　・硬質アルミニウム製（受枠とも）
　　・ビニル製（ステンレス製受枠）
　　・ステンレス製（受枠とも）

・6-45　浴室ユニット（公住仕 20.2.15）

公共住宅の品質及び性能（・「品質・性能基準」による　・　）
種類、形状、寸法（内法）、材質（　）

・6-46　キッチンキャビネット（公住仕 20.2.16）

公共住宅の品質及び性能（・「品質・性能基準」による　・　）
種類　◎ｾｯｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝ（◎Ⅰ型　・Ⅱ型）　・ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ
流し台、調理台、ｺﾝﾛ台、吊り戸棚等の形状、寸法　◎設計図による　・
カウンタートップ及びシンクの材質　◎ステンレス　・
付属部品　◎水切り棚　・

・6-47 郵便受箱（公住仕 20.2.17）

公共住宅の品質及び性能（・「品質・性能基準」による　・　）
形状　・縦型　◎横型　寸法　（　×　）
個数（　）個　　材質　◎ステンレス　・

・6-48　手すりユニット（公住仕 20.2.18）

公共住宅の品質及び性能（・「品質・性能基準」による　・　）

名称	種類	材質	形状	寸法（支柱間隔、高さ等）	支持方法
墜落防止手すり	・廊下用	・ｱﾙﾐ ・ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ	・手すり子 ・目隠しﾊﾟﾈﾙ	◎設計図による ・	・床支持 ・壁支持 ・方立て支持
	・ﾊﾞﾙｺﾆｰ用	・ｱﾙﾐ ・ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ	・手すり子 ・目隠しﾊﾟﾈﾙ	◎設計図による ・	・床支持 ・壁支持 ・方立て支持
	・窓用	・ｱﾙﾐ ・ｽﾁｰﾙ ・ｽﾃﾝﾚｽ	・手すり子 ・目隠しﾊﾟﾈﾙ	◎設計図による ・	・床支持

・6-49　補助手すり（公住仕 20.2.19）

公共住宅の品質及び性能（・「品質・性能基準」による　・　）

名称	材質	形状	寸法	設置場所
◎廊下階段手すり	◎合成樹脂被覆ｱﾙﾐ手すり			
◎補助手すり	・樹脂被覆ｽﾃﾝﾚｽ手すり			
	・集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り			

７章　塗装工事

○7-1　材料（7.1.3）

屋内の壁・天井仕上げ材は防火材料とする。
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量　◎規制対象外　・第三種

○7-2　下地調整（7.2.2~7）（表 7.2.1~7）

下地面等	種別
木部	・ＲＡ種　◎ＲＢ種　・ＲＣ種
鉄鋼面	・ＲＡ種　◎ＲＢ種　・ＲＣ種
亜鉛めっき鋼面	・ＲＡ種　◎ＲＢ種
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	・ＲＡ種　・ＲＢ種
モルタル面及びせっこうプラスター面	・ＲＡ種　・ＲＢ種　・ＲＣ種
コンクリート面及び ALC パネル面	・ＲＡ種　・ＲＢ種　・ＲＣ種
せっこうボード面及びその他ボード面	・ＲＡ種　・ＲＢ種　・ＲＣ種

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
◎行わない　・行う（補修範囲及び補修方法は図示による。）

○7-3　素地ごしらえ（7.3.2~7）（表 7.3.1~7）

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	◎Ａ種　・Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	・Ａ種　◎Ｂ種
鉄鋼面	DP 以外	・Ａ種　・Ｂ種　◎Ｃ種
	DP	・Ａ種　◎Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		・Ａ種　・Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・Ａ種　◎Ｂ種
コンクリート面（DP 以外）及び ALC パネル面		・Ａ種　◎Ｂ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・Ａ種　・Ｂ種
コンクリート面（DP のみ）		・Ａ種　◎Ｂ種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	◎Ａ種　・Ｂ種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	・Ａ種　◎Ｂ種

○7-4　錆止め塗料塗り（7.4.2,3）（表 7.4.1~6）

下地面等			塗料	工程
鉄鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え	◎Ａ種　・	◎Ｃ種　・
		新規見え掛り	◎Ａ種　・	◎Ａ種　・
		新規見え隠れ	◎Ａ種　・	◎Ｂ種　・
	DP	塗替え	改修標仕 7.4.2(1)（イ）(b)による	・Ａ種(下地調整 RA 種) ・Ｂ種(下地調整 RB 種) ・Ｃ種(下地調整 RC 種)
		新規	改修標仕 7.4.2(1)（イ）(a)による	・Ａ種　・
	EP-［G］	塗替え	◎Ｂ種　・	◎Ｃ種　・
		新規見え掛り	◎Ｂ種　・	◎Ａ種　・
		新規見え隠れ	◎Ｂ種　・	◎Ｂ種　・
亜鉛めっき鋼面	SOP 仕上塗料なし	塗替え	◎Ａ種　・	◎Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	◎Ａ種　・	◎Ａ種　・
		その他	◎Ｂ種　・	◎Ｂ種
	DP	塗替え	◎Ｂ種　・	－
		新規	◎Ｂ種　・	－
	EP-［G］	塗替え	◎Ｃ種　・	◎Ｃ種　・
		新規鋼製建具等	◎Ｃ種　・	◎Ａ種　・
		その他	◎Ｃ種　・	◎Ｂ種

○7-5　各種塗料塗り（7.5.1~7.13.2）（表 7.5.1~7.13.1）

塗装	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
●合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗料の種別 ◎１種　・２種	木部　屋外	◎Ｂ種	◎Ａ種
	木部　屋内	◎Ｂ種	◎Ｂ種
	鉄鋼面	◎Ｂ種	・Ａ種　◎Ｂ種
	亜鉛めっき鋼面	◎Ｂ種	◎Ｂ種
	鋼製建具	◎Ａ種	◎Ｂ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）	屋内のコンクリート面 ・モルタル面	◎Ｂ種	◎Ｂ種
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）	鉄鋼面 上塗り ・１級（フッ素樹脂塗料） ・２級（アクリルシリコン樹脂塗料） ・３級（ポリウレタン樹脂塗料）	－	－
	亜鉛めっき鋼面 ・１級（フッ素樹脂塗料） ・２級（アクリルシリコン樹脂塗料） ・３級（ポリウレタン樹脂塗料）	－	－
	コンクリート面	・A-1 種　・A-2 種 ・B-1 種　・B-2 種 ・C-1 種　・C-2 種	・A-1 ・B-1 ・C-1
	押出成形セメント板面	・A-1 種　・A-2 種 ・B-1 種　・B-2 種 ・C-1 種　・C-2 種	・A-1 ・B-1 ・C-1
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－［G］）	屋内木部	◎Ｂ種　・	◎Ａ種　・
	屋内鉄鋼面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	屋内亜鉛メッキ鋼面	◎Ａ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	コンクリート面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	モルタル面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	せっこうプラスター面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	せっこうボード面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
●合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	塗装面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	コンクリート面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	モルタル面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	せっこうプラスター面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	せっこうボード面	◎Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）	屋内コンクリート面 モルタル面 せっこうプラスター面 せっこうボード面 木部等	・Ａ種 ◎Ｂ種 ・Ｃ種	・Ａ種　・Ｂ種
●ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）	木部	・Ａ種　◎Ｂ種	・Ａ種　◎Ｂ種
・ラッカーエナメル塗り（ＬＥ）		・Ａ種　◎Ｂ種	・Ａ種　◎Ｂ種
●クリヤラッカー塗り（ＣＬ）		・Ａ種　◎Ｂ種	・Ａ種　◎Ｂ種
●ステイン塗り	木部	・ピグメントステイン塗り ◎オイルステイン塗り（ＯＳ）	
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）	木部	・Ａ種　◎Ｂ種	・Ａ種　◎Ｂ種
・水性ウレタン樹脂塗料塗り	木部	２波形４回塗り１回の塗付量 0.06k［G］/m3 ホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆	

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種別　◎１種

８－１章　耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

○8-1-1　鉄筋の種類等（8.2.1）（表 8.2.1）

規格	種類の記号	使用箇所	呼び名（mm）
鉄筋コンクリート用棒鋼（異形鉄筋）	●SD295A		◎D16 以下・
	・SD345		◎D19 以上・
	・		

・8-1-2　溶接金網（8.2.2）

形状等

種類	種類の記号	網目の形状、寸法	鉄線の径(mm)	使用部位
・溶接金網		◎100×100　・	◎6.0　・	
・鉄筋格子				

・8-1-3　鉄筋の継手（8.3.4）（表 8.3.3）

柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋
・重ね継手（L=　）　・ガス圧接継手　・機械式継手　・溶接継手

○8-1-4 鉄筋及び溶接金網のかぶり厚さ（8.3.5）（表 8.3.6）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地底から算定する
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による

施工箇所	改修標仕表 8.3.6 の値に加える長さ
・柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	◎10 ㎜　・

柱及び梁の主筋に D29 以上の鉄筋の使用
・無　・有（適用箇所：　）　主筋のかぶり厚さ・最小かぶり厚さ（　）㎜

・8-1-5　帯筋（8.3.4）

帯筋の組立の形
　各部配筋参考図 1.1 による　・Ｈ形　・Ｗ－Ⅰ形　・Ｗ－Ⅲ形

・8-1-6　圧接完了後の圧接部の試験（8.3.8）（標仕 5.4.10）

・耐震改修　　◎外観試験（全数）　◎超音波探傷試験（全数）
・耐震改修以外　◎外観試験（全数）　◎超音波探傷試験　・引張試験（　）

○8-1-7　コンクリートの種類及び強度（8.1.3,4）（表 8.1.1）

レディーミクストコンクリートの種別　◎Ⅰ類　・Ⅱ類
普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc (N/mm2)	気乾単位容積質量 (t/m3)	スランプ	適用箇所	施工時期
◎21	2.3 程度	◎18		
		・15 または 18		
・				

○8-1-8　普通コンクリートの材料（8.2.5）（8.6.4）

セメントの種類
◎普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのＡ種
・高炉セメントＢ種［G］
普通ポルトランドセメントの品質は JIS R 5210 に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/［G］以下
	28d	402J/［G］以下

混和材量
　混和材料の種類
◎混和剤（JIS A 6204 による AE 剤、AE 減水剤または高性能 AE 減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分は I 類とする。
・混和材(JIS A 6201 によるフライアッシュの I 種または Ⅱ 種、JIS A 6206 に適合する高炉スラグ微粉末または JIS A 6202 に適合する膨張剤
使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分
・Ａ　・Ｂ（コンクリートの中のアルカリ総量Ｒｔ＝3.0k［G］/m3）

○8-1-9　レディーミクストコンクリート工場の選定

レディーミクストコンクリート工場の選定においては、改修標仕 8.5.1（コンクリート製造工場の選定）によること、かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場）から選定することを基本とする。ただし、上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督員との協議により選定することとする。

・8-1-10　モルタル及びグラウト材（8.2.12）

柱底等の均しモルタル　◎無収縮モルタル　・標仕表 7.10.2 によるＢ種
グラウト材　　◎無収縮グラウト材
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材は、評価名簿による

・8-1-11　打放し面の打増し

打増し厚さ（外部に面する部分）　◎20mm　・
打増し厚さ（内部に面する部分）　◎10mm　・20mm
打増し範囲　◎意匠図による　・

・8-1-12　無筋コンクリート（8.11.1~3）

種類	設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランプ（cm）	粗骨材の最大寸法	適用箇所
◎普通コンクリート	◎18	・15　・18	◎25mm	

○8-1-13　鉄骨の製作工場（8.1.5）

製作工場の加工能力
◎監督職員の承諾する製作工場
◎建築基準法第 77 条の 45 第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センターまたは(株）全国鉄骨評価機構（(旧）(社）全国鐵鋼工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　Ｒ　）グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場

・8-1-14　入熱、パス間温度の溶接条件

適用箇所　◎柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部　・図示（　）
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件　◎図示

○8-1-15　施工管理技術者（8.1.5）

◎適用する

○8-1-16　鋼材（8.2.8）（表 8.2.7）

鋼材の材質

種類の記号	使用箇所	規格等
図示	図示	◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による
		◎JIS 規格による

○8-1-17　溶接接合（8.15.7）

スカラップ　◎改良型スカラップ　・
エンドタブの切断　・行わない　◎行う
適用箇所　・全て　・図示（　）◎見え掛り部

○8-1-18　高力ボルト（8.2.9）（標仕 7.12.4）

・トルシア型高力ボルト　◎JIS 型高力ボルト　・溶融亜鉛メッキ高力ボルト
　　摩擦面の処理（◎ブラスト処理　・りん酸処理）

・8-1-19　鉄骨工作仮組（8.13.10）

◎行わない　・行う

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その５）	図面番号
設計年月日		Ａ－０５
設計者	一級建築士(351618 号)石川大悟	
発注者	鹿沼市	

鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事（建築工事）　特記仕様書

○8-1-20　溶接部の試験（8.15.11,12）
完全溶け込み溶接の超音波探傷試験　◎行う
現場隅肉溶接部の外観検査　◎行う（検査箇所　構造耐力上主要な部分である継手・仕口）

・8-1-21　錆止め塗料塗り（8.17.3）
耐火被覆材の接着する面の塗装　◎行わない　・行う（・JIS K 5622　・　　）

・8-1-22　耐火被覆（8.18.2～7）

種別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		
・耐火材巻き付け		

○8-1-23　既存コンクリートの目荒し（8.21.3）（8.22.3）
適用範囲
◎既存コンクリートとの打ち継ぎ面
◎既存コンクリートとモルタルまたはグラウト材の充填部の接合面
・
既存コンクリートの目荒しの程度
◎既存柱・梁面　打ち継ぎ面の 15～30%程度
◎既存壁　　打ち継ぎ面の 15～30%程度
既存コンクリートの目荒しの範囲
◎平均深さ２～５mm（最大深さ７mm）程度の凹面を、全体にわたってつける

○8-1-24　あと施工アンカーの材料（8.2.4）
あと施工アンカーの材料
・金属系アンカー（耐震補強用）
◎接着系アンカー
アンカーの種類　◎カプセル型回転　・打撃式
接着剤の品質　◎有機系　・無機系
アンカー筋の種類　◎鉄筋コンクリート用異形棒鋼　・全ねじボルト

○8-1-25　あと施工アンカーの穿孔（8.12.4）
穿孔前の埋め込み配管等の探査
範囲　◎あと施工アンカー施工部分すべて　・図示
方法　◎探査機により精査し、配管等の位置の墨出しを行う　・はつり出しによる
既存コンクリートの不良箇所の確認
アンカー施工部位の既存コンクリートは目荒らし後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること。

○8-1-26　あと施工アンカーの施工確認試験（8.12.7）
確認試験　◎行う　・行わない
試験方法　◎引張試験（確認強度は図示による）　・

○8-1-27　アンカーボルトの保持及び埋込み工法（標仕 7.10.3）（標仕表 7.10.1）
・構造用アンカーボルト
材質　　・SNR400B　・SNR490B
埋込み工法　・図示
・建方用アンカーボルト
材質　　・SS400
埋込み工法　・Ａ種　　◎Ｂ種

８－２章　耐震改修工事

・8-2-1　打増し壁に用いるシアコネクタ（8.2.4）
現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ
種類　　◎「24 あと施工アンカーの材料」による　・
間隔（mm）◎500×500　・図示

・8-2-2　増設・補強工事のコンクリートの打込み（8.21.8）（8.23.5）
工法の種類　・流し込み工法　・圧入工法

・8-2-3　柱補強（8.23.5,6）（8.24.1）
・溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法
・鋼板巻き工法及び鋼帯巻き付け工法
・連続繊維補強工法

・8-2-4　連続繊維シート巻き（8.2.13）（8.24.1）
材料・形状　採用した工法の規定を満足するもの
材質　引張り強度（含浸硬化後）　・2500N/mm2 以上　・3000N/mm2 以上
ヤング係数（含浸硬化後）　・2.35×105N/mm2 程度　・2.30×105N/mm2 以上
工法　◎（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法　・
下地調整
仕上げモルタルの除去　◎行う　・行わない
ひびわれ部の改修工法の種類　・樹脂注入方法　・Ｕカットシール材充填方法　・シール工法
柱の隅角部の面取り　◎工法の評価内容による

・8-2-5　耐震スリットの施工（8.25.2）
耐震スリット部の配管等の探査
◎探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う　・はつり出し
充填材
◎外壁に配置された耐震スリット材は耐火性能及び止水性能を有するものとし、その他は図示による。

９章　環境配慮工事

・9-1　アスベスト粉じん濃度測定（9.1.1）

測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備考
・測定１	処理作業前	処理作業室内	各　点	—
・測定２		施工区画周辺または敷地境界	計　点	—
・測定３	処理作業中	処理作業室内	各　点	—
・測定４		セキュリティーゾーン入口	各　点	空気の流れを確認
・測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各　点	除じん装置の性能確認
・測定６		施工区画周辺または敷地境	計　点	—
・測定７	処理作業後	処理作業室内	各　点	—
・測定８	隔離シート撤去前	施工区画周辺または敷地境界	計　点	—

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定３	測定１，２，４，６，７，８	測定５
計測機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25 ㎜		47 ㎜
試料の吸引流量	１l/min	５l/min	10l/min
試料の吸引時間	５min	120min	240min
試料の透明化	アセトンートリアセチレン法またはシュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本または視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径３㎛未満、長さ５㎛以上、長さと直径比３：１以上		
定量限界	50f/l	0.5f/l	0.3f/l

報告書の作成（記載する項目）
ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載する）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

○9-2　アスベスト含有材の処理（9.1.3～6）
除去範囲　・図示　・
除去工法　改修標仕 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様による。
処理方法　◎密封処理（二重袋梱包）　◎湿潤化　・セメント固化
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
除去したアスベスト含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

・アスベスト含有保温材の除去
除去範囲　・図示　・
除去工法　・改修標仕 9.1.4 による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）
処理方法　◎密封処理（二重袋梱包）　◎湿潤化　・セメント固化
除去したアスベスト含有保温材の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

●アスベスト含有成型板等の除去
除去範囲　●図示　・
除去工法　●改修標仕 9.1.5 による
除去したアスベスト含有成形板等の処分
・アスベスト含有石こうボード
◎埋立処分（管理型最終処分場）
●アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板等
●埋立処分（安定型最終処分場）　・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

・アスベスト含有建築用仕上塗材の除去
除去範囲　・図示　・
除去工法　・改修標仕 9.1.6 による
除去したアスベスト含有建築用仕上塗材の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

・9-3　外断熱改修工事（9.3.2～4）
断熱材の種類

材料名	厚さ（mm）
・ビーズ法ポリスチレンフォーム　（ノンフロン［G］）	
・押出法ポリスチレンフォーム　（ノンフロン［G］）	
・硬質ウレタンフォーム　（ノンフロン［G］）	
・フェノールフォーム	
・ロックウール	
・グラスウール	

外装材の種類
・　　防火性能
既存外壁の仕上材の撤去　・有　・無
下地面の清掃及び下地調整　◎断熱材製造所の指定する仕様
通気層　・有（　　mm）　・無
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。
特記なき事項は、製造所の仕様による。

・9-4　屋上緑化改修工事［G］（9.4.1）
植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　◎図示

・9-5　透水性アスファルト舗装改修工事［G］（9.5.3,4,9）（表 9.5.1,3,5）
凍上抑制層の材料
・凍上抑制層　　◎再生クラッシャラン［G］　・クラッシャラン切込み砂利　・砂
厚さは図示による
盛り土に用いる材料
・Ａ種　◎Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種
路床安定処理
◎添加材料による安定処理
種類　　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントＢ種
　　・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　　・　　k［G］/m3（目標ＣＢＲ　・５以上　・　　）
路盤材料
◎再生クラッシャラン（RC-40）［G］
・クラッシャラン鉄鋼スラグ（CS-40）［G］
・クラッシャラン(C-40)
透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　◎行う（・乱した土　◎乱さない土）　・行わない
路床締固め度の試験　◎行う　・行わない
砂の粒度試験　◎行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　◎行う　・行わない
セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験
◎行う　　「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領（案）」による。
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　◎行わない

・9-6　ＰＣＢ含有シーリング材の処分
（１）事前調査等
シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。
・現場においてサンプルを採取
採取箇所　　◎外壁目地　・図示　・
採取箇所数　◎部材が異なる毎に１箇所　・図示・
分析によりＰＣＢの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。
（２）施工調査等
調査範囲　◎図示　・
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。
シーリング使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
仮設計画
廃棄物等の搬出方法
（３）除去処理工事
除去方法
「標準施工要領書（日本シーリング工事共同組合連合会／日本シーリング材工業会」による。

・9-7　処理に注意を要する建設副産物

名称	仕様	数量	備考
・ＣＣＡ処理木材			
・石綿含有石こうボード			
・ひ素・カドニウム含有石こうボード			
・上記以外の石こうボード			

石こうボードの撤去にあたっては、下記に事項について施工前調査を行う。
調査結果は、図面及び写真に記録し、監督職員に提出する。
（１）石こうボードの使用部位の確認
（２）石こうボードの種類、製造会社名、厚さ等の確認、記録
（３）石こうボードの使用数量の確認
（４）施工範囲等の確認
処分を委託する際には、マニフェストの備考欄に石こうボードの有無、製造会社名等を記載する。

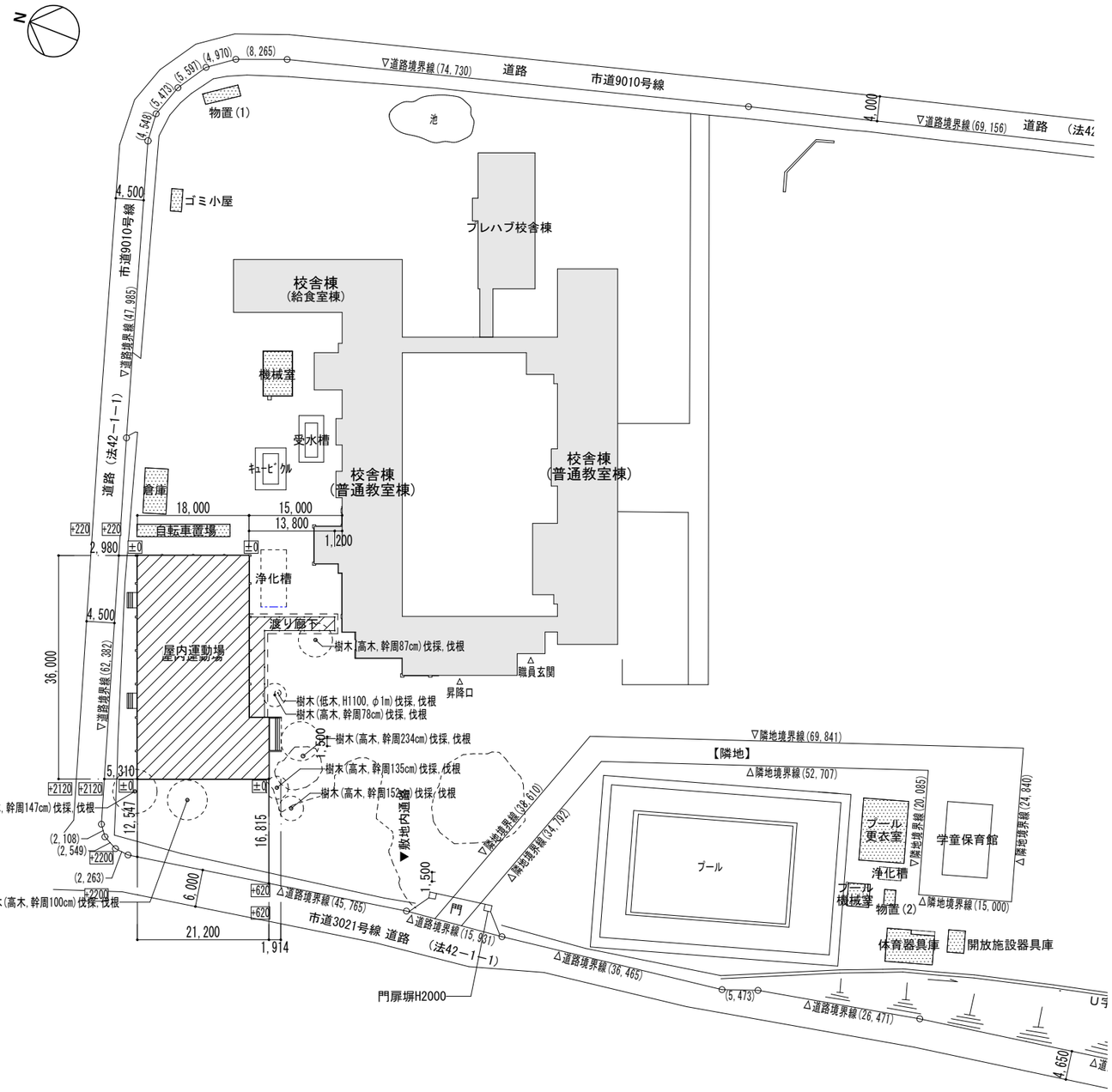
別表－１　他工事との取り合い

工事内容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事			
						●印を適用する
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクルまで）	●	○	○			
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクル以降）	●	●	●			
仮設電力の電気料	●	●	●			
本受電後の電気基本料金	○	○	○			
本受電後引渡しまでの電気使用料	●	●	●			
仮設水道の引込み（メーターまで）	●	○	○			
仮設水道の引込み（メーター以降）	●	●	●			
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	●	●	●			
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠（電気､機械の配管等）	○	●	●			
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●	○	○			
~~屋上に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）~~						
屋内及び屋外に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	○	●	●			
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の位置・墨出し	○	●	●			
天井・壁(軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	●	●			
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	●	○	○			
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強	●	○	○			
天井換気扇の取付	○	○	●			
壁・窓用換気扇の取付	○	○	●			
壁・窓用換気扇取付枠	●	○	○			
点検口の取付（床・壁・天井・ＰＳ等）	●	○	○			
防煙ダンパー	○	○	○			
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○			
床仕上げ材の穴あけ（フローリングブロック等）	●	○	○			
ルーフドレイン及び縦どい（樋及び側溝までの配管）	●	○	○			
配線ビット及び蓋						
~~電極棒及びフロートスイッチ~~						
~~自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等２次側配線~~						
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	●	○			
機械設備の制御、操作盤の２次側配線	○	○	●			
~~天井吊り形扱熱器（ＦＣＵ等）と操作スイッチとの配管・配線・接地工事~~						
~~消火栓箱組合盤用穴あけ~~						
~~設備機器のインターロックの配管・配線~~						
~~電気設備のフェンス・金網~~						
~~ガス漏れ警報器（単設型）~~						
~~ガス漏れ警報器（集中監視型）~~						
~~ガス漏れ警報用器用コンセント~~						
~~造り付け流し台~~						
~~造り付け流し台排水トラップ~~						
~~既製流し台及び排水トラップ（ガス台・洗面化粧台等を含む）~~						
~~既製吊戸棚~~						
鏡（姿見は建築工事）	○	○	●			
~~昇降機の出入口開口の型枠~~						
~~昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠~~						
~~昇降機のピット内保守用コンセント~~						
~~外壁取付ガラリ、排煙口~~						
トイレ｜型手すり	○	○	●			
同上下地補強	●	○	○			
衛生器具等の撤去	●	○	○			
衛生器具等の下地補強	●	○	○			
スピーカー､時計､盤等の下地補強	●	○	○			
排水（雨水竪樋）カバー	●	○	○			

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事（建築工事）	
図面名称／縮尺	特記仕様書（その６）	図面番号
設計年月日		Ａ－０６
設計者	一級建築士(351618 号)石川大悟	
発注者	鹿沼市	

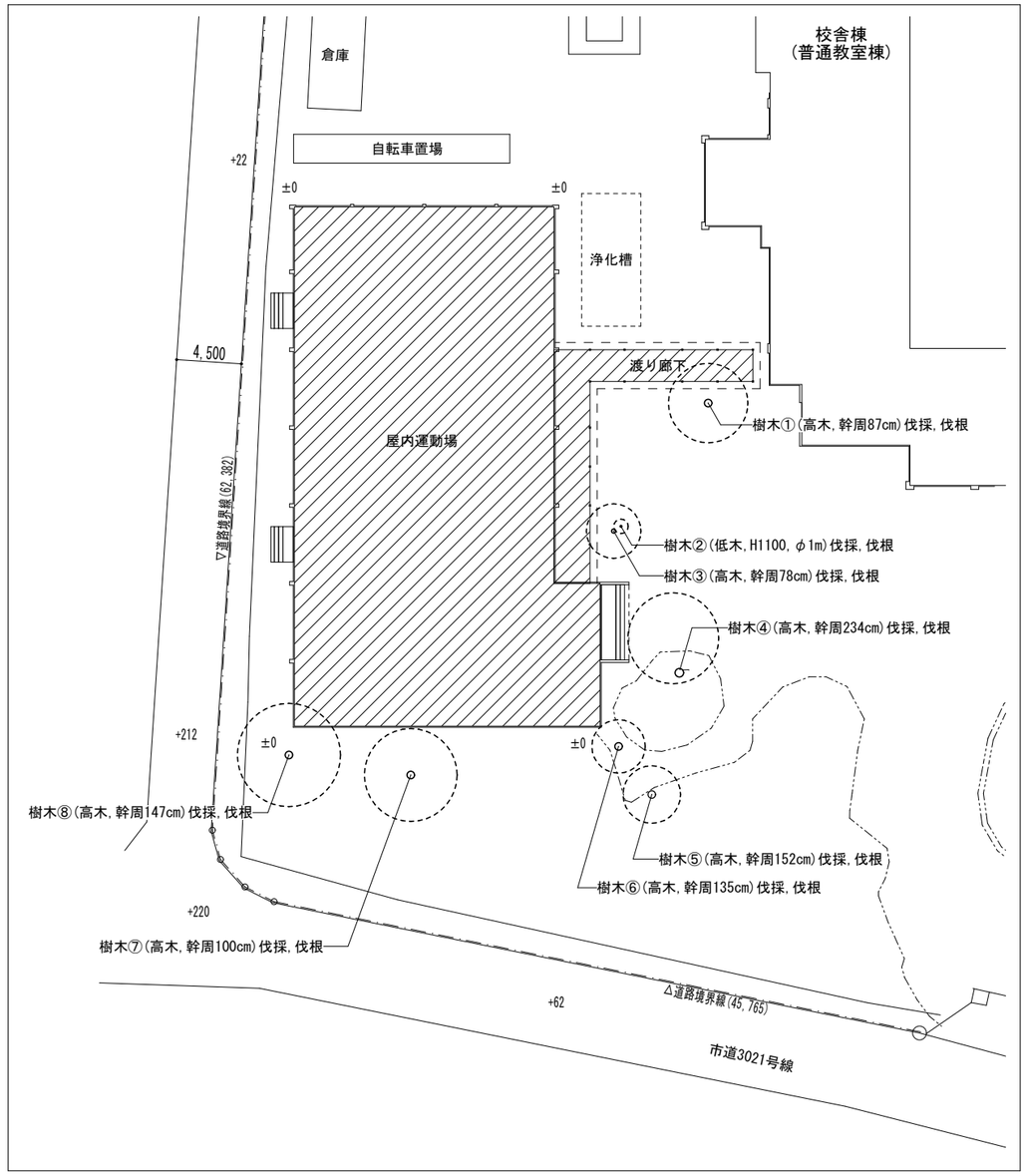
（鹿沼市 R7.4）

[改修前]



配置図[改修前] 1:600

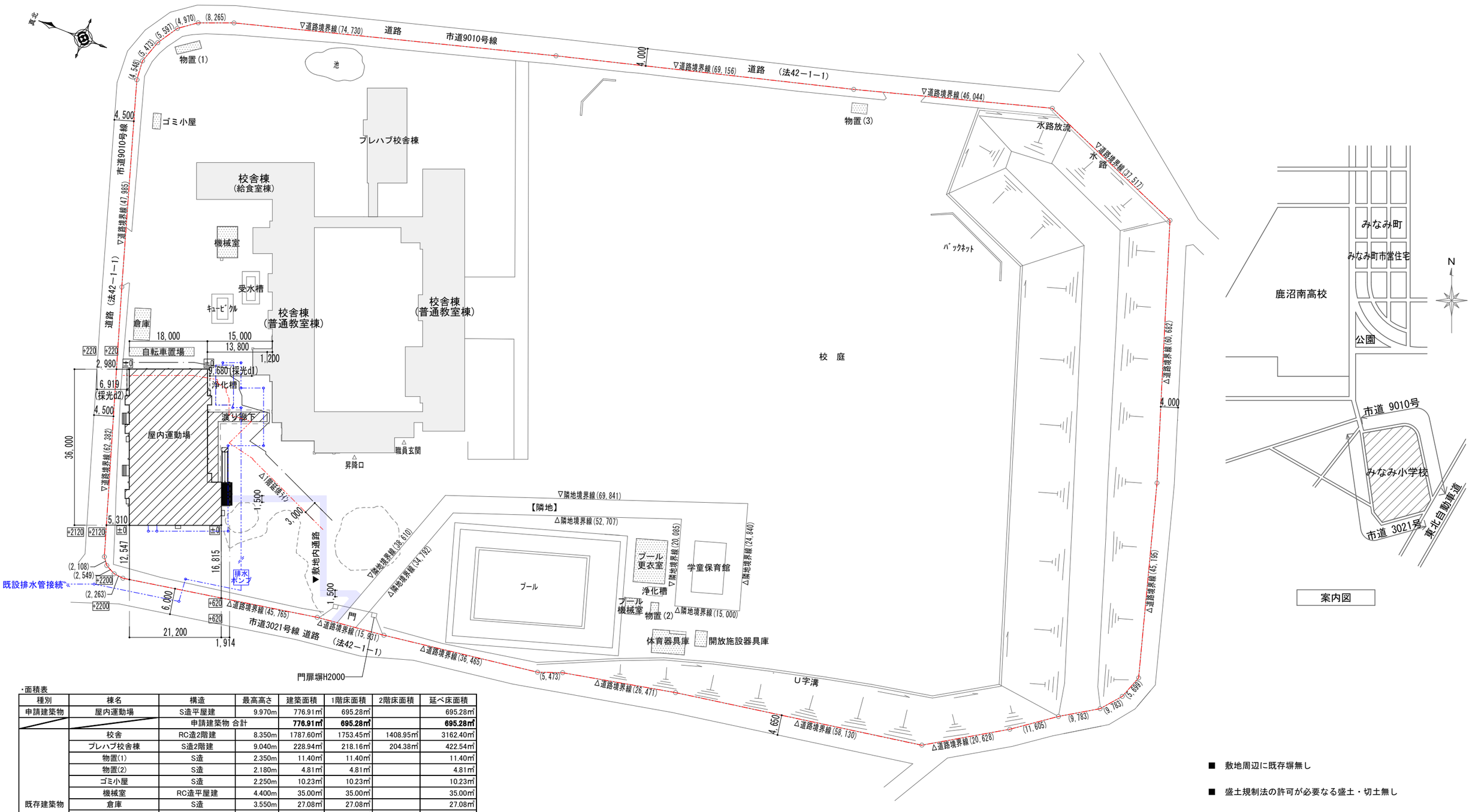
…工事対象建物



外構解体図 1:300

	一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
		図面名	案内図・配置図[改修前]	承認 / 作成者	図面番号
		縮尺	A2＝1:600, 1:300	作成日	2026年6月4日	A-07

[改修後]



案内図

配置図[改修後] 1:600

■ 敷地周辺に既存塀無し

■ 盛土規制法の許可が必要なる盛土・切土無し

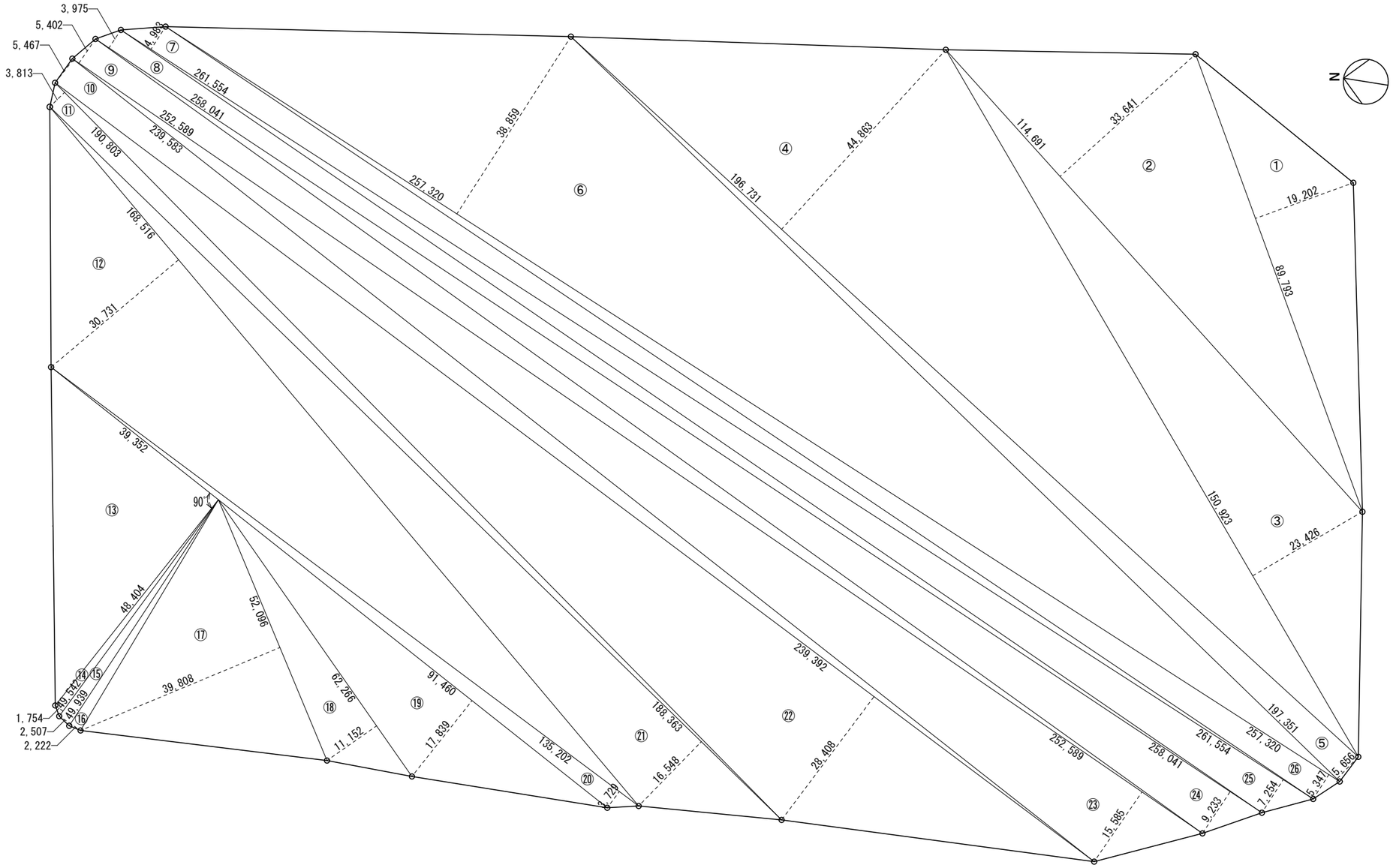
…工事対象建物

・面積表

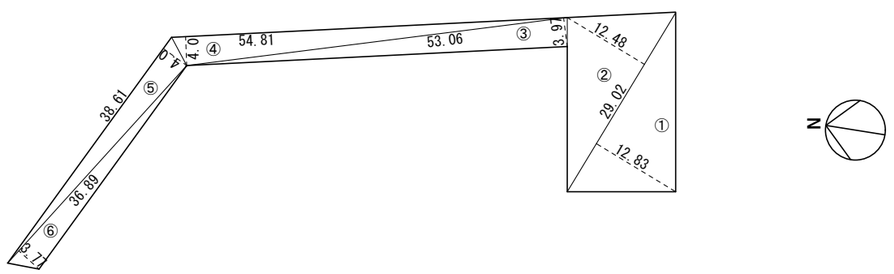
種別	棟名	構造	最高高さ	建築面積	1階床面積	2階床面積	延べ床面積
申請建築物	屋内運動場	S造平屋建	9.970m	776.91㎡	695.28㎡		695.28㎡
		申請建築物 合計		**776.91㎡**	**695.28㎡**		**695.28㎡**
既存建築物	校舎	RC造2階建	8.350m	1787.60㎡	1753.45㎡	1408.95㎡	3162.40㎡
	プレハブ校舎棟	S造2階建	9.040m	228.94㎡	218.16㎡	204.38㎡	422.54㎡
	物置(1)	S造	2.350m	11.40㎡	11.40㎡		11.40㎡
	物置(2)	S造	2.180m	4.81㎡	4.81㎡		4.81㎡
	ゴミ小屋	S造	2.250m	10.23㎡	10.23㎡		10.23㎡
	機械室	RC造平屋建	4.400m	35.00㎡	35.00㎡		35.00㎡
	倉庫	S造	3.550m	27.08㎡	27.08㎡		27.08㎡
	自転車置場	S造	2.650m	37.26㎡	48.60㎡		48.60㎡
	プール更衣室	木造平屋建	5.000m	72.87㎡	72.87㎡		72.87㎡
	プール機械室	S造平屋建	3.400m	12.93㎡	12.93㎡		12.93㎡
	体育器具庫	木造平屋建	3.800m	35.64㎡	35.64㎡		35.64㎡
	開放施設器具庫	S造	3.550m	10.24㎡	10.24㎡		10.24㎡
	物置(3)	S造	2.400m	8.28㎡	8.28㎡		8.28㎡
		既存建築物合計		**2282.28㎡**			**3862.02㎡**
建築物全体 合計				**3059.19㎡**			**4557.30㎡**

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 A へ－2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	案内図・配置図[改修後]	承認 / 作成者	図面番号 A-08
縮尺	A2＝1:600,	作成日	2026年6月4日



敷地求積図(1)　1：600



敷地求積図(2)　※学童保育館 敷地　1：600

□敷地求積表

敷地面積(1)

記号	計算式				面積(㎡)
①	89.793	×	19.202	=	1724.2051860
②	114.691	×	33.641	=	3858.3199310
③	150.923	×	23.426	=	3535.5221980
④	196.731	×	44.863	=	8825.9428530
⑤	197.351	×	5.656	=	1116.2172560
⑥	257.320	×	38.859	=	9999.1978800
⑦	261.554	×	4.983	=	1303.3235820
⑧	258.041	×	3.975	=	1025.7129750
⑨	252.589	×	5.402	=	1364.4857780
⑩	239.583	×	5.467	=	1309.8002610
⑪	190.803	×	3.813	=	727.5318390
⑫	168.516	×	30.731	=	5178.6651960
⑬	48.404	×	39.352	=	1904.7942080
⑭	49.542	×	1.754	=	86.8966680
⑮	49.939	×	2.507	=	125.1970730
⑯	49.939	×	2.222	=	110.9644580
⑰	52.096	×	39.808	=	2073.8375680
⑱	62.266	×	11.152	=	694.3904320
⑲	91.460	×	17.839	=	1631.5549400
⑳	135.202	×	3.729	=	504.1682580
㉑	188.363	×	16.548	=	3117.0309240
㉒	239.392	×	28.408	=	6800.6479360
㉓	252.589	×	15.585	=	3936.5995650
㉔	258.041	×	9.233	=	2382.4925530
㉕	261.554	×	7.254	=	1897.3127160
㉖	257.320	×	5.347	=	1375.8900400
				(合計	66610.7022740
				(合計÷2	33305.3511370
				敷地面積(1)	33305.35m2

敷地面積(2)[学童保育館 敷地]

記号	計算式				面積(㎡)
①	29.020	×	12.83	=	372.3266000
②	29.020	×	12.48	=	362.1696000
③	53.060	×	3.970	=	210.6482000
④	54.810	×	4.000	=	219.2400000
⑤	38.610	×	4.000	=	154.4400000
⑥	36.890	×	3.770	=	139.0753000
				(合計	1457.8997000
				(合計÷2	728.9498500
				敷地面積(2)	728.94m2

敷地面積(1)　－　敷地面積(2)　＝　申請敷地面積

33305.35㎡　－　728.94㎡　＝　32576.41m2

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ－2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
	図面名 敷地求積図	承認	作成者
	縮尺 A2＝1:600,	作成日 2026年6月4日	図面番号 A-09

外部仕上表

外壁

既存

壁
外壁:間柱 杉 100×100/3 @450 ※ピッチ参考[一部撤去]
横胴縁 杉 24×45 @450 ※ピッチ参考[撤去]
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ20kg下地 [撤去]
防火ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ厚12.5mm ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
※アスベスト含有材 [撤去]

断熱材：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ厚75mm[撤去]

柱型
ラスモルタル刷毛引下地リシン吹付[撤去]

改修後

壁、柱型
外壁：間柱 杉 100×100/3 @450※ピッチ参考 [既存利用]
(一部 間柱 杉 100×45 @450 [新設])
透湿防水シート厚0.2mm[新設]
通気金具 [新設](柱型:木胴縁杉15×45@455(ﾀﾃﾖｺ共))
窯業系サイディング 横張り厚16mm [新設]
(光ｾﾗ同等品) 厚16mm [新設]
※30年保証サイディング
外壁シーリング：高耐力仕様シーリング材

断熱材：グラスウール24K厚100mm[新設]

床置きACスペース
外壁：胴縁 C-100×50×20×2.3@455[新設]
透湿防水シート厚0.2mm[新設]
通気金具 [新設]
窯業系サイディング 横張り 厚16mm [新設]

断熱材：グラスウール24K厚100mm[新設]

開口部

既存

建具廻り

・アルミ製建具[全て撤去]

・スチール製建具 [全て撤去]
・床下換気口×22箇所[8箇所 撤去]

改修後

建具廻り

・アルミ製建具[全て新設]
[全て遮熱シート及び飛散防止ﾌｨﾙﾑ 新設]
・スチール製建具 [全て新設]
・床下換気口×14箇所[既存面下地調整(RB種)のうえDP塗]

共通特記事項

・指定材料は特記なき場合、日本産業規格または日本農林規格適合品とする。(無クロルピリホス・無石綿)
・鉄骨の防錆塗装は全て F☆☆☆☆ 以上のものを使用する。
・建物内部に使用する建築材料は全てF☆☆☆☆ 又は規制対象外品とする。
・室内化学物質濃度の測定を行うこと(測定は厚生労働省基準による)

※ 本設計図は現存する設計図書と現地調査結果を元に作成しており、隠蔽部等不明点は想定とする。
※ 工事に際し、現地計測・測量等を行い施工図・施工資料を作成し、監督員と協議のうえ施工すること。

◆建築物の基礎、主要構造部は法37条に準じた材料とする。

◆給排水設備　換気設備は令129条の2の4、令129条の2の5の基準に準じた配管設備の設置及び構造とする。

屋根等

既存

◎屋内運動場　大屋根

・円形屋根

屋根：長尺ｶﾗｰ鉄板厚0.4mm瓦棒葺
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ20kg
木毛ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ板厚25mm ｼﾞｮｲﾅｰ付
母屋 C-75×45×15 t1.6mm ～@600

軒樋：軒樋:ｶﾗｰ鉄板厚0.4mm加工 [撤去]
受金物 FB-25×3@900 OP塗り [撤去]
竪樋 VPφ100 [撤去]

◎屋内運動場　下屋

・玄関屋根

屋根：折版:三晃式 S-60 厚0.8mm
屋根裏打断熱材
雨押え： カラー鉄板 厚0.4mm加工 [撤去]
軒天：珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm目透かしVP [撤去]
軒樋：カラー鉄板厚0.4mm加工
受金物 FB-6×50 ～@900
竪樋 VPφ100 [撤去]

・西側屋根

屋根：長尺カラー鉄板 厚0.4mm 瓦棒葺
アスファルトフェルト20kg
木毛ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ板 厚25mm ジョイナー付

雨押え： カラー鉄板 厚0.4mm加工 [撤去]

軒天：珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm目透かしVP [撤去]

破風：ﾗﾜﾝ30×280 0.5ﾎﾞｲﾙ油ﾌﾞｷ [撤去]

軒樋：100×120 ｶﾗｰ鉄板 厚0.4mm加工 [撤去]
竪樋 VP75φ [撤去]

◎渡り廊下

・屋根：ルーフデッキ片面カラー厚0.5mm
雨押え： カラー鉄板 厚0.4mm加工 [撤去]
破風：カラー鉄板厚0.5mm加工
軒樋：カラー鉄板厚0.5mm加工 [撤去]
竪樋 カラー鉄板厚0.3mm加工 φ75 [撤去]

改修後

◎屋内運動場　大屋根

・円形屋根

新設屋根(※カバー工法改修仕様)：
ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)
嵌合式縦ハゼ葺き
ゴムアスファルトルーフィング厚1.0mm
VIﾀﾙﾈ(ﾀﾃ)@420 同等品
VIﾀﾙﾈ(ﾖｺ)@606 同等品
VIボード厚75mm(発泡性ﾎﾟﾘｴｽﾃﾚﾝ系ﾋﾞｰｽﾞ40倍発泡)同等品

既存屋根：長尺ｶﾗｰ鉄板厚0.4mm瓦棒葺[既存利用]
ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ20kg[既存利用]
木毛ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ板厚25mm ｼﾞｮｲﾅｰ付[EP塗装]
母屋 C-75×45×15 t1.6mm ～@600
⇒[既存面下地調整(RB種)のうえDP塗]

軒樋：軒樋:塩ビ製(カラー) SUS支持金物共 [新設]
(超芯V300同等品)
竪樋 カラーVPφ100 [新設]
落ち葉よけネット[新設]

◎屋内運動場　下屋

・玄関屋根

新設屋根：折版:三晃式 S-60 厚0.8mm[既存利用]
⇒遮熱塗料塗り：
屋根用高日射反射率塗料 2種・2級（艶有り））
JIS K 5675
屋根裏打断熱材[既存利用]

雨押え：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4 厚0.4mm加工[新設]

軒天：珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm EP塗り[新設]

軒樋：カラー鉄板厚0.4mm加工[既存利用]
受金物 FB-6×50 ～@900[既存利用]
竪樋 カラーVPφ100 [新設]

天井断熱材：グラスウール24K 厚100mm[新設]

・西側屋根

新設屋根(※カバー工法改修仕様)：
ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4(遮熱機能付き)
嵌合式縦ハゼ葺き
ゴムアスファルトルーフィング厚1.0mm
VIﾀﾙﾈ(ﾖｺ)@606 同等品
VIボード厚75mm(発泡性ﾎﾟﾘｴｽﾃﾚﾝ系ﾋﾞｰｽﾞ40倍発泡)同等品

既存屋根：長尺カラー鉄板 厚0.4mm 瓦棒葺[既存利用]
アスファルトフェルト20kg[既存利用]
木毛ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ板 厚25mm ジョイナー付[既存利用]

雨押え：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.35加工[新設]
軒天：珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mmEP塗り[新設]

破風：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.35加工[新設]

軒樋：塩ビ製(カラー) SUS支持金物共 [新設]
(超芯V300同等品)
竪樋 カラーVPφ100 [新設]
落ち葉よけネット[新設]

◎渡り廊下

・屋根：ルーフデッキ片面カラー厚0.5mm
[下地調整(RB種)のうえDP塗り]
雨押え：カラーガルバリウム鋼板 厚0.35mm加工[新設]
破風：カラー鉄板厚0.35mm加工 [既存面下地調整(RB種)の
うえDP塗]
軒樋：塩ビ製(カラー) SUS支持金物共 [新設]
(超芯V300同等品)
竪樋 カラーVPφ100 [新設]

◎床置きACスペース

・屋根[新設]：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.4立てハゼ葺き
(遮熱機能付き)
改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ厚1.0mm
木毛セメント板 厚12mm
母屋 C-100×50×20×2.3 ～@455

雨押え:ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.35加工[新設]
破風：ﾌｯ素ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t=0.35加工[新設]

その他

既存

外巾木
・モルタル刷毛引き

犬走り
・土間コンクリート モルタル金ゴテ 目地切

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(2箇所)：
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ゴテ仕上
ノンスリップタイル貼[撤去(一部ﾓﾙﾀﾙ共)]

北側階段
・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(ステージ側)：
土間コンクリート ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ｺﾞﾃ仕上[撤去]
ノンスリップタイル貼[撤去]

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(更衣室側)
土間コンクリート ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ｺﾞﾃ仕上
ノンスリップタイル貼[撤去(一部ﾓﾙﾀﾙ共)]

渡り廊下
・床：土間コンクリート モルタル金ゴテ 目地切

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(ステージ側)：
土間コンクリート ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ｺﾞﾃ仕上
ノンスリップタイル貼[撤去(一部ﾓﾙﾀﾙ共)]

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(玄関側)：
土間コンクリート ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ｺﾞﾃ仕上[撤去]
ノンスリップタイル貼[撤去]

玄関ポーチ
・ポーチ：土間ｺﾝｸﾘｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地100角磁器床ﾀｲﾙ [撤去]
・階段：土間ｺﾝｸﾘｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地100角磁器床ﾀｲﾙ 段鼻タイル共
[撤去]

構造補強材
・ブレース

外構
・縁石：歩車道境界-A 150/170×200×600[一部撤去]
砂利敷：洗砂利40mm厚100mm[一部撤去]

水呑場
・コンクリート製 [撤去]

改修後

外巾木
・既存利用

犬走り
・土間コンクリート モルタル金ゴテ 目地切[既存利用]

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(2箇所)：
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ゴテ仕上[ﾓﾙﾀﾙ補修]
⇒ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽ製35埋め込みのうえﾓﾙﾀﾙ補修

北側階段
・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(ステージ側)：
土間コンクリート ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ｺﾞﾃ仕上[新設]
ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽ製35埋め込み[新設]

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(更衣室側)
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ゴテ仕上[ﾓﾙﾀﾙ補修]
⇒ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽ製35埋め込みのうえﾓﾙﾀﾙ補修

渡り廊下
・床：既存利用
ウッドデッキ[新設]

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(ステージ側)
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ゴテ仕上[ﾓﾙﾀﾙ補修]
⇒ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽ製35埋め込みのうえﾓﾙﾀﾙ補修

・ｺﾝｸﾘｰﾄ階段(玄関側)：
土間コンクリート ﾓﾙﾀﾙ厚30mm金ｺﾞﾃ仕上[新設]
ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ ｽﾃﾝﾚｽ製35埋め込み[新設]

玄関ポーチ
・ポーチ：土間ｺﾝｸﾘｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地100角磁器床ﾀｲﾙ仕上[新設]
・階段：土間ｺﾝｸﾘｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地100角磁器床ﾀｲﾙ仕上[新設]
段鼻タイル共
・玄関スロープ：土間コンクリート刷毛引仕上[新設]
ｽﾃﾝﾚｽ手摺[新設]
(ナカ工業 ｸﾞﾗﾊﾝ・ﾛﾝｸﾞｽﾊﾟﾝﾘｽﾃ同等品)

構造補強材
・ブレース：[ボルト締め直し]及び
[既存面下地調整(RB)のうえDP塗]

外構
・縁石：既存利用[一部復旧]
砂利敷：既存利用

水呑場
・SUS製 [新設]

庇
・アルミ庇:アルフィンAF90 同等品×4箇所 [新設]

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 A へ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	外部仕上表[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号 A-10
縮尺 Non	作成日 2026年6月4日			

内部仕上表

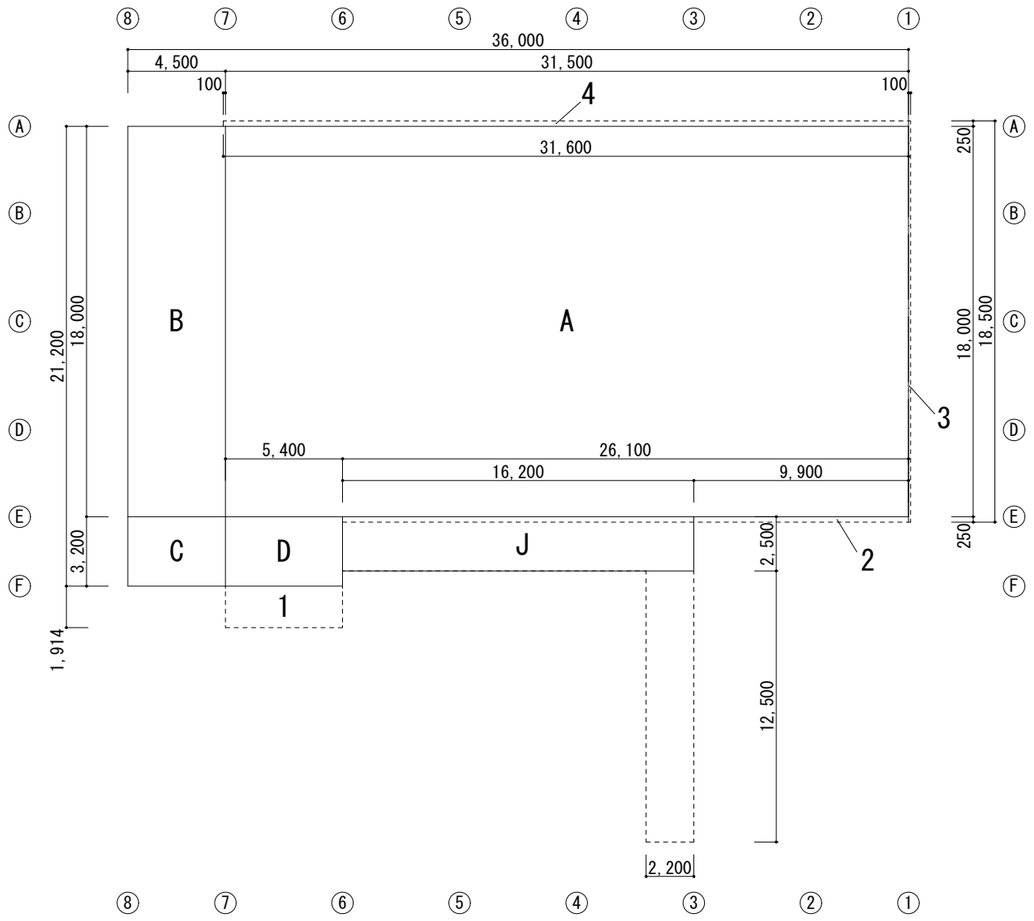
室名		床		巾木	壁		天井				備考
		床組(床下)	仕上		壁下地	仕上	下地	仕上	廻縁	天井高さ	
玄関	改修前	玄関床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地 玄関土間：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地[撤去]	玄関床：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.8mm貼り　[撤去] 玄関土間：100角磁器質床タイル　[撤去]	ラワンH=100mm OSV塗り [撤去]	胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去]	ﾗﾜﾝ合板厚5.5mm下地　[撤去] ﾗﾜﾝﾘﾌﾞ15×60 ～@90 OSV塗り　[撤去]	軽量鉄骨下地　[撤去]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) [撤去]	ﾌｸﾋﾞ45号 [撤去]	2400 (土間部2500)	下足入れ×2箇所[撤去]
	改修後	玄関床：既存のまま 玄関土間：土間ｺﾝｸﾘｰﾄ増し打ち [新設]	玄関床：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm張　[新設] 玄関土間：ﾓﾙﾀﾙ下地100角磁器床タイル　[新設]	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	石膏ボード厚12.5mm下地クロス仕上　[新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2400･2250 (土間部2410)	下足入れ×2箇所[新設]
アリーナ	改修前	鋼製床組	合板捨貼り厚12mm特殊貼り[一部撤去] +ﾌﾟﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm PP塗り[一部撤去]	ラワンH=100mm OSV塗り [撤去]	胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去] ※ｱﾘｰﾅ部FL～H=1000まで(ﾀﾃﾖｺ共～@250) [撤去] 2通り：胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@360)[撤去]	ﾗﾜﾝ合板厚5.5mm下地 [撤去] ﾗﾜﾝﾘﾌﾞ15×60 ～@90 OSV塗り [撤去]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm 鉄骨部：OP塗り ※ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：木下地 [撤去]	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚4mm目透かし貼り OP塗り [撤去]		勾配天井	カーテンBOX×4箇所[撤去]、 暗幕(レール共)[撤去]、 バスケットゴール×4箇所[撤去]
	改修後	既存のまま	合板捨貼り厚12mm特殊貼り[一部復旧] +ﾌﾟﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm[一部復旧] ⇒ｻﾝﾀﾞｰ掛け3回のうえ1-UC3回塗り	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉40×45(ヨコ共～@455) [新設]	針葉樹合板厚12mm下地[新設] 杉羽目板縦張り厚12mmOSCL塗り[新設] ※1FL～H2596mmまで	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm[EP塗装] 鉄骨部：既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗り ※ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：木下地 [新設]	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：杉羽目板張り厚12mm UC塗り[新設]	木廻縁 [新設] ※ｷｬｯﾄ ｳｫｰｸ下	勾配天井	ﾊﾞｽｹｯﾄｺﾞｰﾙ×4箇所[新設],消火器埋め込みBOX×2箇所[新設] 防球ﾈｯﾄ用ﾚｰﾙ(出入口×4箇所)[新設],防球ﾈｯﾄﾁｪｰﾝ式(ｽﾃｰｼﾞ×1箇所)[新設],カーテンBOX×4箇所(レール共)[新設] ステージ舞台幕一式[新設]
キャットウォーク	改修前	根太40×45～@303 大引90×90～@900	寄木ﾌﾛｱｰ厚12mm	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去] 2通り：胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@360)[撤去]	ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6.0mm目透かし貼 OP塗り [撤去]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm 鉄骨部:OP塗り			勾配天井	カーテンBOX×14箇所[撤去]、 暗幕(レール共)[撤去]
	改修後	既存のまま	寄木ﾌﾛｱｰ厚12mm　⇒サンダー掛けのうえ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm張　[新設]	杉上小H=100 UC塗り [新設]	【ｱﾘｰﾅ側】杉40×45(ヨコ共～@455)[新設] 【ｽﾃｰｼﾞ側】杉15×45(ヨコ共～@455)[新設]	【ｱﾘｰﾅ側】針葉樹合板厚12mm下地[新設] シナ合板厚5.5mm(目透かし張り)UC塗[新設] 【ｽﾃｰｼﾞ側】針葉樹合板厚12mm下地[新設] ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm(目透かし張り)UC塗[新設]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm[EP塗装] 鉄骨部：既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗り			勾配天井	カーテンBOX×14箇所(レール共)[新設]
ステージ	改修前	ステージ：木造床組 ステージ下:コンクリート金ゴテ押え	ステージ：合板捨貼り厚12mm +ﾌﾟﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm PP塗り	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	胴縁 杉 24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@450)[撤去] 2通り：胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@360)[撤去]	ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6mm目透かし張 OP塗り [撤去] 1通り(ｱﾘｰﾅFL+5500～)：ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm 目透かし貼 OP塗り[撤去]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm 鉄骨部:OP塗り ※ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：木下地 [撤去]	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚4mm目透かし貼り OP塗り [撤去]		勾配天井	台車パネル付き×3台[撤去]、 舞台幕(レール共)[撤去]
	改修後	既存のまま	ステージ：合板捨貼り厚12mm特殊貼り(既存のまま) +ﾌﾟﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm ⇒サンダー掛け3回のうえ1-UC3回塗り	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	針葉樹合板厚12mm下地[新設] シナベニヤ厚5.5mm(目透かし張り)UC塗[新設]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm[EP塗装] 鉄骨部：既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗り ※ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：木下地 [新設]	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：杉羽目板張り厚12mm UC塗り[新設]	木廻縁 [新設] ※ｷｬｯﾄ ｳｫｰｸ下	勾配天井	台車ガイドレール額縁パネル付4台[新設]、 舞台幕(レール共)[新設]
放送室	改修前	木造床組	合板捨貼り厚12mm +ﾌﾟﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm PP塗り	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	胴縁 杉 24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@450)[撤去] 2通り：胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@360)[撤去]	ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6mm目透かし張 OP塗り [撤去] 1通り(ｱﾘｰﾅFL+5500～)：ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm 目透かし貼 OP塗り[撤去]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm 鉄骨部:OP塗り ※ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：木下地 [撤去]	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚4mm目透かし貼り OP塗り [撤去]		勾配天井	
	改修後	既存のまま	合板捨貼り厚12mm(既存のまま) +ﾌﾟﾅﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm ⇒サンダー掛け3回のうえ1-UC3回塗り	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	針葉樹合板厚12mm下地[新設] シナベニヤ厚5.5mm(目透かし張り)UC塗[新設]	野地板：木毛ｾﾒﾝﾄｼｳﾑ板 厚25mm[EP塗装] 鉄骨部：既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗り ※ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：木下地 [新設]	ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下：杉羽目板張り厚12mm UC塗り[新設]	木廻縁 [新設] ※ｷｬｯﾄ ｳｫｰｸ下	勾配天井	
器具庫	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.8mm貼り　[撤去]	ラワンH=100mm OS塗り [撤去]	胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去]	ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm目透かし貼 [撤去]	軽量鉄骨下地　[撤去]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) [撤去]	ﾌｸﾋﾞ45号 [撤去]	2400	飾り棚[撤去]
	改修後	既存のまま	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm張　[新設]	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	ラワン合板厚5.5mm(目透かし張り)UC塗[新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2400	飾り棚[新設]
女子更衣室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.8mm貼り　[撤去]	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去]	ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm目透かし貼 OP塗り [撤去]	軽量鉄骨下地　[撤去]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) [撤去]	ﾌｸﾋﾞ45号 [撤去]	2400	更衣棚[撤去]
	改修後	既存のまま	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm張　[新設]	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	シナ合板厚5.5mm(目透かし張り)UC塗[新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2400	更衣棚[新設]
男子更衣室 (撤去)	改修前	土間コンクリート[撤去] ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地[撤去]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.8mm貼り　[撤去]	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去]	ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm目透かし貼 OP塗り[撤去]	軽量鉄骨下地　[撤去]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) [撤去]	ﾌｸﾋﾞ45号 [撤去]	2400	更衣棚[撤去]
男子便所 (撤去)	改修前	土間コンクリート[撤去] ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地[撤去]	通路部分：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.8mm貼り　[撤去] トイレ部分：19φﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り　[撤去]	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	通路部分 壁:胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400) [撤去] トイレ部分 壁:モルタル下地[撤去]	通路部分 壁:ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6.0mm目透かし貼り OP塗り [撤去] トイレ部分 壁:100角半磁器ﾀｲﾙ貼り[撤去]	軽量鉄骨下地　[撤去]	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6mm目透かし貼り VP [撤去]	ﾌｸﾋﾞ46号 [撤去]	2400・2450	トイレブース[撤去]、洋便器×1[撤去]、 小便器×3[撤去]、手洗器×1[撤去]
女子便所 (撤去)	改修前	土間コンクリート[撤去] ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地[撤去]	通路部分：長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.8mm貼り　[撤去] トイレ部分19φﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り　[撤去]	ラワンH=100mm OP塗り [撤去]	通路部分 壁:胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400) [撤去] トイレ部分 壁:モルタル下地[撤去]	通路部分 壁:ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6.0mm目透かし貼り OP塗り [撤去] トイレ部分 壁:100角半磁器ﾀｲﾙ貼り[撤去]	軽量鉄骨下地　[撤去]	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6mm目透かし貼り VP [撤去]	ﾌｸﾋﾞ46号 [撤去]	2400・2450	トイレブース[撤去]、洋便器×2[撤去]、 手洗器×2[撤去]、SK×1[撤去]
トイレホール (新設)	改修後	土間コンクリート(ピット共) [新設]	モルタル金ゴテ下地長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm貼り[新設]	ソフト巾木 H=60 [新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5mm下地 [新設] 化粧珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm [新設] ※1	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2300	建築工事 SKライニング[新設] 機械設備工事 SK×1[新設]
男子トイレ (新設)		土間コンクリート(ピット共) [新設]	モルタル金ゴテ下地長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm貼り[新設]	ソフト巾木 H=60 [新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5mm下地 [新設] (一部 耐水合板 厚12mm下地) 化粧珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm [新設] ※1	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2300	建築工事 トイレブース[新設]、洋便器ﾗｲﾆﾝｸﾞ[新設] 機械設備工事　洋便器×1[新設]、小便器×3[新設]、 ｶｳﾝﾀｰ式手洗器[新設]、小便器ﾗｲﾆﾝｸﾞ[新設]
女子トイレ (新設)		土間コンクリート(ピット共) [新設]	モルタル金ゴテ下地長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm貼り[新設]	ソフト巾木 H=60 [新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5mm下地 [新設] 化粧珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm [新設] ※1	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2300	建築工事 トイレブース[新設]、洋便器ﾗｲﾆﾝｸﾞ[新設] 機械設備工事 洋便器×2[新設]、カウンター式手洗器[新設]
多機能トイレ (新設)		土間コンクリート(ピット共) [新設]	モルタル金ゴテ下地長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm貼り[新設]	ソフト巾木 H=60 [新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5mm下地 [新設] 化粧珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6mm [新設] ※1	軽量鉄骨下地　[新設]	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm　[新設]	塩ビ [新設]	2300	建築工事 機械設備工事 トイレパック[新設]
床置きACスペース (一般部･渡り廊下側) (新設)	改修後	土間コンクリート[新設] 転ばし床用調整束[新設] 大引:90×90@910[新設]	合板捨貼り厚12mm[新設]+ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15mm[新設]	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	針葉樹合板厚12mm下地 ﾗﾜﾝ合板厚5.5mm UC塗 [新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	ﾗﾜﾝ合板 厚5.5mm UC塗り[新設]	-	2250	建築工事 機械設備工事 床置形AC[新設]
床置きACスペース (器具庫側) (新設)	改修後	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ厚30mm下地[既存利用]	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ厚2.0mm張　[新設]	杉上小H=100 UC塗り [新設]	胴縁 杉15×45(ヨコ共～@455) [新設]	針葉樹合板厚12mm下地 ﾗﾜﾝ合板厚5.5mm UC塗 [新設]	軽量鉄骨下地　[新設]	ﾗﾜﾝ合板 厚5.5mm UC塗り[新設]	-	2404	建築工事 機械設備工事 床置形AC[新設]

備考
※1：化粧珪酸ｶﾙｼｳﾑ板は金属痕防止 及び 鉛筆硬度試験2H以上とする。
※2：仕上 杉板材は鹿沼産材とする。

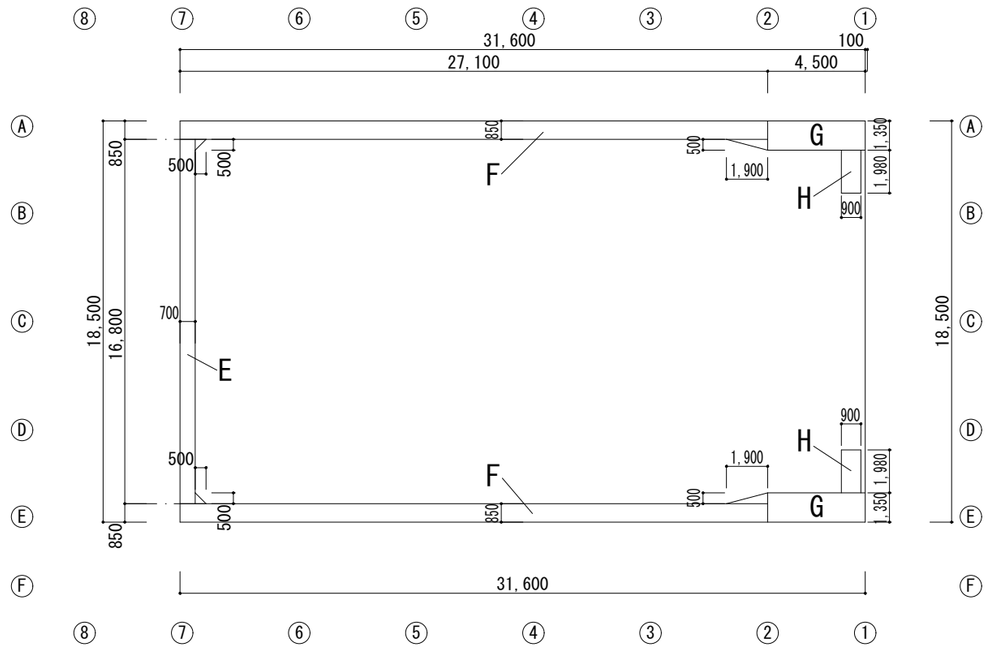
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面名	承認	作成者	図面番号
内部仕上表[改修前･改修後]			A-11
縮尺 Non / 作成日 2026年6月4日			



1階求積図 1:200



キャットウォークレベル求積図 1:200

◎屋内運動場 建築面積

符号	計算式	計
A	18.000 × 31.500 =	567.00
B	18.000 × 4.500 =	81.00
C	3.200 × 4.500 =	14.40
D	3.200 × 5.400 =	17.28
1	1.914 × 5.400 =	10.34
2	0.250 × 26.100 =	6.53
3	18.500 × 0.100 =	1.85
4	31.600 × 0.250 =	7.90
	屋内運動場 建築面積(小計①)	706.29 m2

◎渡り廊下 建築面積

符号	計算式	計
J	(16.200 × 2.500) + (12.500 × 2.200) =	68.00
	渡り廊下 建築面積(小計②)	68.00 m2

◎屋内運動場 床面積

階数	符号	計算式	計
1	A	18.000 × 31.500 =	567.00
	B	18.000 × 4.500 =	81.00
	C	3.200 × 4.500 =	14.40
	D	3.200 × 5.400 =	17.28
		小計①(1階床面積)	679.68 m2
キャットウォークレベル	E	16.800 × 0.700 + (0.500 × 0.500 ÷ 2)× 2 =	12.010
	F	27.100 × 0.850 + (0.500 × 1.900 ÷ 2)× 2 =	47.020
	G	1.350 × 4.500 × 2 =	12.150
	H	1.980 × 0.900 × 2 =	3.564
		小計②(キャットウォークレベル床面積)	74.744 m2
		延床面積(小計①)	679.68 m2

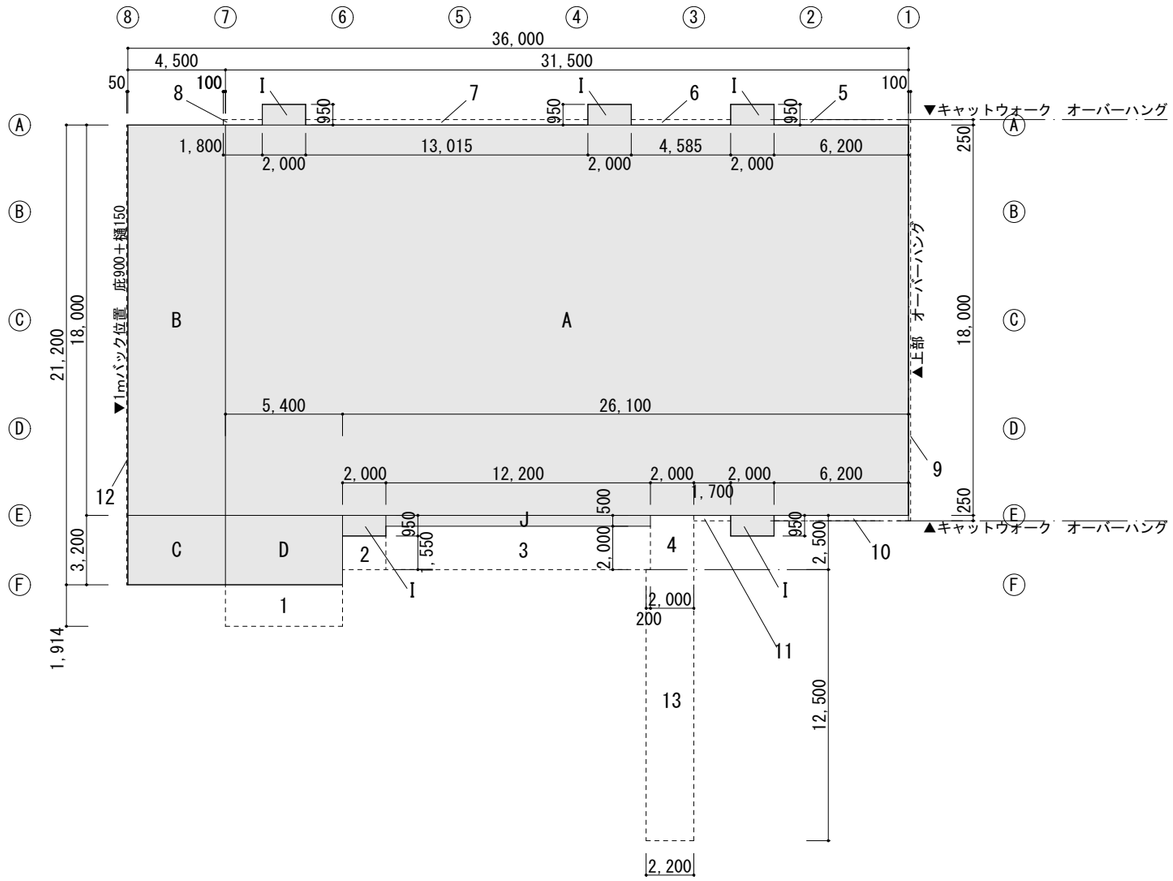
※キャットウォークレベル床面積について昭和61年4月30日建設省住指発第115号により、
幅が1m程度以下で保守点検等一時的な使用を目的とするため床面積に算入しない。

◎渡り廊下 床面積

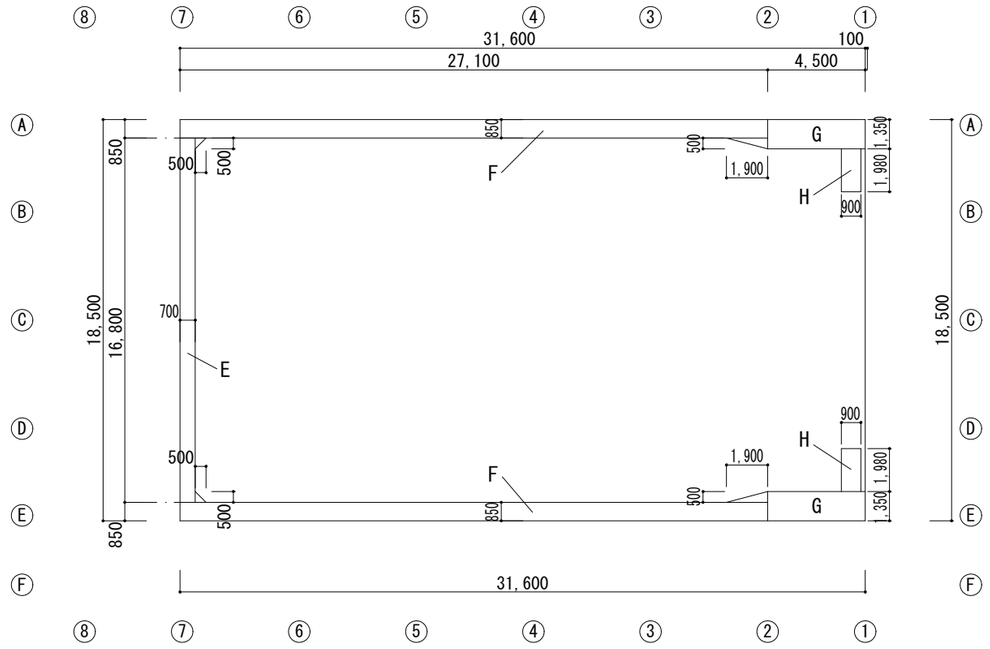
符号	計算式	計
J	(16.200 × 2.500) + (12.500 × 2.200) =	68.00
	渡り廊下 建築面積(小計②)	68.00 m2

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	面積表[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:200,	作成日		A-12
		2026年6月4日		



1階求積図　1:200



キャットウォークレベル求積図　1:200

◎屋内運動場 建築面積[改修後]

符号	計算式	計
A	18.000 × 31.500 =	567.00
B	18.000 × 4.500 =	81.00
C	3.200 × 4.500 =	14.40
D	3.200 × 5.400 =	17.28
I	0.950 × 2.000 × 5箇所 =	9.50
J	0.500 × 12.200 =	6.10
1	1.914 × 5.400 =	10.34
2	1.550 × 2.000 =	3.10
3	2.000 × 12.200 =	24.40
4	2.500 × 2.000 =	5.00
5	0.250 × 6.200 =	1.55
6	0.250 × 4.585 =	1.15
7	0.250 × 13.015 =	3.25
8	0.250 × 1.800 =	0.45
9	18.500 × 0.100 =	1.85
10	0.250 × 6.200 =	1.55
11	0.250 × 1.700 =	0.43
12	21.200 × 0.050 =	1.06
13	12.500 × 2.200 =	27.50
	屋内運動場 建築面積[改修後](小計①)	776.91 m2
	増築床面積（I× 5 カ所）	9.50 m2

◎屋内運動場 床面積[改修後]

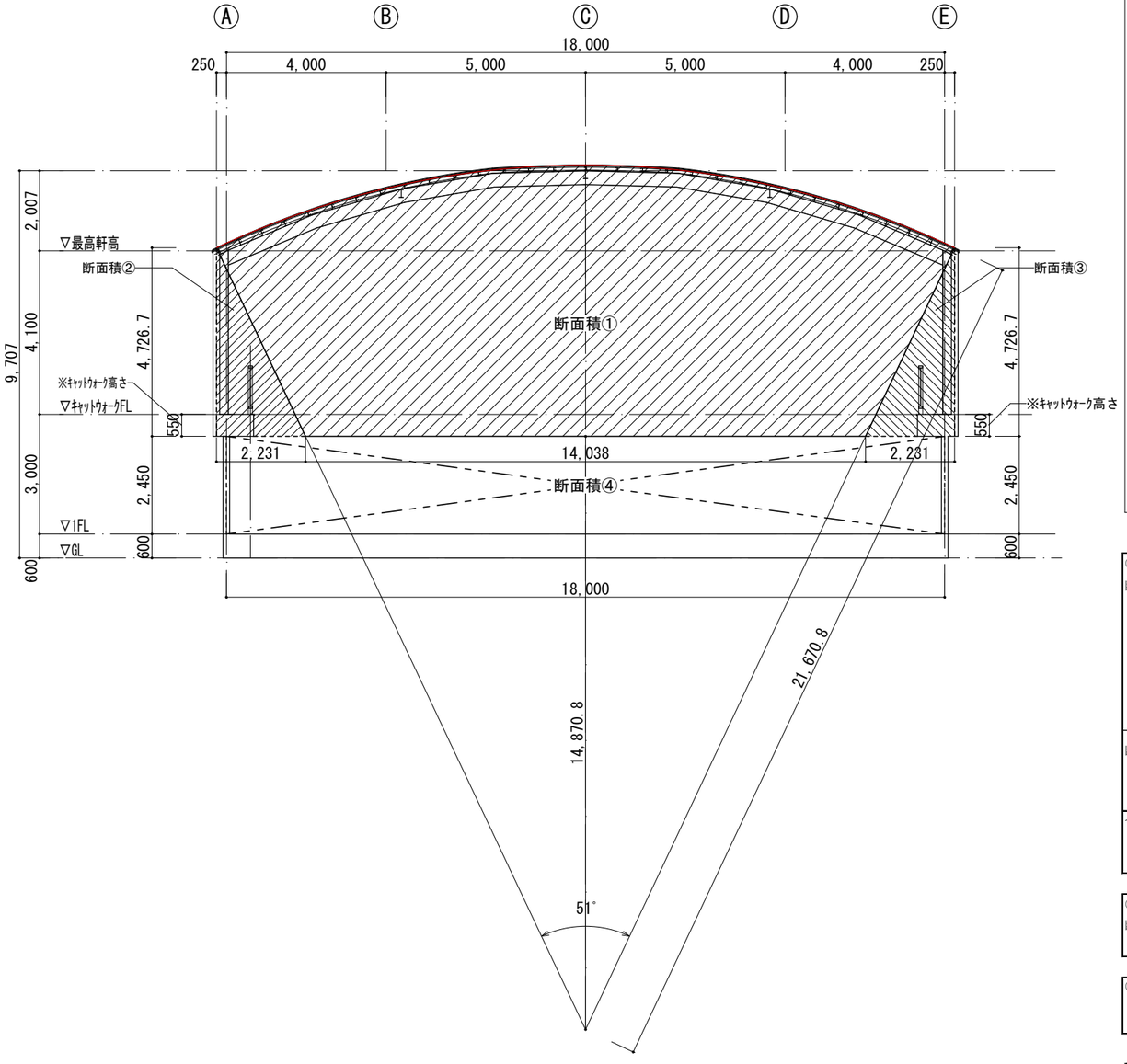
階数	符号	計算式	計
1	A	18.000 × 31.500 =	567.00
	B	18.000 × 4.500 =	81.00
	C	3.200 × 4.500 =	14.40
	D	3.200 × 5.400 =	17.28
	I	0.950 × 2.000 × 5箇所 =	9.50
	J	0.500 × 12.200 =	6.10
		小計①(1階床面積[改修後])	695.28 m2
キャットウォークレベル	E	16.800 × 0.700 + (0.500 × 0.500 ÷ 2)× 2 =	12.010
	F	27.100 × 0.850 + (0.500 × 1.900 ÷ 2)× 2 =	47.020
	G	1.350 × 4.500 × 2 =	12.150
	H	1.980 × 0.900 × 2 =	3.564
		小計②[改修後](ｷｬｯﾄｳｫｰｸﾚﾍﾞﾙ床面積)	74.744 m2
		延床面積[改修後](小計①)	695.28 m2

※ｷｬｯﾄｳｫｰｸﾚﾍﾞﾙ床面積について昭和61年4月30日建設省住指発第115号により、
幅が1m程度以下で保守点検等一時的な使用を目的とするため床面積に算入しない。

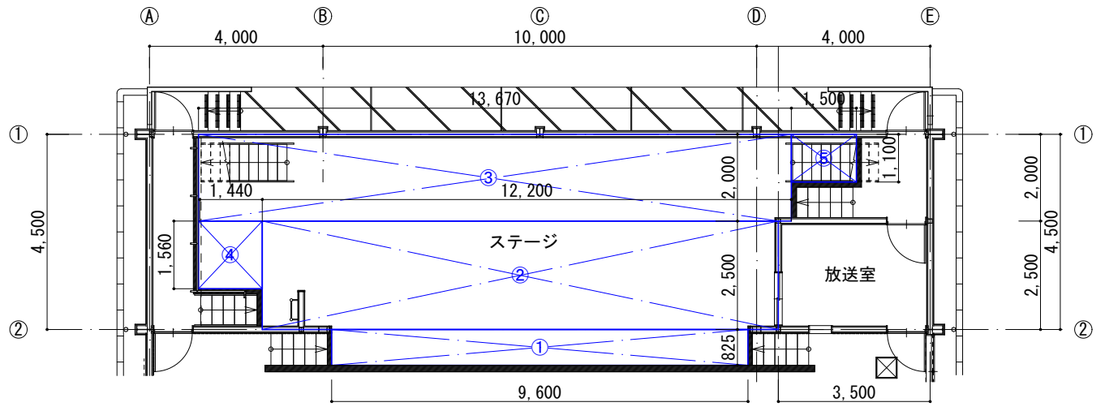
一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称　鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名　面積表[改修後]
縮尺　A2＝1:200,
作成日　2026年6月4日
承認
作成者
図面番号　A-13

容積算定①(断面積・体積)



断面図①(断面積算定) 1:100



平面図(ステージ面積算定) 1:100

・ステージ(檀上)床面積 算定

符号	計算式				計
①	9.600	×	0.825	=	7.9200
	合計(アリーナ側ステージ(檀上)床面積)				**7.92m2**
②	12.200	×	2.500	=	30.5000
③	13.670	×	2.000	=	27.3400
④	1.440	×	1.560	=	2.2464
⑤	1.500	×	1.100	=	1.6500
	合計(ステージ側ステージ(檀上)床面積)				61.73640
				≒	**61.73m2**

◎屋内運動場上部 断面積算定

断面積①

扇形面積	(	51°	×	21.6708m	×	21.6708m	×	3.14	)	/	360°	=	208.90421922936m2

	底辺		高さ				
三角形	14.038	×	14.8708	÷	2	=	104.3781452

扇形面積		三角形		断面積①
208.90421922936m2	−	104.3781452m2	=	104.52607402936m2

断面積②・③

底辺		高さ			②③	断面積②・③
2.231	×	4.7267	÷	2	×2箇所	= 10.5452677

合計(断面積①～③)

断面積①		断面積②・③		**1.断面積合計(アリーナ上部)**
104.52607402936m2	+	10.5452677	=	**115.07134172936m2**

◎屋内運動場下部 断面積算定

断面積④	底辺		高さ		**2.断面積④(アリーナ下部)**
	18.000	×	2.450	=	**44.10m2**

◎アリーナ側ステージ体積 算定

アリーナ側ステージ(檀上)床面積		ステージ高さ		**アリーナ側ステージ体積**
7.920	×	1.000	=	**7.920m3**

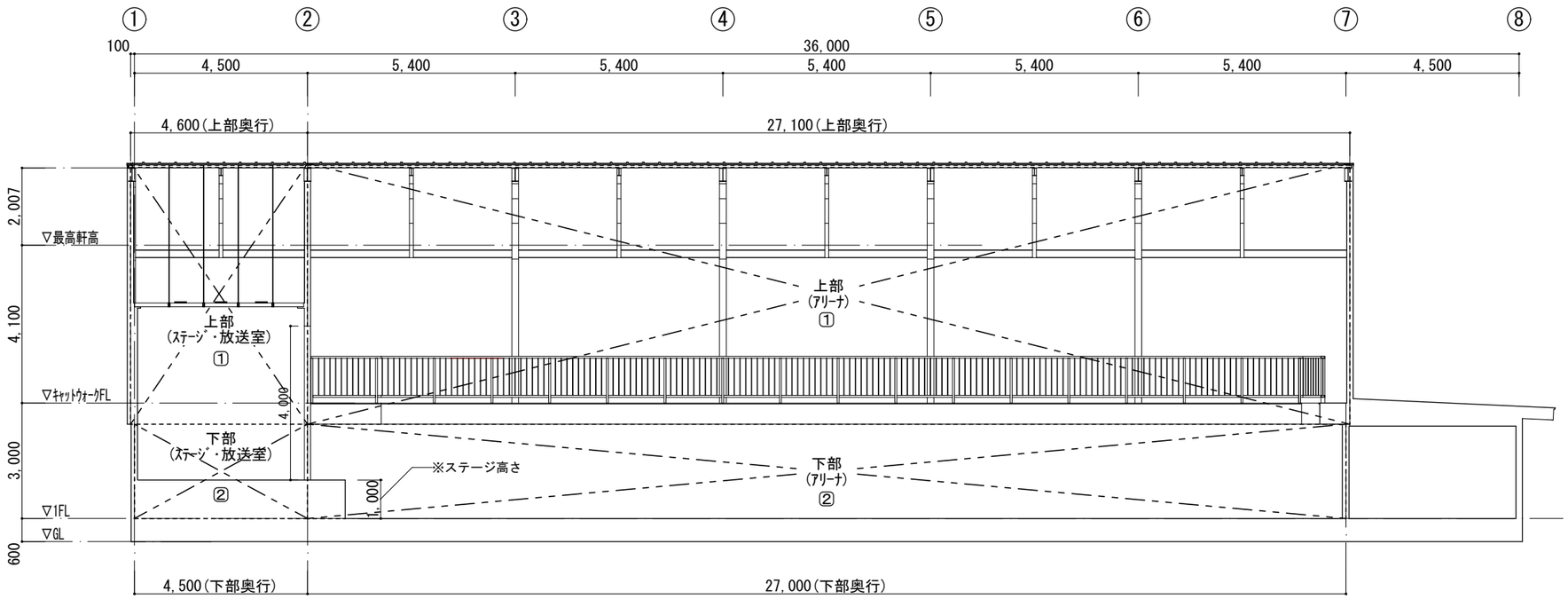
◎ステージ側ステージ体積 算定

ステージ側ステージ(檀上)床面積		ステージ高さ		**ステージ側ステージ体積**
61.730	×	1.000	=	**61.730m3**

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称				
鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名		承認	作成者	図面番号
法チェック図(1)				A-14
縮尺	作成日			
A2＝1:100,	2026年6月4日			

容積算定②(アリーナ・ステージ,放送室)



断面図②(容積算定) 1:100

・容積算定ーアリーナ

1	奥行	小計①		
115.07134172936	× 27.100	= 3118.43336086566		
2	奥行	小計②		
44.10	× 27.000	= 1190.70		
小計①	小計②	ｱﾘｰﾅ側ｽﾃｰｼﾞ 体積		**ｱﾘｰﾅ容積**
3118.43336086566	+ 1190.70	− 7.92	=	4301.21336086566
			≒	**4301.21m3**

・容積算定ーステージ,放送室

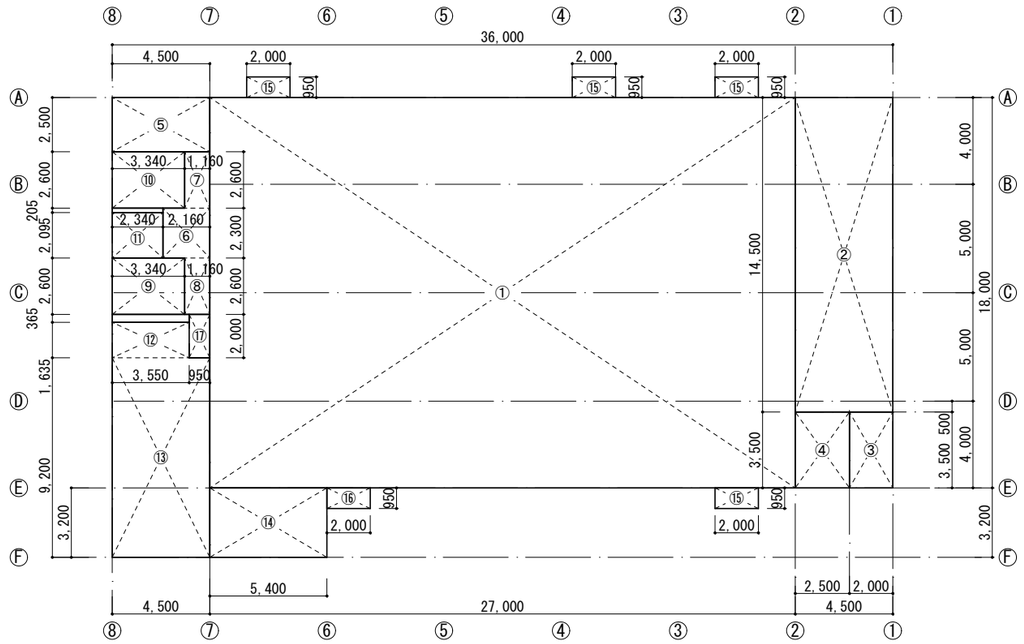
1	奥行	小計①		
115.0713417	× 4.600	= 529.328171955056		
2	奥行	小計②		
44.10	× 4.500	= 198.45		
小計①	小計②	ｽﾃｰｼﾞ 側ｽﾃｰｼﾞ 体積		**ｽﾃｰｼﾞ・放送室容積**
529.328171955056	+ 198.45	− 61.73	=	666.048171955056
			≒	**666.04m3**

アリーナ・ステージ・放送室 容積合計
4301.21m3 + 666.04m3 = 4967.25m3

アリーナ・ステージ・放送室 平均天井高さ
容積合計4967.25m3 / (アリーナステージ床面積558.25m2 + 放送室床面積 8.75m2) = 8.76058201058m ≒ 8.761m

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	法チェック図(2)	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100,	作成日		A-15
		2026年6月4日		



アリーナ･ステージ･放送室 求積図 1:200

◎床面積算定

・アリーナ・ステージ				
①	27.000	× 18.000	=	486.00
②	4.500	× 14.500	=	65.25
③	2.000	× 3.500	=	7.00
	アリーナ床面積(合計(①))			486.00 m2
	ステージ床面積(合計(②+③))			72.25 m2
	アリーナ・ステージ床面積(合計)			558.25 m2
・放送室				
④	2.500	× 3.500	=	8.75
	放送室 床面積(合計)			8.75 m2
・女子更衣室				
⑤	4.500	× 2.500	=	11.25
	女子更衣室 床面積(合計)			11.25 m2
・トイレホール				
⑥	2.160	× 2.300	=	4.97
⑦	1.160	× 2.600	=	3.02
⑧	1.160	× 2.600	=	3.02
	トイレホール床面積(合計)			11.01 m2
・男子トイレ				
⑨	3.340	× 2.600	=	8.684
	男子トイレ 床面積(合計)			8.684 m2
・女子トイレ				
⑩	3.340	× 2.600	=	8.684
	女子トイレ 床面積(合計)			8.684 m2
・多機能トイレ				
⑪	2.340	× 2.095	=	4.9023
	多機能トイレ 床面積(合計)			4.9023 m2
・器具庫				
⑫	3.550	× 1.635	=	5.80
⑬	4.500	× 9.200	=	41.40
	器具庫床面積(合計)			47.20 m2
・玄関				
⑭	5.400	× 3.200	=	17.28
	玄関 床面積(合計)			17.28 m2
・床置きACスペース(一般部)				
⑮	2.000	× 0.950	=	1.9
	床置きACｽﾍﾟｰｽ(一般部) 床面積(合計)			1.9 m2
・床置きACスペース(渡り廊下側)				
⑯	2.000	× 0.950	=	1.9
	床置きACｽﾍﾟｰｽ(渡り廊下側) 床面積(合計)			1.9 m2
・床置きACスペース(器具庫側)				
⑰	2.000	× 0.950	=	1.9
	床置きACｽﾍﾟｰｽ(器具庫側) 床面積(合計)			1.9 m2

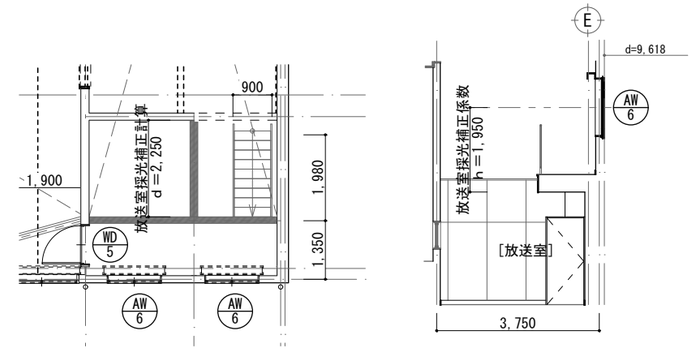
■消防法　無窓階算定

無窓階算定(階床面積 1/30以上)(消防法)					
1階	必要開口面積(A/30)		23.18㎡	有効開口面積	26.62㎡	OK
建具番号	幅(m)×高さ(m)×所在箇所			開口部面積	開口部種別	備考
AD1扉	1.792	2.000	1	3.58	引き分け	強化ガラス5㎜＋飛散防止フィルム73μm
AD1FIX	0.970	1.875	2	3.64	FIX窓	強化ガラス5㎜＋飛散防止フィルム73μm
SD1窓付き	2.000	2.000	2	8.00	引分け	強化ガラス5㎜＋飛散防止フィルム73μm
SD2窓付き	2.000	2.000	2	8.00	両開きドア	強化ガラス5㎜＋飛散防止フィルム73μm
SD3窓付き	0.850	2.000	2	3.40	開きドア	強化ガラス5㎜＋飛散防止フィルム73μm
計				26.62		※飛散防止フィルムは塩化ビニル製

○部屋毎の機械換気設備[H15国土交通省告示第273号第4-二]

室名	床面積(m2)	平均天井高さ(m)	気積(m3)	n	Vr(m3/h) 必要有効換気量		排気機による排気量(m3/h)	判定
アリーナ+ステージ+放送室	558.25	8.761	4890.828	0.1	489.0828			-
女子トイレ	8.69	2.300	19.987	0.3	5.9961		350	
男子トイレ	8.69	2.300	19.987	0.3	5.9961		350	
トイレホール	11.01	2.300	25.323	0.3	7.5969			
			計		508.6719	<	700	OK

※1 平成15年国土交通省告示第273号第4二号より天井高さ5.8m以上11.5m未満のためn=0.1とする。
※2 Vr = nAh
Vr:必要有効換気量(単位　1時間につき立方メートル)
n :平成15年国土交通省告示第273号第4二号による居室の天井高さの区分に応じた数値
A:居室の床面積(m2)
h:居室の天井高さ(m)



放送室　採光補正係数検討図 1:100

建物名	室名	室面積S(㎡)	採光面積の判定 必要面積 式	必要面積 面積(㎡)	有効面積(※建具表参照) 建具記号	W	H	補正係数	箇所数	合計(㎡)	判定	換気面積の判定 必要面積 S/20(㎡)	有効換気面積(※建具表参照) 建具記号	W	H	箇所数	合計(㎡)	判定	必要面積 S/50
屋内運動場	アリーナ+ステージ	558.25	S/20	27.9125	AW5	4.548 ×	1.221 ×	3 ×	10 =	166.593			AW5	2.280 ×	1.300 ×	10 =	29.640		
													AW6	0.550 ×	1.300 ×	3 =	2.145		
										166.593	OK	27.9125					31.785	OK	11.1650
	放送室	8.75	S/20	0.4375	AW6	1.096 ×	1.221 ×	1.0 ×	1				AW6	0.550 ×	1.300 ×	1 =	0.715		
									× 0.7 =	0.93675									
										0.937	OK	0.4375					0.715	OK	0.1750

採光補正係数の算定根拠
用途地域：市街化調整区域 無指定　α＝10　β＝1
d=窓の直上にある建築物の各部分から隣地境界線又は建物までの水平距離の最小値 ※配置図参照
h=窓の中心から直上の建築物の各部分までの垂直距離の最大値 ※立面図参照

採光補正係数：d/h×α-β
屋内運動場(南)＝d1/h1×10-1 = 9.680 / 2.631 × 10 - 1 = 35.7920942607374 → 3.∴南側の採光補正係数について、d/hが最小となる部分で明らかに3を超えるため、南面の開口部の採光補正係数は3とする。
屋内運動(北)＝d2/h2×10-1 = 6.919 / 2.631 × 10 - 1 = 25.2979855568225 → 3.∴北側の採光補正係数について、d/hが最小となる部分で明らかに3を超えるため、北面の開口部の採光補正係数は3とする。

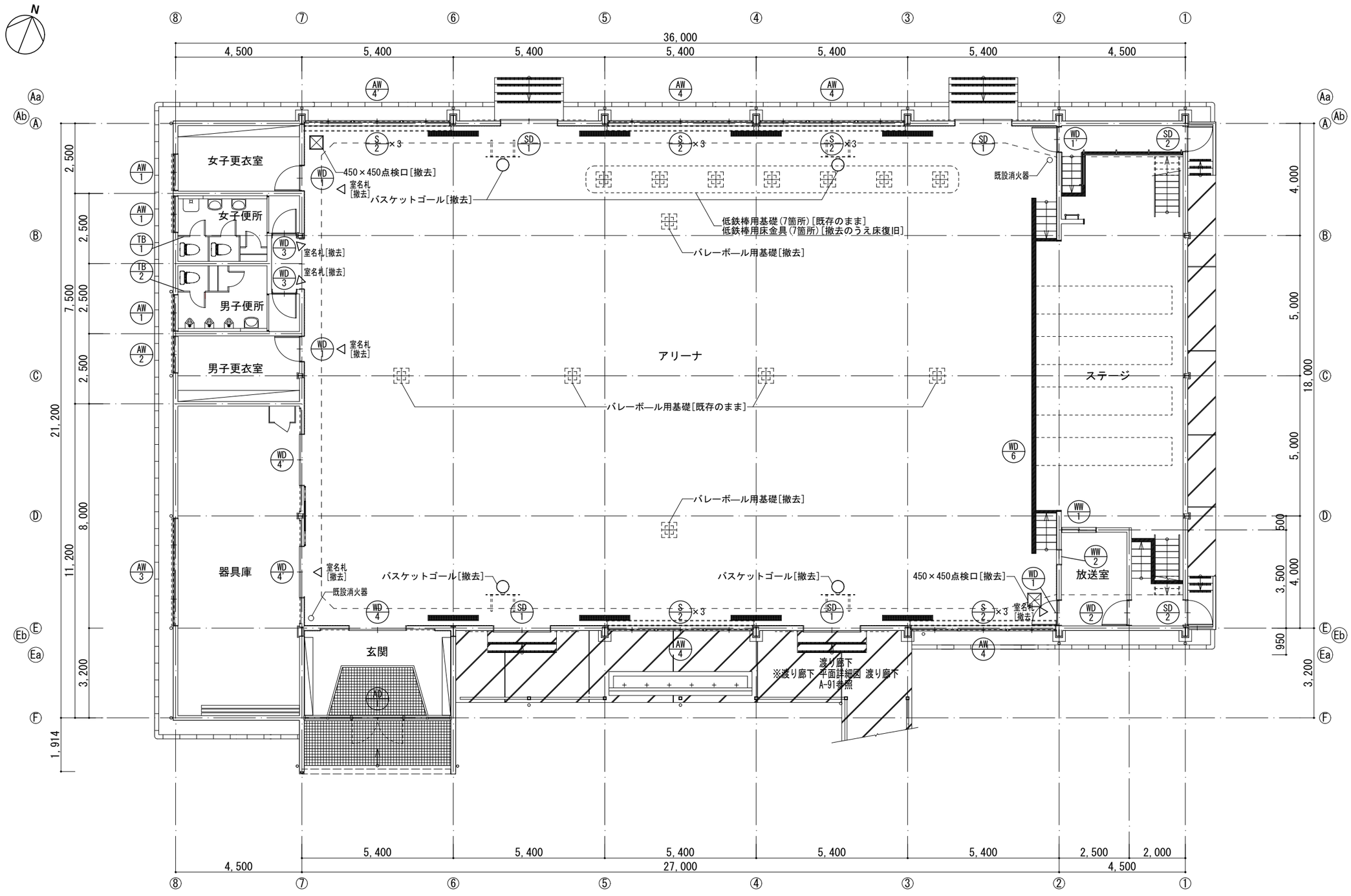
放送室　採光補正係数の算定根拠
d=吹き抜け部奥行
h=AW6中心から放送室上部までの高さ
放送室AW6＝d/h = 2.250 / 1.950 = 1.1538461538462 → 1.0で算定

※令第126条の2第1項第二号より、排煙設備対象外

一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	法チェック図(3)	承認	作成者	図面番号 A-16
縮尺	A2＝1:200, 1:100,	作成日	2026年6月4日	

[改修前]



※凡例

AW / AD, SD, WD ・・・改修対象建具を示す。(※建具表 参照)

ピクトサイン ・・・ピクトサインを示す。(※部分詳細図 参照)

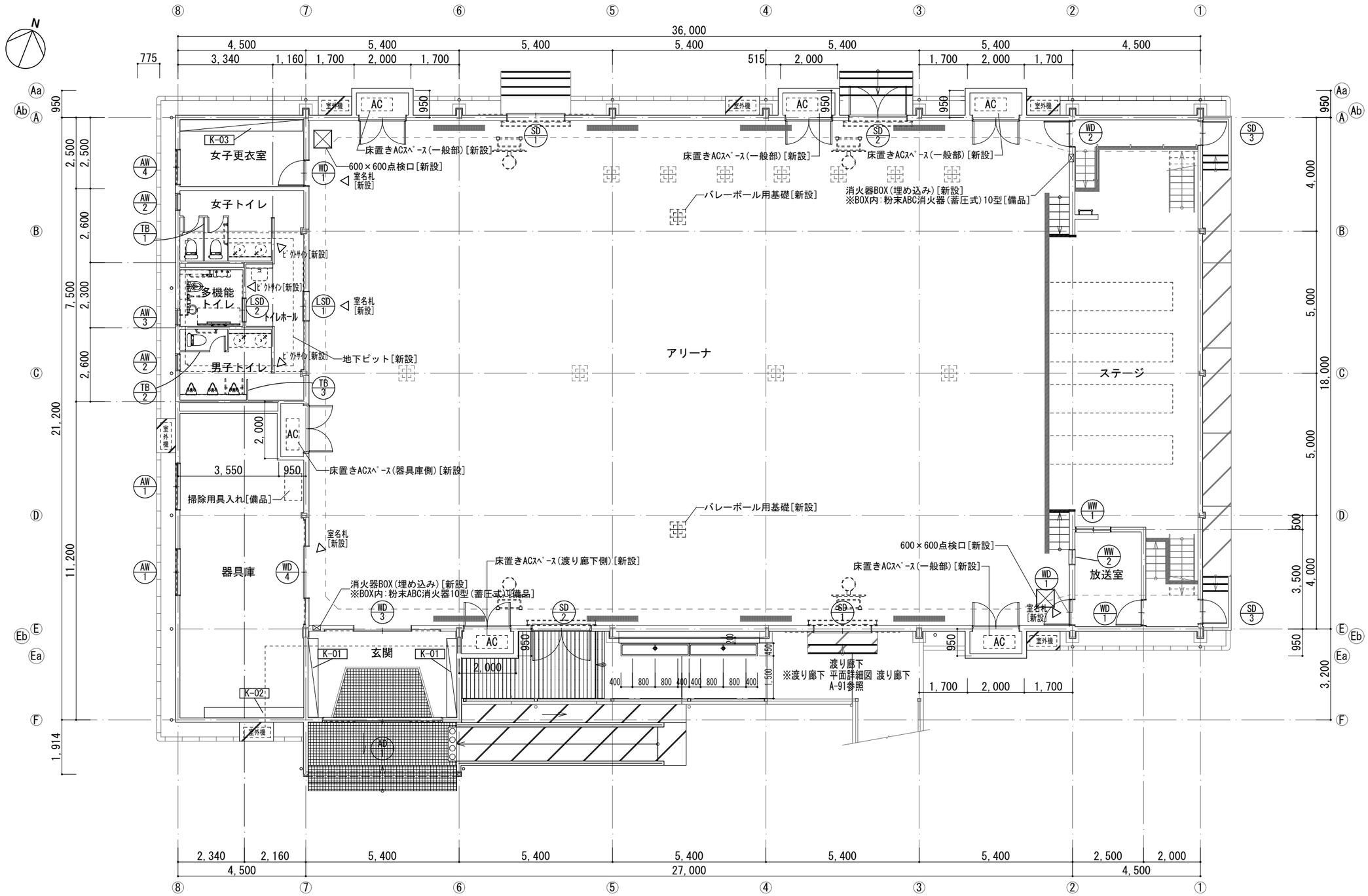
室名札 ・・・室名札 新設を示す。(※部分詳細図 参照)

1階平面図(改修前) 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_1階 平面図・キープラン[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2=1:100	作成日	2026年6月4日	A-17

[改修後]



※凡例

AW AD, SD, WD ・・・改修対象建具を示す。(※建具表 参照)

ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ ・・・ピクトサイン を示す。(※部分詳細図 参照)

室名札 ・・・室名札 新設を示す。(※部分詳細図 参照)

⊠ ・・・粉末ABC消火器10型を示す

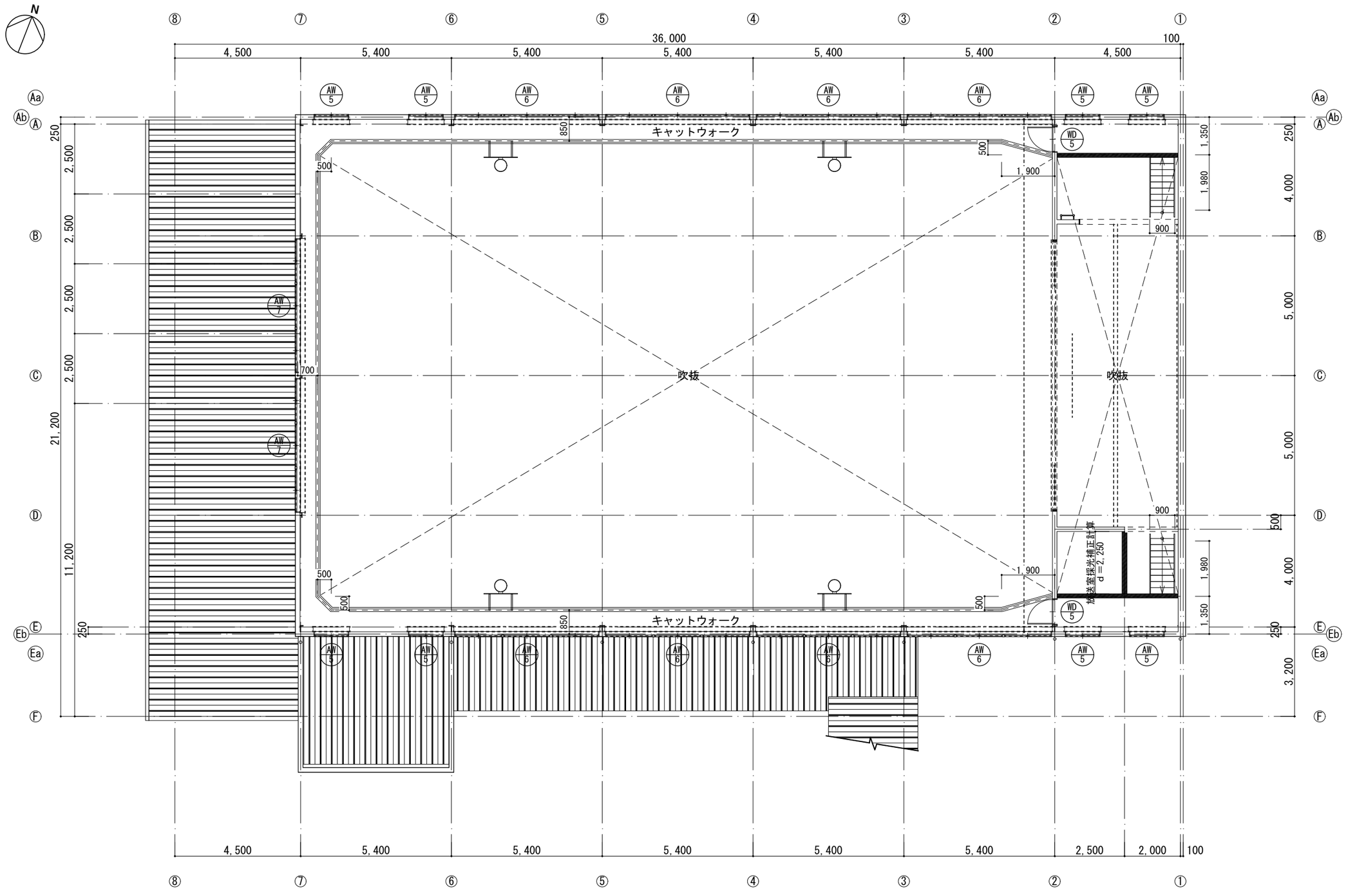
1階平面図(改修後) 1:100

◆屋内運動場　収容人数　144名（生徒数120名＋職員24名　令和7年度時点）

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	屋内運動場_1階 平面図・キープラン[改修後]
縮尺	A2＝1:100
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	A-18

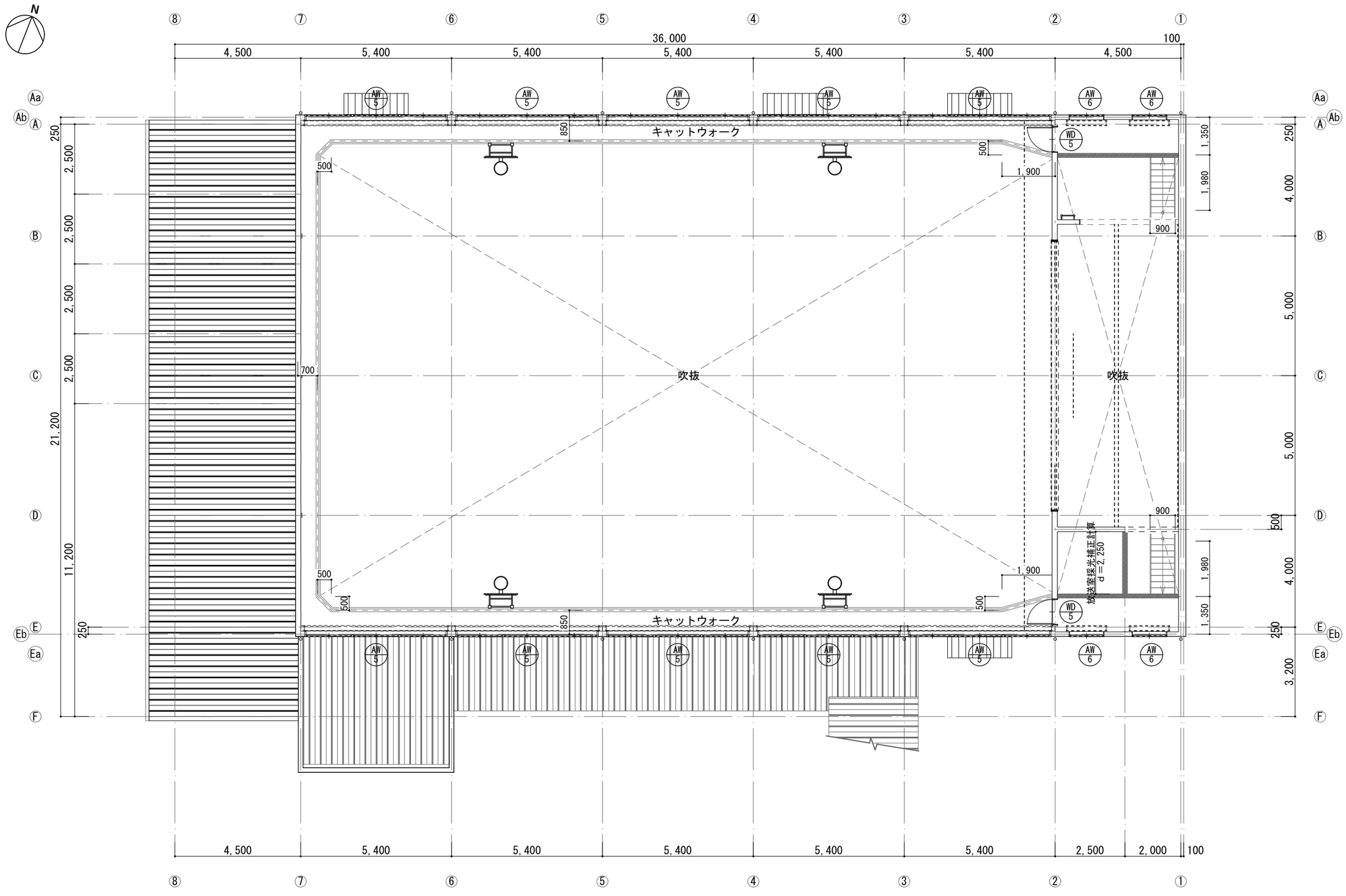
[改修前]



キャットウォークレベル 平面図・キープラン[改修前] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
	図面名 屋内運動場_キャットウォークレベル 平面図・キープラン[改修前]		承認	作成者	図面番号 A-19
	縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日			

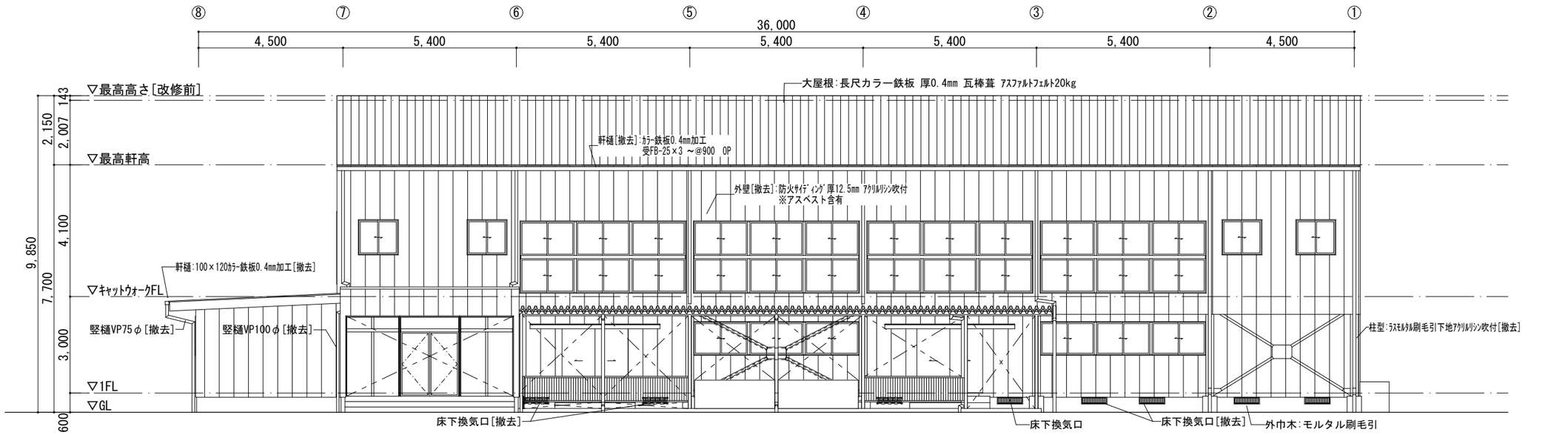
[改修後]



キャットウォークレベル 平面図・キープラン[改修後] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面図・キープラン[改修後]	承認	作成者	図面番号
	縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	A-20

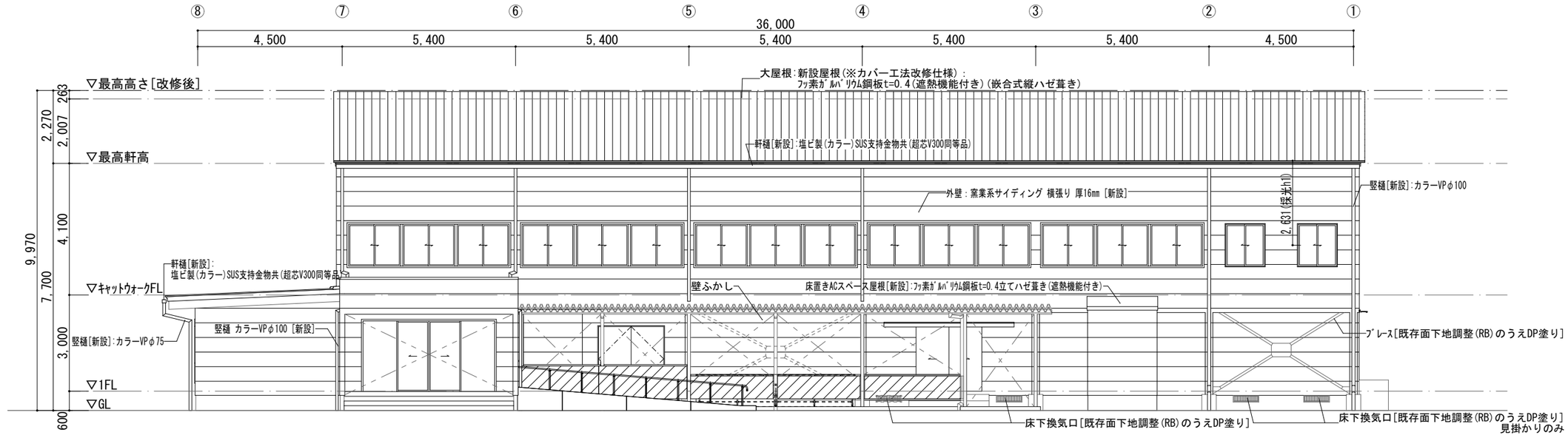
改修前



※タテ樋撤去はＧＬ上は建築工事　ＧＬ下は設備工事

南側立面図[改修前] 1:100

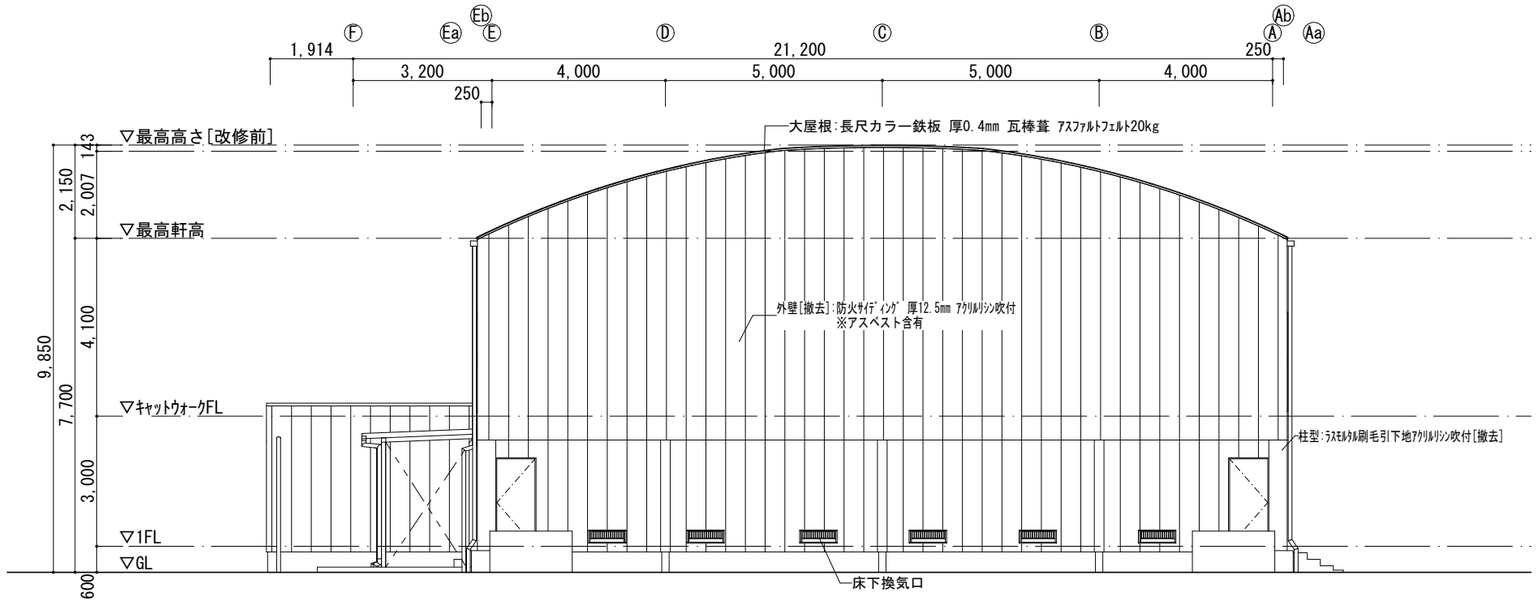
改修後



南側立面図[改修後] 1:100

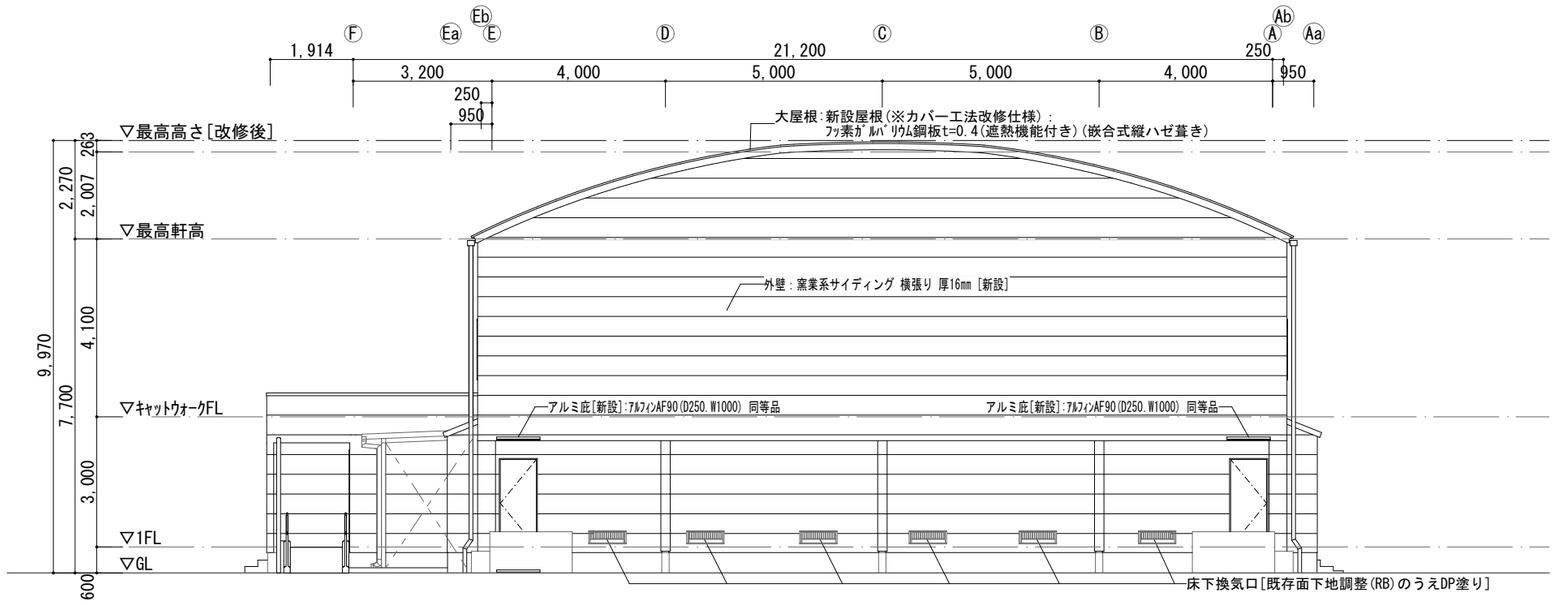
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_南立面図[改修前･改修後]	承認	作成者	図面番号
	縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	A-21

改修前



東側立面図[改修前] 1:100

改修後

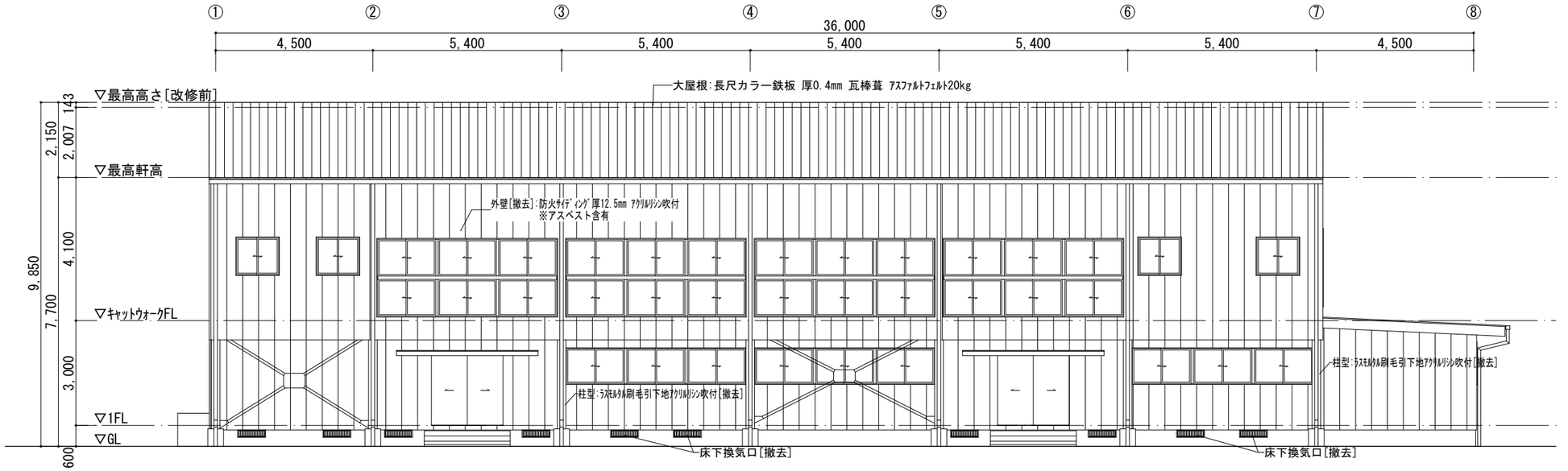


東側立面図[改修後] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

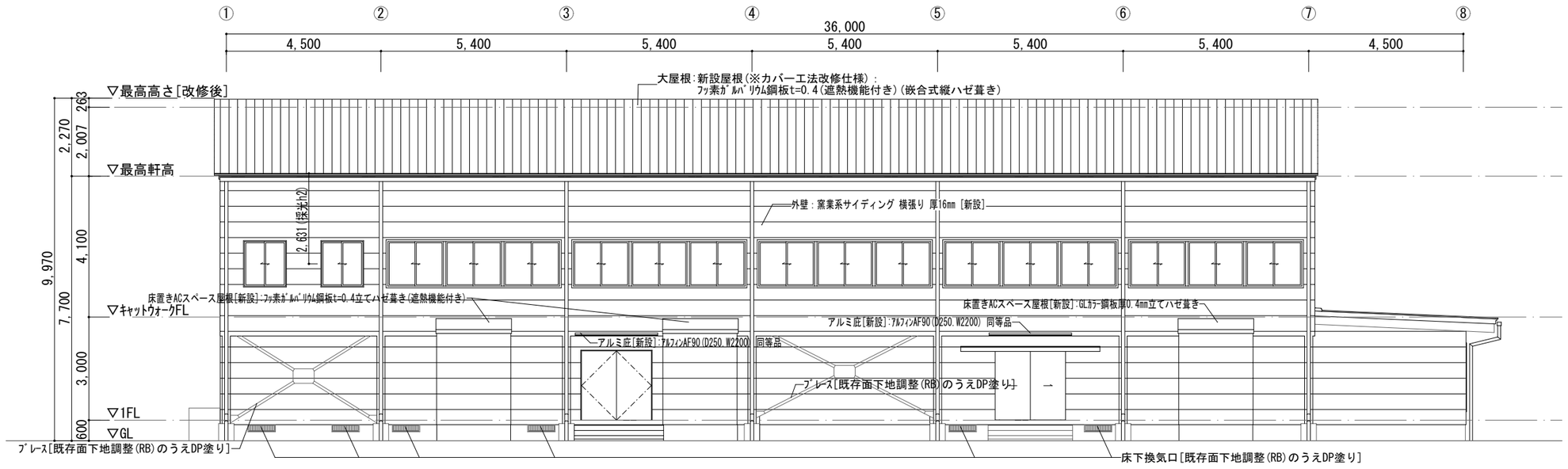
工事名称: 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名: 屋内運動場_東立面図[改修前・改修後]		承認	作成者	図面番号: A-22
縮尺: A2＝1:100	作成日: 2026年6月4日			

改修前



北側立面図[改修前] 1:100

改修後

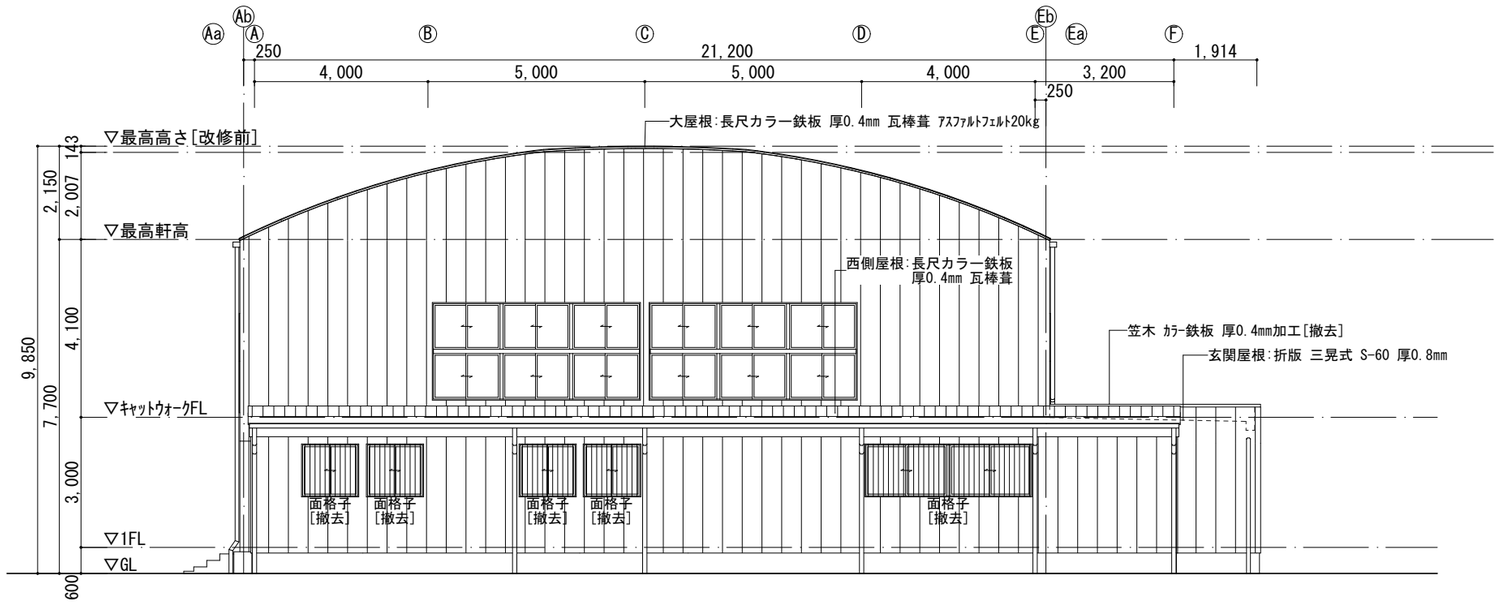


北側立面図[改修後] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

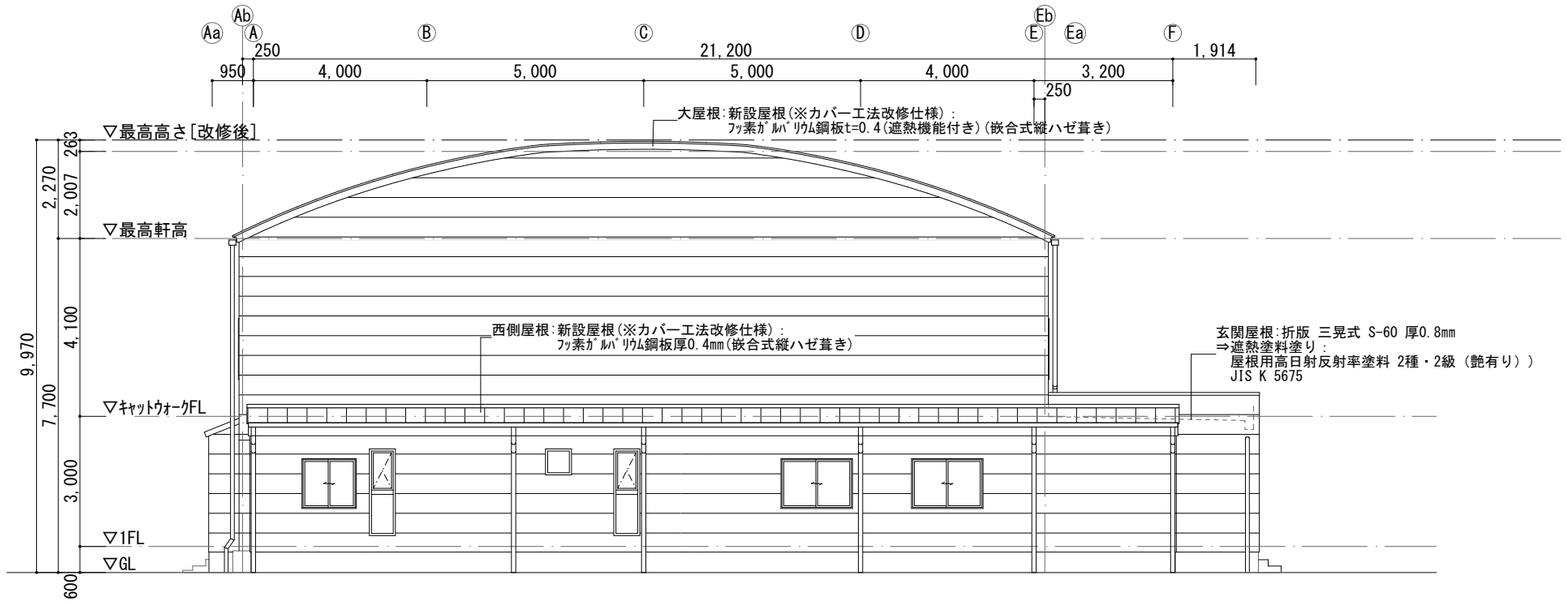
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_北立面図[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2=1:100	作成日		A-23
		2026年6月4日		

改修前



西側立面図[改修前] 1:100

改修後

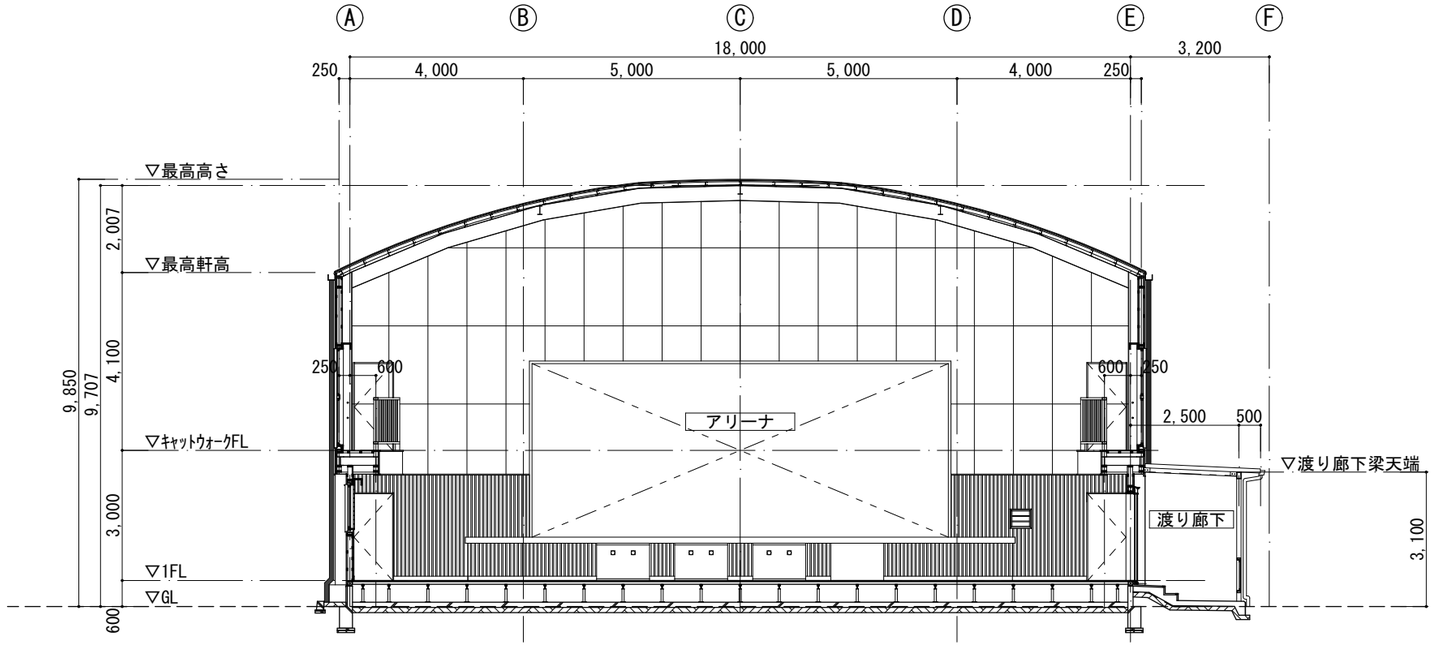


西側立面図[改修後] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

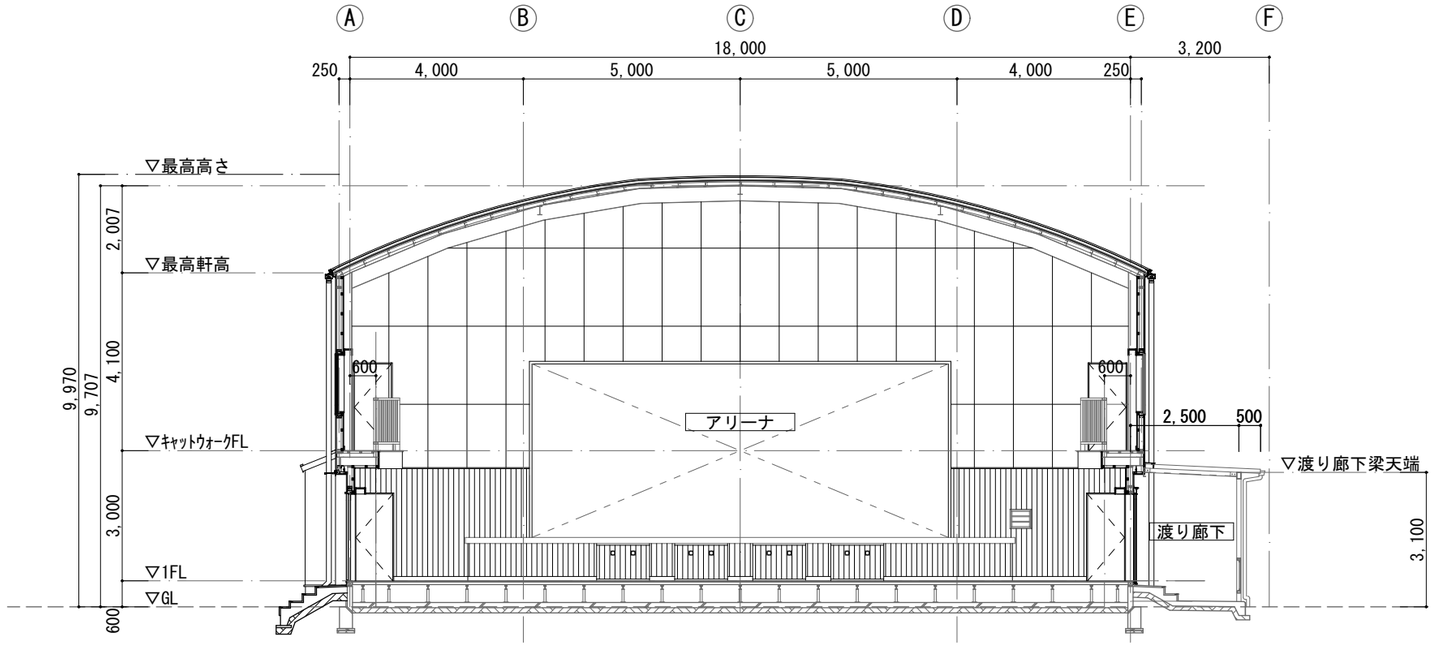
工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 屋内運動場_西立面図[改修前・改修後]		承認	作成者	図面番号 A-24
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日			

改修前



断面図(1)[改修前] 1:100

改修後

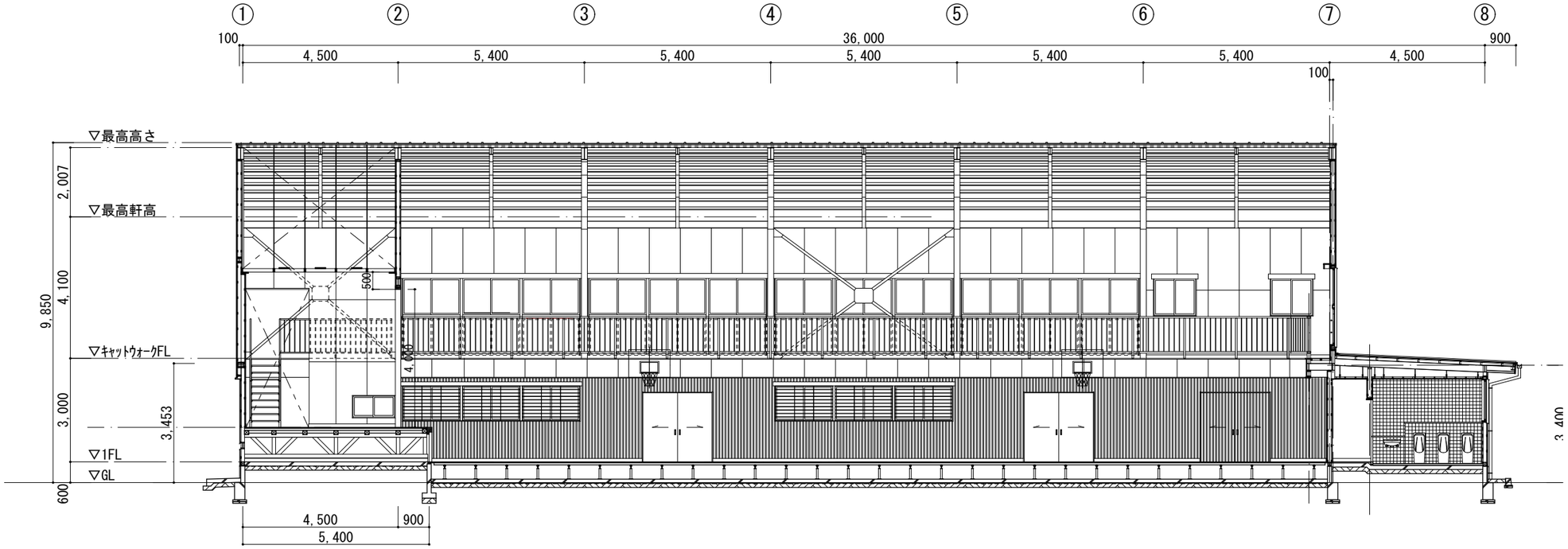


断面図(1)[改修後] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

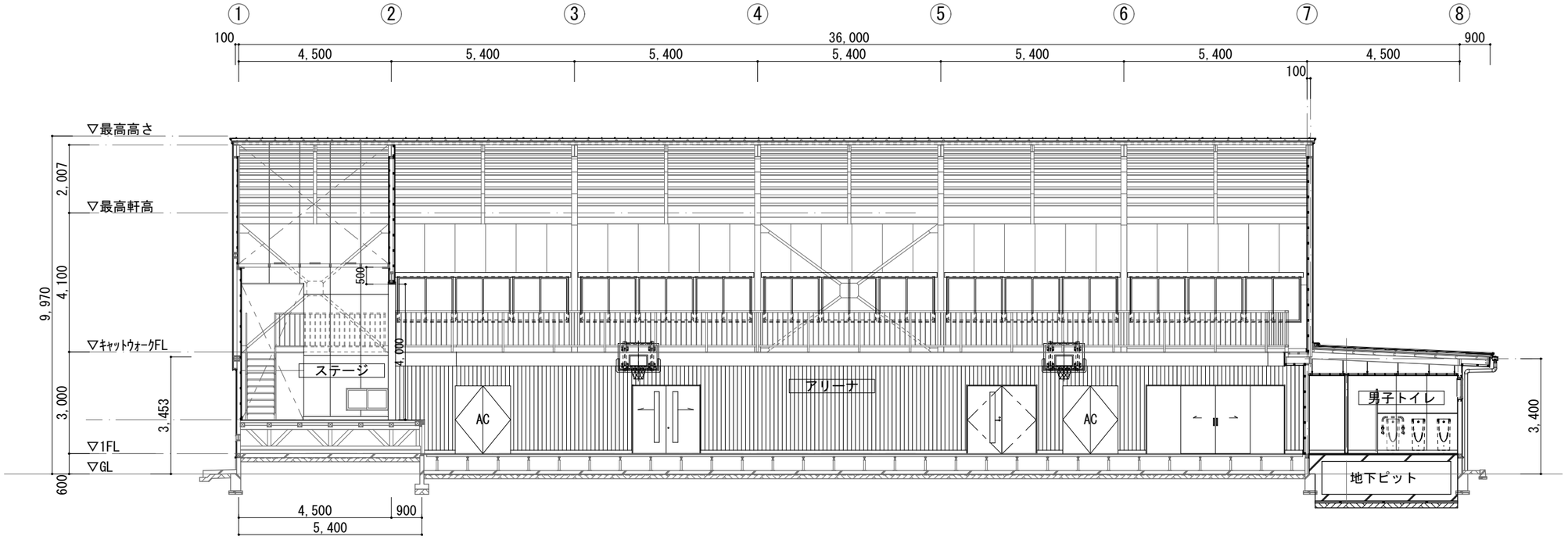
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_断面図(1)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日			A-25

改修前



断面図(2)[改修前] 1:100

改修後



断面図(2)[改修後] 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面名 屋内運動場_断面図(2)[改修前･改修後]

縮尺 A2＝1:100

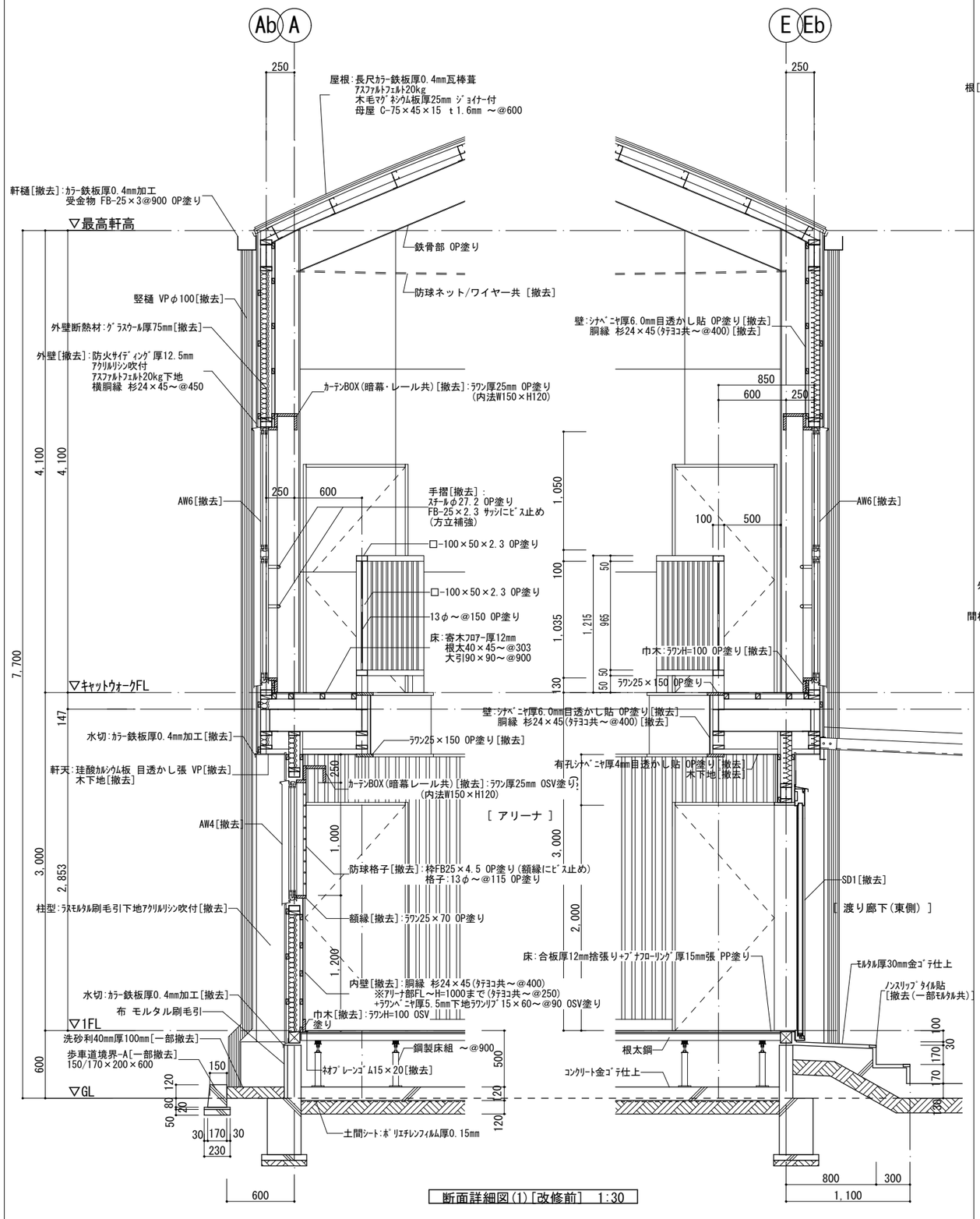
作成日 2026年6月4日

承認

作成者

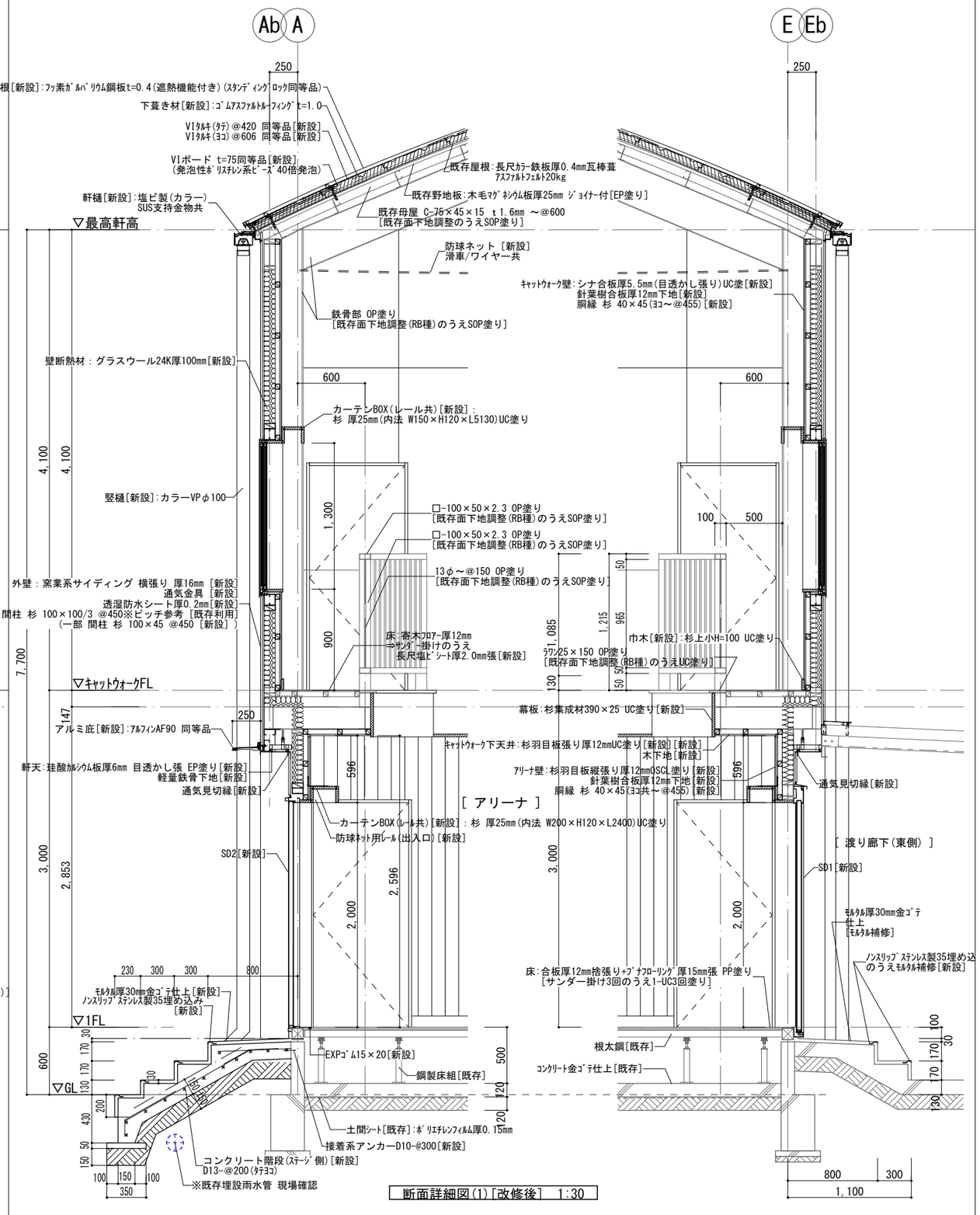
図面番号 A-26

改修前



断面詳細図(1)[改修前] 1:30

改修後

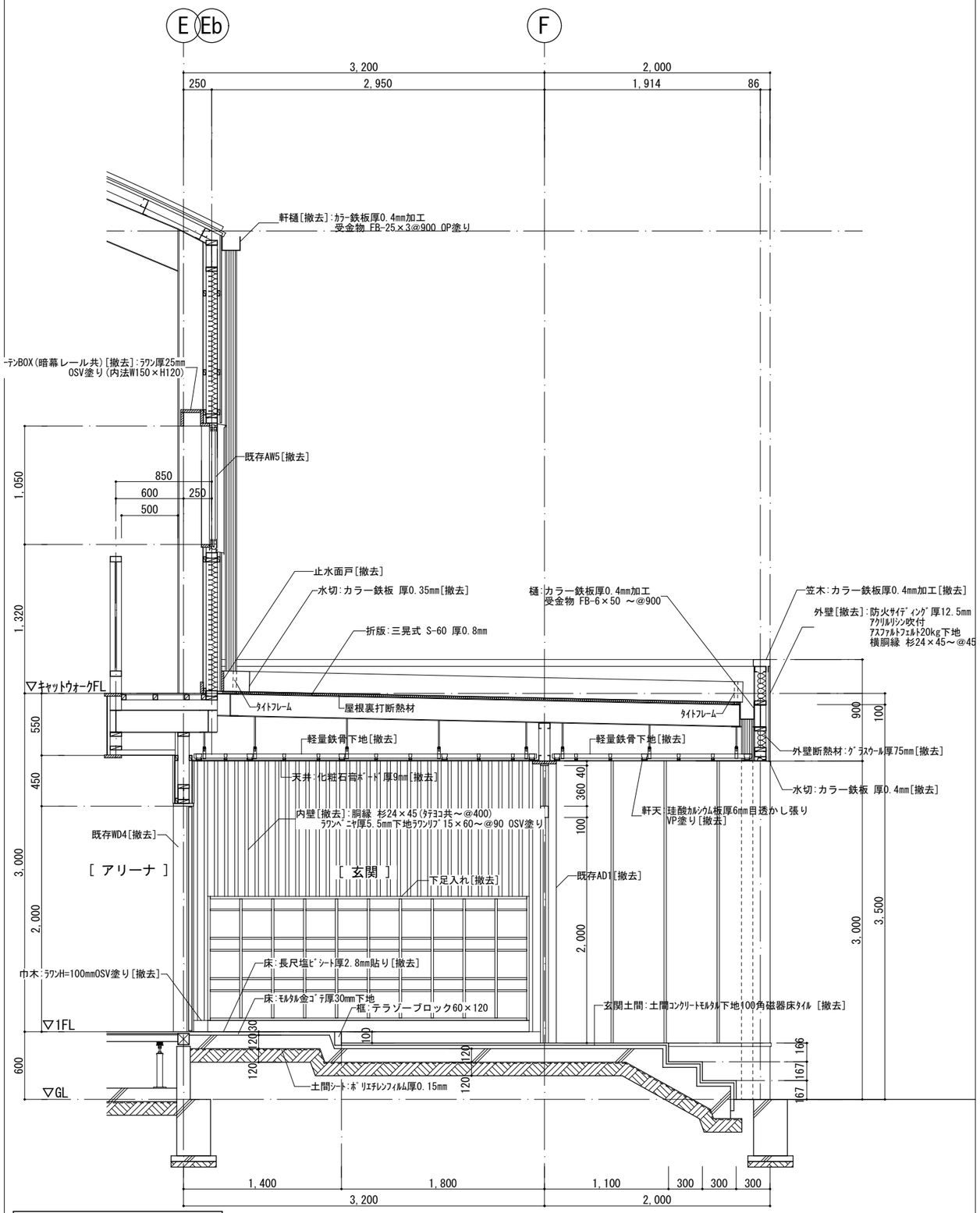


断面詳細図(1)[改修後] 1:30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

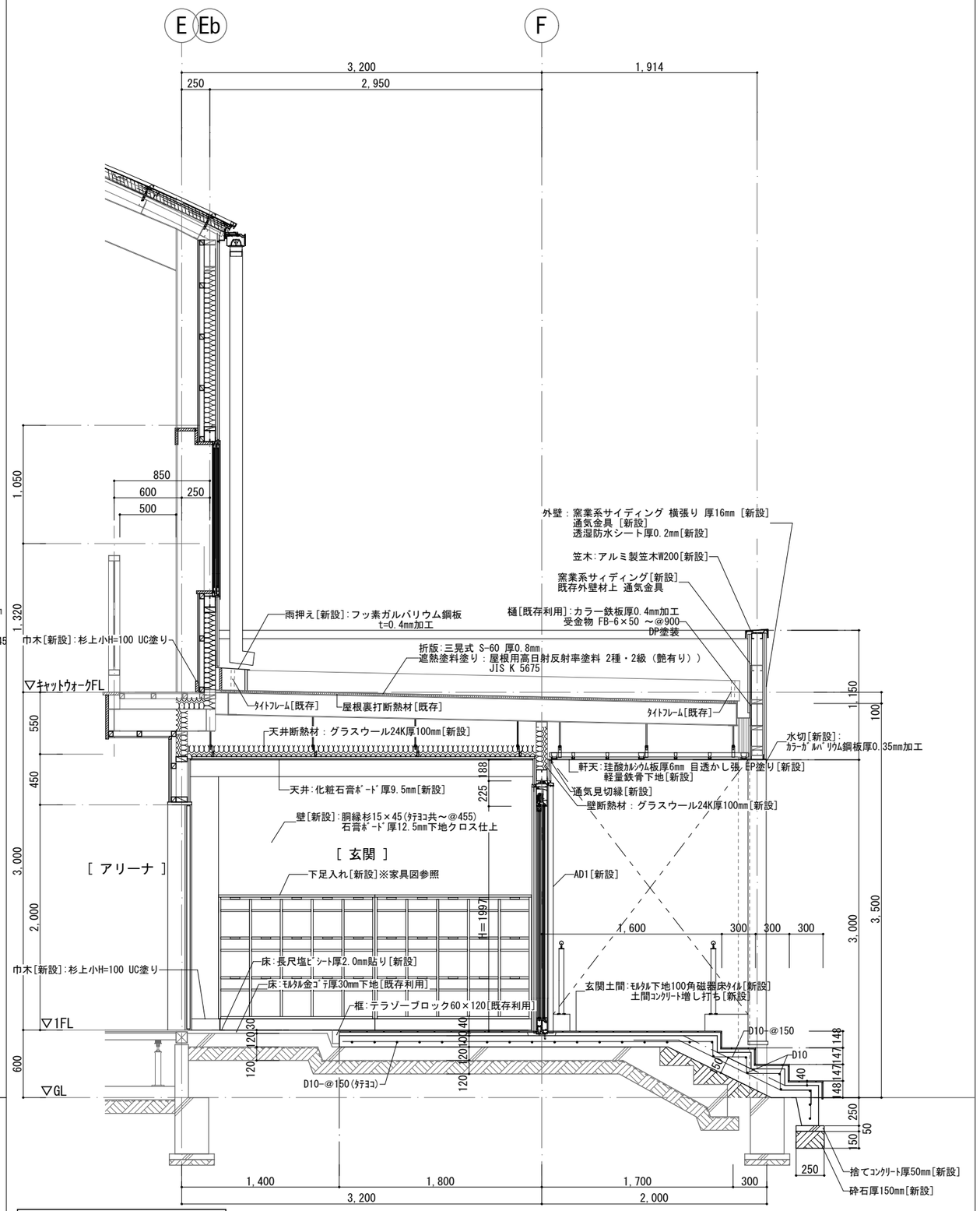
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	屋内運動場_断面詳細図(1)[改修前・改修後]
縮尺	A2＝1:30
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	A-27

改修前



断面詳細図(3)[改修前] 1:30

改修後

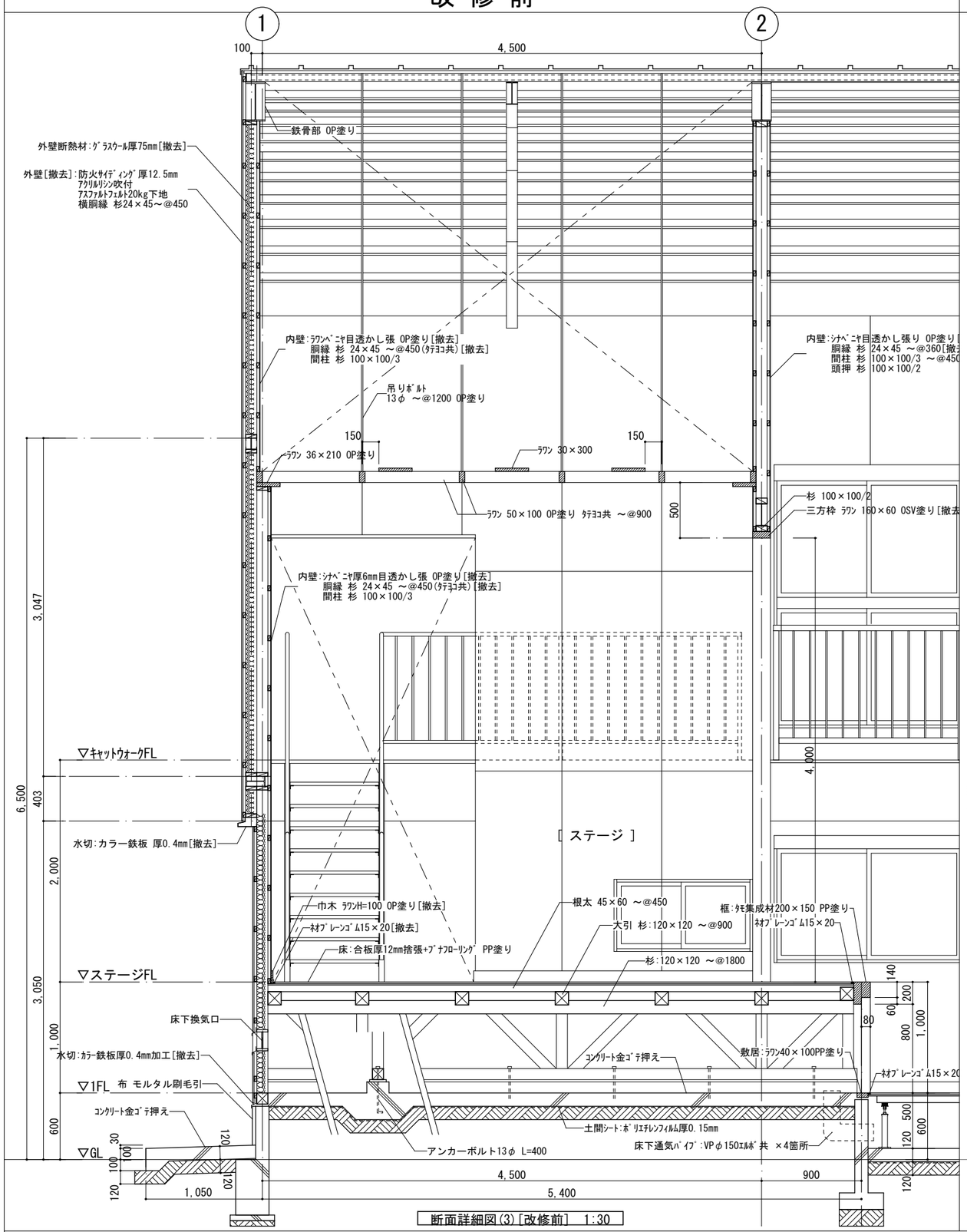


断面詳細図(2)[改修後] 1:30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

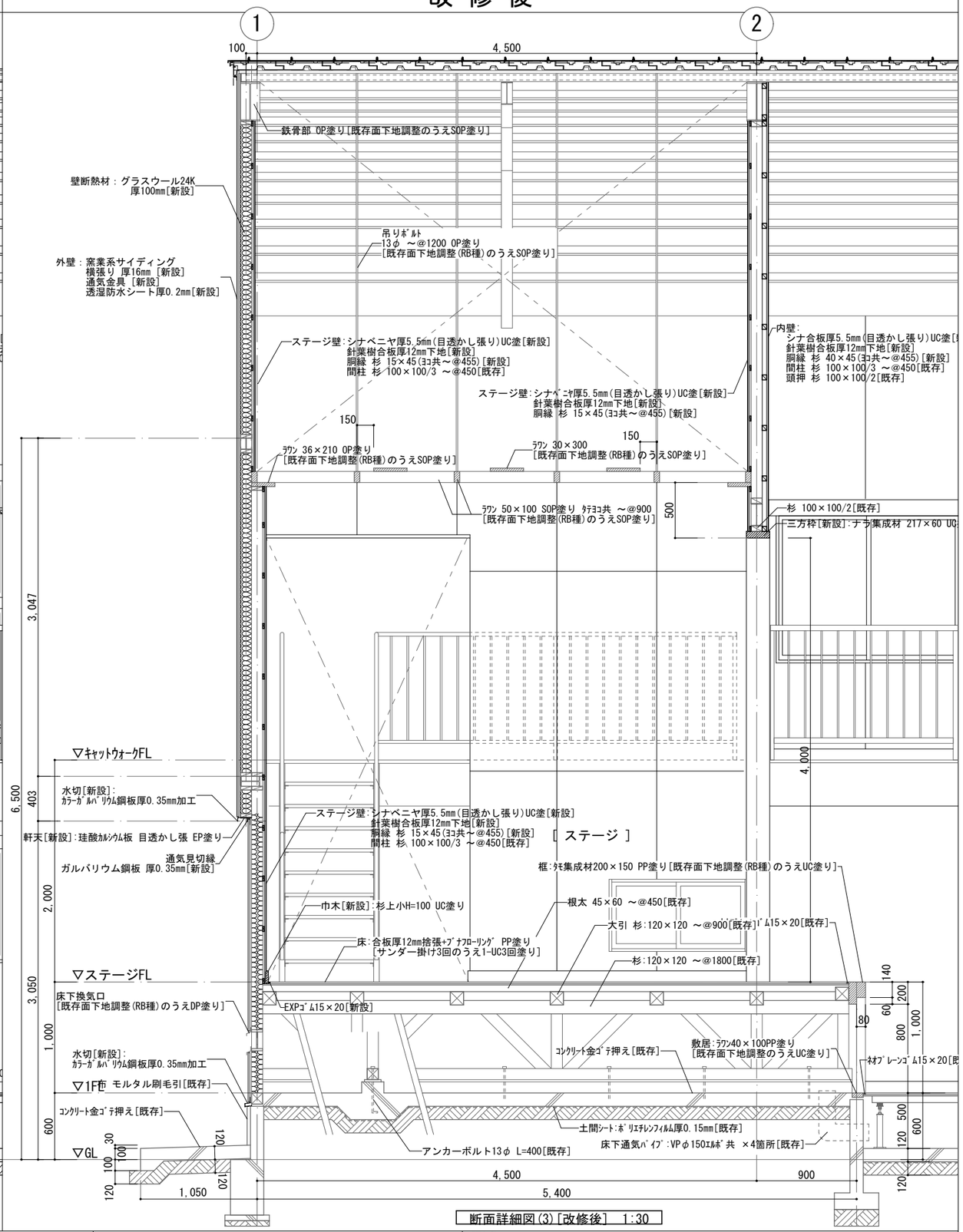
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	屋内運動場_断面詳細図(2)[改修前・改修後]
縮尺	A2＝1:30
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	A-28

改修前



断面詳細図(3)[改修前] 1:30

改修後

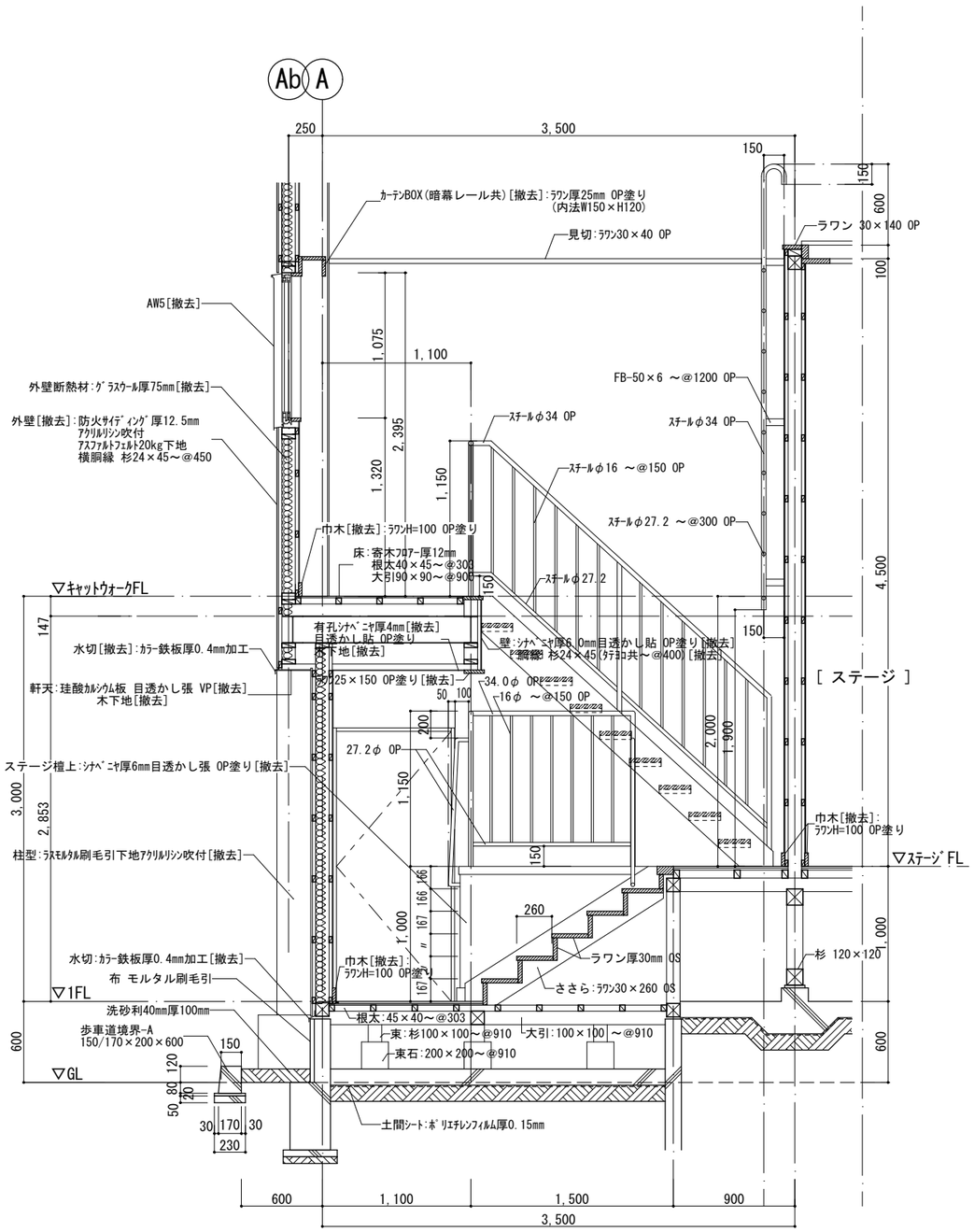


断面詳細図(3)[改修後] 1:30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

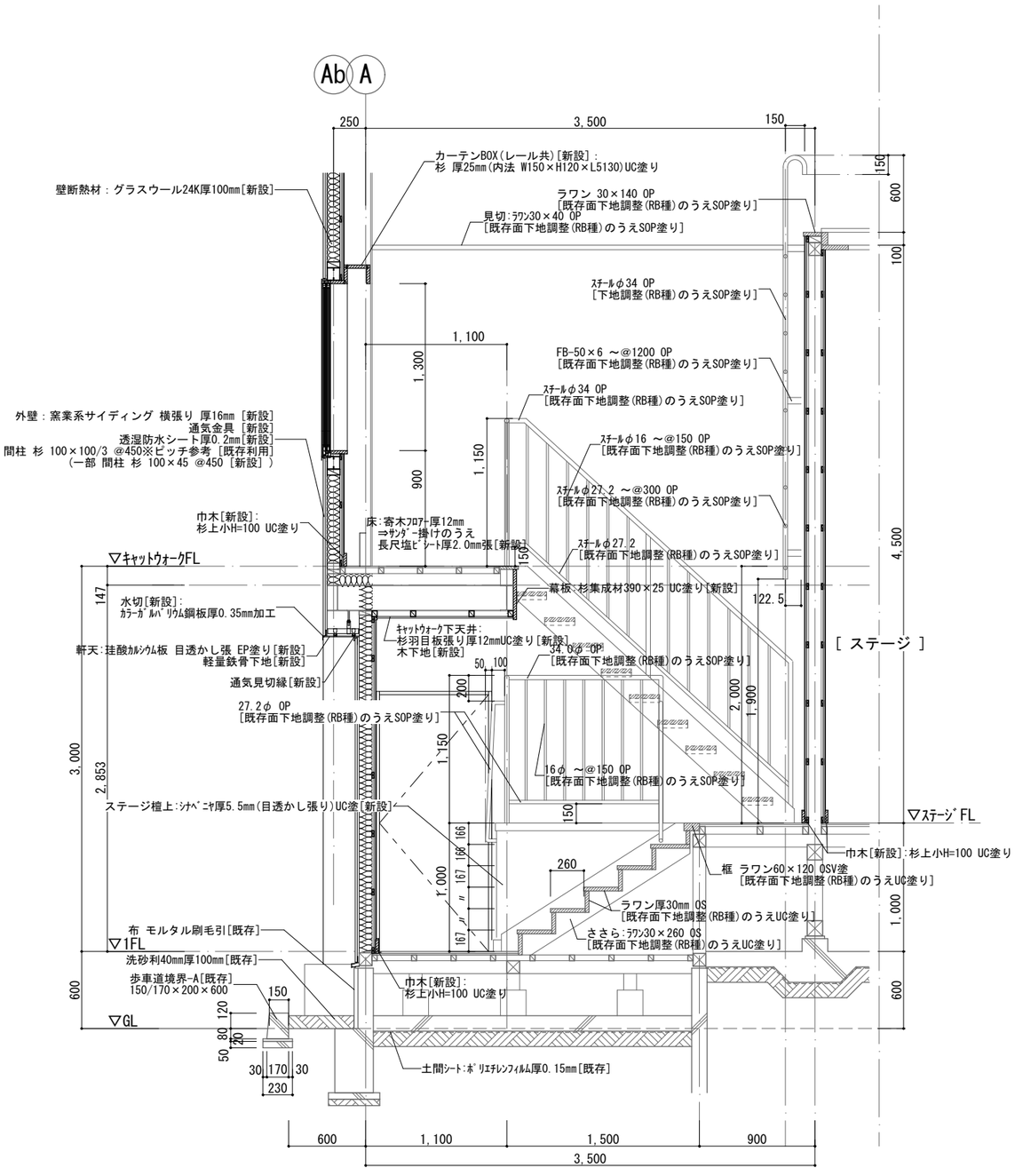
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	屋内運動場_断面詳細図(3)[改修前･改修後]	承認 / 作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30	作成日	2026年6月4日
			A-29

改修前



断面詳細図(4)[改修前] 1:30

改修後

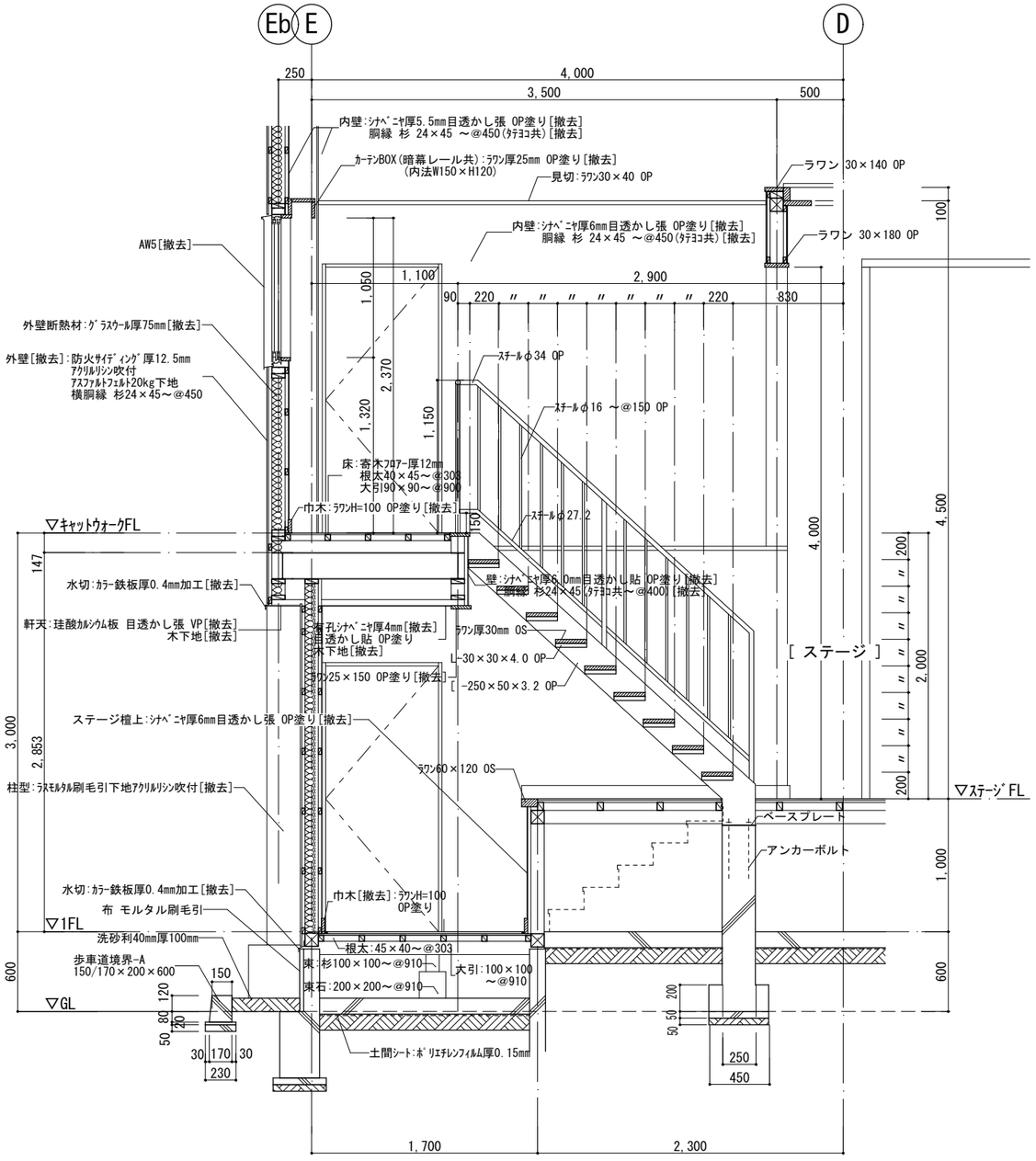


断面詳細図(4)[改修後] 1:30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

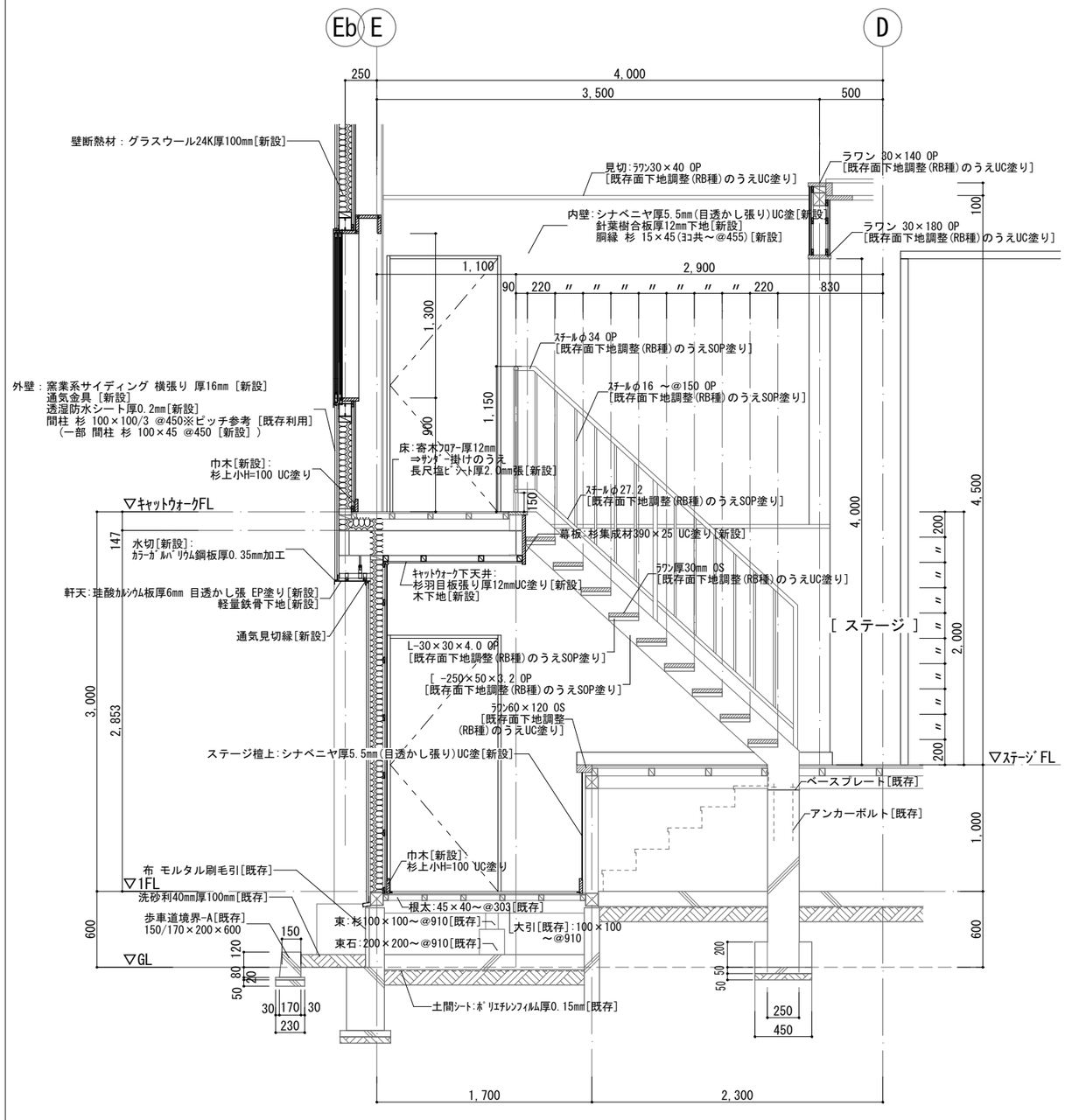
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	屋内運動場_断面詳細図(4)[改修前・改修後]	承認 / 作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30	作成日	2026年6月4日
			A-30

改修前



断面詳細図(5)[改修前] 1:30

改修後

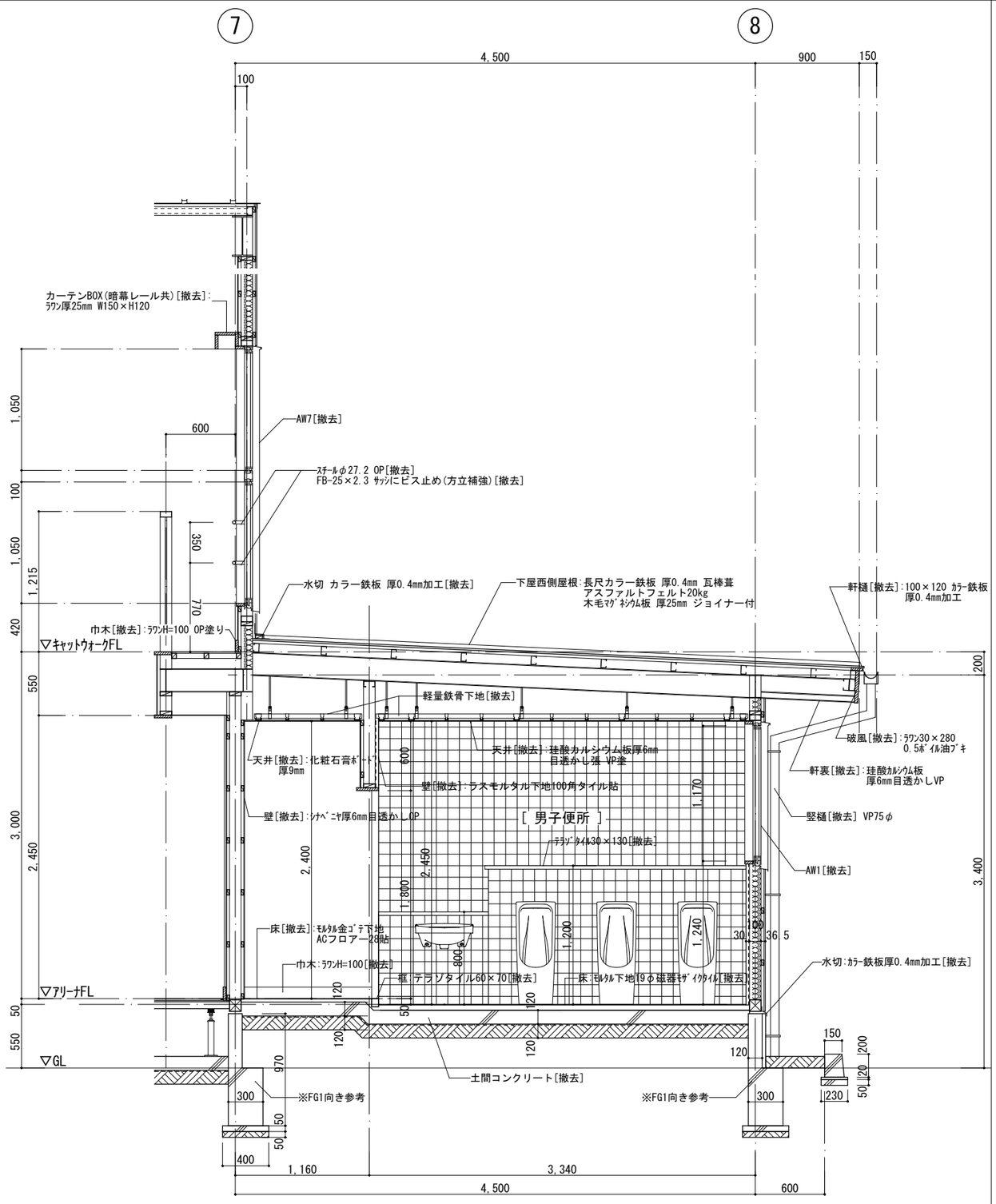


断面詳細図(5)[改修後] 1:30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

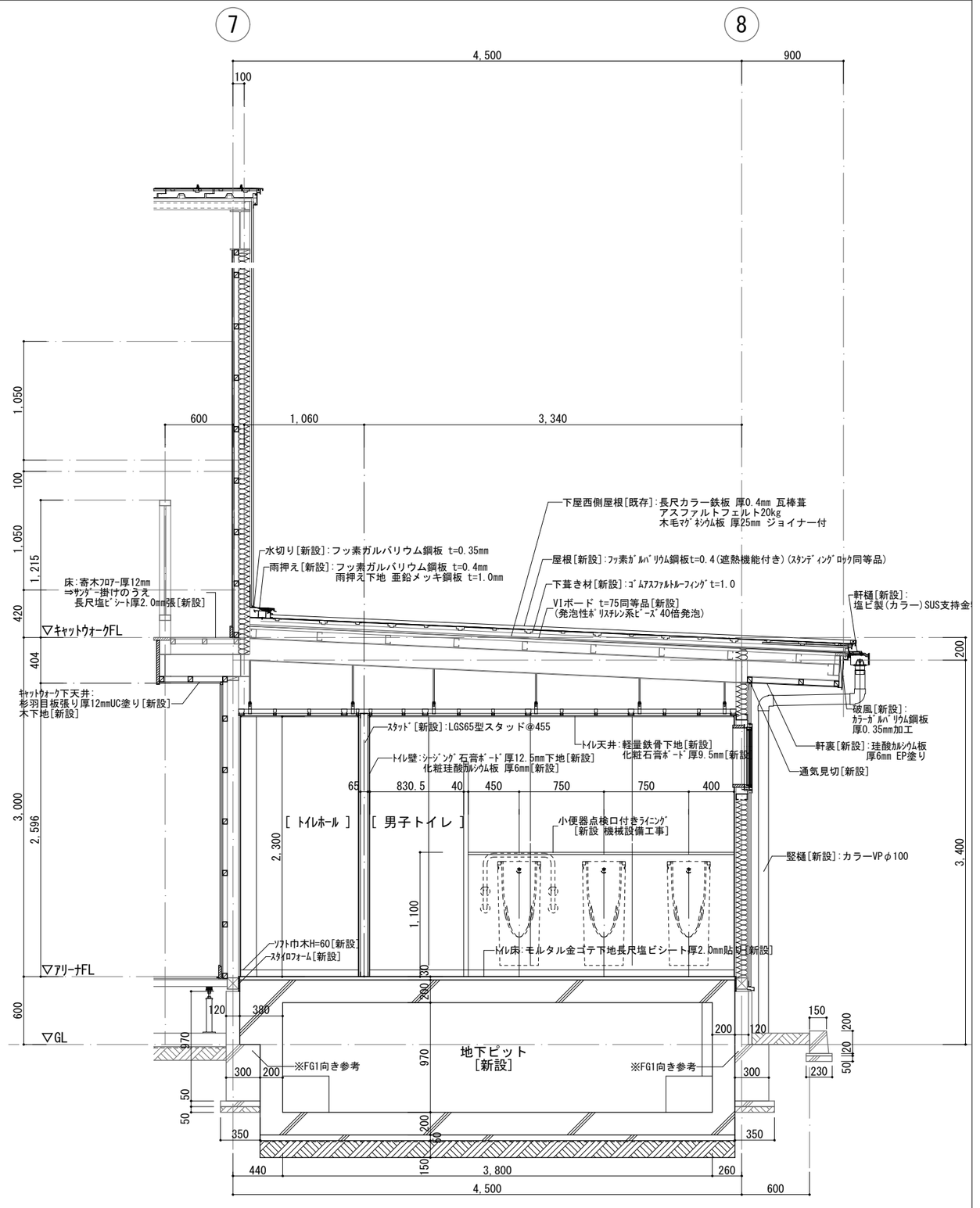
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	屋内運動場_断面詳細図(5)[改修前・改修後]	承認 / 作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30	作成日	2026年6月4日
			A-31

改修前



断面詳細図(6)[改修前] 1:30

改修後

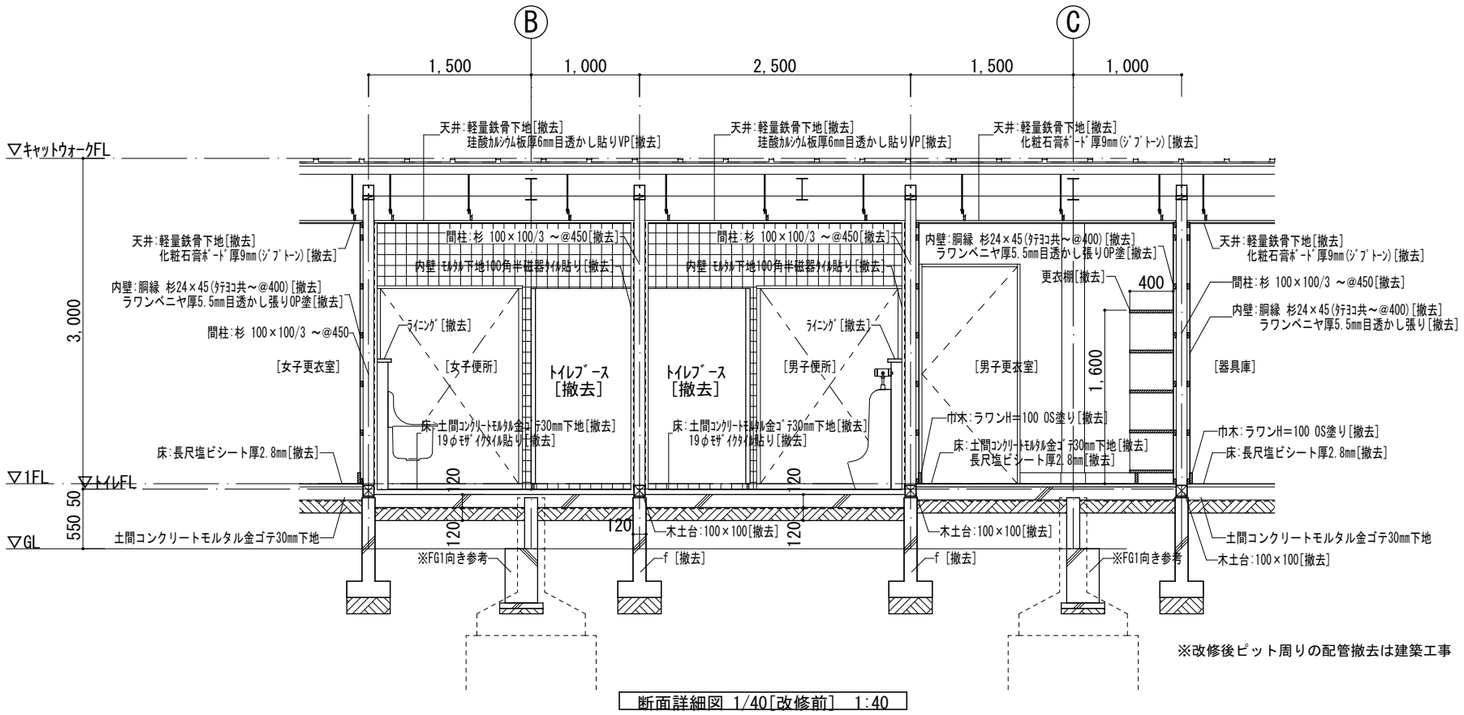


断面詳細図(6)[改修後] 1:30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_断面詳細図(6)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2=1:30	作成日		A-32
		2026年6月4日		

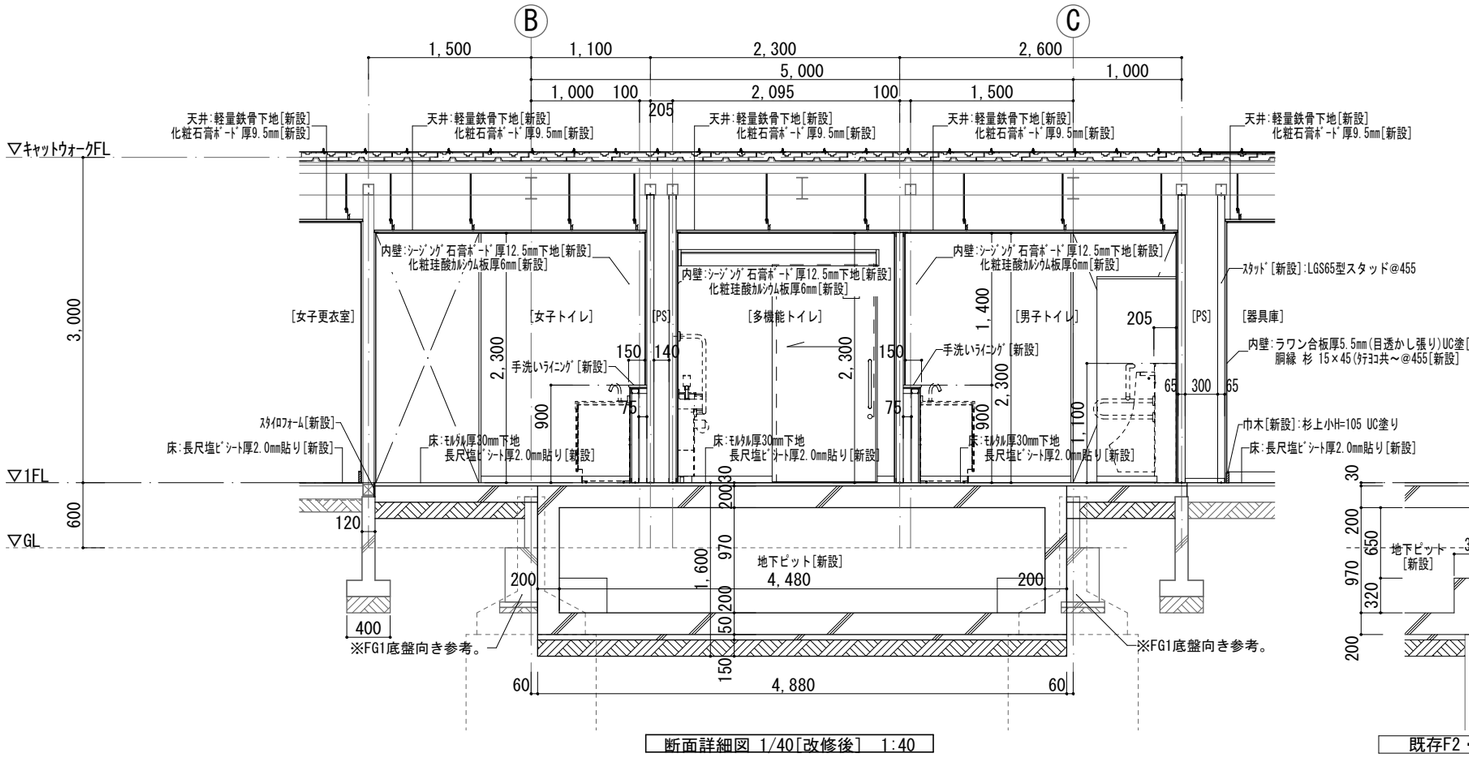
改修前



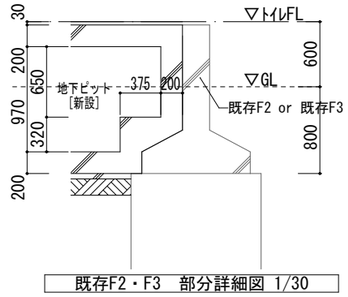
※改修後ピット周りの配管撤去は建築工事

断面詳細図 1/40[改修前] 1:40

改修後



断面詳細図 1/40[改修後] 1:40



既存F2・F3 部分詳細図 1/30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	屋内運動場_断面詳細図(7)[改修前・改修後]	承認 / 作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:40	作成日	2026年6月4日
			A-33

アリーナ

バレーボール用基礎[撤去]

バドミントン用基礎[既存のまま]

カーテンBOX:ラワン厚25mm OSV塗り
(内法W150×H120)[撤去]

スチール面格子[撤去]

アルミ床換気孔蓋×2箇所
W190×L1800
[既存のまま]

砂利敷

5,500

5,500

2,300

3,210

850

1,340

1,470

2,460

5,400

36,000

230

300

300

800

バスケットゴール[撤去]

北側階段:コンクリート階段(更衣室側)
[ノンスリップタイル撤去]

◎アリーナ《改修前》
床:合板捨貼り厚12mm特殊貼り[一部撤去]
フナフローリング厚15mm PP塗り[一部撤去]
壁:下地 胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@400)[撤去]
※1:アリーナ部FL～H=1000まで(ﾀﾃﾖｺ共～@250)[撤去]
※2:2通り胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共～@360)[撤去]
ラワン合板厚5.5mm下地[撤去]
仕上 ラワンリブ15×60～@90 OSV塗り[撤去]
天井:野地板 木毛マグネシウム板厚25mm
鉄骨部 OP塗り
ｷｬｯﾄｳｫｰｸ下:木下地[撤去]
有孔ベニヤ厚4mm目透かし貼り OP塗り[撤去]

渡り廊下:コンクリート階段[撤去]
(玄関側)

水呑場[撤去]

渡り廊下 平面詳細図参照
※渡り廊下_平面詳細図参照

1,720

2,460

575

300

1,220

斜線部:間柱 杉 100×100/3 ～@450[撤去]

下足入れ[撤去]

1,800

玄関ポーチ

玄関ポーチ
[モルタル金ゴテ下地100角磁器タイル撤去]

玄関

2,500

玄関土間

1,100

300

300

◎玄関《改修前》
床:長尺塩ビシート厚2.8mm貼り[撤去]
土間:モルタル金ゴテ下地100角磁器タイル[撤去]
壁:下地 胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共@400)[撤去]
ラワン合板厚5.5mm下地[撤去]
仕上 ラワンリブ15×60～@90 OSV塗り[撤去]
天井:軽量鉄骨下地[撤去]
化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)[撤去]

◎女子更衣室《改修前》
床:長尺塩ビシート厚2.8mm貼り[撤去]
壁:下地 胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共@400)[撤去]
仕上 ラワンﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm目透かし貼 OP塗り[撤去]
天井:軽量鉄骨下地[撤去]
化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)[撤去]

床下点検口
450×450 アルミ枠
[撤去]

◎女子便所・男子便所・男子更衣室《改修前》
トイレレイアウト変更により改修
※屋内運動場_1階 トイレ 平面詳細図[改修前・改修後] 参照。

姿見鏡 W1000×H1700
(引き分け扉式)[撤去]

粉末ABC消火器(蓄圧式)[備品]
⇒新設する消火器BOX内に移設

消

下足入れ[撤去]

掃除用
具入れ
[撤去]

200

550

600

200

2,160

2,340

女子便所

男子便所

女子更衣室

男子更衣室

更衣棚
[撤去]

更衣棚
[撤去]

器具庫

◎器具庫《改修前》
床:長尺塩ビシート厚2.8mm貼り[撤去]
壁:下地 胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共@400)[撤去]
仕上 ラワンﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm目透かし貼[撤去]
天井:軽量鉄骨下地[撤去]
化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)[撤去]

飾り棚
[撤去]

砂利敷

面格子[撤去]

面格子[撤去]

面格子[撤去]

面格子[撤去]

砂利敷

面格子[撤去]

1,500

1,000

1,000

1,500

2,500

2,500

2,500

2,500

8,000

3,200

21,200

1,914

9,900

4,500

3,340

1,160

600

5,400

Aa

A

Ab

B

C

D

E

Eb

Ea

F

5

6

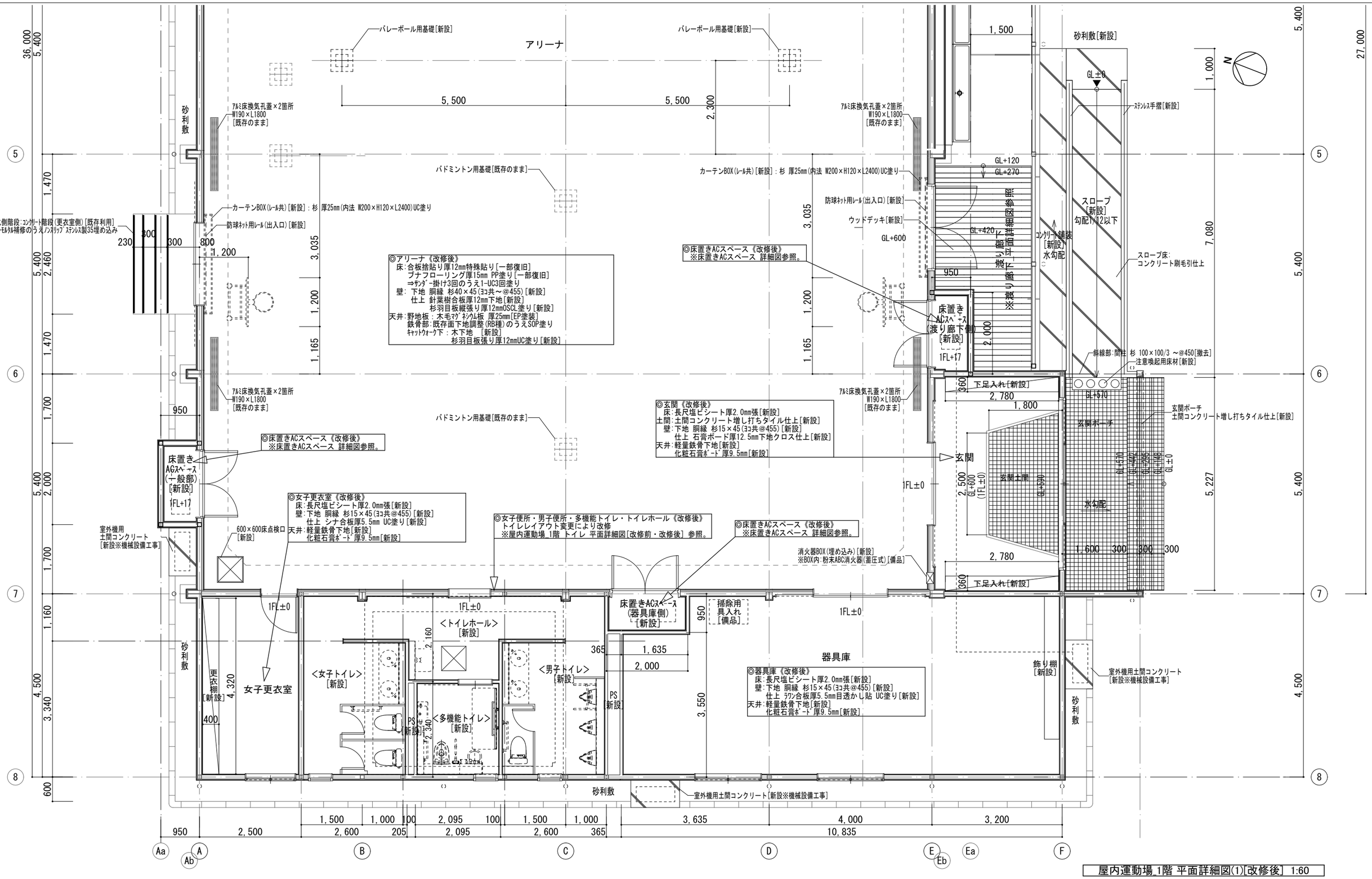
7

8

屋内運動場 1階 平面詳細図(1)[改修前] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_1階 平面詳細図(1)[改修前]	承認	作成者	図面番号
	縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	A-34

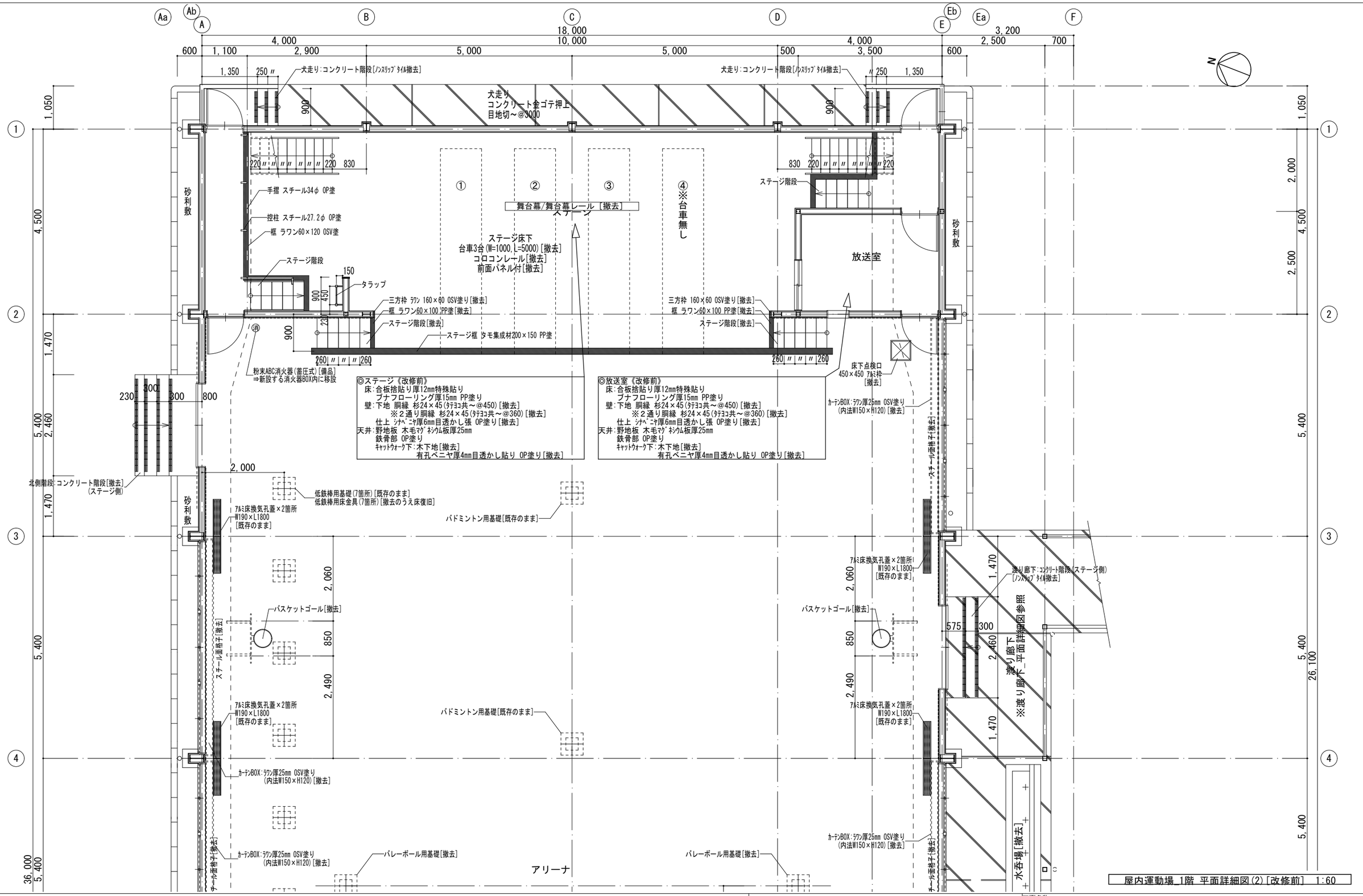
[改修後]



屋内運動場_1階 平面詳細図(1)[改修後] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 A～2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_1階 平面詳細図(1)[改修後]	承認	作成者	図面番号 A-35
	縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	

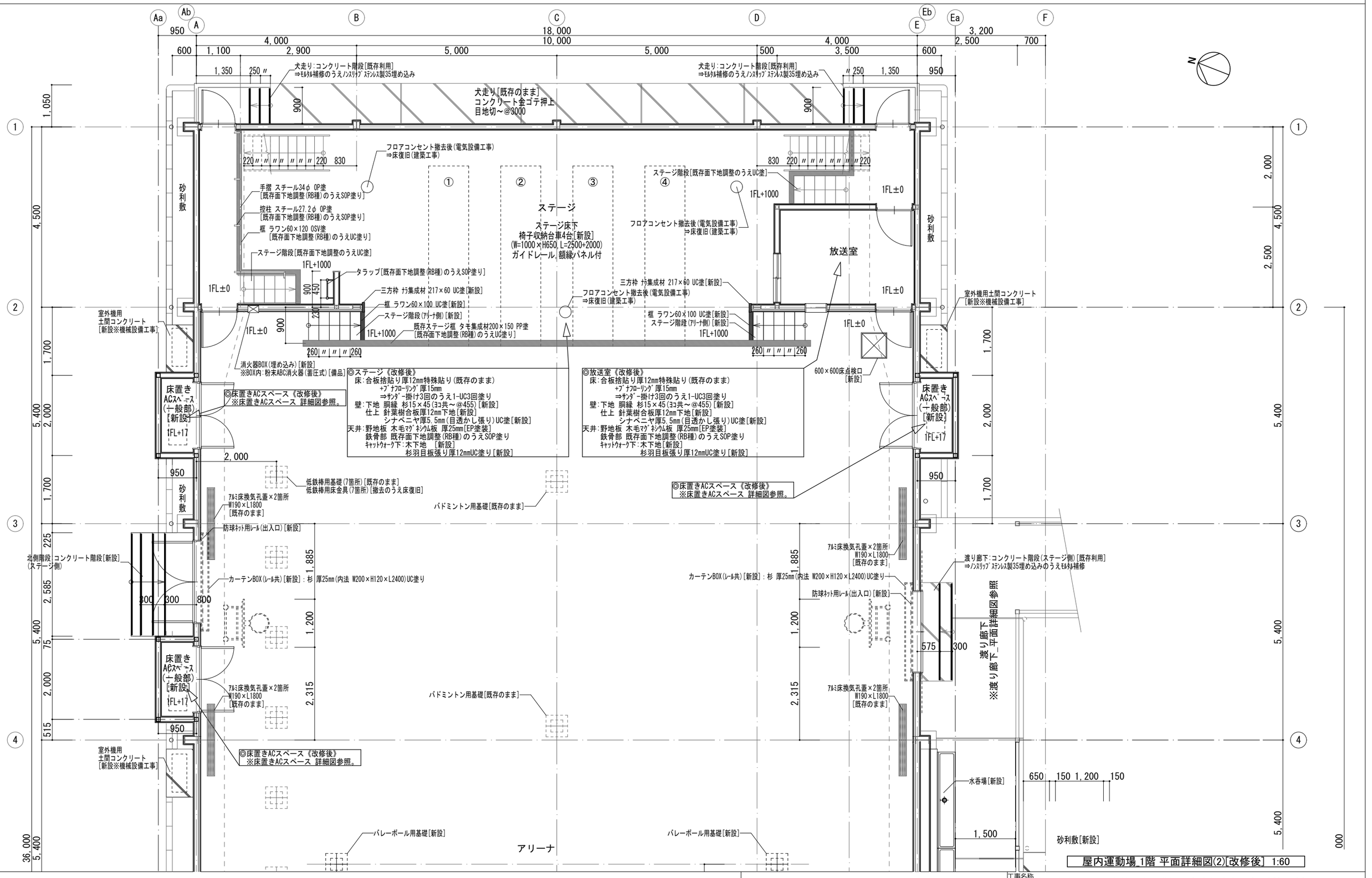
[改修前]



屋内運動場_1階 平面詳細図(2)[改修前] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_1階 平面詳細図(2)[改修前]	承認	作成者	図面番号 A-36
	縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	

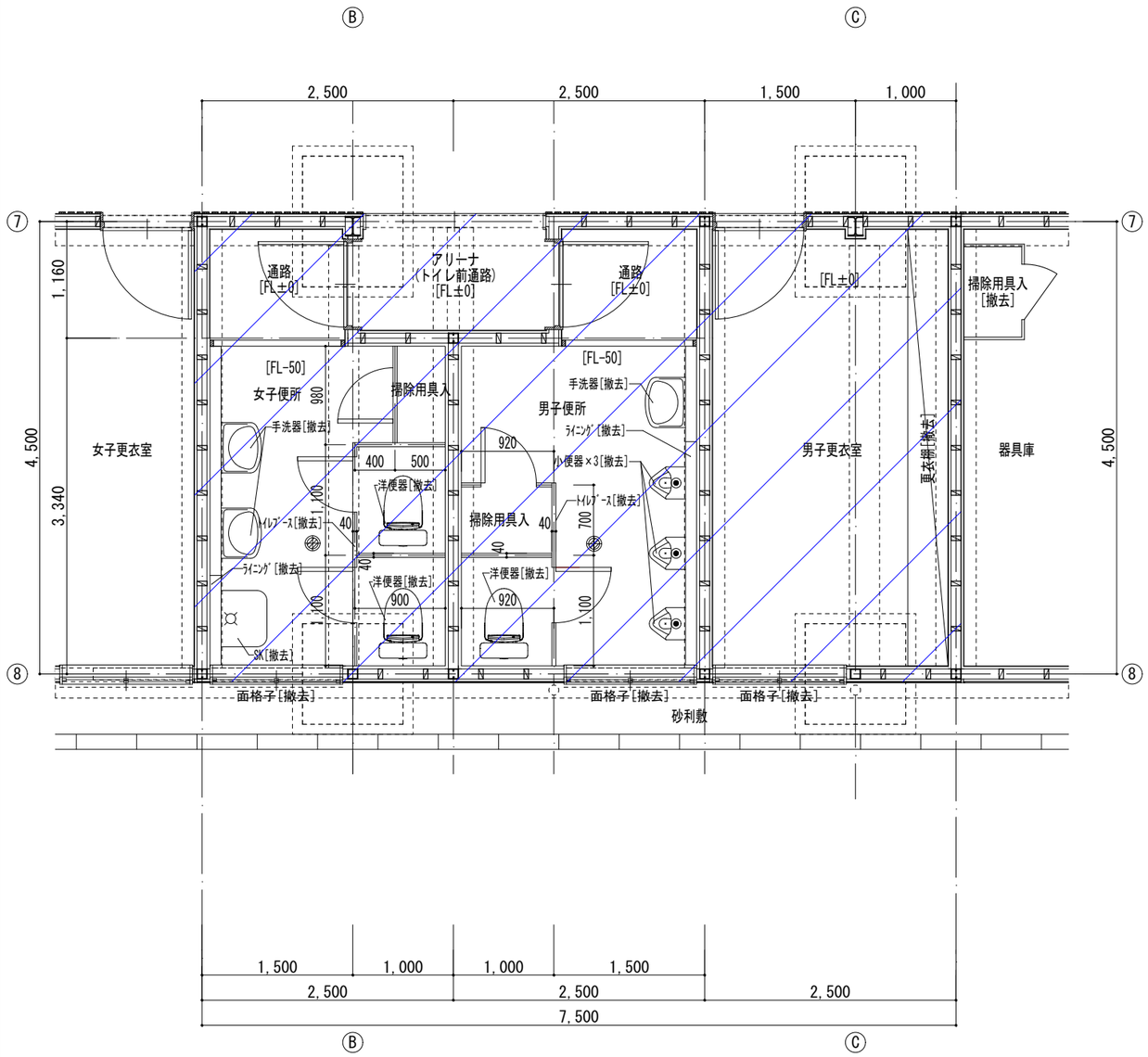
[改修後]



屋内運動場_1階 平面詳細図(2)[改修後] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)	
	図面名	屋内運動場_1階 平面詳細図(2)[改修後]	承認 / 作成者 / 図面番号 A-37
	縮尺	A2＝1:60	作成日 2026年6月4日

改修前



改修前_トイレ平面図 1:40

◎男子便所・女子便所《改修前》

床:土間コンクリート[撤去]
モルタル金ゴテ厚30mm下地[撤去]
通路部分:長尺塩ビシート厚2.8mm貼り[撤去]
トイレ部分:19φモザイクタイル貼り[撤去]
壁:通路部分 胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共@400)[撤去]
ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6.0mm目透かし貼 OP塗り[撤去]
トイレ部分 モルタル下地100角半磁器タイル貼り[撤去]
天井:軽量鉄骨下地[撤去]
珪酸カルシウム板厚6mm[撤去]

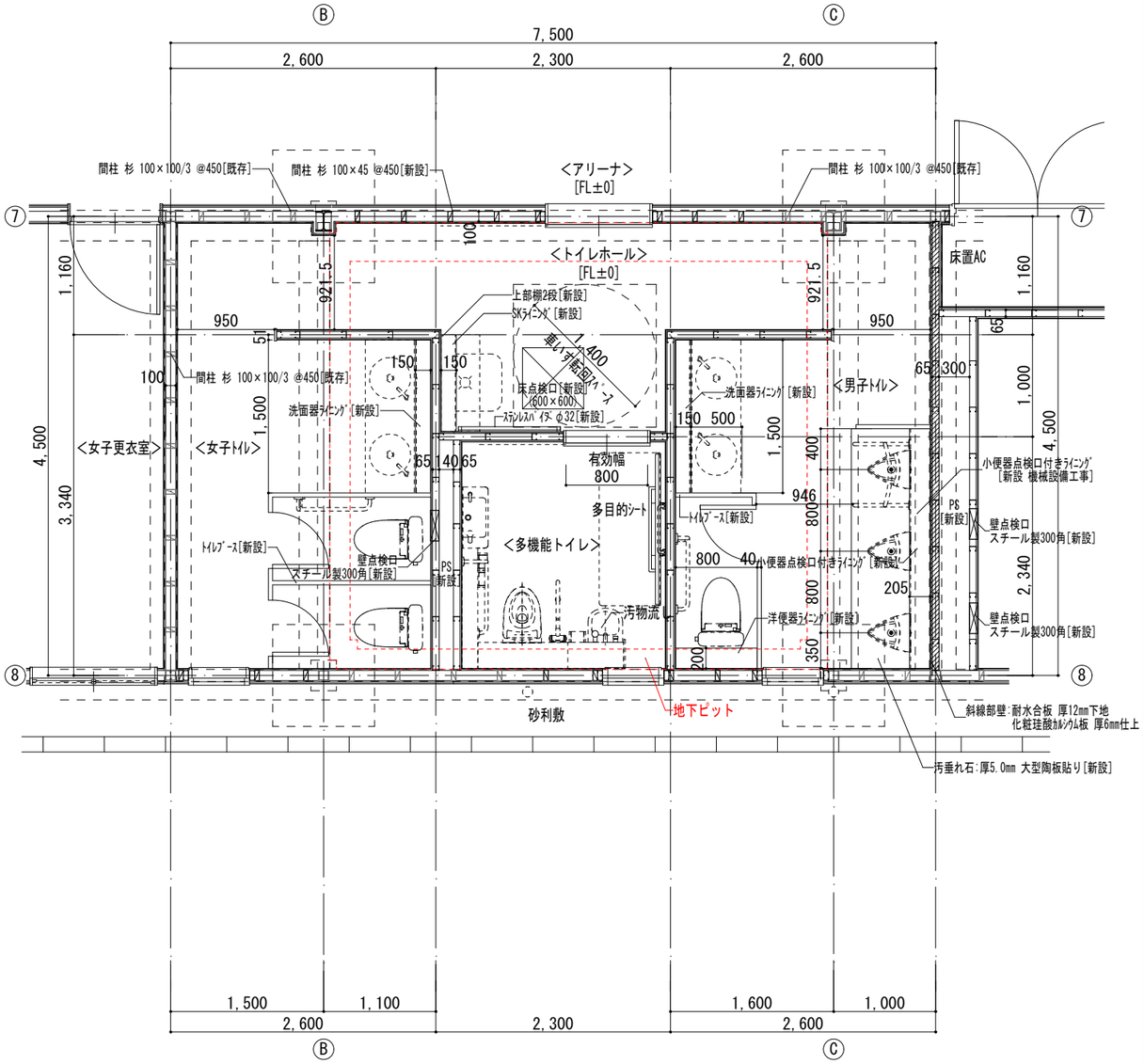
◎男子便所・女子便所《改修前》

床:土間コンクリート[撤去]
モルタル金ゴテ厚30mm下地[撤去]
通路部分:長尺塩ビシート厚2.8mm貼り[撤去]
トイレ部分:19φモザイクタイル貼り[撤去]
壁:通路部分 胴縁 杉24×45(ﾀﾃﾖｺ共@400)[撤去]
ｼﾅﾍﾞﾆﾔ厚6.0mm目透かし貼 OP塗り[撤去]
トイレ部分 モルタル下地100角半磁器タイル貼り[撤去]
天井:軽量鉄骨下地[撤去]
珪酸カルシウム板厚6mm[撤去]

※ -------- :床下基礎梁を示す。

: トイレ改修範囲を示す。

改修後



改修後トイレ平面図 1:40

◎男子トイレ・女子トイレ・多機能トイレ・トイレホール《改修後》

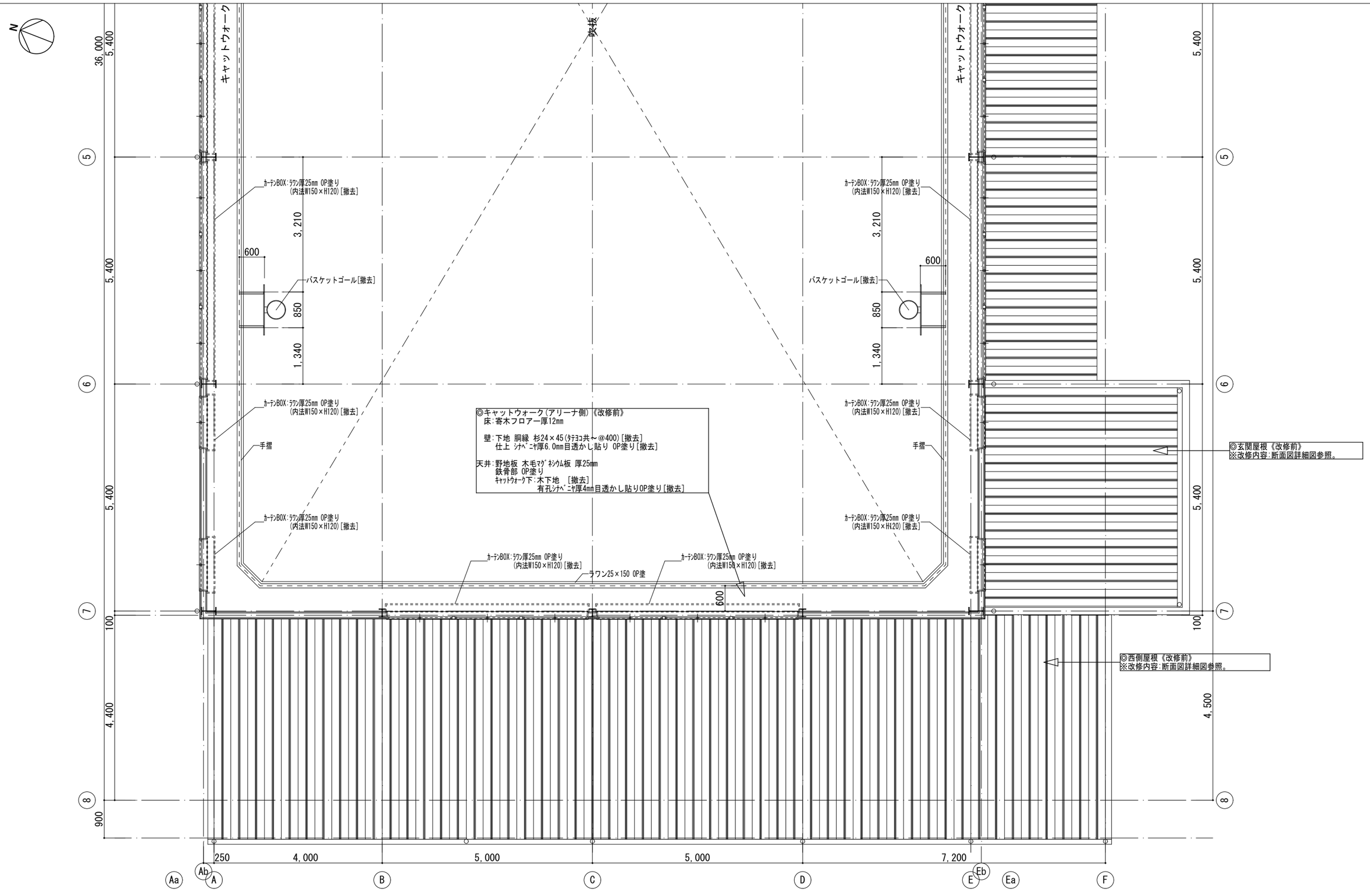
床:土間コンクリート(ピット共)[新設]
モルタル金ゴテ下地長尺塩ビシート張り[新設]
壁:シージング石膏ボード厚12.5mm下地[新設]
化粧珪酸カルシウム板厚6mm[新設]
天井:軽量鉄骨下地[新設]
化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9.5mm[新設]

※ -------- :床下基礎梁を示す。

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_1階 トイレ 平面詳細図[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2=1:40	作成日	2026年6月4日	A-38

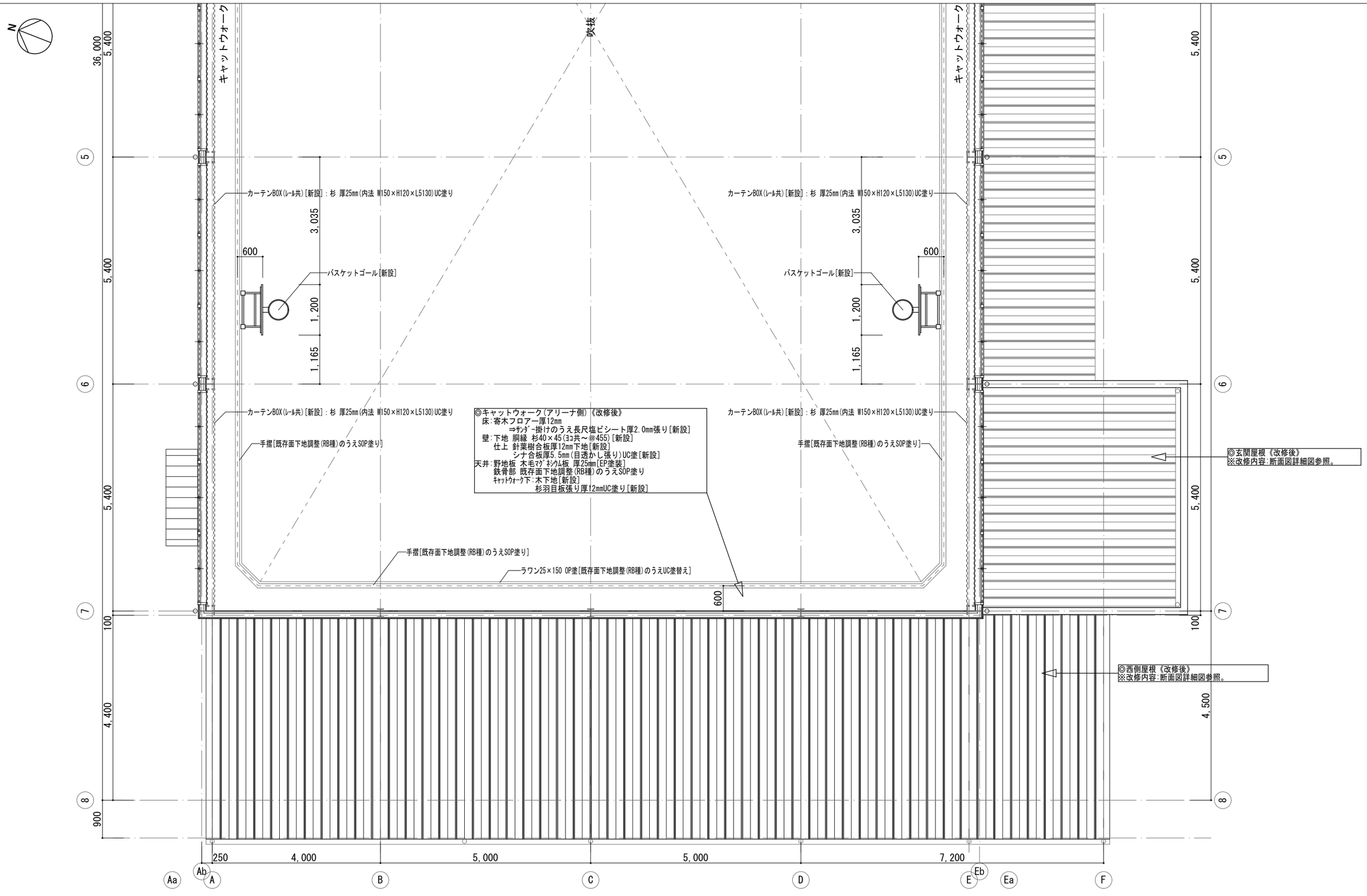
[改修前]



屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(1)[改修前] 1:60

	一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
		図面名 屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(1)[改修前]	承認	作成者	図面番号 A-39
		縮尺 A2＝1:60	作成日 2026年6月4日		

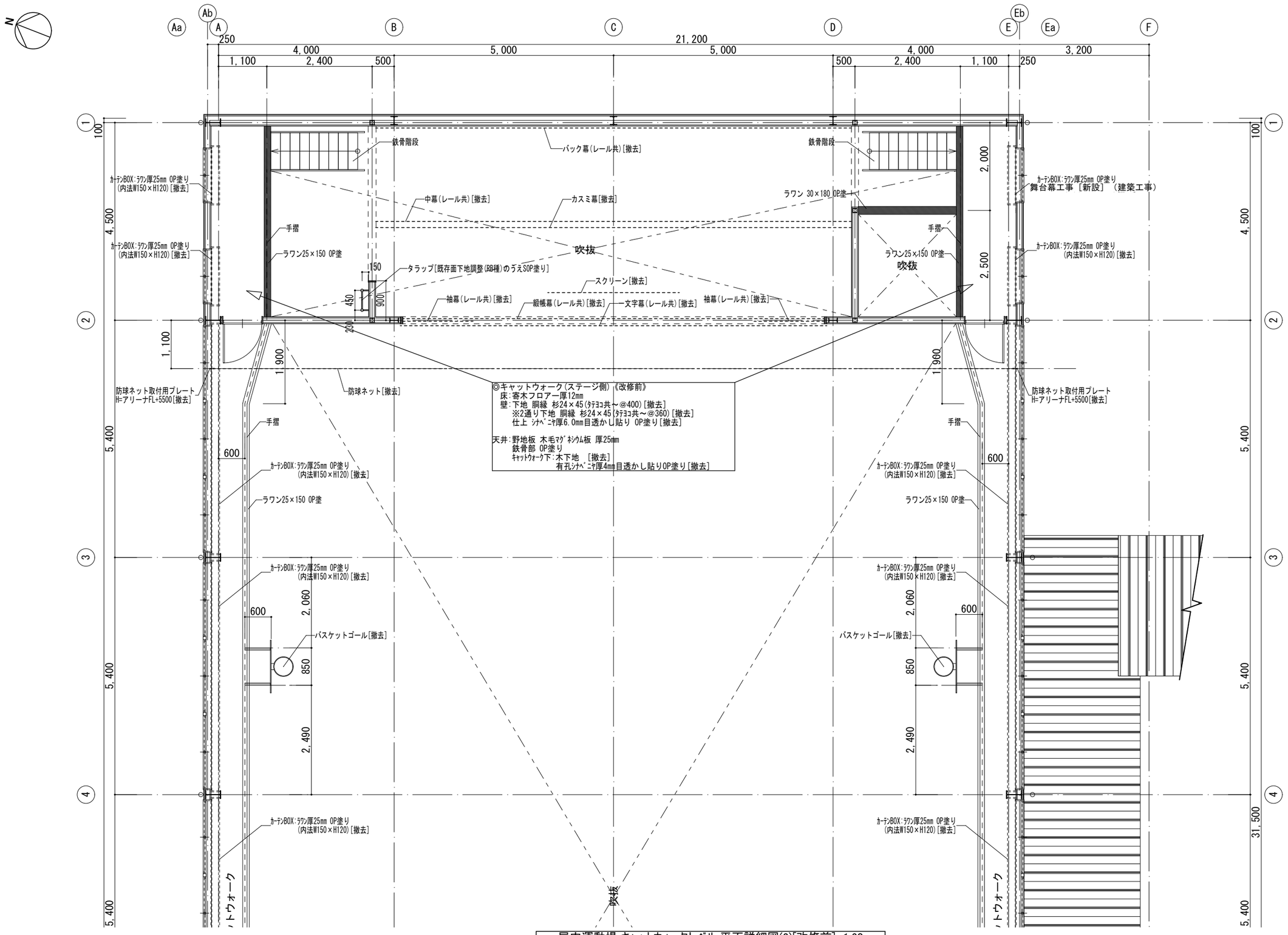
[改修後]



屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(1)[改修後] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(1)[改修後]	承認	作成者	図面番号
	縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	A-40

[改修前]

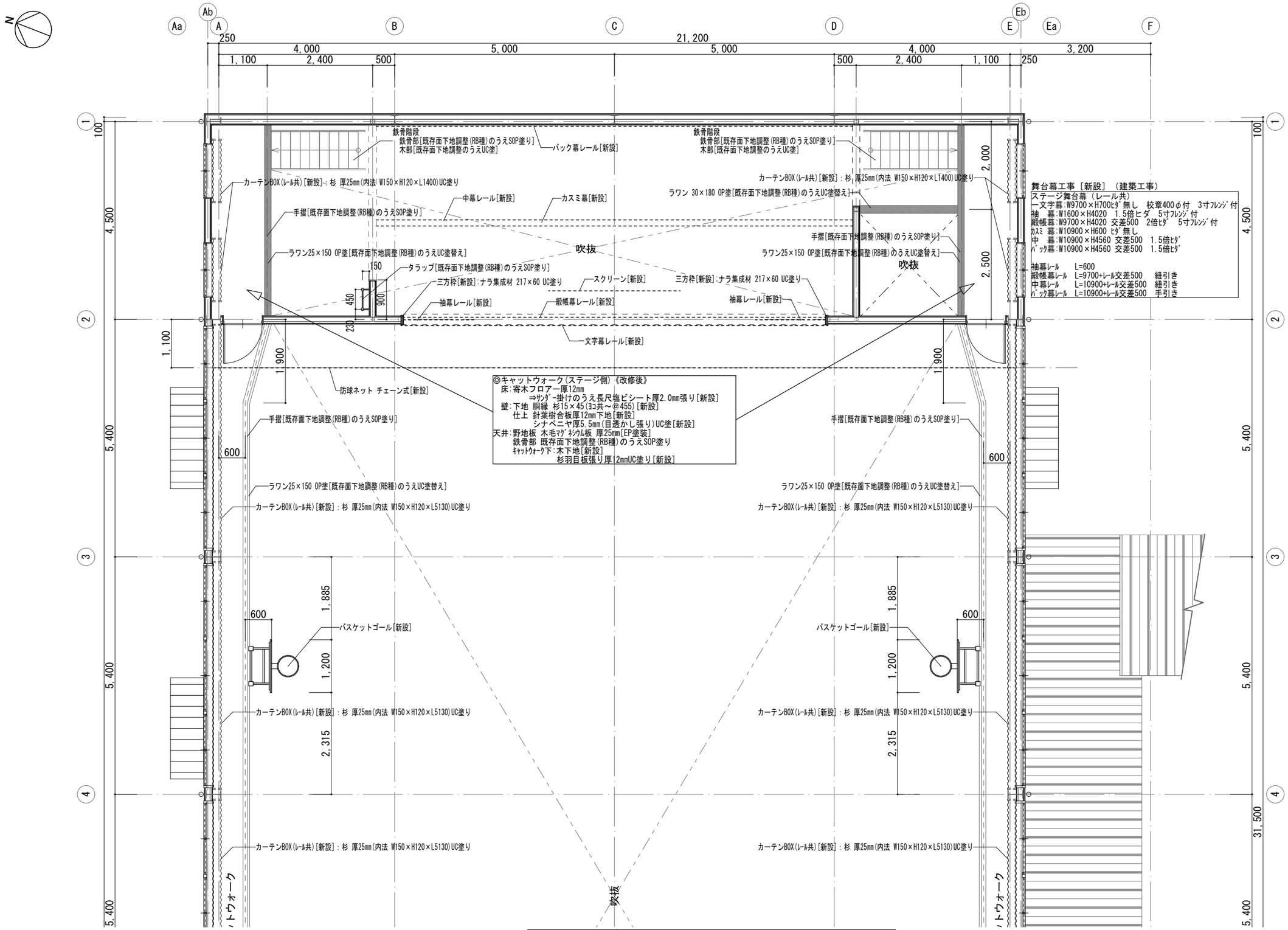


屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(2)[改修前] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(2)[改修前]	承認	作成者	図面番号 A-41
縮尺 A2＝1:60	作成日 2026年6月4日			

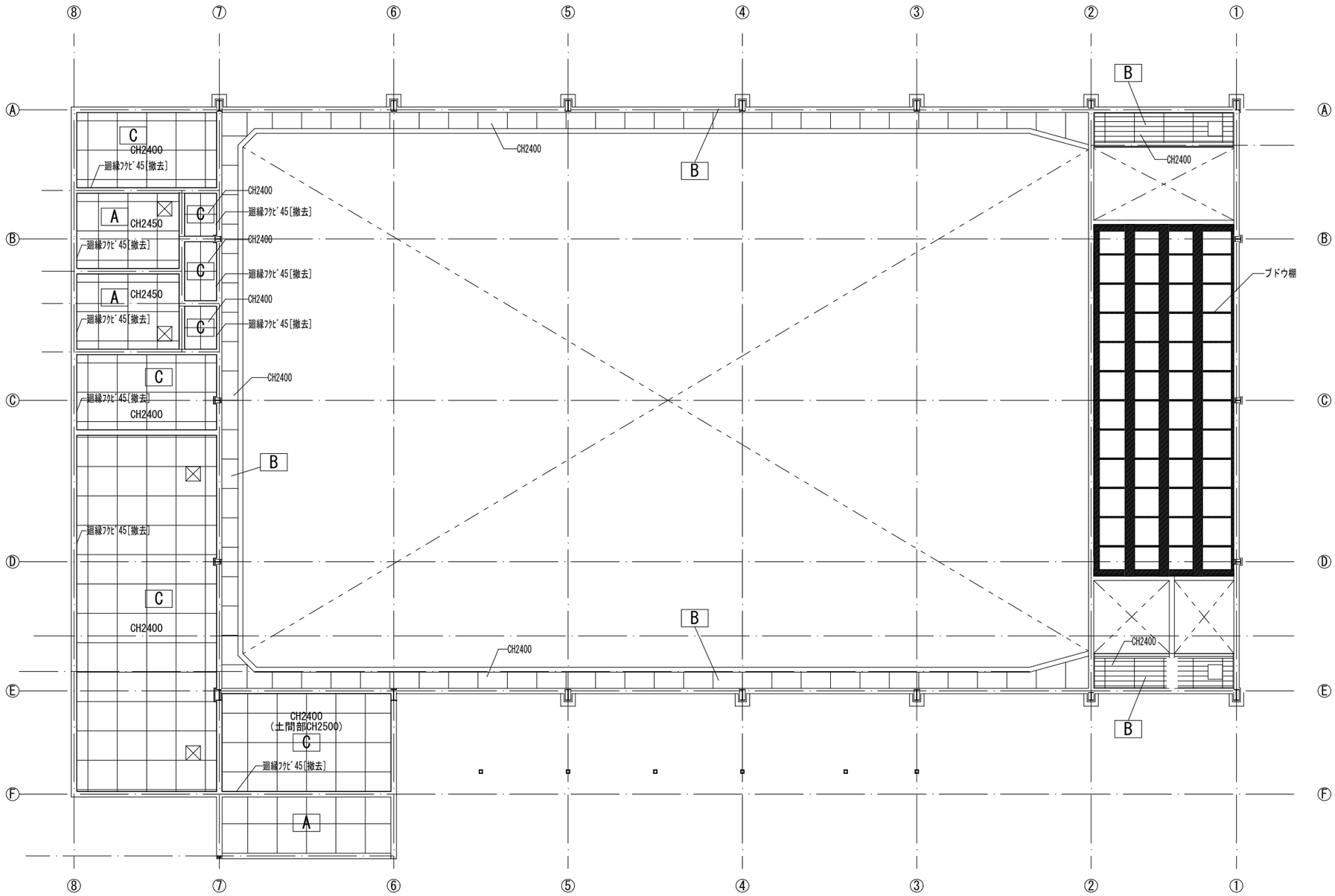
[改修後]



屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(2)[改修後] 1:60

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	屋内運動場_キャットウォークレベル 平面詳細図(2)[改修後]	承認	作成者	図面番号
	縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	A-42

[改修前]



屋内運動場_1階 天井伏図[改修前] 1:100

凡例 ※改修前

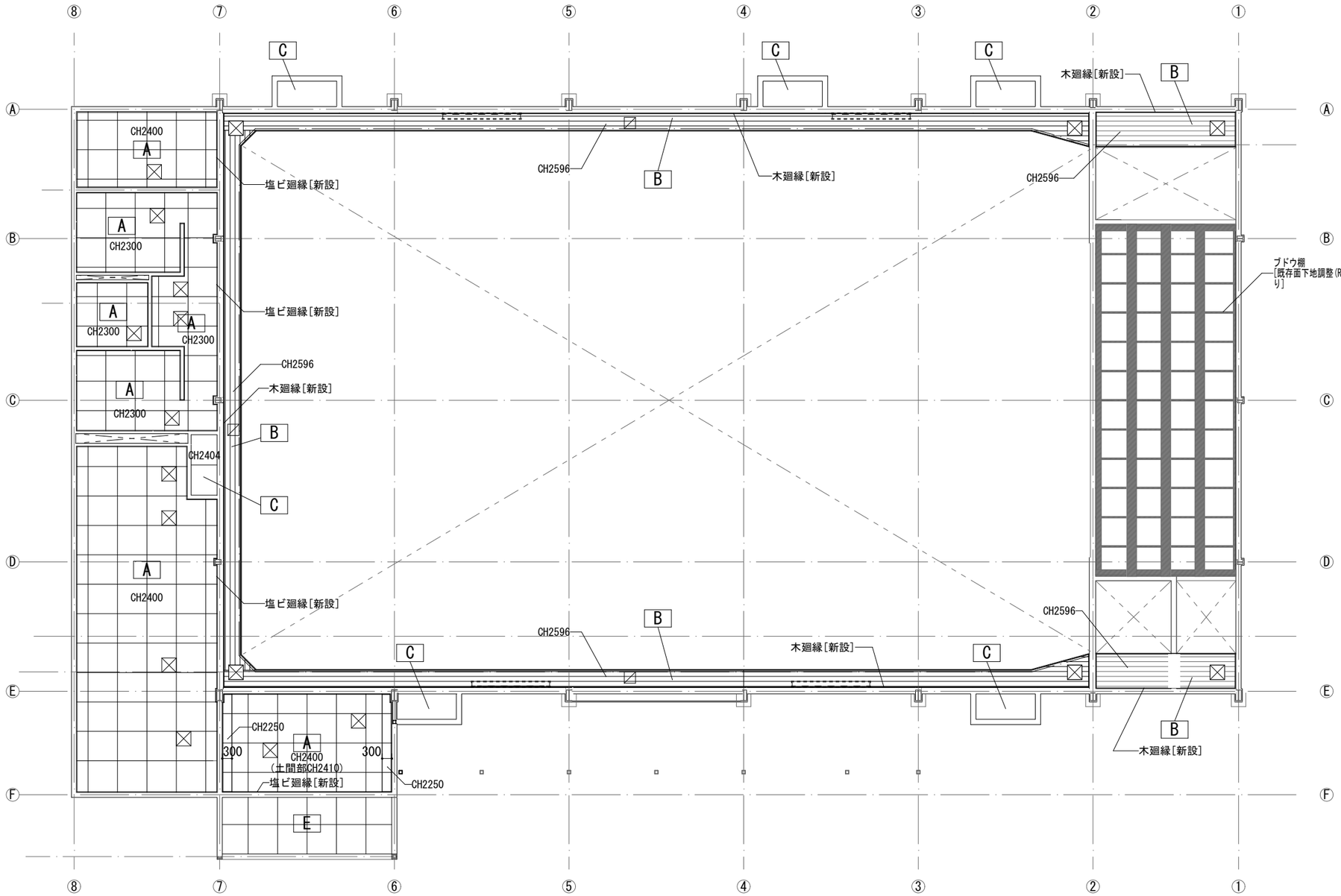
A	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板目透かし貼 VP 厚6mm［撤去］	☒	天井点検口 □450×450 アルミ枠［撤去］
B	有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔ目透かし貼 OP 厚4mm［撤去］		
C	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚9mm(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)［撤去］		
D	木毛ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ板貼 鉄骨現し OP 厚25mm		

備考
内部：鉄骨現し部分（柱，梁，母屋，ブレース）は全て既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗装。

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_1階 天井伏図[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	A-43

[改修後]



屋内運動場_1階 天井伏図[改修後] 1:100

凡例 ※改修後

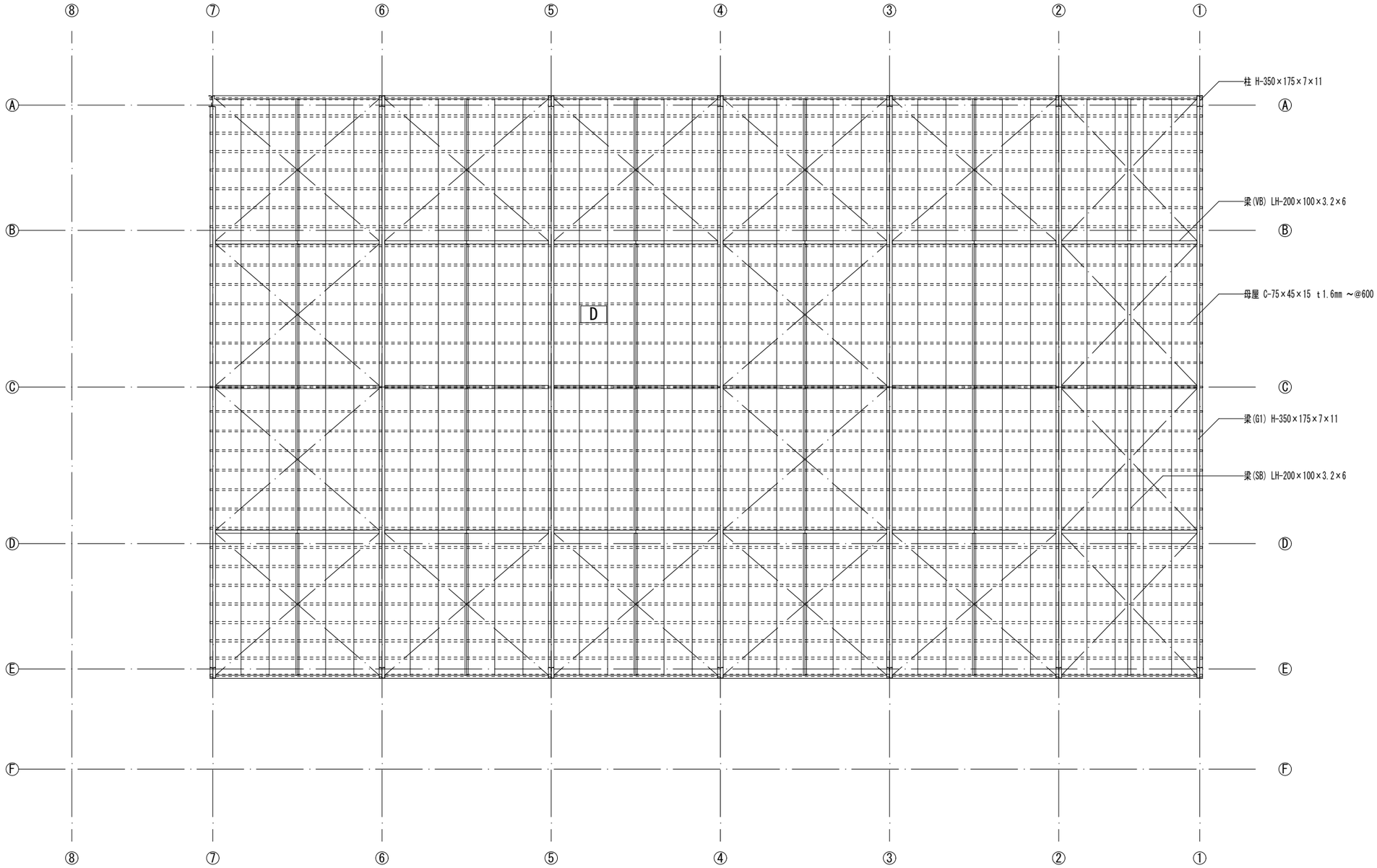
A	化粧石膏ボード 厚9.5mm [新設]	E	珪酸カルシウム板 目透かし張り EP塗 厚6mm [新設]
B	杉羽目板張り厚12mmUC塗り[新設]	☒	天井点検口 □450×450 アルミ枠 [新設]
C	ラワン合板 厚5.5mm UC塗り [新設]	⧄	天井点検口 □300×300 アルミ枠 [新設]
D	木毛ﾏﾀﾞﾈｼｳﾑ板貼 鉄骨現しOP厚25mm [EP塗装]		

備考
内部:鉄骨現し部分(柱,梁,母屋,ブレース)は全て既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗装。

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_1階 天井伏図[改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	A-44

[改修前]



屋内運動場_キャットウォークレベル 天井伏図[改修前] 1:100

凡例 ※改修前

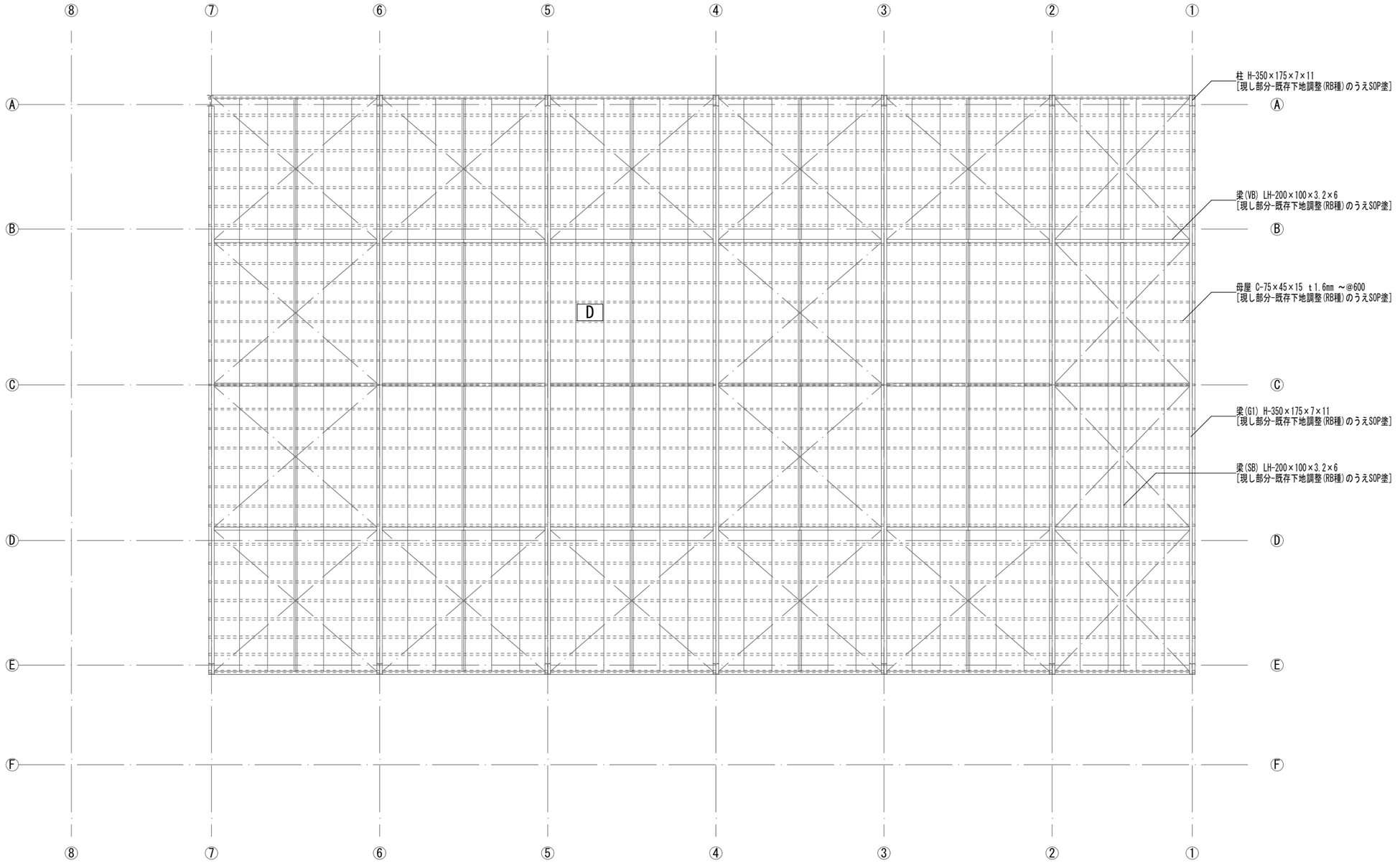
A	珪酸ｶﾙｼｳﾑ板目透かし貼 VP 厚6㎜ [撤去]	☒	天井点検口 □450×450 アルミ枠 [撤去]
B	有孔ｼﾅﾍﾞﾆﾔ目透かし貼 OP 厚4㎜ [撤去]		
C	ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ貼 厚9㎜ [撤去]		
D	木毛ｾﾒﾝﾄﾎﾞﾝﾄﾞﾙ板 厚25㎜ [EP塗装]		

備考
内部：鉄骨現し部分(柱，梁，母屋，ブレース)は全て既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗装。

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_キャットウォークレベル 天井伏図[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	A-45

[改修後]



屋内運動場_キャットウォークレベル 天井伏図[改修後] 1:100

凡例 ※改修後

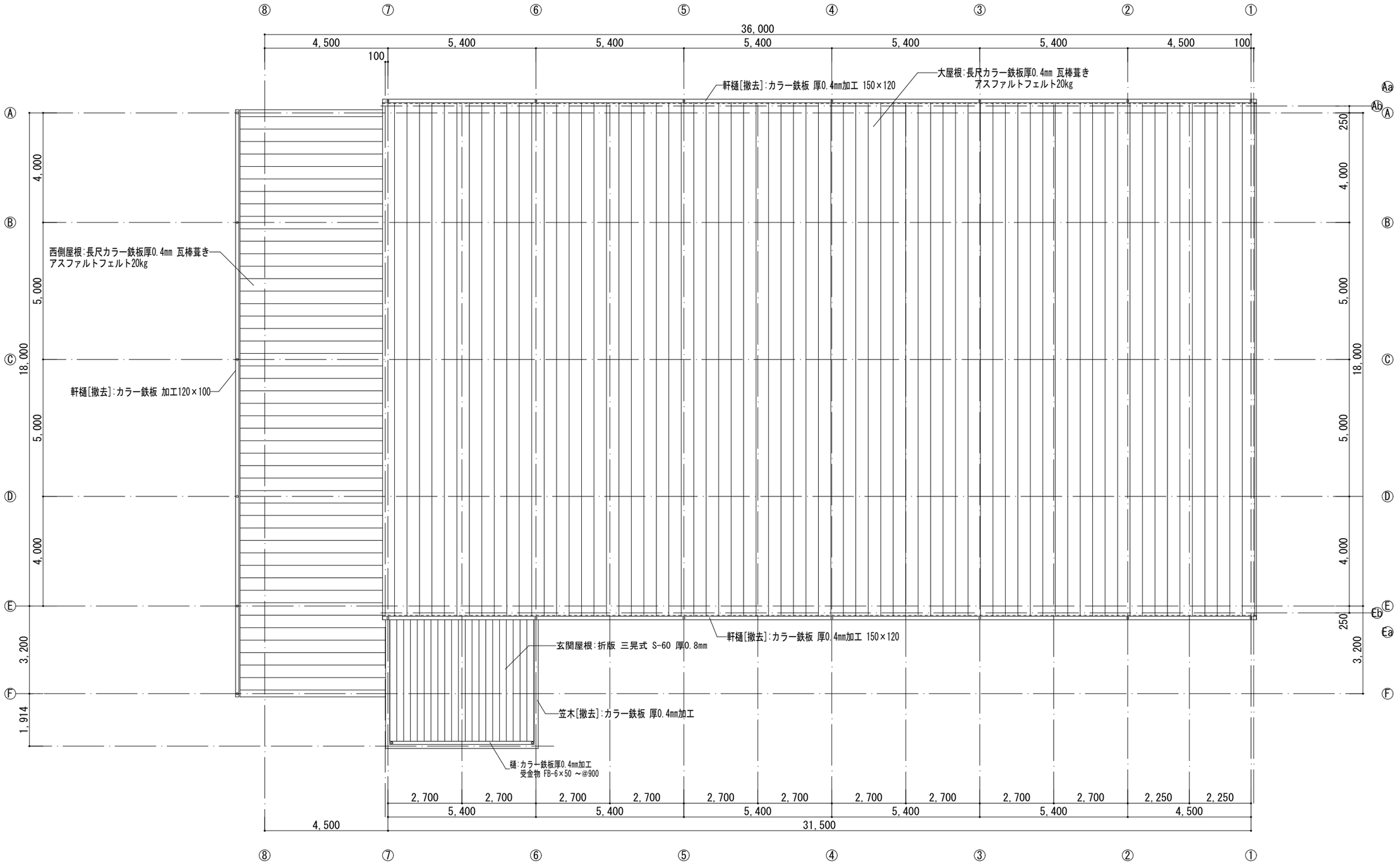
A	化粧石膏ボード 厚9.5mm [新設]	E	珪酸カルシウム板 目透かし張り EP-G塗 厚6mm [新設]
B	針葉樹合板厚9mm下地 [新設] 化粧石膏ボード 厚9.5mm [新設]	☒	天井点検口 □450×450 アルミ枠 [新設]
C	ラワン合板 厚5.5mm [新設]		
D	木毛ｾﾒﾝﾄ板 厚25mm [EP塗装]		

備考
内部:鉄骨現し部分(柱,梁,母屋,ブレース)は全て既存面下地調整(RB種)のうえSOP塗装。

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 A へ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_キャットウォークレベル 天井伏図[改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	A-46

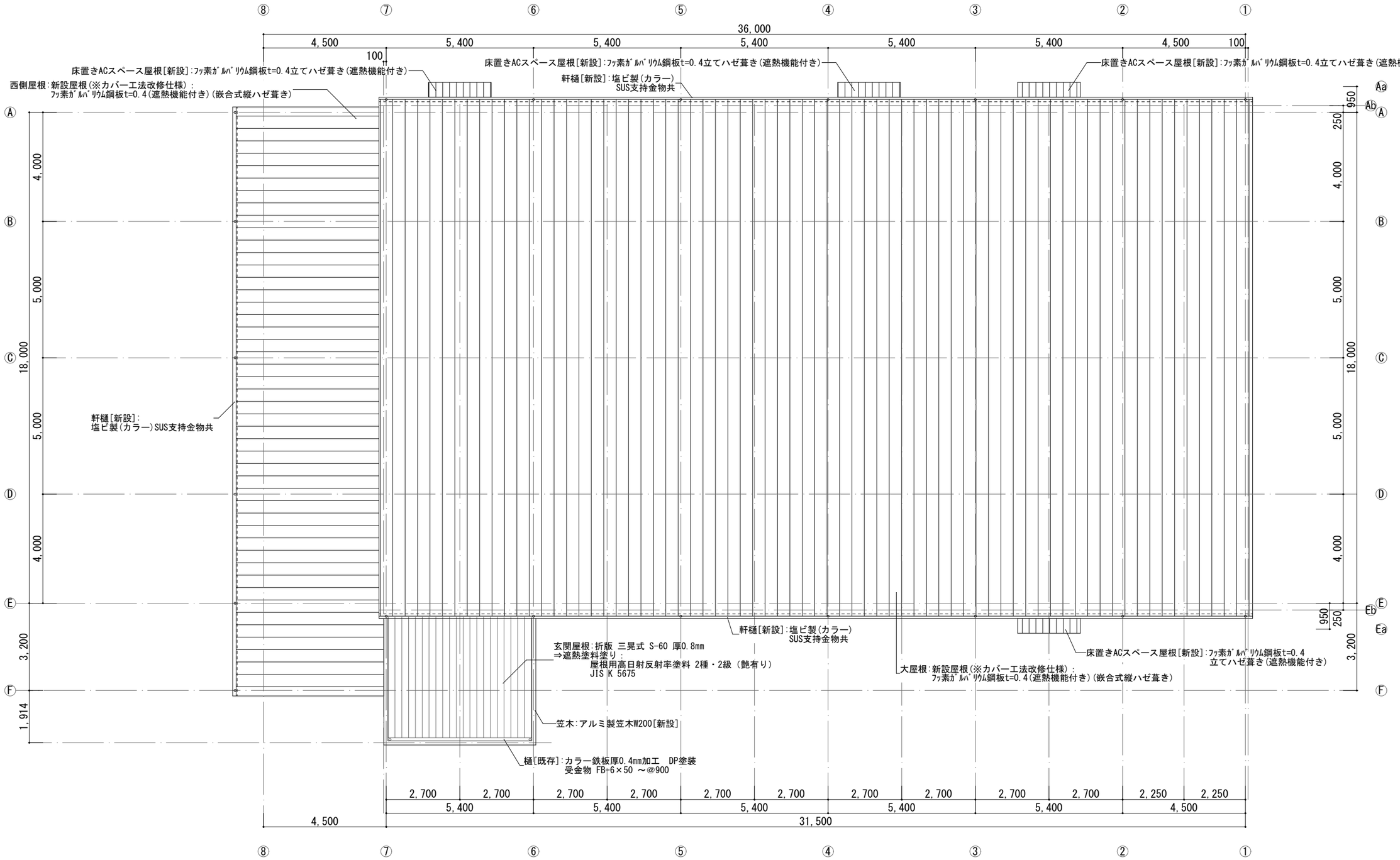
[改修前]



屋根伏図(改修前) 1:100

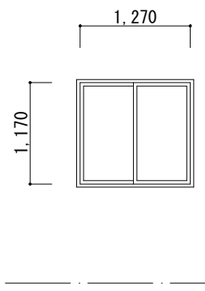
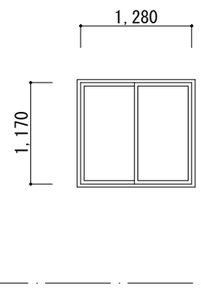
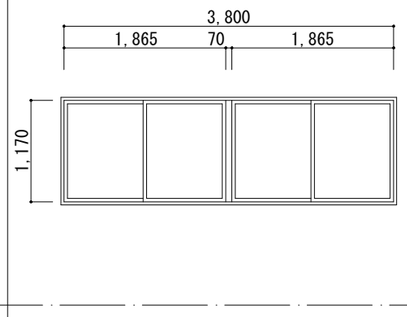
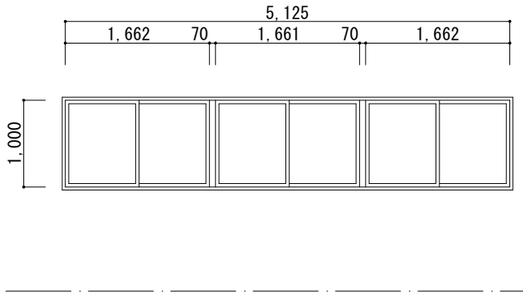
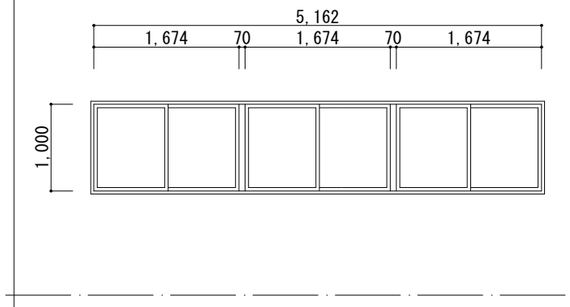
	一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
		図面名 屋内運動場_屋根伏図[改修前]	承認	作成者	図面番号 A-47
		縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日		

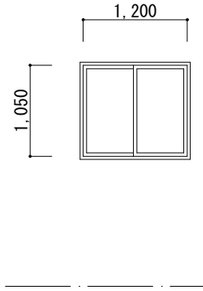
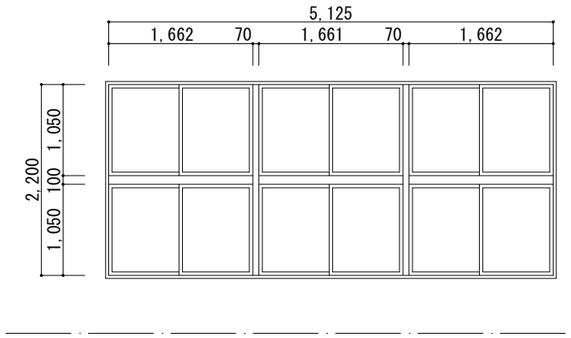
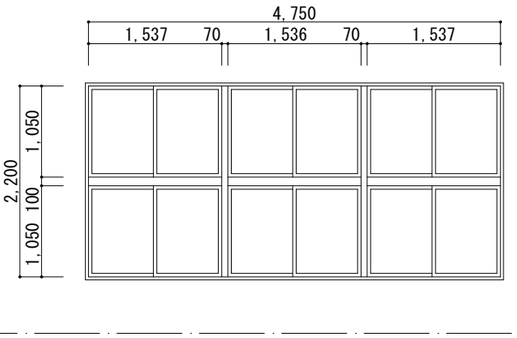
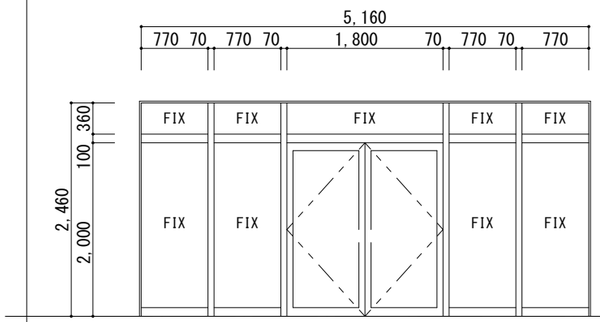
[改修後]

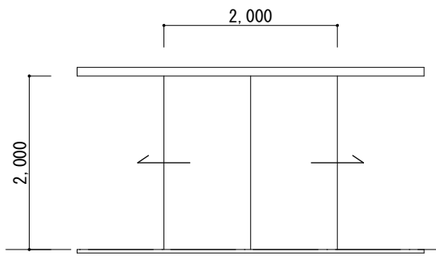
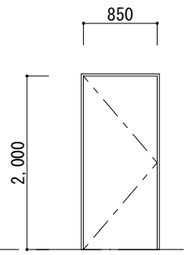
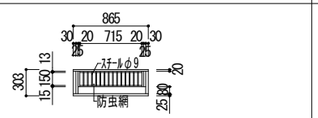
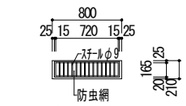
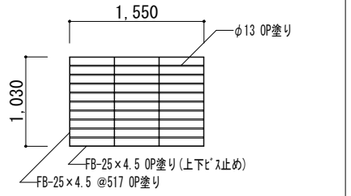


屋根伏図(改修後) 1:100

	一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
		図面名 屋内運動場_屋根伏図[改修後]	承認	作成者	図面番号 A-48
		縮尺 A2=1:100	作成日 2026年6月4日		

符号・見込	AW-1 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)3箇所	AW-2 ［すべて撤去］見込70 (数量)1箇所	AW-3 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)1箇所	AW-4 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)4箇所	AW-4' ［すべて撤去］ 見込70 (数量)1箇所
姿 図					
種 類	引違い窓	引違い窓	連窓 引違い窓	連窓 引違い窓	連窓 引違い窓
室名	女子更衣室, 男子便所, 女子便所	男子更衣室	器具庫	アリーナ	アリーナ
材質・仕上	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)
ガラス	型板ガラス厚さ4.0mm	型板ガラス厚さ4.0mm	型板ガラス厚さ4.0mm	透明ガラス厚さ3.0mm	透明ガラス厚さ3.0mm
金 物	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル

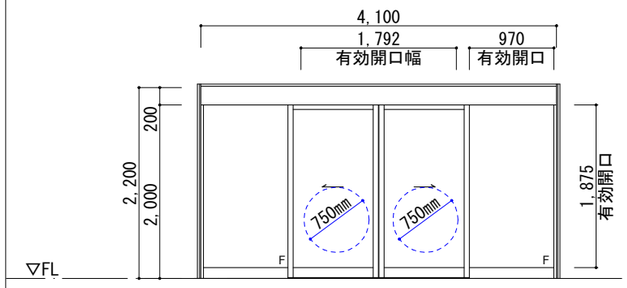
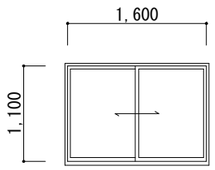
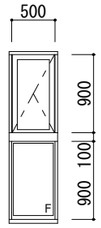
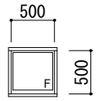
符号・見込	AW-5 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)8箇所	AW-6 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)8箇所	AW-7 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)2箇所	AD-1 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)1箇所
姿 図				
種 類	引違い窓	連窓・段窓 引違い窓	連窓・段窓 引違い窓	連窓・段窓 両開き窓+FIX窓
室名	キャットウォーク	キャットウォーク	キャットウォーク	玄関
材質・仕上	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)	アルミサッシ(普通アルマイト仕上)
ガラス	透明ガラス厚さ3.0mm	透明ガラス厚さ3.0mm	透明ガラス厚さ3.0mm	透明ガラス厚さ5.0mm 、 欄間部:透明ガラス厚さ3.0mm
金 物	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル	クレセント、皿板、4方アルミアングル

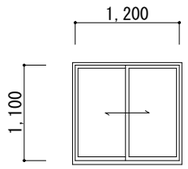
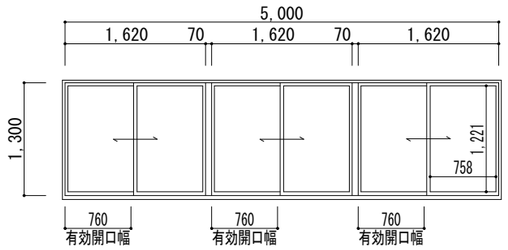
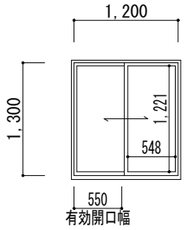
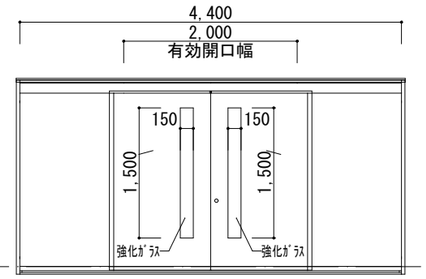
符号・見込	SD-1 ［すべて撤去］ (数量)4箇所	SD-2 ［すべて撤去］ 見込86 (数量)2箇所	S-1 [8箇所撤去] (数量)28箇所	S-2 ［すべて撤去］ (数量)15箇所
姿 図			 東側床下換気口 (外部設置数 6箇所)  北・南側床下換気口 (外部設置数 22箇所) [8箇所撤去]	
種 類	ハンガードア 引き分け	開きドア	床下点検口	防球格子(AW-4,AW-4' 用)
室名	アリーナ	ステージ		アリーナ
材質・仕上	スチール OP塗り	スチールフラッシュ OP塗り	スチール OP塗り[既存面下地調整のうえDP塗]	スチール OP塗り
ガラス	-	-		
金 物	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、ﾄﾗｯｸﾚｰﾙ、ﾄﾞｱﾊﾝｶﾞｰ、ﾌﾟﾗｹｯﾄ、戸当り、3方ｽﾁｰﾙ額縁、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰﾓﾉﾛｯｸ錠、ｽﾃﾝﾚｽ沓摺、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ		

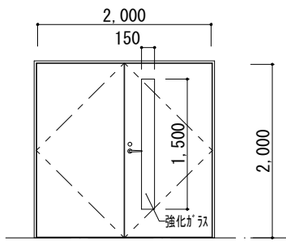
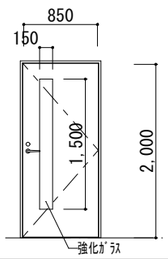
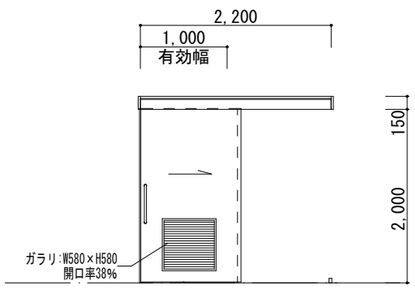
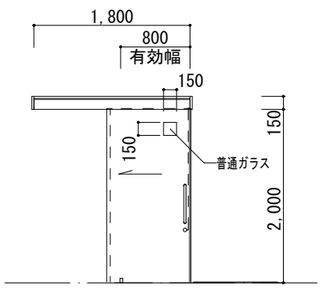
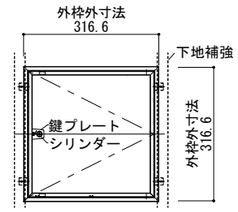
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面名	承認	作成者	図面番号
銅製建具表[改修前]			A-49
縮尺 A2＝1:50 / 作成日 2026年6月4日			

符号・見込	AD 1 ［新設］ 見込100 (数量)1箇所	AW 1 ［新設］ 見込70 (数量)2箇所	AW 2 ［新設］ 見込70 (数量)2箇所	AW 3 ［新設］ 見込70 (数量)1箇所
姿 図				
種 類	引分けハンガードア	引違い窓	段窓 上：縦滑り出し窓 下：FIX窓	FIX窓
室名	玄関	器具庫	男子トイレ,女子トイレ	多機能トイレ
材質・仕上	アルミサッシ	アルミサッシ	アルミサッシ	アルミサッシ
ガラス	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5(型板) 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5(型板) 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)
金 物	引戸ｸﾛｰｻﾞｰ・引き棒・シリンダー錠・アングル・付属金物一式	戸車・クレセント・アングル・付属金物一式	ハンドル・フリクションステー・アングル・付属金物一式	アングル・付属金物一式

符号・見込	AW 4 ［新設］ 見込70 (数量)1箇所	AW 5 ［新設］ 見込70 (数量)10箇所	AW 6 ［新設］ 見込70 (数量)4箇所	SD 1 ［新設］ 見込90 (数量)2箇所
姿 図				
種 類	引違い窓	連窓 引違い窓	引違い窓	両引き分け戸
室名	女子更衣室	キャットウォーク	キャットウォーク	アリーナ
材質・仕上	アルミサッシ	アルミサッシ	アルミサッシ	スチール製、焼付塗装仕上、扉:ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K充填
ガラス	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)
金 物	戸車・クレセント・アングル・付属金物一式	網戸、戸車・クレセント・アングル・付属金物一式	網戸、戸車・クレセント・アングル・付属金物一式	押棒・ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠・ｽﾁｰﾙﾄﾞｱﾊﾝｶﾞｰ・ｶﾞｲﾄﾞﾛｰﾗｰ・ｽﾃﾝﾚｽｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ・付属金物一式

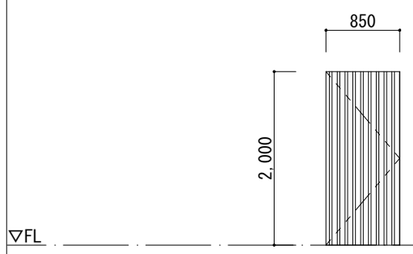
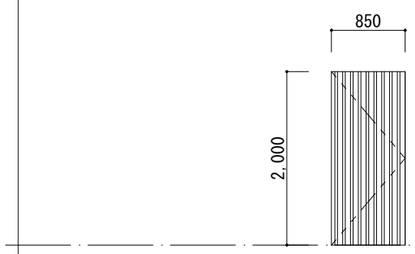
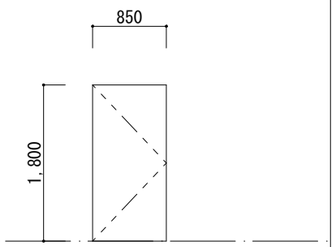
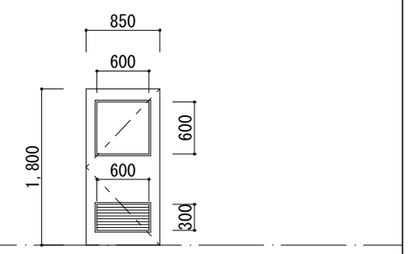
符号・見込	SD 2 ［新設］ 見込100 (数量)2箇所	SD 3 ［新設］ 見込100 (数量)2箇所	LSD 1 ［新設］ 見込100 (数量)1箇所	LSD 2 ［新設］ 見込100 (数量)1箇所	壁点検口 ［新設］ (数量)3箇所
姿 図					
種 類	両開き戸	片開き戸	片引きハンガードア	片引きハンガードア	点検口300角
室名	アリーナ	ステージ	トイレホール	多機能トイレ	女子トイレ／器具庫
材質・仕上	スチール製、焼付塗装仕上、扉:ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K充填	スチール製、焼付塗装仕上、扉:ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K充填	軽量スチール製、焼付塗装仕上、芯材:ペーパーコア	軽量スチール製、焼付塗装仕上、芯材:ペーパーコア	スチール 焼き付け塗装
ガラス	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	単板 強化ガラス5 飛散防止フィルム貼り(遮熱機能あり)	ガラリ:W580×H580 開口率38%	単板 普通ガラス5(型板)	
金 物	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠・丁番・ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ・ﾌﾗﾝｽ落とし・ｽﾃﾝﾚｽ下枠・付属金物一式	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠・丁番・ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ・ﾌﾗﾝｽ落とし・ｽﾃﾝﾚｽ下枠・付属金物一式	引戸ｸﾛｰｻﾞｰ・引き棒	引戸ｸﾛｰｻﾞｰ・引き棒・ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(表示錠)	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠付き

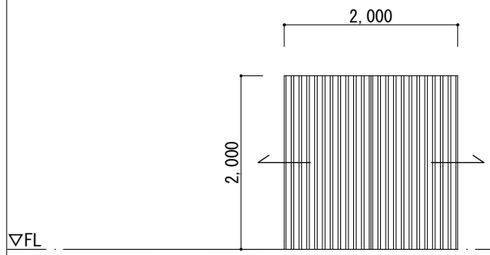
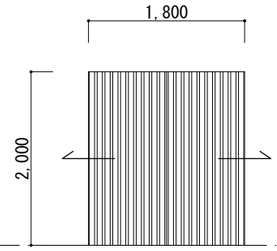
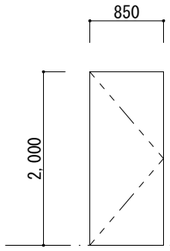
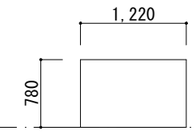
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

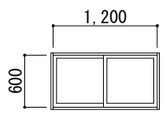
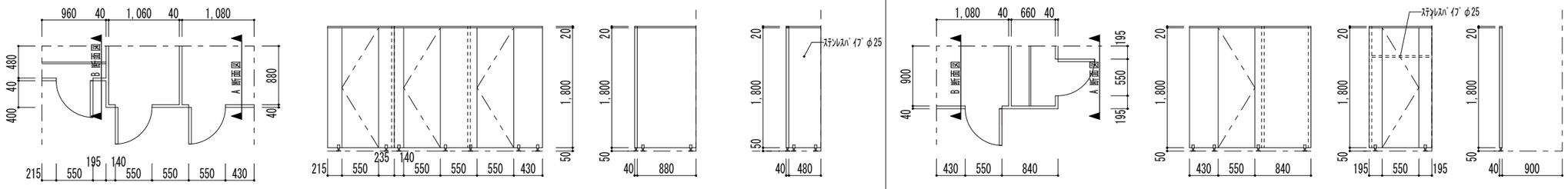
工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面名	承認	作成者	図面番号
銅製建具表[改修後]			A-50

縮尺	作成日
A2＝1:50	2026年6月4日

符号・見込	WD 1 ［すべて撤去］ 見込55 (数量)3箇所	WD 1' ［すべて撤去］ 見込55 (数量)1箇所	WD 2 ［すべて撤去］ 見込40 (数量)1箇所	WD 3 ［すべて撤去］ 見込40 (数量)2箇所
姿 図				
種 類	開きドア	開きドア	開きドア	開きドア
室名・数量	男子更衣室,女子更衣室,放送室	ステージ	放送室	女子便所,男子便所
材質・仕上	片面(ｱﾘｰﾅ側):ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm捨張 ﾗﾜﾝﾘﾌﾞ15×60@90 OSV塗り、他面：ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板張	片面(ｱﾘｰﾅ側):ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm捨張 ﾗﾜﾝﾘﾌﾞ15×60@90 OSV塗り、他面：ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板張	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板フラッシュ戸	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板フラッシュ戸 ， ガラリ 額縁 OS塗り
ガラス	-	-	-	型板ガラス厚4.0mm
金 物	丁番、シリンダーモノロック錠、ドアチェック	丁番、空錠、ドアチェック	丁番、シリンダーモノロック錠、ドアチェック	丁番、空錠、ドアチェック

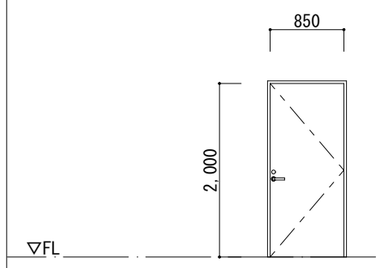
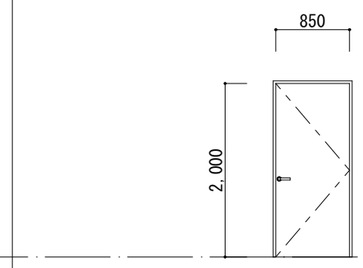
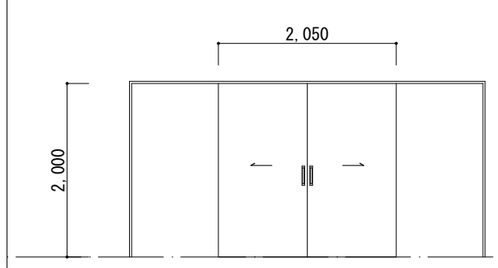
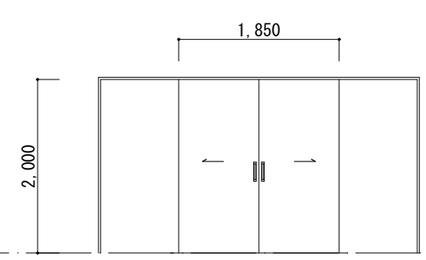
符号・見込	WD 4 ［すべて撤去］ 見込70 (数量)1箇所	WD 4' ［すべて撤去］ 見込55 (数量)2箇所	WD 5 ［すべて撤去］ 見込40 (数量)2箇所	WD 6 ［すべて撤去］ 見込32 (数量)1箇所
姿 図				
種 類	引き分け戸	引き分け戸	開きドア	-
室名・数量	玄関	器具庫	キャットウォーク	ステージ下(台車入れ)
材質・仕上	両面:ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm捨張 ﾗﾜﾝﾘﾌﾞ15×60@90 OSV塗り、他面：ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板張	片面(ｱﾘｰﾅ側):ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm捨張 ﾗﾜﾝﾘﾌﾞ15×60@90 OSV塗り、他面：ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ厚5.5mm張	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板フラッシュ戸	シナベニヤ OP塗り(片面のみ)
ガラス	-	-	-	-
金 物	戸車、ステンレス片引用レール、引手	戸車、ステンレス片引用レール、引手	丁番、空錠、ドアチェック	丁番、空錠、ドアチェック

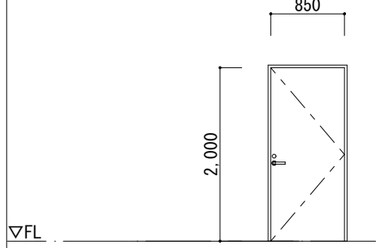
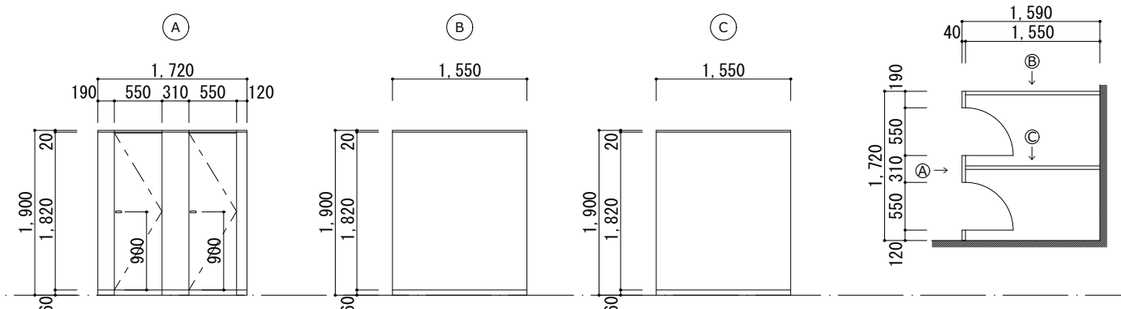
符号・見込	WW 1 見込33 (数量)1箇所	TB 1 ［すべて撤去］ (数量)1箇所	TB 2 ［すべて撤去］ (数量)1箇所
姿 図			
種 類	引き違い窓	トイレブース	トイレブース
室名・数量	放送室	女子便所	男子便所
材質・仕上	スプルース OS塗り［既存面下地調整のうえUC塗］	ポリエステル化粧合板	ポリエステル化粧合板
ガラス	透明ガラス厚5.0mm	-	-
金 物	ねじ締り、戸車、レール、舟底引手	ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ｽﾃﾝﾚｽﾗｯﾁ表示板、ｽﾃﾝﾚｽ笠木、ｽﾃﾝﾚｽ足金物、帽子掛、戸当り、内開きｽﾄﾗｲｸ、丁番、空錠、ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ φ25 Sｶﾝ 5箇所	同左

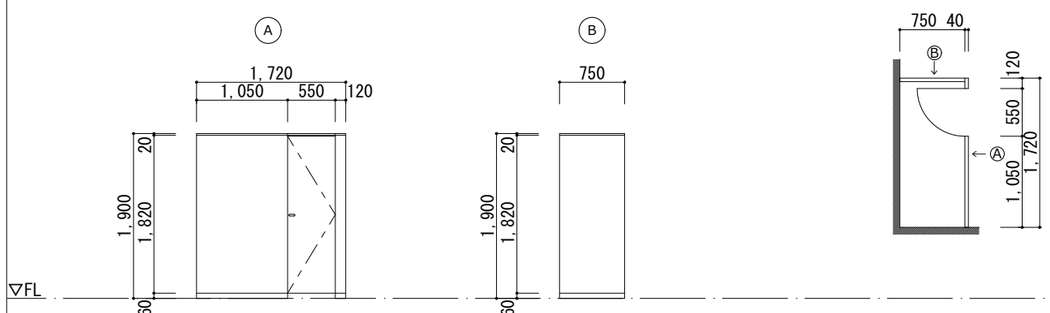
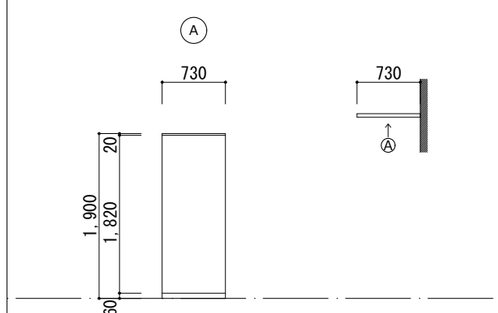
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面名	承認	作成者	図面番号
木製建具表[改修前]			A-51
縮尺 A2＝1:50 / 作成日 2026年6月4日			

符号・見込	WD 1 [新設] 見込36 (数量)3箇所	WD 2 [新設] 見込36 (数量)1箇所	WD 3 [新設] 見込36 (数量)1箇所	WD 4 [新設] 見込36 (数量)1箇所
姿 図				
種 類	片開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	両引き分け戸	両引き分け戸
室名	放送室、女子更衣室	ステージ	玄関	器具庫
材質・仕上	木製フラッシュ戸、小口オオテ張り、両面ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板	木製フラッシュ戸、小口オオテ張り、両面ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板	木製フラッシュ戸、小口オオテ張り、両面ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板	木製フラッシュ戸、小口オオテ張り、両面ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板
ガラス	–	–	–	–
金 物	ステンレス丁番・レバーハンドル・シリンダー錠(ｻﾑﾀｰﾝ)・ドアチェック	ステンレス丁番・レバーハンドル・ドアチェック	ステンレス引手・ステンレスレール・戸車	ステンレス引手・ステンレスレール・戸車

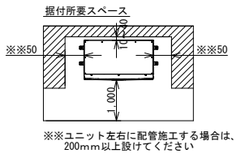
符号・見込	WD 5 [新設] 見込36 (数量)2箇所	TB 1 [新設] 見込40
姿 図		
種 類	片開きフラッシュドア	トイレブース A：W1720×H1900×見込40×1箇所、B：W1550×H1900×見込40×1箇所、C：W1550×H1900×見込40×1箇所
室名	キャットウォーク	女子トイレ
材質・仕上	木製フラッシュ戸、小口オオテ張り、両面ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板	メラミン化粧板、芯材：ペーパーコア
ガラス	–	–
金 物	ステンレス丁番・レバーハンドル・シリンダー錠(ｻﾑﾀｰﾝ)・ドアチェック	スライドラッチ(表示錠・非常開錠付)、中心吊りグレビティヒンジ、ステンレス巾木、笠木・壁レール・コーナーレール(アルミ押出形材)、帽子掛け戸当り

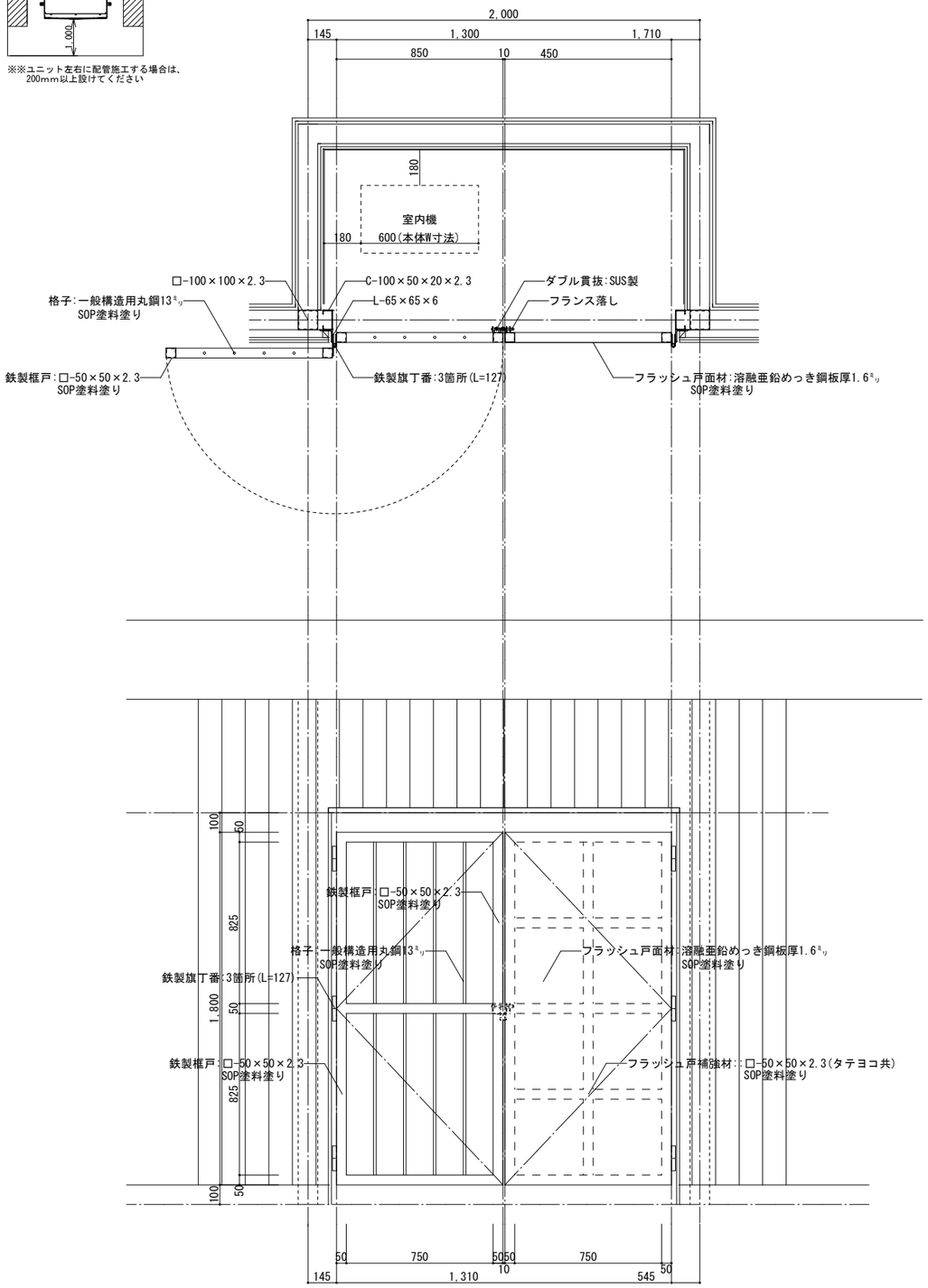
符号・見込	TB 2 [新設] 見込40	TB 3 [新設] 見込40
姿 図		
種 類	トイレブース A：W1720×H1900×見込40×1箇所、B：W750×H1900×見込40×1箇所	トイレブース A：W730×H1900×見込40×1箇所
室名	男子トイレ	男子トイレ
材質・仕上	メラミン化粧板、芯材：ペーパーコア	メラミン化粧板、芯材：ペーパーコア
ガラス	–	–
金 物	スライドラッチ(表示錠・非常開錠付)、中心吊りグレビティヒンジ、ステンレス巾木、笠木・壁レール・コーナーレール(アルミ押出形材)、帽子掛け戸当り	ステンレス巾木、笠木・壁レール・コーナーレール(アルミ押出形材)

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

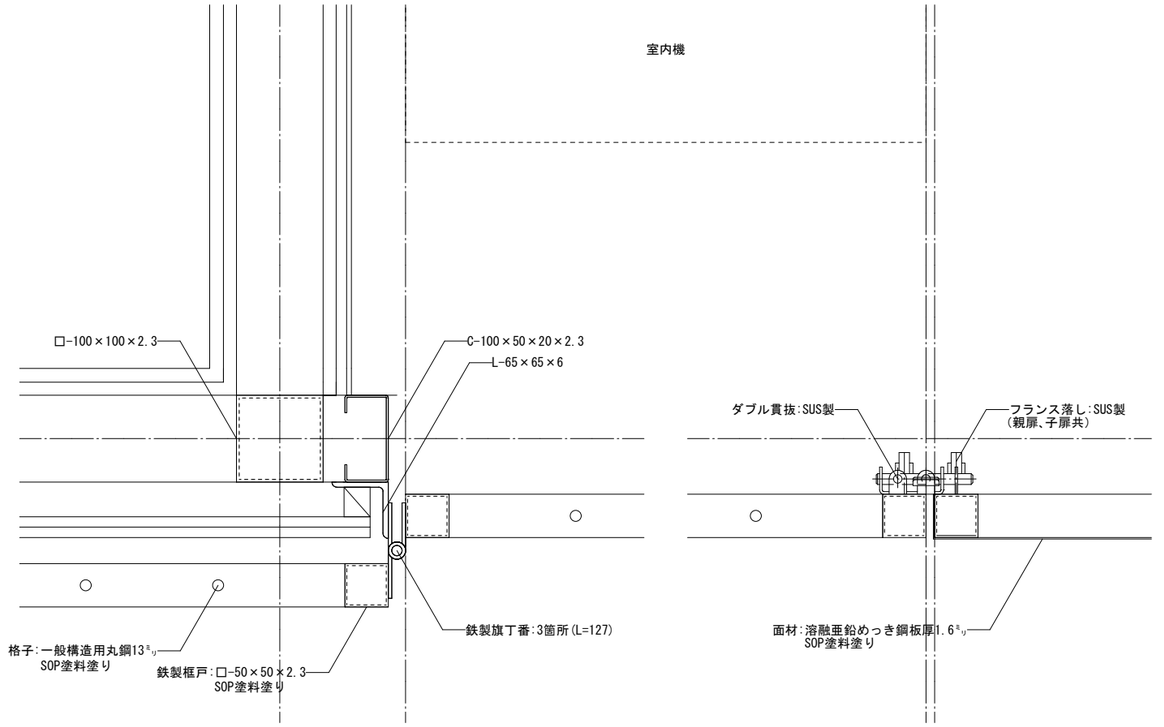
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木製建具表[改修後]	承認	作成者
縮尺	A2＝1:50	作成日	2026年6月4日
図面番号	A-52		

ＡＣ置き場　防球用親子開き戸　平面図/正面図　1：20

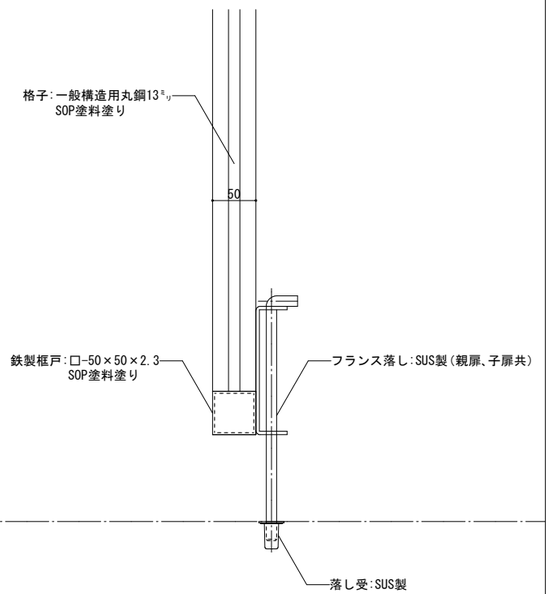




ＡＣ置き場　防球用親子開き戸　詳細図（１）　1：5



ＡＣ置き場　防球用親子開き戸　詳細図（２）　1：5

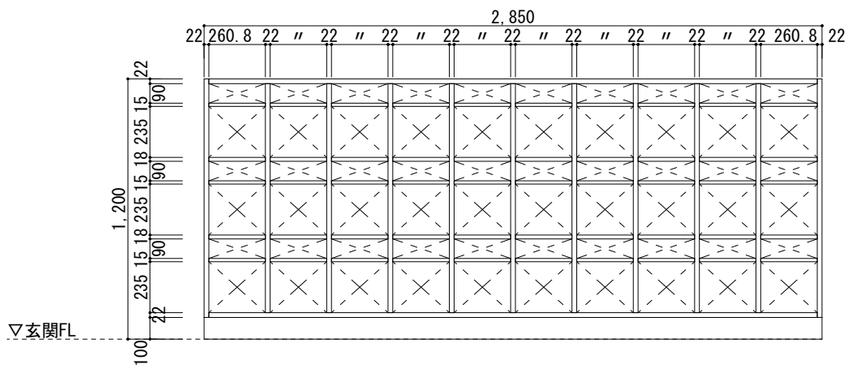


鹿沼市

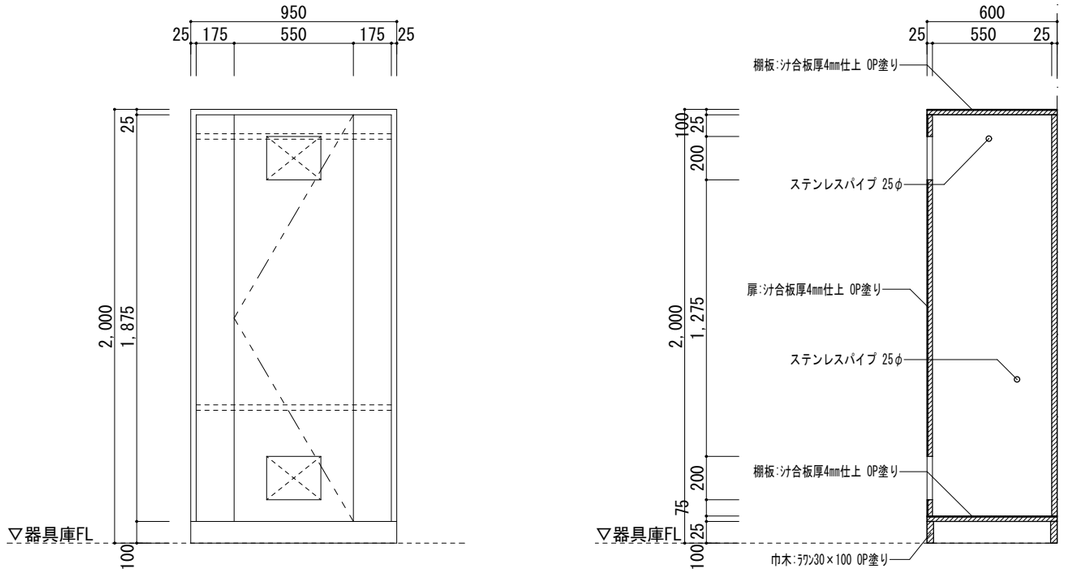
一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_1階　AC置き場　建具図	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:20,1:5	作成日		A-53
		2026年6月4日		

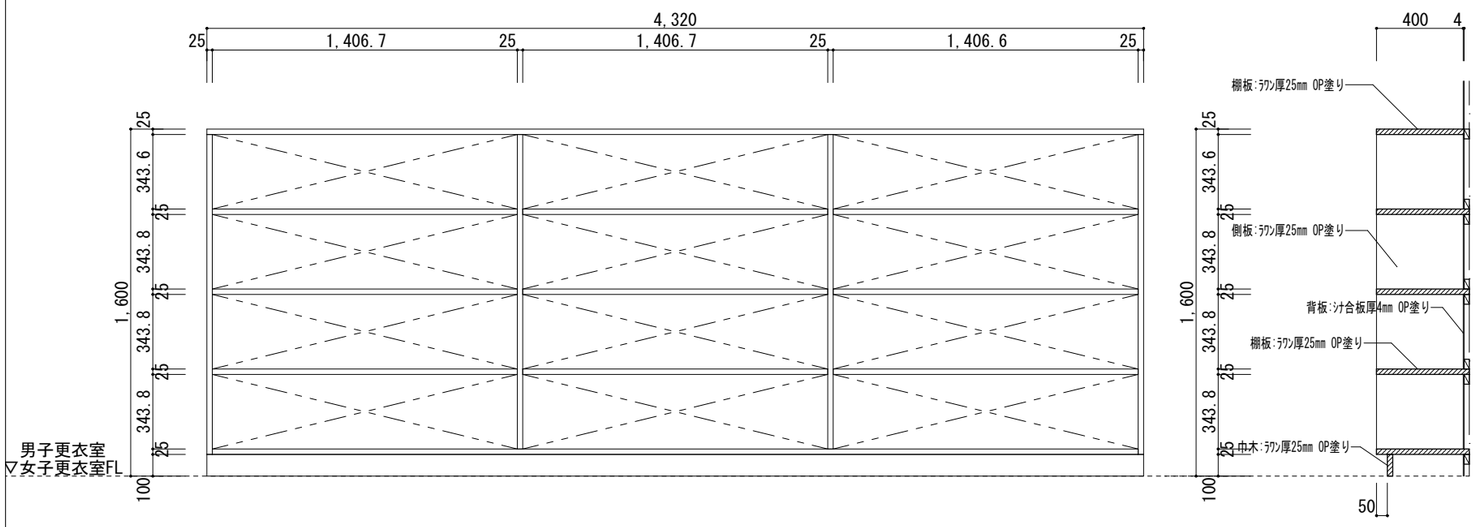
既存家具[撤去]：　下足入れ　（設置箇所）玄関 2箇所



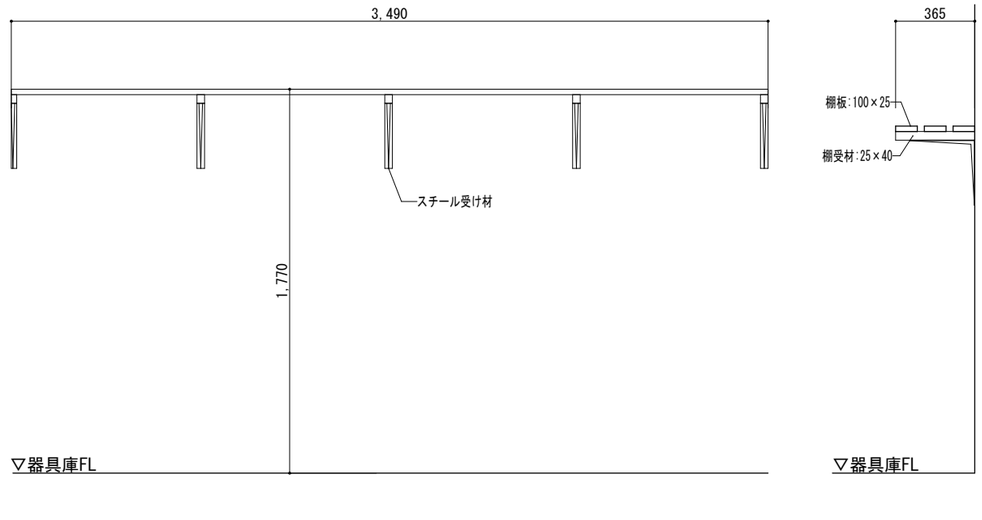
既存家具[撤去]：　掃除用具入　（設置箇所）器具庫 1箇所



既存家具[撤去]：　更衣棚　（設置箇所）男子更衣室 1箇所, 女子更衣室 1箇所



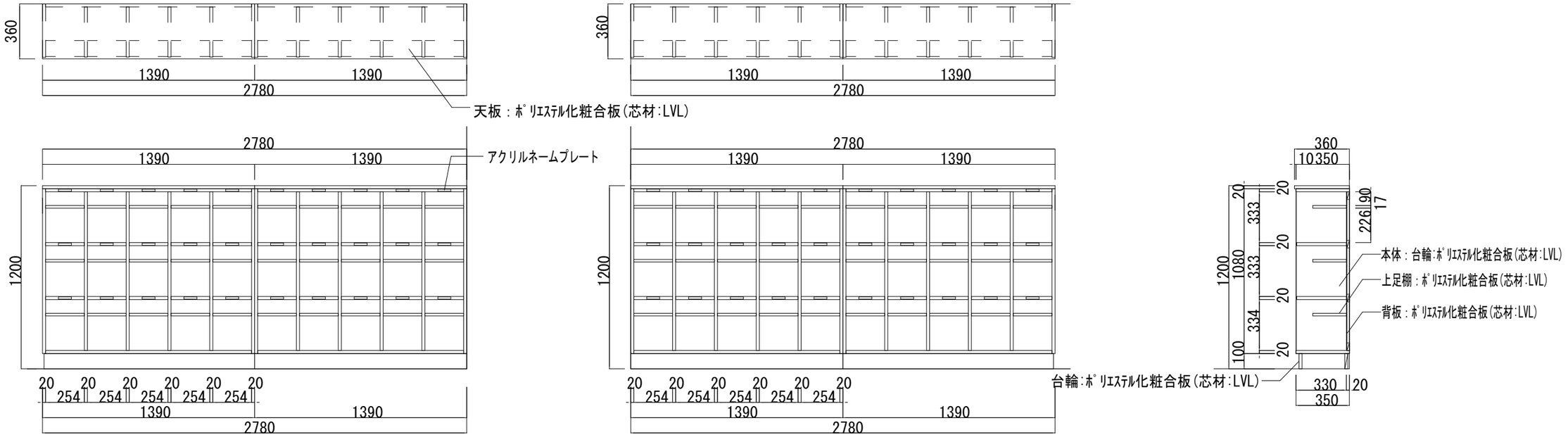
既存家具[撤去]：　飾り棚　（設置箇所）器具庫 1箇所



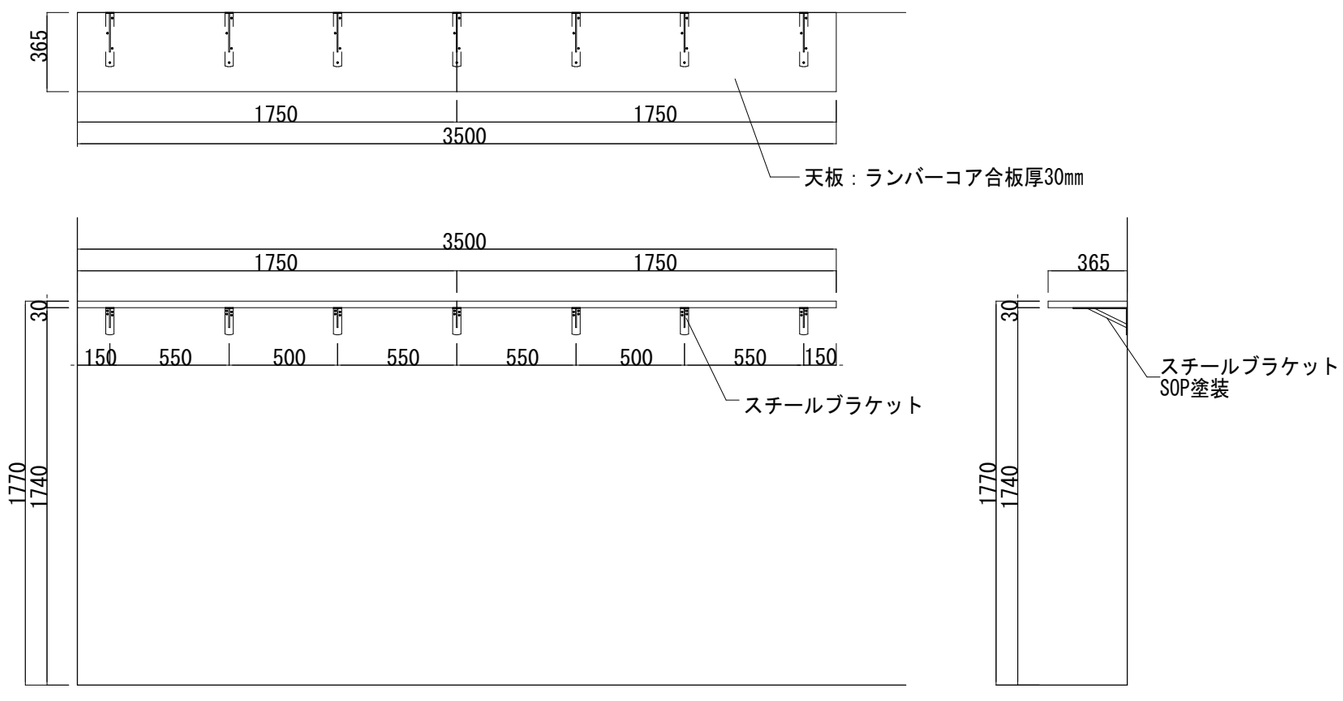
一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 A へ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	家具図[撤去]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:20	作成日		A-54
		2026年6月4日		

K-01	下足入れ	1階　玄関	2カ



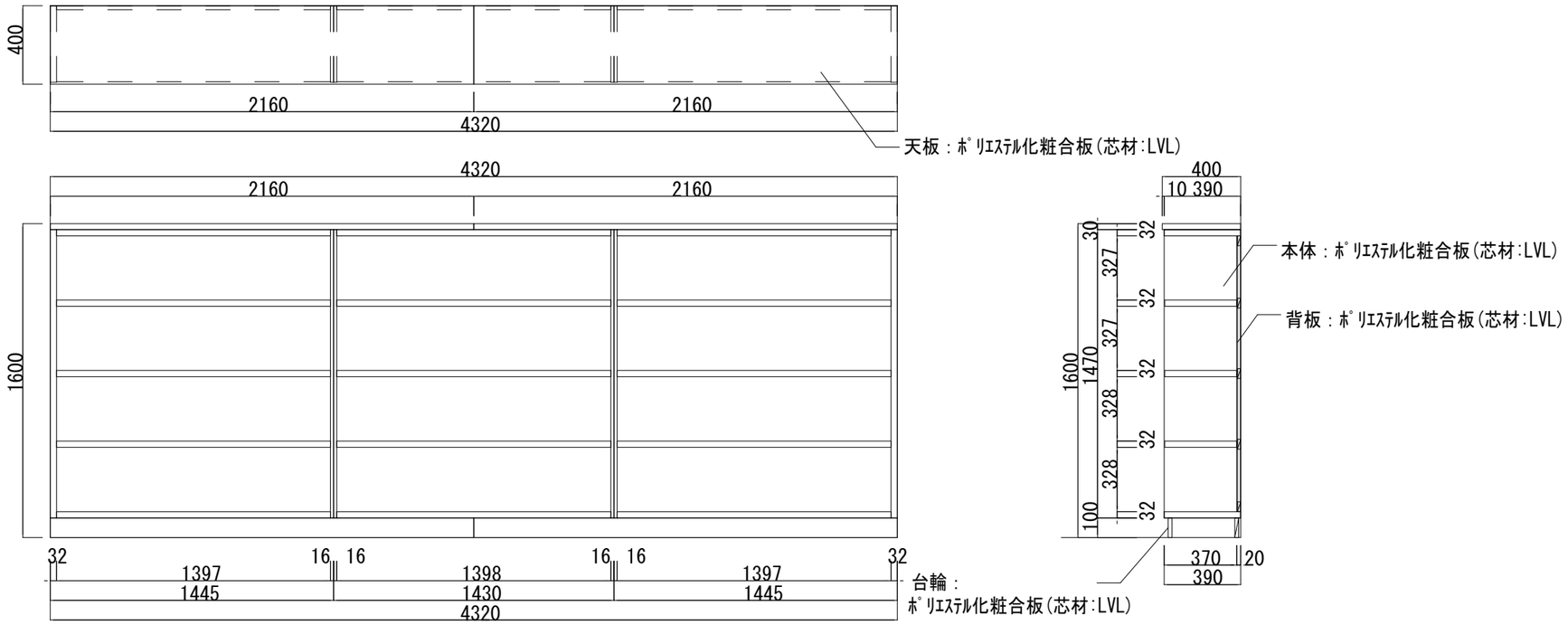
K-02	飾り棚	1階　器具庫	1カ所



一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称				
鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名		承認	作成者	図面番号
家具図(1)[新設]				A-55
縮尺	作成日			
A2＝1:20	2026年6月4日			

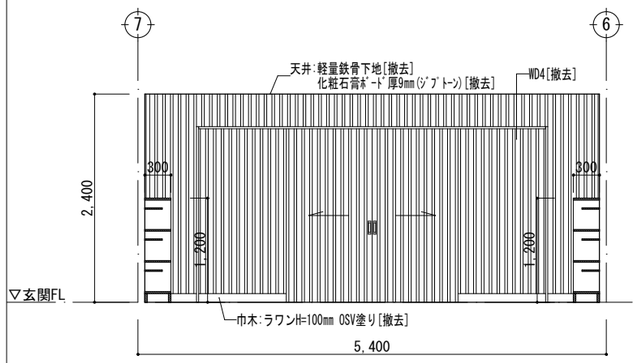
F-03	更衣棚	1階　女子更衣室	1カ所



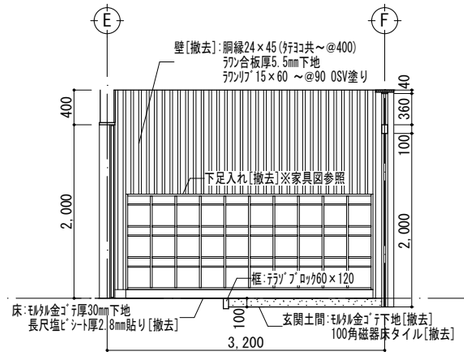
一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称				
鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名		承認	作成者	図面番号
家具図(2)[新設]				A-56
縮尺	作成日			
A2＝1:20	2026年6月4日			

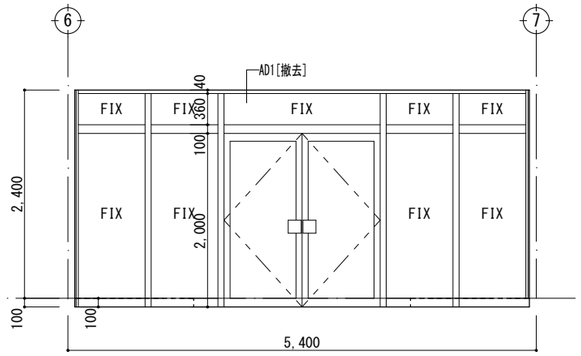
改修前



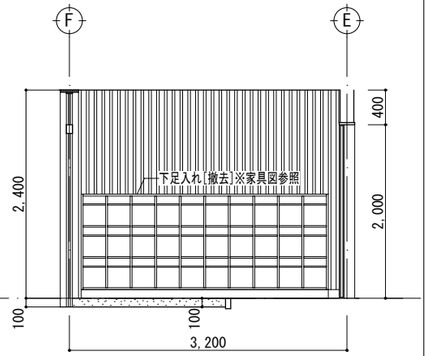
北



東

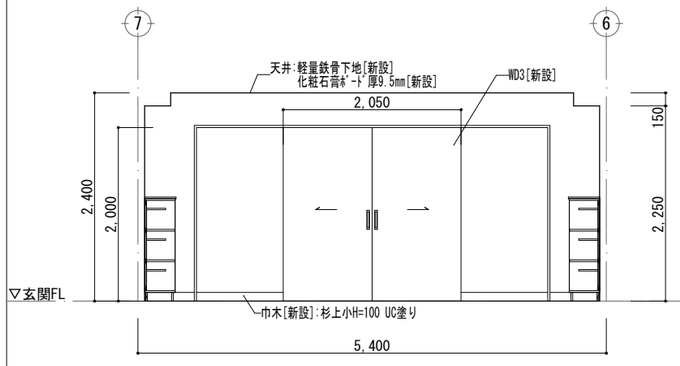


南

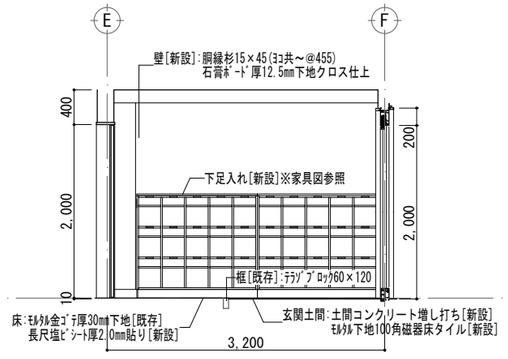


西

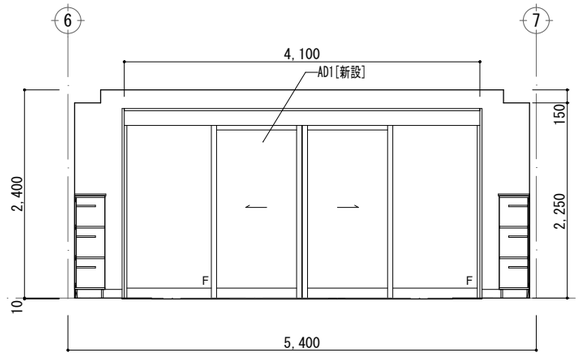
改修後



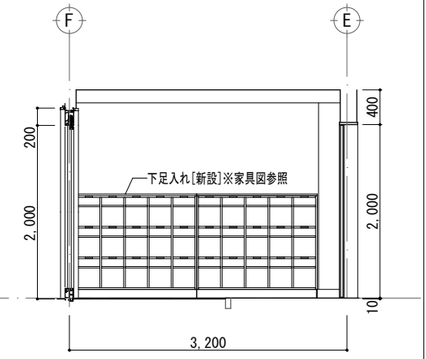
北



東



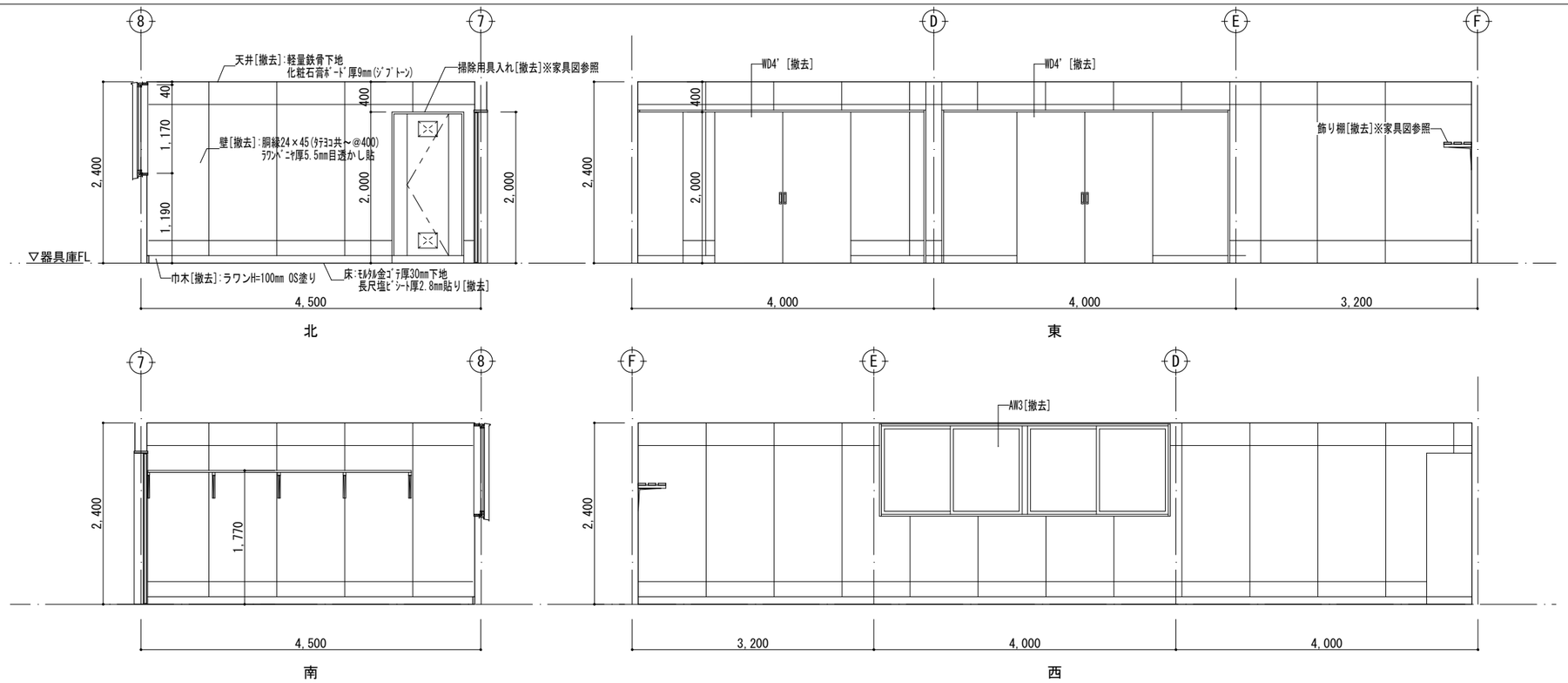
南



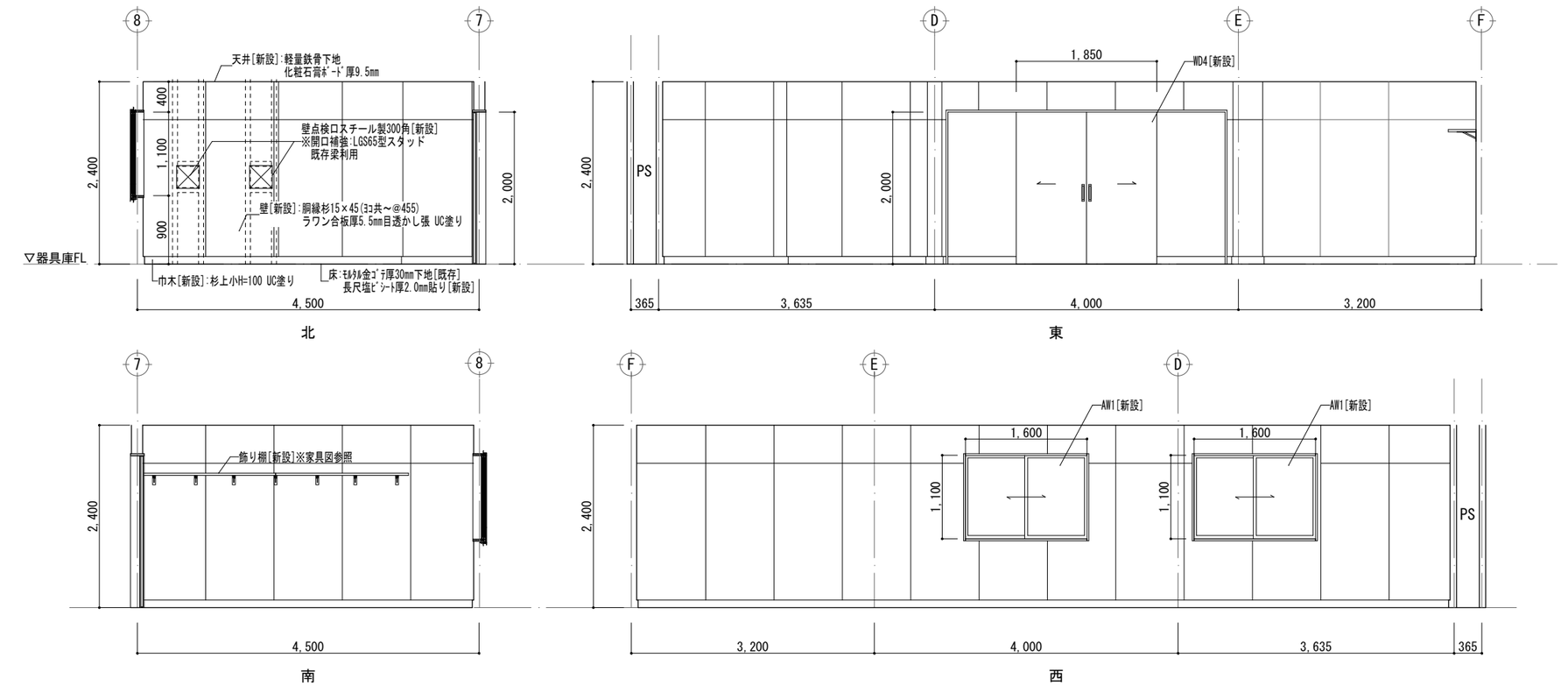
西

	一級建築士事務所 **有限会社 モード設計事務所** 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 **鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)**			
		図面名 **屋内運動場_玄関_展開図[改修前・改修後]**	承認	作成者	図面番号 **A-57**
		縮尺 **A2＝1:50**	作成日 **2026年6月4日**		

改修前

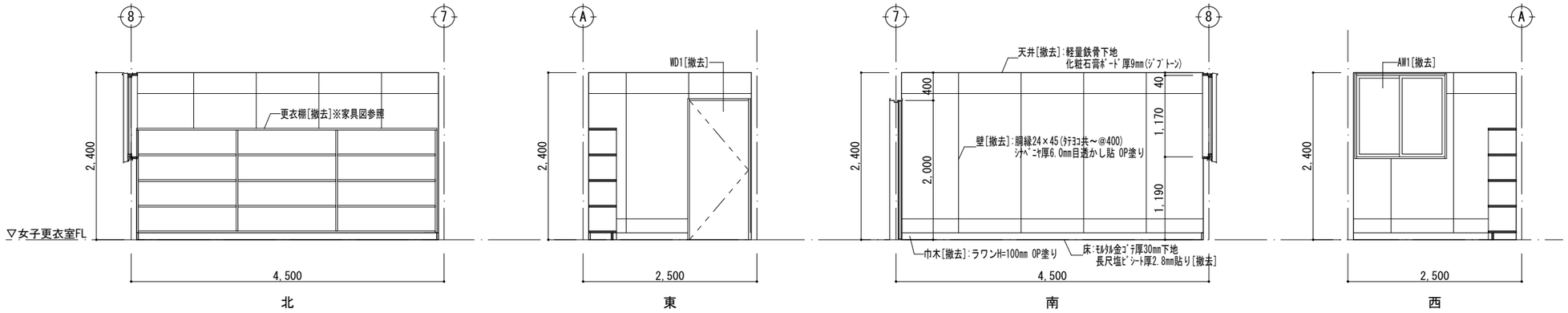


改修後

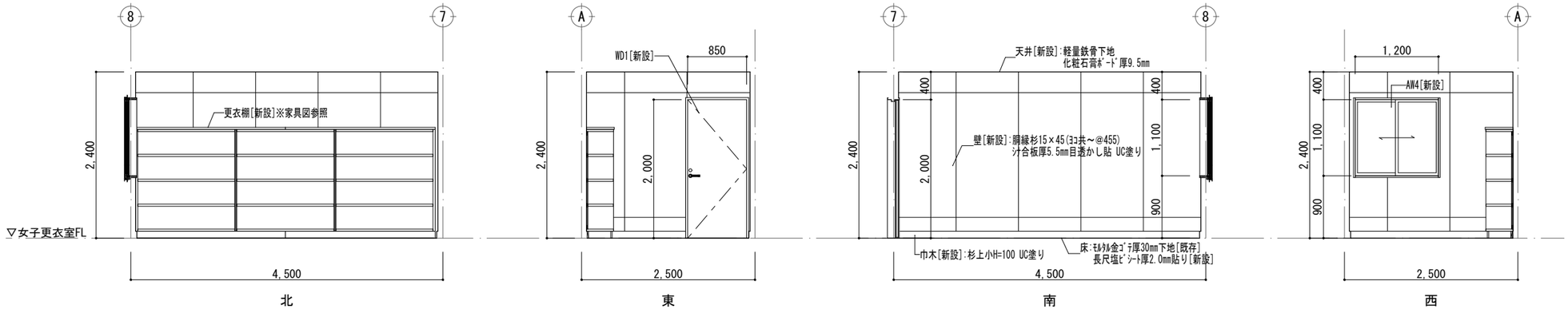


一級建築士事務所 **有限会社 モード設計事務所** 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 **鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)**				
	図面名 **屋内運動場_器具庫_展開図[改修前・改修後]**		承認	作成者	図面番号 **A-58**
	縮尺 **A2＝1:50**	作成日 **2026年6月4日**			

改修前

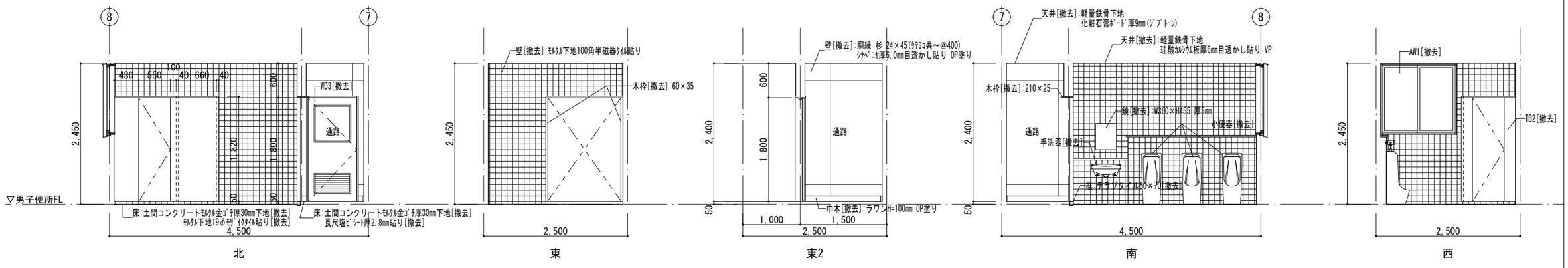


改修後

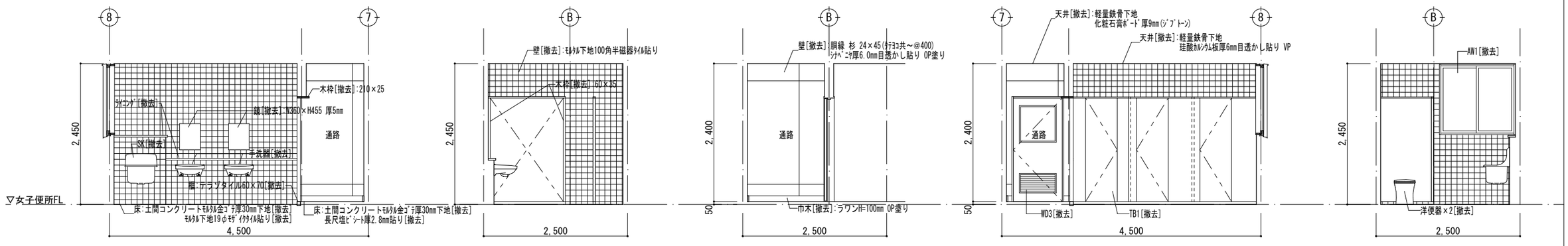


一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
	図面名 屋内運動場_女子更衣室_展開図[改修前・改修後]		承認	作成者	図面番号 A-59
	縮尺 A2＝1:50	作成日 2026年6月4日			

改修前



男子便所 展開図1/50[改修前]

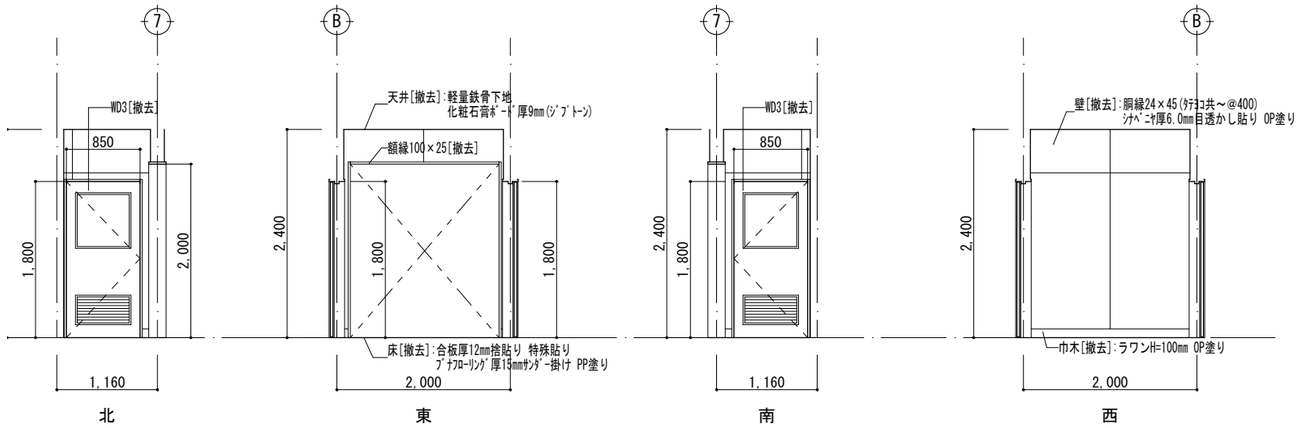


女子便所 展開図1/50[改修前]

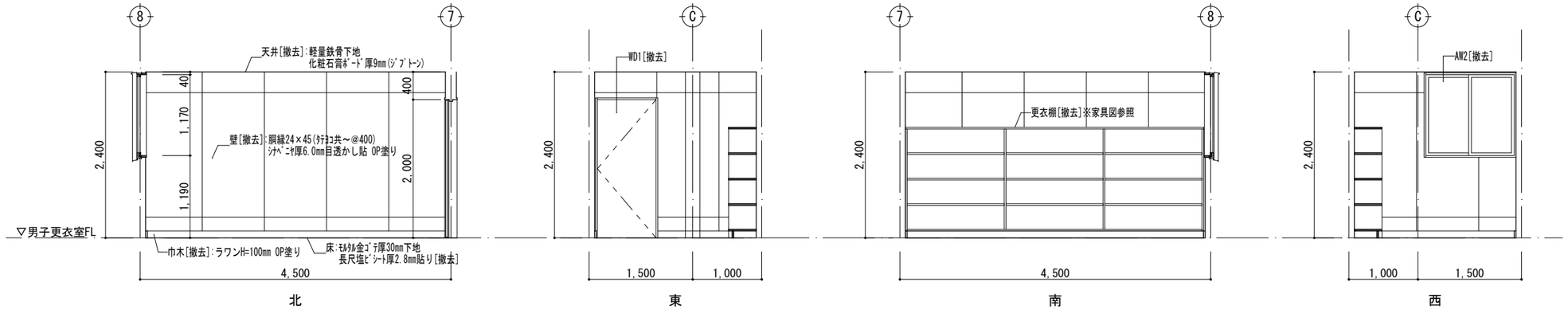
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	屋内運動場_男子便所・女子便所_展開図[改修前]	承認 / 作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:50	作成日	2026年6月4日	A-60

改修前



アリーナ(トイレ前通路)展開図1/50[改修前]

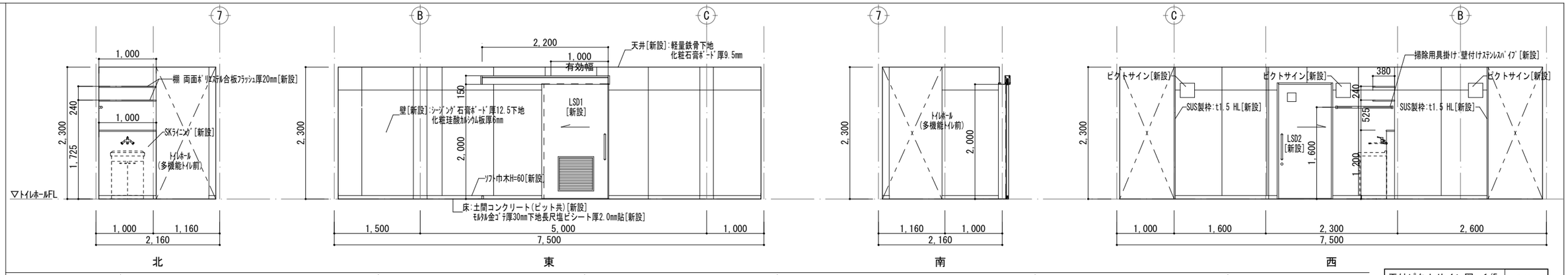


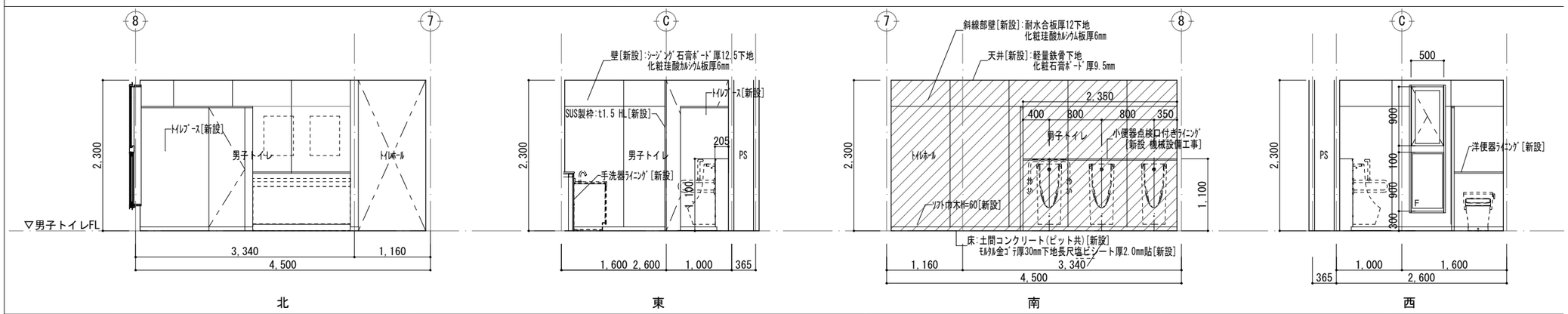
男子更衣室 展開図1/50[改修前]

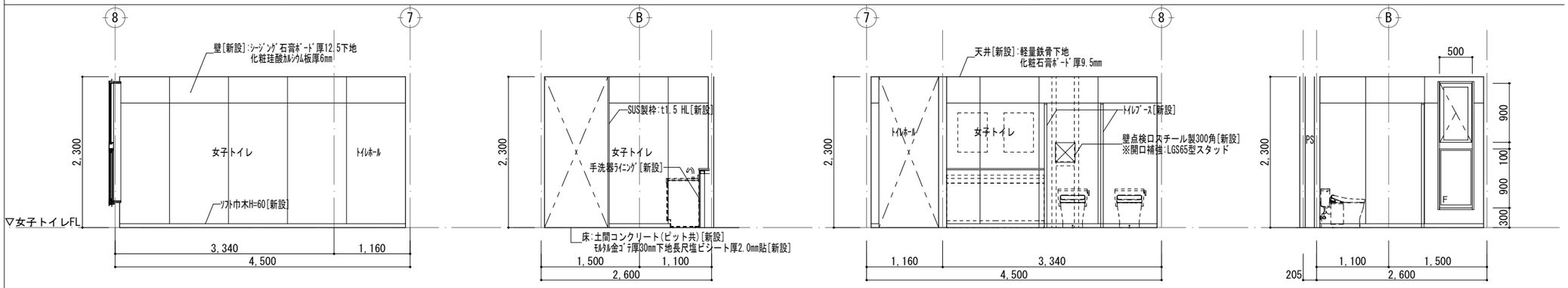
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

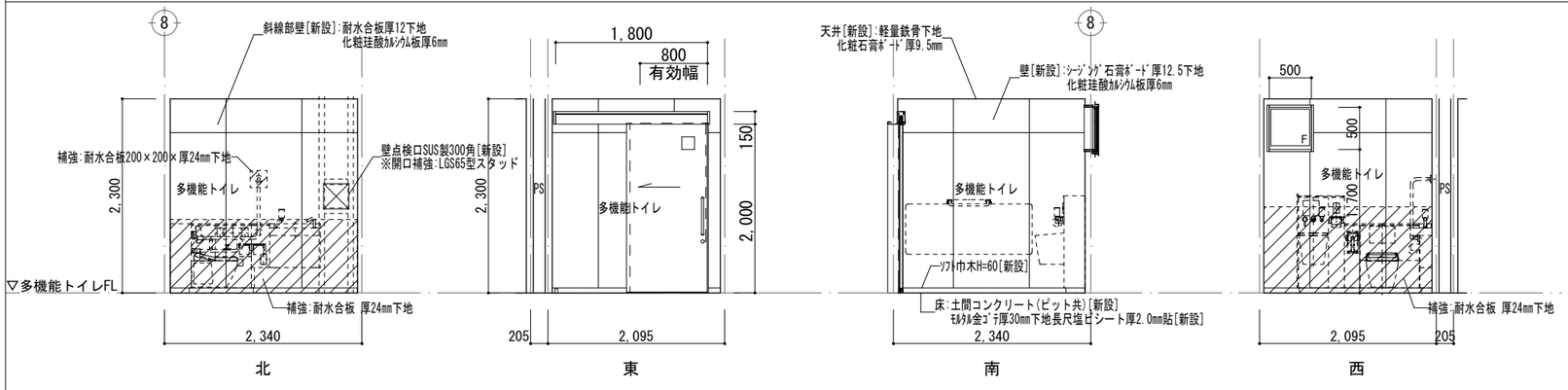
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_アリーナ(トイレ前通路)・男子更衣室_展開図[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:50	作成日 2026年6月4日			A-61

改修後

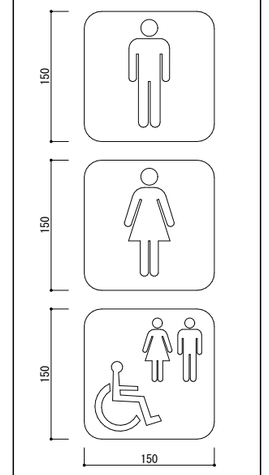








平付ピクトサイン図 1/5 | 3箇所

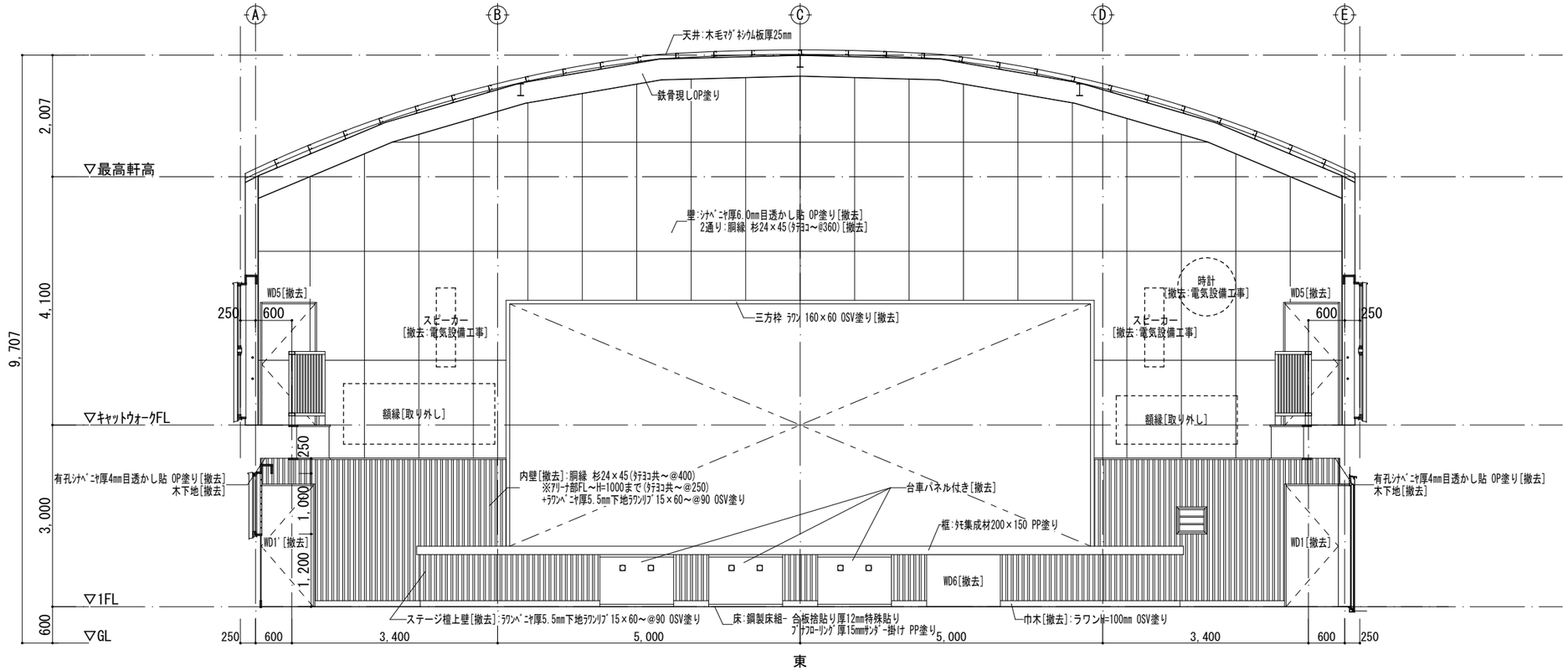


室名サイン（平付け型）
サイズ：H150mm×W150mm×D21mm
本　体：タモ材練付板クリア塗装仕上
スライドロック着脱式
表示方法：ＵＶ方式

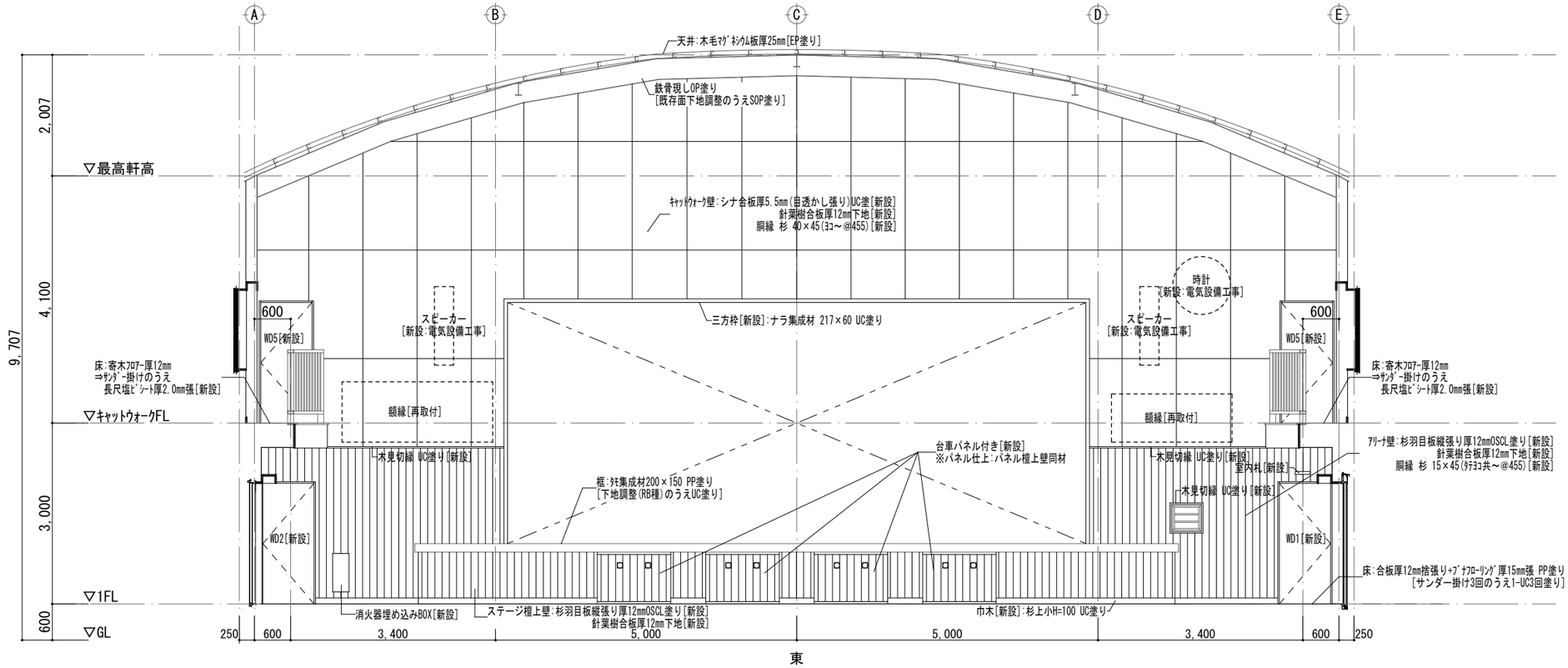
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	屋内運動場_ﾄｲﾚﾎｰﾙ・男子ﾄｲﾚ・女子ﾄｲﾚ・多機能ﾄｲﾚ_展開図[改修後]
縮尺	A2＝1:50, 1:5
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	A-62

改修前



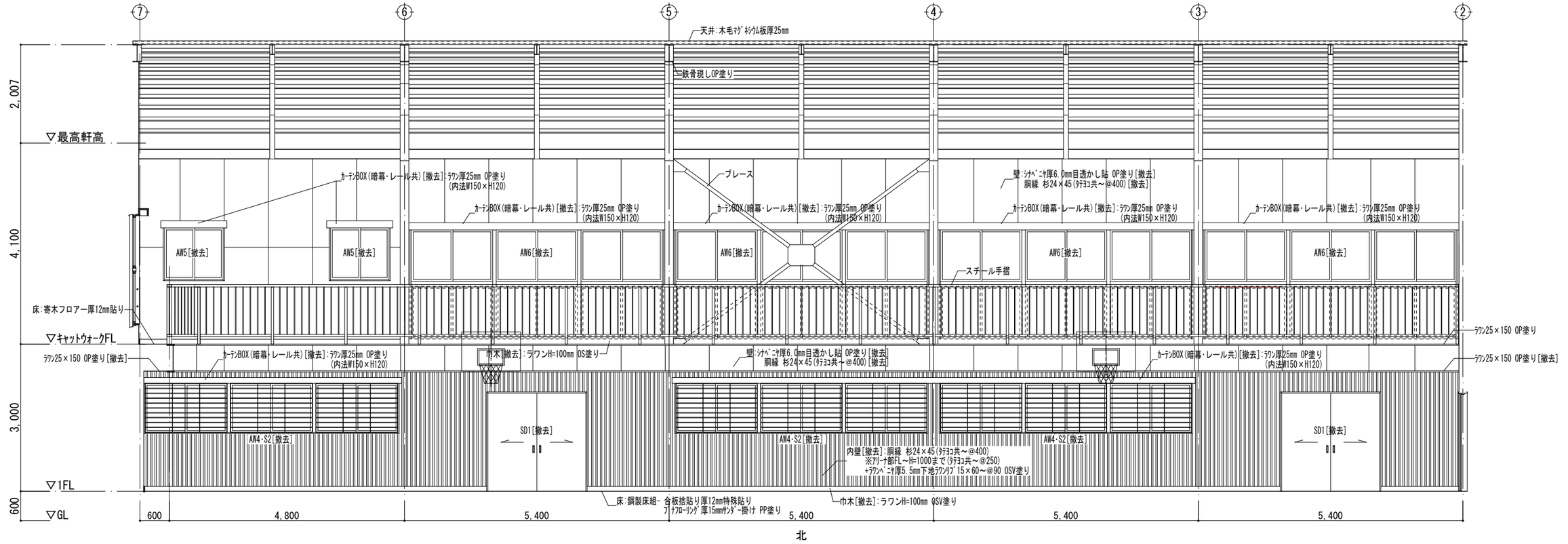
改修後



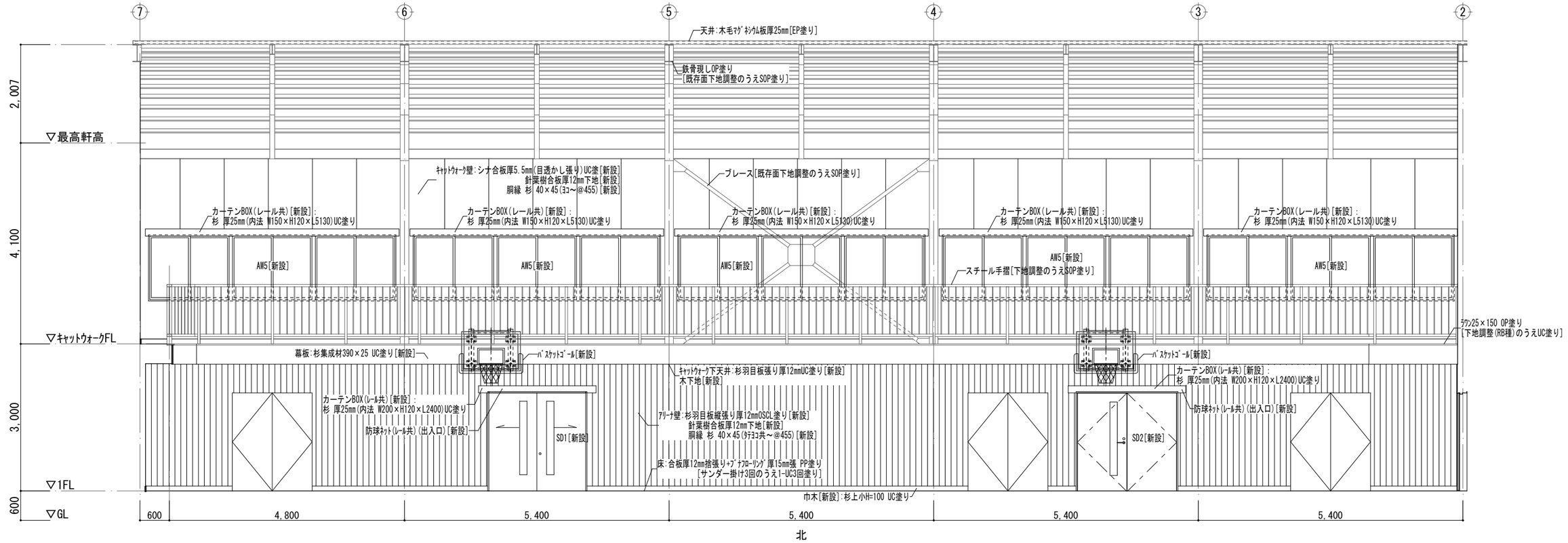
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_アリーナ_展開図(東)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	A-63

改修前



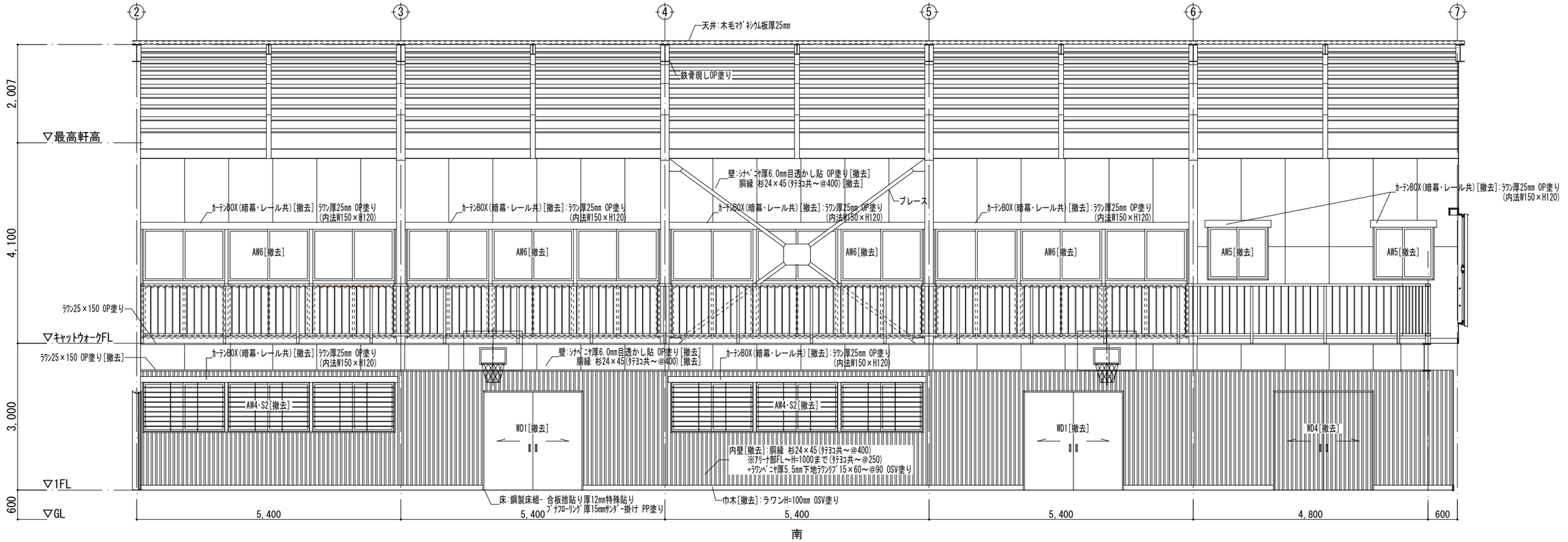
改修後



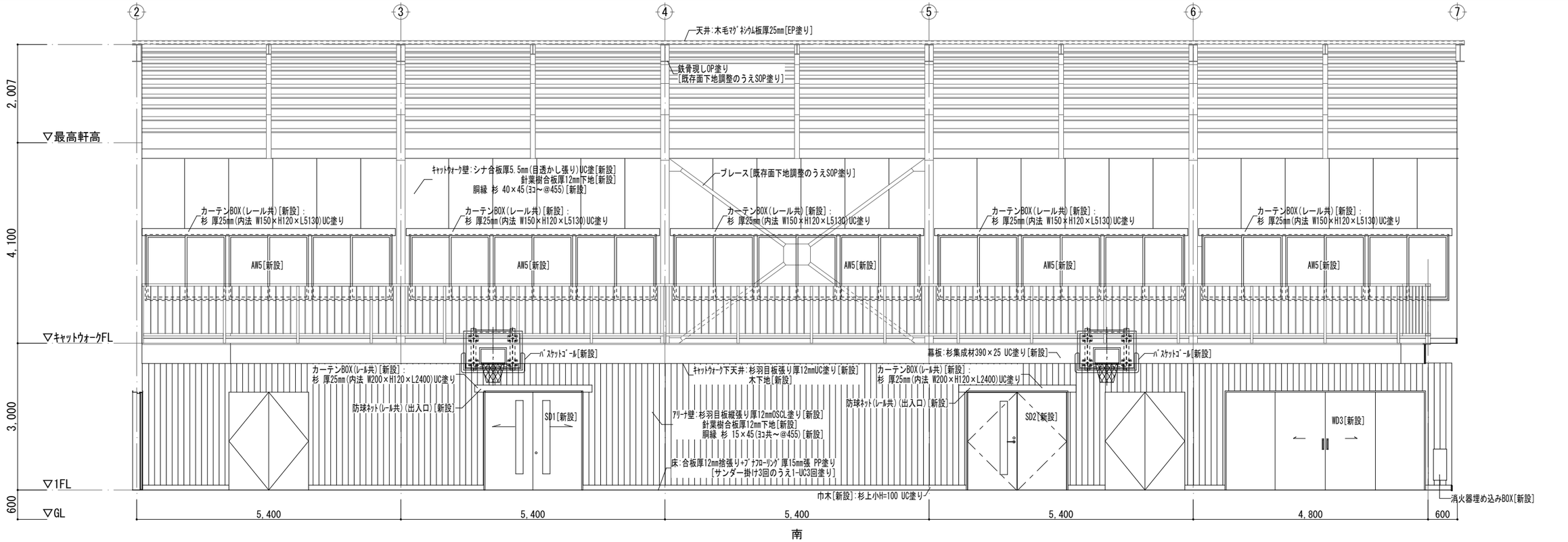
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_アリーナ_展開図(北)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60	作成日		A-64
		2026年6月4日		

改修前



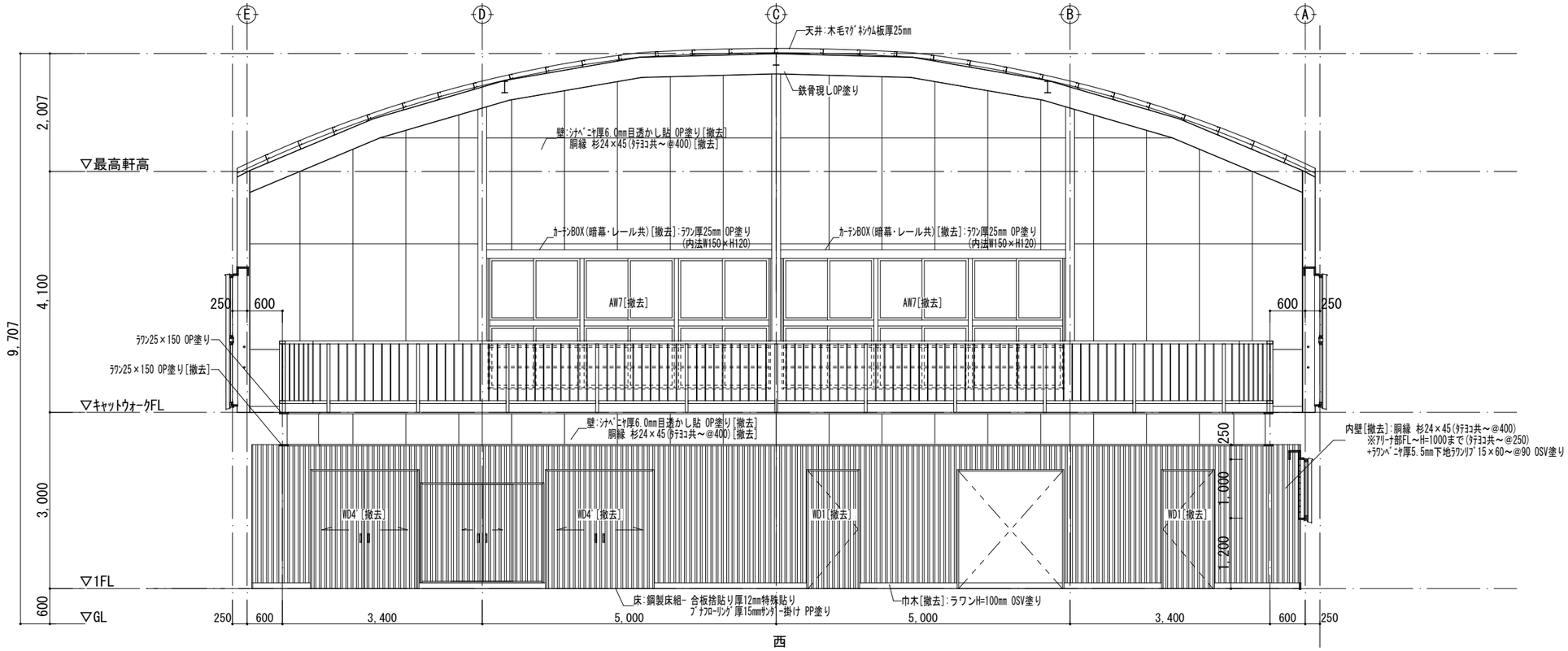
改修後



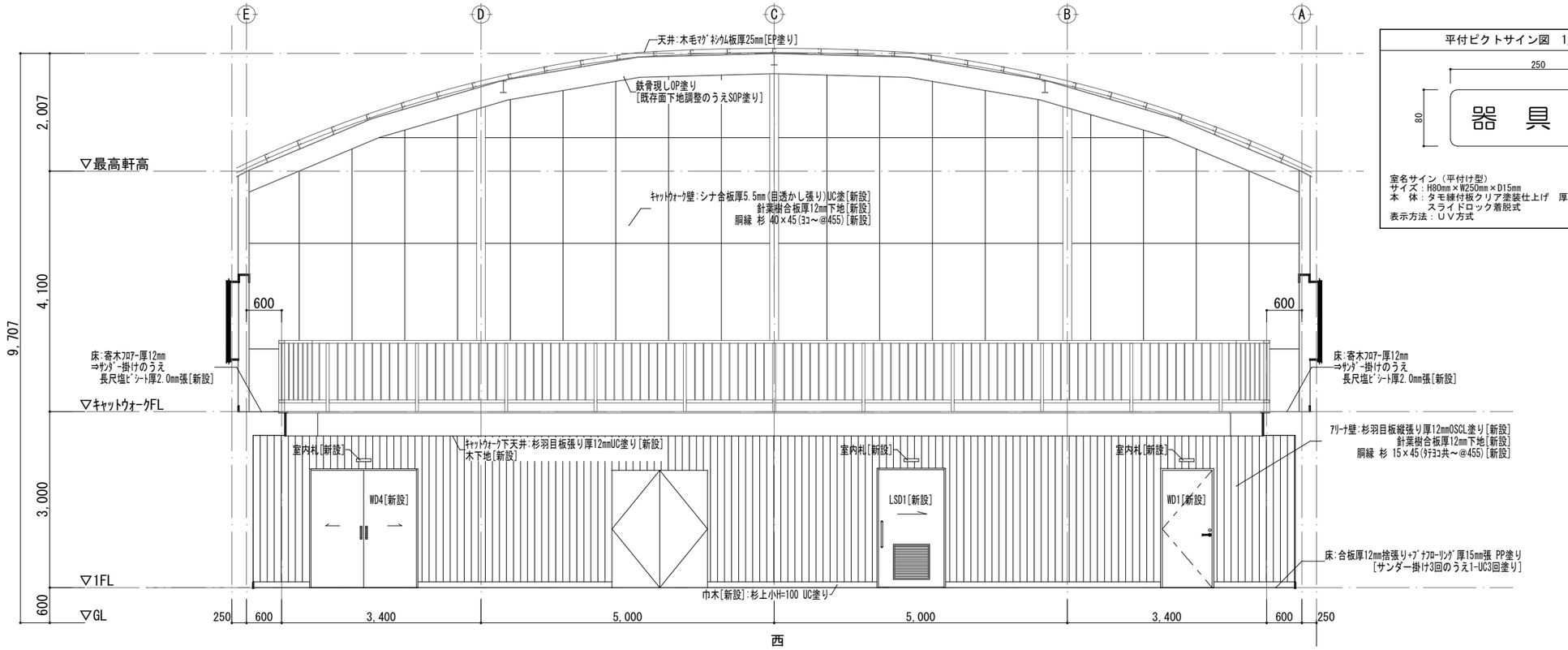
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_アリーナ_展開図(南)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60	作成日		A-65
		2026年6月4日		

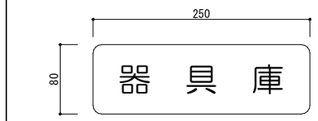
改修前



改修後



平付ピクトサイン図 1/5 | 4箇所

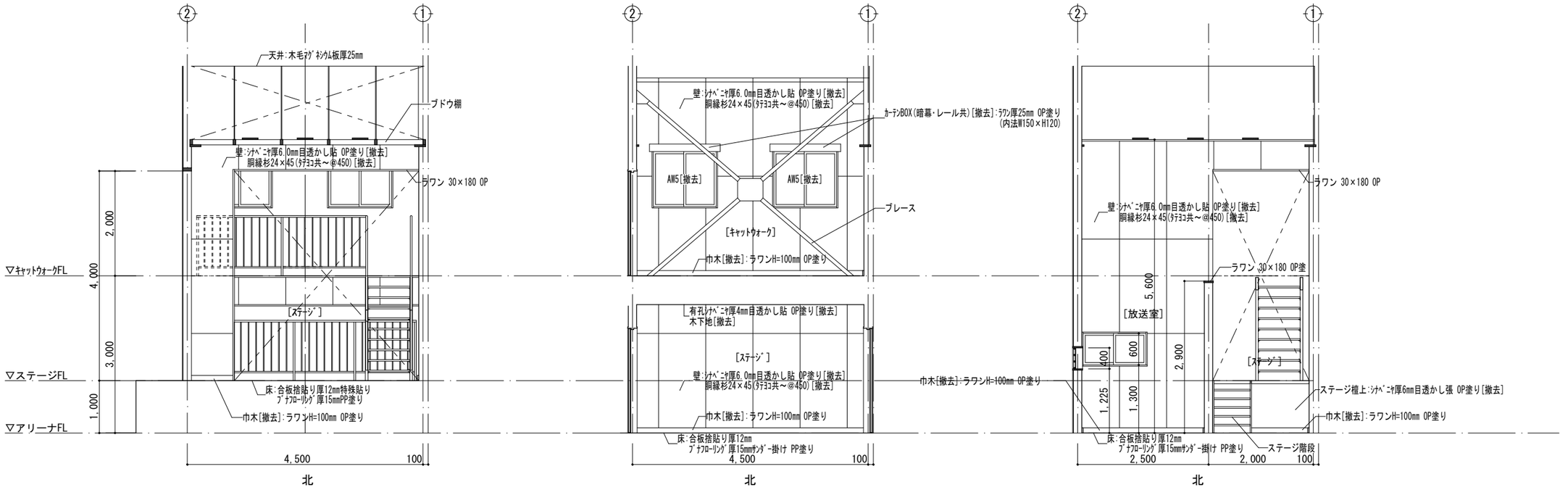


室名サイン（平付け型）
サイズ：H80mm×W250mm×D15mm
本 体：タモ練付板クリア塗装仕上げ 厚12
スライドロック着脱式
表示方法：ＵＶ方式

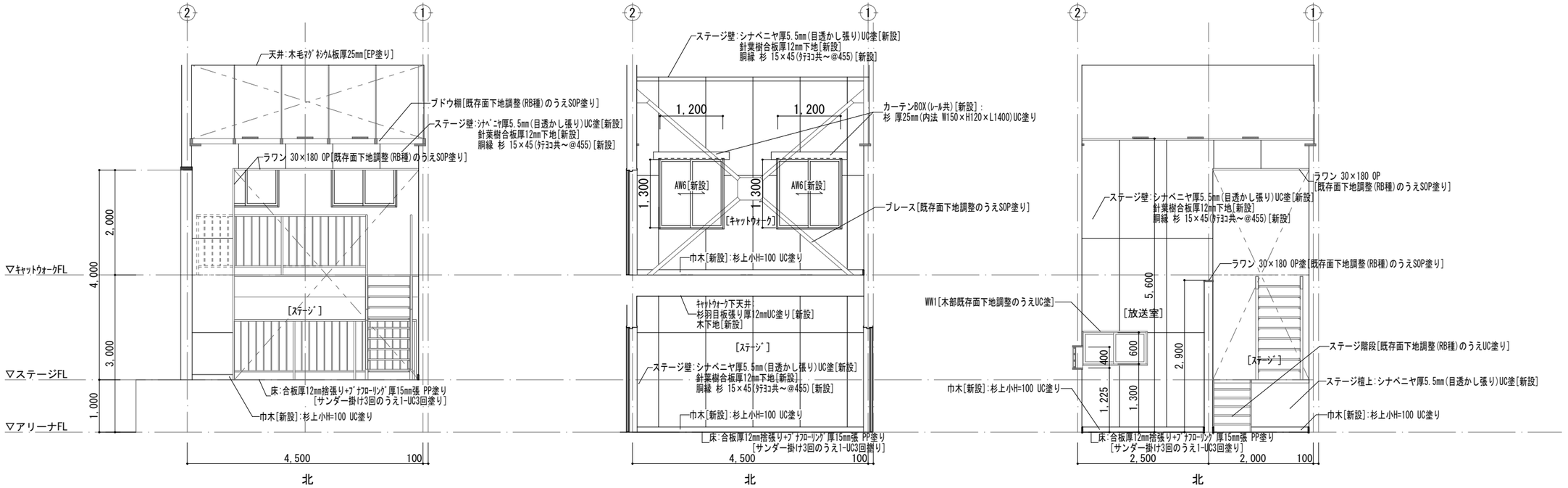
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_アリーナ_展開図(西)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60, 1:5	作成日	2026年6月4日	A-66

改修前



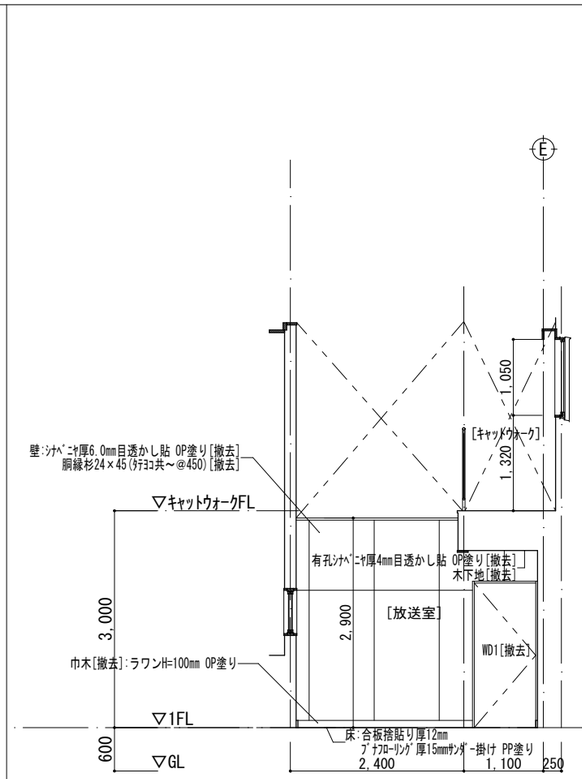
改修後

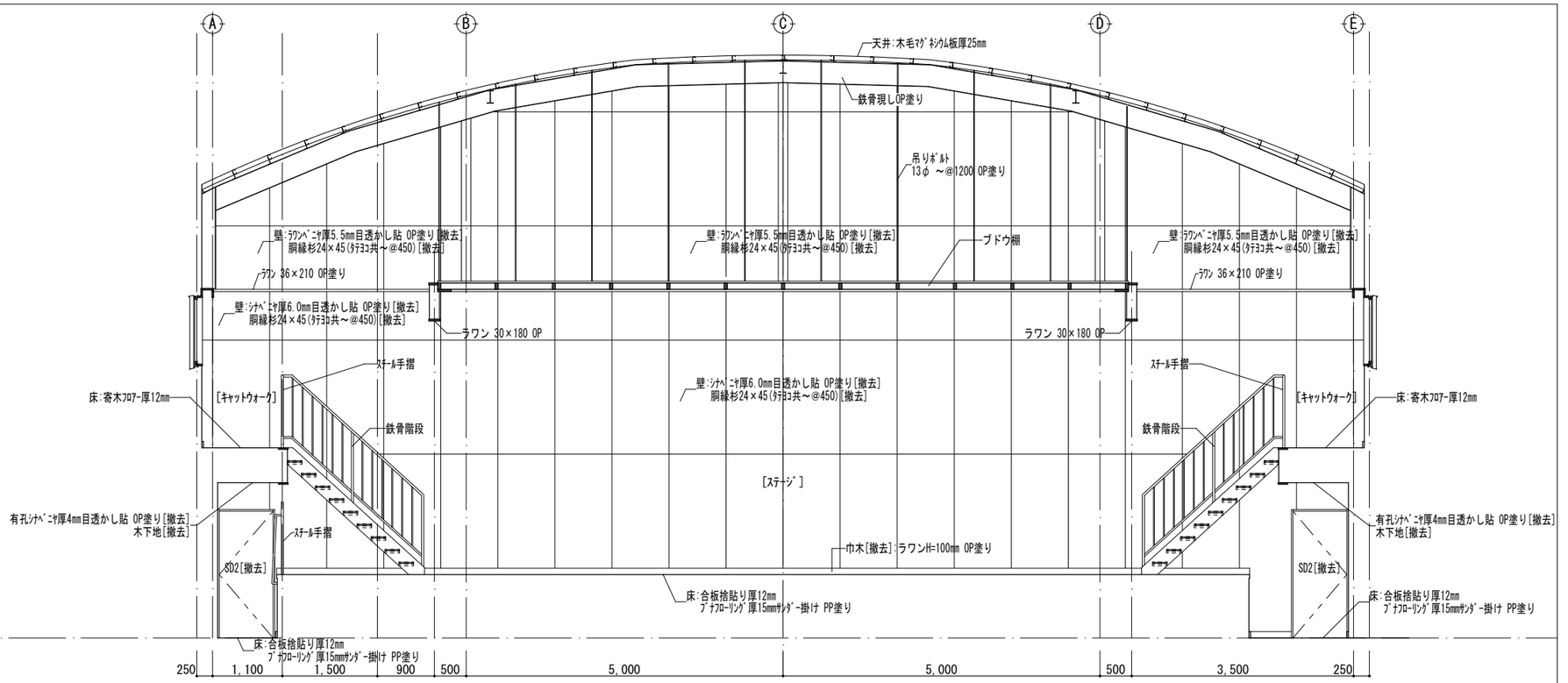


一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

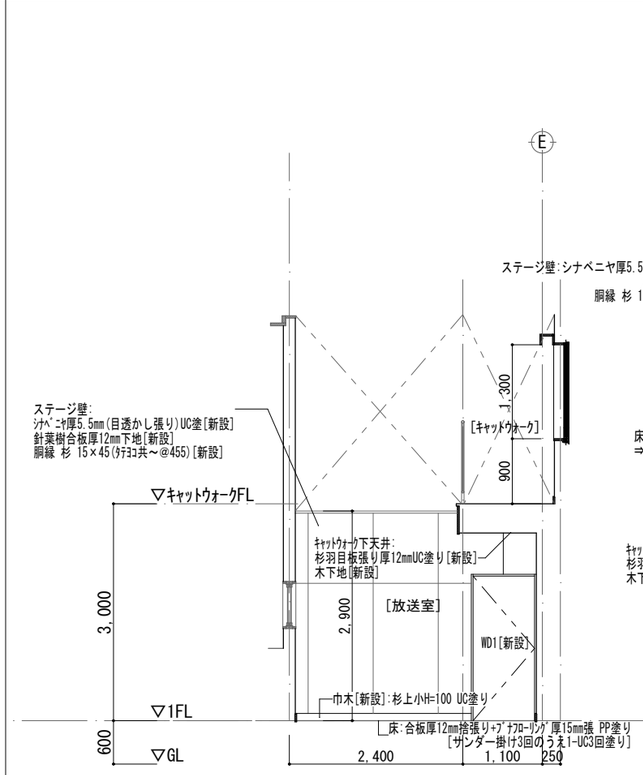
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(北)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:60	作成日 2026年6月4日			A-67

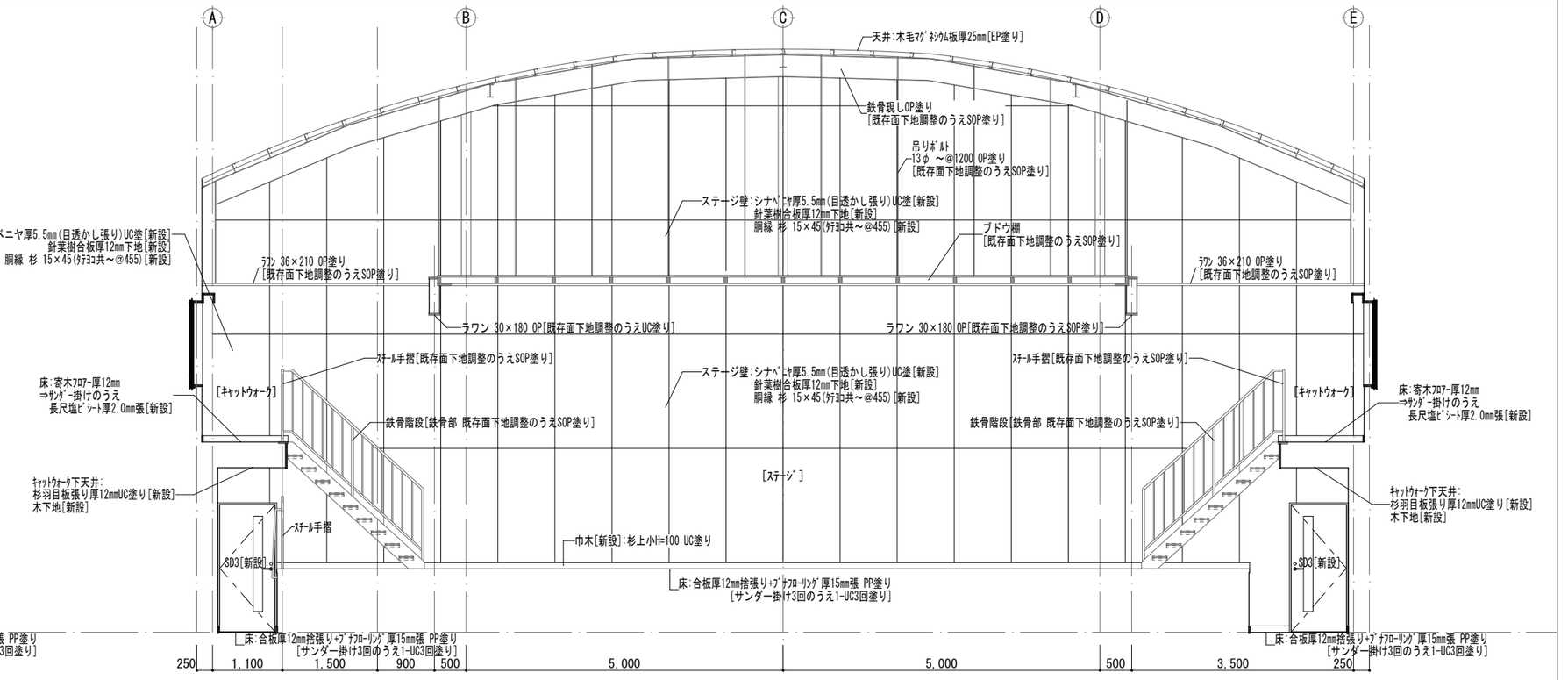
改修前





改修後

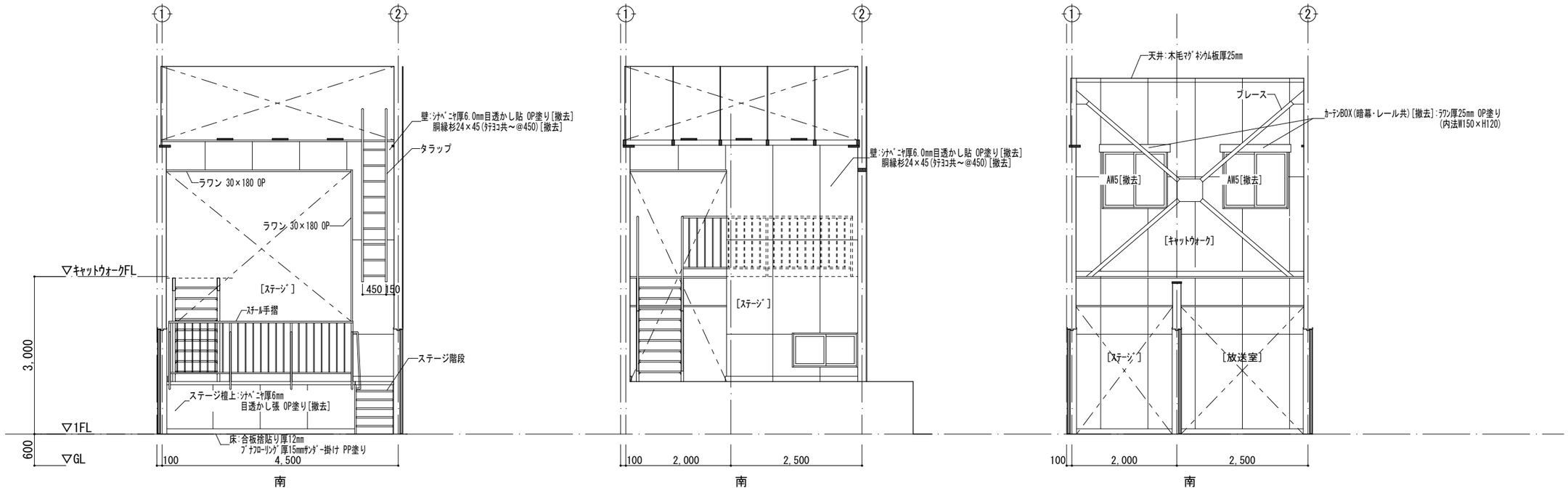




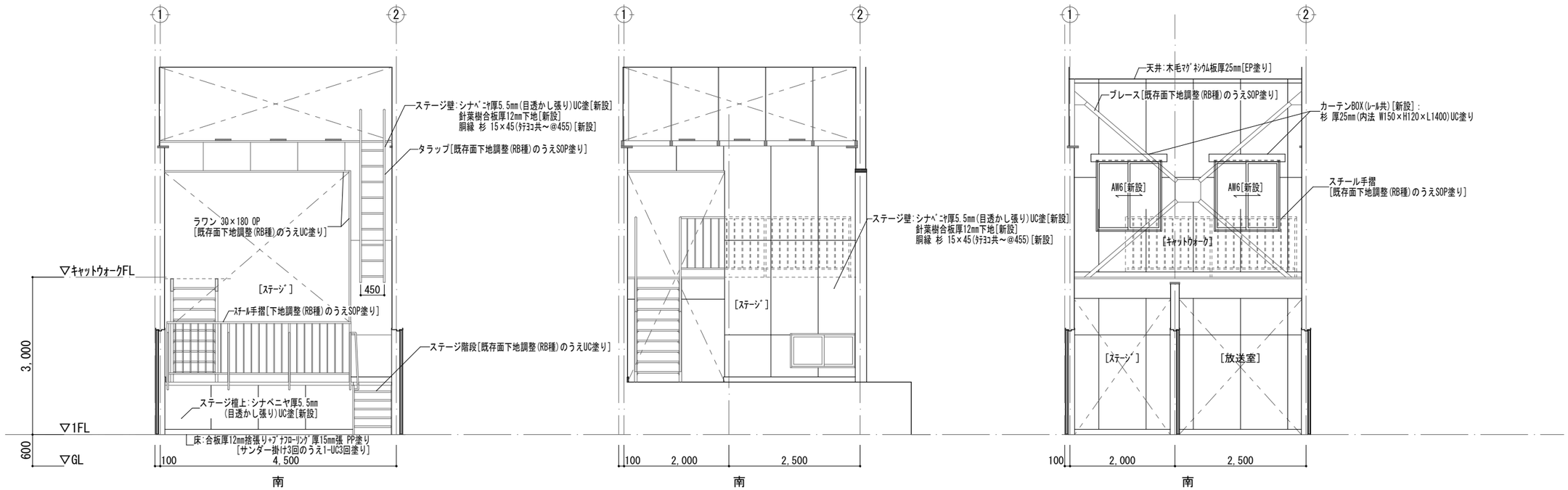
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(東)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	A-68

改修前



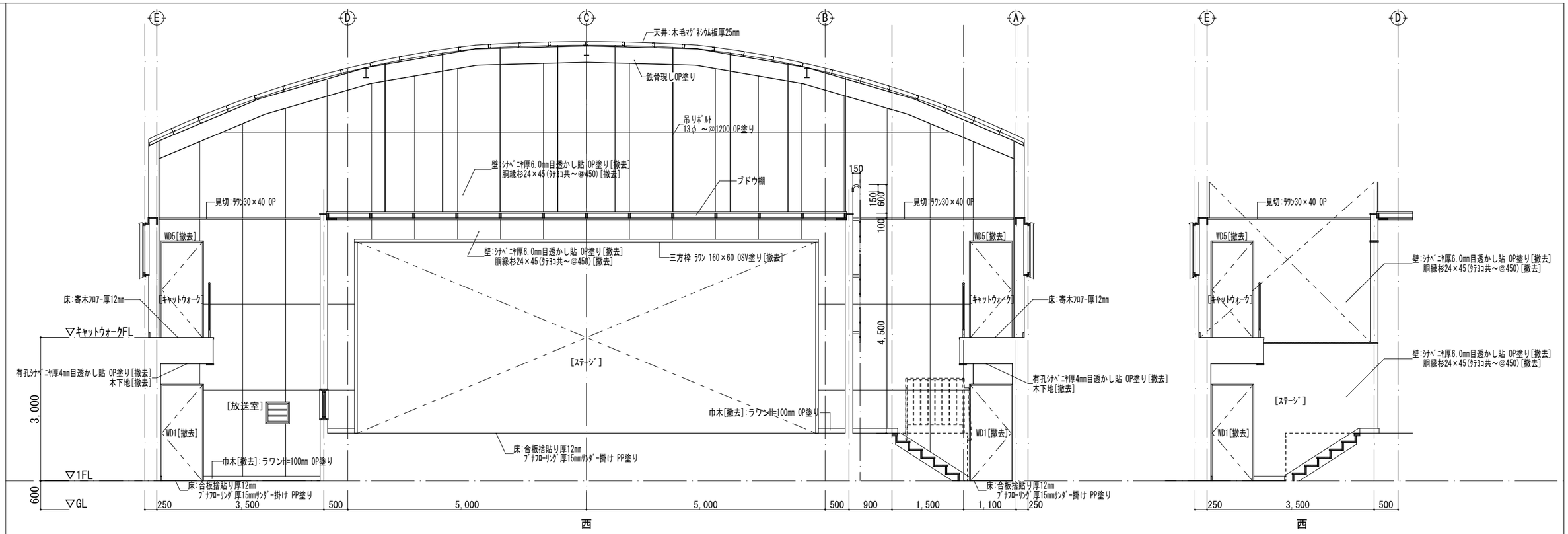
改修後



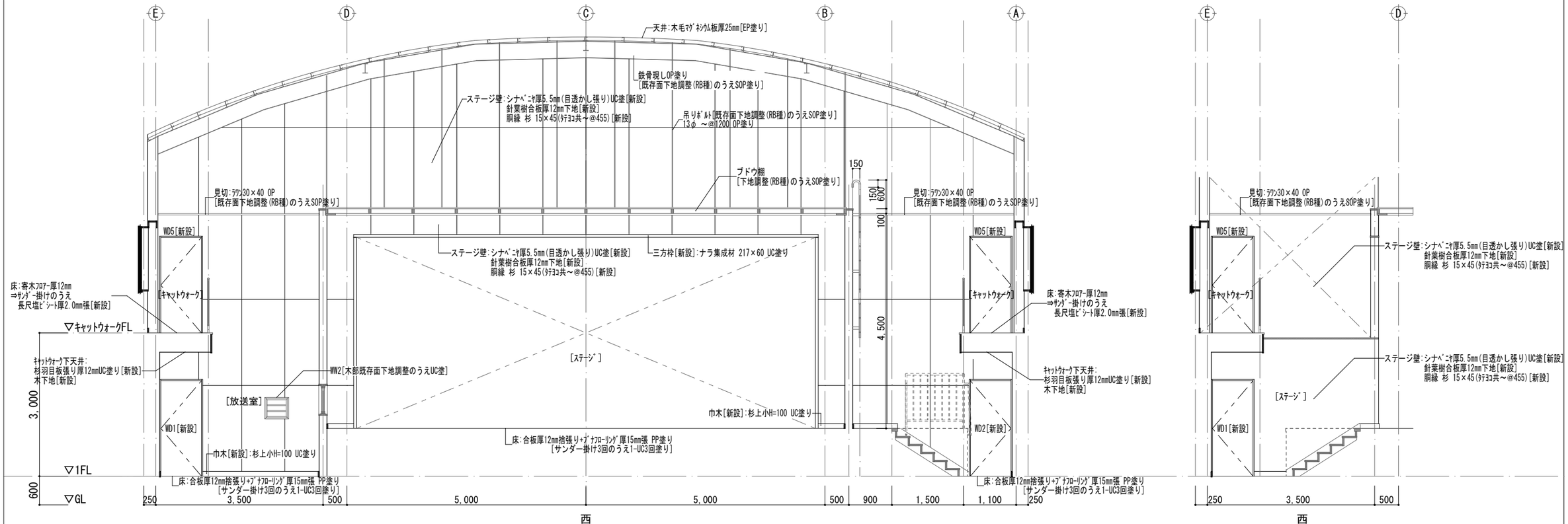
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(南)[改修前・改修後]
縮尺	A2＝1:60
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	A-69

改修前

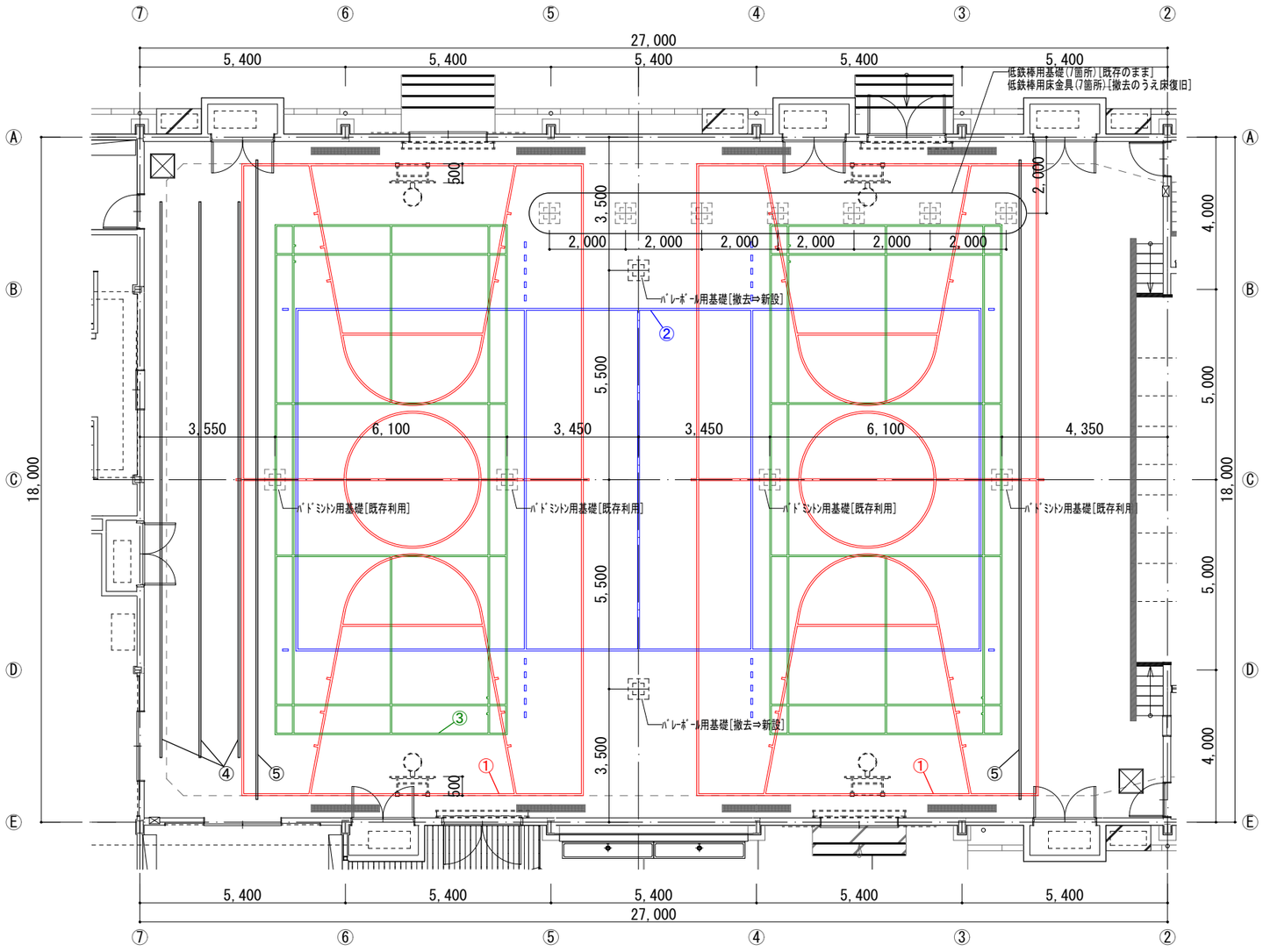


改修後



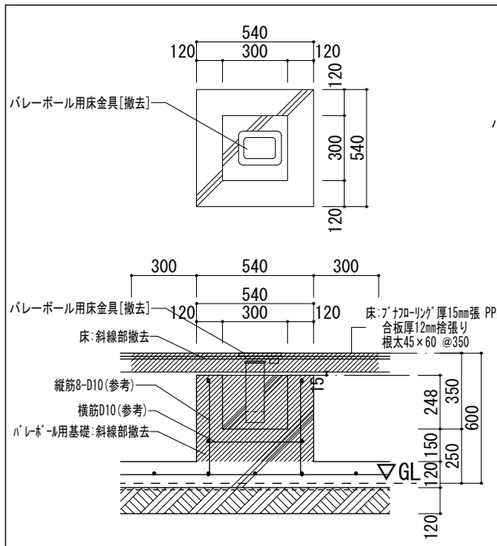
一級建築士事務所	有限会社 モード設計事務所
	栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
	1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_ステージ・放送室_展開図(西)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60	作成日	2026年6月4日	A-70

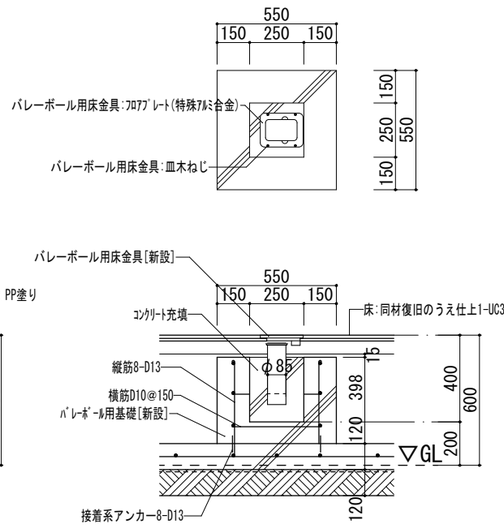


器具コート配置図　1:100

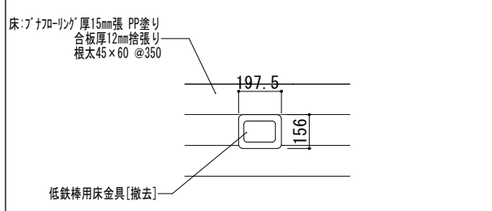
新規　コートライン内訳表					
記号	種別	寸法	面数	備考	
①	ミニバスケットボールコート(非公式)	16600×8970	2面	実線	ライン幅５０mm
②	バレーボールコート(6人制)	18000×9000	1面	実線	ライン幅５０mm
③	バドミントンコート	13400×6100	2面	実線	ライン幅４０mm
④	反復横跳び	-	1面	実線	ライン幅５０mm
⑤	シャトルラン	-	1面	実線	ライン幅５０mm

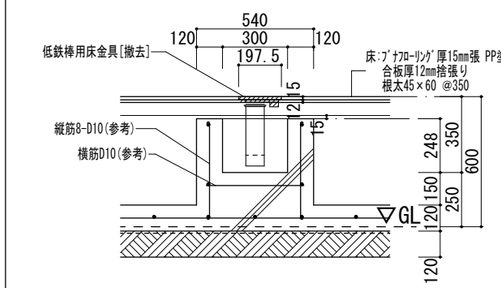


ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ用基礎詳細図 1/20(参考図)
[撤去]



ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ用基礎詳細図 1/20(参考図)
[新設]





低鉄棒用基礎詳細図 1/20
[床金具撤去]

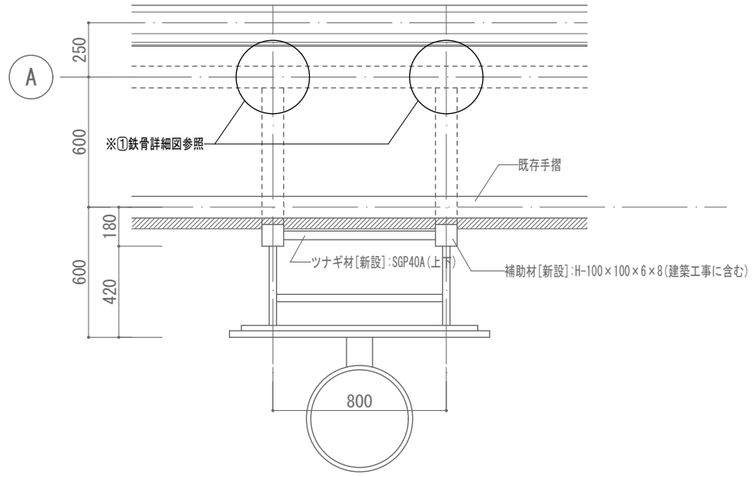
低鉄棒用基礎詳細図 1/20
[床復旧]

一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 A へ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

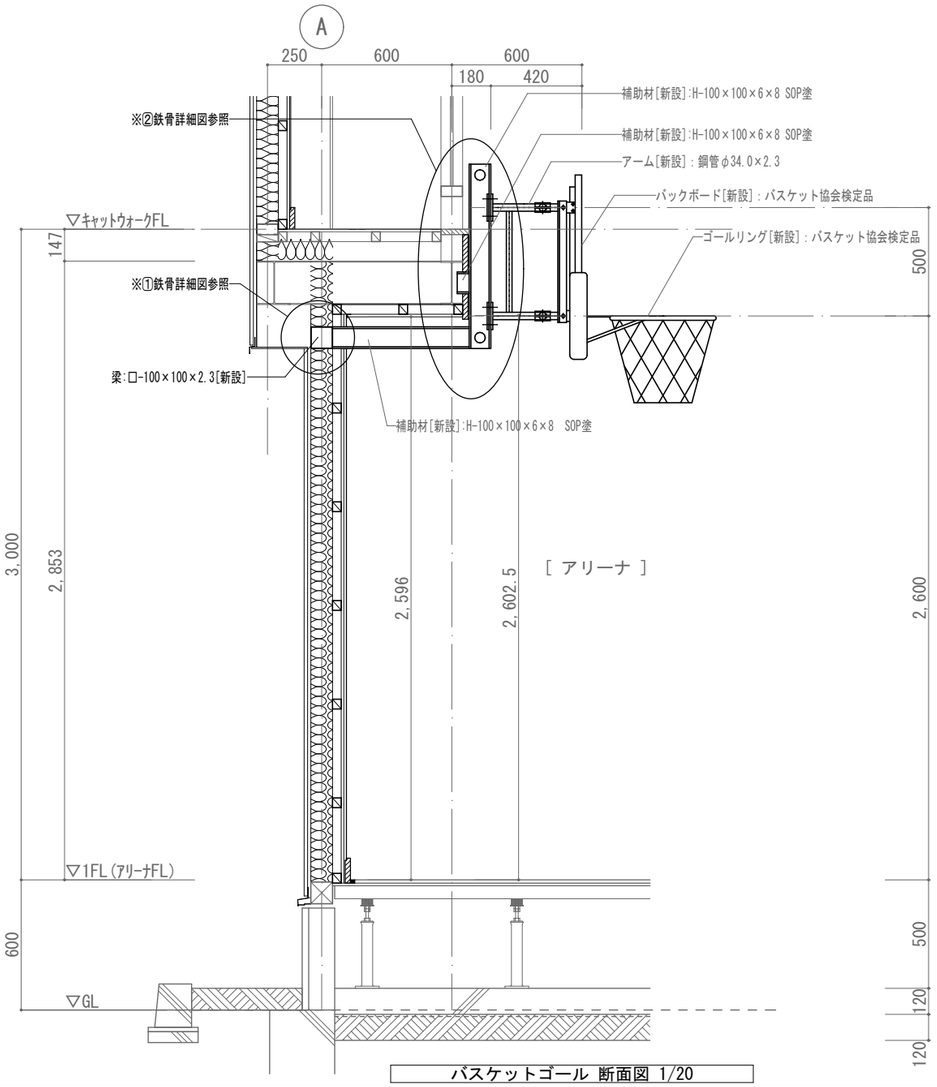
工事名称　鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

図面名	承認	作成者	図面番号
屋内運動場_コートライン配置図・バレーボール用基礎詳細図			A-71
縮尺 A2＝1:20, 1:100 / 作成日 2026年6月4日			

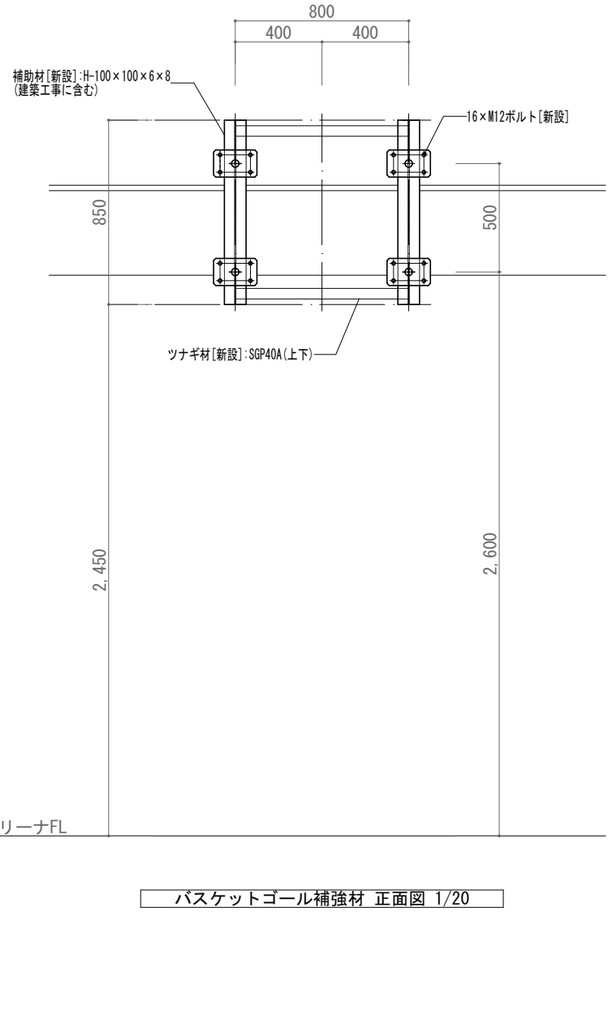
バスケットゴール　詳細図



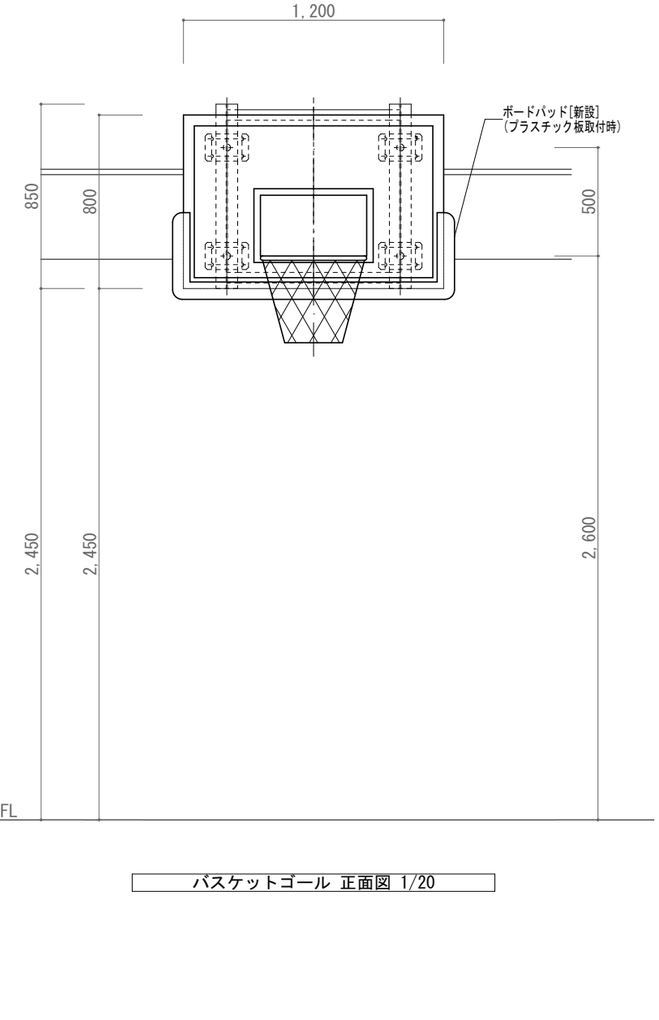
バスケットゴール 平面図 1/20



バスケットゴール 断面図 1/20



バスケットゴール補強材 正面図 1/20

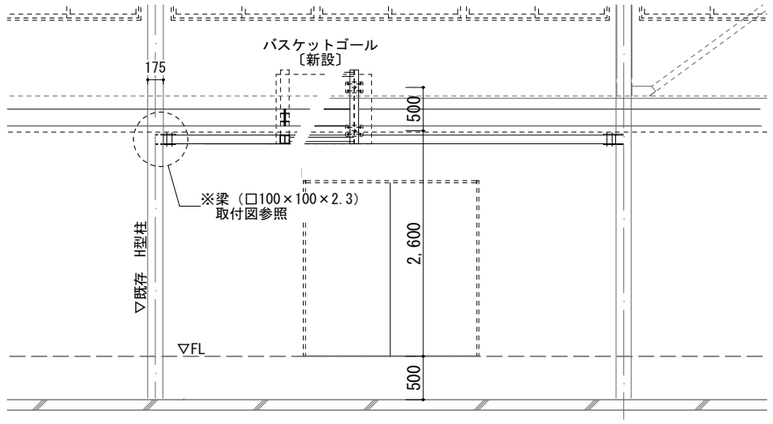


バスケットゴール 正面図 1/20

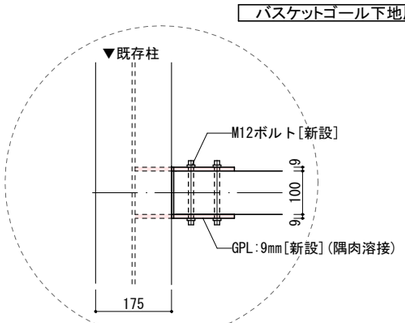
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_バスケットゴール詳細図	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:20	作成日 2026年6月4日			A-72

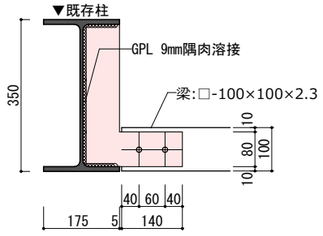
バスケットゴール　梁下地取付詳細図 1/10



バスケットゴール下地展開図 1:50

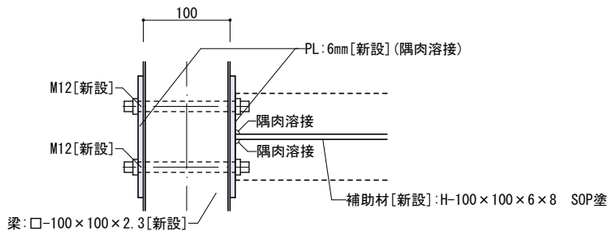


［ □100×100梁取付　側面図1/10 ］

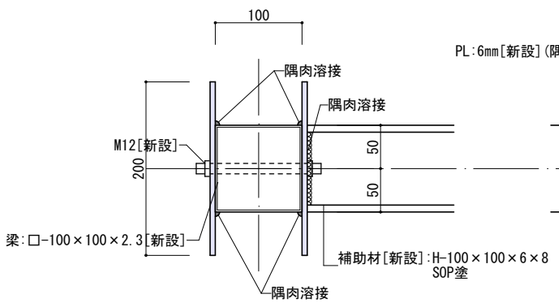


［ □100×100梁取付　横断面図 1/10］

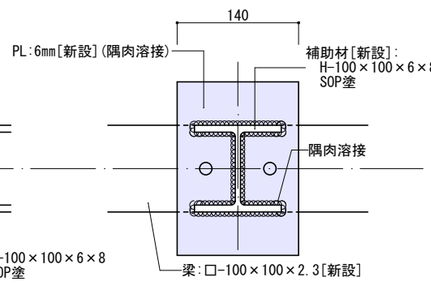
①鉄骨部材接合詳細図 1/5



断面図(平面) 1/5

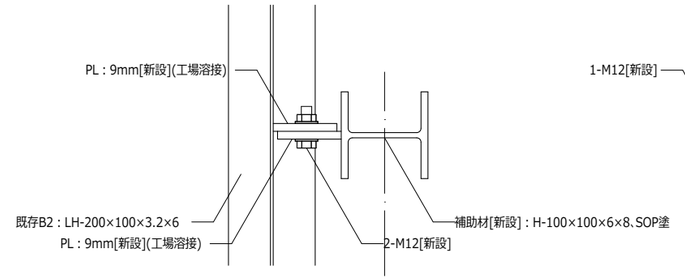


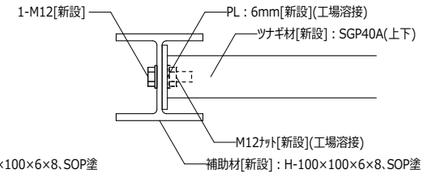
断面図(側面) 1/5

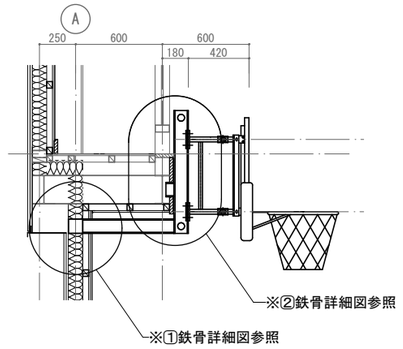


断面図(正面) 1/5

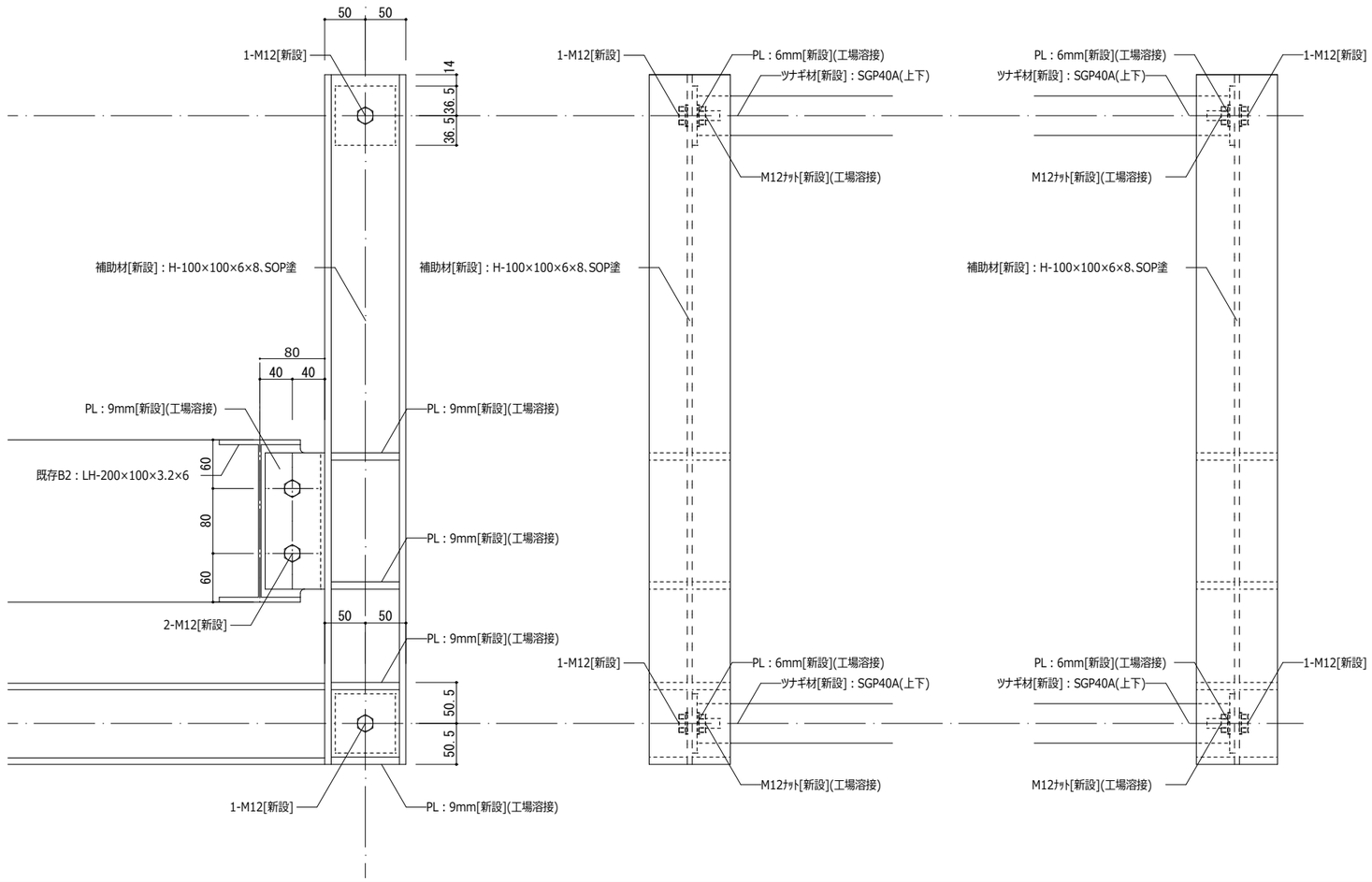
②鉄骨部材接合詳細図 1/5







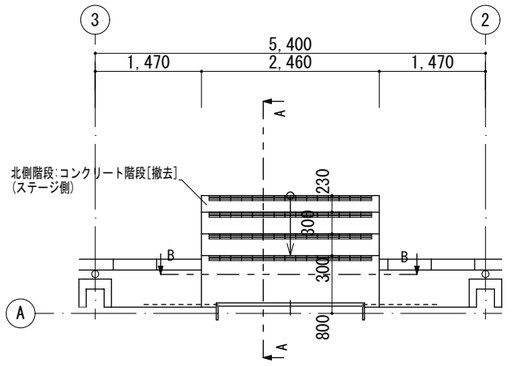
バスケットゴール 詳細図 1:30



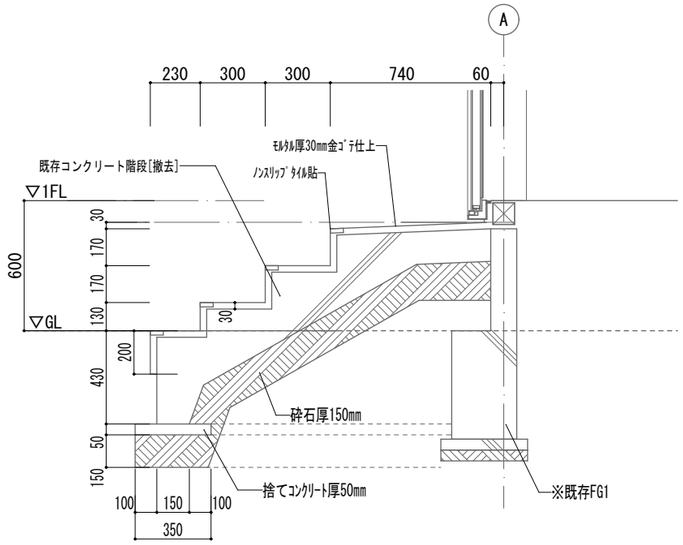
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_バスケットゴール鉄骨詳細図	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:5, 1:50, 1:30, 1:10	作成日	2026年6月4日	A-73

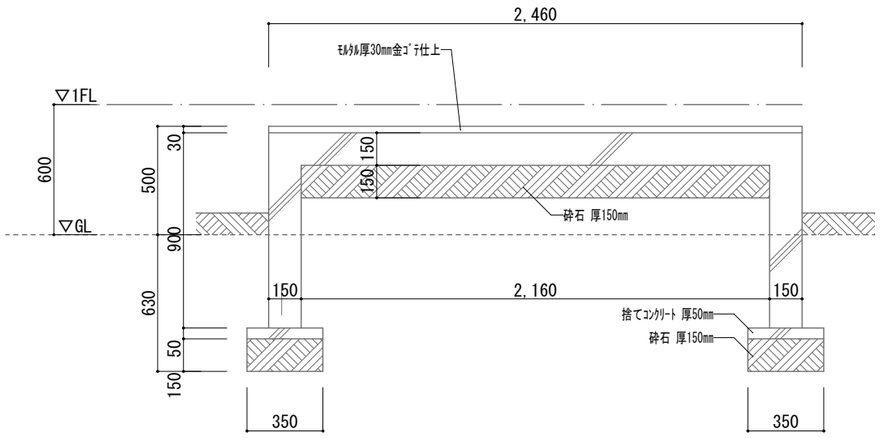
北側階段:コンクリート階段(ステージ側)　撤去　詳細図



コンクリート階段(ステージ側) 平面図　1:60

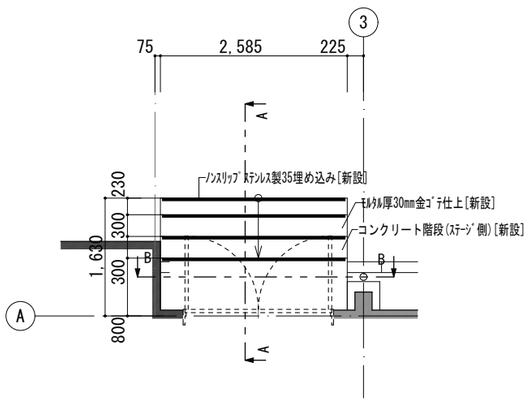


参考図:コンクリート階段(ステージ側) A-A断面詳細図　1:20

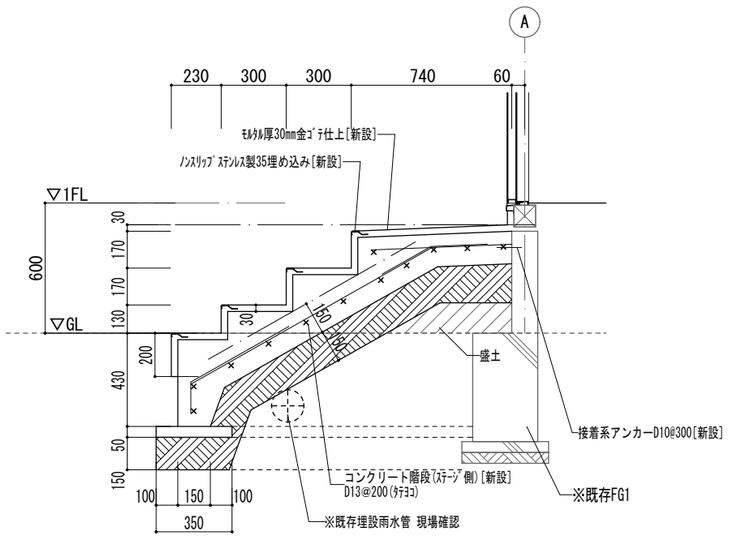


参考図:コンクリート階段(ステージ側) B-B断面詳細図　1:20

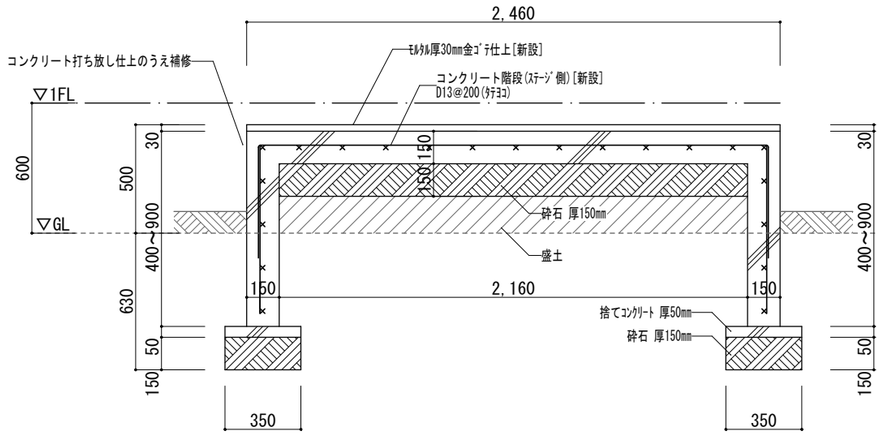
北側階段:コンクリート階段(ステージ側)　新設　詳細図



コンクリート階段(ステージ側) 平面図　1:60



コンクリート階段(ステージ側) A-A断面詳細図　1:20

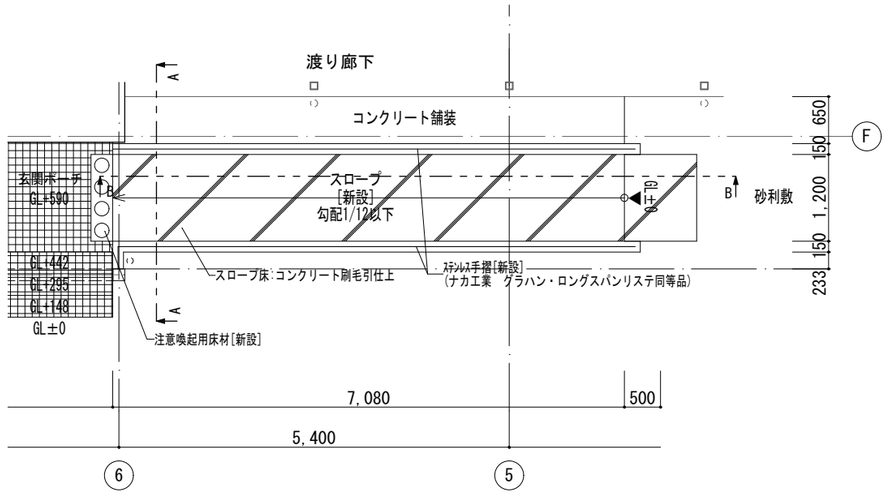


コンクリート階段(ステージ側) B-B断面詳細図　1:20

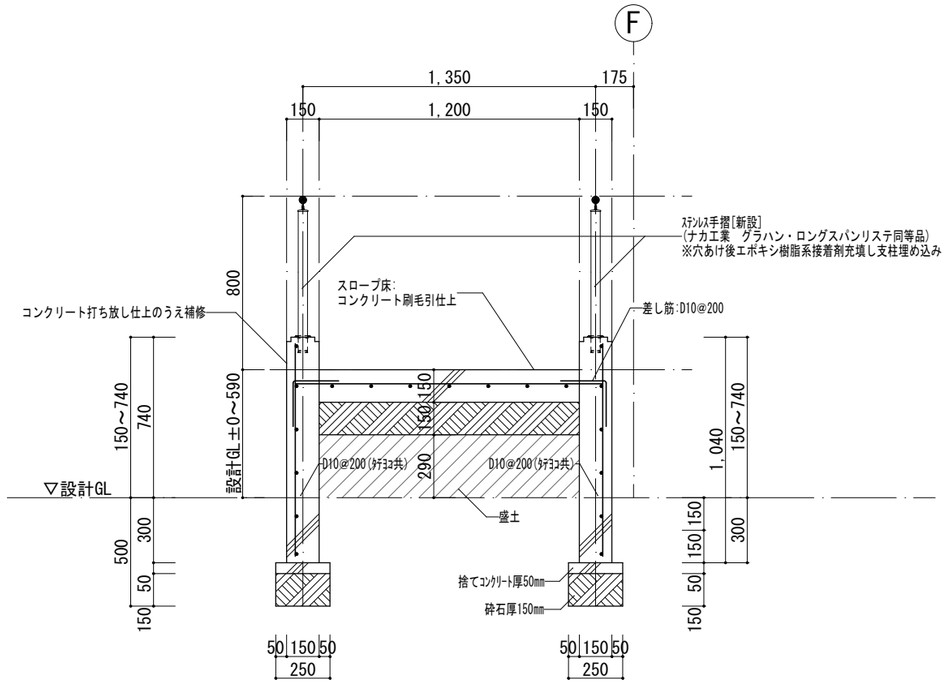
一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137　〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_コンクリート階段　詳細図	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:20, 1:60	作成日	2026年6月4日	A-74

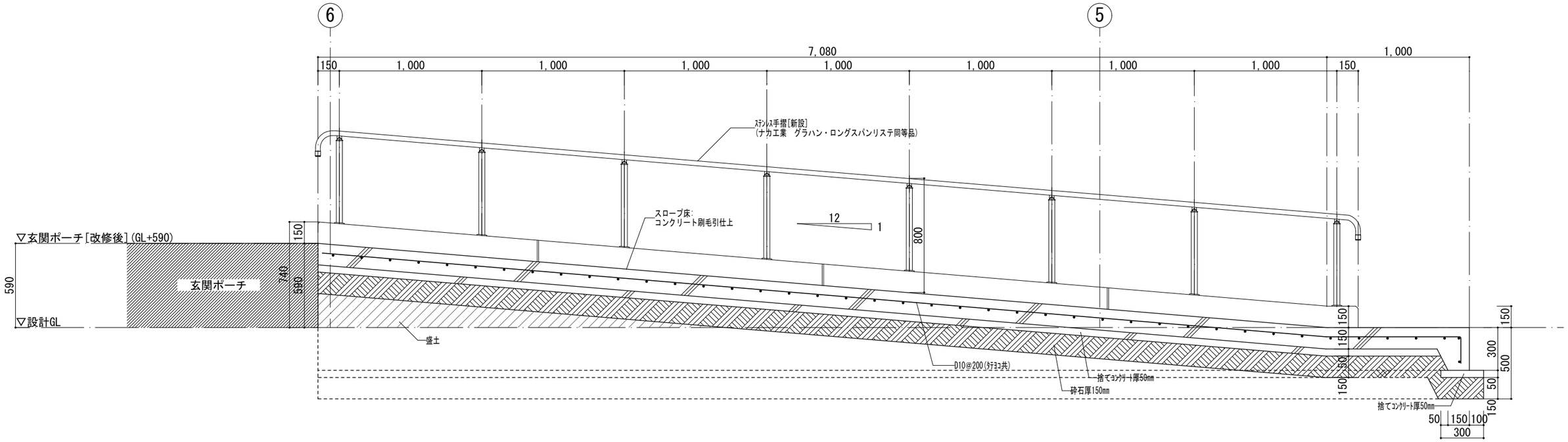
玄関スロープ　詳細図



玄関スロープ 平面図　1:60



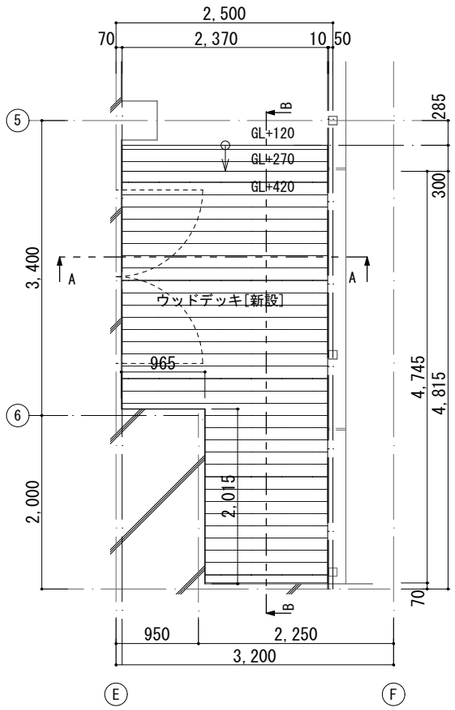
玄関スロープA-A断面詳細図　1:20



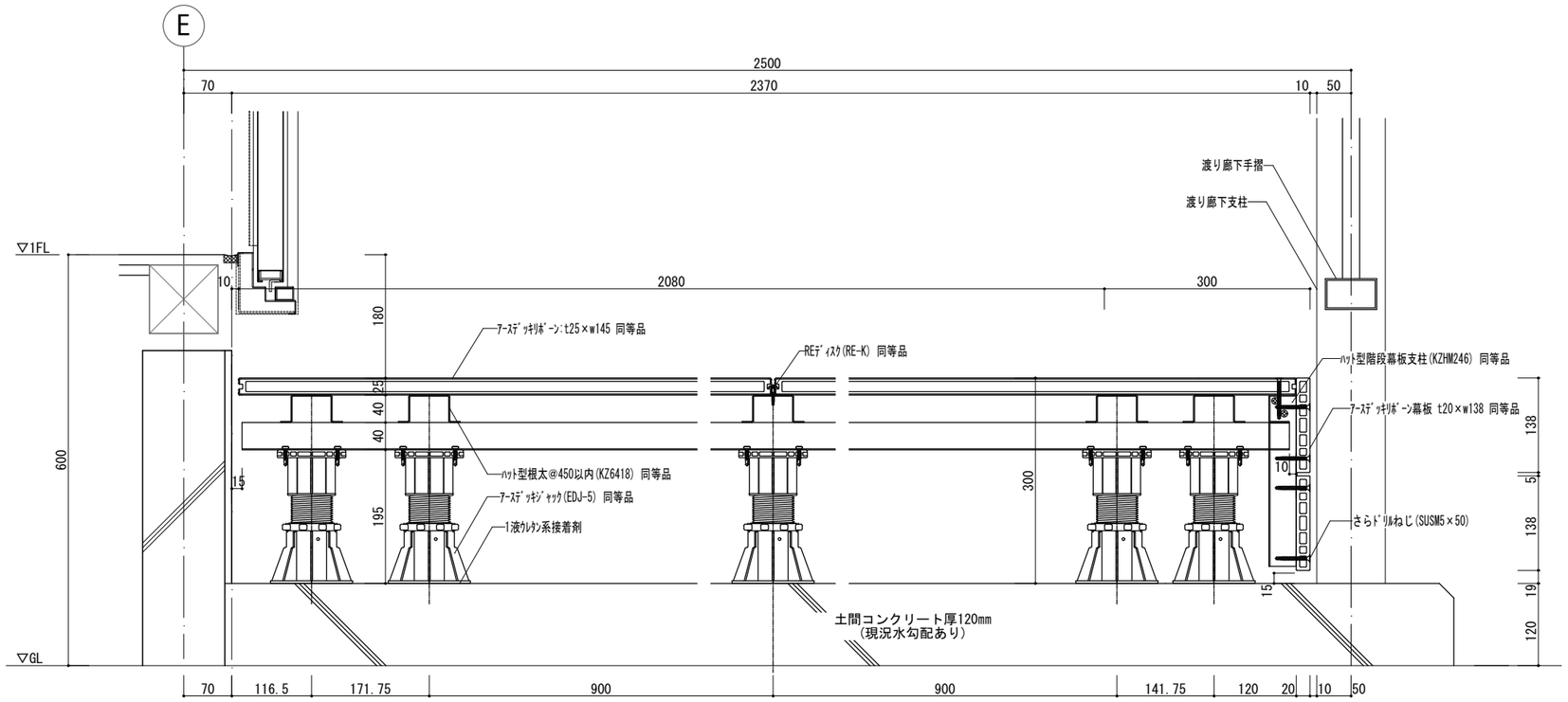
玄関スロープB-B断面詳細図　1:20

	一級建築士事務所 **有限会社　モード設計事務所** 栃木県知事登録 Aへ-2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士　第351618　石川大悟	工事名称 **鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)**		
		図面名 **屋内運動場_玄関スロープ 詳細図[改修前・改修後]**	承認 / 作成者	図面番号 **A-75**
		縮尺 **A2＝1:20, 1:60**	作成日 **2026年6月4日**	

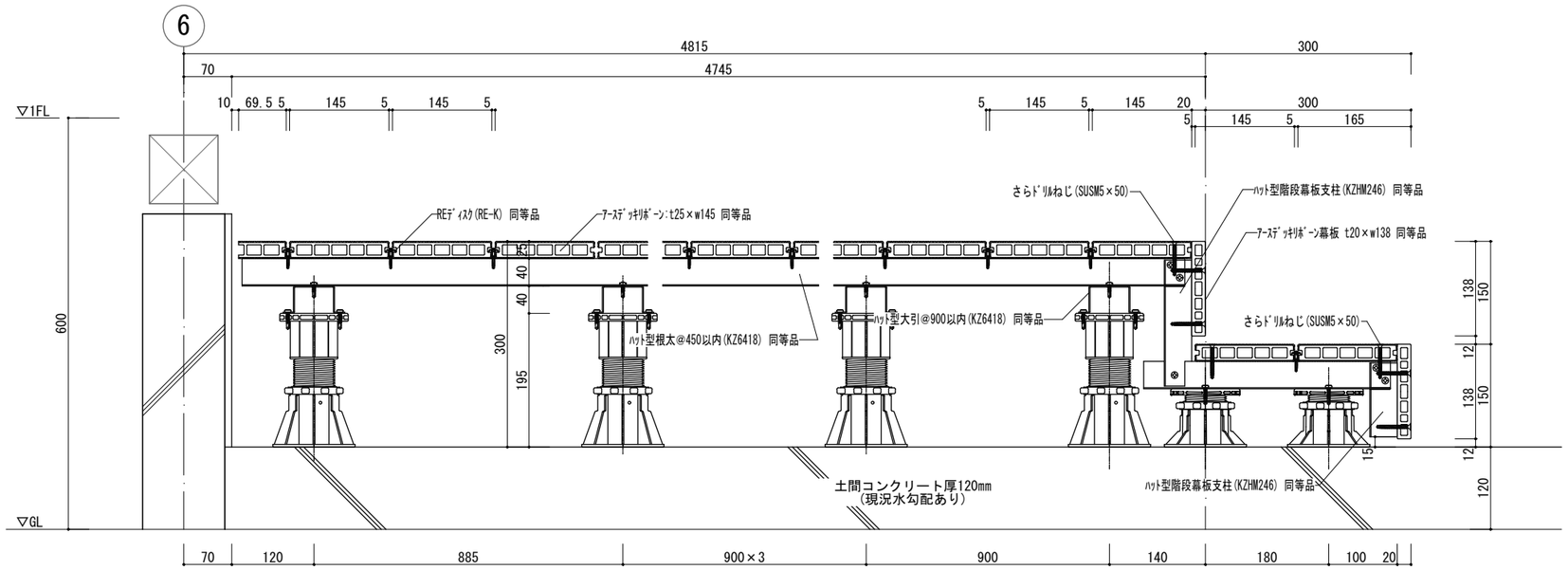
ウッドデッキ　詳細図(参考図)



[平面図 1:50]



[A-A断面図 1:6]

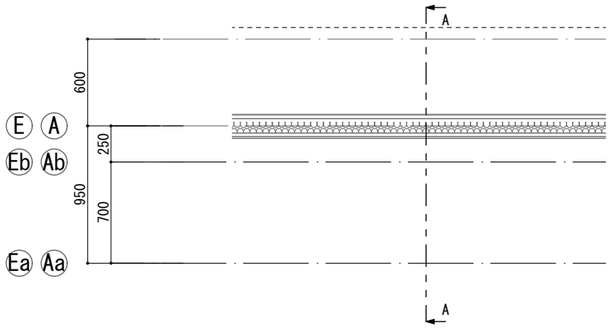


[B-B断面図 1:6]

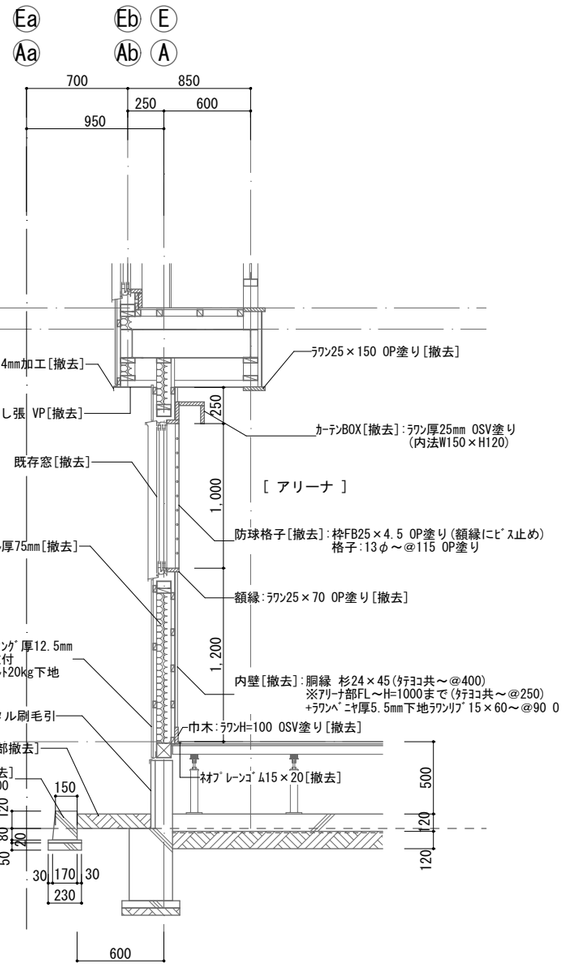
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_ウッドデッキ 詳細図(参考図)	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:6, 1:50	作成日		A-76
		2026年6月4日		

改修前



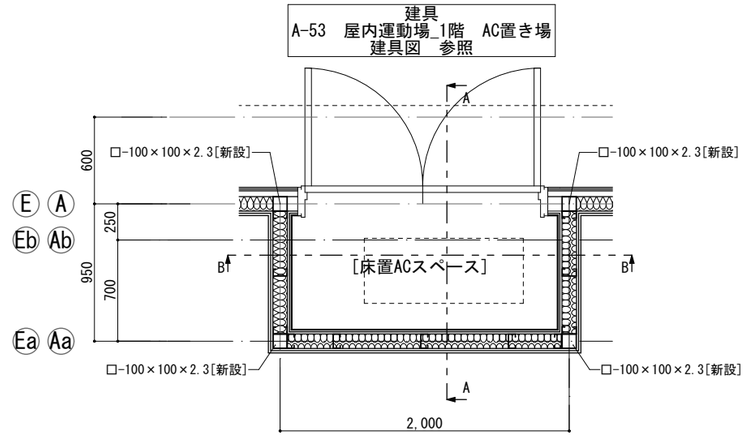
平面図 1/30



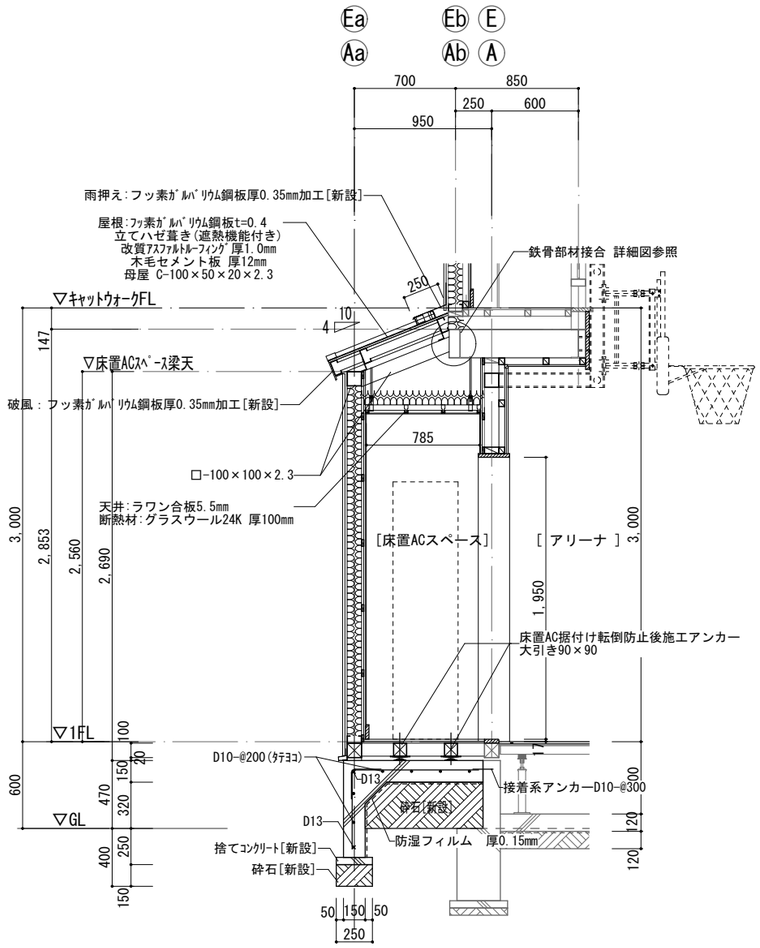
A-A断面図 1/30

改修後

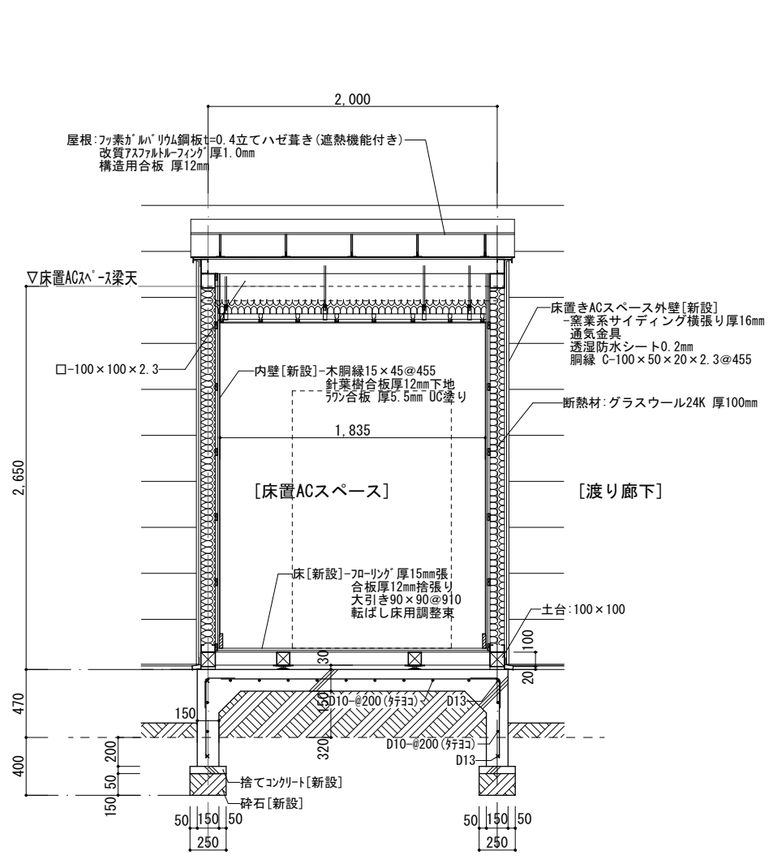
建具
A-53 屋内運動場_1階 AC置き場
建具図 参照



平面図 1/30



A-A断面図 1/30

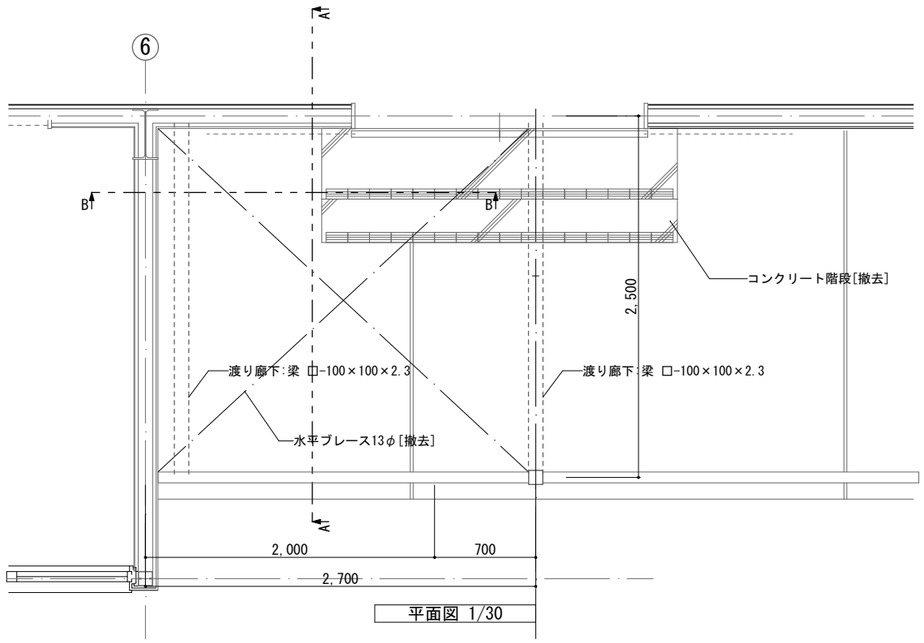


B-B断面図 1/30

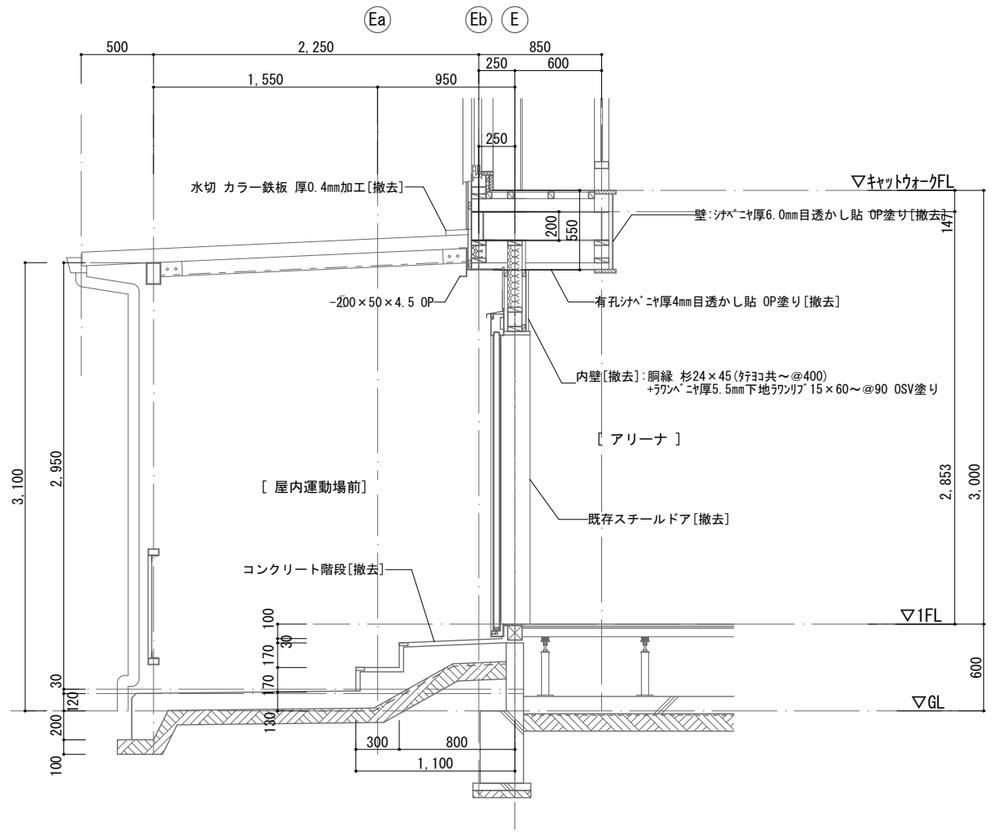
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_床置ACスペース(一般部) 詳細図[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:30	作成日 2026年6月4日			A-77

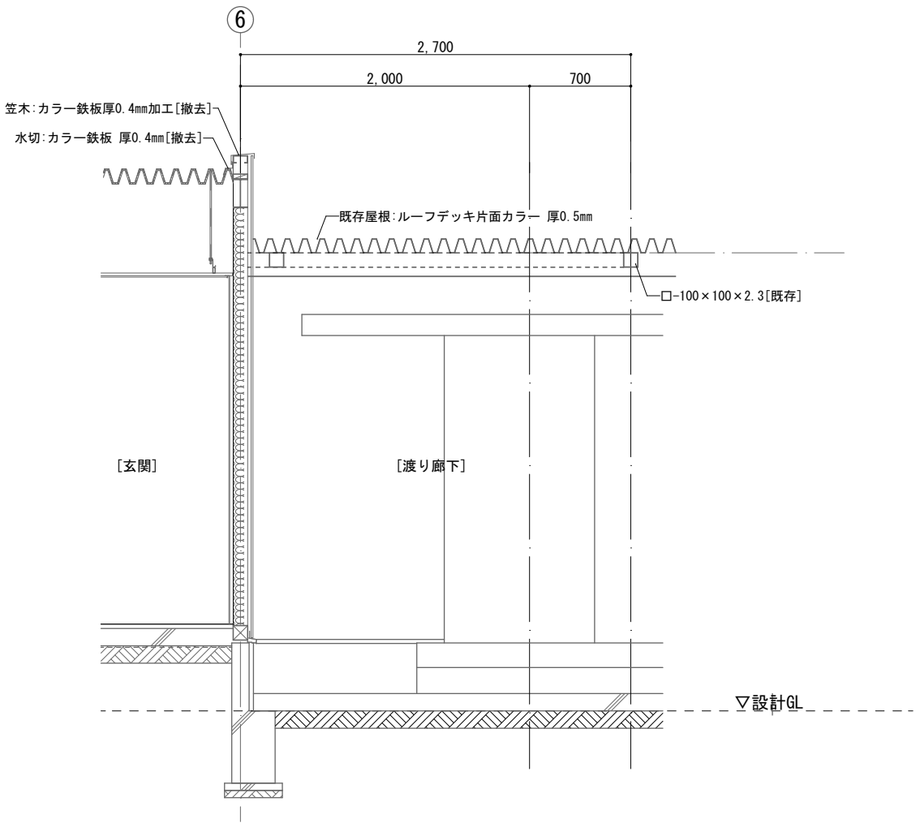
改 修 前



平面図 1/30



A-A断面図 1/30

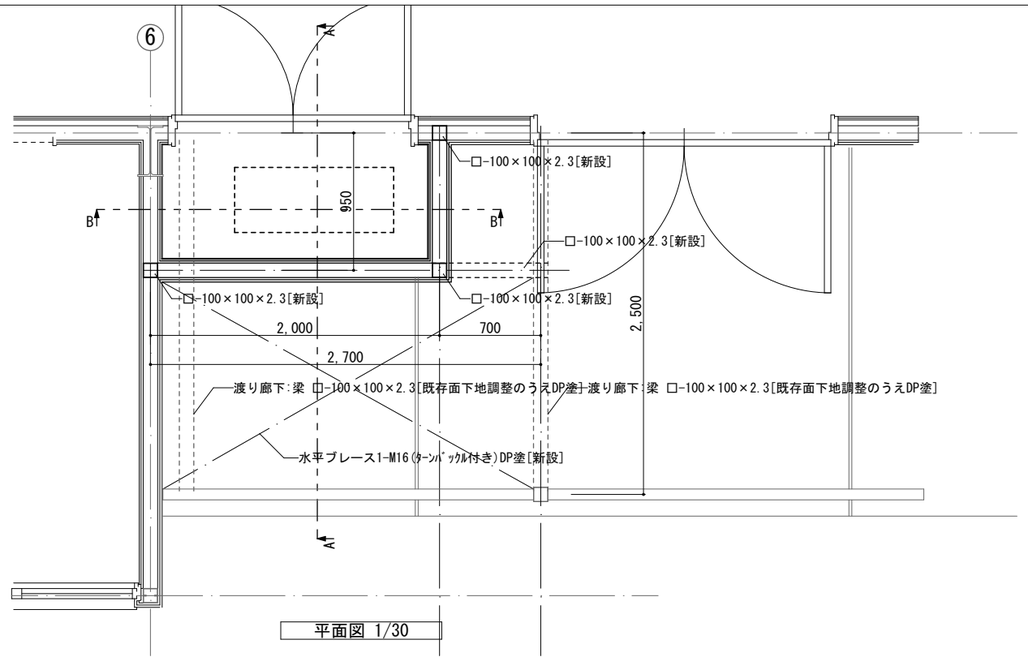


B-B断面図 1/30

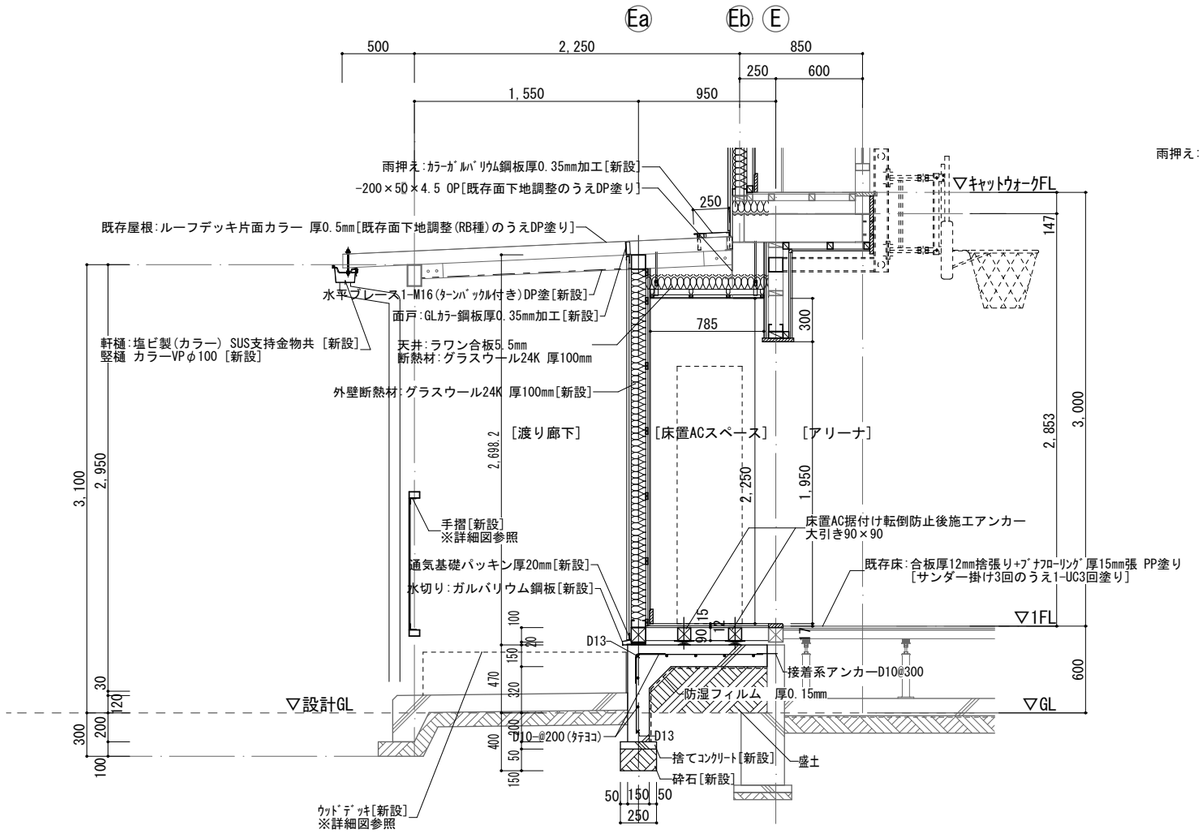
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_床置ACスペース(渡り廊下側) 詳細図[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30	作成日		A-78
		2026年6月4日		

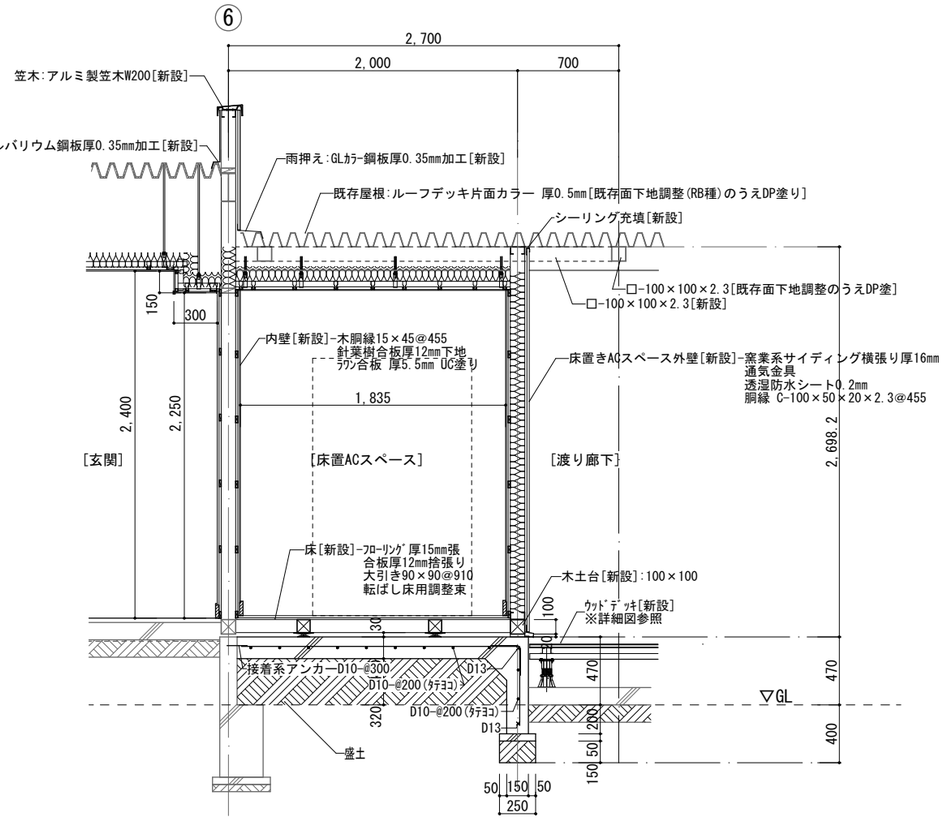
改 修 後



平面図 1/30



A-A断面図 1/30

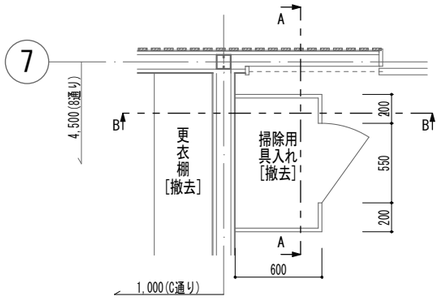


B-B断面図 1/30

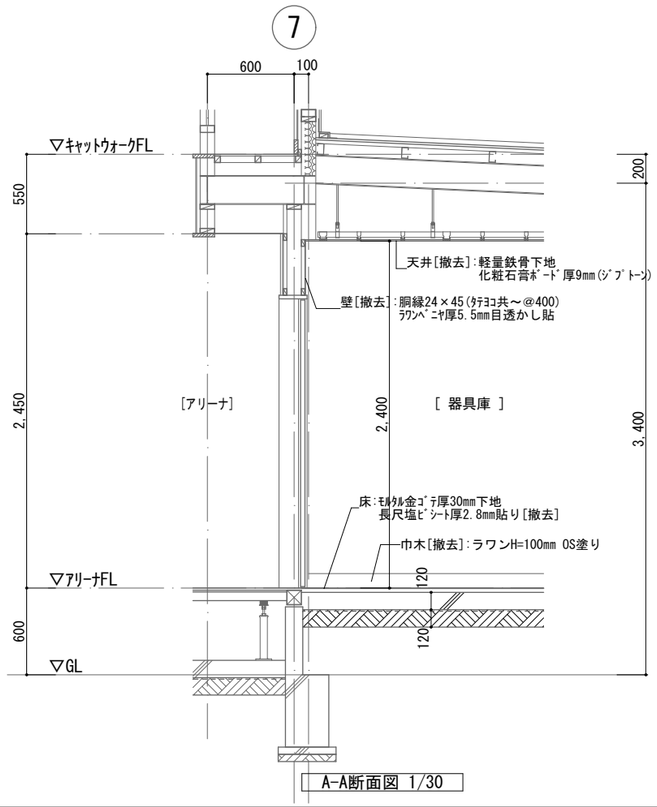
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_床置ACスペース(渡り廊下側) 詳細図[改修後]	承認	作成者	図面番号 A-79
縮尺 A2＝1:30	作成日 2026年6月4日			

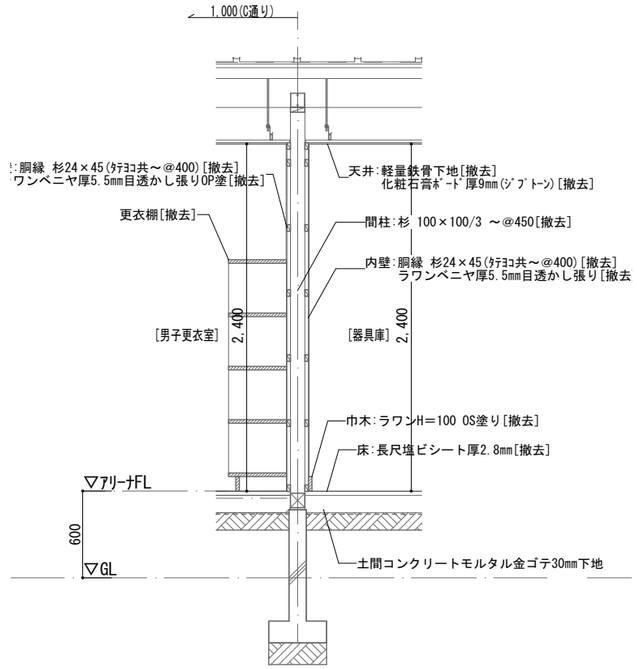
改修前



平面図 1/30

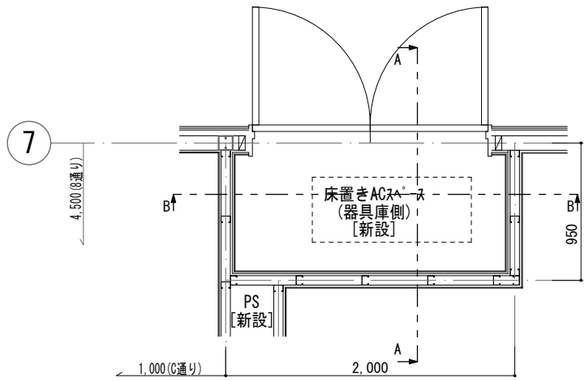


A-A断面図 1/30

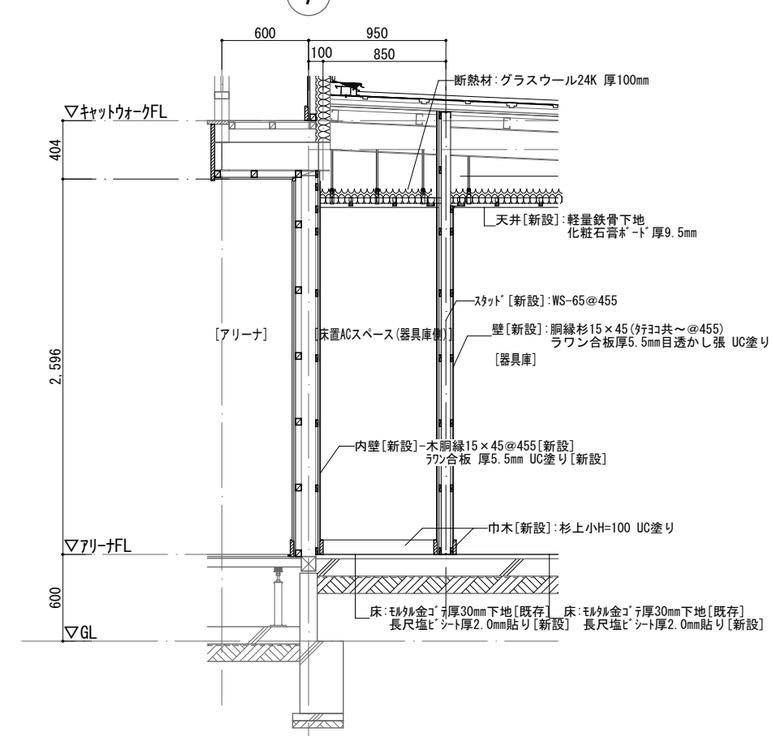


B-B断面図 1/30

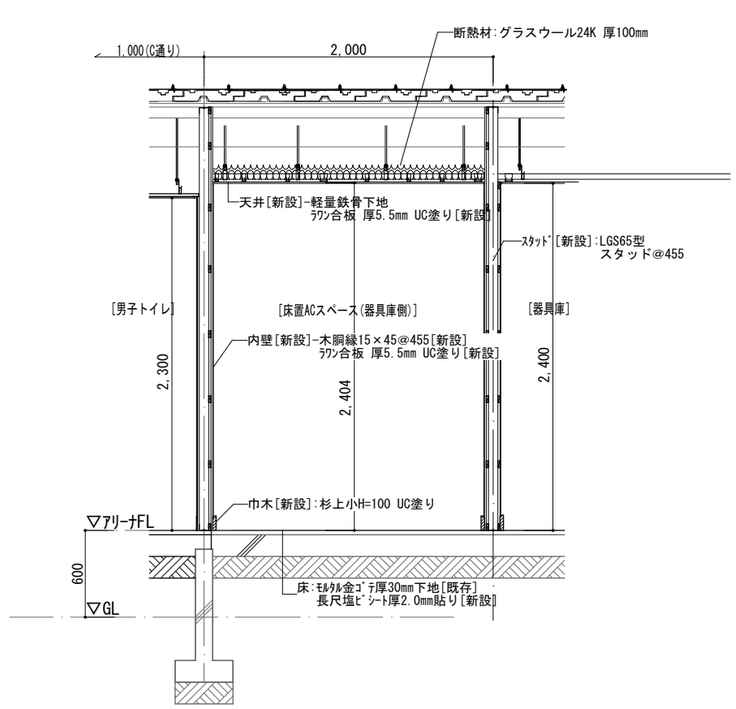
改修後



平面図 1/30



A-A断面図 1/30

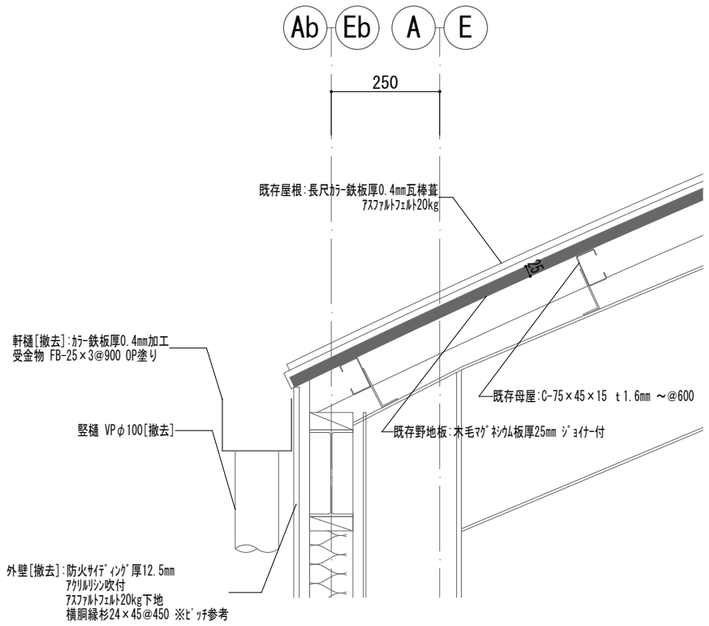


B-B断面図 1/30

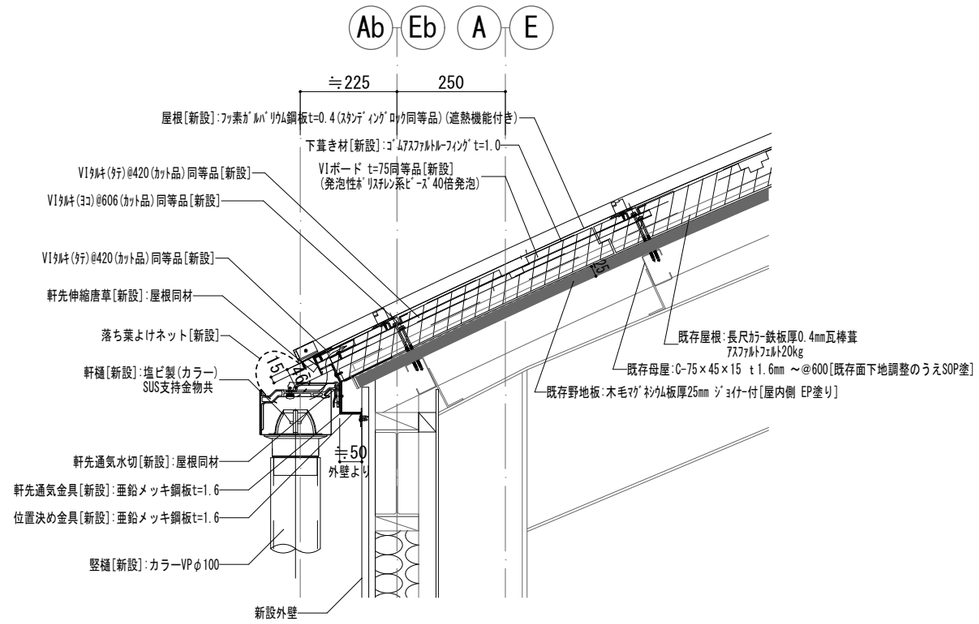
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_床置ACスペース(器具庫側) 詳細図[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:30	作成日 2026年6月4日			A-80

屋内運動場 大屋根軒先詳細図　1/10

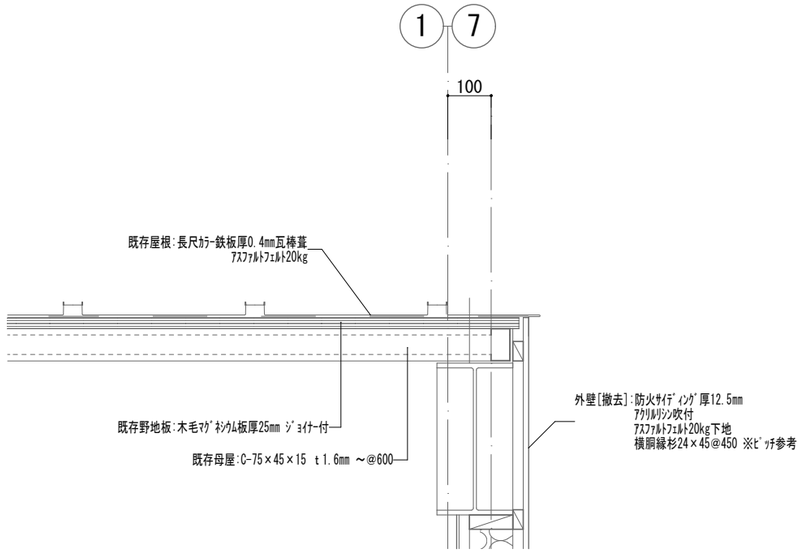


[改修前]

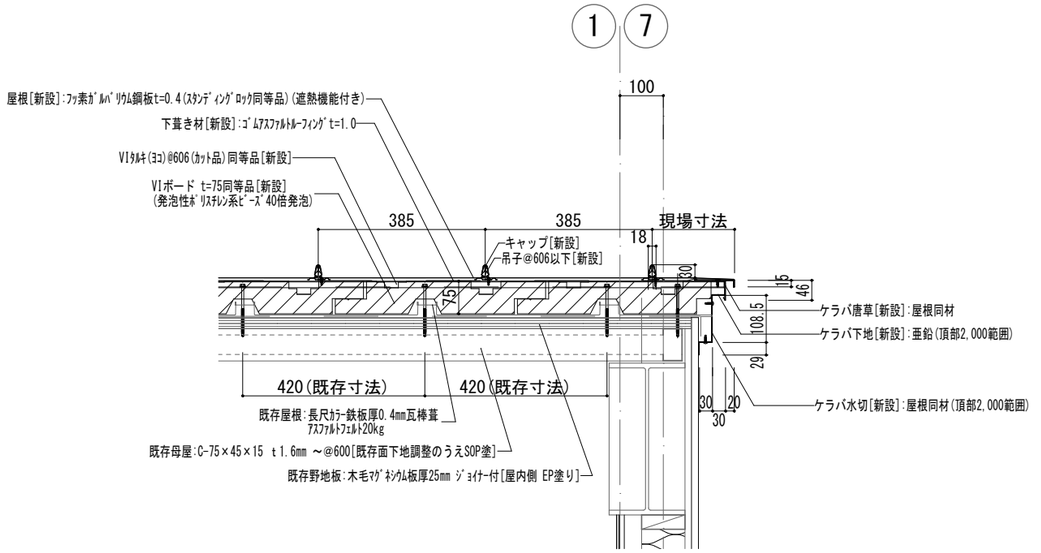


[改修後]

屋内運動場 大屋根ケラバ詳細図　1/10



[改修前]

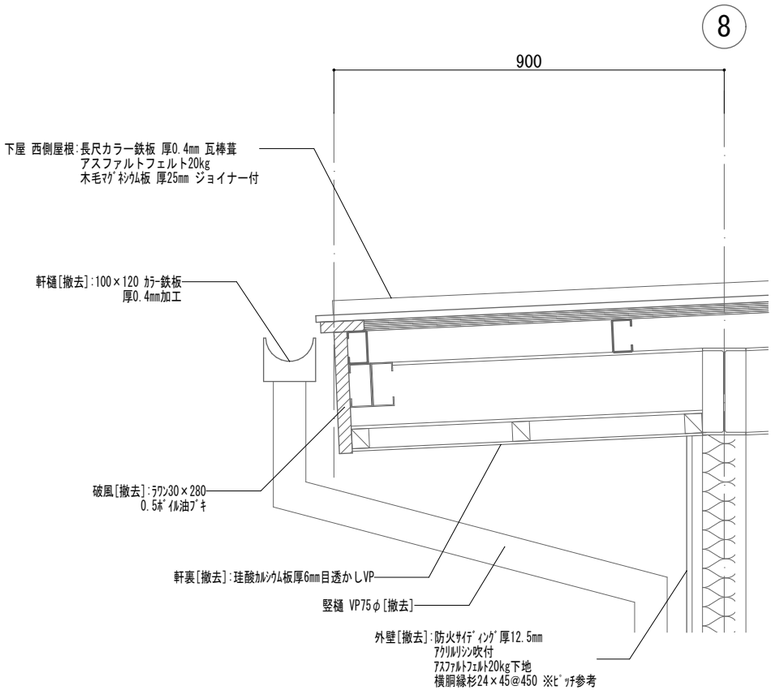


[改修後]

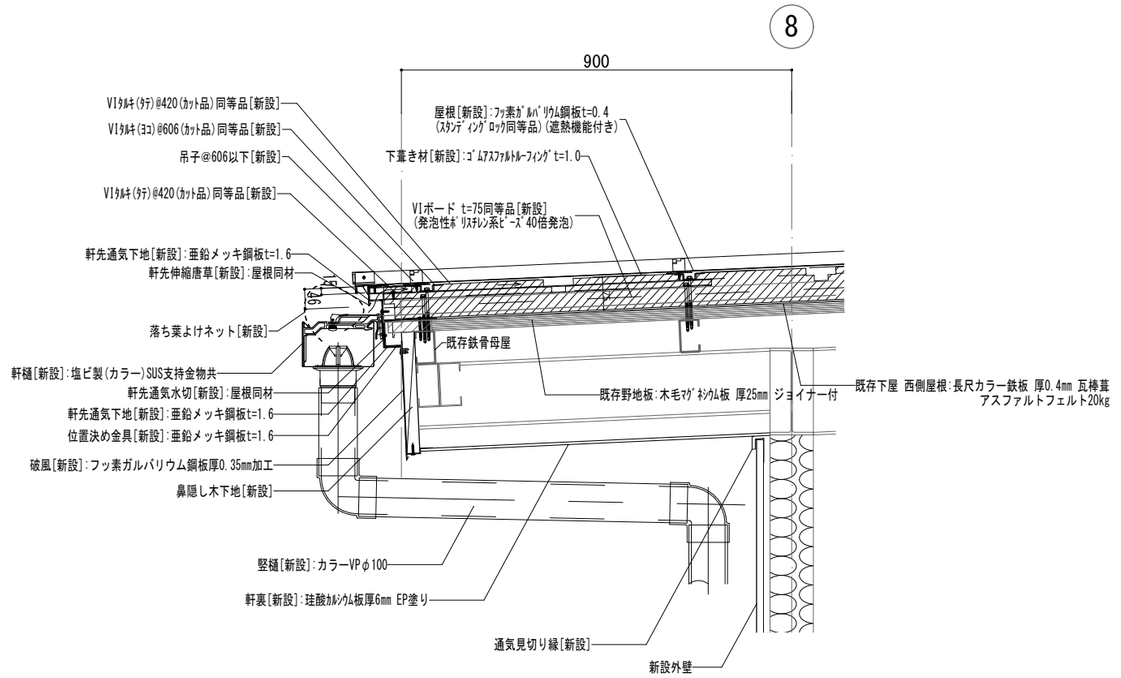
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 屋内運動場_部分詳細図(9)[改修前・改修後]		承認	作成者	図面番号 A-81
縮尺 A2＝1:10	作成日 2026年6月4日			

屋内運動場 下屋　西側屋根　軒先詳細図　1/10

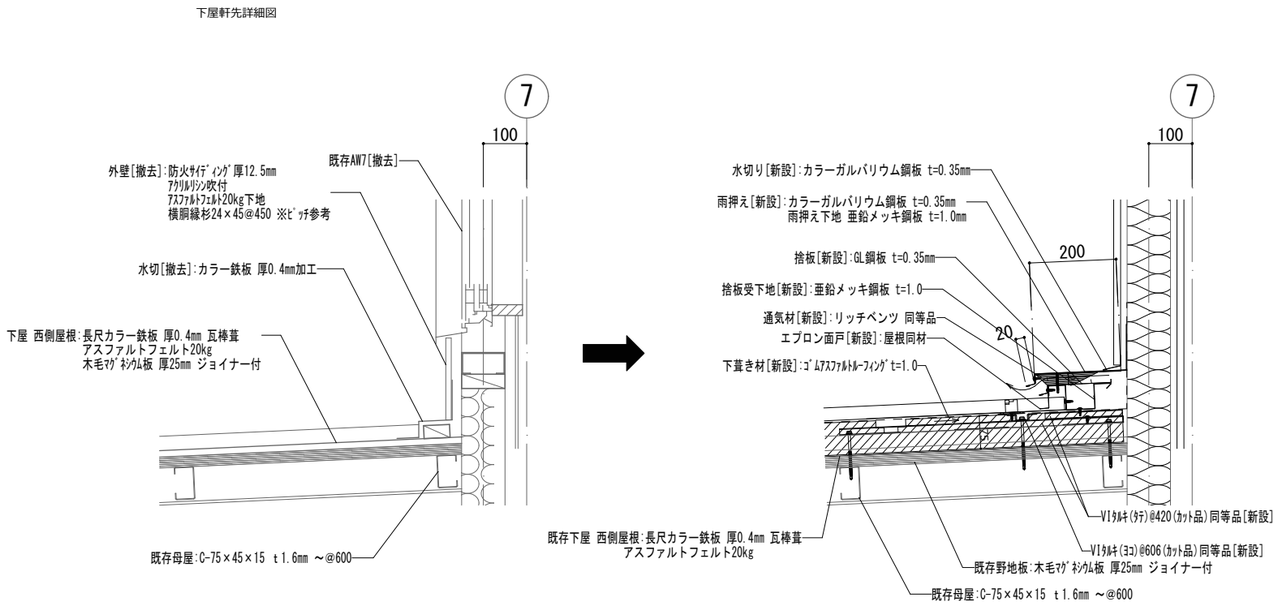


[改修前]



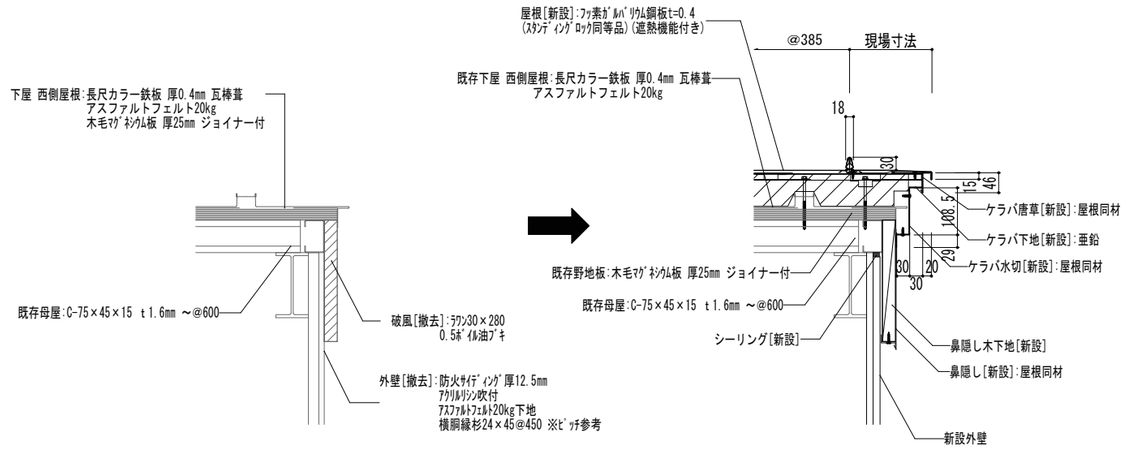
[改修後]

屋内運動場 下屋 西側屋根 軒先詳細図　1/10



[改修前]　　[改修後]

屋内運動場 下屋 西側屋根 ケラバ詳細図　1/10

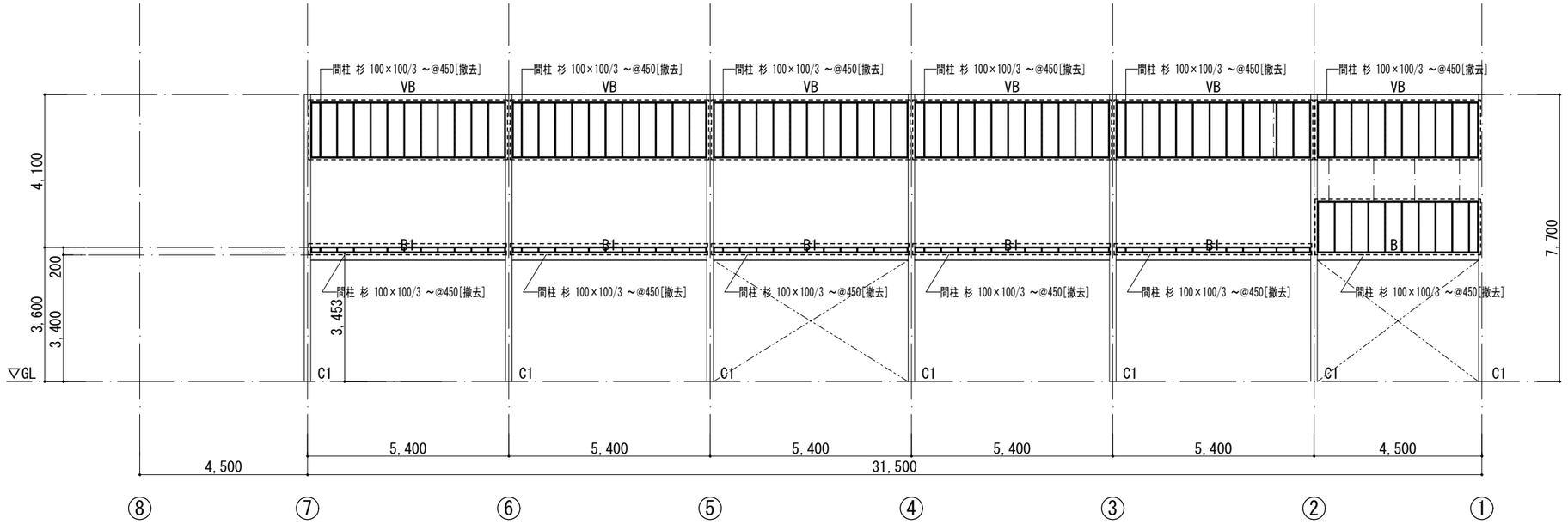


[改修前]　　[改修後]

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

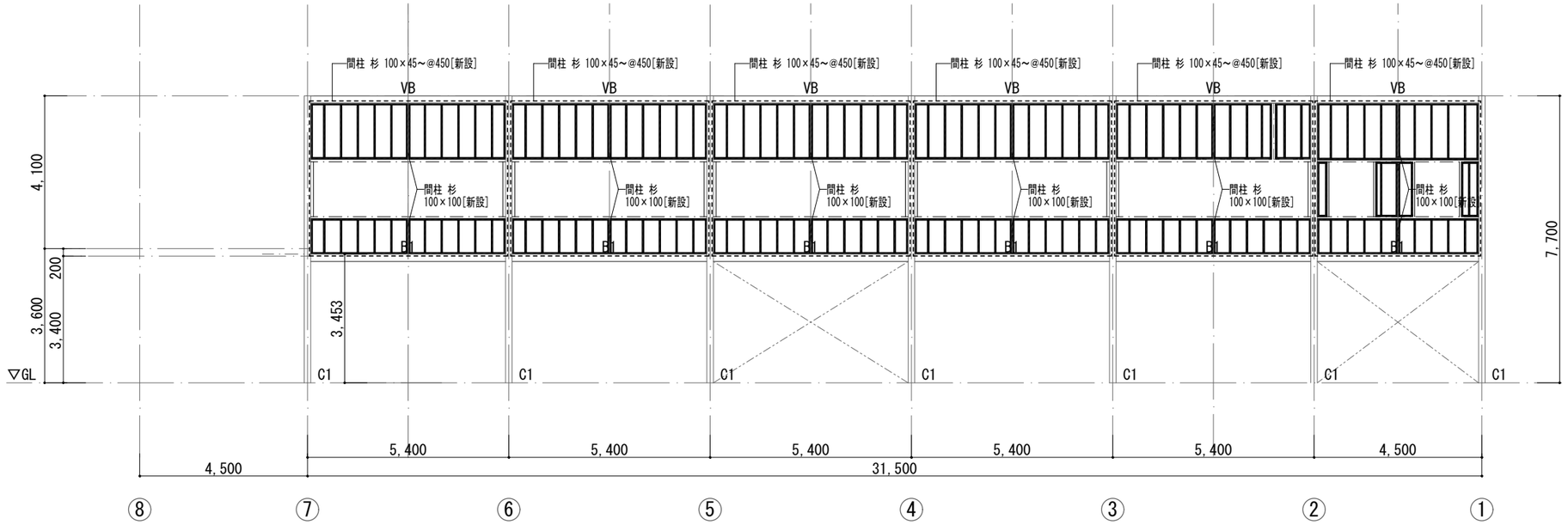
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	屋内運動場_部分詳細図(10)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺 A2＝1:10	作成日 2026年6月4日			A-82

改修前



Ab通り 1/100

改修後



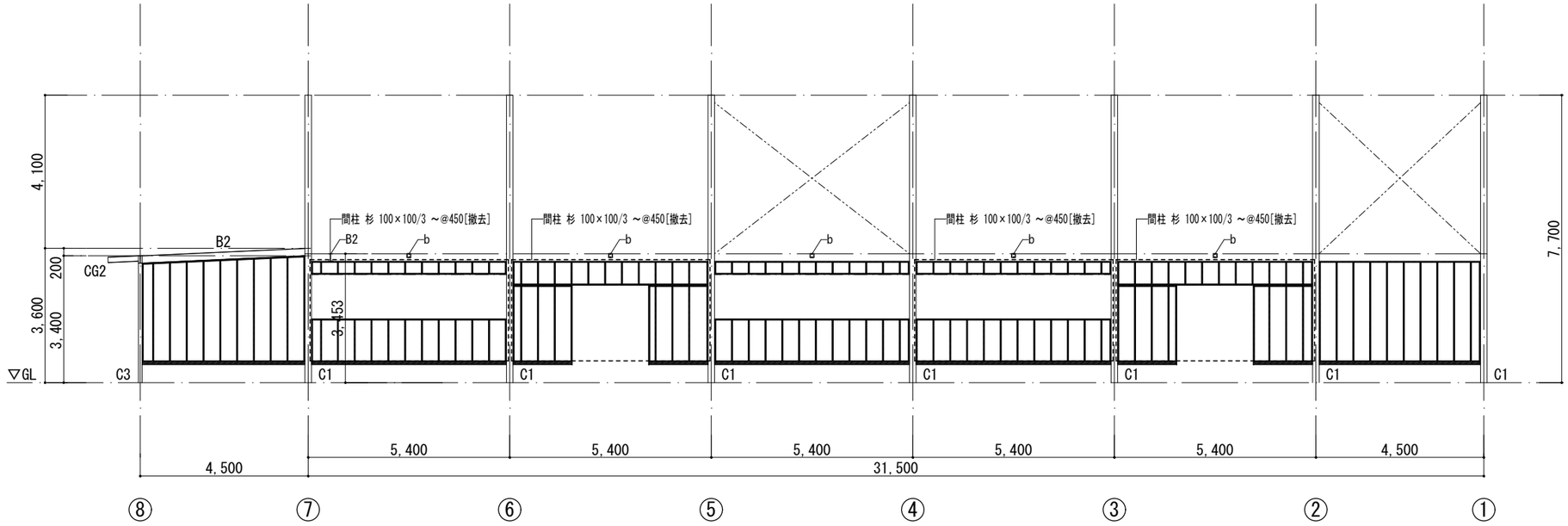
Ab通り 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木間柱 割付参考図(1)[改修前･改修後]	承認	作成者
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日

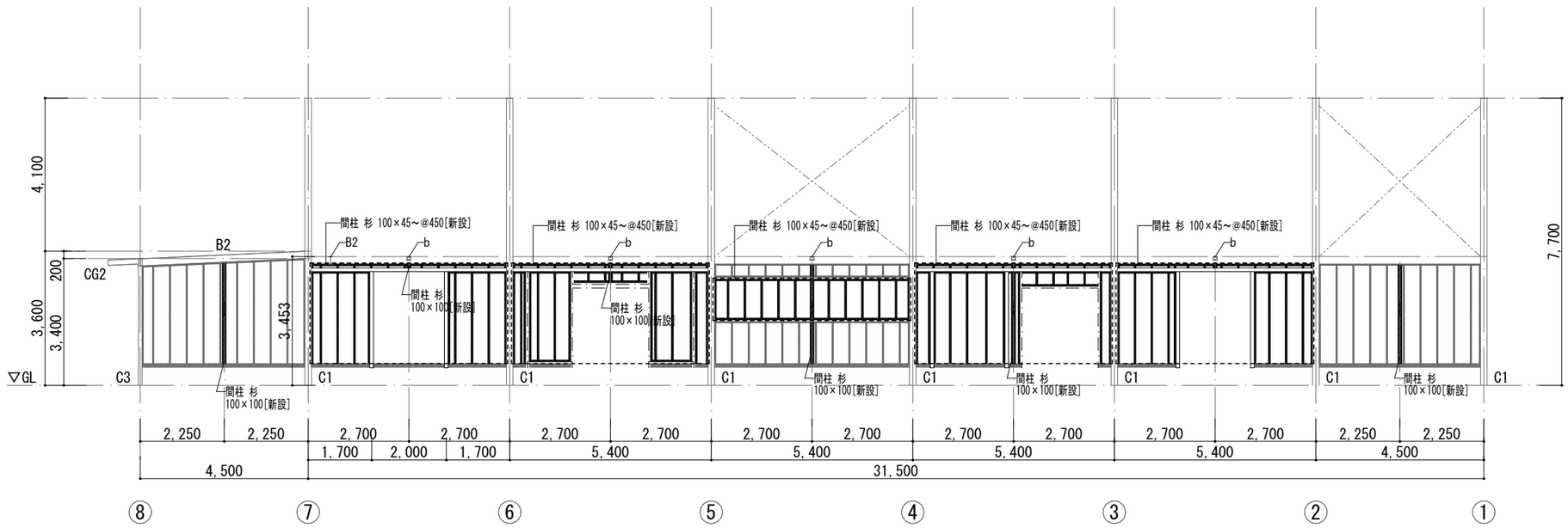
図面番号 A-83

改修前



A通り 1/100

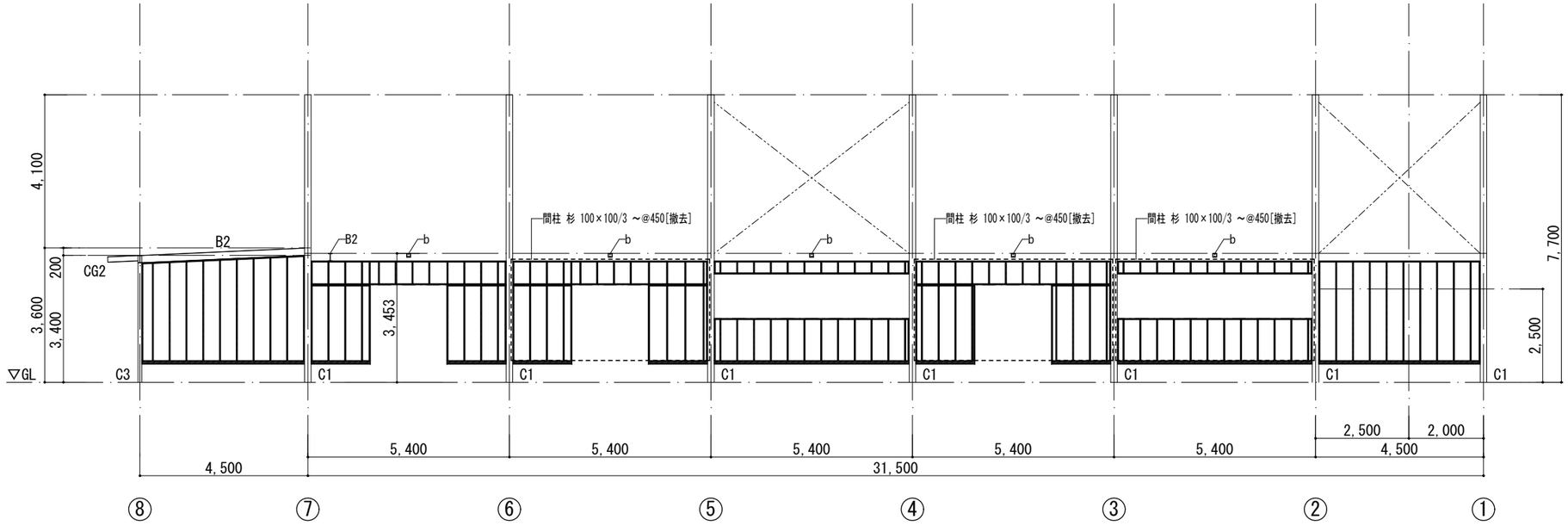
改修後



A通り 1/100

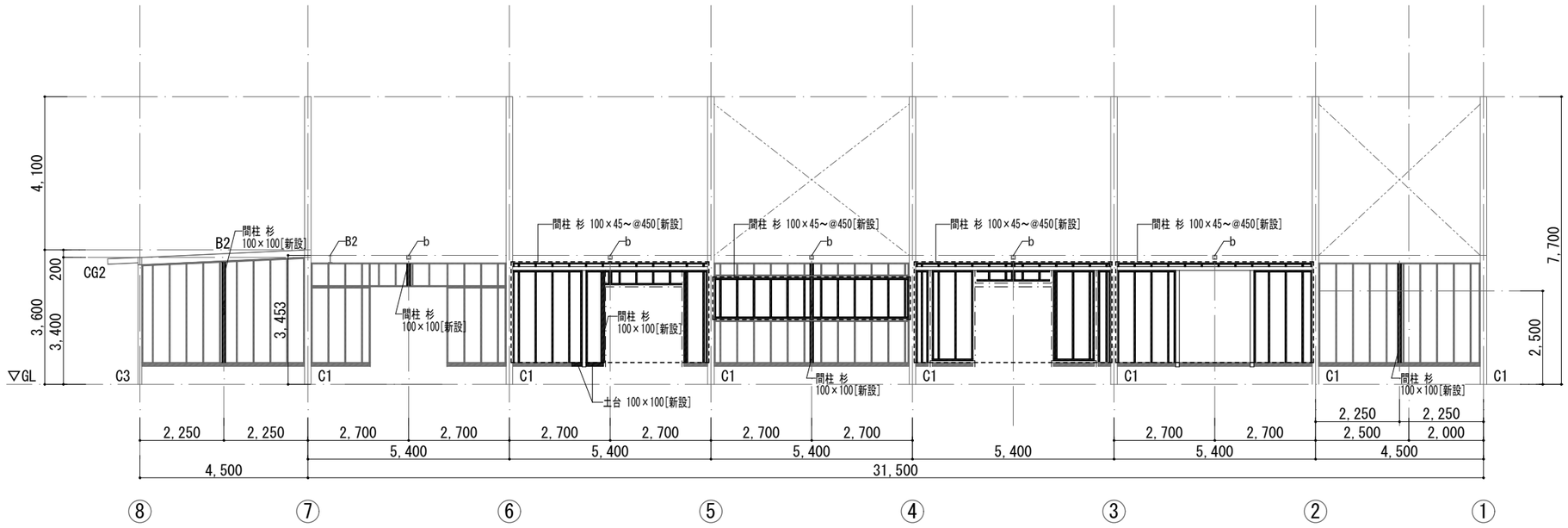
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
	図面名 木間柱 割付参考図(2)[改修前･改修後]	承認	作成者
	縮尺 A2＝1:100 / 作成日 2026年6月4日		図面番号 A-84

改修前



E通り 1/100

改修後

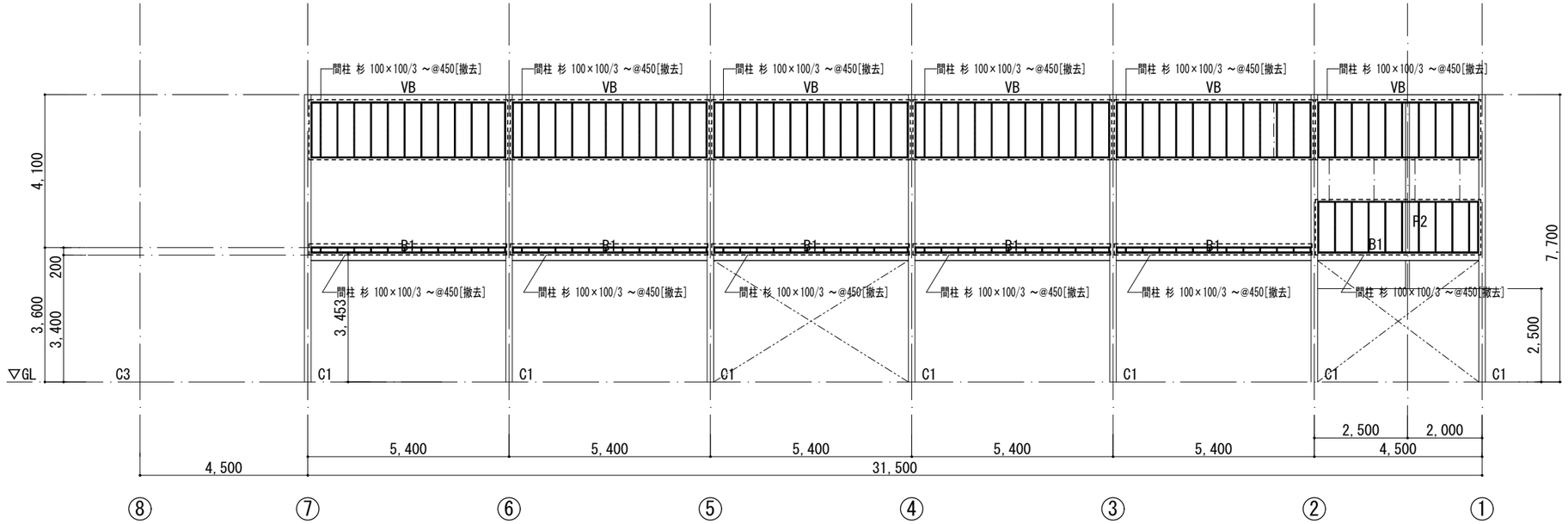


E通り 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

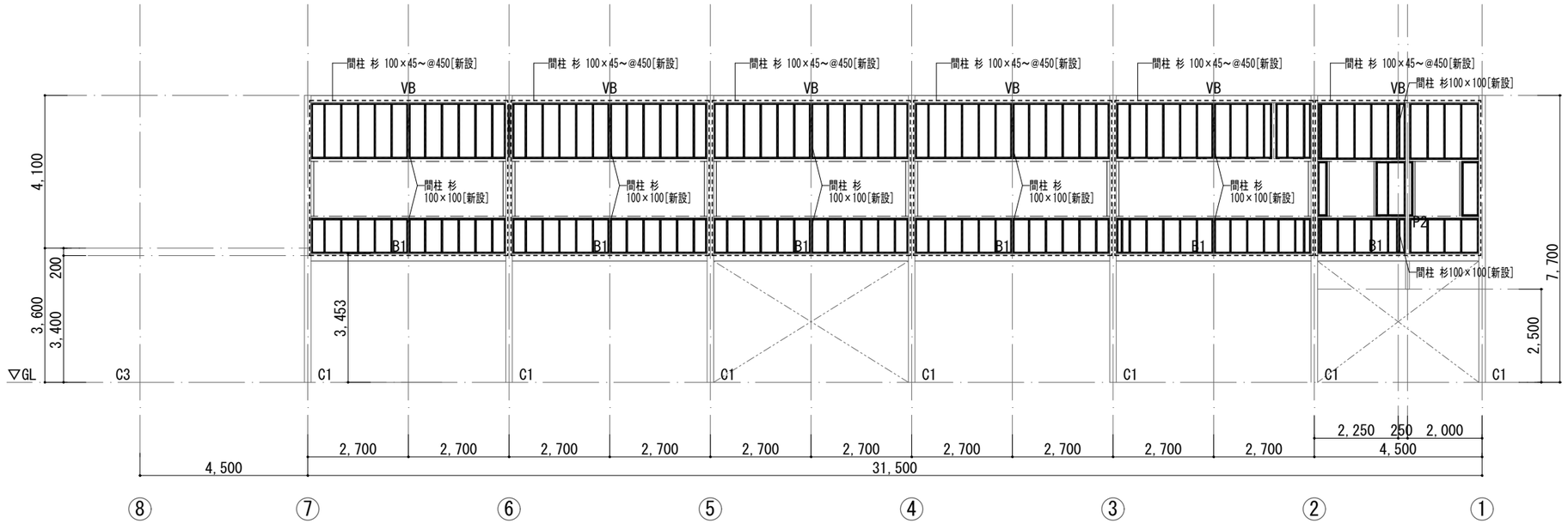
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木間柱 割付参考図(3)[改修前・改修後]	承認	作成者
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日		図面番号 A-85

改修前



Eb通り 1/100

改修後

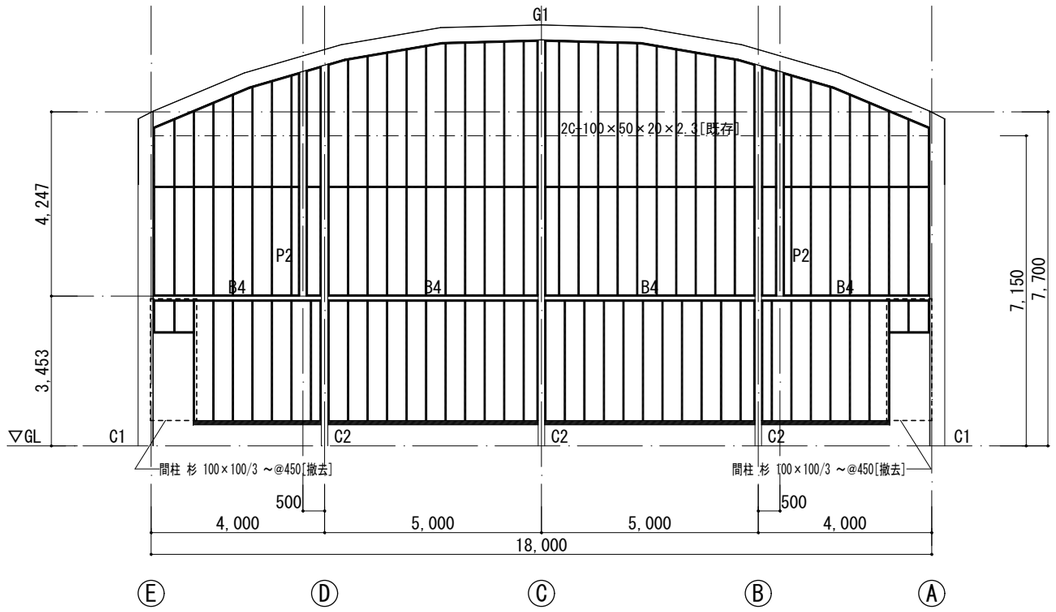


Eb通り 1/100

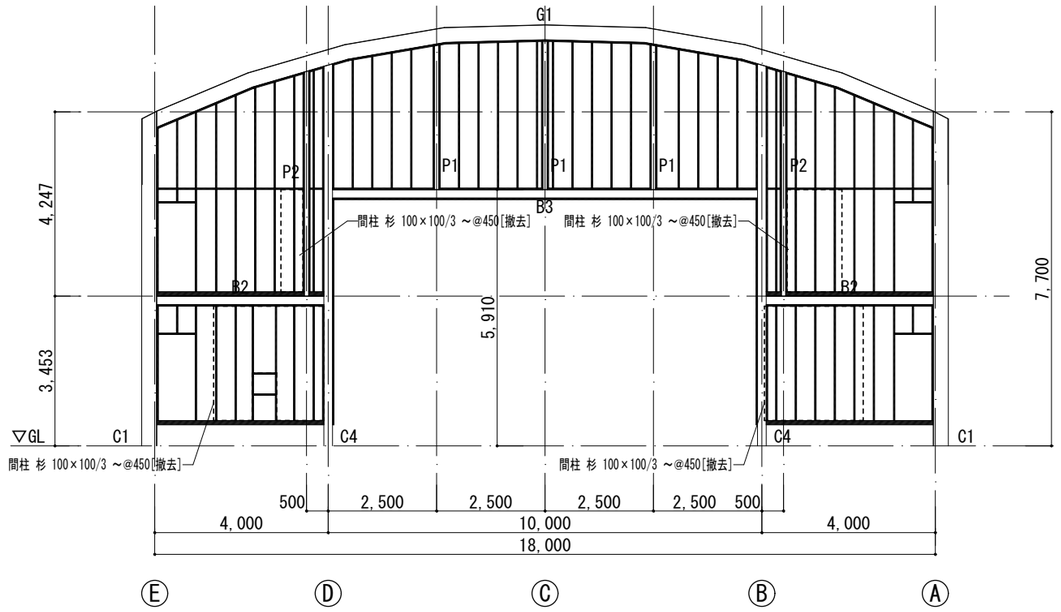
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木間柱 割付参考図(4)[改修前･改修後]	承認	作成者
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日		図面番号 A-86

改修前

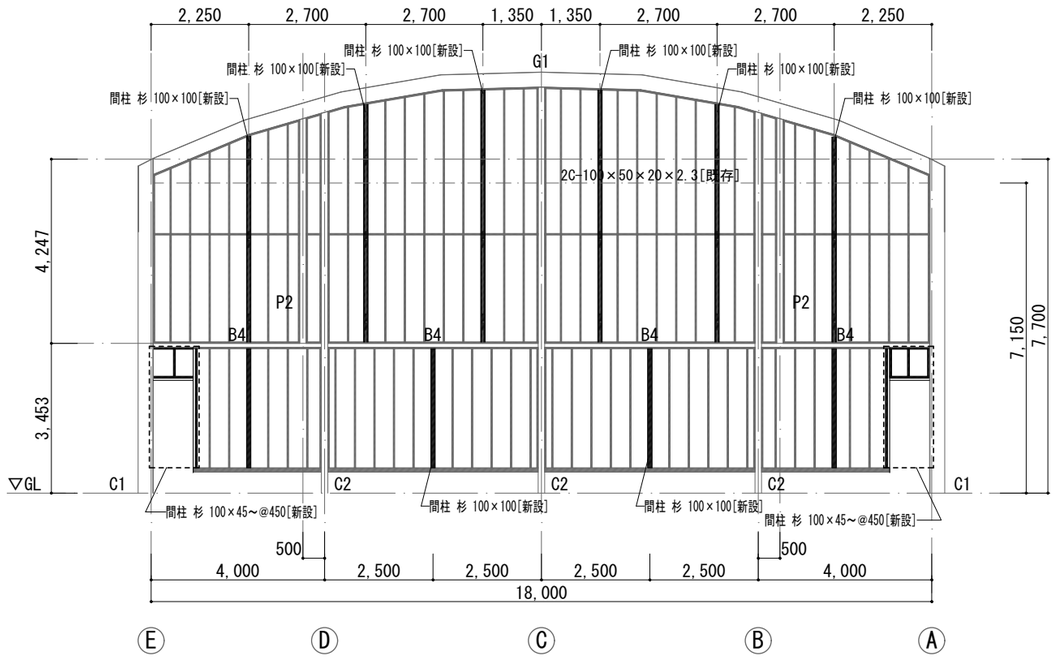


1通り 1/100

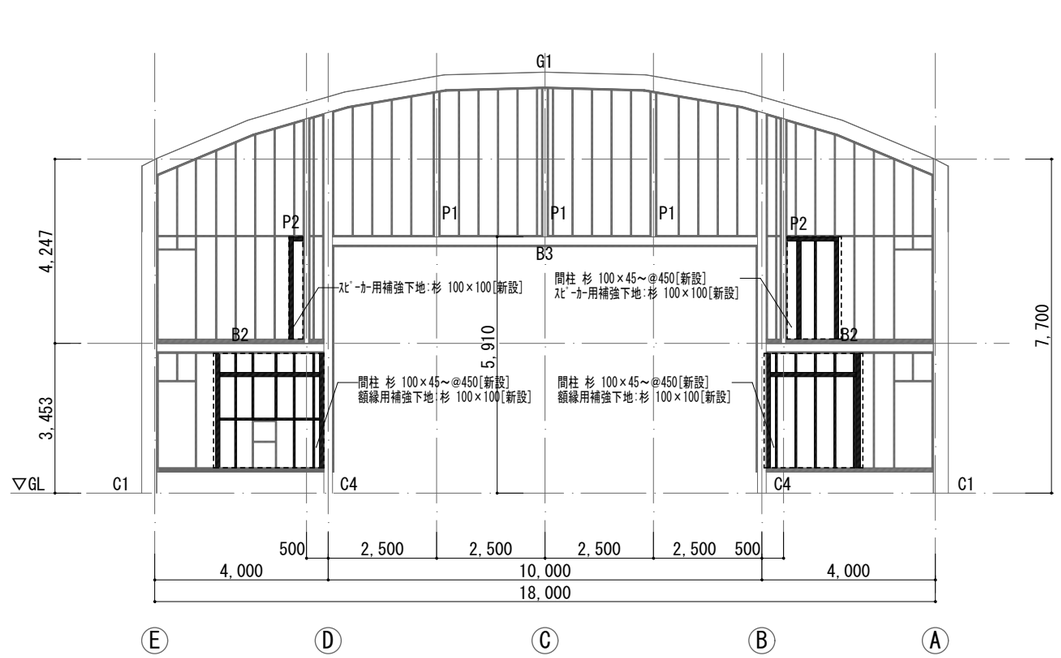


2通り 1/100

改修後



1通り 1/100

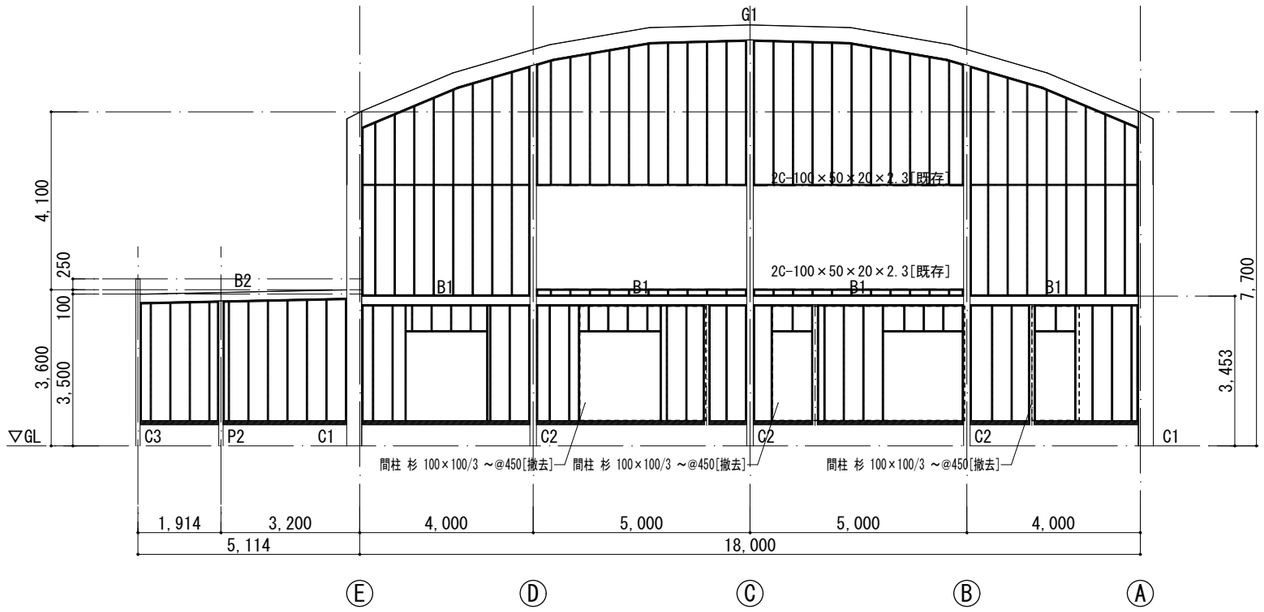


2通り 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

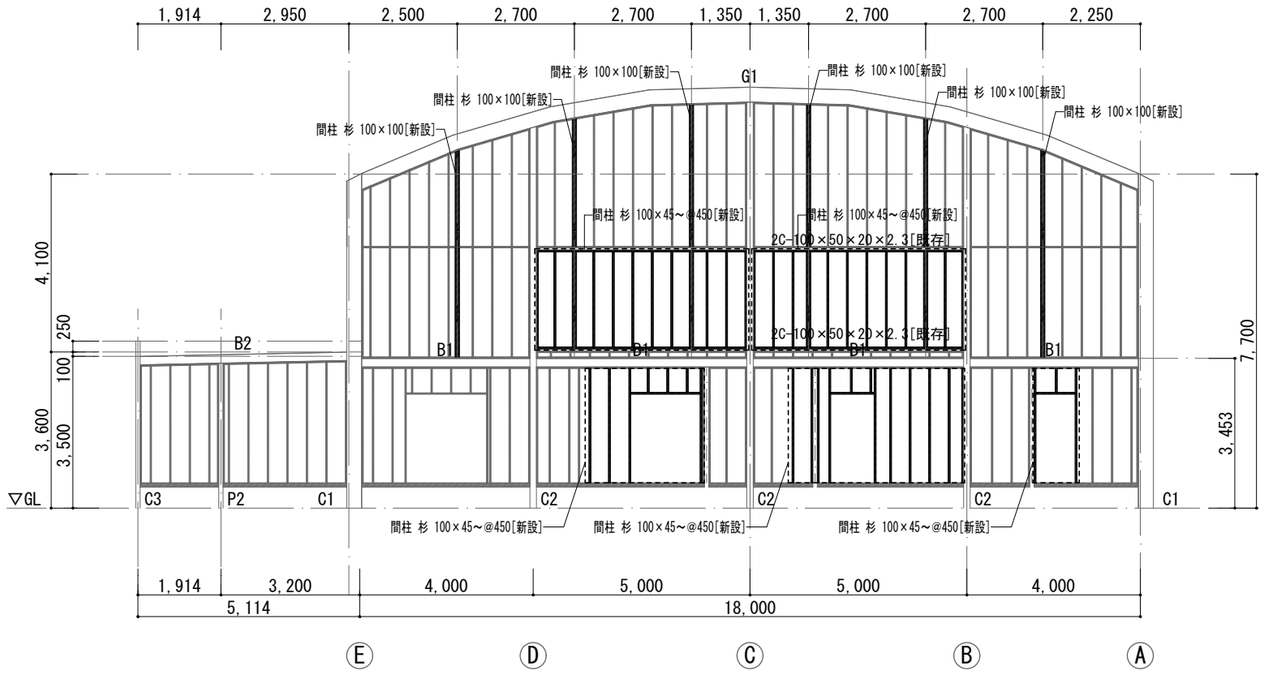
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木間柱 割付参考図(5)[改修前・改修後]	承認	作成者
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日		図面番号 A-87

改修前



7通り 1/100

改修後

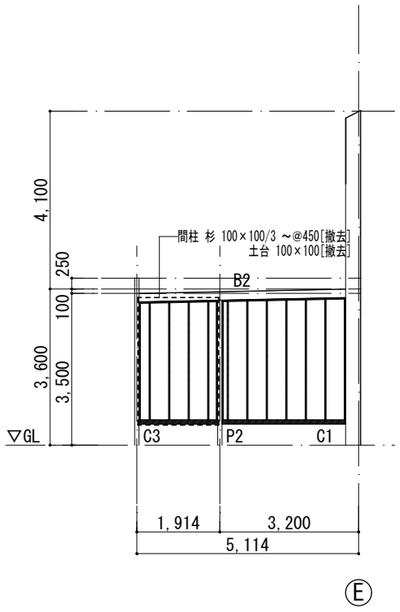


7通り 1/100

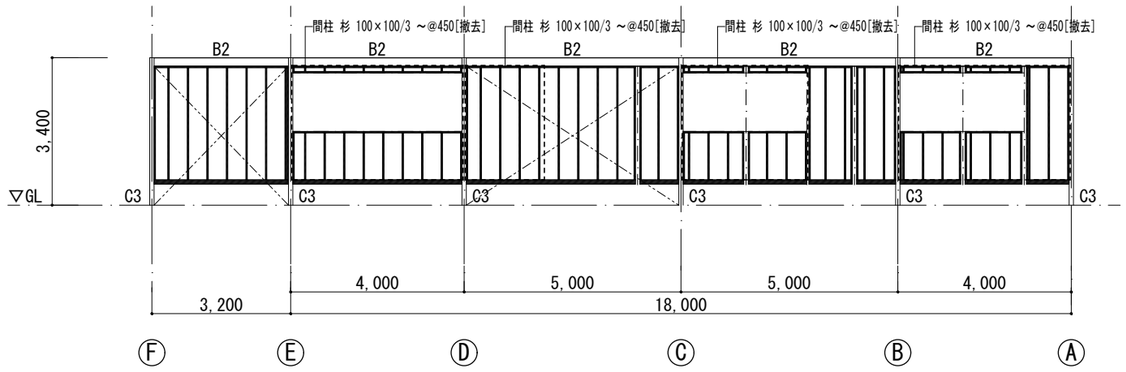
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木間柱 割付参考図(6)[改修前・改修後]	承認 / 作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日
			A-88

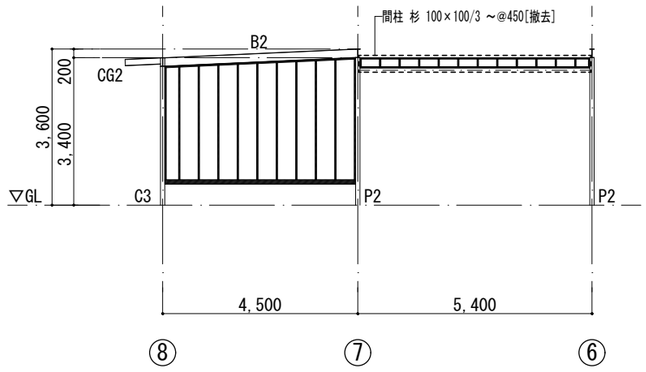
改修前



6通り 1/100

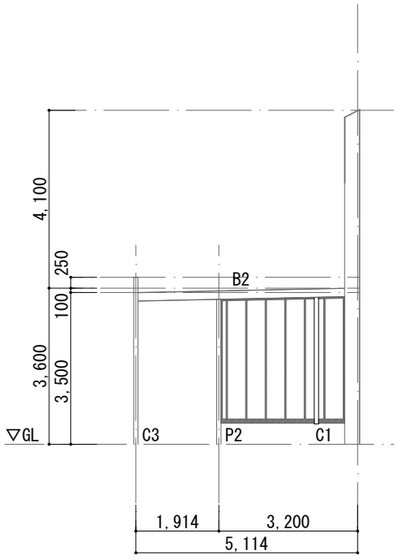


8通り 1/100

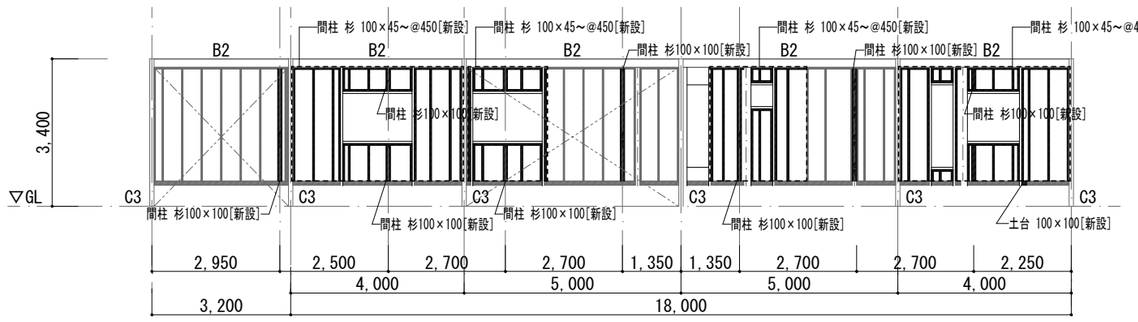


F通り 1/100

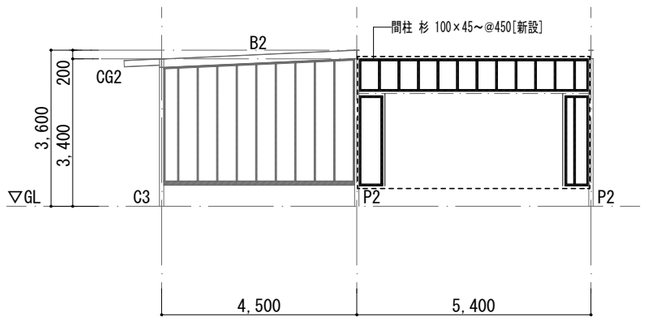
改修後



6通り軸組図 1/100



8通り 1/100



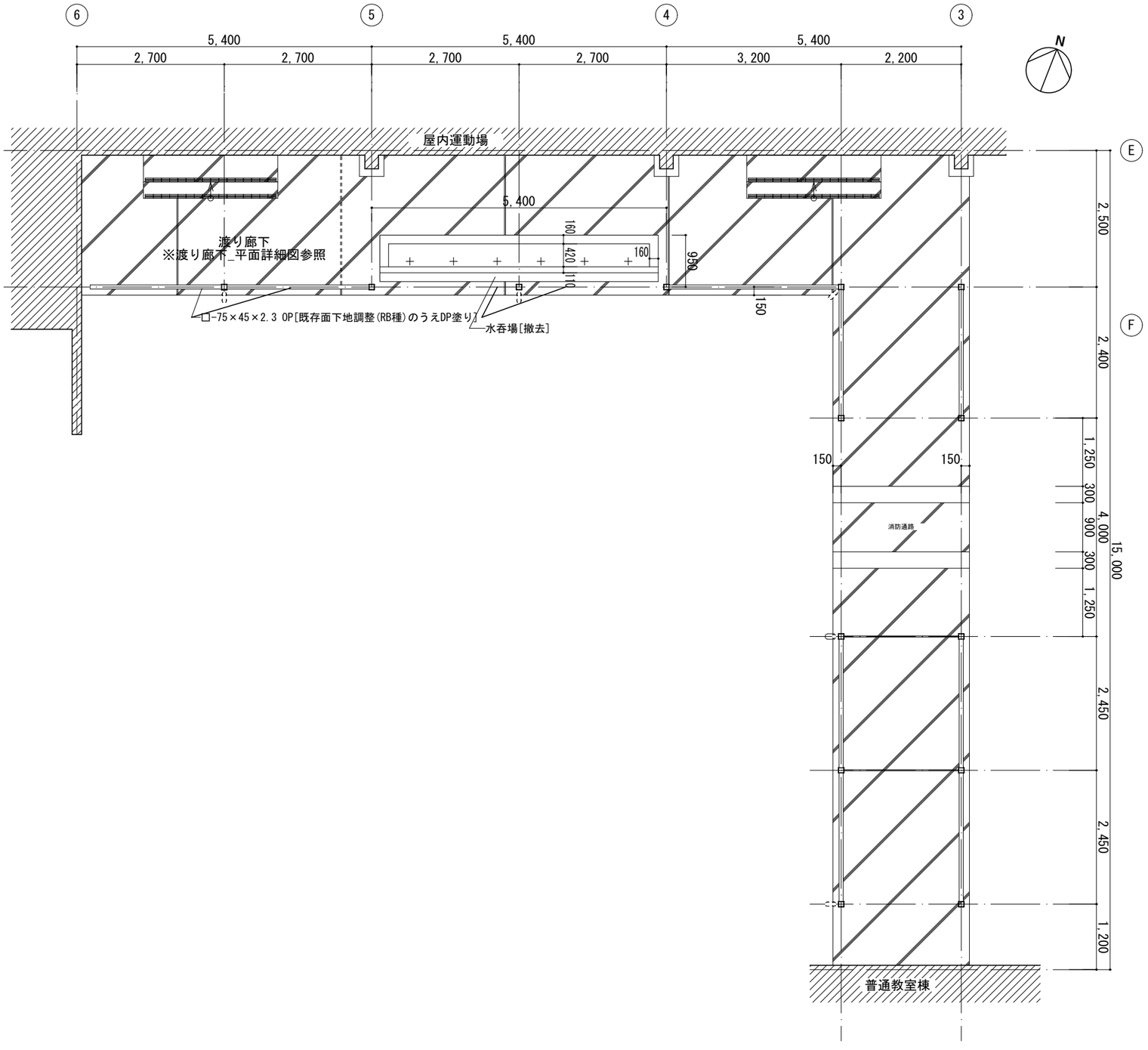
F通り 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

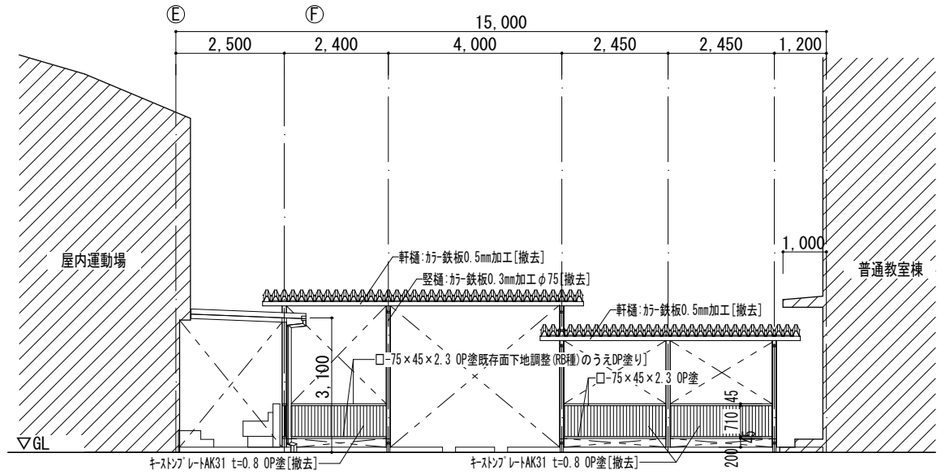
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	木間柱 割付参考図(7)[改修前・改修後]	承認	作成者
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日

図面番号 A-89

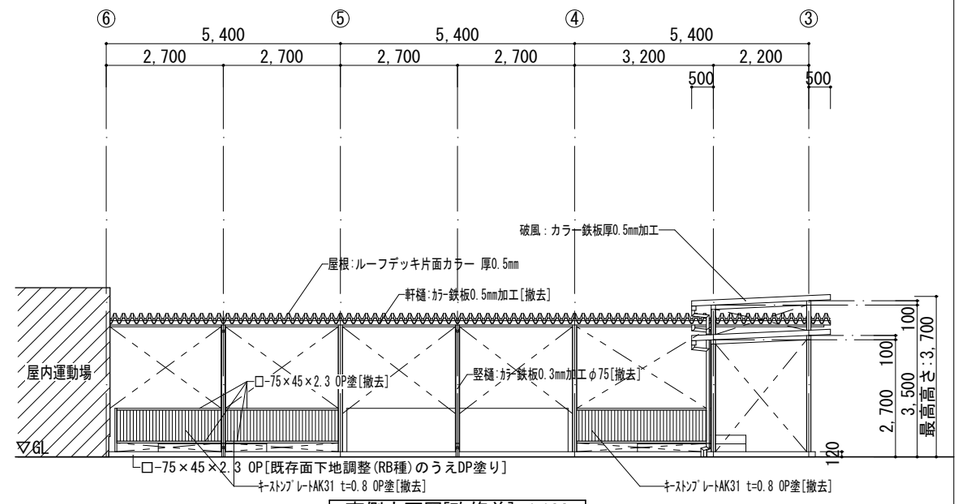
改修前



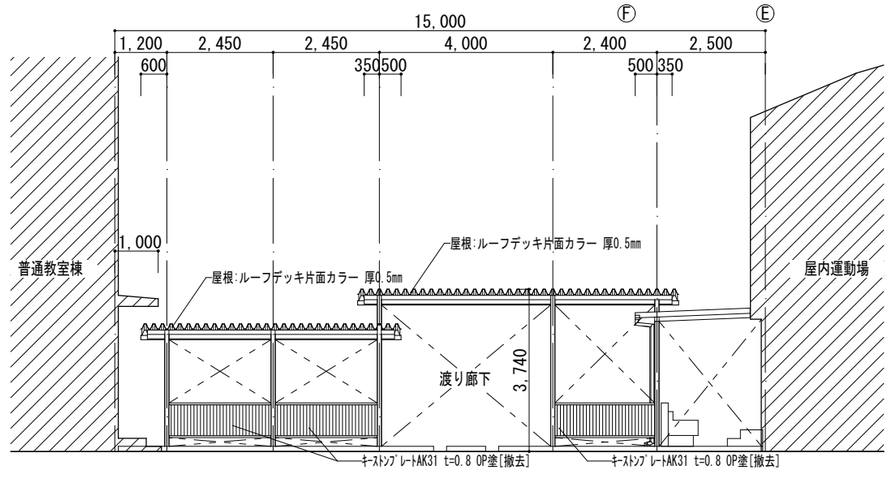
平面図詳細図[改修前] 1:60



西側立面図[改修前] 1:100



南側立面図[改修前] 1:100

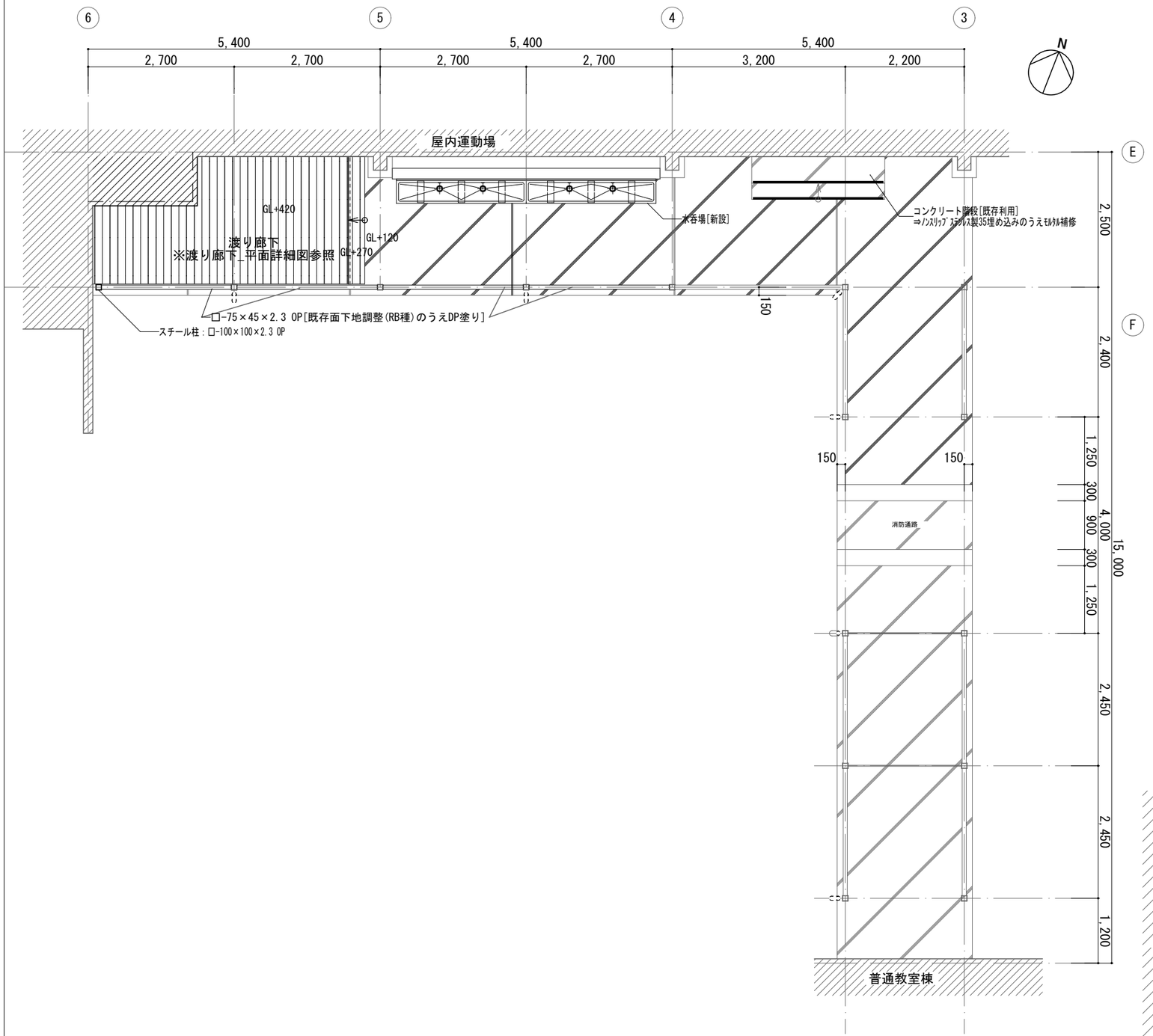


東側立面図[改修前] 1:100

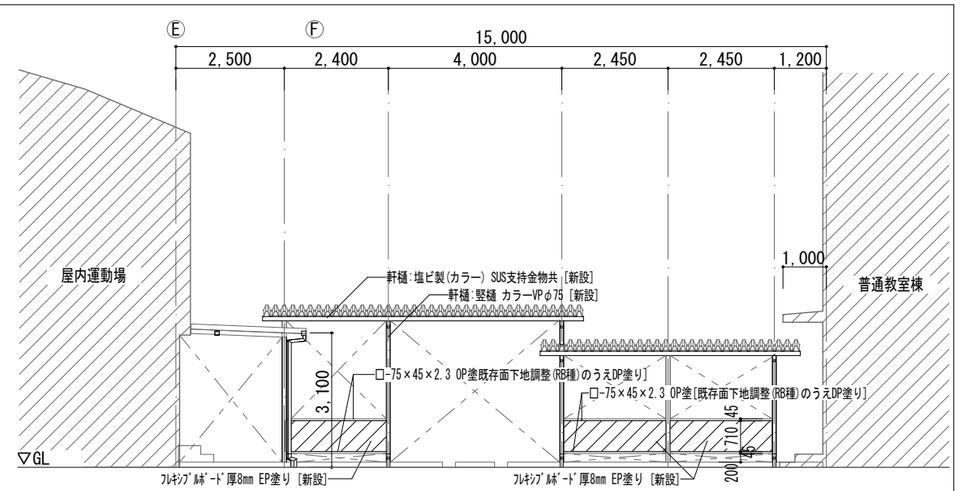
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 渡り廊下_平面詳細図／立面図[改修前]		承認	作成者	図面番号 A-90
縮尺 A2＝1:60, 1:100	作成日 2026年6月4日			

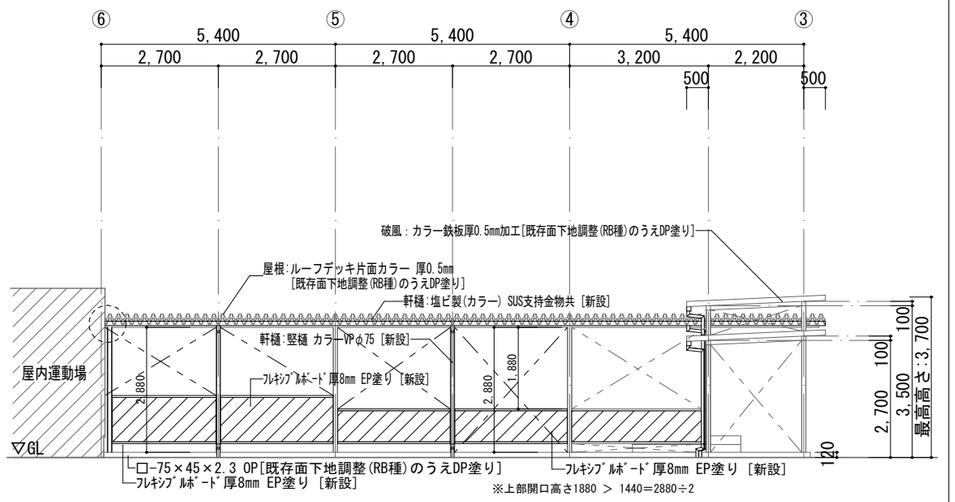
改修後



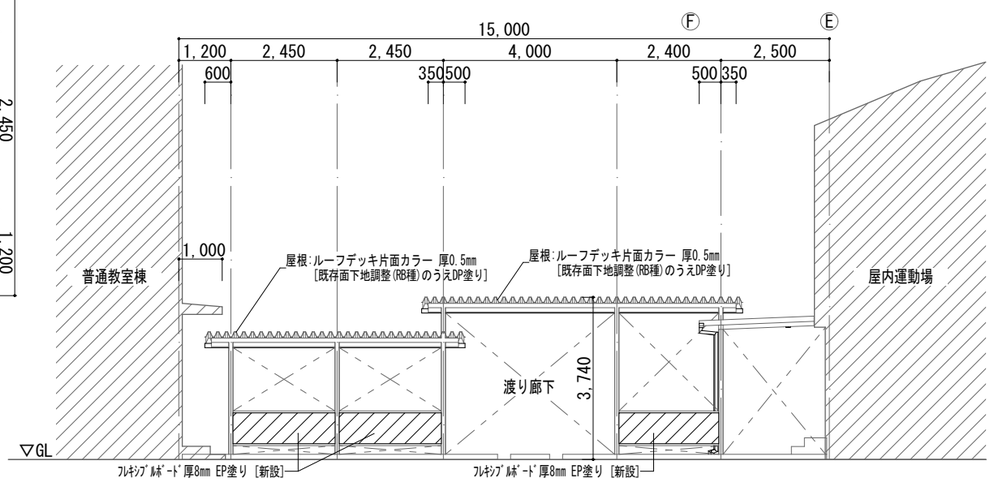
平面図詳細図[改修後] 1:60



西側立面図[改修後] 1:100



南側立面図[改修後] 1:100

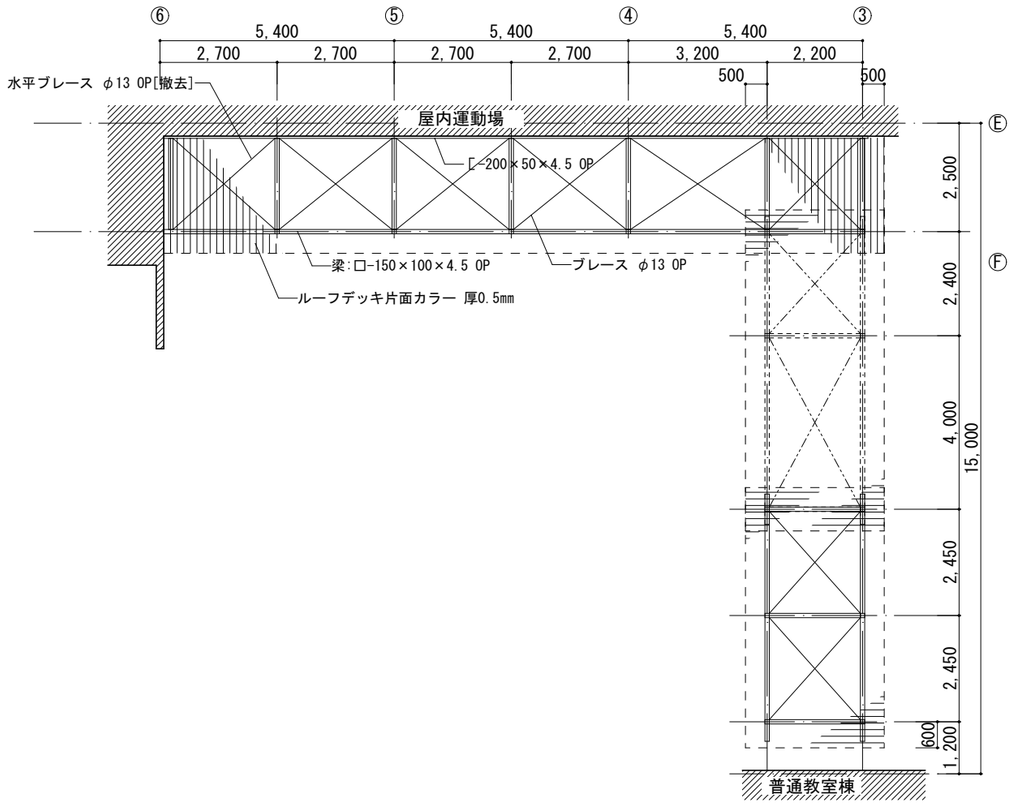


東側立面図 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

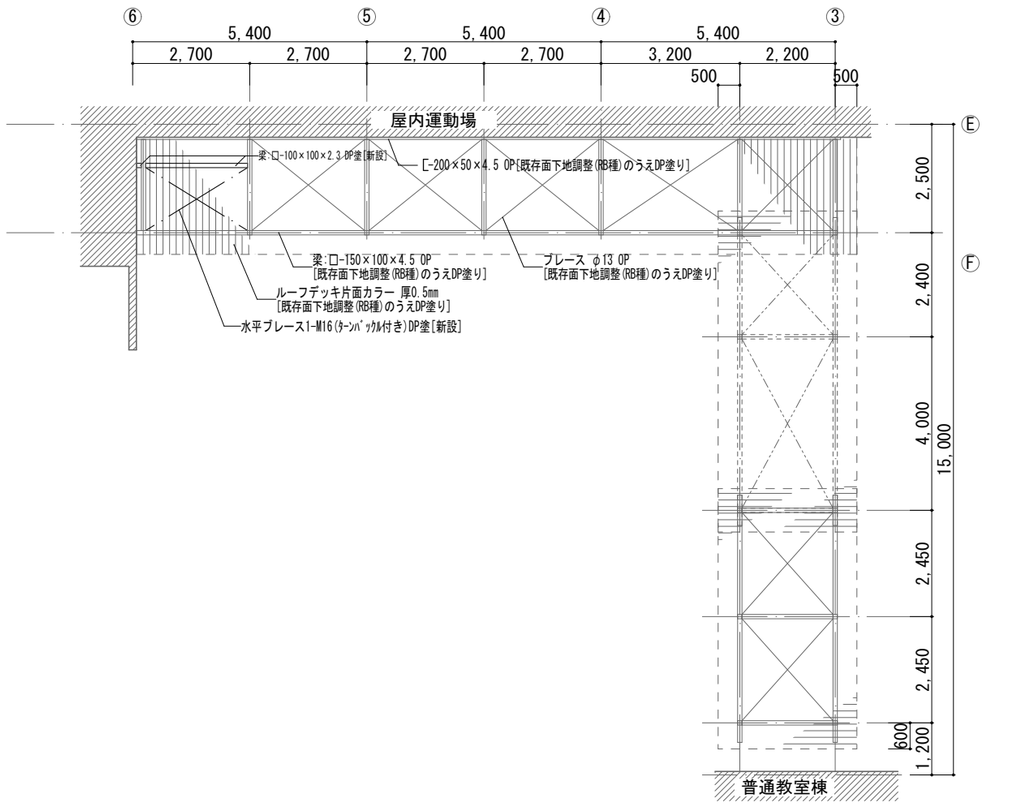
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	渡り廊下_平面詳細図／立面図[改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:60, 1:100	作成日		A-91
		2026年6月4日		

改修前



渡り廊下_屋根伏図[改修前] 1:100

改修後

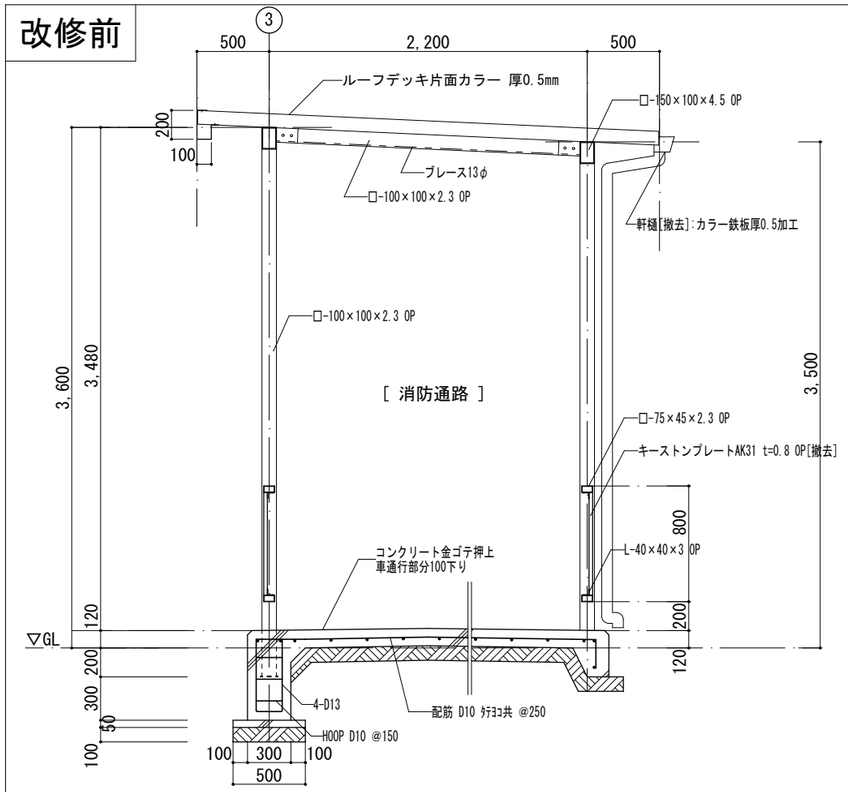


渡り廊下_屋根伏図[改修後] 1:100

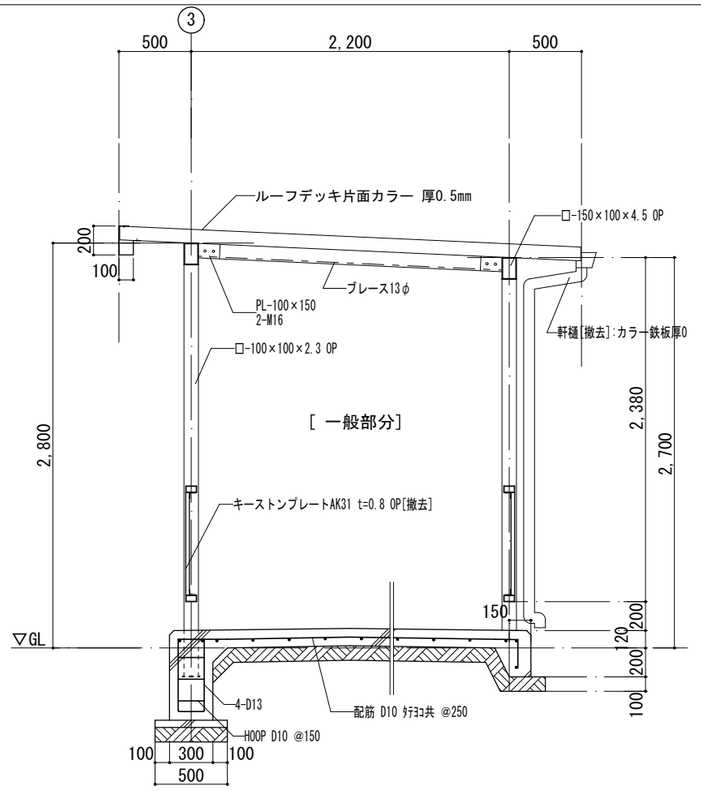
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 渡り廊下_屋根伏図[改修前・改修後]		承認	作成者	図面番号 A-92
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日			

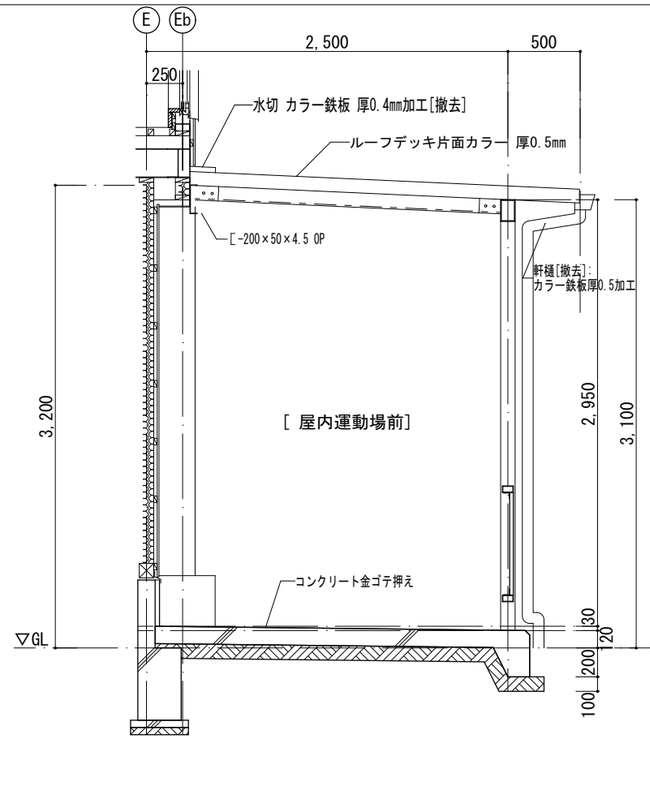
改修前



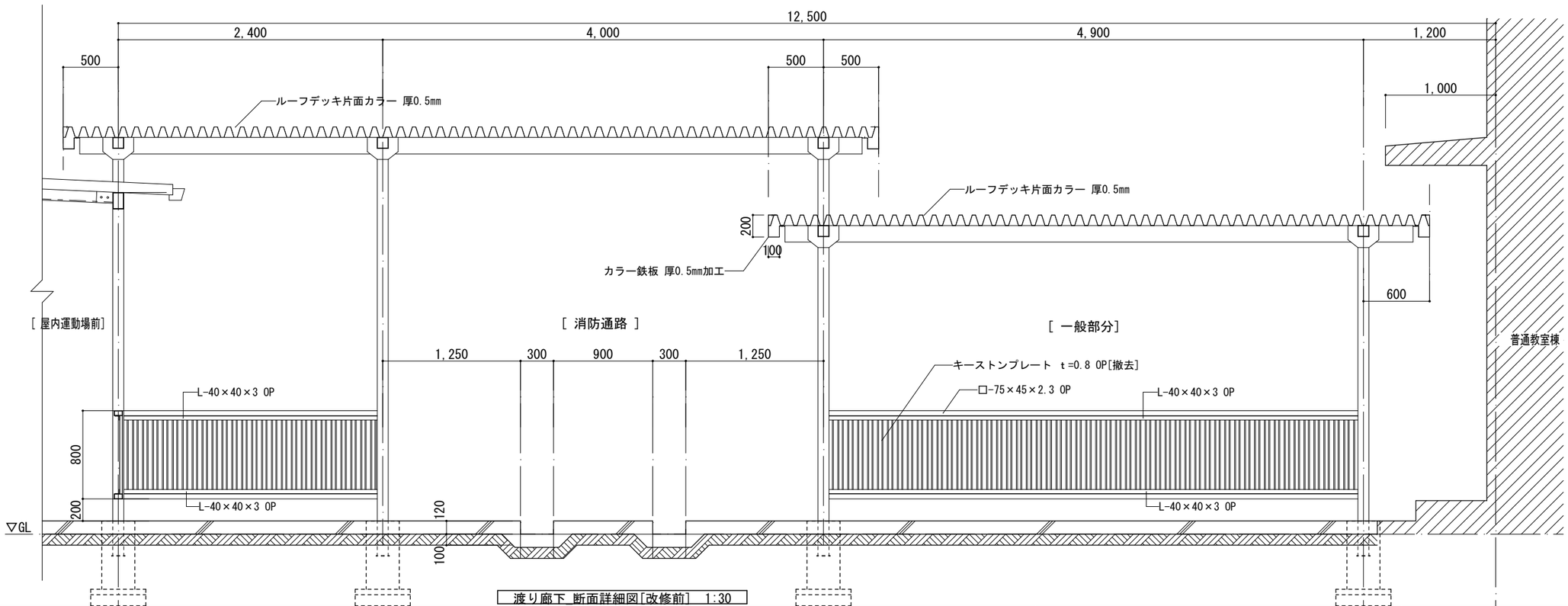
渡り廊下_消防通路_断面詳細図[改修前] 1:30



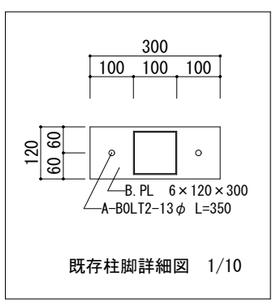
渡り廊下_一般部分_断面詳細図[改修前] 1:30



渡り廊下_屋内運動場前_断面詳細図[改修前] 1:30



渡り廊下_断面詳細図[改修前] 1:30

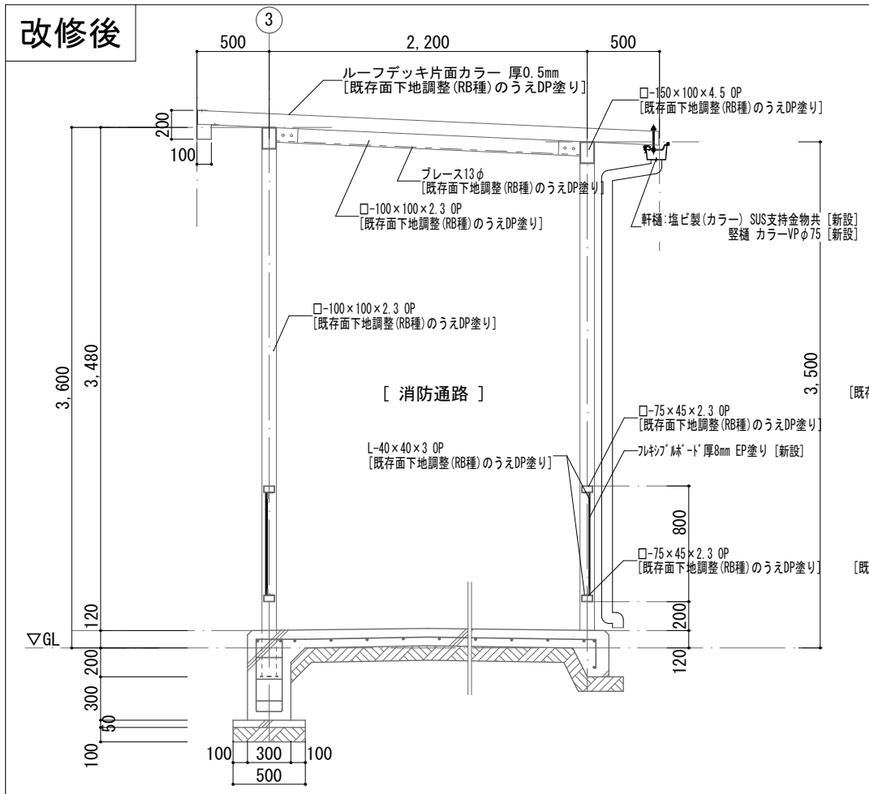


既存柱脚詳細図 1/10

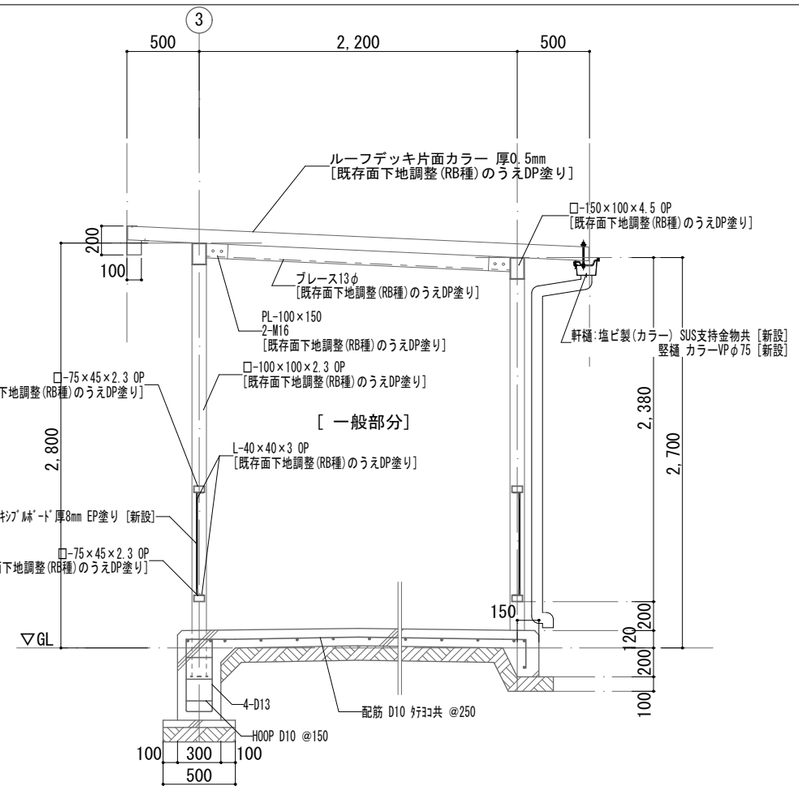
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	渡り廊下_断面詳細図[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30, 1:10	作成日		A-93
		2026年6月4日		

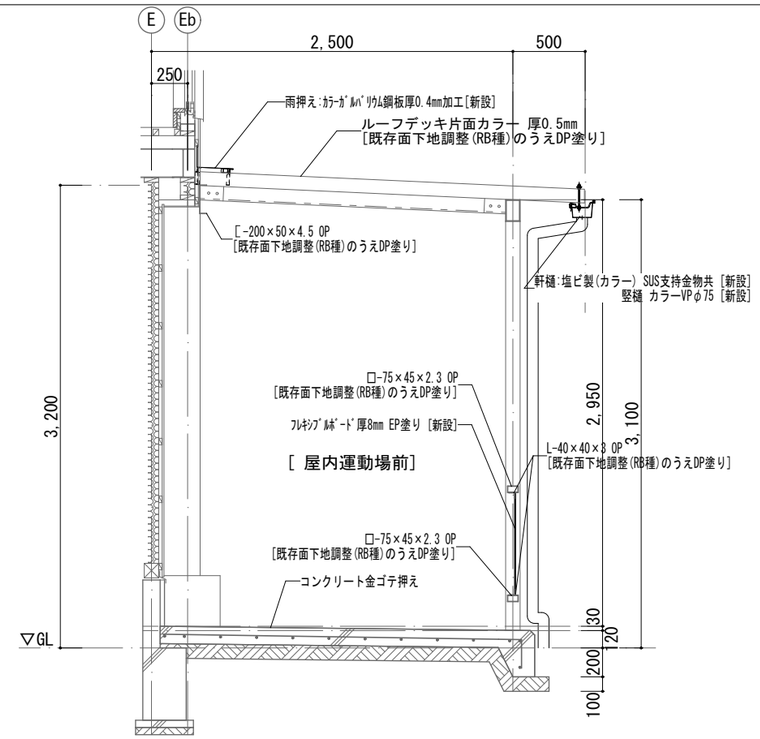
改修後



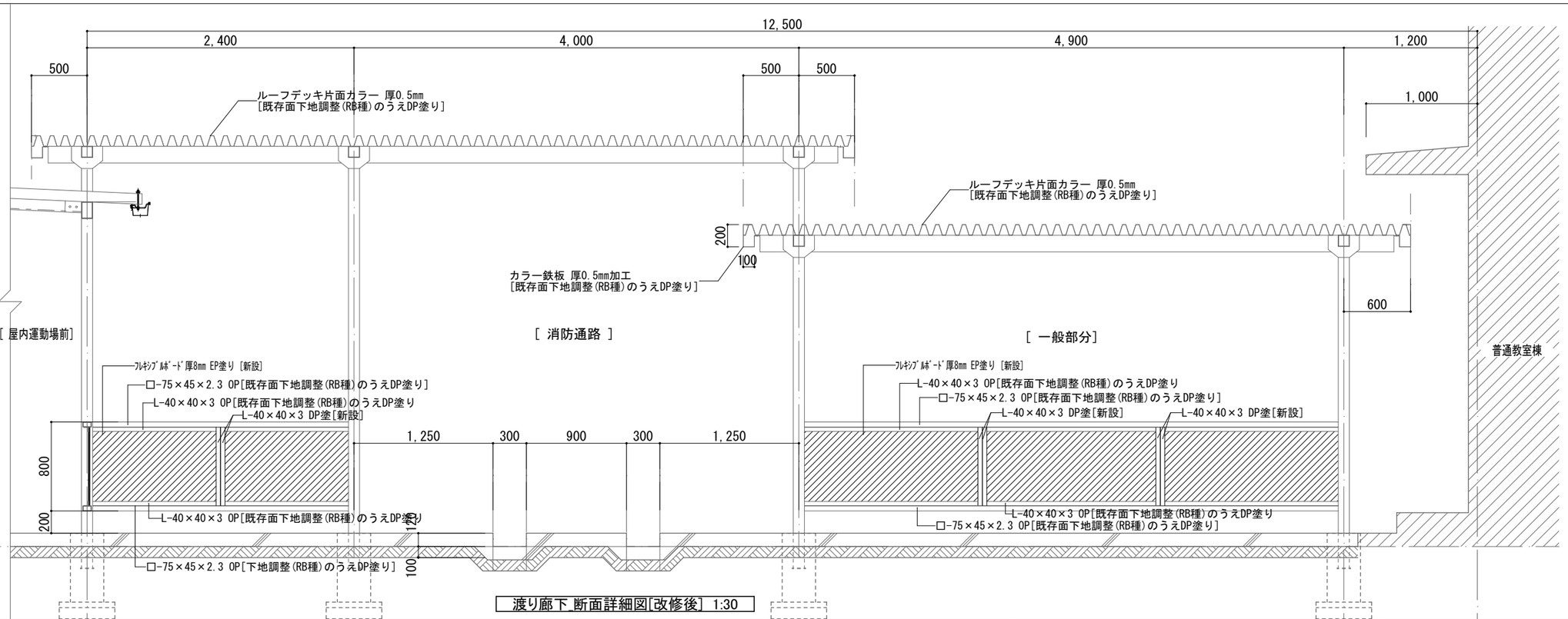
渡り廊下_消防通路_断面詳細図[改修後] 1:30



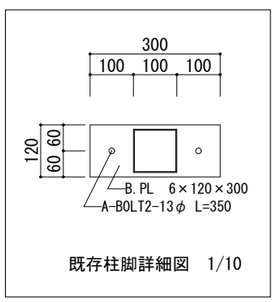
渡り廊下_一般部分_断面詳細図[改修後] 1:30



渡り廊下_屋内運動場前_断面詳細図[改修後] 1:30



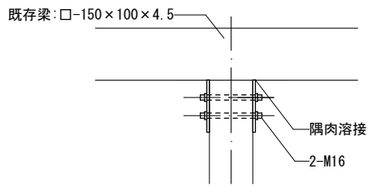
渡り廊下_断面詳細図[改修後] 1:30



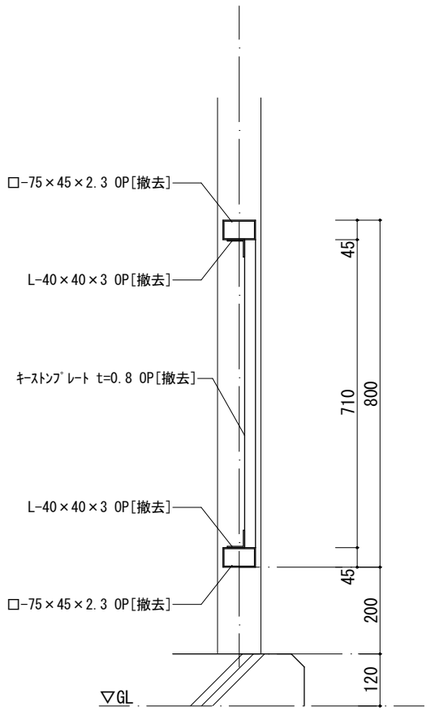
既存柱脚詳細図 1/10

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)	
	図面名	渡り廊下_断面詳細図[改修後]	承認 / 作成者 / 図面番号 A-94
	縮尺	A2＝1:10, 1:30	作成日 2026年6月4日

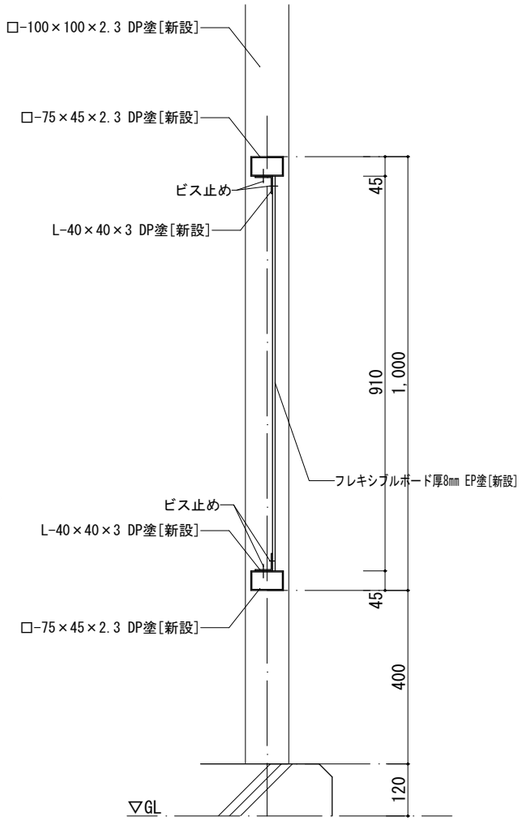
南側渡り廊下　腰壁（デッキ部）取付詳細図



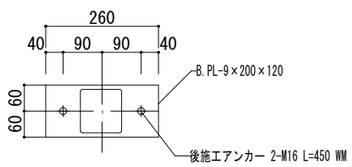
柱頭詳細図　1/10



手摺 断面図[改修前]　1/10



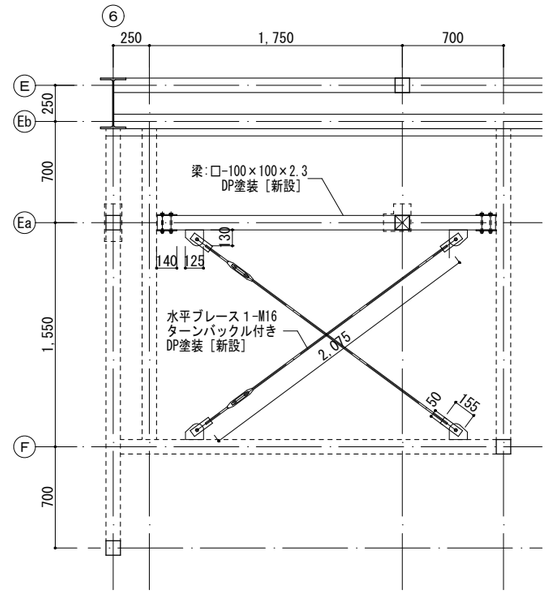
手摺 断面図[改修後]　1/10

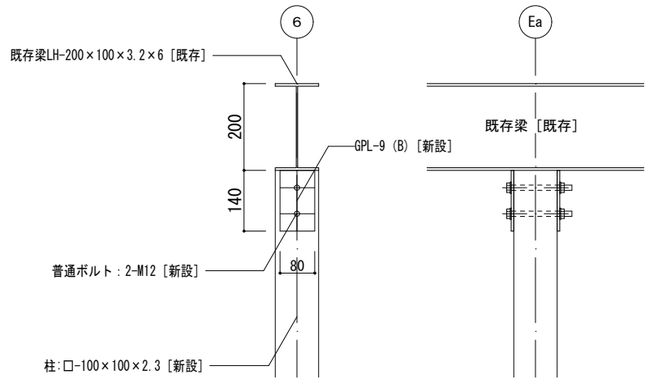


柱脚詳細図　1/10

渡り廊下　腰壁取付詳細図　1:10

南側渡り廊下　AC置き場　水平ブレース取付詳細図





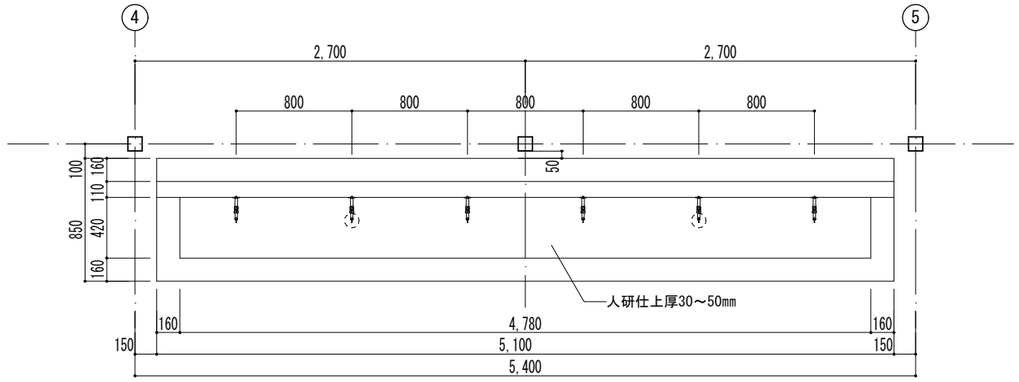
柱頭詳細図　1/10

渡り廊下　水平ブレース詳細図　1:30

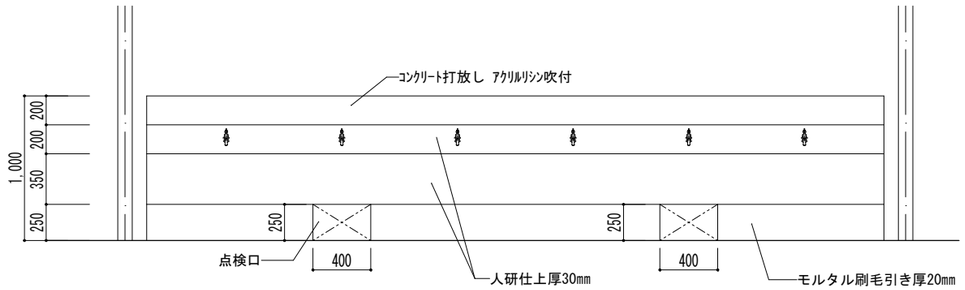
一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137　〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	渡り廊下_詳細図[改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30, 1:10	作成日	2026年6月4日	A-95

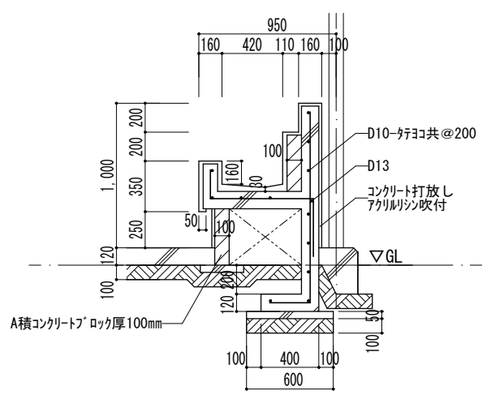
改修前



水呑場[撤去]　平面図 1/30

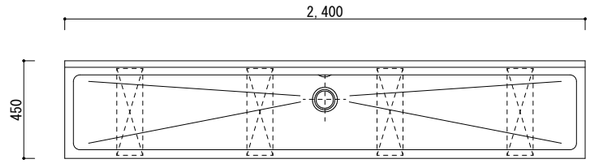


水呑場[撤去]　正面図 1/30



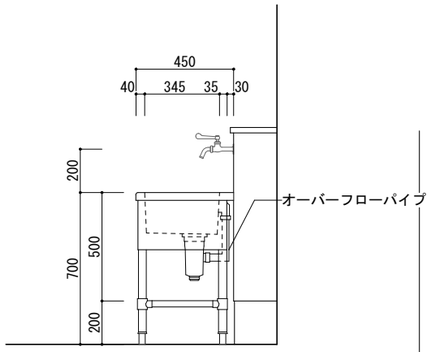
水呑場[撤去]　断面詳細図 1/30

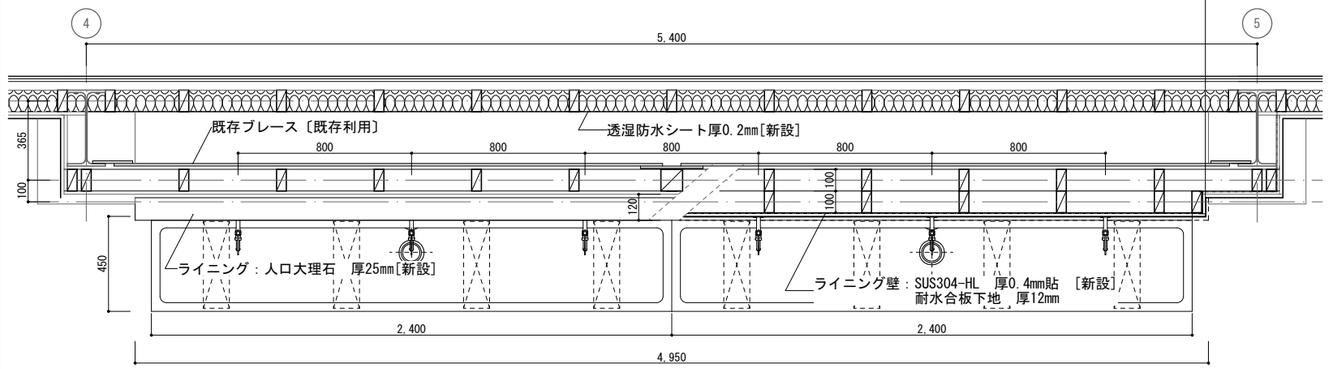
改修後



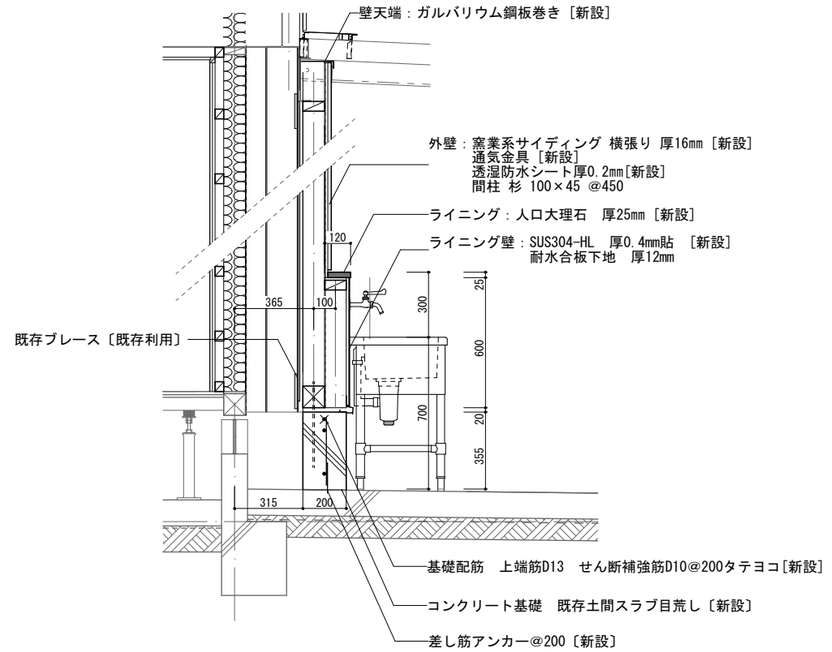
流し台　W2400×D450　2台〔新設〕

部品名	材質	個数
甲板	SUS430、t＝1.2	
外装	SUS430、t＝1.0	
四方枠	SUS304、φ28	7
排水ﾄﾗｯﾌﾟ	塩製ﾋφ115　接続口径50A	1
ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰﾊﾟｲﾌﾟ	塩ビ製丸型	1
脚部	SUS304、φ38	6
ｱｼﾞｬｽﾄ	SUS304	6





水呑場[新設]　詳細図 1/30

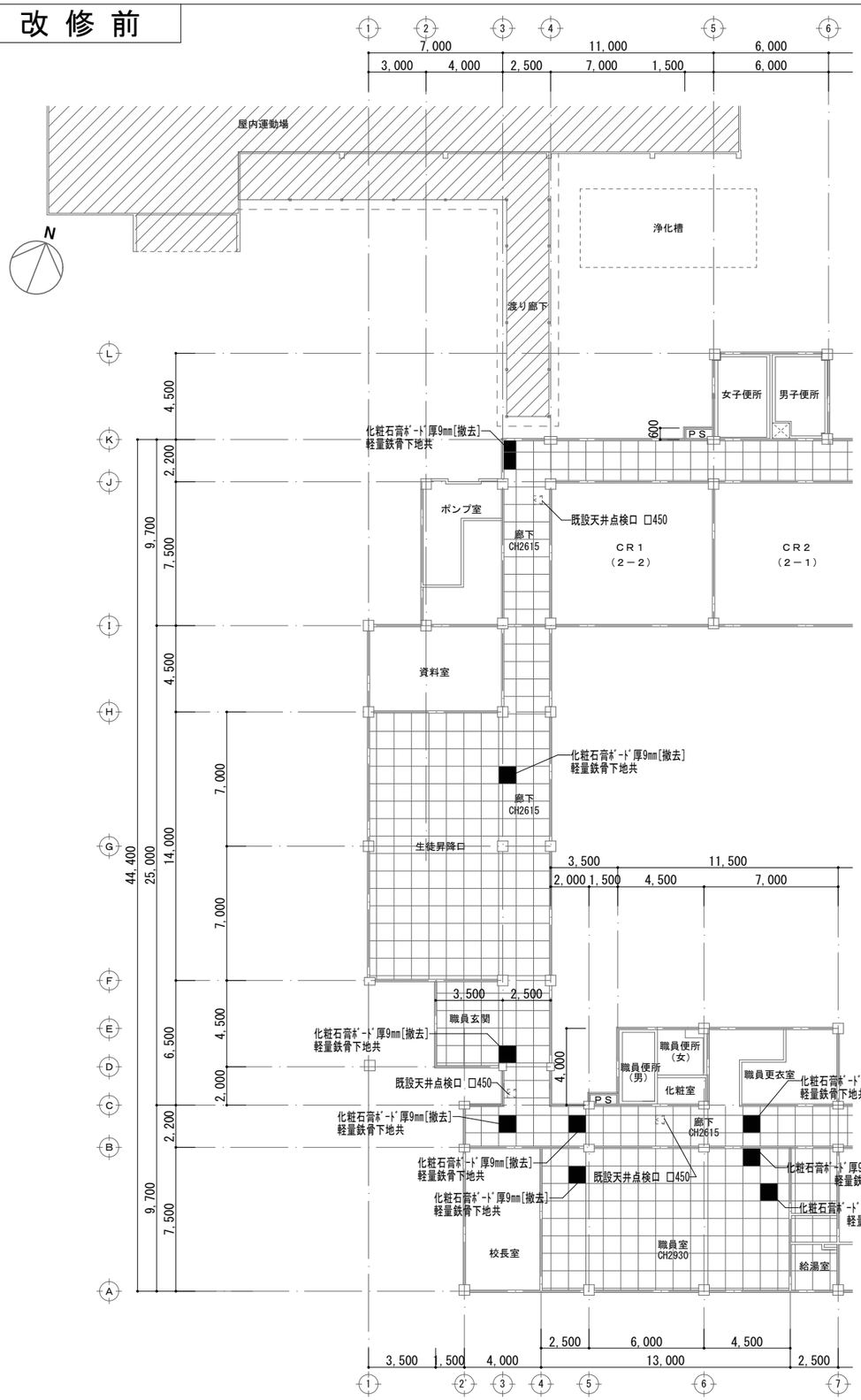


水呑場[新設]　詳細図 1/30

一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 A へ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

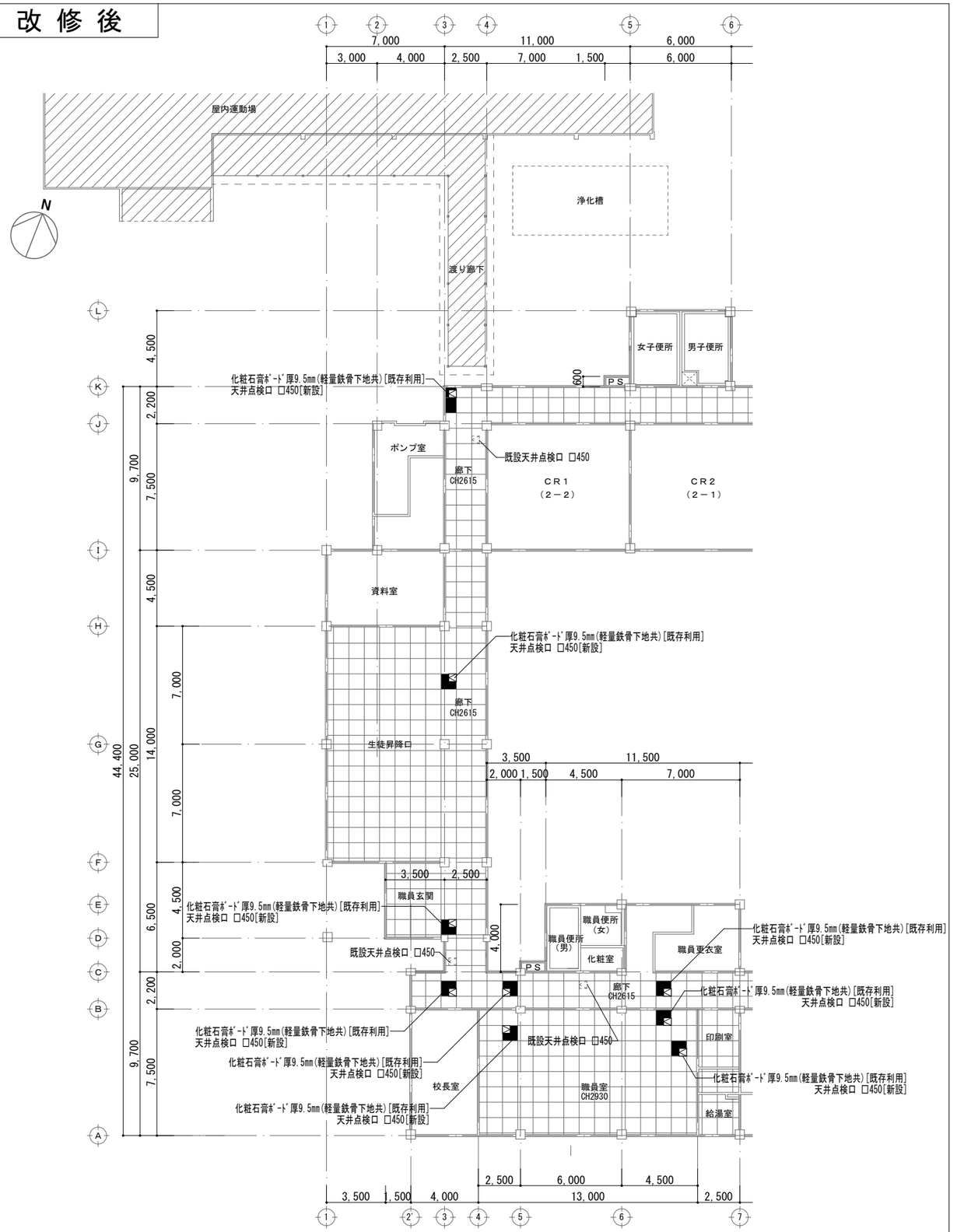
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	渡り廊下_水呑場_詳細図[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30, 1:20	作成日	2026年6月4日	A-96

改修前



校舎棟 天井伏図[改修前] 1:200

改修後



校舎棟 天井伏図[改修後] 1:200

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	校舎棟_天井伏図[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号 A-97
縮尺	A2＝1:200	作成日	2026年6月4日	

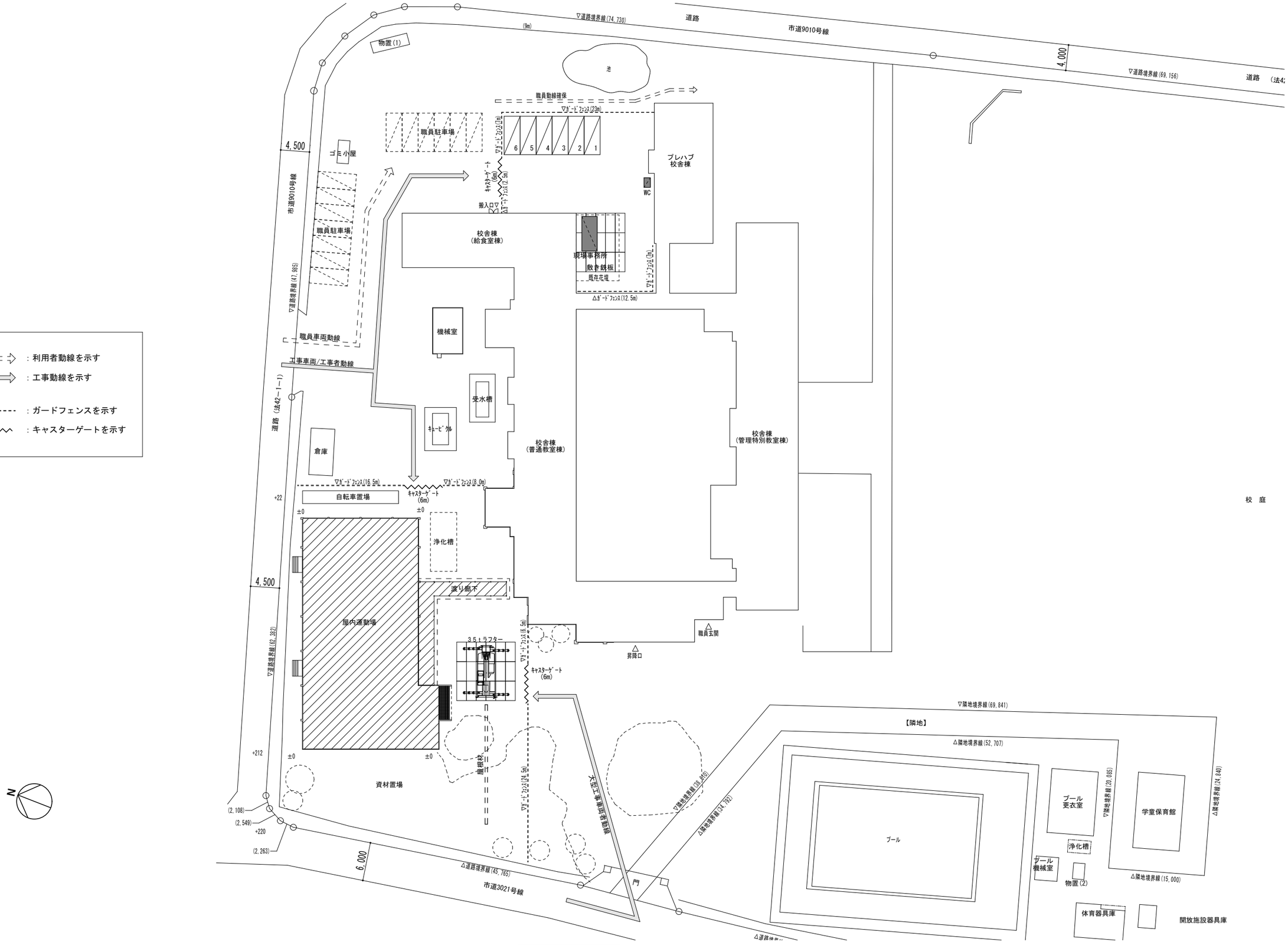
特記事項

：利用者動線を示す

：工事動線を示す

：ガードフェンスを示す

：キャスターゲートを示す

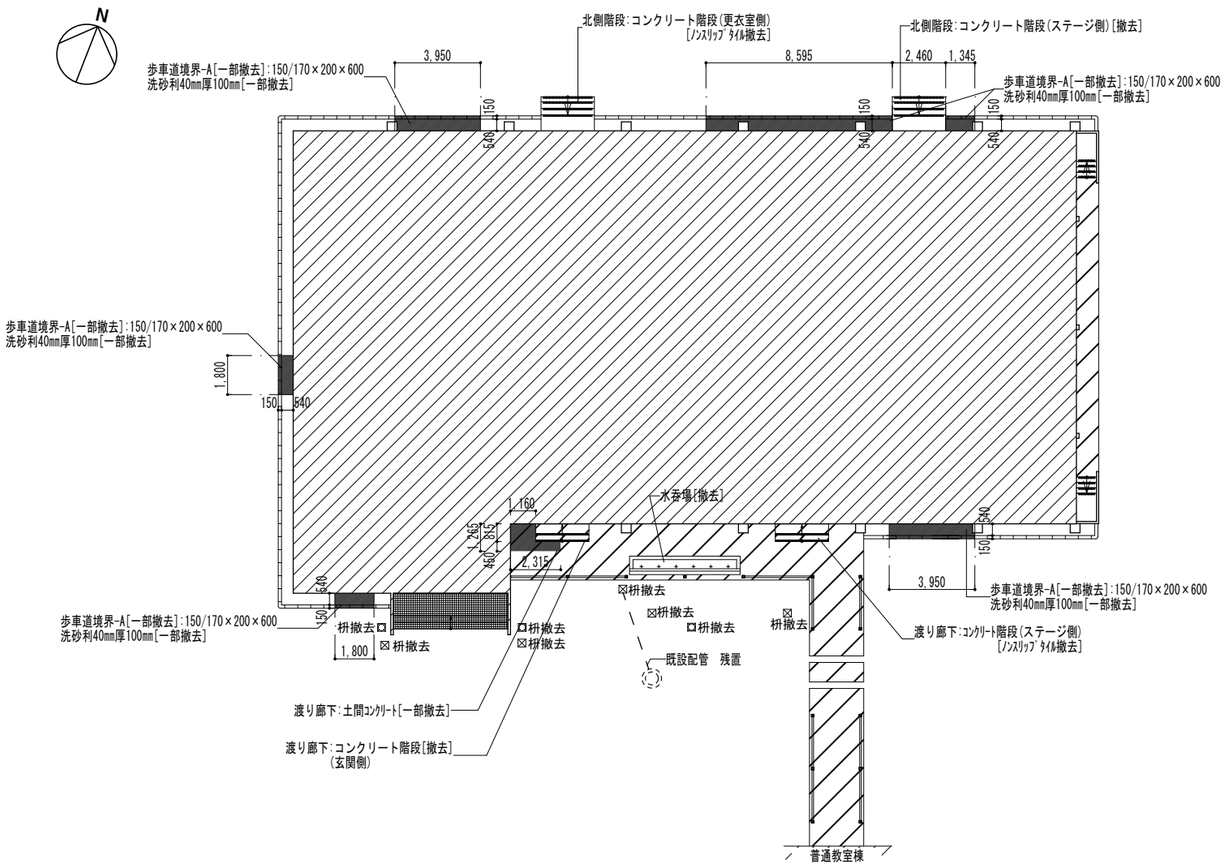


仮設計画図 1:400

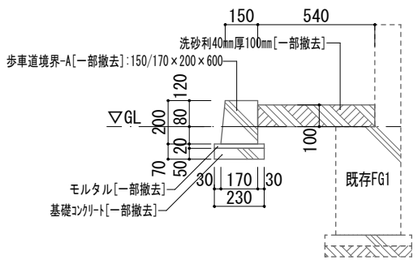
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 仮設計画図		承認	作成者	図面番号 A-98
縮尺 A2＝1:400	作成日 2026年6月4日			

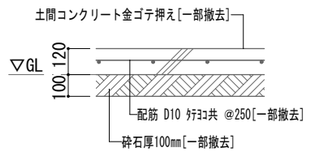
改修前



外構配置図[改修前] 1:200

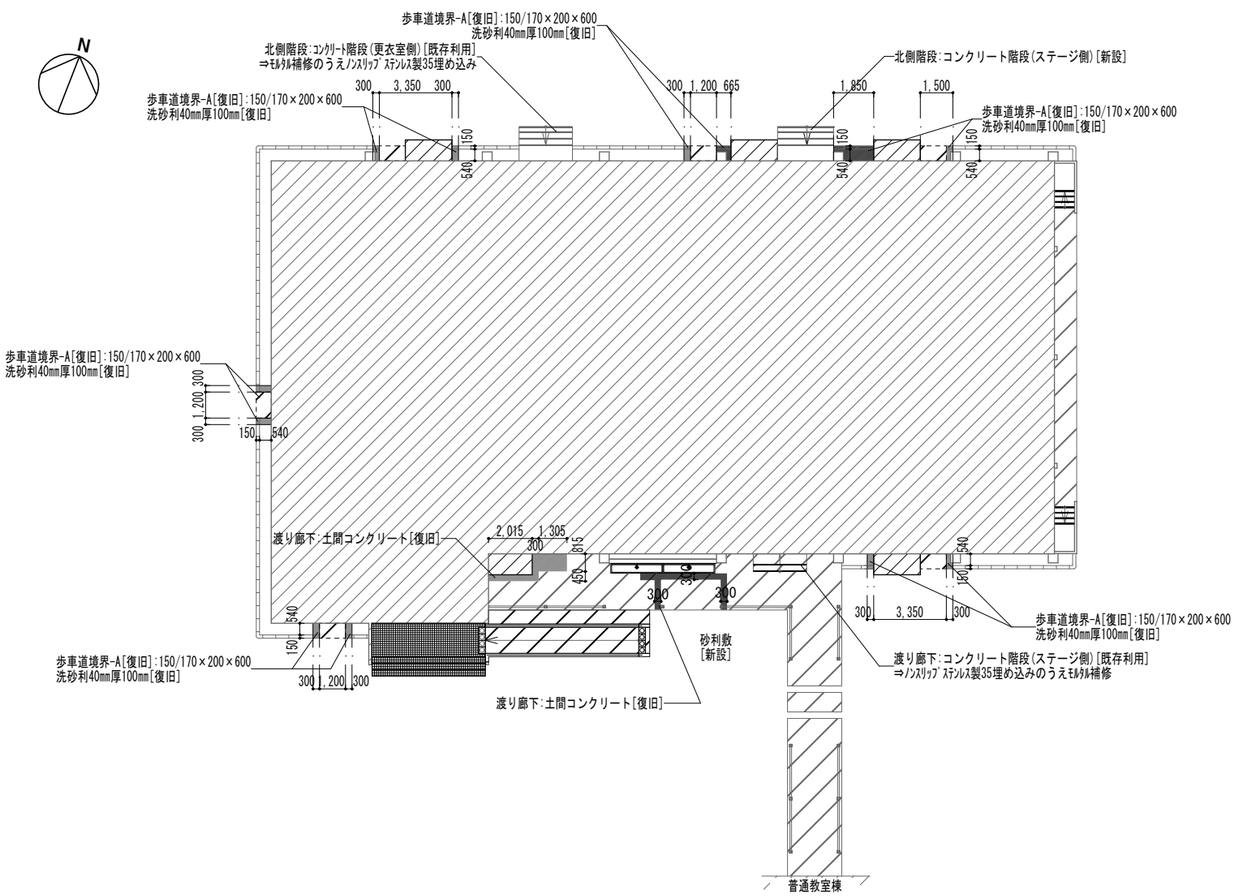


歩車道境界 詳細図[改修前] 1:20

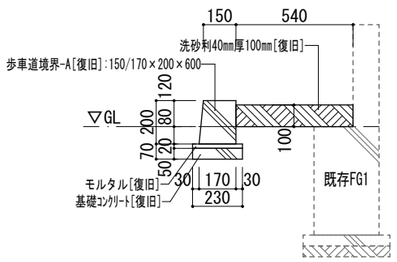


渡り廊下土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 詳細図[改修前] 1:20

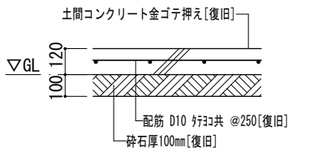
改修後



外構配置図[改修後] 1:200

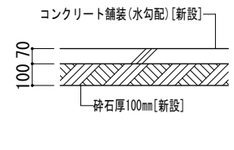


歩車道境界 詳細図[改修後] 1:20



※既存土間(取合い部):接着系アンカーD10@250[新設]

渡り廊下土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 詳細図[改修後] 1:20



渡り廊下土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 詳細図[改修後] 1:20

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 **外構配置図[改修前・改修後]**		承認	作成者	図面番号 **L-1**
縮尺 **A2＝1:200, 1:20**	作成日 **2026年6月4日**			

構 造 設 計 標 準 仕 様

※国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（令和７年版）に準拠する。
適用は ◉ 印を記入する。

１．建築物の構造内容

(1) 工事名称　鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
　建築場所　鹿沼市南上野町503の一部

(2) 工事種別　☐新　築　☐増　築　☐増改築　☐改　築　◉大規模模様替え

(3) 構造種別
☐木造(W)　☐補強コンクリートブロック造(CB)　◉鉄骨造(S)
☐鉄筋コンクリート造(RC)　☐壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
☐鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)　☐壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
☐プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)　☐

(4) 階　数
地下　　階　　地上　1　階　　塔屋　　階

(5) 主要用途　屋内運動場

(6) 屋上付属物
☐高架水槽　　kN　☐キュービクル　　kN　☐広告塔　　☐煙　突

(7) 増築計画　☐有（　　）　◉無

(8) 構造計算ルート　X方向ルート　1-2　　Y方向ルート　1-2

２．使用構造材料

(1) コンクリート（JIS　A5308）　　θ：材齢28日までの予想平均気温

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc＝N/mm²	調合管理強度(N/mm²) 8≦θ	0≦θ＜8	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	◉普通	18	——	——	18	
土間・犬走りｺﾝｸﾘｰﾄ	◉普通	21	24	27	18	
基礎・基礎梁	◉普通	21	24	27	18	
柱・梁・床・壁	☐普通 ☐軽量					
ラップルコンクリート	☐普通 ☐軽量	18	——	——	18	
デッキ上コンクリート	☐普通 ☐軽量	21	24	27	18	
細骨材の種類		◉砂	☐山砂	☐人工	☐	
粗骨材の種類		◉砂利	☐砕石	☐人工	☐	
水の区分		☐水道水	◉地下水	☐工業用水	☐	
混和材料の種類		◉AE減水材	☐高性能AE減水材		☐	
呼び強度を保証する材齢		◉28日	☐56日		☐	

(2) コンクリートブロック（ＣＢ）
☐Ａ種　☐Ｂ種　☐Ｃ種　厚☐100　☐120　☐150　☐190

(3) 鉄　筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS　G3112）	◉SD295A	D10･D13･D16	基礎・地中梁	◉重ね継手
	☐SD295B			
	◉SD345	D22	基礎・地中梁	◉ガス圧接継手
	☐			
				☐特殊継手（　　）
高強度せん断補強筋	☐			
丸　鋼	☐SR235			
溶接金網(JIS G 3551)	☐			

(4) 鉄　骨

種　類		使用箇所	現場溶接	備考
☐SN400A（JIS G3136）	◉SS400　（JIS G3101）	大梁・小梁・間柱	☐有 ◉無	
☐SN400B（JIS G3136）	☐SN490B（JIS G3136）		☐有 ☐無	
◉SN490C（JIS G3136）	☐	通しダイヤフラム、ベースプレート	☐有 ◉無	
◉BCR295（大臣認定品）	☐STKR400（JIS G3466）	柱	☐有 ◉無	
☐SM490A（JIS G3106）	☐SM490B（JIS G3106）		☐有 ☐無	
◉SSC400（JIS G3350）	☐	胴縁	☐有 ◉無	

※使用箇所の詳細については別途図示とする。

(5) ボ ル ト
◉高力ボルト
◉普通：F10T（JIS B1186）　◉S10T　◉認定品（◉M16　◉M20　☐M22　☐M24）
高力ボルトすべり係数試験　☐要　◉否
高力ボルト導入張力確認試験　☐要　◉否

◉中ボルト　ボルト(JIS B1180)、ナット(JIS B1181)、座金(JIS B1256)
◉M12　☐M16　☐M20　（ボルトの強度区分：4.6）

◉アンカーボルト
☐ABR490　M24　L＝800 mm　ナット（☐シングル　☐ダブル）（JIS B1220）
☐ABR400　M22　L＝550 mm　ナット（☐シングル　☐ダブル）（JIS B1220）
◉SNR400B　M16　L＝400 mm　ナット（☐シングル　◉ダブル）（JIS G3138）
◉SNR400B　M12　L＝300 mm　ナット（☐シングル　◉ダブル）（JIS G3138）

(6) 屋根、床、壁
☐ＡＬＣ版（JIS A5416）壁厚50　☐横壁アンカー構法　☐ボルト止め構法　☐ロッキング構法
☐折板　H＝162　厚0.6
☐ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ　形式　H-99-50-12　厚1.2

３．地　盤

(1) 地盤調査資料と調査計画
☐有（☐敷地内　☐近隣）　☐無（調査計画　☐有　☐無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験掘（支持層の確認）			平板載荷試験			液状化判定		
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ式ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ			現場透水試験			ＰＳ検層		

４．地業工事

(1) 直接基礎　☐ベタ基礎　☐布基礎　☐独立基礎　試験掘　☐有　◉無
深さ　GL-1.15m　支持層ー ローム層　載荷試験　☐有　◉無
長期許容支持力度　50kN/m²

(2) 杭基礎　支持層ー　層

杭種	材料	施工法	備考
☐RC　☐PRC	PRC（☐Ⅰ種 ☐Ⅱ種 ☐Ⅲ種）	☐回転埋設工法	国住指定第3728号
☐PHC　☐H鋼	PHC（☐A種 ☐B種 ☐C種）	☐埋込み(セメントミルク工法)	平成26年2月28日
☐鋼管　☐摩擦杭	鋼材　☐SS400　☐STK490	☐回転埋設工法	TACP-0448
☐	☐ダクタイル鋳鉄管		
☐場所打ち コンクリート杭	コンクリート　Fc＝　N/mm² セメント量　N/m³ 鉄　筋　主筋　SD HOOP　SD	☐オールケーシング　☐拡底杭 ☐リバースサーキュレーション ☐アースドリル　☐ミニアース ☐ＢＨ　☐深礎 {☐手掘 ☐機械掘}	拡底杭 日本建築ｾﾝﾀｰ認定 第　　号 年　月　日

杭仕様　☐施工計画書承認　☐杭施工結果報告書
試験杭　（☐有　☐無）　（☐打ち込み　☐載荷）※立会い最初の１本
試験掘　（☐有　☐無）　ヶ所

杭径・先端羽根径	設計支持力(kN)	杭長(m)	本数

５．鉄筋コンクリート工事 （施工方法等計画書）

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度(Fc)が36N/mm²以下に適用する。

(1) コンクリート
◉コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きJASS5による。
◉セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T－603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをする。
また、打ち込み量が150m³をこえる場合は、150m³ごとまたは、その端数ごとに１回を標準とする。１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
◉ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５゜Ｃ未満の場合は１２０分、２５゜以上の場合は９０分以内とする。
◉養生

養生温度	公共建築工事標準仕様書 6.7.1 による。
表面の乾燥防止	公共建築工事標準仕様書 6.7.2 による。
振動及び外力からの保護	公共建築工事標準仕様書 6.7.3 による。

(2) 鉄　筋
◉鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、JASS5による。
☐高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるＤ種１号適合品とする。
◉鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
◉D19未満は、すべて重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
◉ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を越えるときには、200箇所ごと）に１回行い、１回の試験は５本以上とする。
外観検査　◉有　☐無　引張試験　☐有　◉無　超音波探傷試験　◉有　☐無
◉柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、◉H型(たが型)　☐W型(溶接型)　☐S型(スパイラル型)とする。

(3) 型　枠
◉材料　合板厚　12m/mを標準とする。
◉施工　JASS5による。
◉型枠存置期間

種類 部位	せき板 基礎・はり側・柱・壁	せき板 スラブ下・はり下	支柱 スラブ下	支柱 はり下
存置期間の平均気温 セメントの種類	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント / 普通ポルトランドセメント / 高炉セメントA種 / シリカセメントA種
コンクリートの圧縮強度の材令（日） 15゜C以上	2	4	8	17
5゜C～15゜C	3	6	12	25
5゜C未満	5	10	15	28
コンクリートの圧縮強度	5 N/mm²	設計基準強度の50%	設計基準強度の 85%	設計基準強度の 100%

注）１　片持はり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）２　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）３　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）４　盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）５　支柱の盛りかえは、小ばりが終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）６　上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

６．鉄骨工事 （施工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
◉社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
◉鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
◉製作工場　◉製作要領書　◉工作図　◉施工計画書
◉認定または登録工場とする。　Jグレード以上　※監督員の承認を得た工場
◉材料規格証明書または試験成績書
◉鋼材　◉高力ボルト　☐特殊ボルト　☐頭付スタッド
◉社内検査表　☐

(3) 工事監理者が行う検査項目
（◉印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
◉現寸検査　◉組立・開先検査　◉製品検査
◉建方検査　☐　☐

(4) 接合部の溶接は下記によること
◉鉄骨造等の建築物に関する東京都取扱要綱（建築構造設計指針第１２章）
◉日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
◉日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 鉄骨造の継手又は仕口（溶接による場合）
溶接部は、割れ、内部欠陥等の構造耐力上支障のある欠陥がないものとし、かつ、次に定めるところによらなければならない。
① 柱と梁の仕口のダイアフラムとフランジのずれにおいては、ダイアフラムとフランジの間に配置する鋼材の厚さが、フランジの厚さよりも大きい場合にあっては当該フランジの厚さの1/4の値以下かつ5mm以下とし、当該フランジの厚さ以下の場合にあっては当該フランジの厚さの1/5の値以下かつ4mm以下としなければならない。ただし、仕口部の鋼材の長期に生ずる力及び短期に生ずる力に対する各許容応力度に基づき求めた当該部分の耐力以上の耐力を有するように適切な補強を行った場合においては、この限りでない。
② 突合せ継手の食い違いは、鋼材の厚さが15mm以下の場合にあっては1.5mm以下とし、厚さが15mmを超える場合にあっては厚さの1/10の値以下かつ3mm以下でなければならない。この場合において、通しダイアフラム（柱の断面を横断するダイアフラムをいう。以下同じ。）と梁フランジの溶接部にあっては、梁フランジは通しダイアフラムを構成する鋼板の厚みの内部で溶接しなければならない。ただし、継手部の鋼材の長期に生ずる力及び短期に生ずる力に対する角許容応力度に基づき求めた当該部分の耐力以上の耐力を有するように適切な補強を行った場合においては、この限りでない。
③ 0.3mmを超えるアンダーカットは、存在してはならない。ただし、アンダーカット部分の長さの総和が溶接部分全体の長さの１０％以下であり、かつ、その断面が鋭角的でない場合にあっては、アンダーカットの深さを1mm以下とすることができる。

(6) 接合部の検査
◉溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数 社内	第三者	工事監理者	備考
◉完全溶込み溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	100 %	30 %	0 %	※H12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
	超音波探傷検査	100 %	30 %	0 %	
☐	内質検査（注）	%	%	%	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
☐	外観検査（※）	%	%	%	
第三者検査機関名					

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
（注）東京都の要綱に基づき、必要となる建築物の場合に実施する。

注１）現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。
注２）知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること。

☐内質検査　☐硬さ試験　☐示温塗料塗布
◉高力ボルトは「JSSⅡ－09の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが５０Ｓ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
◉高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(7) 防錆塗装
◉防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、JIS K5674　（２回塗り）
◉現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用する。
※ 錆止めペイントは、ホルムアルデヒド規制の、Ｆ☆☆☆☆取得品とする。

(8) 耐火被覆の材料
☐

７．設備関係

・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法とする。
◉建築設備（昇降機を除く。）建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
◉屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
◉煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
◉煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶる厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
◉建築物に設ける給水、排水その他の配管設備
◉風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対し安全上支障のない構造とすること。
◉建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
◉管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
◉管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
◉法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
◉給湯設備＊は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
＊「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの
◉特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
◉設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
◉床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の３倍以上かつ5cm以上を原則とする。

８．その他

◉諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◉必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

◉外部に面するシャッターは、台風等の強風時に必ず締める事を条件としている。

一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137　〒322-0027　栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	承認	作成者	図面番号
鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			S-1
図面名 構造設計標準仕様			
縮尺 Ｎｏｎ　　作成日 2026年6月4日			

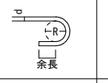
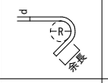
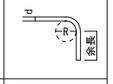
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号
d･･･異形棒鋼の呼び名に用いた数値　丸鋼では径　　D･･･部材の成　　R･･･直径
@･･･間隔　　r･･･半径　　CL･･･中心線　　Lo･･･部材間の内法距離　　ho･･･部材間の内法高さ
ST･･･あばら筋　　HOOP･･･帯筋　　S-HOOP･･･補強帯筋　　φ･･･直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、
SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上



(2) 鉄筋中間部の折曲げ形状　鉄筋の折曲げ角度90°以下

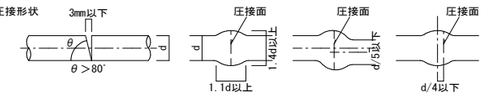
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16 以下	3d以上
			19φ D19 以上	4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ D16 以下	4d以上
			19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

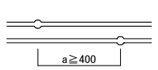
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)	フック なし L1	フック なし L2	フック なし L3 小梁	フック なし L3 スラブ	フック あり L1	フック あり L2	フック あり L3 小梁	フック あり L3 スラブ
SD295A	18	45d	40d	25d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	15d	―
SD295B SD345	21、24、27	40d	35d			30d	25d		
	30、33、36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21、24、27	45d	40d			35d	30d		
	30、33、36	40d	35d			30d	25d		

継　手
1．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2．継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4．D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5．鉄筋径の差が7㎜を越える場合は、圧接としてはならない

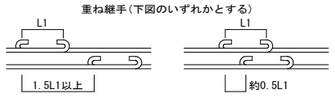
ガス圧接形状



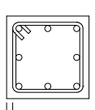
圧接継手



重ね継手(下図のいずれかとする)



(4) かぶり厚さ　(単位：mm)
ひびわれ誘発目地など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所についても最少かぶり厚さを確保する。



部位			設計かぶり厚さ (mm)	最少かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40 (1)	30 (20)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 (2)	40 (1) (30)
	擁壁		50 (3)	40
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁		50	40 (4)
	基礎・擁壁		70	60 (4)

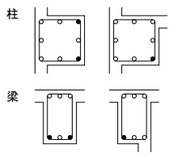
〔注〕(1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて30㎜とすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承諾を受けて40㎜とすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40㎜とすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10㎜増しの値とする。
(5) (　) 内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき
丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



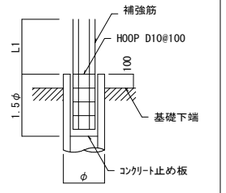
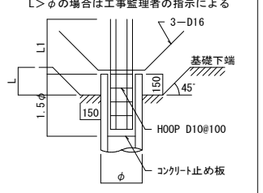
(6) 鉄筋のフック　(a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)
a. 丸鋼　　b. あばら筋、帯筋　　c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

図中の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要



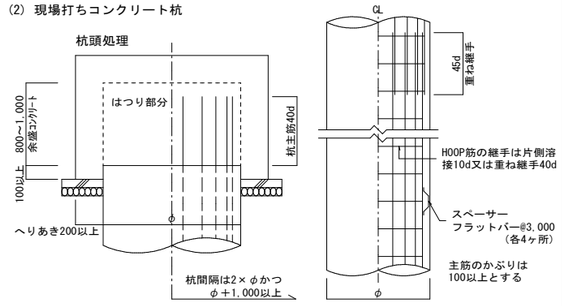
３．杭　（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

(1) ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う　※パイルスタッドによる杭伏図参照

所定の位置に止まった場合	所定より低く止まった場合
	

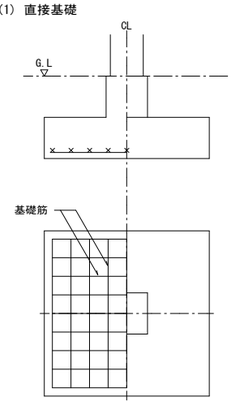
杭径	300φ	350φ、400φ	450φ ～ 600φ
補強筋	4 － D13	6 － D13	8 － D13
ＨＯＯＰ	D10@100		

(2) 現場打ちコンクリート杭

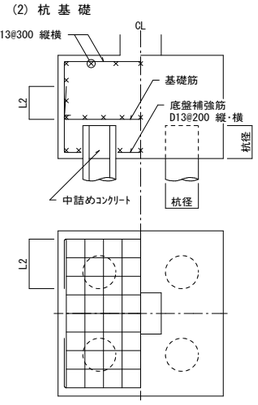


４．基　礎

(1) 直接基礎



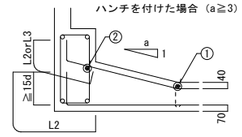
(2) 杭 基 礎



※ 中詰コンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。

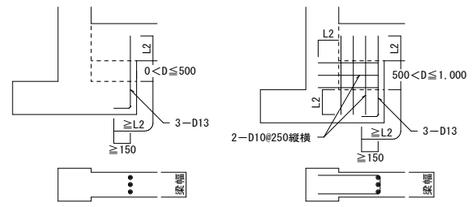
(3) ベタ基礎

ハンチを付けた場合（a≧3）



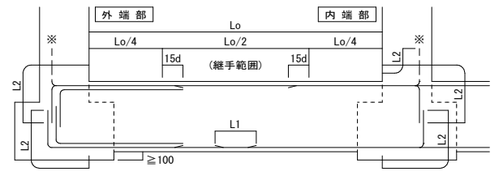
1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
但し上筋と下筋を読みかえる
2. ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3. ②の鉄筋はD13以上
4. 埋戻し土のある場合は40を70とする

(4) 基礎接合部の補強



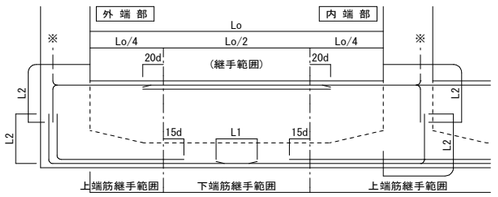
５．地中梁

(1) 独立基礎、杭基礎の場合（定着、継手）



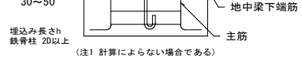
(2) 布基礎、べた基礎の場合（定着、継手）

※上端主筋の定着は、やむをえない場合、上向きとすることができる

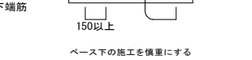


(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

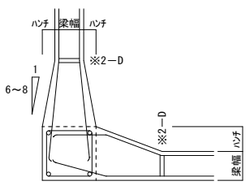
地中梁の主筋と頭付スタッドによる、おさまりに注意する



根巻形



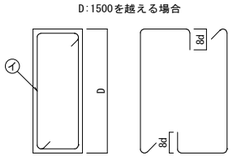
(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



※一般のあばら筋と同様のものを２本束ねる

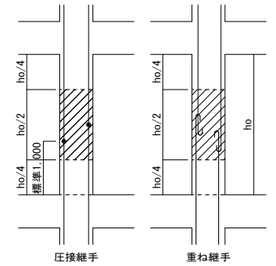
(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領図

D:1500を越える場合

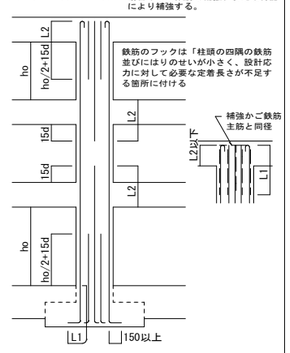


６．柱

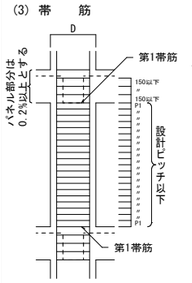
(1) 柱主筋の継手



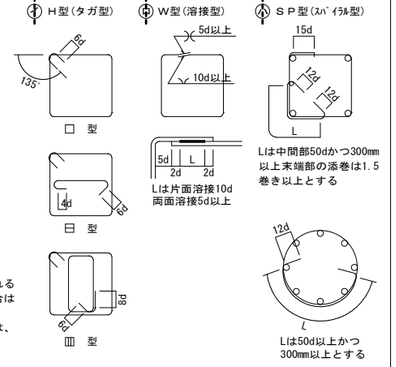
(2) 柱主筋の定着　柱、梁の定着L2以上が確保されない場合はかご鉄筋で補強、または特記により補強する。



(3) 帯　筋

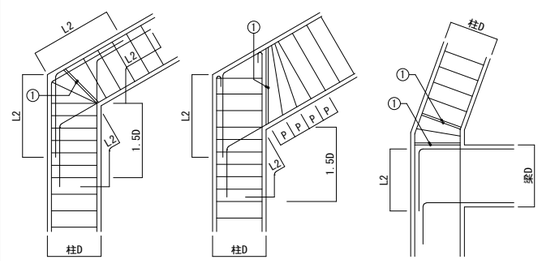


注1. 第１帯筋は、梁づらに入れる
注2. Ｗ型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
注3. フックおよび継手の位置は、交互とする



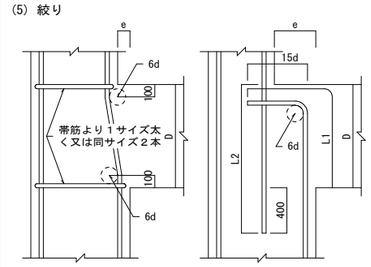
(4) 斜め柱・斜め梁

○柱幅と斜材（柱又は梁）幅が同一　　○柱幅と斜材幅が異る　　○柱脚で斜材となる

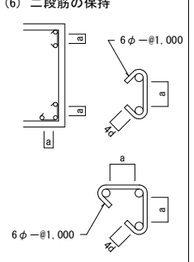


注1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注2. ①の鉄筋は2－D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞り



(6) 二段筋の保持



一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ－2137　〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	承認	作成者	図面番号
縮尺	Ｎｏｎ	作成日	2026年6月4日	S-2

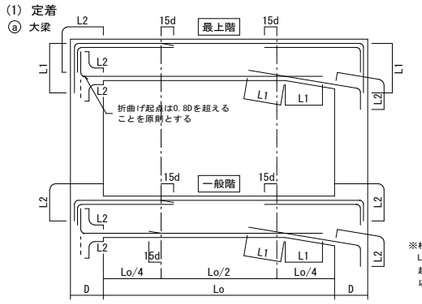
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

L＝本構造配筋標準図（１）の2－(3)による。

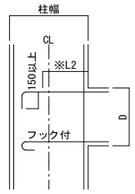
７．大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

ⓐ 大梁

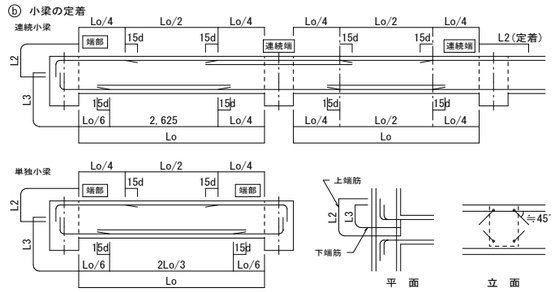


柱幅が大きい場合

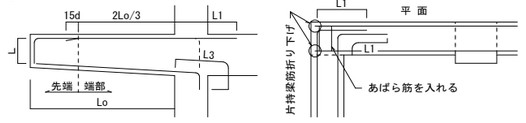


※柱幅が大きくて、直線部だけでL2がとれる場合でも柱中心線を超えて中間折曲げテール長150以上又は180°フック付とする。

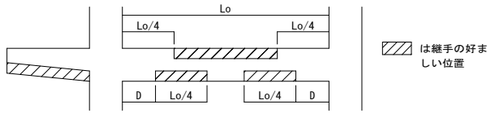
ⓑ 小梁の定着



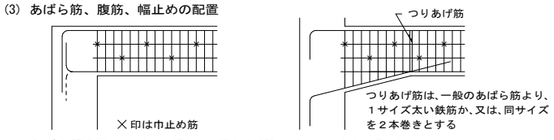
ⓒ 片持梁の定着



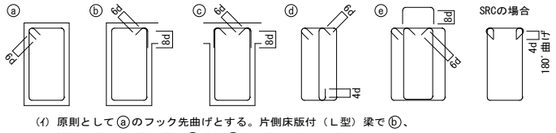
(2) 大梁主筋の継手



(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



(4) あばら筋の型　（注、床版がない場合は135°以上のフックとする。）

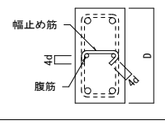


(ｲ) 原則としてⓐのフック先曲げとする。片側床版付（Ｌ型）梁でⓑ、両側床版付（Ｔ型）梁でⓒ又はⓑとすることができる。

(ﾛ) フックの位置はⓐにあっては交互、ⓑにあってはスラブ側とする。

(5) 腹筋及び幅止め筋の本数、加工

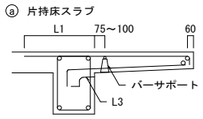
腹筋	D< 600	不要
	600≦D< 900	2－D10　1段
	900≦D<1,200	4－D10　2段
	1,200≦D<1,500	6－D10　3段
	1,500≦D≦1,800	8－D10　4段
幅止め筋	D10(9φ)@1,000以内で割り付ける	



８．床　板

(1) 定着および継手

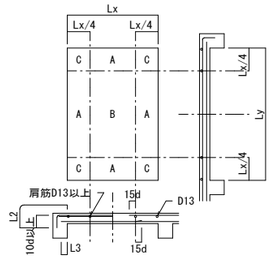
ⓐ 片持床スラブ



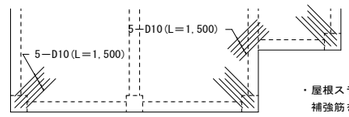
継手位置は原則として下表による

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	B
	長辺方向	B
下端筋	短辺・長辺方向	A，C

ⓑ 一般床スラブ

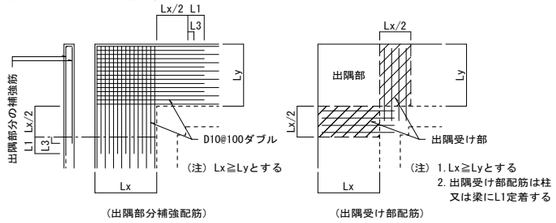


(2) 屋根スラブの補強

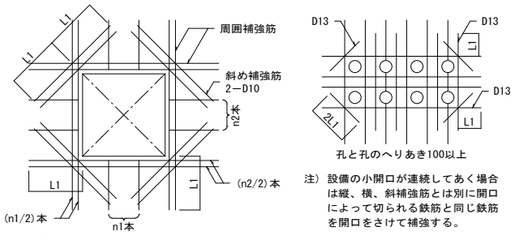


・屋根スラブの出隅及び入隅部分には、補強筋を上端筋の下側に配置する。

(3) 片持スラブ出隅部補強



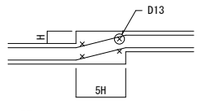
(4) 床板開口部の補強　（開口の径が700㎜以下の場合）



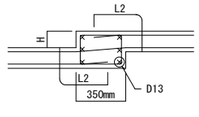
注）設備の小開口が連続してあく場合は縦、横、斜補強筋とは別に開口によって切られる鉄筋と同じ鉄筋を開口をさけて補強する。

(5) スラブ段差

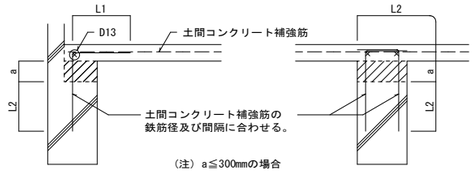
ⓐ H≦70の場合



ⓑ 70<H≦150の場合



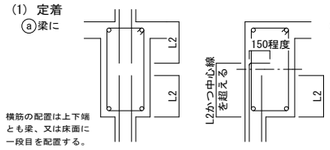
(6) 土間コンクリート　（基礎梁との接合部）



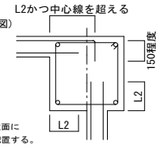
９．壁

(1) 定着

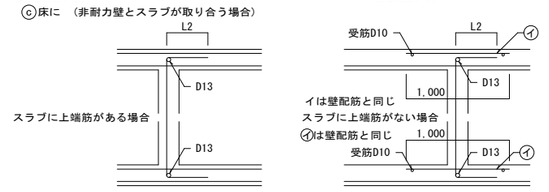
ⓐ 梁に



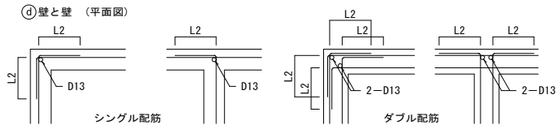
ⓑ 柱に（平面図）



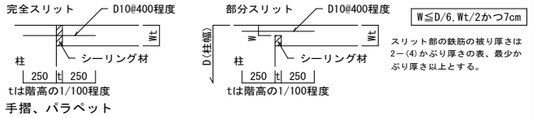
ⓒ 床に　（非耐力壁とスラブが取り合う場合）



ⓓ 壁と壁　（平面図）

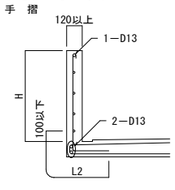


(2) スリット部　（設計図に記入のあるとき）

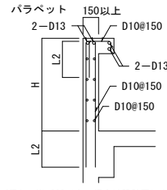


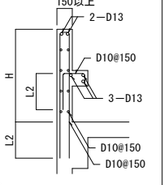
(3) 手摺、パラペット

手　摺



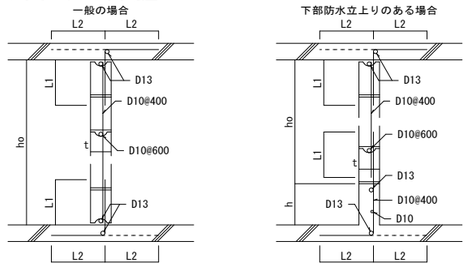
パラペット





（但し、H>800以上の場合は設計図による）

(4) コンクリートブロック帳壁



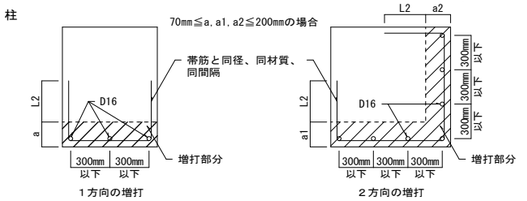
注）ho≦25tかつ3,500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く

注）hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400

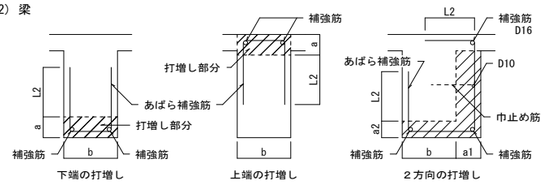
注）継手部は必ずモルタルを充填すること

10．柱、梁増打コンクリート補強　（増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打合せのこと）

(1) 柱



(2) 梁

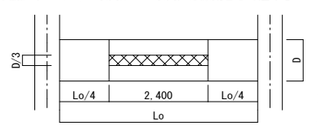


・補強筋はｂ≦350㎜の場合は2－D16とし　ｂ＞350㎜の場合は3－D16とする。
・あばら補強筋は、梁と同径、同材質、同ピッチとする。
・腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
・a, a1, a2は70～200㎜程度とする。
・ハッチ部分は打増しコンクリートを示す。

11．梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部（スパンL/10以内かつ2D以内）は原則として避ける

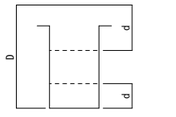


貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は設計者又は工事監理者と打合せのこと。

(2) 梁貫通孔の補強

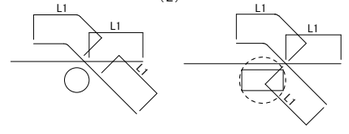
1. 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
2. 孔の上下方向の位置は、下図（１）による。
3. 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁(小梁)の面から原則として1.2D(Dは梁せい)以上離す。
4. 孔が並列する場合は、その中心間隔は、孔の径の平均値の３倍以上とする。(上図)
5. 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
6. 補強筋は、主筋の内側とする。やむを得ない場合は、監督職員の承諾を受けて外側とすることができる。また、鉄筋の定着長さは、下図（２）による。
7. 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150㎜未満のものは、補強を省略することができる。
8. 溶接金網の余長は１格子以上とし、突出しは10㎜以上とする。
9. 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1－13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に４箇所以上溶接する。
10. 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

（１）



500≦D<700 ･･･ d≧175
700≦D<900 ･･･ d≧200
900≦D　　 d≧250

（２）

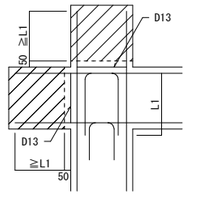


(3) 既製品

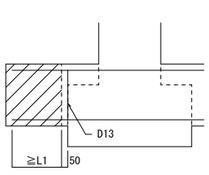
・使用するときには、設計者又は工事監理者と打合わせのこと。
・評定品とする。
　メーカー
　・MAXウェブレン(テイエム技研(株))
　・ダイヤレンNS(コーリョー建販(株))
　・MAXリンブレンK型(丸井産業(株))

12．増築予定　（将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する）

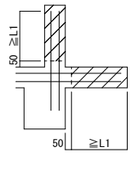
(1) 柱、梁



(2) 地中梁



(3) 床版、壁



一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ－2137　〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	承認	作成者	図面番号
縮尺	Non	作成日		S-3
		2026年6月4日		

鉄 骨 構 造 標 準 図 （1）

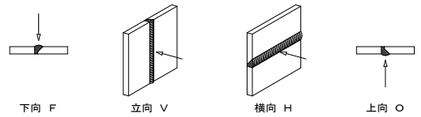
1．一般事項

(1) 材料及び検査
(a) 構造設計仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

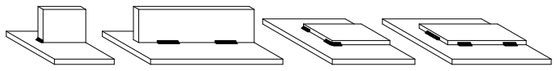
(2) 工作一般
(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
(c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合
(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

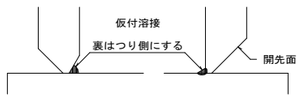
(4) 溶接接合
(a) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適応するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引き続き、半年以上溶接に従事している者とする
(b) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機　300A～500A　　(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機(直流)　　(ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式　　(ヘ) 溶接棒乾燥器
(c) 溶接方法
アーク手溶接(MC)　　ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)　　アークエアーガウジング(AAG)
(d) 溶接姿勢



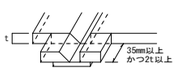
(e) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



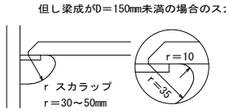
(ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



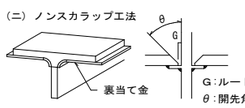
(f) 溶接施工
(イ) エンドタブ
Ⅰ) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
Ⅱ) エンドタブの材質は、母材と同質とする
Ⅲ) エンドタブの長さは、MC:35mm以上
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接完了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
Ⅳ) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る



(ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
(ハ) スカラップ半径は30～35mmと10mmのダブルアールとする
但し梁成がD＝150mm未満の場合のスカラップはr＝20mmとする



(ニ) ノンスカラップ工法



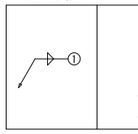
(ホ) 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

(5) 塗　装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする
設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2．溶接規準図

（注）f:余盛　G:ルート間隔　R:フェース　S:脚長　　（単位mm）

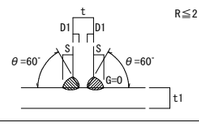
(1) 隅肉溶接



t≦16mm				
t	7以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

・但し片面溶接の場合はS＝tとする
・t1はt1、t2の小なる方とする
余盛りは(1+0.1S)mm以下とする
・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶け込み溶接　（使用箇所に注意）

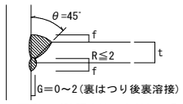


t/4≦S≦10mm
t≦t1

t	t>16mm
溶接姿勢	F.V

・両側に補強隅肉溶接を付加する

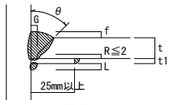
(3) 完全溶込み溶接　（平継手　T形継手）



f＝t/4

t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

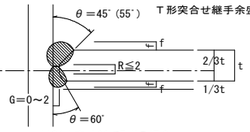
・両側に補強隅肉溶接を付加する AAG



f＝t/4

	MC NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6≦t<12	45	6	6	5	45	6	6	5
12≦t≦16	35	9	9	8	45	6	9	8
16≦t	35	9	9	8	35	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

・補強隅肉溶接を付加する

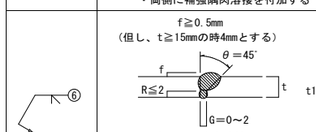


f＝t/4

のど厚tmm	余盛の高さmm
t≦4	1
4<t≦12	2
12<t≦19	3
19<t	4

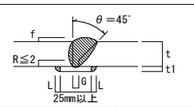
t	t≧19mm
溶接姿勢	F.V

・AAG( )内はGCでF.Hの場合
・両側に補強隅肉溶接を付加する



・両側に補強隅肉溶接を付加する

t	6<t<19mm
溶接姿勢	F.V

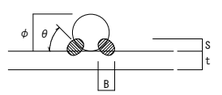


f＝t/4

	MC NGC				GC			
t mm	θ	G	t1	L	θ	G	t1	L
6<t<12	45°	6	6	5	45°	6	6	5
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	5
19<t	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレアー溶接

K形の場合

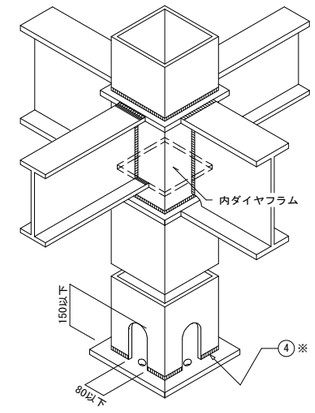


寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

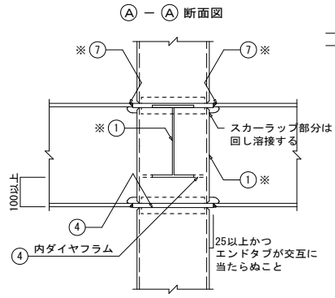
・フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
・9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30°～40°とする

・溶接記号番号を○中に記入のこと

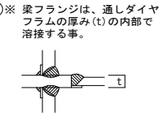
● ＢＯＸ型　（通しダイヤフラムの場合）

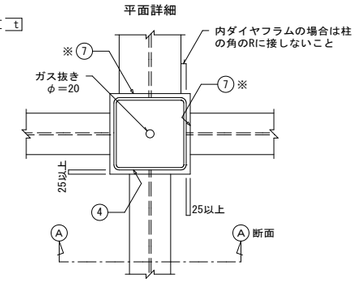


根巻の場合



⑦※ 梁フランジは、通しダイヤフラムの厚み(t)の内部で溶接する事。

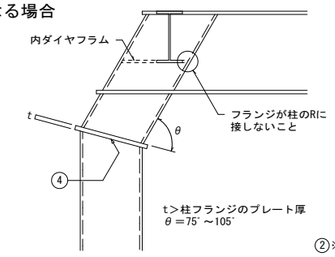


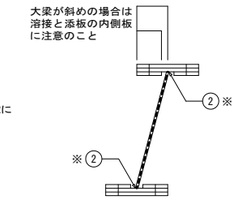


①※ t＞16mmの場合の溶接は、②又は③～⑤とする。

〈柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合〉
通しダイヤフラムは、SN490B･C、SM490同等以上の鋼材を使用する。
通しダイヤフラム厚は、接する柱、梁の最大厚の２サイズアップ以上とする。

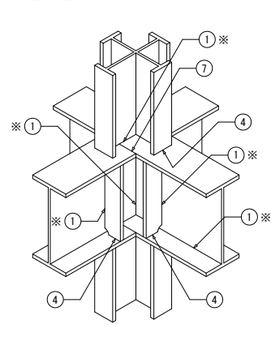
● 柱が途中で折れる場合
及び梁成が異なる場合

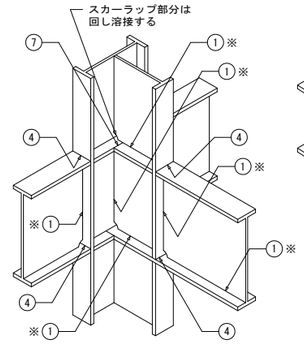


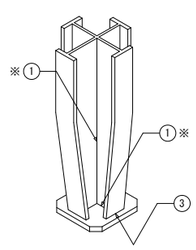


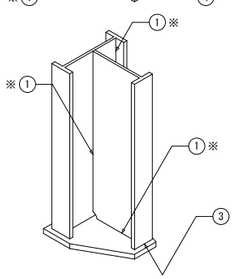
②※ t＞16mmの場合の溶接は、③～⑤とする

● ╋、╂、╫型



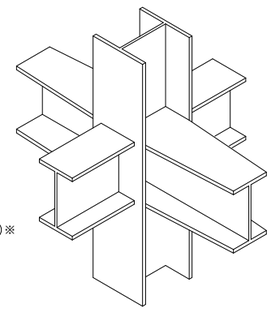


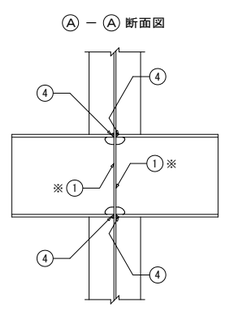


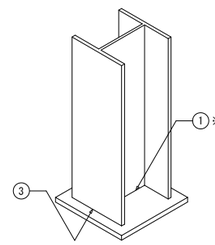


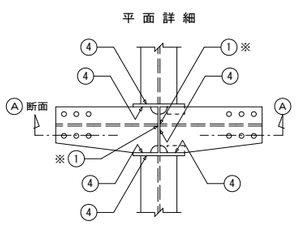
①※ t＞16mmの場合の溶接は、②又は③～⑤とする。

● Ｂ．Ｈ方式









①※ t＞16mmの場合の溶接は、③～⑤とする

一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ－2137　〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	鉄骨構造標準図(1)	承認	作成者	図面番号
縮尺	Non	作成日	2026年6月4日	S-4

鉄 骨 構 造 標 準 図 （2）

3．継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ（P）　ボルト穴径・最小縁端距離

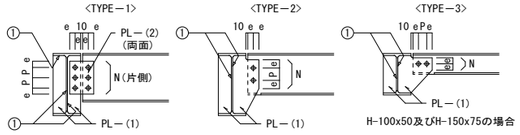
(mm)

呼び		ボルト穴径（中ボルト）	最小縁端距離（e）				ピッチ（P）	
			(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小	標準
ボルト等	M12	14(13)	30	22	18	35	30	50
	M16	18(17)	40	28	22	40	40	60
	M20	22(21)	50	34	26	40	50	60
	M22	24(23)	55	38	28	40	55	60
	M24	26(25)	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト	M12	17		22	18			
	M16	21		28	22			
	M20	25		34	26			
	M22	27		38	28			
	M24	29		44	32			
	M27	32		49	36			
	M30以上	呼び＋5		9d/5	4d/3		アンカーボルト径(d)	

〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

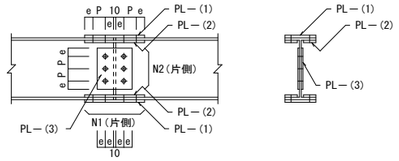
(2) ピン接合梁継手リスト

<TYPE－1>　<TYPE－2>　<TYPE－3>



符　号	タイプ	部　材	PL－(1)	PL－(2)	N－径

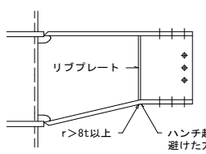
(3) 剛接合継手リスト　(SCSS-H97による)



〔注〕端部をＢＨとする場合の部材は設計図による

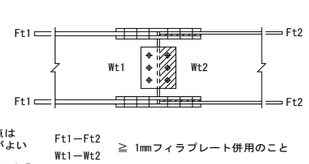
符　号	部　材	フランジ			ウエブ	
		PL－(1)	PL－(2)	N1－径	PL－(3)	N2－径

(4) ハンチ部の継手



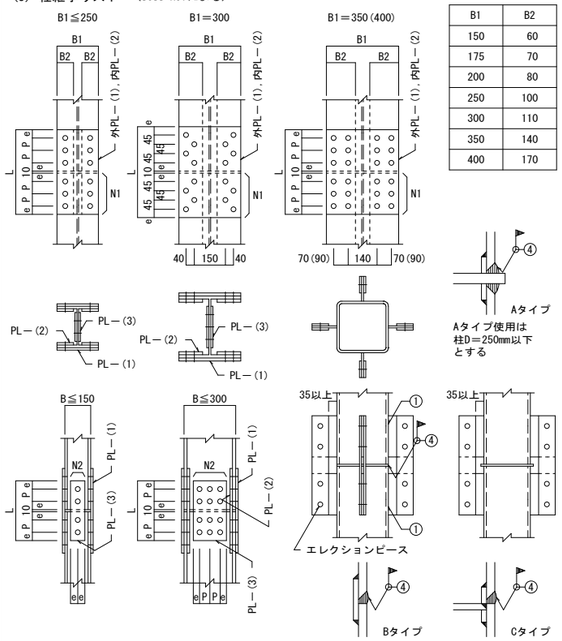
ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による
r:半径　　t:板厚

フランジ及びウエブ厚の差のある場合



Ft1－Ft2
Wt1－Wt2　≧ 1mmフィラプレート併用のこと

(5) 柱継手リスト　(SCSS-H97による)



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

〔注〕現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符　号	部　材	フランジ			ウエブ	
		PL－(1)	PL－(2)	N1－径	PL－(3)	N2－径

(5) 鉄筋ブレース

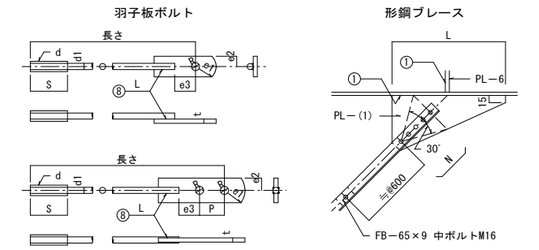
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び(d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径d1	最　大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最　小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差＋0 ， －0.5mm		R	13.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）	(2)	e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）	(1) e2	22	28	28	34	34	38	38
	板　厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）	(1) e2	19.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板　厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		L	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種　類		JIS B 1186　2種高力ボルト(F10T)又は JIS B 1180　中 8g 10.9						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本　数		1	1	1	1	1	1	2

〔注〕(1) e1,e2が確保されていれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

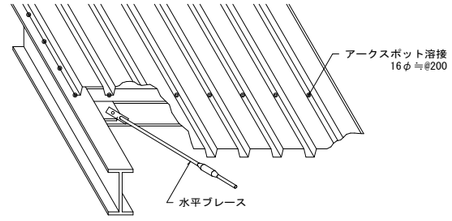
(b) 形鋼ブレース

符　号	部　材	PL－(1)	N－径	L

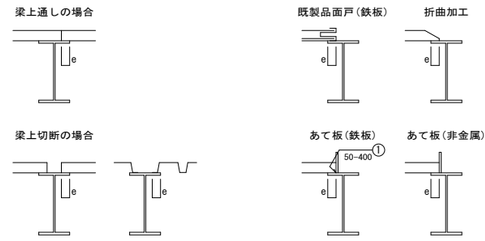


(7) デッキプレート　(床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

梁との溶接およびコネクター

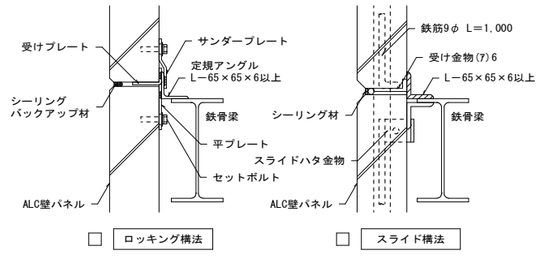


受梁へのかかり寸法および端部処理　e≧35mm

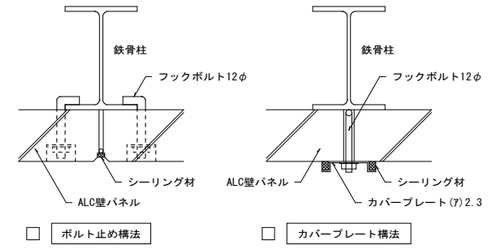


(8) ＡＬＣ版取付要領

縦壁構法

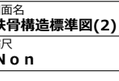


横壁構法



(9) 頭付きスタッド　(JIS 1198)

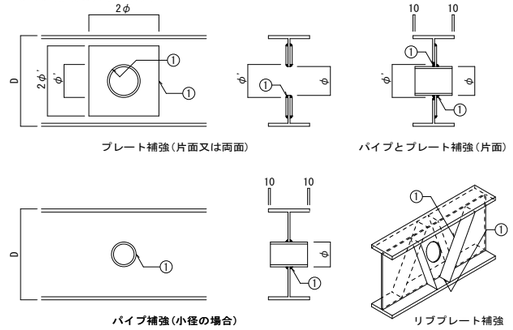
スタッド材の標準形状・寸法



スタッド材				
呼び名	軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	溶接後の長さL mm
φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50，80，100，130
φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80，100，130
φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80，100，130，150
φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100，130，150

(10) 梁貫通補強

- 計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い。
- 梁端部（スパンのL/10以内かつ2D以内）は避ける。
- φ≦0.4D
- φ'は補強筋の穴径を示す。



プレート補強の板厚

スリーブ径	補　強　板
φ≦0.15D	補強板不要
φ≦D/4	Web板厚以上(片面)
φ≦D/3	Web板厚×1.2倍以上(片面)
φ≦0.4D	Web板厚以上(両面)

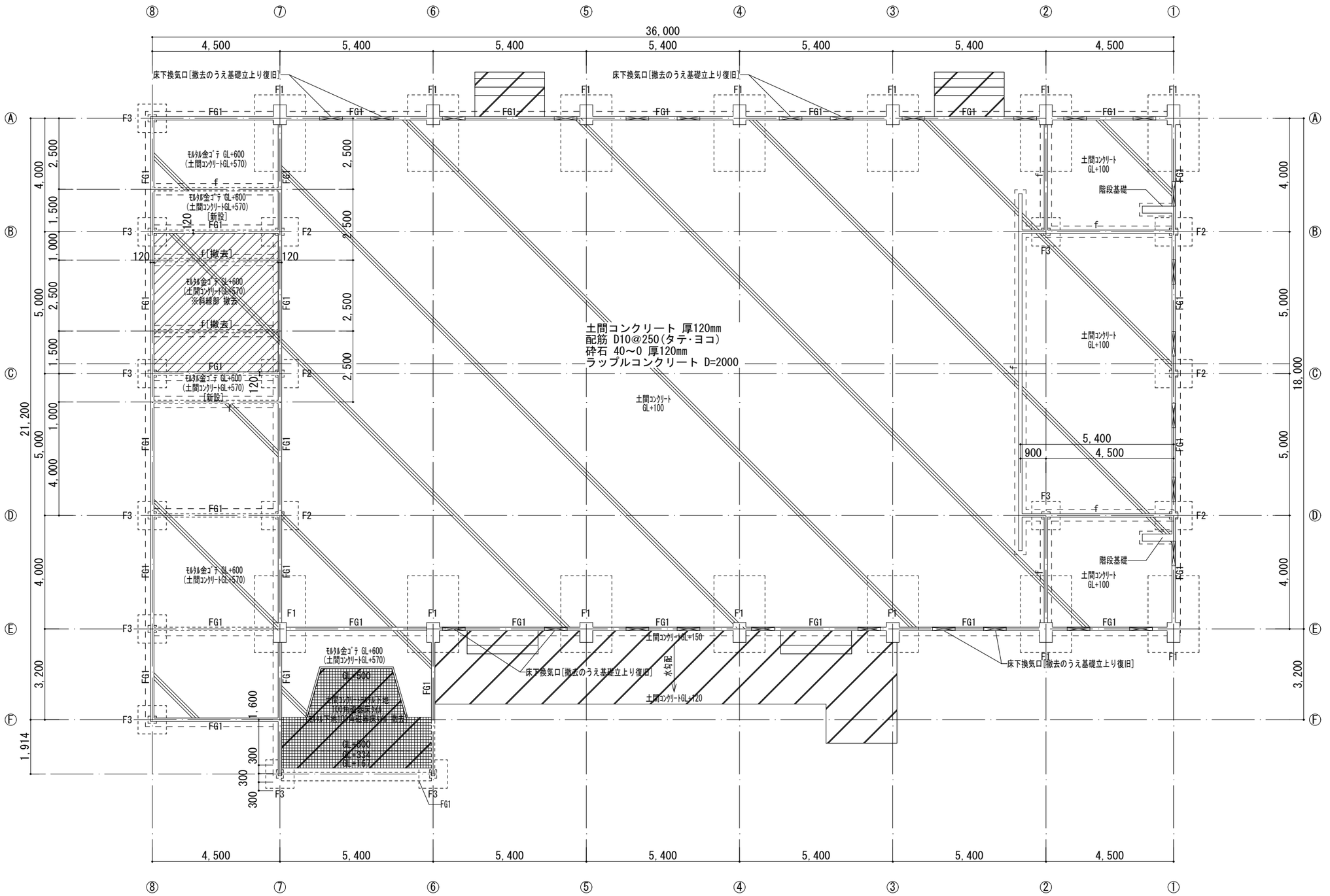
■ 既製品（評定品）

以下の製品又は同等品を使用する場合は、設計者、工事監理者の承認を得る事。
・フリードーナツ（旭化成建材）
・ＯＳリング（岡部株式会社）
・日立ハイリング（日立機材株式会社）

一級建築士事務所　有限会社　モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ－2137　〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士　第351618　石川大悟

工事名称			
鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	承認	作成者	図面番号
鉄骨構造標準図(2)			S-5
縮尺 Non	作成日 2026年6月4日		

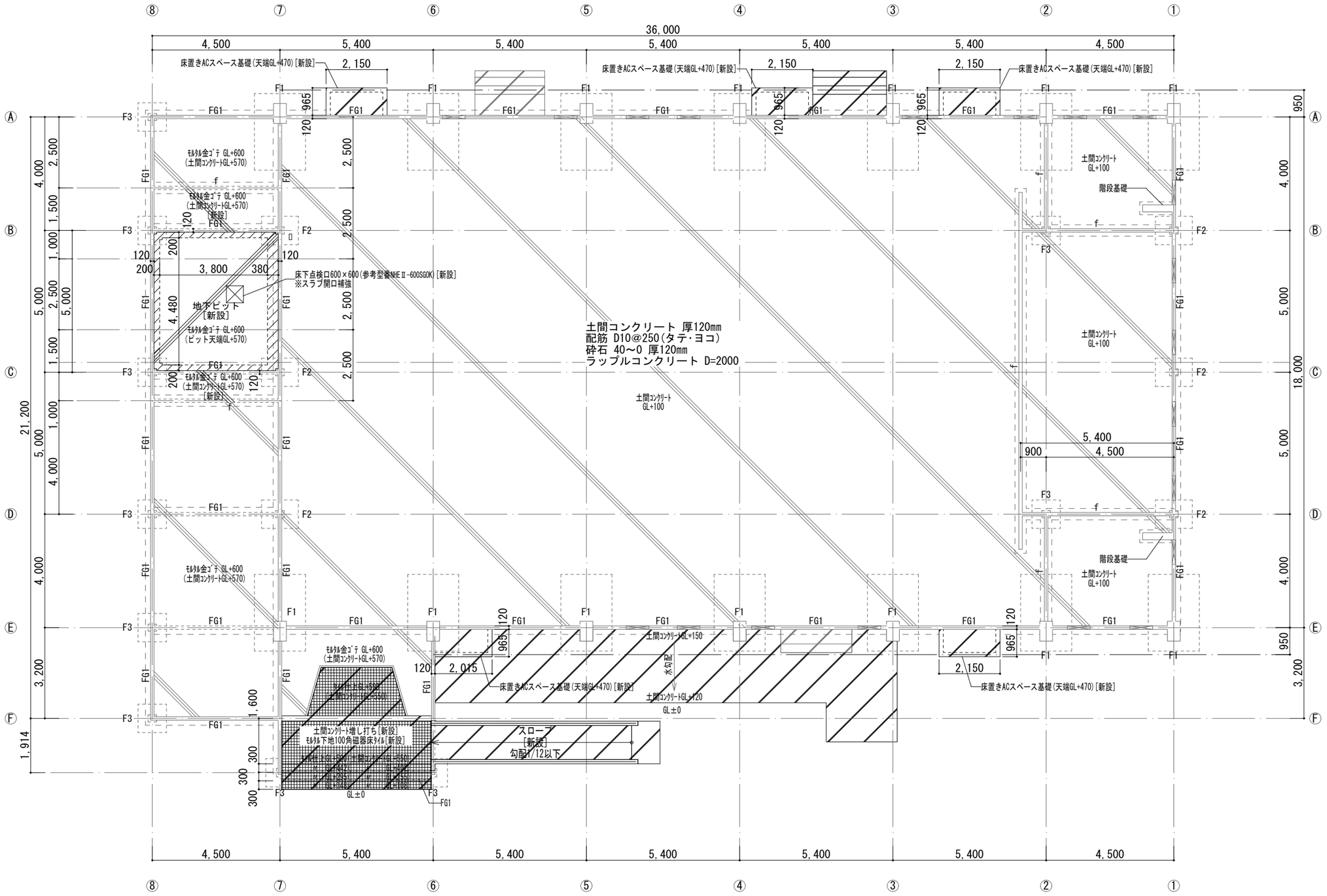
[改修前]



アリーナ･ステージ･放送室 求積図 1:100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ－2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
	図面名	基礎伏図[改修前]	承認	作成者	図面番号 S-6
	縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	

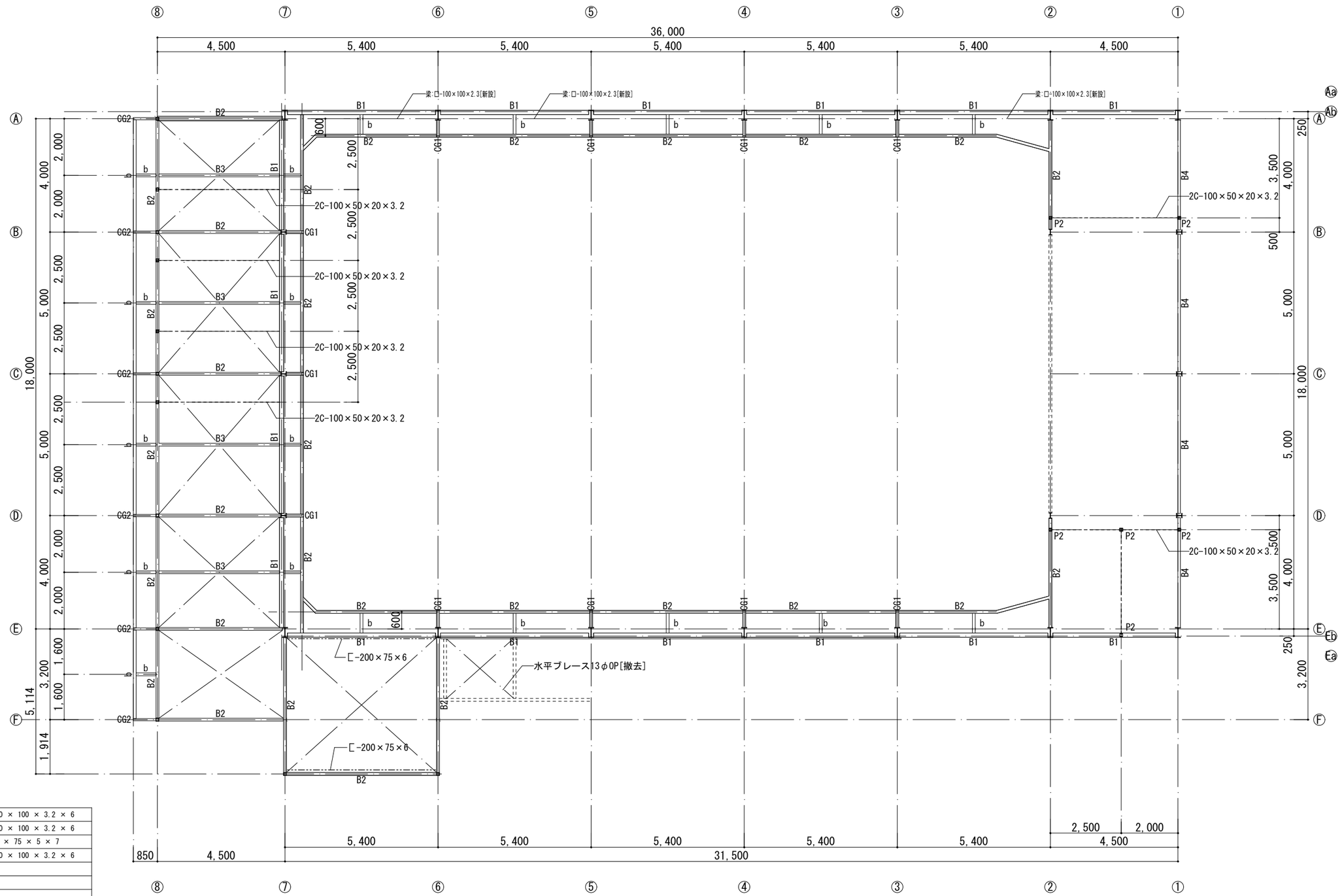
[改修後]



基礎伏図[改修後] 1:100

	一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所 栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4 1級建築士 第351618 石川大悟	工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
		図面名 基礎伏図[改修後]	承認	作成者	図面番号 S-7
		縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日		

[改修前]



梁伏図(改修前) 1:100

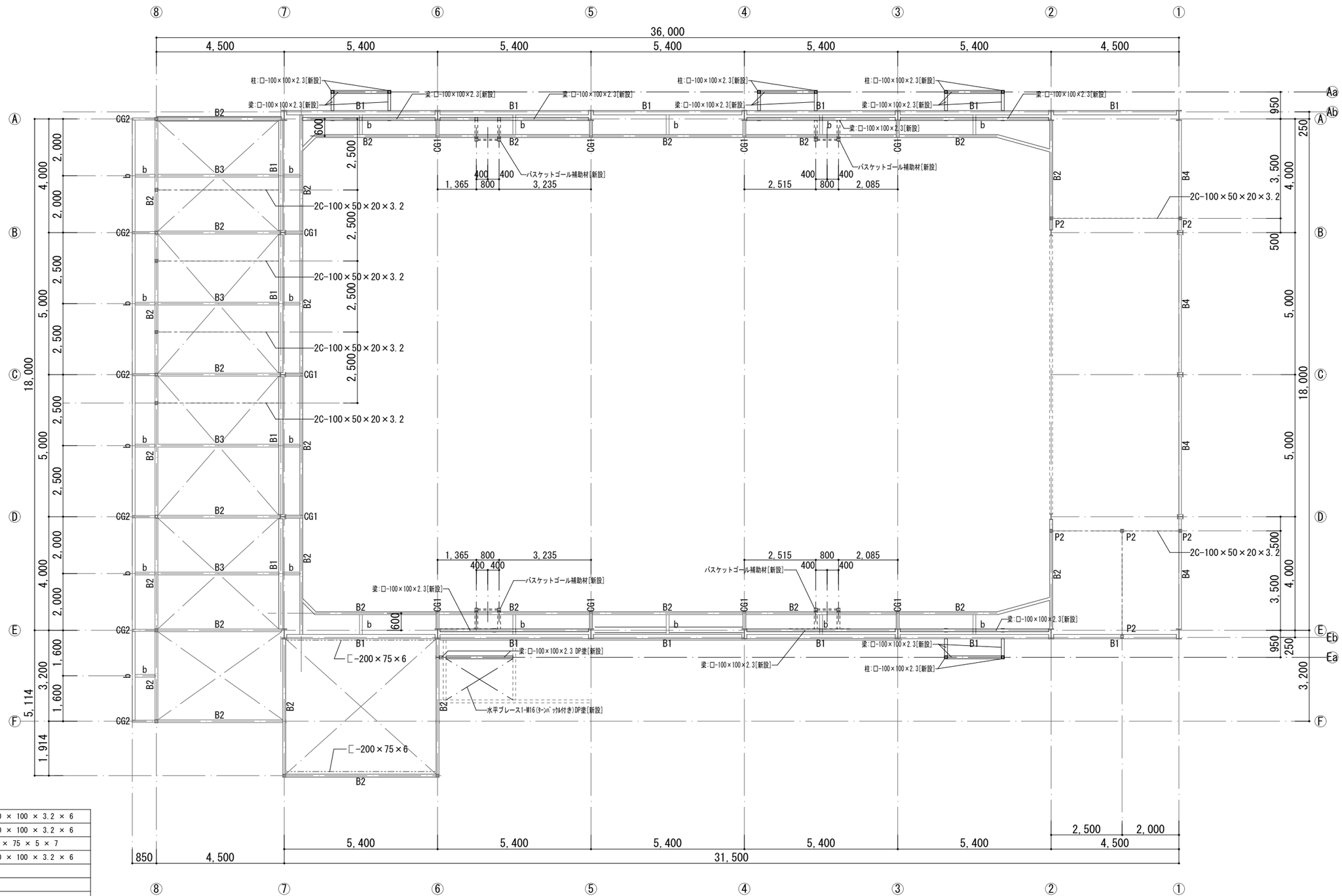
断面リスト

C1	H - 350 × 175 × 7 × 11	CG1	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6
C2	H - 194 × 150 × 6 × 9	VB	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6
C3	□ - 100 × 100 × 4.5	CG2	H - 150 × 75 × 5 × 7
C4	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6	SB	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6
P1	H - 100 × 100 × 6 × 8		
P2	2C - 100 × 50 × 20 × 3.2		
G1	H - 350 × 175 × 7 × 11	母屋	C - 75 × 45 × 15 × 16
B1	LH - 200 × 150 × 3.2 × 4.5	小屋ﾌﾞﾚｰｽ	16φ
B2	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6	1階軸ﾌﾞﾚｰｽ	FB - 75 × 9
B3	LH - 200 × 100 × 3.2 × 4.5	2階軸ﾌﾞﾚｰｽ	FB - 75 × 9
B4	H - 175 × 90 × 5 × 8	下屋軸ﾌﾞﾚｰｽ	16φ
b	2C - 100 × 50 × 20 × 2.3		

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	1階梁伏図[改修前]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100, 1:125	作成日		S-8
		2026年6月4日		

[改修後]



梁伏図(改修後) 1:100

断面リスト

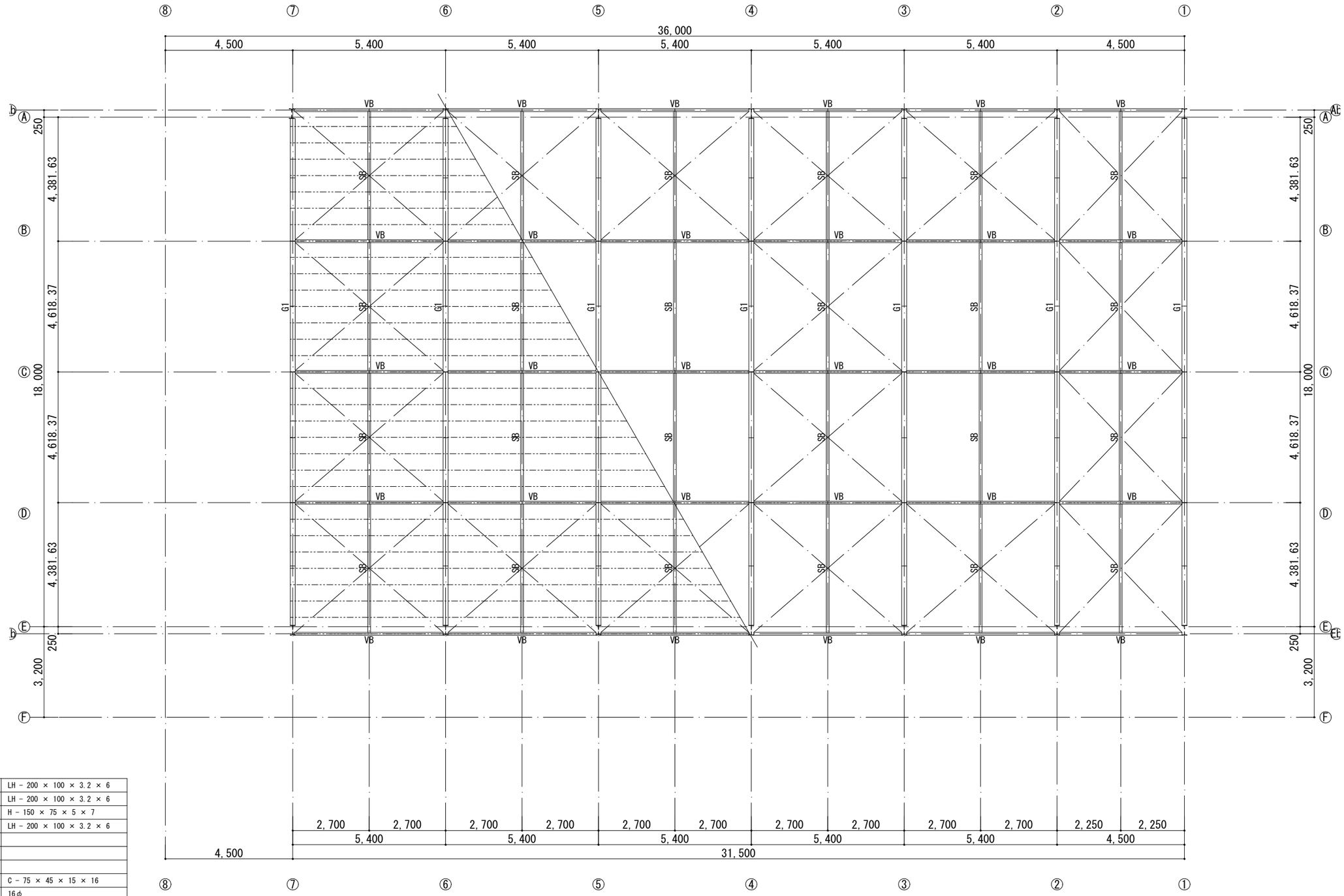
C1	H - 350 × 175 × 7 × 11	CG1	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6
C2	H - 194 × 150 × 6 × 9	VB	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6
C3	□ - 100 × 100 × 4.5	CG2	H - 150 × 75 × 5 × 7
C4	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6	SB	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6
P1	H - 100 × 100 × 6 × 8		
P2	2C - 100 × 50 × 20 × 3.2		
G1	H - 350 × 175 × 7 × 11	母屋	C - 75 × 45 × 15 × 16
B1	LH - 200 × 150 × 3.2 × 4.5	小屋ﾌﾞﾚｰｽ	16φ
B2	LH - 200 × 100 × 3.2 × 6	1階軸ﾌﾞﾚｰｽ	FB - 75 × 9
B3	LH - 200 × 100 × 3.2 × 4.5	2階軸ﾌﾞﾚｰｽ	FB - 75 × 9
B4	H - 175 × 90 × 5 × 8	下屋軸ﾌﾞﾚｰｽ	16φ
b	2C - 100 × 50 × 20 × 2.3		

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	1階梁伏図[改修後]	承認	作成者
縮尺	A2＝1:100,	作成日	2026年6月4日

図面番号 S-9

[既存図]



小屋伏図　1:100

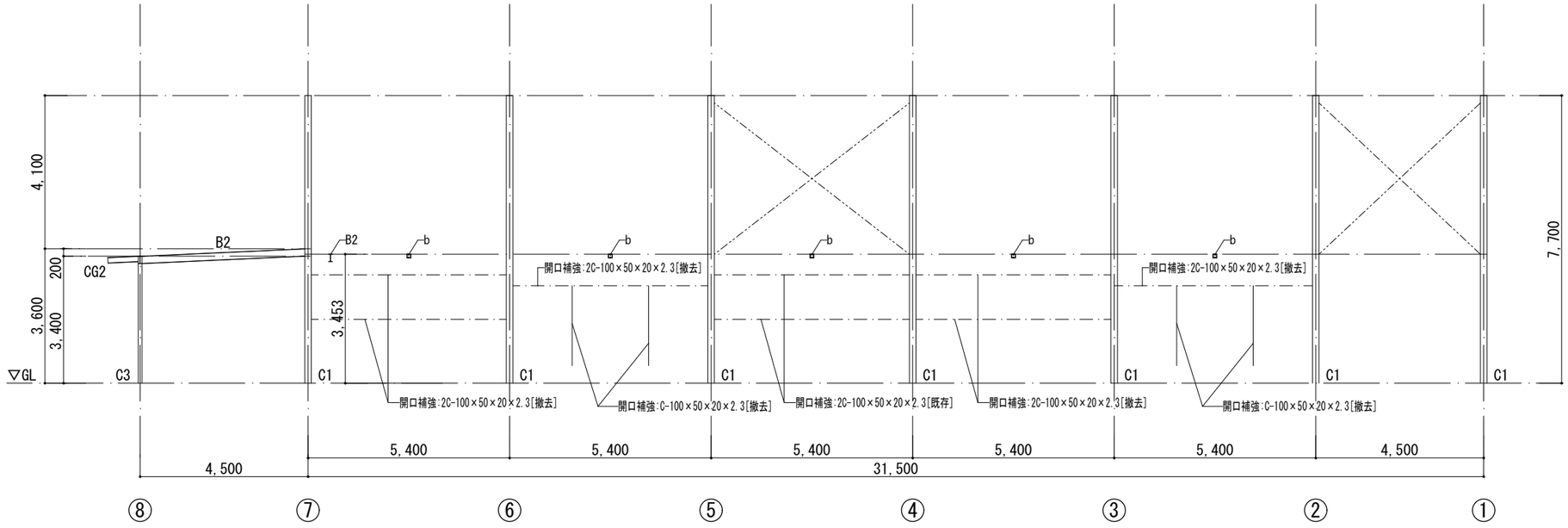
断面リスト

C1	H－350 × 175 × 7 × 11	CG1	LH－200 × 100 × 3.2 × 6
C2	H－194 × 150 × 6 × 9	VB	LH－200 × 100 × 3.2 × 6
C3	□－100 × 100 × 4.5	CG2	H－150 × 75 × 5 × 7
C4	LH－200 × 100 × 3.2 × 6	SB	LH－200 × 100 × 3.2 × 6
P1	H－100 × 100 × 6 × 8		
P2	2C－100 × 50 × 20 × 3.2		
G1	H－350 × 175 × 7 × 11	母屋	C－75 × 45 × 15 × 16
B1	LH－200 × 150 × 3.2 × 4.5	小屋ﾌﾞﾚｰｽ	16φ
B2	LH－200 × 100 × 3.2 × 6	1階軸ﾌﾞﾚｰｽ	FB－75 × 9
B3	LH－200 × 100 × 3.2 × 4.5	2階軸ﾌﾞﾚｰｽ	FB－75 × 9
B4	H－175 × 90 × 5 × 8	下屋軸ﾌﾞﾚｰｽ	16φ
b	2C－100 × 50 × 20 × 2.3		

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ－2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

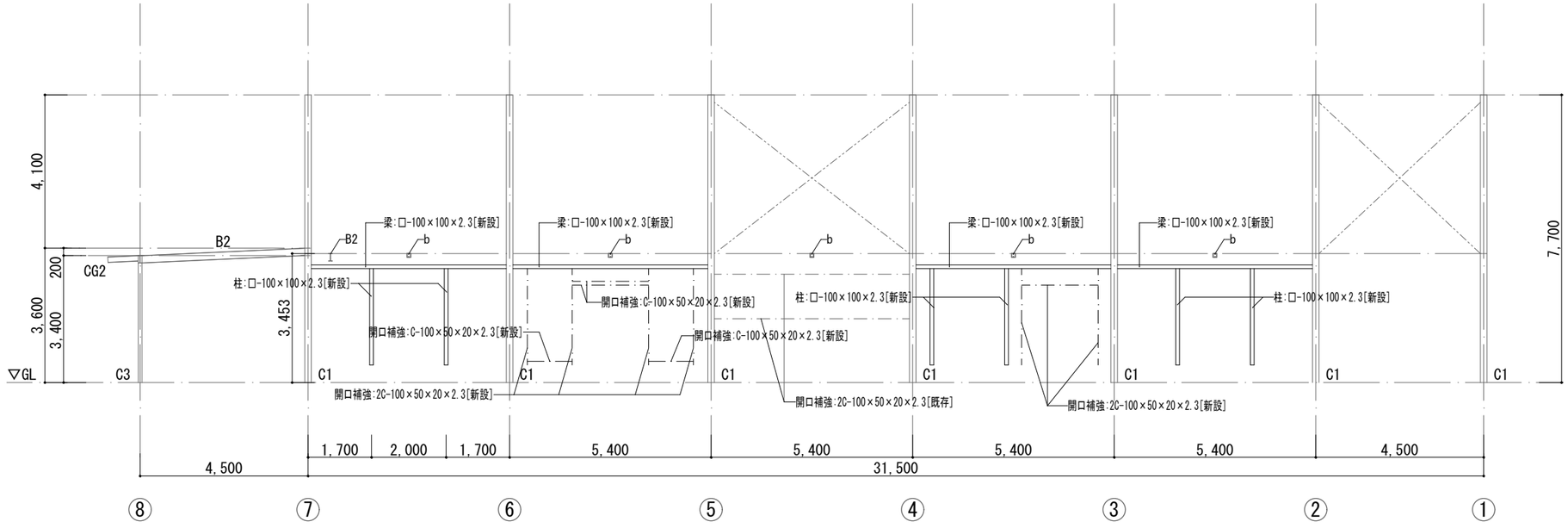
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	小屋伏図[既存図]	承認	作成者
縮尺	A2＝1:100,	作成日	2026年6月4日
図面番号	S-10		

改修前



A通り軸組図 1/100

改修後

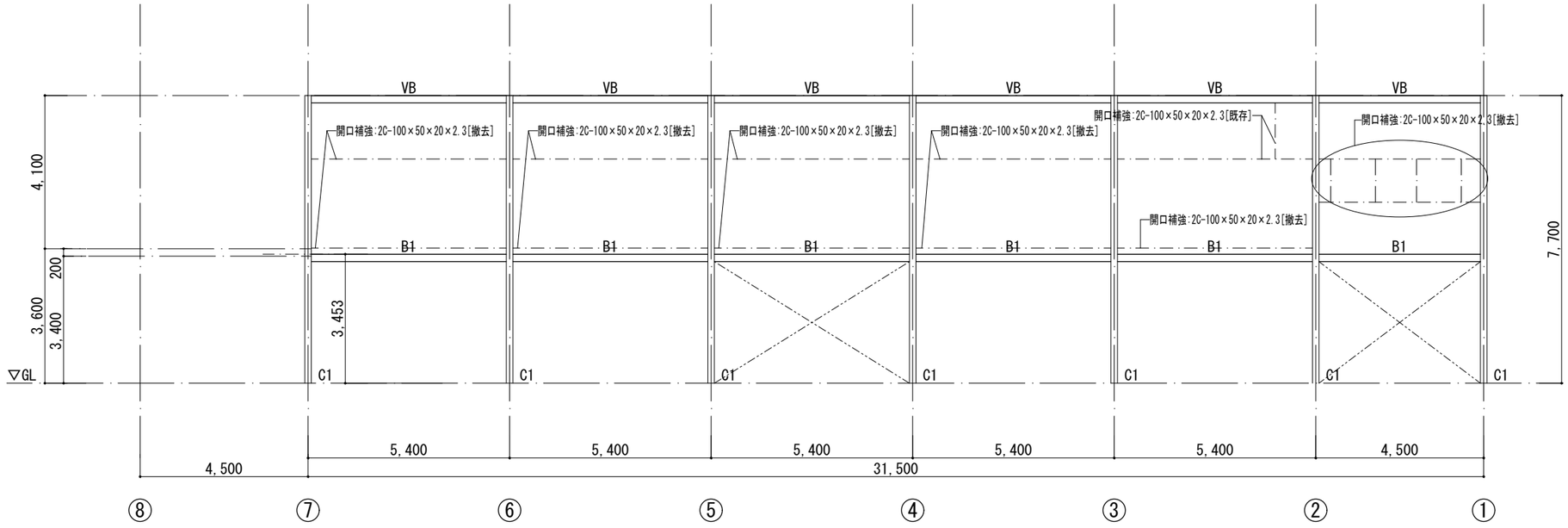


A通り軸組図 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

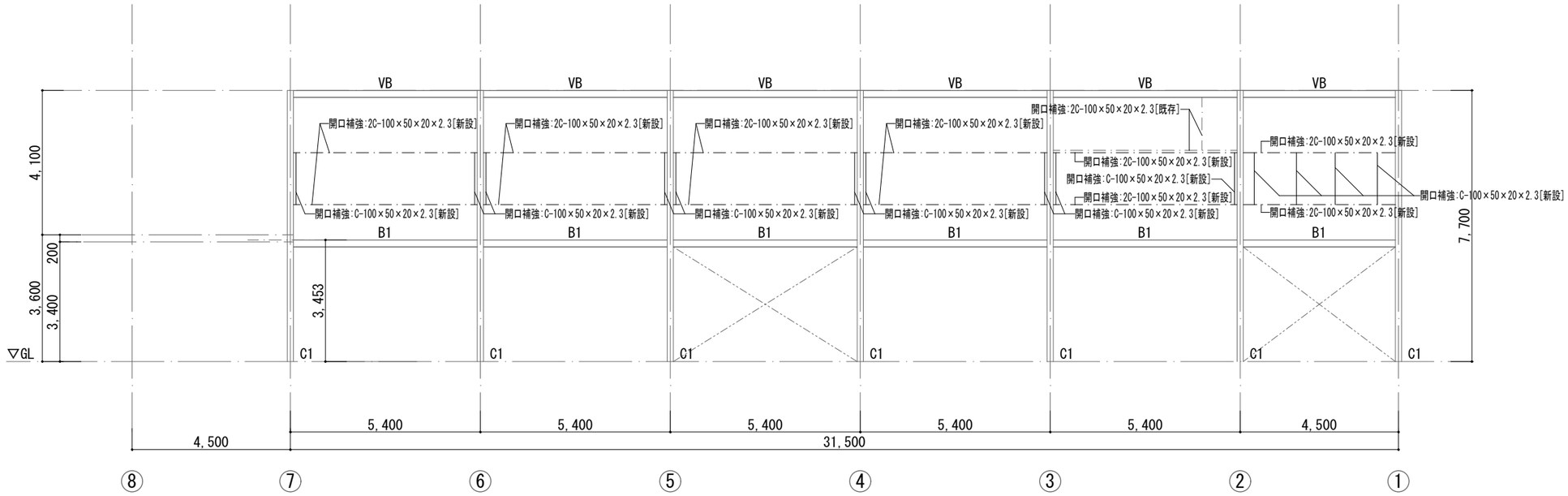
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	軸組図(A通り)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	S-11

改修前



Ab通り軸組図 1/100

改修後

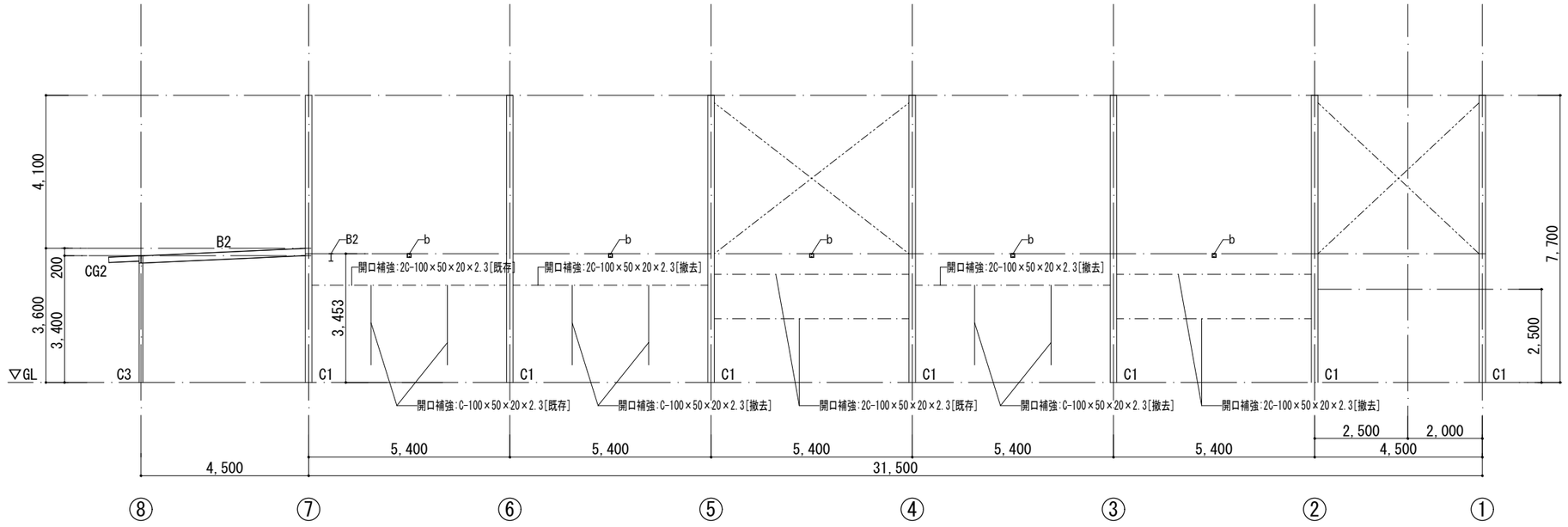


Ab通り軸組図 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

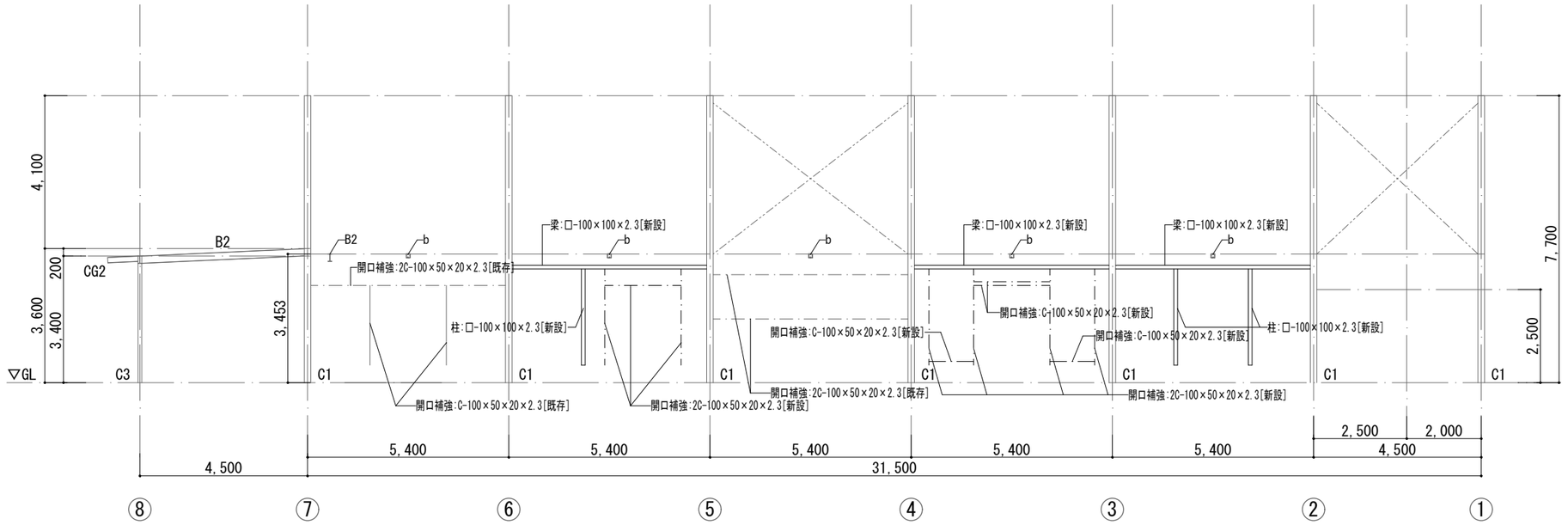
工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	軸組図(Ab通り)[改修前・改修後]
縮尺	A2＝1:100
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	S-12

改修前



E通り軸組図 1/100

改修後

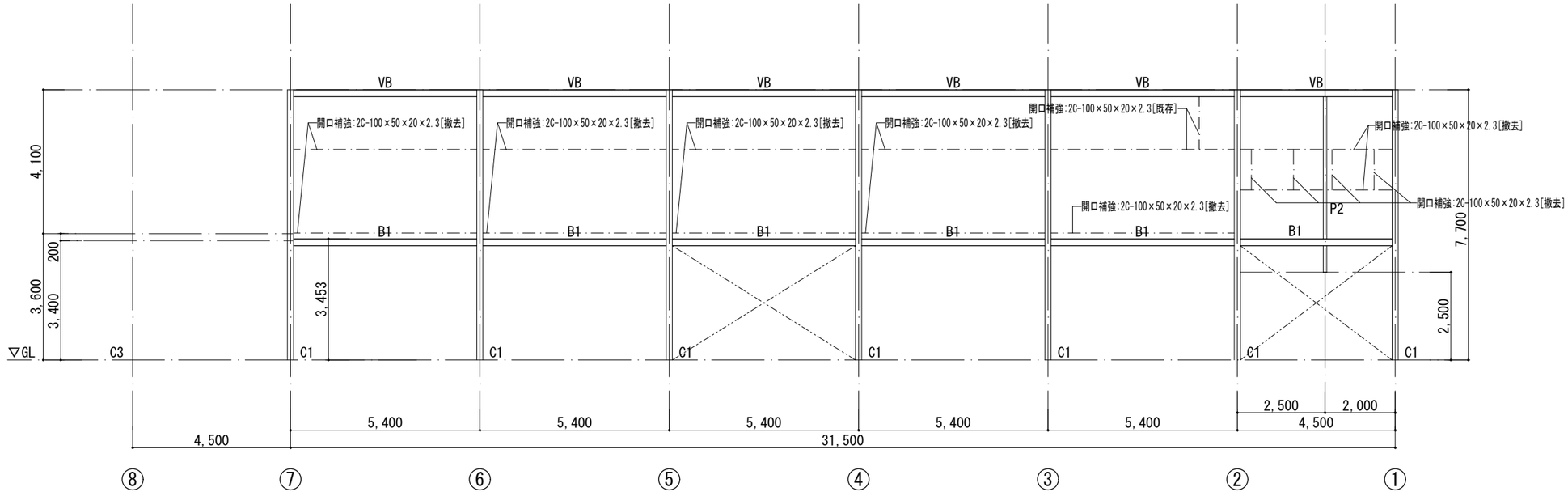


E通り軸組図 1/100

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

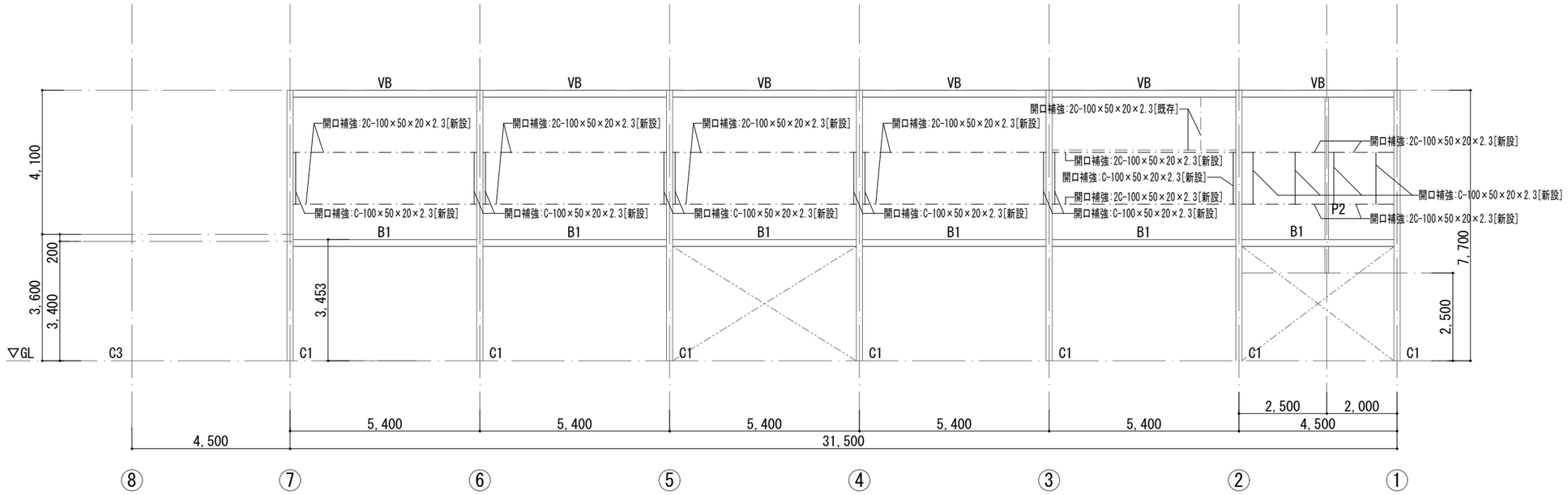
工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 軸組図(E通り)[改修前・改修後]		承認	作成者	図面番号 S-13
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日			

改修前



Eb通り軸組図 1/100

改修後

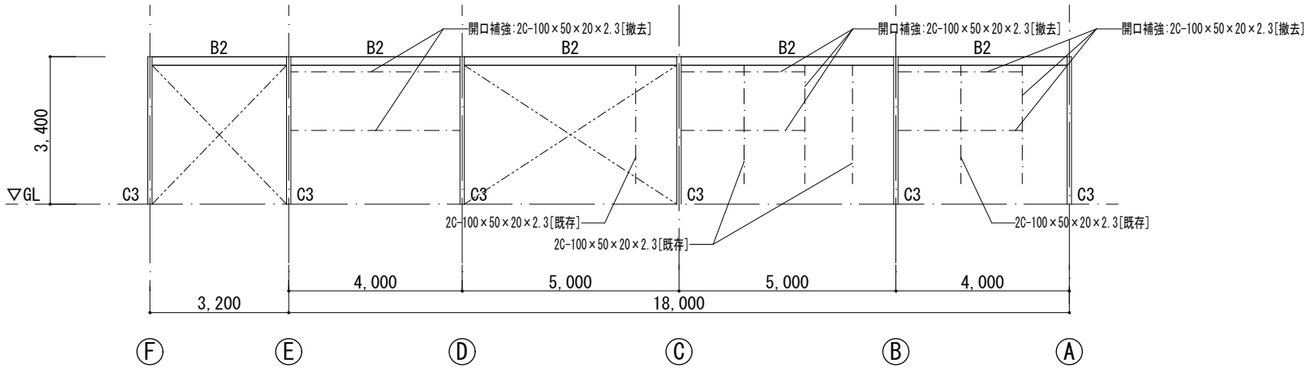


Eb通り軸組図 1/100

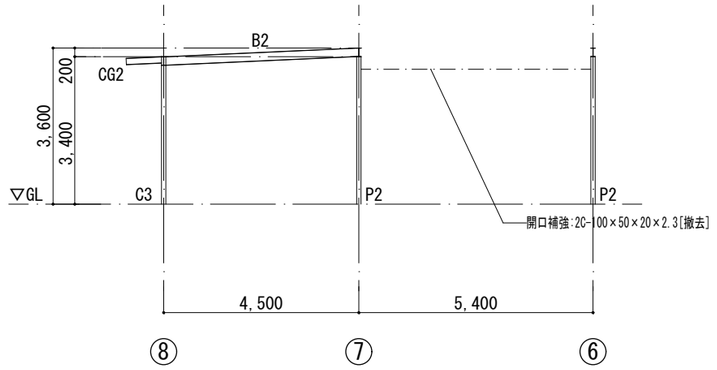
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	軸組図(Eb通り)[改修前・改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	S-14

改修前

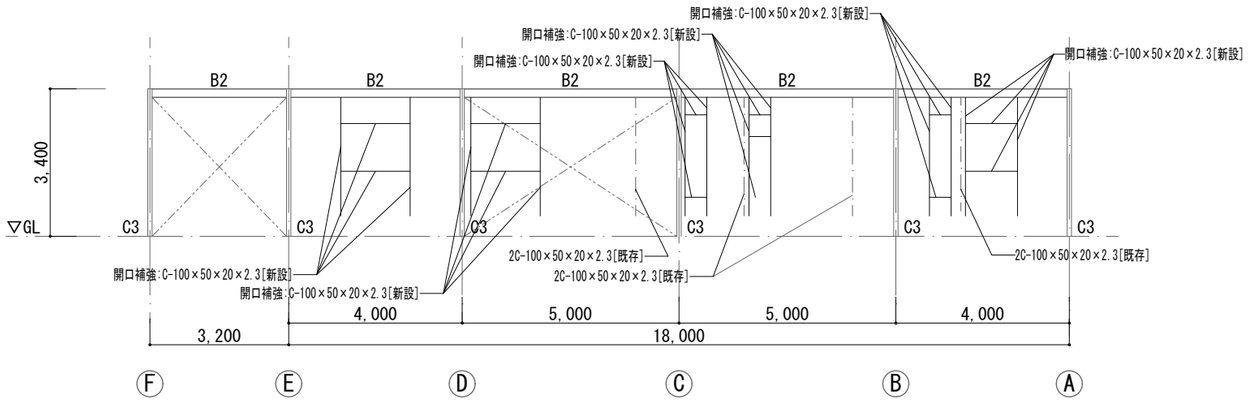


8通り軸組図 1/100

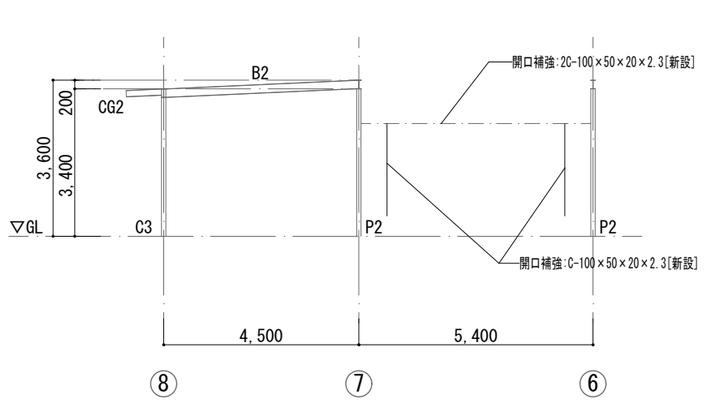


F通り軸組図 1/100

改修後



8通り軸組図 1/100

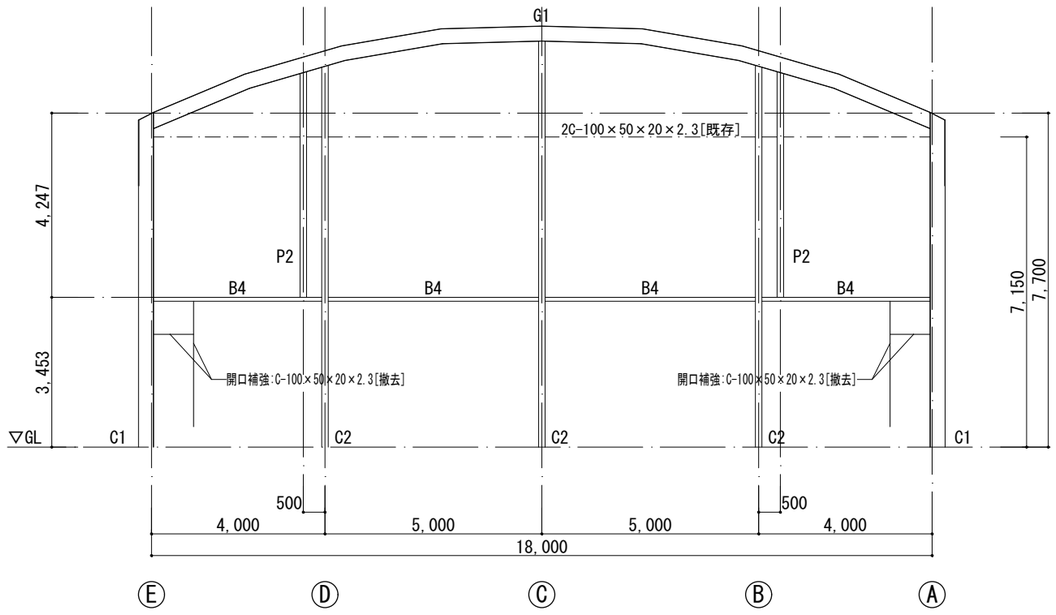


F通り軸組図 1/100

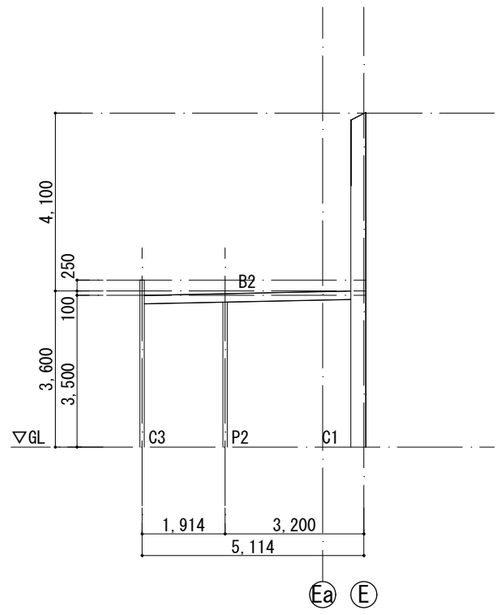
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	軸組図(8･F通り)[改修前･改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	S-15

改修前

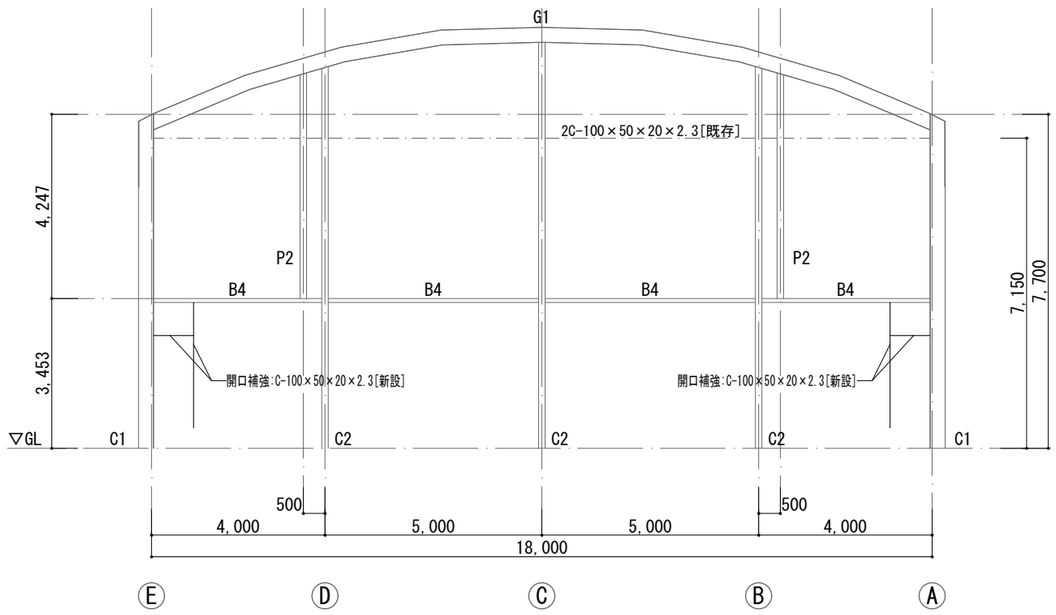


1通り軸組図 1/100

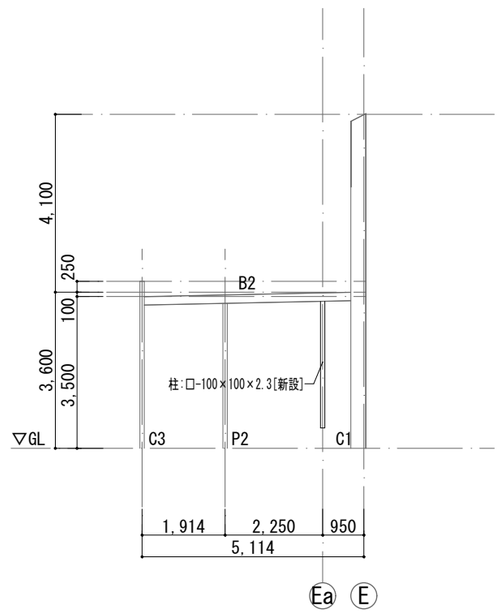


6通り軸組図 1/100

改修後



1通り軸組図 1/100

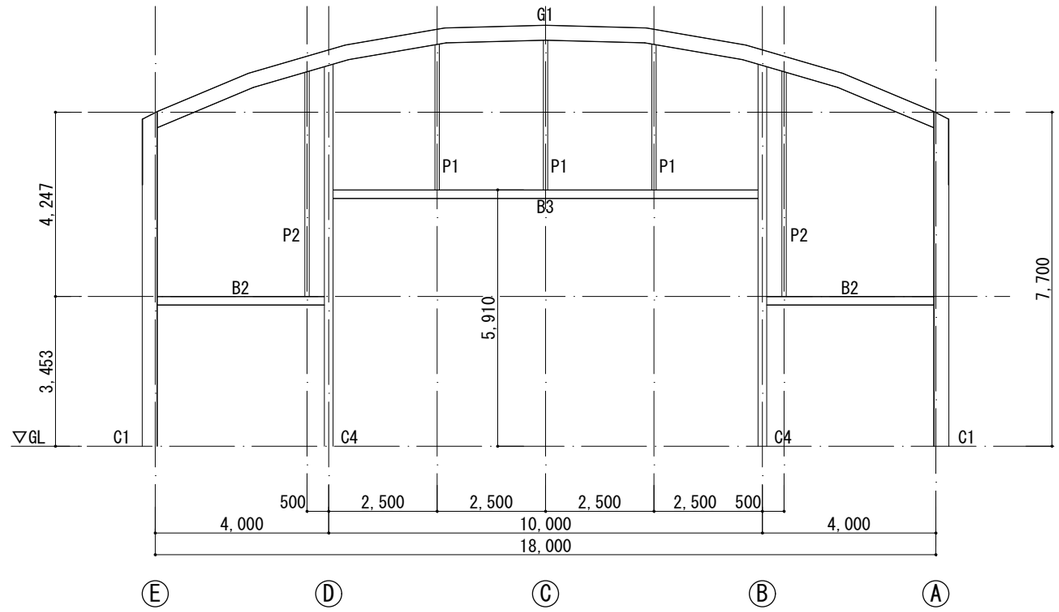


6通り軸組図 1/100

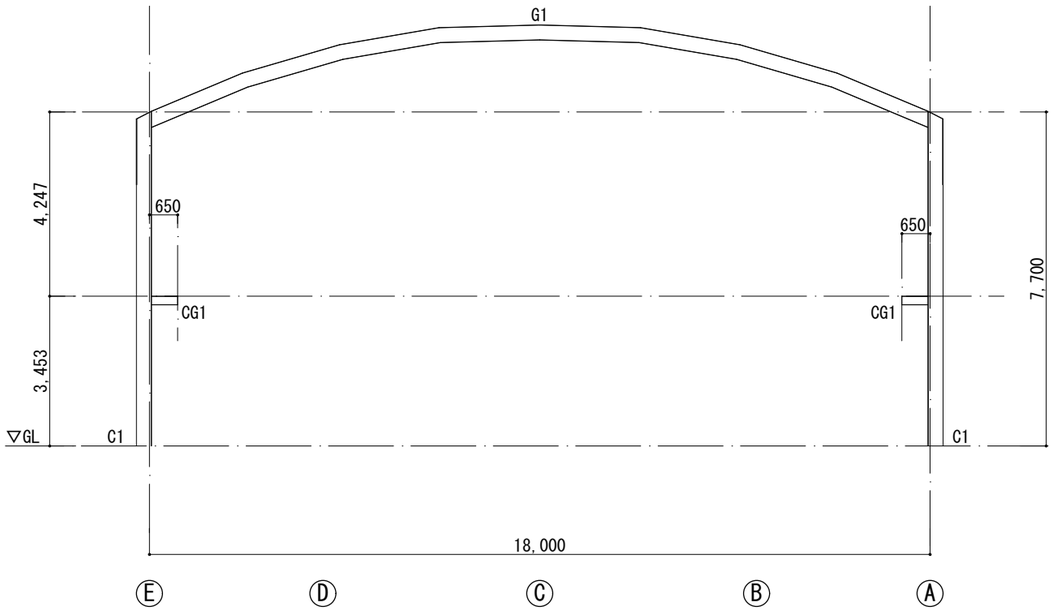
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	軸組図(1･6通り)[改修前･改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:100	作成日	2026年6月4日	S-16

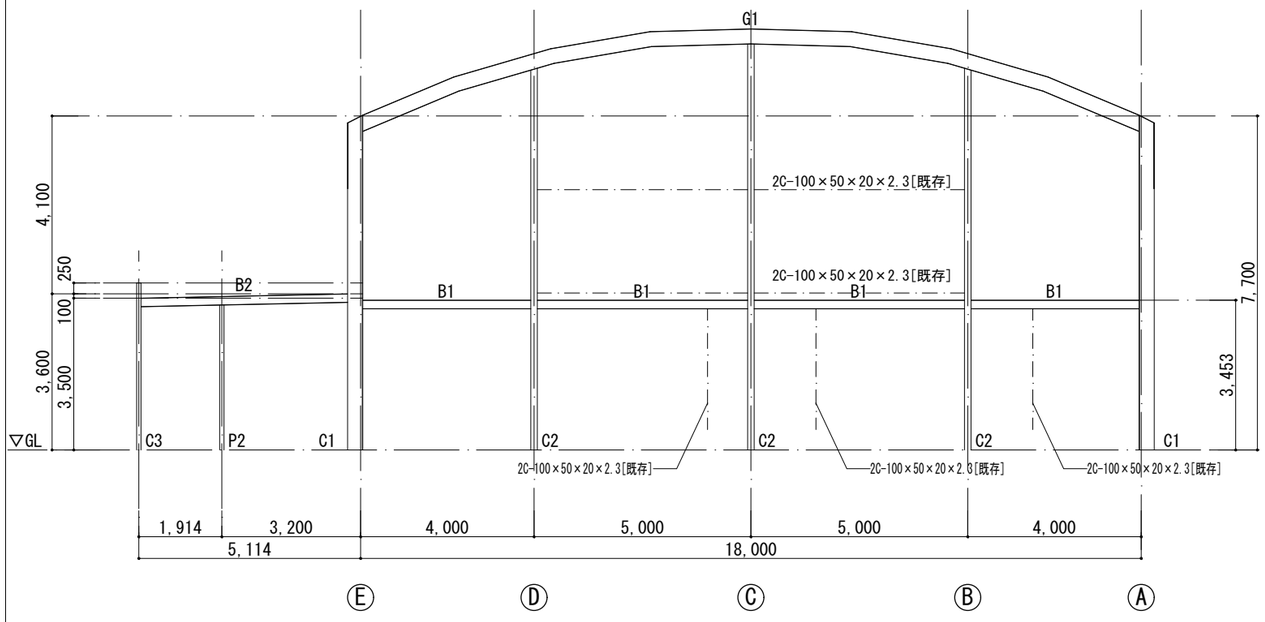
既存図



2通り軸組図 1/100



3通り軸組図 1/100

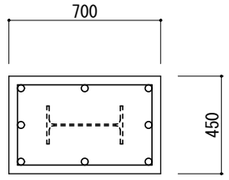


7通り軸組図 1/100

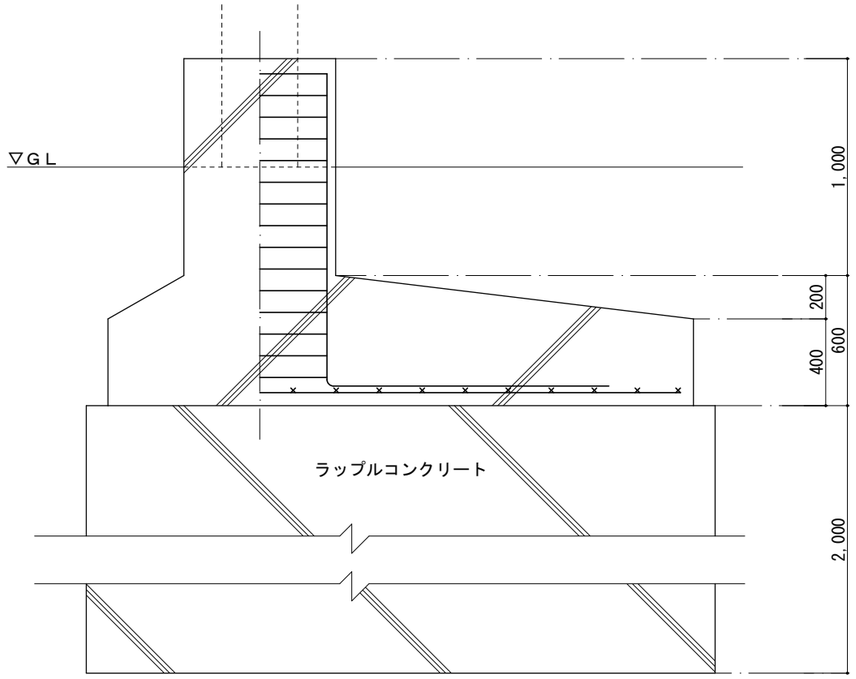
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)		
図面名	軸組図(2･3･7通り)[既存図]	承認	作成者
縮尺 A2＝1:100	作成日 2026年6月4日		図面番号 S-17

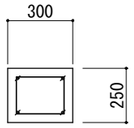
F1



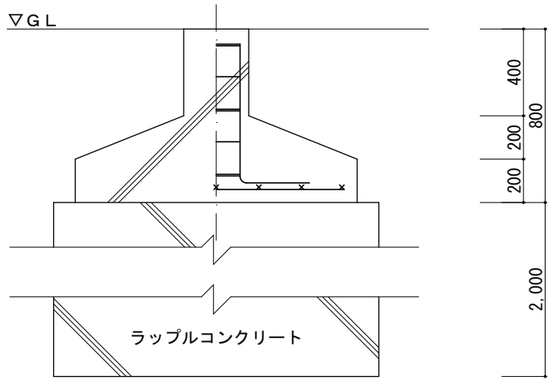
主筋:8-D22
HOOP:D10@100

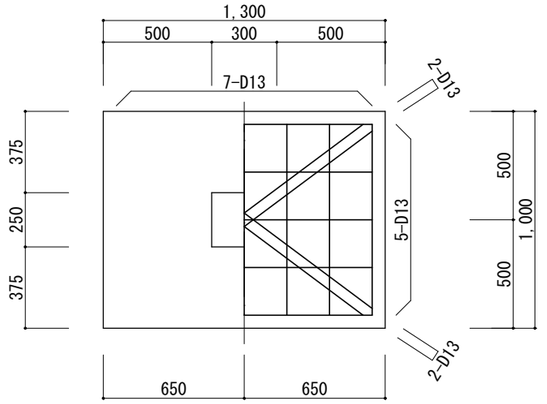


F2

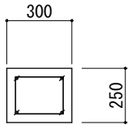


主筋:4-D16
HOOP:D10@150
D HOOP:D10@300

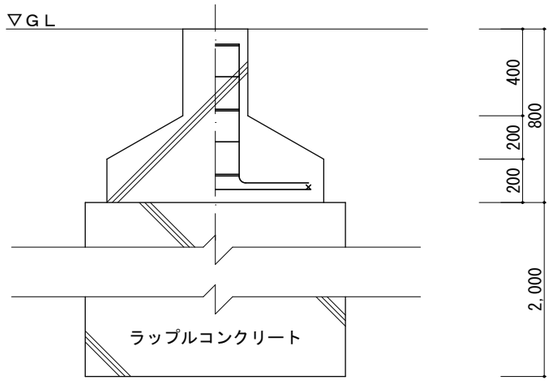


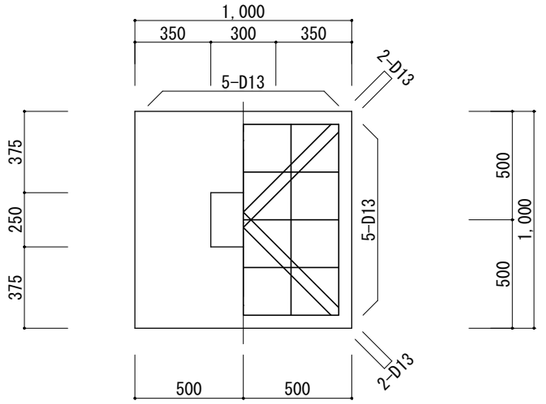


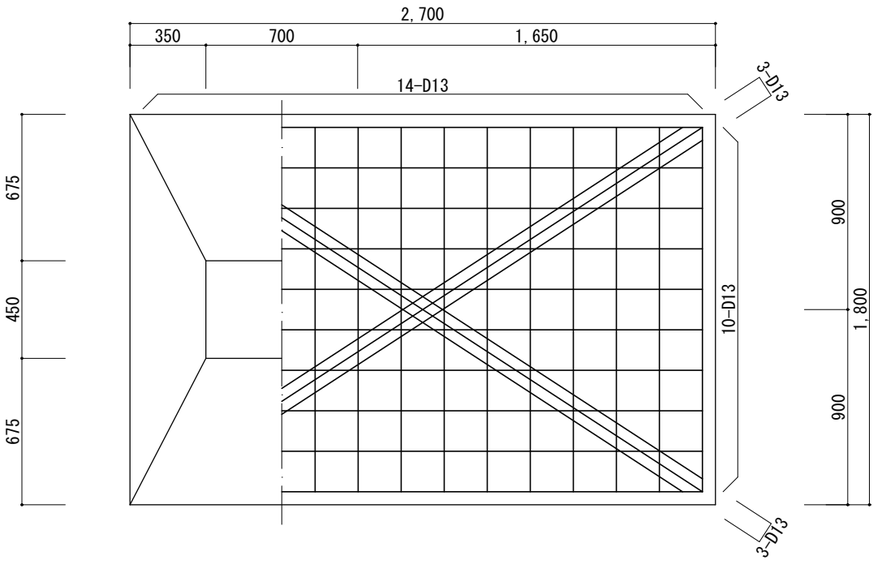
F3



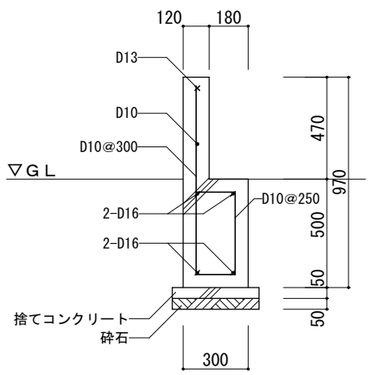
主筋:4-D16
HOOP:D10@150
D HOOP:D10@300



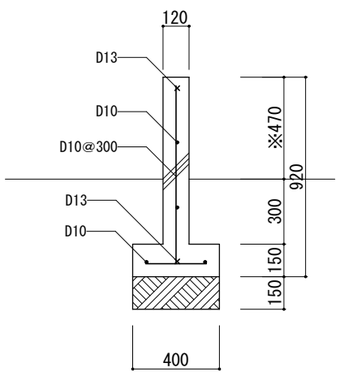




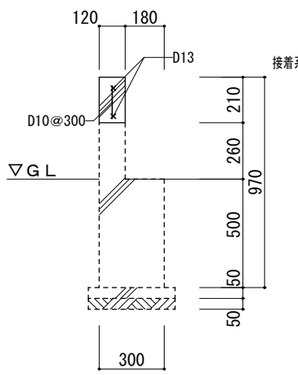
FG1

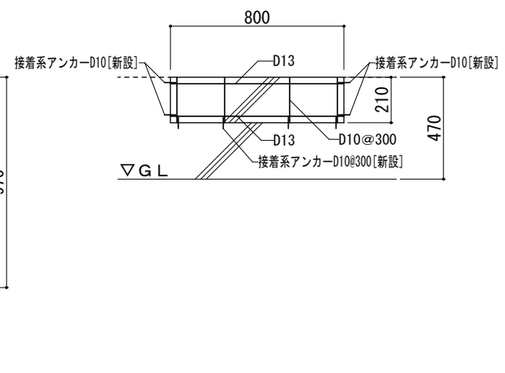


f



FG1立上り復旧 詳細図

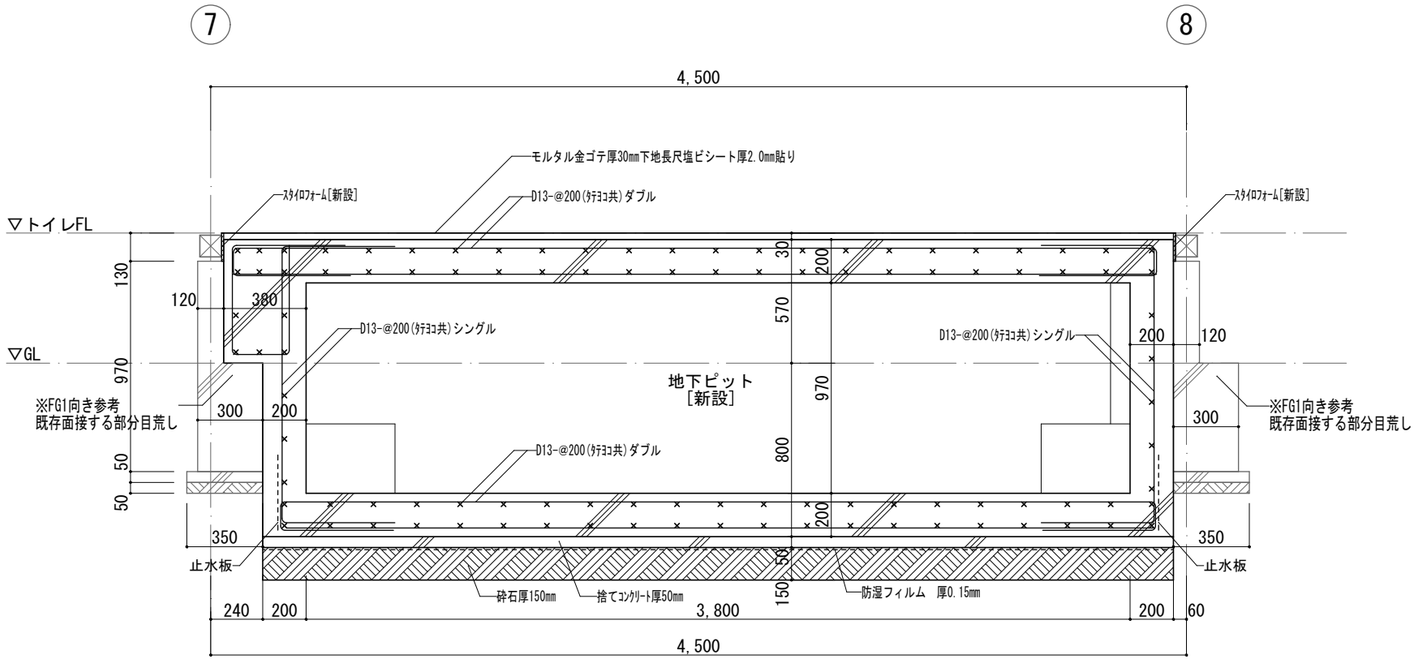




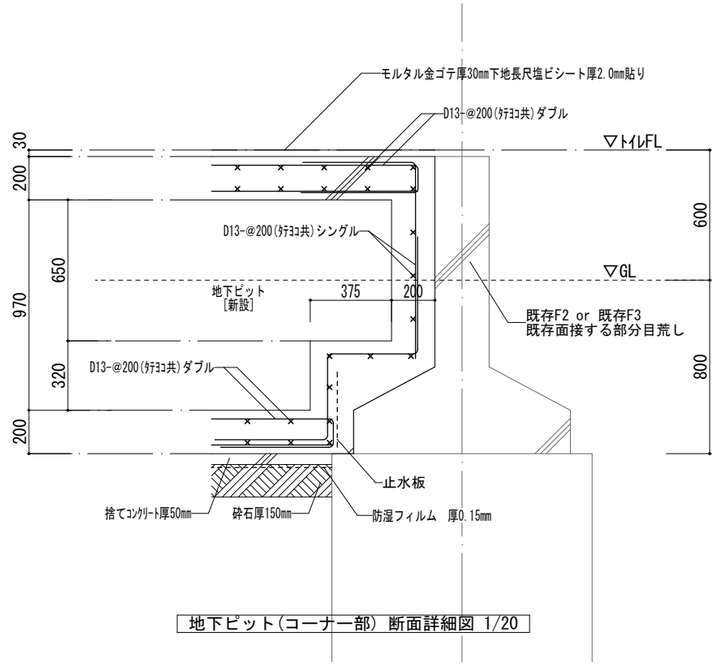
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)

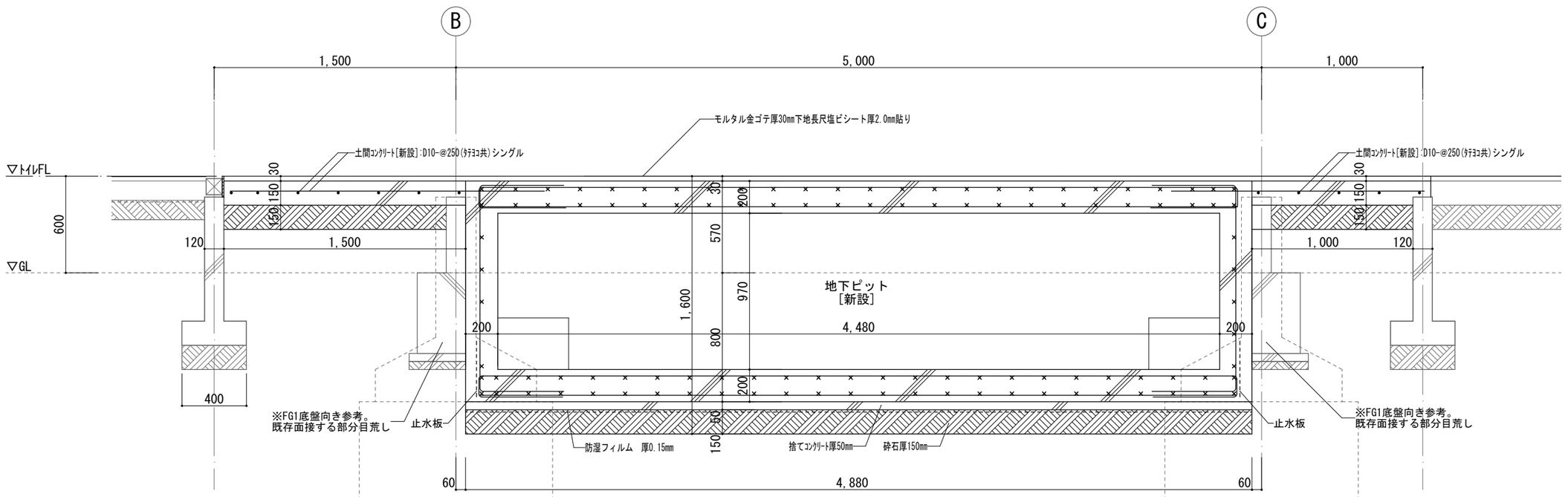
図面名	承認	作成者	図面番号
基礎・地中梁・スラブリスト			S-18
縮尺 A2＝1:20 / 作成日 2026年6月4日			



地下ピット 断面詳細図(1) 1/20



地下ピット(コーナー部) 断面詳細図 1/20

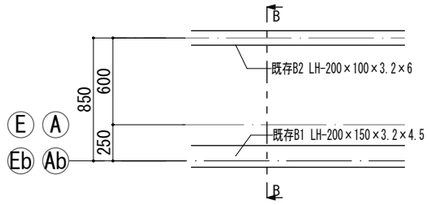


地下ピット 断面詳細図(2) 1/20

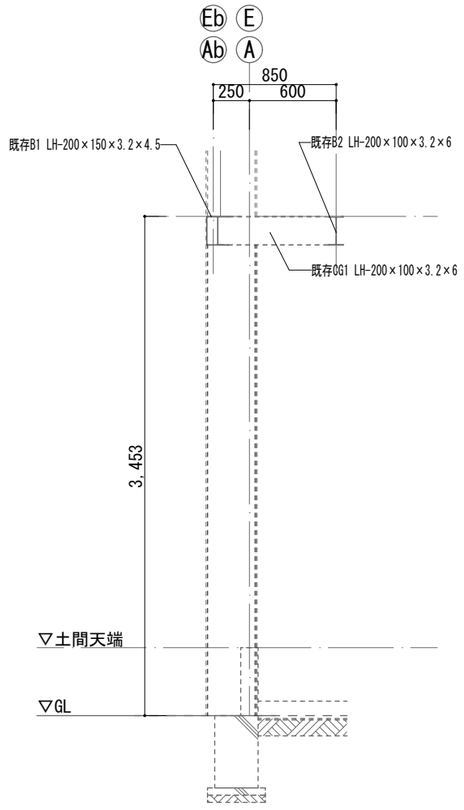
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称 鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)				
図面名 地下ピット詳細図		承認	作成者	図面番号 S-19
縮尺 A2＝1:20	作成日 2026年6月4日			

改修前

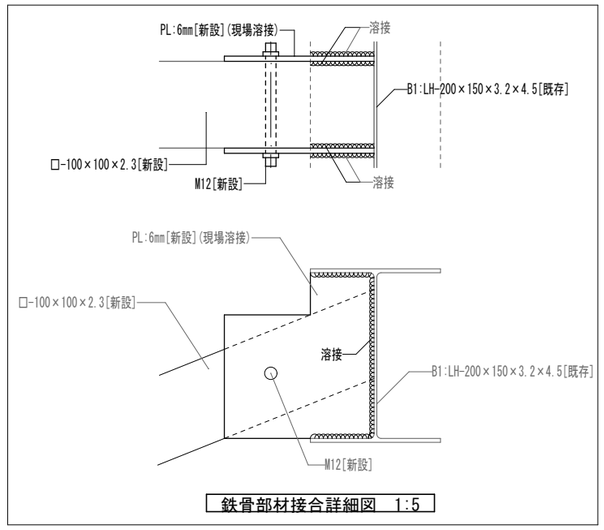


床置きACスペース 梁伏図[改修前] 1/30

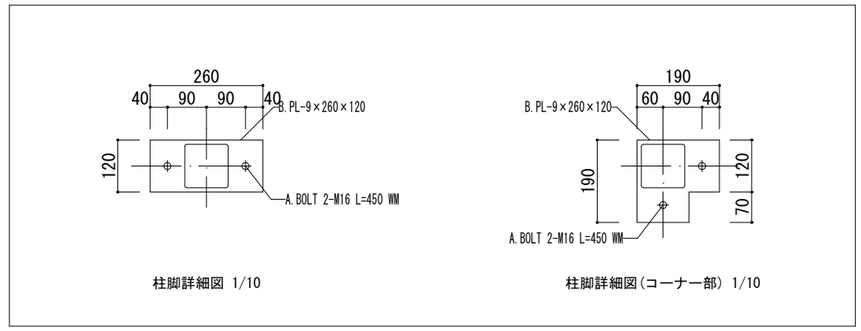


床置きACスペース B-B通り 鉄骨詳細図[改修前] 1/30

改修後

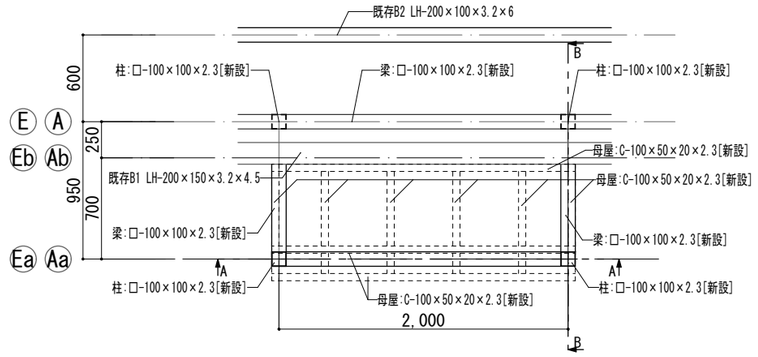


鉄骨部材接合詳細図 1:5

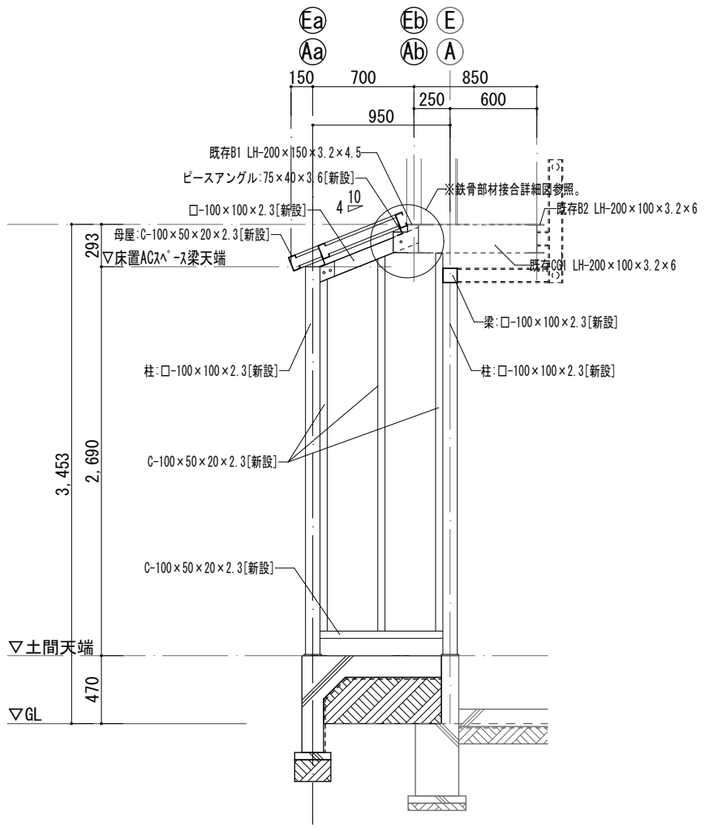


柱脚詳細図 1/10

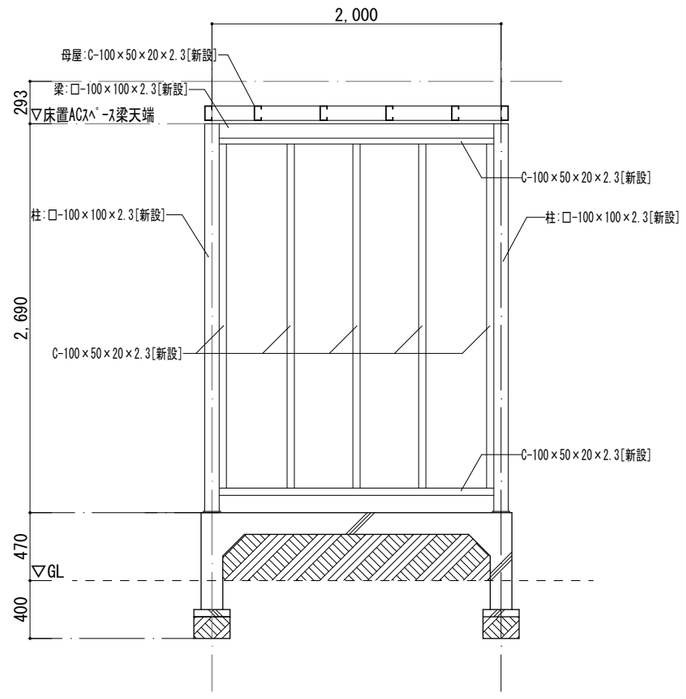
柱脚詳細図(コーナー部) 1/10



床置きACスペース(一般部) 梁伏図[改修後] 1/30



床置きACスペース(一般部) B-B通り 鉄骨詳細図[改修後] 1/30

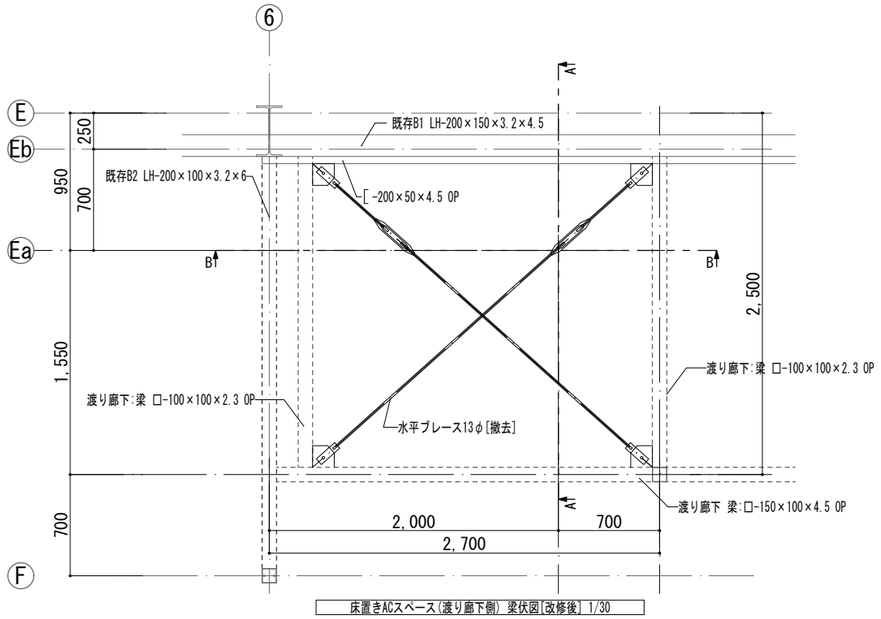


床置きACスペース(一般部) A-A断面 鉄骨詳細図[改修後] 1/30

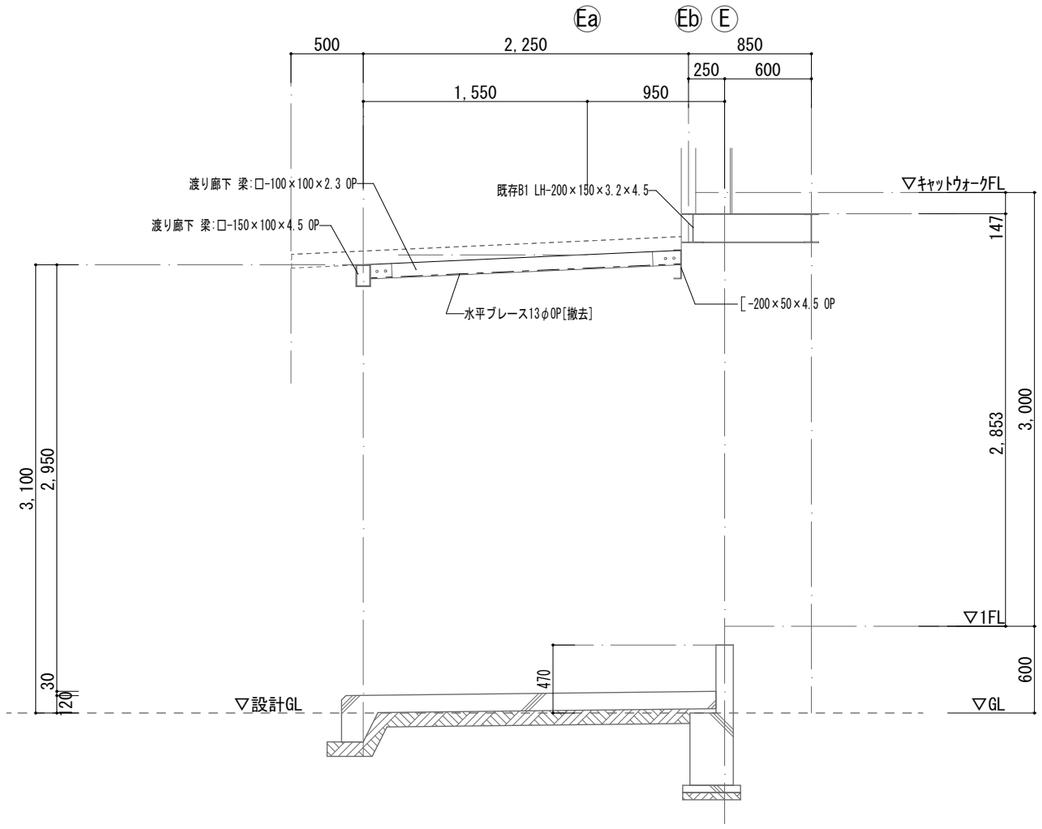
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	床置きACスペース(一般部)_鉄骨詳細図[改修前・改修後]
縮尺	A2=1:30, 1:10, 1:5
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	S-20

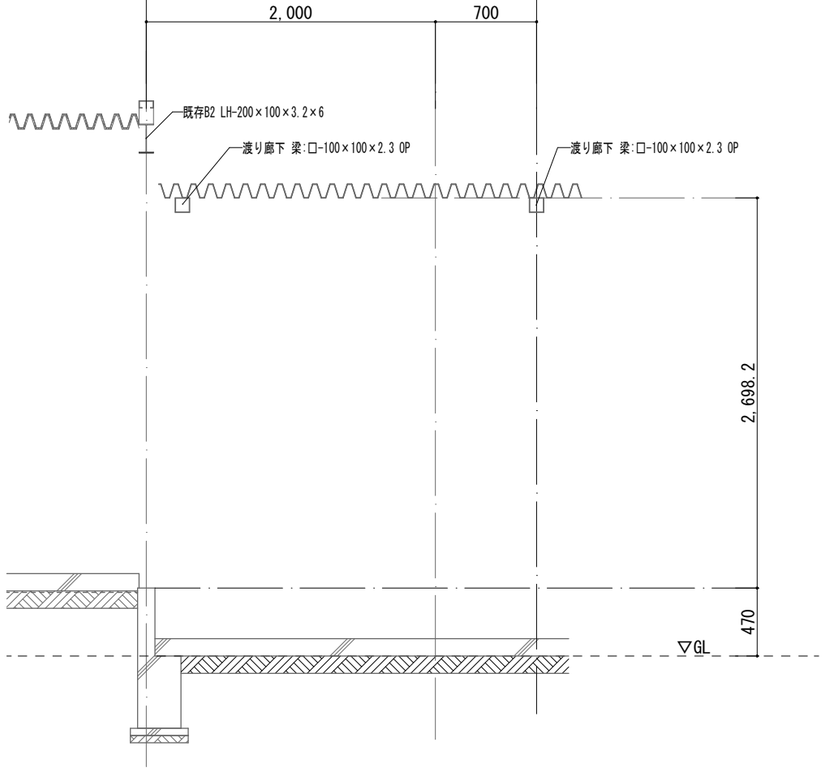
[改修前]



床置きACスペース(渡り廊下側) 梁伏図[改修後] 1/30



A-A断面図 1/30

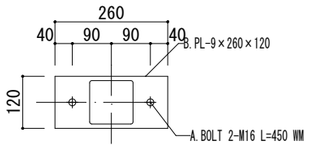


B-B断面図 1/30

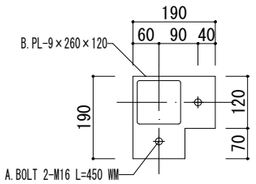
一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ−2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)
図面名	床置きACスペース(渡り廊下側)_鉄骨詳細図[改修前]
縮尺	A2＝1:30
作成日	2026年6月4日
承認	
作成者	
図面番号	S-21

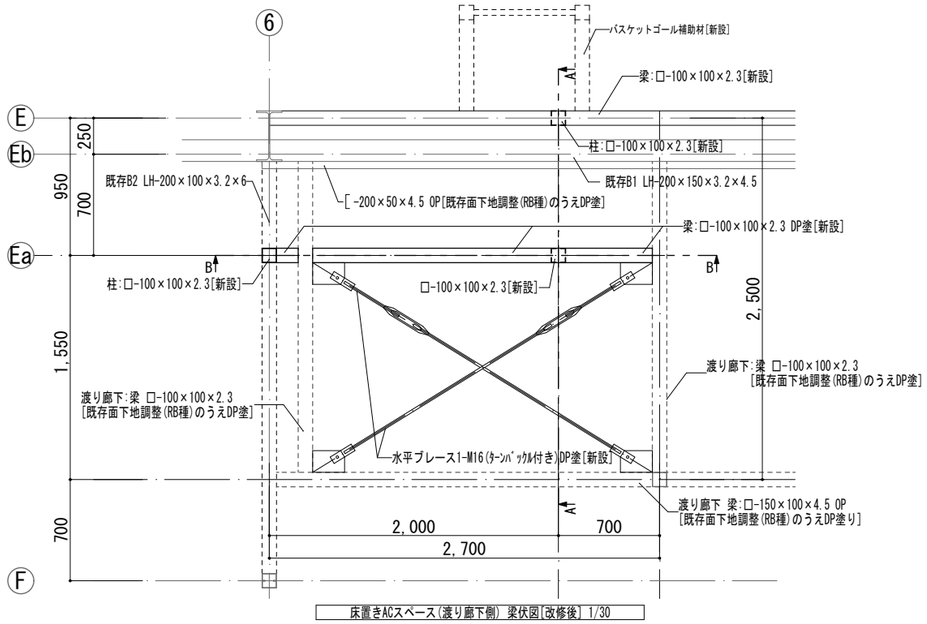
[改修後]



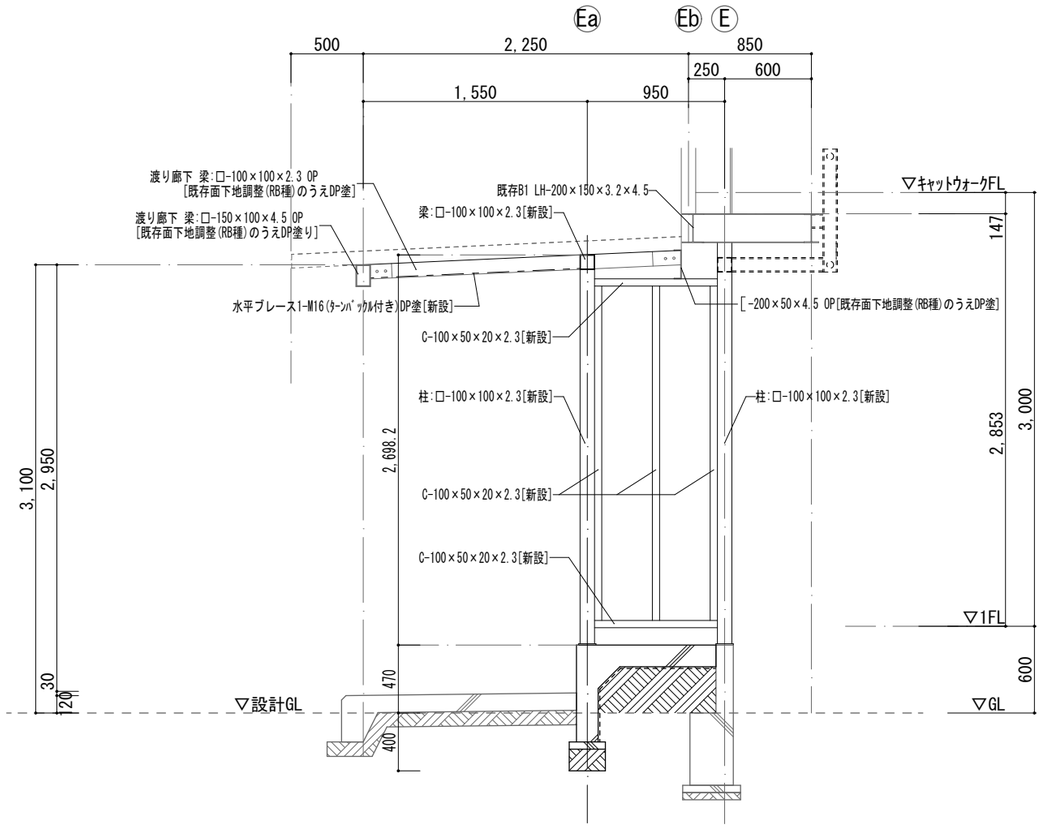
柱脚詳細図 1/10



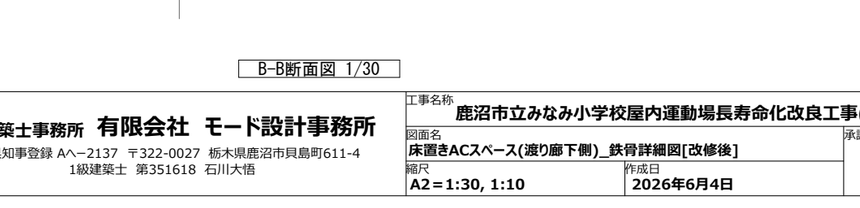
柱脚詳細図（コーナー部） 1/10



床置きACスペース(渡り廊下側) 梁伏図[改修後] 1/30



A-A断面図 1/30



B-B断面図 1/30

一級建築士事務所 有限会社 モード設計事務所
栃木県知事登録 Aへ-2137 〒322-0027 栃木県鹿沼市貝島町611-4
1級建築士 第351618 石川大悟

工事名称	鹿沼市立みなみ小学校屋内運動場長寿命化改良工事(建築工事)			
図面名	床置きACスペース(渡り廊下側)_鉄骨詳細図[改修後]	承認	作成者	図面番号
縮尺	A2＝1:30, 1:10	作成日		S-22
		2026年6月4日		